

パーソナルコンピュータ・マガジン

Oh!11Z

MZシリーズ
X1/turbo
X68000
& ポケコン

特集

肉体派への“BASIC”入門

X1/C/D/F/Gで漢字1000文字を表示

X1拡張漢字BASIC

S-OS全機種共通システム

シューティングゲーム2作

INVADER GAME/TANGERINE

高速グラフィックパッケージ

MZ-80B用MAGIC発表

新製品紹介

イメージ情報ステーション MZ-TV01

電子手帳PA-7000/ハンディコピー Z-HC1

カラーイメージボードⅡ CZ-8BV2

THE SOFT TOUCH SPECIAL

1986年度GAME OF THE YEAR発表

超マシンがユーザーの手にわたるとき

X68000 製品の概要

4

APR.1987
定価480円

SHARP

新・製・品



ちよつとぜい沢な入門機です。

●CPU:Z80B(6MHz)●RAM:メインメモリ128KB(最大256KB)、グラフィック64KB(最大128KB)他●ROM:漢字256KB(JIS第1水準漢字2965字・非漢字535字/JIS第2水準漢字3388字)、辞書256KB(熟語、人名、地名約9万語)●表示能力▶テキスト画面/表示文字数:80桁×25行/20行/12行(8色)、40桁×25行/20行/12行(最大64色)、PCG機能1,024個(キャラクタ単位に8色/64色の色指定可能)他▶日本語表示(40桁×25行/20行/12行・8色)▶グラフィック/640×400ドット4色、640×200ドット16色、320×200ドット256色他●インターフェイス:RS-232C、プリンタ、マウス、ジョイスティック、CRT(リニアRGB、RGBI)●MZ-2500シリーズのソフトが使えるコンパチブル設計

MZ-2520

※14型カラーディスプレイ MZ-1D26 (標準価格が99,800円)は別売です。

標準価格159,800円

シャープ株式会社

資料のご請求、お問い合わせは…情報システム事業本部OAお客様相談センターまで。

本社 〒545 大阪市阿倍野区長池町22番22号 ☎(06)621-1221(大代表)

東京支社 〒162 東京都新宿区市谷八幡町8番地 ☎(03)260-1161(大代表)

今から始めたい人に...

これから始めるのなら、このレベルを望みたい。

MZ-2520は、パソコンに本気で取り組む人のための

“歯応えある入門機”です。みせかけの機能を追うのではなく、

使いこむほどに凄さがわかるクオリティマシン。

ゲームだけには終わらせず、知的ツールとして

使いこなしたい、というあなたに捧げます。

パソコン通信^{*1}や簡易データファイルとしても使える

「テレホンソフト」標準装備

各種ネットワークにアクセスできるターミナル機能やデータ通信機能を利用して手軽にパソコン通信が楽しめるほか、登録件数最大4,000件^{*}のカード型データベース機能も持っており、住所録や電話帳をはじめパーソナルライブラリの整理に威力を発揮します。

^{*}1 テレホンソフトの通信機能を利用するためには、別売のモデムユニット(MZ-1X22 標準価格21,800円)、またはモデムホン(MZ-1X19 標準価格98,000円)、音響カプラ(MZ-1X11 標準価格44,800円)のうちいずれか1つが必要です。

^{*}2 半角文字100文字/件(漢字全角文字の場合は50文字/件)

スピーディな文節変換でワープロに対応

約9万語の辞書ROM搭載

JIS第1/第2水準漢字ROMはもちろん、専用ワープロ「ミニ書院」と同じ辞書ROMまでも標準装備。しかも400ラインの日本語表示機能。人名・地名によくみられる難しい漢字の表示やスピーディな文節変換も実現しました。BASICにも定評の高速漢字BASICを採用。

カラーディスプレイテレビでスーパーインボーズ(320×200ドット表示)も...

高解像度グラフィック表示、256色同時表示も実現

別売のカラーディスプレイテレビ(MZ-ID24標準価格128,000円)とつなげば、夢のあるビジュアルシーンが楽しめるスーパーインボーズも。また標準で640×400ドット(4色)、256色同時表示(320×200ドットモード)も実現しました。

FM音源、SSGで多彩なサウンド機能

音楽サウンド用シンセサイザーICとして、FM音源(8オクターブ3重和音)とSSG(8オクターブ3重和音)を搭載。合わせて6重和音の音楽演奏が可能です。

メインRAM128KB(最大256KB)、ビデオRAM64KB(最大128KB)標準装備

メインメモリは標準で128KB。最大256KBまで拡張でき、大量データ処理はもちろん大きなプログラムサイズの実務ソフトが使用でき、パソコンの応用範囲が広がります。

コンパクト大容量の3.5インチFD2基搭載

小型ながら大容量の640KB/基。大量のデータを扱うアプリケーションに対応します。フロッピーディスクの持ち運びや保存など、取り扱いも簡単です。

プロがすすめる「スーパーMZ」

一言でいえば、“使いこなされるのを待っているパソコン”といえるでしょうか。非常に欠点の少ないマシンですね。ハデさはないけど、使ってみると断然違う、たとえば日本語処理やBASICのスピードなんかがそうですが、本気で取り組もうというユーザーの立場で作られている感じがしますね。いわばパソコンの良心派、キミの腕次第で16ビットに迫る凄マシンにもなり得ますヨ。

ドクターパソコン 宮永 好道

さらにグレードを求める人へ、好評発売中。

MZ-2531

●640KB3.5"FD2基、ボイスレコーダ搭載
標準価格199,800円

●写真の14型カラーディスプレイ MZ-ID22標準価格108,000円は別売です。
また装備されているカセットテープは撮影用で、本体の付属品・市販品ではありません。



Oh!117

APRIL 1987

4



表紙絵: Nagasawa Shigeru

UNIXはAT&T BELL LABORATORIES
CP/M, P-CP/M, CP/M Plus, CP/M-86, CP/M-68K,
CP/M-8000, C-DOSはDIGITAL RESEARCH
XENIX, MS-DOS, Macro 80, MultiPlanはMICROSOFT
SONY FilerはSONY
MSX-DOSはアスキー
SI-OSはMULTISOLUTIONS
OS-9, OS-9/68000はMICROWARE
UCSD p-systemはカリフォルニア大学理事会
FLEXはTSC
Word Star, Word MasterはMICRO PRO
TURBO PASCAL, SidekickはBORLAND INTERNATIONAL
HuBASICはハドソンソフト
SUPER BASE, WIOSはキャリーラボの各メーカー
の登録商標です。その他プログラム名、CPU名
は一般に各メーカーの登録商標です。本文中では
"R", "TM"マークは明記していません。
本誌に掲載されたすべてのプログラムは著作権法
上、個人で使用するほかは無断複製することを禁
じられています。

CONTENTS

特集

肉体派への“BASIC”入門 41

プログラミングとはなにか 中川智哉 42

古くて新しいBASIC論 吉田幸一 44

ぜんまい仕掛けのプログラム 高原ひでき 50

プログラミング実況中継
7度デバッグして人を疑え 祝 一平 52

ないのなら移植してみよう 瀧山 孝 57

改造はアマチュアの醍醐味だ 泉 大介 63

大きく大きく大きくなあれ 小嶋 靖 69

チューンアップで整理整頓 栗野雅彦 75

機種別活用法
わが愛機, わがBASIC 佐藤 学 80

カラー紹介

X68000製品概要 18

私たちが育てていくマシン
製品スペックを見る

新スクランブル回路と充実の画像処理
カラーイメージボードII 24

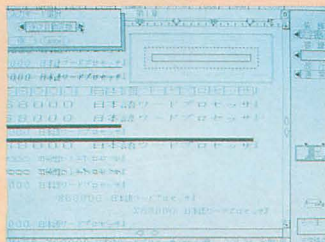
THE SOFTOUCH SPECIAL
1986年度GAME OF THE YEARはこれだ 26

シリーズ全機種共通システム

THE SENTINEL 121

INVADER GAME 松坂幹哉 122

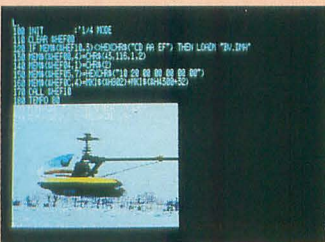
TANGERINE 片岡正博 134



X68000 日本語ワードプロセッサ



X68000 グラディウス



試験に出るX1



特集 肉体派への“BASIC”入門

読み物

第5回 知能機械概論——お茶目な計算機たち——

究極のエディタを求めて……………有田隆也 97

パソコン千夜一夜 第35夜

パソコンの新しい世界とRND関数……………峰岸順二 100

猫とコンピュータ 第22回

おサルのラッキョウ……………高沢恭子 104

Between The Lines No.8

本当の使いやすさは、まず内部の充実から……………勝本 信 108

THE SOFT TOUCH

SOFTWARE INFORMATION

話題のソフトウェア/新作ソフト情報……………158

GAME REVIEW

ディーヴァ/イミテーションシティ/トランシルバニアⅡ……………160

SPECIAL REVIEW

賢者の遺言/うっでい・ぽこ/

Samu Rai/スーパー春望Ⅱ……………162

講座/紹介/ゲーム/ビジネス/システム

試験に出る△▽▽ 第22回

カラーイメージボードなのである……………祝 一平 34

X1シリーズ用

拡張漢字BASIC……………安倍広多 84

マシン語体操1・2・3 Exercise 16

再びZ80の世界にご招待……………泉 大介 110

MZ-80B/B2版

グラフィックパッケージMAGIC……………緑川 健 143

パーソナルツール最前線

イメージ情報ステーションMZ-IV01……………栗野雅彦 177

電子手帳PA-7000・RX-X100/X5……………浅野恵造 180

Oh! MZ質問箱……………170

愛読者プレゼント……………172

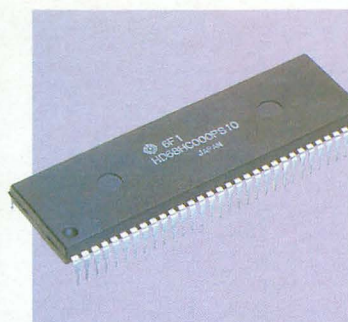
ペンギン情報コーナー/Again Watch……………173

STUDIO MZ……………184

FILES Oh! MZ……………188

編集室から/DRIVE ON/ごめんなさいのコーナー

SHIFT BREAK/microOdyssey……………190



68000 (開発: モトローラ 1979年)

15本の32ビット汎用レジスタ、リニアで
広大な16Mバイトのアドレス空間、スー
パーバイザ/ユーザーモード切り換えに
よるシステム/メモリ保護を特長とする
32ビット内部アーキテクチャをもつMPU。
8ビットデータバス版の68008もある。
NMOS (写真は日立製CMOS版)。内部
処理単位32ビット。ピン数64 (アドレス
バス24, データバス16)。論理/物理アド
レス空間16M/16Mバイト。基本命令数
56。クロック8MHz (68000-8), 10MHz
(68000-10), 12.5MHz (68000-12)。

■広告目次

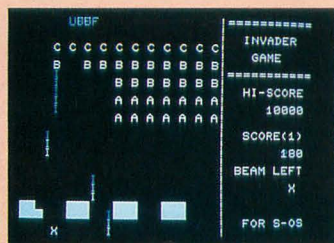
アイビット電子……………	197
アートディンク……………	14
EDC電子開発学園……………	198
WAVE EYE……………	200
OKハウス……………	208
光栄……………	17
サムシンググッド……………	13
J&P……………表3・204~207	
シャープ……………表2・表4・1~12	
シーレックスサングラス……………	199
九十九電機……………	201
ティーアンドイーソフト……………	15
パンフィックコンピュータバンク……………	202・203
ビー・エヌ・エヌ……………	195
日立マクセル……………	198
BLUE SKY……………	194
BASIC HOUSE……………	196
マイコンハウスSPS……………	16
ラウンドシステム研究所……………	193

《スタッフ》

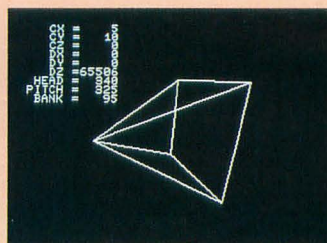
●編集長/安田千尋 ●副編集長/前田 徹 ●編集/土平章博 永野 仁 植
木章夫 石塚康世 北西宮子 三上之彦 ●協力/有田隆也 高野康一 西畑文
広 Itti Rittaporn 河本恭彦 清水和人 後藤貴行 林 一樹 斎藤 亮 近藤
弘幸 浅野恵造 工藤 誠 若原秀幸 小森 隆 挙市哲司 井本 泰 山田伸
一郎 堀内保秀 吉田幸一 佐藤 学 瀧山 孝 ●カメラ/杉山和美 斎藤郁
男 ●イラスト/永沢しげる 山田晴久 小栗由香 ●アートディレクター/中
島真子 ●レイアウト/CANART 元木昌子 渡部善光 ●校正/手塚喜美子
千野延明



拡張漢字BASIC



INVADER GAME



MZ-80B/B2版MAGIC



うっでい・ぽこ

SHARP



●本体+キーボード CZ-600CE 標準価格 369,000円 ●15型カラーディスプレイテレビ CZ-600DE 標準価格 129,800円 ●チルトスタンド CZ-6ST1 標準価格 5,800円

夢を、超えた。

既存のハードウェアの限界は、当然のことながら
コンピュータがし得る仕事の限界をも意味するものです。

アドバンストマニアが、
現存するパーソナルコンピュータの限界を
鋭敏に感じ始めたとしても、
むしろそれを当然と甘受せねばならない状況下に
今日そのものが置かれている事実——。

いま卓越したハードが要るのです。
私たちはハードウェアのトータルな見直しをはかる上で
まずCPUから、それもあえて時代を向こうにまわして

68000の良心を選びました。
そしてこのアーキテクチャにもとづいて
個人のツールとして限界ともいえるスペックを搭載。
数年来の夢が、さらにもっと未来までも包含されて
いま手の届くところに降りてきました。



パーソナルワークステーション
 **68000**

これはもうアートギア 先端のワークベン どんどん人に近づ せよ、もうパソコン

**実装密度を極限まで追求した
フォルム一新のマンハッタンシェイプ**
企画の段階で技術セクションに提示された
スペースが、まさにその時点での技術限界を
超えるものであったことは、完成された本機を
ご覧いただければ容易に想像がつくはずで
す。単に、スタイリッシュにフォルム一新、といっ
てしまえば簡単ですが、ここにはそうした言葉では
いい尽くせない、チップ技術をも含めた集積
技術、実装技術の確かな裏付けがあります。
初めての2万ゲートLSI、ハイスピードICを
はじめ10に及ぶカスタムICを開発搭載、本来
デスクサイドであるべきカタチをデスクトップ
にまで凝縮しました。しかもコンテンポラリーな
マンハッタンシェイプ。知的な、ハイレベルな
ユースにふさわしいシンプルでデザインです。

**広くリニアなアドレス空間
プロセッサの未来を先取した68000**
32ビット内部演算アーキテクチャ、汎用化さ
れたレジスタ、メモリアドレスリング16Mバイト、
強力なアドレッシングモード……マイクロプロ
セッサの未来そのものといわれる進化したアー
キテクチャをもつ68000を搭載。メモリ空間の
制約にしばられていたグラフィック処理にも新
たな次元をひらきます。8ビットの延長上の16
ビットではなく、その処理能力に明らかに桁の
違うプロセッサ。アドバンスドユーザーのクリ
エイティビリティに応える高度なシステム環境を
サポートします。クロックはハイスピード10M
Hz。現時点でのハードの在り方へのひとつの
解答として、私たちは68000の良心を選びました。

**2Mバイトの大容量メモリ、
先駆の独立3画面設計**
メインメモリは標準で1Mバイト、さらに内蔵で
1Mバイト拡張でき、最大12Mバイトまで拡
張可能な大容量設計。また68000のもつ広
大なアドレス空間を活かして、テキスト、グラ
フィック、スプライトの3画面を独立構造として
装備した独自のメモリアーキテクチャです。
文字、C.G.、キャラクタをプライオリティつきで

重ね合わせ表示する、
これまでもずかしかった
ビジュアル表現も造作
なくこなすハイパビリティ
が創造性を刺激せず
にはおきません。容量
も、テキスト用VRAM
512Kバイト、グラフィック
用VRAM512Kバイ
ト、スプライト用VRAM
32Kバイト、スタティック
RAM16Kバイトと、メイ
ンメモリと合わせて破
格の2Mバイト。より高
度なアプリケーションの可能性をひろげる大
容量を実装してクリエイティブユースに応えます。

**ビジュアルコントロールで思いど通りに、
フレンドリーOS搭載**
独自のハードウェアには独自のオペレーティン
グシステムが必要です。というよりこのX68000
に限っては、そうせざるを得ない特殊なハード環
境が存在します。本機に搭載された独自の
OSは、このマシンだけがもつ機能をすべて
サポートすることはもちろん、日本語化、ユー
ザーフレンドリー化への解答をも示す全く新
しいOSに仕上がっています。システムの起動
後のジョブ選択から操作まで、ほとんどの処理
をアイコンで表示し、マウスで選ぶ、ビジュアル
シェルのユーザー本位の使いやすいオペ
レーティング。また日本語入力フロントプロセッ
サのサポート……極論すれば、コマンドを
知らなくてもシステムが思いど通りに立ち上がる、
それほどまでのフレンドリネスを追求しました。

**連文節変換も、マルチフォントも、
日本人にふさわしい強力日本語処理**
JIS第1/第2水準漢字ROMの搭載はもちろん、
約60,000語に及ぶ強力な辞書を装備。
ここでも第2水準漢字がサポートされており、
人名・地名をはじめ漢字でなければ表現し
にくい熟語などもスムーズに表示できます。また

パーソナルワークステーション 68000

OS上のかな漢字変換ソフトウェアとして日本
語入力フロントプロセッサを採用。2文節最
長一致法という高度な構文解析にもとづいた
連文節変換を実現しています。文字フォントも
テキストビットマップを活かしたマルチフォント。
全角文字(24×24/16×16)、半角文字(12
×24/8×16)、1/4角文字(12×12/8×8ドッ
ト)が自在に駆使でき緻密な文書づくりに対応。

感性を刺激する驚異の表現力 高解像度自然色グラフィックス

●512ドット65,536色同時発色/クロームや
チタニウムに代表される高品位な金属の質
感、金・銀表現、人の眼に映る色や形状をほと
んどありのままに表現し得る自然色グラフィッ
クスが、これまでのC.G.イメージを一新します。ジャ
ギーの少ない高解像度、限界を超えて迫る色
表現。繊細な描画も立体表現も、本格C.G.に
要求されるハイレベルスペックを搭載しました。

●1024×1024の実画面エリアを装備した
高解像度表示能力/テキスト、グラフィックとも
に1024×1024ドットの実画面エリアをもち、最
大表示エリアは768×512ドット(65,536色中
16色指定可能)。専門分野にも対応できる表
示能力です。未表示エリアへのスクロールも自在、
画面エリアをフルに使用してその一部を表示す
るといったプロ感覚の表示処理も楽しめます。

とても呼びたい最 チだ。凄い能力が いてくる。いずれに とは呼びたくない。

本体+キーボード CZ-600CE 標準価格 369,000円

15型カラーディスプレイテレビ CZ-600DE 標準価格 129,800円

●未体験の動画が駆使できるスプライト機能

新開発のスプライトICを搭載、16×16ドットの緻密なキャラクタが1ドットごとのスムーズな動きで、512×512ドットの高解像度画面を縦横に疾走する。クリエイターの感性を刺激する新しい能力です。しかも最大表示は水平32スプライト、1画面128スプライト。色表示も65,536色中16色指定可能、まさにアニメーションと呼ぶにふさわしい興奮のシーンが展開されます。いま最先端のプログラム環境を。

●高解像度スーパーインポーズ/512×512ドット(インターレース方式)レベルのスーパーインポーズ。より高度な映像処理でプロフェッショナルなテクニックが駆使できます。さらにオーバースキャン機能の採用でスーパーインポーズによるテロップ文字の不自然な切れがなく、ビデオ編集もさらにグレードアップ。

●テキストビットマップによるフレキシブルな画面設計

独立したテキスト画面を装備するとともに、グラフィック同様のビットマップ方式を採用(65,536色中16色指定可能)。テキスト画面をグラフィック画面としても活用できます。しかも両画面の重ね合わせ表示もできるフレキシブルな画面構成を誇っています。多彩な文字フォントが使え、大きさも容易に変えられ、表示位置も自由に設定できます。

多彩にシンセサ ウンドをクリエイト 8重和音ステレオ FM音源搭載

ピアノやヴァイオリンなど楽器の音色から効果音まで、リアルなサウンドシーンをクリエイトできるステレオ8オクターブ8重和音FM音源を搭載。L・R2チャンネルのオーディオ出力によりダイナミックなステレオシンセサイザーサ

ウンドを手軽にコンピュータで楽しめます。

自然音をアプリケーションに活かせる サウンドデジタル記録AD PCM

肉声や臨場音、音楽までもAD PCMによりメモリやディスクに音声ファイルとしてもつことができます。抑揚のない機械音声ではなく人間の生の声、ギャラリーの歓声やため息、床のきしみ……などこれまで出せなかった原音に近い自然音が表現でき、ゲームデザインにはもちろん、C.G.や映像とアナログ音声をドッキングさせたり、CAIをはじめナレーションを必要とする分野への応用など、新世代サウンドアプリケーションの可能性をさらに広げます。

オートロード、オートイジェクト、 1Mバイト5" FDD2基搭載

高度なニーズに対応する1MBの5インチフロッピーディスクドライブを2基標準装備。すっきりとデザインアップされたドライブまわりにもご注目ください。ソフトコントロールイジェクトやディスクアクセス中の誤動作防止機構などインテリジェントな機能も多彩に装備されています。

操作のほとんどは手のひらで

狭い場所でも使えるマウス・トラックボール入力用デバイスとして、スイッチの切り換えて場所を選ばないトラックボールに早変わりする新開発のマウス・トラックボールを標準装

備。アイコンによる画面の指示に従って進める簡単操作です。さらにマウスでは、ボールカバーのスライドでカーソル移動の0~90°切り換えも可能。またポインティングボタンは上面のほか側面にも装備され、トラックボールとして手の内で操作する際にも非常に便利です。実使用を想定し、扱う立場に立って開発されたフレンドリーなデバイスに仕上がっています。

高度な機能を自在に使いこなす 充実のインターフェイス

高度な処理能力、そしてプロフェッショナルユースにふさわしいコンピュータとして、将来性まで考慮した多彩なインターフェイスを装備しています。ハードディスクやRS-232Cはもちろん、映像デジタル入力用インターフェイスとしてのイメージ入力端子、サウンドエンターテインメントを指向したオーディオ入出力、さらに将来性が見込まれる立体視端子など、新しい創造世界をひらく独自のインターフェイスを装備しました。

3モードオートスキャン方式

高精細カラーディスプレイテレビ(別売)

水平走査周波数 15kHz/24kHz/31kHzと、映像ソースに合わせて解像度モードを自動選択できる3つのディスプレイ機能とテレビ機能を1台に集約しました。マスクピッチは0.39mmの高解像度、映像情報を鮮明に再現します。またアナログ/デジタル2系統のRGB入力端子、映像/音声の入出力端子、モニター出力端子、19モード多機能リモコンも装備。鮮やかな色彩表現と高密度表示、豊富な機能でX68000の高性能をフルサポート。



SHARP

ビデオまで巻き込んだこの高感



▲写真は Model 30 です。

ジョystickつき

度、楽しみ方も違ってくるぞX1G。

コンピュータ画面をビデオ録画できる マルチビジュアル端子搭載

ビデオやビデオ入力端子つきテレビとダイレクトに接続、マルチビジュアル端子がパソコンシーンを鮮やかに彩ります。たとえばゲーム、腕にみがきをかけてついに達成したベストスコアや最終画面のクリアなど決定的瞬間、隠れキャラクター、ウラ技の確認、必勝プロセスもビデオに録れる。熱中できるジョイカードもついてゲームプレイもひと味違った楽しみ方が…。遊び心がグングン加速するみたい——。

映像処理も、サウンドも、通信も…… 先進機能にもうれしい対応。

テレビやビデオ、ビデオディスクの映像をカラー静止画で瞬時に取り込み、自在に修正加工。イメージ豊かなコンピュータグラフィックスが手軽に創れるカラーイメージボード。^{※1}多彩なシンセサイザーサウンド創りが楽しめるダイナミックなステレオタイプのFM音源。^{※2}さらに話題のネットワークにアクセスしたり、仲間同士でデータやメッセージ交換ができるパソコン通信^{※3}をサポート。さらにプロ指向のビデオ編集をめざすなら、スーパーインポーズ録画^{※4}によるオリジナルタイトルづくりも……。

X1Gならシステムアップ自在。キミに合わせて成長するぞ。

※1 カラーイメージボードCZ-8BV1 標準価格39,800円、さらに24ドット熱転写カラー漢字プリンタCZ-8PC1 標準価格69,800円と組めば鮮や

かに印刷できます。※2 ステレオタイプFM音源ボードCZ-8BS1 標準価格23,800円(スピーカー2本1組)標準装備・ミュージックツール<2D・5"FD版>同梱) ※3 モデムユニットCZ-8TM1 標準価格29,800円(通信ソフト<2D・5"FD版>・RS-232Cケーブル同梱) ※4 パーソナルテロップCZ-8DT2 標準価格44,800円いずれも別売です。

ひとりひとりのパソコンスタイル、 選べる3バリエーション。

本体はオーディオ機器とピッタリ組める横幅33cmの小型コンポサイズ、タテ・ヨコ自在だからレイアウトも多彩。ディスプレイは、専用ディスプレイテレビ、手軽な専用ディスプレイ、ビデオ入力端子つきテレビと選べる3バリエーション。Model 10、30合わせて6つの組み合わせが選べ、用途に応じたパソコンライフが楽しめます。

名機X1の系譜を受け継いだ優れた機能群

●X1シリーズの豊富なソフト資産が活用できるコンパチブル設計 ●高速ペイントなど多彩な強力グラフィック機能 ●122KバイトRAMなど余裕のメモリ空間(メインメモリ64Kバイト) ●入力、表示も簡単な漢字ユーティリティ(Model 10は漢字ROM CZ-8BK2 標準価格19,800円が必要で) ●JIS第1水準漢字ROM内蔵(Model 30) ●8オクターブ3重和音のサウンドゼネレータ ●FORTRANやCOBOLなど各種高級言語が使用可能 ●将来の発展に備え、拡張I/Oポートを2ポート内蔵 ●日付・時刻表示、テレビ番組を7つまで予約できるカレンダーつきタイマー ●操作しやすいセパレートタイプの薄型キーボード(角度調整用スタンドつき)

※別売CP/Mが必要で。CP/Mは米国デジタルリサーチ社の登録商標です)

X1の高性能がこんなに身近に。

パソコンテレビ

X1G

Model 30(ミニフロッピーディスクドライブ2ドライブ内蔵) パーソナルコンピュータ+キーボード CZ-822C(B・E)…標準価格118,000円
Model 10(高速電磁メカカセットレコーダ内蔵) パーソナルコンピュータ+キーボード CZ-820C(B・E)…標準価格 69,800円
■14型カラーディスプレイテレビ CZ-820D(B・E) 標準価格79,800円 ■14型カラーディスプレイ CU-14G(B・E)…標準価格 49,800円

●品番中の()表示は、B<ブラック>・E<オフホワイト>を示します

サウンド・アートも、通信も、

ハードの機能をフルに活かした

オリジナルソフトがせい揃い



シャープオリジナルソフトウェア



turbo Z'S STAFF



X1ターボシリーズの優れたグラフィック機能を存分に発揮させる待望の本格グラフィックツールです。カラーイメージボード、スーパーインポーズなどの独自機能にも対応。ペン・ブラシ・ペイント・パレット・拡大縮小など多彩な作画機能、各種文字フォント(標準・斜体・緑どり・影つき・下線・サイズ)を装備。キーボードはもちろんマウスやジョイスティックによる簡易入力も可能です。400ラインモード対応。

■2D・5"FD版 CZ-137SF 標準価格19,800円

NEW X1Z'S STAFF

ターボ・ジョーズスタッフの高機能がX1でも…ユーザー待望のC.G.ツール。もう、ブラウン管をキャンバスがわりに思う存分アートする、クリエイティブなグラフィックの世界がどんどんひろがります。日本語入力にも対応。

■2D・5"FD版 CZ-138SF 標準価格 13,800円

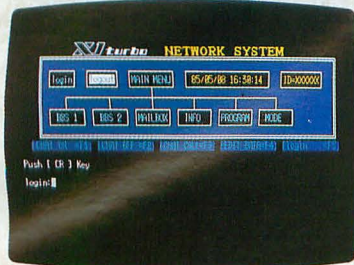
NEW turbo グラフィックライブラリー



Z'S STAFFや娯楽画ターボ、娯楽画で使用可能なデータ集です。3枚のディスクの中には、年賀状、クリスマスカードをはじめ利用価値の高いイラストやPOP文字がデータとしてつまっています。入力はキーボード、マウス、ジョイスティックをサポート。X1ターボシリーズのグラフィック世界がさらにひろがります。

■2D・5"FD版 CZ-140SF 標準価格9,800円

turbo シリーズ用 コスモステーション



X1ターボシリーズをホストマシンとしてホスト局を運営するためのソフトウェアです。パソコン通信に新しい分野をひらく「パソコン通信」、既に全国各地で大小さまざまなネットワークが展開され、参加者も増加の一途をたっています。コスモステーションは、そうしたアクセスするだけの通信ではなく、あなたのターボをホスト局に、あなたの住む街でBBSや電子メールなど、パソコン仲間が気軽に話せるミニ通信基地を築くためのソフトです。

▶ホスト局開設に必要なシステム

- X1turbo モデル30、X1turbo II、X1turbo III、X1turbo Zのいずれか
- モデムまたはモデムホン(CZ-8TM1他6機種対応)
- 公衆電話回線(1回線)
- コスモステーション
- プリンタ(必要に応じて)

■「コスモステーション」によるホスト局仕様概要

システム仕様	2D・FDシステム	2HD・FDシステム	HDシステム
登録会員数	70人	128人	299人
メールボックス数	70	128	299
メール量	4,000文字	4,000文字	12,000文字
BBS1保存期間	10日	30日	30日
BBS2タイトル数	10タイトル	60タイトル	125タイトル
インフォメーション数	15ファイル	60ファイル	225ファイル
プログラム数	5ファイル	60ファイル	125ファイル

- X1turboモデル30、X1turbo IIでの2HD・FDシステムにはフロッピーディスクユニット CZ-520Fが必要です。
- HDシステムにはハードディスクユニット CZ-500Hが必要です。

■2D・5"FD版 CZ-136SF 標準価格9,800円

turbo シリーズ用 モデムターミナル

モデムボードを同梱していますので、家庭でご利用中の電話に接続するだけで手軽にパソコン通信が楽しめます。各種ネットワークにも簡単にアクセス。またX1turboシリーズユーザーによるBBSネットワークも構築できます。

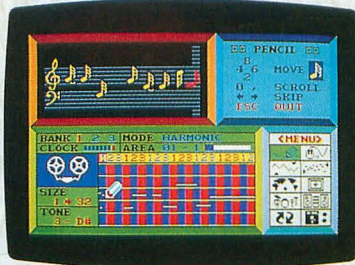
■2D・5"FD版 CZ-133SF 標準価格25,800円
(モデムボード付)

turbo シリーズ用 turboターミナル

各種ネットワークにアクセスしたり、パソコン通信(漢字対応)がスピーディに楽しめる通信ソフトです。

- ※公衆回線を使って通信する場合、モデム付電話か音響カプラが必要です。
 - 別売RS-232Cケーブル CZ-8LM1(平行接続型) CZ-8LM2(クロス接続型)各標準価格7,200円
- 2D・5"FD版 CZ-131SF 標準価格8,800円

NEW turbo シリーズ用 ミュージッククリエイター



ミュージッククリエイター「ミュージックピア」は、楽符を見ながら音符を入力していくという従来のミュージックツールとは異なり、マウス、ジョイスティックやキーボードを使ってパソコンを楽器に変えて演奏が楽しめるユニークなソフトです。五線紙ではなく、音の高低・長短を書き込んだグラフをもとに自動演奏。音符が苦手な人でも、画面を見ながらの簡単操作で作曲演奏が楽しめます。FM音源を強力にサポートした新しいミュージックシーンが体験できます。

●ワールド・マップモードでは、画面に世界地図が表示され、世界各地の民族音楽や代表的音楽ジャンルのデータ21個の中からセレクトして演奏できます。

●リズムもグラフ入力で行い、編曲の理論を知らなくても独自の編曲が可能です。

※ご利用に際してはターボZを除いてFM音源ボード(CZ-8BS1)が必要です。

■2D・5"FD版 CZ-139SF 標準価格12,800円

X1 LOGO

人工知能言語として注目を集めているLOGOがX1シリーズで走ります。基本的なLOGOの機能に加え、サウンド、マルチタイトル機能をサポート。使いやすいBASICライクなスクリーンエディット機能やリスト処理機能も備えています。

■2D・5"FD版 CZ-134SF 標準価格9,800円

turbo シリーズ用 turbo LOGO(漢字版)

プロシジャー名や変数名の他、ワードやリストの中でも漢字が使えます。また本格活用に耐えるスピードとワード数(約5,000)を確保。マルチタイトル、シェイプ、マウス、音楽機能もついた多機能ぶりです。あなたの知的創造の世界がさらに広がります。

■2D・5"FD版 CZ-117SF 標準価格18,800円

Multiplan™

表計算型ソフトの決定版として高い評価を得ているビジネスツールです。計算・作表のための豊富な機能に加えて、扱いやすいコマンドメニュー方式、高度な日本語処理など、高機能と使いやすさを実現。単純な集計表から高度な経営シミュレーションまでオフィスワークの効率化が図れます。

●このソフトの使用にあたっては2D・5"FDが2基必要です。※Multiplanは米国マイクロソフト社の登録商標です。

■2D・5"FD版 CZ-127MF 標準価格49,800円

turbo CP/M® V2.2(漢字版)

X1ターボ特有のハードをサポートするとともに、ビジネスユースに欠かせない日本語処理機能も付加。WORD MASTER™も搭載。

■2D・5"FD版 CZ-130SF 標準価格14,800円

ランゲージシリーズ

■各2D・5"FD版 各標準価格13,800円

科学技術計算の分野に適した高級言語

FORTAN (CZ-115LF)

いま熱い視線を集めるC言語

C (CZ-116LF)

事務分野で威力を発揮する伝統の言語

COBOL (CZ-118LF)

話題の人工知能言語

PROLOG (CZ-119LF)

人工知能研究の中心的言語

LISP (CZ-120LF)

拡張性に優れたスクリーンエディット型言語

FORTH (CZ-121LF)

系統的プログラミング設計に適した言語

PASCAL (CZ-125LF)

文法が明快な数学的プログラミング言語

APL (CZ-126LF)

ランゲージマスター(CP/M®)

■2D・5"FD版 CZ-128SF 標準価格9,800円

ランゲージシリーズの使用にあたっては、CZ-130SF、CZ-128SF、またはCZ-5CPMが必要です。CP/Mは米国デジタルリサーチ社の登録商標です。WORD MASTERは米国マイクロプロ社の登録商標です。

シリーズ用

NEW BASIC(Version 2.0)

■カセット版 CZ-112SF 標準価格7,800円

■2D・3"FD版 CZ-113SF 標準価格8,800円

■2D・5"FD版 CZ-124SF 標準価格8,800円

8重和音、ステレオサウンドのFM方式でリアルな音づくりに挑戦!



スピーカ(2本1組)標準装備、ミュージックツールも同梱。ピアノやバイオリンなどの楽器音から効果音まで、200音色もの多彩なシンセサイザーサウンドが楽しめます。すべてFM音源で8音まで同時発音、またR、Lの2チャンネルオーディオ出力によりダイナミックサウンドのステレオ効果が楽しめます。

NEW ステレオタイプFM音源ボード

CZ-8BS1.....標準価格 23,800円

〈スピーカ(2本1組)標準装備、ミュージックツール(2D・5"FD版)同梱〉

〈ミュージックツールの内訳〉①音色づくりを楽しむサウンドエディタ
②曲づくりのためのミュージックエディタ③作った曲の演奏を楽しむプレイヤー④演奏データをBASICで使えるように変換するリンカー

イメージ豊かなコンピュータグラフィックス、映像処理でアートに挑戦!

テレビ・ビデオ映像をカラー静止画に.....。

カラーイメージボード

CZ-8BV1.....標準価格 39,800円

●画像処理ツール、およびグラフィックソフト「嬉楽画」・「楽々ぼっぼ漢字」を同梱。取り込んだ画像を自在に修正・加工できます。

C.G.のハードコピーもワープロの美文書も.....。

NEW 熱転写カラー漢字プリンタ

CZ-8PC1.....標準価格 69,800円

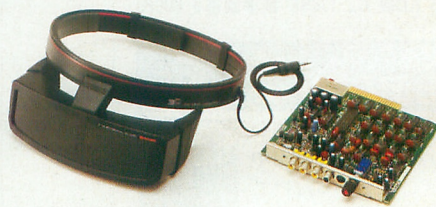
●信号ケーブル同梱。●JIS第2水準漢字ROM(CZ-8PC1-3・標準価格 9,800円)

パソコンで初めて立体映像を実現.....。

NEW 立体映像セット

CZ-8BR1.....標準価格 29,800円

X1/X1ターボシリーズと組み合わせて迫力あるフルカラー立体映像が手軽に楽しめます。立体作画ソフトも装備。立体エアチェックやイメージ処理も。



システムづくりに応える多彩な周辺機器群 (価格は標準価格)

プリンタ

●24ピン漢字プリンタ(80桁)	CZ-8PK5	129,000円
●24ピン漢字プリンタ(136桁)	CZ-8PK6	159,000円
●24ピン漢字プリンタ(136桁)	CZ-8PK3	189,000円
●24ピン漢字プリンタ(80桁)	CZ-8PK4	158,000円
●漢字プリンタ	CZ-8PK2	134,800円
●ドットプリンタ	CZ-8PD3	59,800円
●カラープロッタプリンタ	CZ-8PP2(S・R)	54,800円
●第2水準漢字ROM※1	CZ-8PK3-2	15,000円

ファイル装置

●ミニフロッピーディスクユニット(2HD・2DD)※2	CZ-520F	118,000円
●ミニフロッピーディスクユニット(2D)	CZ-502F	99,800円
●ミニフロッピーディスクユニット(2D・1Fタイプ)	CZ-503F	49,800円
●コンパクトフロッピーディスクユニット(2D)	CZ-300F(S・R)	79,800円
●増設用フロッピーディスクドライブ(2D)※3	CZ-51F	39,800円

●増設用フロッピーディスクドライブ(2D)※4	CZ-52F(E・R)	34,800円
●増設用フロッピーディスクドライブ(2D)※5	CZ-31F(S・R)	59,800円
●ハードディスクユニット	CZ-500H	348,000円
●カセットデータレコーダ	CZ-8RL1	24,800円
●ミニフロッピーディスク	CZ-5M2D/CZ-5M2HD (各10枚入)	

ビデオ編集装置

●パーソナルデロップ	CZ-8DT2	44,800円
●デジタルテロップ	CZ-8DT	89,800円
●ビデオマルチプロセッサ	CZ-8VP1	59,800円

拡張ボード・その他

●320KB外部メモリ	CZ-8BE2	29,800円
●ユニバーサルI/Oボード	CZ-8UI	14,800円
●ROM BASICボード※6	CZ-8RB	19,800円
●RS-232Cボード	CZ-8RS	29,800円

●RS-232C・マウスボード※7	CZ-8BM2	19,800円
●JIS第1水準漢字ROM※8	CZ-8BK2	19,800円
●JIS第2水準漢字ROM※9	CZ-8BK4	6,800円
●JIS第2水準漢字ROM&ターボ博士レキシコン・日本語百科ワードパワー※10	CZ-8BK3	13,800円
●フロッピーディスクインターフェイス※11	CZ-8B01	14,800円
●フロッピーディスクインターフェイス※12	CZ-8BF1	14,800円
●グラフィックRAMボード※13	CZ-8BR2	14,800円
●RS-232C用ケーブル(平行接続型)	CZ-8LM1	7,200円
●RS-232C用ケーブル(クロス接続型)	CZ-8LM2	7,200円
●拡張I/Oポート※14	CZ-8EP	11,800円
●拡張I/Oボックス	CZ-8EB3	33,800円
●拡張I/Oボード※15	CZ-8BE1	6,000円
●RFビデオコンバータ※16	CZ-8VC	15,800円
●モデムユニット(300ボー)	CZ-8TM1	29,800円
●モデムユニット(300/1200ボー自動切替)	CZ-8TM2	49,800円

★品番中の()表示は、S<メタリックシルバ>・R<ローズレッド>・E<オフィスグレー>を示します。※1 CZ-8PK3、8PK4用 ※2 X1ターボシリーズ用 ※3 CZ-851C用 ※4 CZ-812C用 ※5 CZ-802C、300F用 ※6 X1シリーズ用BASIC V1.0 ※7 X1シリーズ用 ※8 CZ-802C、803C、811C、820C用 ※9 CZ-856C用 ※10 CZ-850C、851C、852C、862C用 ※11 CZ-803C、804C、811C、820CでCZ-300Fを使用する場合に必要 ※12 CZ-850CでCZ-520Fを使用する場合、またCZ-803C、804C、811C、820C、850CでCZ-300Fを使用する場合に必要 ※13 CZ-850C用 ※14 CZ-800C、802C用 ※15 拡張I/OボックスCZ-81EBを使用する場合に必要 ※16 CZ-862Cには接続できません。●接続等の詳細については、周辺機器総合カタログをご参照ください。

本物かどうかが
超多機能の条件。



SGソフトウェアライブラリー

16ビット用最新、自動・一括/連文節変換システムKatana(刀)の完全移植。143万種にも及ぶ多彩な文字表現^{*1}。本格的データベース、表計算機能搭載。16ビットワープロソフト、データベースソフトなどMS-DOS上で動くソフトとのデータ互換^{*2}。その他すべての機能が16ビット用に開発されたパーツ群により構成。フルスペックでなおかつ超高速。

*1. 文字サイズ・文字種・文字の位置・網かけ・下線・カラー設定の組み合わせによる計算。*2. MS-DOSとのデータ交換は2HD版のみ。*MS-DOSはマイクロソフト社の登録商標です。

Katana(刀)が自動・一括・連文節変換実現。

サムシンググッドが16ビット機上で開発した変換システムKatana(刀)を8ビット機用にコンバート。8ビットで初めて自動変換・一括変換・連文節変換を可能にしました。右の写真のような文章も一気に漢字かなまじり文に変換します。

しかもKatana(刀)の大きな特長は、品詞分類のきめ細かさ、独自の評価点数法を確立したこと。品詞をこれまでの倍以上(当社比)に分類し、かつ文節と

文節のつながり方の妥当性を評価点によって判定することにより、既存の16ビットワープロソフトにも勝る高い変換効率を誇ります。

●こんな文章も一発で変換可能です。

ちようたきのうの「ちよう」とはぶるふえつしよなるにしようじゅんをあわせ、ぶるふえつしよなるものもとめるきのうをすべてふるさば一としたということです。

超多機能の「超」とはプロフェッショナルに照準を合わせ、プロフェッショナルの求める機能をすべてフルサポートしたということです。

カード型データベース機能、表計算機能搭載。

住所録、名刺管理、カセットライブラリーなど使いみちタップリのデータベースと、行内・列内・行間・列間と多彩な計算が可能な表計算機能を搭載。

品名	単価	数量	金額
りんご	120	10	1200
バナナ	80	15	1200
みかん	100	10	1000
梨	150	5	750
合計			4150

他の追従を許さぬ文字表現力。

文字のサイズは、1/4角から横4倍縦2倍角まで15種類。すべてのサイズの文字を、強調文字、白黒反転文字、斜体文字、袋文字に変換することが可能。これらの機能は、漢字・かな・記号など文字の種類を問いません。

多様な用紙への印刷が可能です。

はがき、原稿用紙、タックシールへの印刷を簡単に行うために専用の用紙設定を用意いたしました。

超多機能日本語ワープロ

Shogun

SHARP X1 turbo III / Z 専用2HD版
SHARP X1 turbo シリーズ対応2D版

*本商品はX1ではお使いいただけません。あらかじめご了承ください。

2D版、2HD版ともに **¥34,800**

(将軍)



人を大切にするテクノロジー
株式会社 サムシンググッド

〒160 東京都新宿区大久保2-5-20 ティアラ新宿3F TEL 03(232)0801(代表)

*資料のご請求は右の券を切り取り上記の弊社営業部宛までお送りください。カタログ等でき次第お送りいたします。

近日
発売予定

資料請求券
On/1M2
4月号

*Shogun(将軍)の画面デザイン・仕様等は改良を目的に予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。
*Shogun(将軍)は、フロッピーの種類およびハードウェアのメモリ容量によって機能に違いがあります。あらかじめご了承ください。
(既戦力)X1turboシリーズ用をお使いの方はShogun(将軍)へのシステムアップサービスがございます。くわしくは弊社営業部までお問い合わせください。

インテリジェンス

知性は西へ

はじめ、大地には何もなかった。

人は荒野を開拓し、民衆はレールウェイを西へと向かった。

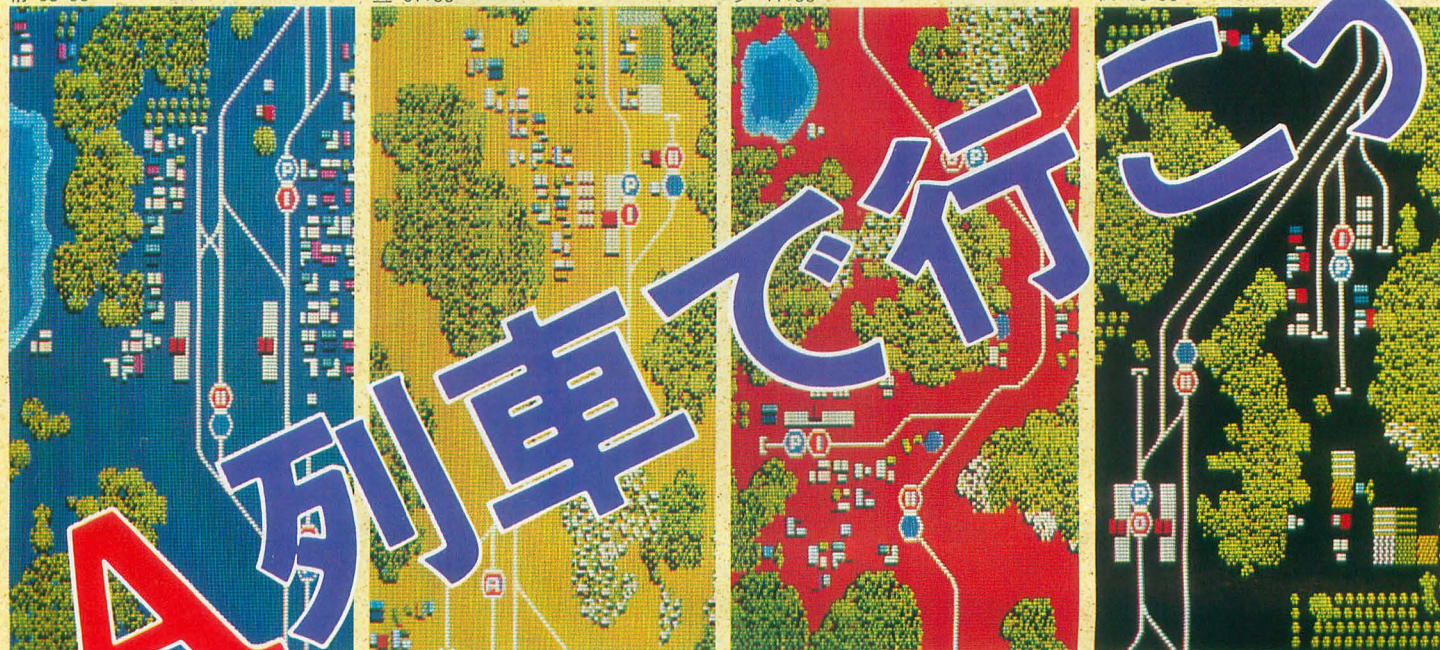
知性で駆ける、アーリーアメリカンスピリッツ。

朝 05:00

昼 07:00

夕 17:00

夜 19:00



本格的鉄道シミュレーションゲーム

「A列車で行こう」はマネジメントゲームでもあり、パズルゲームでもあり、ちょっぴりアクションゲームでもある。いや、これはまさしく、シミュレーションゲームなのだ。いったいこんなゲームを何て呼べばいいのだろう。

4台ある旅客列車と2台ある貨物列車を無事に運行すべく、線路を引き、駅を作り、各駅での列車のダイヤを設定し、ポイントを切り換える。それが君に与えられた仕事だ。コンピュータは、人口の移動などのグローバルな動きを逐一計算していく。

大地には最初、何も無い。列車が走るためのレールは君が位置を決めて引いていかなければならない。方法はまったく自由だ。最初はどうしても戸惑うし、確かに難しい。しかしこの難しさはやがて、頭脳をフル回転したあとの、あの爽快感にかわっていくに違いない。

ARTDINKはフロンティア・スピリッツ、だから君とうまが合う。



FM-7/NEW 7/77/AV20-40

ディスク5"2D/3.5"2D ¥7,800

TAPE ¥6,800

PC-8801/mkII/SR/FR/MR/TR/FH/MH

ディスク5"2D ¥7,800

AVturbo/II/III

ディスク5"2D ¥7,800

model10では、グラフィックRAMボード(CZ-8BGR2)が、必要です。

お求めは、お近くのパソコンショップ、
または現金書留にて(送料サービス)

ARTDINK

株式会社 アートディンク

〒275 習志野市津田沼2-11-20-303
TEL0474-77-7541 FAX0474-78-6280

DAIWA

ACTIVE SIMULATION WAR

ティンダー

X1シリーズ版 5"2D2枚組 ¥7,800

発売中!

戦略シーン



- 1 左のスクリーンには星系マップと各種情報
2 左下はサブコマンド
3 右のウィンドウはコマンド表示
4 右上の窓はマウトレーア層の年月

惑星戦シーン



リアルタイムシーンです。ドライビング・アーマーを操り、ビーム砲を乱射して敵防衛軍を攻撃して下さい。惑星防衛軍を破壊すれば、惑星は占領できます。

艦隊戦シーン



スクリーン左半分に自軍の艦隊、右半分に敵艦隊が表示されます。自軍の戦力及び防御力を充分考慮し、艦を配置して下さい。敵軍はコンピュータが判断して配置します。

アクティブ シミュレーション ウォーとは

- ★シミュレーションウォーゲームをアクション化した、ニュータイプのゲーム。
- ★二人での同時プレイが可能。
- ★ストーリーは宇宙を舞台とした7つのサブストーリーから成り、それぞれが7機種に割り当てられ、ティンダーという一つの大きなストーリーを形造っている。そのため、各機種のゲーム内容(画面を含む)も部分的に異なり、各機種の特徴を十分に生かしたものととなります。
- ★パスワードによる各機種間の完全データ交換を実現(ファミコンを含む)。これにより、自分の戦力をパスワードの形で持ち出して別の機種に入り込み、2人同時プレイが可能です。
- ★アトベンチャーゲームの要素を持ち、何でもゲームをするうちにストーリーの全画面が明らかになってきます。

MOVIE SPACE SHOOTING GAME



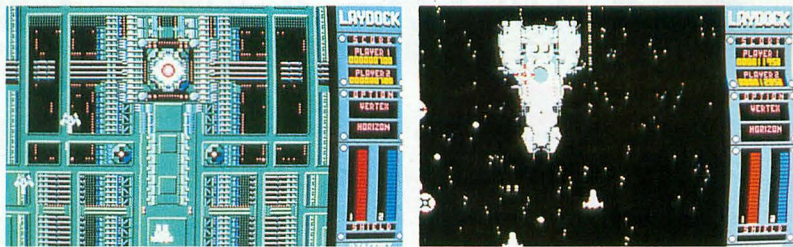
MZ-2500/V2発売中!

MZ版の特徴

- ①インフォメーションボードを画面右側に新設。得点等を常時表示。
②B.G.M.にはFM音源を使用し、シーン毎に異なる約10曲を挿入。

- フルグラフィックス72画面分の背景が、ドット単位のスムーズスクロール。(画面数は機種により少し異なります)
- 2人で遊べます。共同で出撃。合体は縦・横2種類でさらに強力。(もちろん1人でも遊べます)
- 毎回の得点とは別に、プレイする程向上する実力をレベルとして表示。
- 敵は約50種、巨大戦艦登場。合体時の武器は、誘導ミサイル・マルチバルカン砲他 多数。

MZ-2500/V2.....3.5"2D版2枚組 ¥6,800



●表記のソフトウェアプログラムとマニュアルは、当社が制作・開発した著作物です。レンタルや無断コピーを行なうと、著作権法により厳しく処罰されます。当社はソフトレンタルに対する許可は一切しておりませんのでご注意ください。

- 通信販売ご希望の方は現金書留で料金と商品名・機種名・電話番号を明記の上、当社宛にお送りください。(送料サービス・速達希望の方は300円プラス)
- マガジンNo.12ご希望の方は、100円切手2枚(200円分)を同封の上請求券をお送りください。(本書での請求はお断り致します)
- 87年カタログご希望の方は、100円切手同封の上、カタログ請求券をお送りください。(本書での請求はお断り致します)

テレフォンサービス名古屋(052)776-8500



ホームエンターテインメントの未来を拓く

T&E SOFT INC.

製造・販売 株式会社ティンダーソフト

〒465 名古屋市名東区豊が丘1810番地 PHONE:052-773-7770

T&Eマガジン
No.12請求券
Oh!MZ4月号
'87年カタログ
請求券
Oh!MZ4月号

満月の夜は

ゾディアックプレートに秘められた謎とは?



背後に注意

古代バビロニアの伝説が今、明かされる。



城の直前まで来た。目の前にあるのは噴水か?



やっと知りあえた少女とともに。吊り天井が落ちてくる!



ゲゲッ/首なし死体が襲いかかってくる/ウーッこんなじゃあ命がいくつあっても足りないよ!!



やっと上への通路発見。しかし行く先には異様な像が……………。

HIGH QUALITY SOFTWARE GAME

ReBirth

上の狼はハッキリ言って(前座)です

画面写真はX-1Turbo

PC-9801シリーズ発売開始

オリジナルイラストレーションと実写のハイ・クオリティグラフィックスそしてゲームを忘れるほどのセンシティブなサウンド!

恐怖とスリルをテーマにのせて…FM音源対応

(PCはSR以降、X-1はCZ-8BS1、MZ2500・FMシリーズ、PC98シリーズ)

全機種
テンキーとスペースキー
だけでゲームができる!
ジョイスティック対応



すごい!
SPS-NET
ついに6回線

SPSはもちろん、キャリアラボ、マイクロキャビンの
新型ソフト情報もどっさり!
さっそくアクセスしよう。
TEL (0245) 46-1167

まじめに将棋の勉強を、という方へ。

機種	シリーズ	価格
GS 101	X-1/turbo	¥6,500
GS 102	PC-8801	¥4,500
GS 103	MZ-2500	¥6,500
GS 104	FMシリーズ	¥4,500
GS 105	FMシリーズ	¥4,500
GS 106	PC-9801	¥6,500
GS 107	PC-9801	¥7,000

またへい
棋太平

本格将棋

リ・バースは1Mバイトをこえる超大作だ!!

機種	シリーズ	価格	全機種 カラーモニター フロッピーディスク ドライブ(2ドライブ) 漢字ROMが必要で す。
GS 101	X-1/turbo	5"2D 4枚組	¥7,800
GS 102	PC-8801	5"2D 4枚組	
GS 103	MZ-2500	3.5"2DD 2枚組	
GS 104	FMシリーズ	3.5"2D 4枚組	
GS 105	FMシリーズ	5"2D 4枚組	
GS 106	PC-9801	3.5"2DD 2枚組	
GS 107	PC-9801	5"2DD 2枚組	

当社の製品は全国の有名デパート、パソコンショップでお求めになれます。尚、お求めにれない場合、郵便局にてお申し込みください。●口座番号 郡山5-12298 ●加入者名 株式会社エスピーエス ●金額 代金合計 ●通信欄(裏面)ご希望ゲームソフト名、数量、代金合計、年齢、氏名、機種名、テープカセット、(一週間以上かかりま

パートナーショップ
キャリアラボ マイクロキャビン

Create New-Entertainment

信長の野望

全・国・版

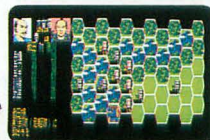
五十有余の群雄が割拠する戦国乱世。東北には伊達、越後に上杉、関東に北条、甲斐に武田、駿河に今川、三河に徳川、中国に毛利、四国に長宗我部、九州に島津、そして尾張には「天下布武」を旗印に天下統一を夢みる織田信長があった。今、貴方は下剋上の乱世に身を投じ、天下統一を果たさなければならない! 数々のドラマを秘めた武将たちの壮大な歴史叙情詩が今、始まる。



- 50名の大名から好きな人物を選択
 - 8人まで遊べるマルチプレイ方式
 - 大名名を自分の名前などに変更可能
 - オール漢字表示
 - 全国地図、地方別など8種類のマップ
 - 17ヶ国、50ヶ国モード選択可能
- X-1(5") 9,800円
MZ2500(3.5")9,800円(4月末発売予定)

＜商品構成＞

- 5FD 2枚組9,800円
- 戦国兵法書(マニュアル)
- 覇者への道(シブサワ・コウ著)
- 戦国武将列伝(年表付)
- 戦国地図(白地図付)



テレホンサービス

横浜 ☎044-61-1100

高松 ☎0878-37-0069

KOEIの最新情報などをテープでお知らせします。



シブサワ・コウ、歴史三部作!!

歴・史・を・創・る

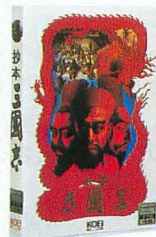
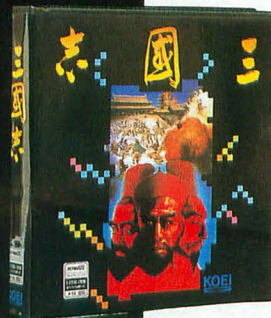
三國志

1800年前の中国。魏・呉・蜀の知将、猛将達が知略のかぎりをつし、広大な大地を統治せんと戦った。250名の登場人物が織りなす壮大

なドラマ。中国全土を統一するのは貴方だ。

X-1(5"×2)14,800円
X-1ターボ(5"×3)14,800円
MZ2500(3.5")14,800円
(絶賛発売中)

- シナリオ5編
- 8人までプレイ可能
- 三国志物語付



抄本三国志(三国志ダイジェスト版)

1ドライブでもプレイができる!

お手軽なお値段で今最高のお楽しみ!

- X-1(5")8,800円
- シナリオ1編
- 1人プレイ専用
- コマンド数「三国志」の2/3
- 入門用に最適



信長の野望

熊本県全小学校納入指定ソフト

史上最高のロングセラー「信長の野望」を知らずして、シミュレーションは語れない。



X-1(T)4,500円 X-1(5")6,800円 MZ1500(QD)5,800円
MZ2500(3.5")7,800円



蒼き狼と白き牝鹿

たった5名の家族を200万の大騎馬軍団に育てた史上最大の征服者、ジンギス汗。シブサワ・コウが、戦略ゲームで史実をここに再現。



X-1ターボ(5")7,800円 MZ-2500(3.5")8,800円

X68000

私たちが育てていくマシン

X68000は最近のやや沈滞したパソコン界にX1グループが仕掛けた爆弾である。ソフトウェア/マニュアルもほぼ完成したいま、これまでに紹介してきた情報も含めてX68000というマシンの意味を考えてみよう。

夢と比較されるマシン

X68000がエレクトロニクスショウに参考出品されて5カ月、その間Oh!MZを含め毎月のように各パソコン雑誌に速報・紹介記事が掲載されてきましたが、それらの多くに共通して感じられたことがあります。意識してか無意識なのかはわかりませんが、筆者の多くがX68000を自分の“欲しいマシン”と比べていたということです。

期待どおりのグラフィック能力に満足したり、予想だにしていなかったサウンド機能に驚嘆したり、希望にかなわなかった部分があるとそれを実現しているマシンがあるうがなかろうがおかまいなしに不満を述べてみたり、あるいは現状に満足している人は「こんな機能いらないんじゃないか」と興ざめなことをいってみたり。X68000は、その人の“夢”を映す鏡なのです。

こんなパーソナルコンピュータがこれまであったでしょうか。特に最近の新製品が出たときも8ビット機は他の8ビット機と、16ビット機はいやがおうでもPC-9800シリーズと、そしてPC-9800シリーズは9800シリーズ自身としか比較されなかったのではないのでしょうか。X68000は“夢と張り合える初めてのマシン”といえるのです。

ハードウェアはポテンシャル

X68000は「家庭向け、個人向けの汎用パーソナルコンピュータ」であり（パーソナルコンピュータは本来、家庭向け・個人向け・汎用の意味を含んでいるのですが、あえてこう表記しなければならないところに問題がある）、「ハードウェアはできるかぎりの機能をもっていなければならない」ということで設計されています。ここで、「汎用」とは「やりたいと思ったことができる」ことを意味します。「ひととおりのことはそれなりにこなす」というメーカーの“逃げ”ではありません。そこにX68000のハー

ドウェア設計の真価があります。

たとえば、「ゲームがやりたい」と思えばアーケードゲームとまったく同じまたはそれ以上のゲームができる、「映像処理をしたい」と思えばビデオディスクに勝るとも劣らない高品位グラフィックが扱える、「データ処理をしたい」場合は豊富なメモリとマウスによる高度なオペレーションができる、「本格的なプログラム開発をしたい」ときも大容量メモリと、もし必要ならばケーブル1本でハードディスクにつながる。そういったことが可能となるだけのハードウェアをもっています。

しかも、それらをオプションにしてお茶を濁すようなことはせずに、できるかぎり標準装備にしています。これもまた重要なところで。ソフトハウスがソフトを作るときに「使いたいな」と思った機能でも、なまじオプションになっているとどうしても二の足を踏んでしまい、結果的にその機能そのものが埋もれてしまうことがよくあります。そういったことを考えてスペック表を見てみると、これだけのものをすべて標準で盛り込んだ理由がわかるでしょう。これらはソフトハウスに対する「全部使えますよ」という宣言でもあるのです。

ハードウェアとはマシンのポテンシャル（可能性）です。どんなソフトウェアでもそれを超えるような機能を発揮させることはできません。また、高性能なハードウェア（およびシステムソフトウェア）には初めから高度なアプリケーションが期待できます。つまり、ハードウェアはメーカーが用意する最初の、そしてもっとも重要なユーザーインタフェースといえるのです。

Human68kとその周辺

X68000に標準添付されるソフトウェアは、Human68k、ED、X-BASIC、日本語ワードプロセッサ、辞書ディスク保守ユーティリティ、そしてグラディウスです。

まず、Human68kというのはご存じのと

おりX68000のオペレーティングシステムで、ハードウェアとアプリケーションの間に立って、全体の機能をコントロールします。そういった基本的な処理ルーチンの集まりがHuman68kのBIOS（Basic Input Output System:基本入出力システム）で、アプリケーションからはファンクションコール（MS-DOSとファンクション番号が同じ）という形で呼び出すことができます。

ここで微妙なのは、ファンクションコールにはないX68000独自の機能をサポートするIOCS（Input Output Control System:入出力コントロールシステム）コールが用意されているということです。この点についてマニュアルにはいっさい触れられていませんが、IOCSコールがIPL ROM内に用意され、Human68kもIOCSコールを使って動いているようですから、Human68kのさらに下（ハードウェア寄り）に位置づけるべきでしょう。なお、IOCSコールはすでにお伝えしたとおり、アプリケーションからは68000のTRAP #15命令で呼び出すことができます。IOCSコールを使いこなすにはマシン語レベルの知識が必要ですから、内容については別売の「開発ツールキット」のマニュアルに掲載されることになるようです（もちろんOh!MZでもバシバシ紹介する予定です）。

さて、X68000には日本語フロントプロセッサが用意されています。これもアプリケーションからHuman68kのキー入力ルーチン呼び出せば自動的に利用することができるわけですから、Human68kの一部と考えるのが自然でしょう。

次はCOMMAND.XとVS.X（ビジュアルシェル）の位置づけです。これらが立ち上がった状態をそれぞれコマンドモード、デスクトップモードと呼び、前者はMS-DOS Ver2.xのCOMMAND.COMにヒストリ機能（これまでに実行したコマンドを覚えていて、それを呼び出すことができる機能）を付けたものに相当し、後者は前者をビジュアル化したものだといえます。

いずれもユーザーの入力をHuman68kのカーネル(実際の処理ルーチン)に伝えるユーザーインタフェイスですが、ビジュアルシェルのメモ帳、電話帳などのさまざまなデスクトップアクセサリが使用できる代わりに、TYPEなどコマンドモードにある一部の機能が実行できません。

起動時にコマンドモード/デスクトップモードどちらにするかはユーザーが自由に指定することができます。また、コマンドモードからビジュアルシェルを呼び出したり、あるいはその逆、さらにはビジュアルシェルからビジュアルシェル、BASICからビジュアルシェル、BASICからBASIC……、とメモリの許すかぎり呼び出すことができ、EXIT(BASICならSYSTEM)を実行すれば呼び出される前の状態にちゃんと復帰します。

こうなってくるとCOMMAND.XやビジュアルシェルをOSの一部と見たらいいのかアプリケーションと見たらいいのか微妙なところですが、COMMAND.XはマニュアルでHuman68kそのものとして解説されていますし、条件付きではありますが両者は交換可能であることから、いずれもアプリケーションレベルに近いHuman68kの一部としておきましょう。

以上、システムソフトウェアに関してこれまでそれぞれの位置づけをはっきりさせていなかったのをまとめてみました。なお、X-BASIC、日本語ワードプロセッサなどはもちろんHuman68k上で動くアプリケーションです。

ソフトウェアこれからの課題

X68000に標準添付されるソフトウェアをひととおり使ってみて、いくつか感じたことがあります。ここではメーカーへの要望の意味も含めて、そういった問題点を提出してみたいと思います。

まずはビジュアルシェル。現状ではファイルを管理・実行するいわゆる“ファイルハンドラー”という位置づけのようで、その意味ではなかなか便利なツールといえるでしょう。しかし、メーカーも本当はこれさえあればCOMMAND.Xなどいらなくなる、Macintoshばりの真の“ビジュアルシェル”を作りたいはずなんです。さらには、コマンドを実行するとウィンドウが開いてその中で処理ができる、そのくらいのもので作りたいと考えているに違いない、そう信じています。どのくらい先になるかはわかりませんが、とにかくそれに向けて邁進

していただきたいと思います。

次に日本語処理ですが、X68000は通常8×16ドット(半角)、16×16ドット(全角)文字で入出力を行います。せっかくのマルチフォントなのですから、12×24ドットや24×24ドット文字も使いたいと思いマニュアルを調べたところ、BASICのSYMBOL命令で表示する方法しか書いてありません。できるかぎり早い時期に、24ドット文字による入出力もサポートしてほしいですね。

以上、不満を感じるころの多くはなにか新しいことをやろうとしている部分です。ある人は「発表してから5カ月もたつ」といいます。しかし本当は「参考出品してから5カ月しかたっていない」のではないのでしょうか。もしその時期にソフトウェア開発に着手したとしたら、すでに実績のあるソフトウェアはともかくとして、現時点で完璧を期待するのは少々無理な話でしょう。あのMacintoshではToolboxの開発に3年もの歳月をかけています。

X68000の基本ソフトウェアを“本当に”完成させるためには、メーカーの絶ゆまぬ研究と私たちユーザーの積極的な提案が必要不可欠でしょう。X68000は“私たちが育てていくマシン”でもあるのです。

ゲームに関してはまったく心配はしていません。それは標準添付のグラディウスを見れば一目瞭然です。これだけのグラフィックパワー、スプライトパワー、そしてサウンドパワーがあるので、もてる力を全部発揮してほしいなどという欲張りなことはいいません(でもいいですけど)。標準となるのはグラディウス。このクラスのゲームがとりあえず1カ月に1本出るようになれば、かなりのゲームフリークでも満足できるでしょう。

マシンの能力とは

パーソナルコンピュータの能力は、一概にはいえませんが、まあハードウェア×ソフトウェアと考えてよいでしょう。つまり、ハードウェアを縦、ソフトウェアを横としたときの長方形の面積、それがマシンの能力です。ここでいうソフトウェアには、メーカーが用意したソフトウェア、ソフトハウスが提供するソフトウェア、そしてユーザーパワーというものが含まれています。

まずはメーカーのソフトウェアですが、この点でダントツはMacintoshというところは誰も異論ないでしょう。その中心はなんといってもToolbox。これはもうハードウェアの一部といってしまってもいいくら



いのもので、アプリケーションはこれを利用することで、ひとめ見ただけでMac用のソフトであることがわかる独特の雰囲気と操作感をもつことができるのです。また、MacPaint、MacDrawなどアップル社の提供する高度なアプリケーションも見逃すことはできません。

それに対し日本の16ビットの雄PC-9800シリーズはといえば、標準添付されてくるのはROM BASICとディスクBASIC、それにユーティリティぐらいです。今や16ビットOSの標準となったMS-DOSすらありません(といってもこれまではソフトを買いと付いてきたので不要でした)。そういった意味でX68000は、現時点では十分成功したとはいえませんがMacintoshに迫ろうとした日本で最初のマシンといえるのです。

現在のPC-9800シリーズはまさにソフトハウスに支えられているといっても過言ではないでしょう。相次ぐモデルチェンジと“互換性”の嵐にも耐え、懸命にソフトを出しています(そのせいで他機種にまで手が回らなくなるという噂もあるほどです)。それに対してX68000は、すでに数十社が研究・開発を始めているという話で、グラディウスの開発期間の短さを考えるとゲームなどはかなり期待できそうです。しかも、X68000は今後5年間は変更しないということで、X1シリーズの伝統をかんがみても“互換性”に関しては心配ないでしょう。

最後にユーザーパワーです。そこにはもちろんユーザーソフトウェアも含まれます。開発システムとしてBASIC→C→マシン語という流れが確立すれば、これまで考えられなかったような凄腕資産になりそうです。ユーザーパワーのもうひとつの大きな意味は思い入れと知識からなるエネルギーです。メーカーはどんどんと情報を公開してユーザーに刺激を与え、またユーザーから積極的に情報を収集してサポートに生かしてほしい。ユーザーとともに成長していく姿勢こそ、ハードウェア、ソフトウェアに続く第3のユーザーインタフェイスといえるのではないのでしょうか。そして、X68000にかぎらず、こういったユーザーパワーを組織していくことがOh!MZの役割だと考えています。

68000

製品スペックを見る

いまか、いまかと待ちわびて、季節は春!!
全国のパソコンショップから歓声の上がる
ときがやってきた。すでにユーザーたちの間では、
X68000 に対するイメージがどんどんと膨張を
続けて止まらない。君は冷静でいられるか!!

パーソナルワークステーション X68000
が初めて私たちの前に姿を現したのが昨年
10月のこと。以来Oh!MZでは、さまざまな
角度からこのマシンに秘められた可能性を
追ってきた。MPU 68000の持つ高いポテン
シャルや驚異のハードウェアスペックにつ
いて……、あるいはOS、BASICなどのシス
テムソフトに関してそのユーザーインタフ
ェイスが注目された。さらにはアプリケー
ションソフトの可能性などなどである。発
売前からこれほどユーザーの期待を刺激し
た機種は日本では例がない。

X68000の発売は予定より遅れ店頭に並ぶ
のは3月下旬となるが、付属のソフトウェ
アの内容もほぼ固まったようだ。今回、編集
室に届いたのは製品につくものと同様の4
枚組のフロッピーディスクと5冊のマニ
ュアルである。まだ完全なバージョンではな
いが、これで製品の全容を知ることができ
るので、さっそく概要を紹介しよう。

商品構成

X68000(CZ-600C)は、コンピュータ本体
とキーボード、アナログRGBケーブル、テ
レビコントロールケーブル、それにマウス・
トラックボールが標準装備されている。

ソフトウェアとしては4枚のフロッピー
ディスクが同梱されており、それぞれ

- ・システムディスク
 - ・日本語ワードプロセッサディスク
 - ・辞書ディスク
 - ・グラディウス
- となっている

システムディスクには、X68000のオリジ
ナルOSである Human68k とその上で走る
X-BASIC、それにスクリーンエディタED、
日本語フロントプロセッサなどが収められ
ている。そして、アプリケーションソフト
として用意されているのが日本語ワードプ
ロセッサとゲームソフト（もちろんグラデ
ィウス）だ。またユーザーの財産となる日
本語辞書がディスクで用意されている。こ
れらのソフトの内容についてはのちほど詳
しく触れることにしたい。

また、マニュアルとして次の5冊が用意
されている（写真参照）。

- ・取扱説明書
- ・BASICマニュアル
- ・ユーティリティソフト、ゲームソフト説明書
- ・日本語ワードプロセッサ説明書
- ・Human68k ユーザーズマニュアル



刷り上がったばかりの5冊のマニュアル



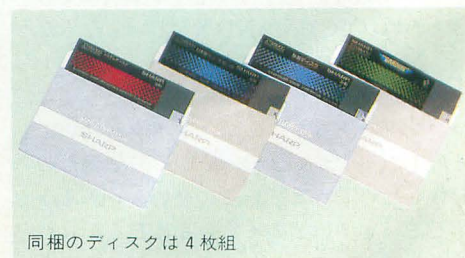
パーソナルコンピュータ
CZ-600CE 369,000円
専用ディスプレイテレビ
CZ-600DE 129,800円

ハードウェア

X68000のハードウェアについては、昨年
の12月号で詳しく紹介したが、ここでも簡
単にまとめておこう。

メインCPUに16ビット(内部処理32ビット)、
マイクロプロセッサ 68000 のCMOS版HD
68HC000 (クロック10MHz)を採用、標準で
1Mバイトのメインメモリに加え、テキス
トVRAM512Kバイト、グラフィックVRAM
512Kバイト、スプライトVRAM32Kバイト、
スタティックRAM16Kバイト、とかつてな
いスケールのメモリが搭載されている。

システムの要として128KバイトのIPL
ROMに Human68k のベースとなるBIOSが
あり、ここには豊富なシステムコールが用
意されている。また、768KバイトものCG
ROMがあり、JIS 第1/第2水準漢字、1/



同梱のディスクは4枚組

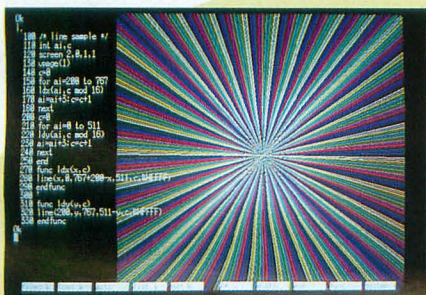
角文字などを含む各種フォントが用意されている。

グラフィック機能もすごい。512×512ドットで65536色同時表示を可能とするモードを初め、豊富な画面モードがビットマップ方式で表示される。また、テキストもビットマップでグラフィック画面として使用することもでき、グラフィック、テキスト、スプライトの各画面で自由な重ね合わせが可能。さらにスプライトに関しては、まったく新しく開発されたカスタムLSIによって、水平方向に32個、1画面に128個ものスプライト(16×16ドット)を表示させることができる。

このほか、ステレオFM音源にADPCM機能、1Mバイトの5インチフロッピーディスクドライブ2基、豊富なインタフェイスなど、あらゆるものが標準でこの1台に集約されている。

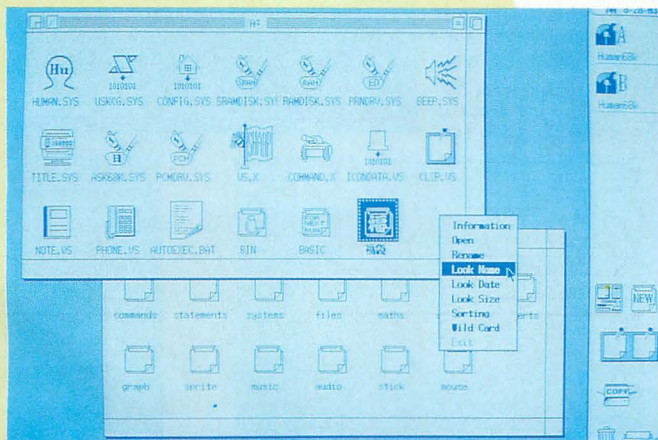
システムディスク

X68000には標準OSとしてHuman68kと呼ばれるシステムが載っており、この上で走るX-BASICが用意されている。OSに関しては、ユーザーインタフェイスとしてのビジュアルシェルが特に注目され、またBASICに関してはC言語を意識したものということで、そのあたりのことが2月号で詳しく紹介されている、ここでは、もう少し総括的に見て、システムにおけるこれら



X-BASICではプログラム中で関数(ファンクション)を定義できる。

話題のビジュアルシェル。ウィンドウ内のアイコンには福袋という楽しみ袋も加わった。



の関係をはっきりさせておこう。

Human68k

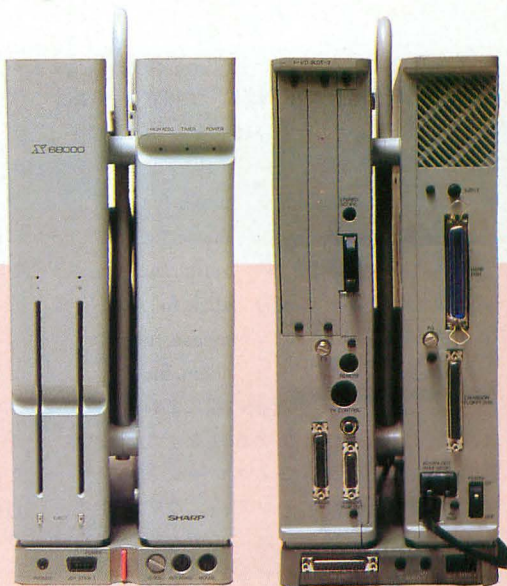
まず、Human68kには、MS-DOSのファンクションコールと互換性を持つ「コマンドモード」と、これにビジュアルシェルをかぶせた「デスクトップモード」の2つのモードがある。デスクトップモードというのは、画面を机の上に見たて、ビジュアルな感覚でファイル処理などの作業ができるモードであり、それを実現するのがまさにビジュアルシェルというわけである。

コマンドモードから見ると、ビジュアルシェルはアプリケーションのような位置にあるが、X68000においては、IPL ROM内のBIOSからビジュアルシェルまでを含めてHuman68kと考えてよい。ただし、ビジュアルシェルがOSのすべての機能をサポートしているわけではなく、一歩進んで使いこなそうというユーザーはコマンドモードにも精通することが必要だ。Human68kのコマンドモードにおいては、ほとんどMS-DOSの感覚で使用できるが、さらにレポート機能やヒストリ機能などキー入力に関する高度な機能もサポートされている。

スクリーンエディタED

システムディスクに入っているEDは、ソースプログラムやテキストファイルの作成に利用するスクリーンエディタである。以前にも紹介したように、WordMasterの上位コンパチとなっており、削除した行の復活(UNDO)などもサポートした高機能

この小さなインビル(?)の中にも必要なもののすべてが詰まっている。後面のコネクタ群にも要注目だ。



なものとなっている。

X-BASIC

Human68k上で動くX68000の標準BASICインタプリタである。すでにご存じのとおり、プログラム中で種々の関数定義(func~endfunc)ができ、switch文、ブロックif文などによる構造化プログラミングが可能である。もちろんファイル構造もHuman68kと同一だ。また、X68000の持つグラフィ

図1 システム/辞書ディスクの内容

システムディスクの内容

USKCG	SYS	10188	87-02-18	10:17:44
CONFIG	SYS	192	87-03-02	9:44:54
SHARDISK	SYS	942	87-02-20	17:42:06
RAMDISK	SYS	1812	87-02-20	17:42:42
PENDRV	SYS	1820	87-02-21	11:21:26
BEEP	SYS	1024	86-12-13	14:21:48
TITLE	SYS	6212	87-01-23	10:44:34
ASK68K	SYS	107052	87-03-01	25:20:56
PCMDRV	SYS	458	87-02-21	11:29:04
VS	X	92264	87-02-28	9:42:36
COMMAND	X	24082	87-02-26	19:04:24
ICONDATA	VS	39165	87-03-02	9:44:20
CLIP	VS	0	87-03-06	0:28:32
NOTE	VS	2	87-03-05	1:12:02
PHONE	VS	13200	87-02-11	16:23:04
AUTOEXEC	BAT	33	87-03-02	9:20:50
BIN	X	87	87-02-24	17:54:06
BASIC	(dir)		87-02-24	17:54:10
福袋	(dir)		87-03-02	17:15:38
TRASH	(dir)		87-02-24	19:35:12
NEWDIR	(dir)		87-02-24	19:35:14

システムディスクのバイナリーファイル

FORMAT	X	10206	87-02-28	12:57:50
DISKCOPY	X	2240	87-02-24	11:42:46
SYS	X	764	87-02-24	14:18:58
ATTRIB	X	922	87-02-27	15:27:54
DUMP	X	1050	87-02-18	19:29:48
USKCGM	X	9560	87-02-02	11:37:18
COPY2	X	2632	87-02-24	11:31:52
CHKDISK	X	2298	87-02-24	16:51:30
MORE	X	1576	87-02-24	11:13:06
CUSTOM	X	1628	87-02-24	15:20:36
SPEED	X	1084	87-02-24	19:05:14
PR	X	2372	87-02-27	16:43:02
FC	X	3458	87-02-27	16:43:06
SORT	X	2074	87-02-24	11:32:02
SWITCH	X	3030	87-02-28	12:03:44
FIND	X	3396	87-02-24	11:13:32
KEY	X	2680	87-02-17	15:41:52
ED	X	34638	87-02-28	13:32:40
ED	HLP	4538	87-02-24	11:08:56

X-BASICの内容

BASIC	X	53656	87-02-28	9:47:02
AUDIO	FNC	436	87-02-24	11:08:52
MOUSE	FNC	938	87-02-24	11:09:22
GRAPH	FNC	34954	87-02-24	11:09:12
STICK	FNC	340	87-02-24	11:09:30
MUSIC	FNC	21592	87-02-24	11:15:12
SPRITE	FNC	2656	87-02-13	16:00:06
BASIC	CNF	142	87-02-24	10:54:10

辞書ディスクの内容

X68K_S	DIC	16384	87-03-02	10:53:16
X68K_M	DIC	591872	87-02-20	23:23:10
POST	DIC	50176	87-02-20	23:23:58
DICM	X	33416	87-03-01	23:30:42

ックやサウンドなどハードウェア機能は、外部関数としてBASIC本体とは独立した構造を持ち、以下に示す分類でディスクに用意されている。

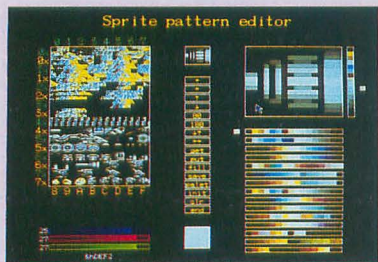
- ・グラフィックの制御 graph.fnc
- ・FM音源の制御 music.fnc
- ・スプライトの制御 sprite.fnc
- ・ジョイスティック入力 stick.fnc
- ・マウスの制御 mouse.fnc
- ・ADPCMの制御 audio.fnc

通常はX-BASICを起動の際にこれらの外部関数は自動的にリンクされるように設定されているが、コンフィグレーションファイルに必要な関数名とフリーエリアのサイズを指定して起動すれば、必要な外部関数のみリンクすることができるのである。

X-BASICはCライクな構造を持つことで注目されているが、外部関数によるハードウェア制御機能は従来の16ビットマシンでは考えられないほど強力だ。何枚もの画面を自由に重ね合わせ、スプライトが縦横無尽に駆けまわる。またFM音源(OPM)を自在に操る充実したMML(Music Macro Language)も魅力だ。

●日本語フロントプロセッサ

X68000で標準の日本語入力機能は、日本語フロントプロセッサ(日本語FP)が独立して管理しており、Human68kはもちろんのこと、スクリーンエディタED、X-BASICなど、X68000で動作するさまざまなプログラムに組み込んで利用することができる。



スプライト定義ツール

こいつぁ春から福袋

X68000のシステムディスクにはビッグなオマケが付いてくる。図1の「福袋」というディレクトリがそれだ。ここには「スプライト定義」、「イメージユニット取り込み」、「アセンブラ」、「リンク」ほかのツールが入るらしい。

特に「リンク」はアセンブラなどの出力するリネータブルオブジェクトファイルの形式を統一するうえで、これを標準装備する意味は大きい。

詳しいことは次号でお伝えするが、それまで待てない人はぜひ店頭で確認していただきたい。

る。日本語FPを使用するには、付属の辞書ディスクが必要だが、ディスクを入れて(Aドライブにシステム、Bに辞書)起動するだけで自動的にシステムに組み込まれる。

注目される変換方式

だが、一括変換と逐次自動変換がある。一括変換の場合は変換キーを押すと変換を開始するが、入力途中から辞書を読みするため実際の変換は多少速くなる。また、逐次自動変換は入力するそばからかかってに交換されていくモードだ。いずれも、2文節最長一致法と呼ばれる高度な変換方式で、辞書の学習を積みほかに変換効率は飛躍的に向上すると思われる。

さて、X68000では、キーボードの設計段階から日本語処理を強く意識したキー配置がなされており、[XF1]~[XF5]の各キーは変換中のさまざまな処理に対応している。

なお、辞書ディスクの容量は600Kバイトを越える巨大なものだが、グラフィックVRAM 512Kバイトにメインメモリから不足分を割り当てたものをRAMディスクとすることで辞書データの収容も可能となるようである。

このほか、DICM(辞書ディスク保守)やUSKCGM(外字保守)などのユーティリティが用意されている。



日本語ワードプロセッサ

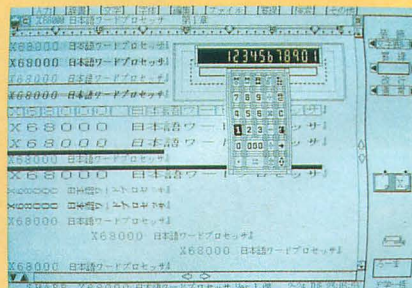
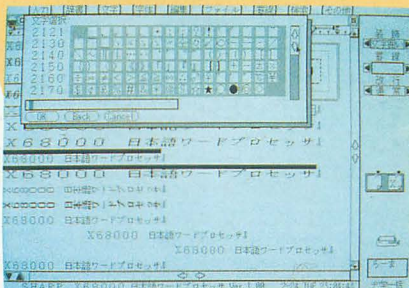
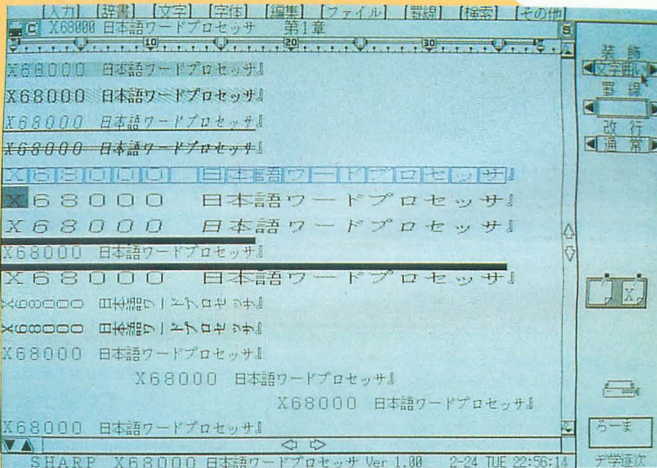
アプリケーションソフトとしてはあのグラディウスだけでなく、日本語ワードプロセッサが同梱されている。これは、X68000の日本語FPと辞書ディスクをベースとして作られたもので、日本語ワープロの機能としてひと通りの機能に加え、電卓、クリップボードなどのオプション機能も備えている。とはいっても、X68000の圧倒的なポテンシャルを考えれば、とりあえず用意したアプリケーションといった感じである。

漢字変換は日本語FPによるものだが、無変換モードという辞書の先読みをしない連文節変換もある。ディスクアクセスが気になる人にはこのモードはありがたい。

* * *

以上、まだ完全なバージョンではないので具体的な評価は控えたいが、製品の大まかな構成はわかってもらえたと思う。完全バージョンが待ちどおしい。

同梱の日本語ワードプロセッサでは、マウスを利用したプルダウンメニューの採用によって、快適な操作で文書の編集が行える。また、クリップボード、電卓、スクロールバーなどのアクセサリ機能も魅力的だ。

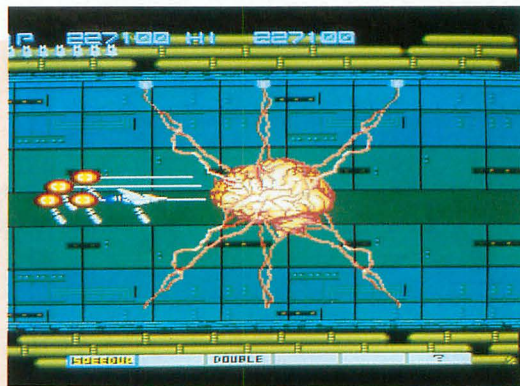


周辺機器発売予定

- カラーディスプレイ [CU-15M1E/B] 99,800円, 発売中
- チルトスタンド [CZ-6ST1] 5,800円, 発売中
- カラーイメージユニット [CZ-6VT1] 69,800円, 近日発売
- 24ピン漢字プリンタ (80桁) [CZ-8PK5] 129,000円, 発売中
- 24ピン漢字プリンタ (136桁) [CZ-8PK6] 159,000円, 発売中
- カラービデオプリンタ [CZ-6PV1] 価格未定, 近日発売
- ハードディスクユニット [CZ-500H] 348,000円, 発売中
- ハードディスクユニット (増設用) [CZ-501H] 258,000円, 発売中
- モデムユニット (1200/300bps) [CZ-8TM2] 49,800円, 発売中
- GP-IBボード [CZ-6BG1] 価格未定, 近日発売
- ユニバーサルI/Oボード [CZ-6BU1] 価格未定, 近日発売
- 増設RAMボード (1Mバイト) [CZ-6BE1] 価格未定, 近日発売
- 拡張I/Oボックス [CZ-6EB1] 価格未定, 近日発売
- スピーカーボックス (アンプ付き2本1組) [AN-160SP] 59,800円, 発売中

パーソナルコンピュータCZ-600CE仕様

項目	内容
CPU	68000(10MHz) 80C51(キーボードスキャン/テレビコントロール用)
ROM	IPL, BIOS など 128KB キャラクタジェネレータ 768KB 16×16ドット・24×24ドット 全角 (JIS第1・第2水準漢字) 8×16ドット・12×24ドット 半角 8×8ドット・12×12ドット ¼角
RAM	メインメモリ 1MB (最大12MBまで拡張可) テキスト用VRAM 512KB (ビットマップ) グラフィック用VRAM 512KB (ビットマップ) スプライト用VRAM 32KB スタティックRAM 16KB
表示能力	実画面サイズ テキスト 1024×1024ドット 4プレーン グラフィック 1024×1024ドット 4プレーン (512×512ドット 16プレーン) ※各ビットマップ方式
	テキスト表示 ▶実画面エリア 1024×1024ドット時 高解像度モード 768×512ドット 512×512ドット 512×256ドット 256×256ドット 標準解像度モード 512×256ドット 256×256ドット オーバーサキャン 256×256ドット 実際の表示ドット数は [512×512ドット] [インタレース] ※各モード共ドットごとに65,536色中任意の16色を指定可能
	グラフィック表示 ▶実画面エリア 1024×1024ドット時 高解像度モード 768×512ドット 512×512ドット 512×256ドット 256×256ドット 標準解像度モード 512×256ドット 512×256ドット オーバーサキャン 256×256ドット 実際の表示ドット数は [512×512ドット] [インタレース] ※各モード共ドットごとに65,536色中任意の16色を指定可能
	▶実画面エリア 512×512ドット時 高解像度モード 512×512ドット 512×256ドット 256×256ドット 標準解像度モード 512×512ドット 256×256ドット オーバーサキャン 512×512ドット 実際の表示ドット数は [インタレース] ※各モード共、①ドットごとに65,536色中任意の色を指定可能 (1面), ②ドットごとに65,536色中任意の256色を指定可能 (2面), ③ドット ごとに65,536色中任意の16色を指定可能 (4面)
スプライト	▶パターン定義 サイズ: 16×16ドット/パターン 定義数: 128/パターン (背景画面未使用時最大256/パターン) 色: 1/パターンにつき16色/65,536色 (ドット単位) 画面全体で256色/65,536色 ▶表示 座標系: 1024×1024ドット 表示画面: 水平512ドットor256ドット 垂直512ラインor256ライン 表示制限: 128スプライト/画面 32スプライト/ライン
特殊機能	スムーズスクロール/特殊画面制御機能/プライオリティ機能/ パレット機能/半透明機能/スーパーインポーズ機能



サウンド機能	F M音源: 2ch, 8オクターブ 8重和音同時出力 音声合成: ADPCM (Adaptive Differential PCM)
フロッピーディスクドライブ	1Mバイトタイプの5インチミニフロッピーディスクドライブ (オートローディング/オートイジェクト機能) 2基搭載
入力装置	マウス・トラックボール, ASC II準拠フルキーボード
インタフェース	プリンタ (セントロニクス社仕様に準拠) / ジョイスティック (2個) / テ レビコントロール/アナログRGB出力/音声ライン入力/RS-232C / 外 部フロッピーディスク/ハードディスク/マウス/イメージ入力端子/立 体視端子 / リモート/シースルーカラー
拡張I/Oスロット	2スロット内蔵
OS・言語	Human68k, X-BASIC
電源	AC100V 50/60Hz
外形寸法	本 体: 幅155×高さ360×奥行270mm キ ー ボ ー ド: 幅463×高さ35 (キートップ含む) × 奥行196mm マウス・トラックボール: 幅73×高さ32×奥行105mm
マウス/トラックボ ール	同梱
付属ソフト	Human68k, X-BASIC, 辞書, 日本語ワードプロセッサ, ゲームソフト (グラディウス), 各種ユーティリティソフト

ディスプレイテレビCZ-600DE仕様

表示モード	31KHzモード	24KHzモード	15KHzモード	テレビモード
ブラウン管	15型フラットスクエア高解像度ハイコントラスト (マスクピッチ0.39mmドットタイプ)			
入力信号方式	RGBセパレート方式			コンポジット 複合映像信号 同期信号(負)
データ信号	アナログ0.7Vp-p(正)/TTLレベル(正)			
水平、垂直同期信号	TTLレベル(負)			
入力コネクタ	アナログ: 15ピンD sub/デジタル: 8ピン角型			RCAピンジャック
出力コネクタ	—			RCAピンジャック
表示範囲(H×V)	260×165mm	265×165mm	267×166mm	—
表示時間(H×V)	22.08μs ×16.25ms	29.8μs ×16.09ms	44.7μs ×12.52ms	—
水平周波数	31.5KHz	24.86KHz	15.98KHz	NTSC 15.73KHz
垂直周波数	55.5Hz	55.5Hz	61.9Hz	NTSC 59.94Hz
映像回路	アンプ形式	リニア/デジタル		リニア
	周波数帯域	25MHz		3 MHz
キーボードによる コントロール	電源入/切・チャンネル切り換え・音量 コンピュータ/テレビ/スーパーインポーズ切り換え			
音声出力	8 cm丸形スピーカ1.3W			
電 源	AC100V±10%(50/60Hz)			
消費電力	99W			
使用条件	使用温度-10°～40℃ 使用湿度35～75%			
重 量	14.6kg			
特長・機能	31/24/15KHzディスプレイモード自動切り換え、リモコン送信機付 チルトスタンドCZ-6ST1取り付け可(別売)			

カラーイメージボードII CZ-8BV2

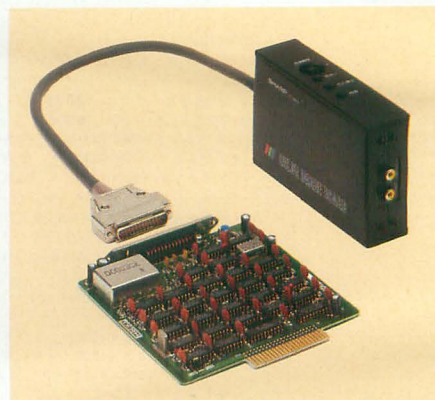
いよいよ今月はカラーイメージボードが「試験に出るX1」に登場、祝一平先生ならではのねっとりした解説と応用編となっていますが、そのカラーイメージボードが機能強化されたニューバージョンCZ-8BV2がすでに発売されていますので、実際に取り込んだサンプルを含めて紹介しましょう。

カラーイメージボードは、テレビやビデオの映像を取り込む周辺機器であり、タイリング効果（RGB8色表示で）によって映像の中間色を表現するスクランブル回路を搭載しているのが最大の特長といえる。このスクランブル回路に改良を加えデジタルスクランブル方式を採用したのが今回のカラーイメージボードIIである（従来の方式もサポートされている）。また、アプリケーションとして付属の

カラーイメージツールも強化され、モザイク変換などを初め豊富な画像処理機能が楽しめるようになっている。

なおディスク版には、作画ツールとして“嬉楽画”、ポップツール楽々ぽっぷ“漢単”が、またX1turbo用として“絵はがき”作成ツールがマスターディスクに収められている。

さて、カラーイメージボードCZ-8BV1/2の機能は付属のツールによってサポートされて



いるので、それに沿って見てみよう（自分でアプリケーションを組みたい人は「試験に出るX1」をご覧ください）。カラーイメージツールは画像入力ツールと画像処理ツールに分かれており、起動時にいずれかを選択するようになっている。

画像入力ツール

画像入力ツールには映像を取り込むためのさまざまなモードが用意されている。今回のCZ-8BV2では、新スクランブル方式（モード2）が採用されているが、従来の方式（モード1およびハーフトーンOFF）との切り換えが可能となっている。モード2では、より自然なタイリング効果が得られ、モード1のような斜線のパターンは目立たなくなった。しかし取り込む映像によってはモード1のほうがいい効果が得られることもあり、基本的には好みによって使い分けるとよいだろう。

カラーイメージツールIIで追加された機能にはストロボミクシオンモードがあり、取り込んだ画像を次々に重ねて表示することが可能だ。重ね方は、OR（論理和）とAND（論理積）



モード1（従来の方式によるモード）
斜めのパターンが見られる



モード2（新スクランブル方式）
中間色の表現がやわらかい



のいずれかを指定できる。また、モノクロでの取り込みが0.05秒（X1シリーズ0.3秒）と高速になった。

画像処理ツール

取り込んだ画像を加工する画像処理ツールはかなり機能が充実した。これまであった輪郭抽出、白黒変換、拡大・縮小、切り抜きに加え、今回のバージョンでは、左右上下反転、90°回転、モザイク変換、ムーブメント、それに画面をロードした時点の状態に戻す復元機能などが新たに加わっている。

モザイク変換は1～5段階の粗さのモザイク模様に変換することができ、これと輪郭抽出や白黒変換など組み合わせると面白い。

また、ムーブメントというのは画面サイズ（全画面、1/4、1/16）を指定し、取り込みを行

祝一平氏が作成したテレビインリスト。任意の位置にテレビ番組を表示させながらプログラム開発ができるというものだ（→34ページ）



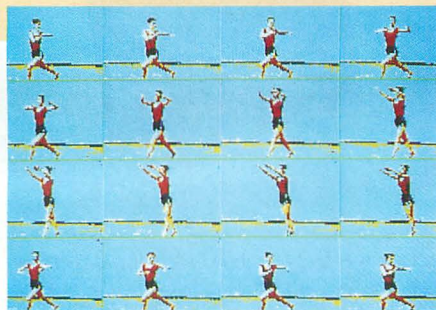
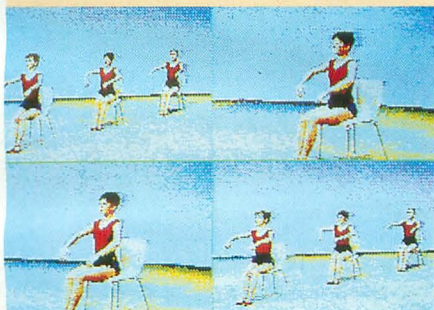
いながら取り込み位置を移動させることのできる機能でカードを重ねてずらしたような効果を出すことが可能である。

* * *

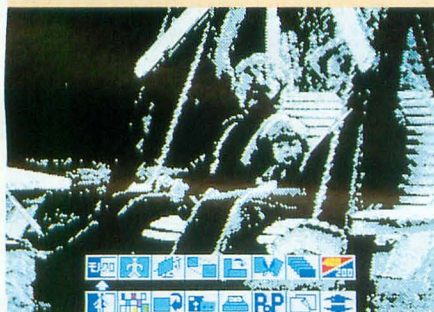
今回のカラーイメージボードIIでは、画像取り込みの機能もさることながら、取り込んだ画像を加工する画像処理機能の充実も見逃せない。これに、X1Z'sSTAFFまたはturbo

Z'sSTAFFなどを組み合わせればかなり強力なビジュアルツール環境となるはずだ。ちなみに今回のソフトにもあの娯楽画が付属しているが、現在のソフトウェアのレベルからいうとはっきりいって実用性に欠ける。カラーイメージツールから直接Z'sSTAFFのフォーマットで画像をセーブできるような機能があったらと思うのだが。（S.S.）

お馴染みの4コマ/16コマモード



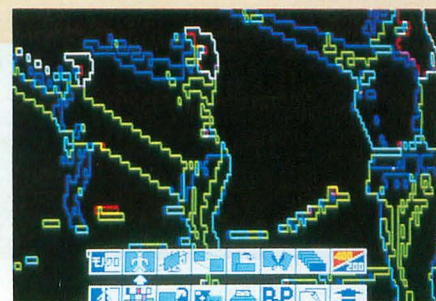
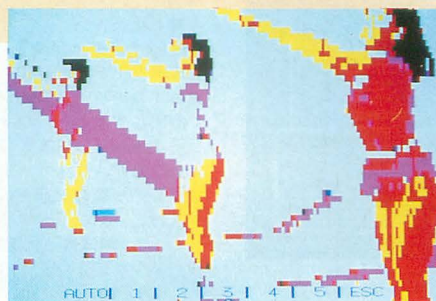
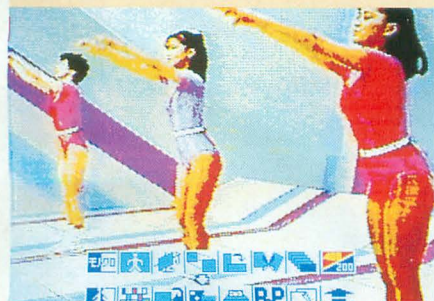
改良されたモノクロ変換



ネガポジ反転機能は入力時でも画像処理モードでも可能だ



モザイク変換と輪郭抽出。2段階でモザイク変換したのち輪郭を抽出してみた



カラーイメージボードII

- ・外部ユニット
- ・I/Oインタフェイスボード
- ・カラーイメージツールII（カセットテープ版1本、5D版2枚組）
- ・ビデオケーブル、FGケーブル
- ・取扱説明書、ソフトウェア解説書

シャープ 39,800円

1986年度

THE SOFTOUCH SPECIAL

GAME OF THE YEAR

はこれだ

Oh!MZが選ぶ、1986年度GAME OF THE YEARが決定！ 今年はウィザードリィが作品賞を初め4部門を制覇した。ではさっそくすべての結果を発表しよう。1347通ものハガキや封書とともに寄せられた読者の熱いメッセージがここにある。

僕の1年はこれで終わった
——神奈川県 林弘和
GAME OF THE YEAR作品賞
ウィザードリィ シナリオ#1

ウィザードリィが、1986年度GAME OF THE YEARの作品賞に輝いた。これは、ある意味で予想外のことといってもいいかもしれない。もちろん昨年は日本のパソコンゲーム史上最大のヒット作ザナドゥがあったからだ。実のところ、昨年の愛読者カードの集計(毎月1000通のみのサンプル集計だが)によれば、1月号から11月号までは常にザナドゥがトップという快進撃が続いていた(12月号では三国志がトップ)。ウィザードリィがベスト3以内に入ってきたのは1986年の後半に入ってからである。今回寄せられたメッセージの中にも、ウィザードリィに投票しながら、きっとザナドゥが選ばれるだろうと書かれたものが多かったのが印象的だった。しかし結果は「ザナドゥ破れる！」である(シナリオIIに票が流れたこともあり、プラスすれば2位となるが)。

ウィザードリィに関しては、昨年はノミネートもされなかった。審査員ノミネートということも考えられたが、日本版が読者にどう評価されるかを待とうという気持ちがわれわ



ウィザードリィのパッケージ。美しい……。

れにはあったのだ。あれから1年がたったわけだが、ウィザードリィというゲームが本当に評価されるにはそれだけ長い期間が必要だったようにも思われる。このことは三国志についてもいえることだろう。あの高い三国志が2位というのもスゴイことだ(14,800円じゃザナドゥみたいにくるくの人に買えないはず)。そして、なによりもウィザードリィも三国志も地味なソフトなのである。

ザナドゥは確かにエポックメイキングな作

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	ウィザードリィ	アスキー フォアチューン	229
2	三国志	光栄	216
3	ザナドゥ	日本ファルコム	172
4	ウイバーン	アルシスソフトウェア	68
5	ナイザー	電波新聞社	47
6	ザナドゥシナリオII	日本ファルコム	41
7	ゼビウス	電波新聞社	39
8	夢幻の秘蔵II	クリスタルソフト	28
9	ハイドライドII	ティーアンドイーソフト	26
10	ロマンシア	日本ファルコム	17

品だった。時代の申し子といってもよい。もちろん内容も高く、ほんとうに遊べるゲームであったことは多くの読者からのメッセージによって証明されている。しかし、ザナドゥはウィザードリィのもつ時代を越えたゲーム性に破れたといってもよいだろう。これはユーザーが求めるものをもっと本質的な面白さへと向かっていることの表れではないだろうか。いま一度、ウィザードリィを出発点として考えてみてはどうだろう。

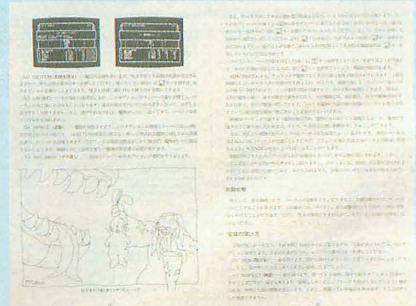


作品賞 ウィザードリィ

僕は、ウィザードリィのマニュアルに載っていた、あのトボケた漫画が好きです。あんなのは受賞の対象になりませんか？ ベストマニュアル賞とか……。

P.S. ザナドゥが清原、ハイドライドIIが秋山、そしてカレイドスコープが桑田とするなら、ウィザードリィはRPG界の落合なのだ。ウィザードリィこそが真の三冠王にふさわしい!!

(静岡県 佐藤仁)





作品賞2位 三国志



作品賞3位 ザナドゥ

ディスクの中に人生がある ——千葉県 浦川博之 ゲームデザイン賞 ウィザードリィ

今回から新しく加わったゲームデザイン賞にはこれまたウィザードリィが選ばれた。作品賞はともかくこちらのほうは、うーん、やっぱりなあといった感じだろう。ウィザードリィは「ゲームはゲームデザインが命」ということを実証するようなゲームだからだ。単にアイデアの面では最近のゲームはずいぶん工夫がなされたものが多い。しかし、もっと基本的なところでのゲーム性の追求（これがゲーム設計の重要なところだ）が最近のゲームには欠けているのではないだろうか。

レリクスやA列車で行こうなどはかなりゲームデザインのしっかりしたソフトだったと

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	ウィザードリィ	アスキー フォアチューン	207
2	レリクス	ボーステック	93
3	A列車で行こう	アートディンク	54
4	夢幻の心臓II	クリスタルソフト	46
5	ハイドライドII	ティーアンドイーソフト	9



ゲームデザイン賞 ウィザードリィ

田村くんですよー、“ヴァリスさん”をヨロシク

私、田村憲生は貴誌の1986年度GAME OF THE YEARのオリジナルシナリオ賞、テーマ音楽賞、美術デザイン賞に、日本テレネット(株)所属の、“ヴァリスさん”（18歳）を推薦させていただきます。ヴァリスさんは、そのデビュー時期が年末ということとで来年度にまわされそうですが、私は彼女の持ち前の明るさを“1986…”であえて乱入投票して世に示したいのです。この意志は、1月号P23の吉田幸一氏のお言葉に反するものであります。なぜなら、ヴァリスさんはそのインナーワールドにおいて、ミーとハーがくつついたストーリーを持っているからです。しかしながら、私は彼女を冷静に見る目を持っています。彼女（ヴァリスさん）のインナーワールドにおける優子さんと麗子さんの存在は、ヴァリスさんを引き立てる重要なファクターであり、麗子さんが戦いに破れ、優子さんと心を通じあえるそのシーン（そのビジュアル&サウンドエフェクト！）に私は涙したものです。

また、戦いを盛り上げ、情を揺さぶる変化に富んだBGMは私にFM音源ボードを切望させたものでした（本当に欲しい）。それらがアクションシーンと織りなすひとつのストーリーは、先へ進んで物語を見たい！という私の心をくすぐったのです。感動するじゃありませんか。

もちろん、彼女（ヴァリスさん）の多様な魅力に反するファクターはないわけではありません。ジョイスティックに力を入れ、目を吊り上げらせる私の声を聞いた人はいます。“ぶつつん！”ああ、アクションシーンにおける優子さんの姿は素晴らしいものの、そのゲーム内容に、キーボードは壊れていくのです。作品賞に至らないわけはここにあります。しかし、だからこそ彼女に、シナリオ、音楽、美術の3部門を取らせてあげたいのです。わかってください。（鳥取県 田村憲生）

●ウィザードリィについて一言。あのゲームはまさに“遺言級”だと信じる。受験生として勝負のつけどころである夏休み、私は悲しいかなウィザードリィにハマってしまったのです。わざわざ文具店で方眼紙を買い……、ああ、みんな勉強しているのに。そして、なんといっても8月のある日のことです。家族が受験勉強をする私を残して旅行へ行ってしまったその日、「まあ、気分転換に」と始めたのが午前10時。私は完全にパーティの一員となり「腹もすいたし、トイレにも行きたいし、ちょっと休むか」と思ってパソコンの前を離れたのは午後6時でした。人間というのは集中力があるんだなあ。もし勉強にここまで集中できたなら、きっと私は天才になれるのに。

というわけで、このように私の人生を変えようとするウィザードリィに作品賞を贈りたいのです。（愛知県 溝口伸一）

●作品賞、オリジナルシナリオ賞、SF&ファンタジー賞にウィザードリィを——ウィザードリィの良さは、ワードナのお礼を取るに至るまでにプレイヤーの自由な行動が可能で、何度やっても飽きないことです。1度目はMAHAMANでワードナをテレポートさせたし、2度目は瀕死の重傷を負いながらもやっと勝った。結局、ムラマサブレッド、シュリケン、カシナートの剣というアイテムはひとつも発見できなかった。これは今後の課題である。というわけでNo.1はやっぱりウィザードリィだ。（長崎県 小山俊一）

●Wizardry——石の中にいる——

（福岡県 西山新志）

●ウィザードリィほどリアルなゲームがあるだろうか。しかし、まだ5階までしか行っていない。早くワードナに会いたい。（北海道 矢野啓介）

●なんといってもウィザードリィですね。シナリオ2といえばウィザードリィのことだ！

（東京都 田辺しずお）

●作品賞に三国志を推薦！これぞ神の助けだ。一般人にはわかるまい、この感動は。豊富なシナリオ、広大なマップ、多数の登場人物、どれを取ってもボードゲームに劣らない。しかも、なんと

手軽なんだ。いままでのプレイが悪夢に思えてくる（千数百個のコマを数時間かけて行うセットアップ、1ターンに何時間もかかるようなプレイ。百科辞典としか思えないようなルールブックなどは遊びというより、ほとんど労働だった）。このゲームを除いて、いったいどのゲームが作品賞の栄光を得るというのか。

P.S.現代大戦略IIがプレイしたい。もしX68000版が出なかったら俺が作ってやる。

（愛知県 竹内文康）

●やっぱり作品賞は夢幻の心臓IIです。ザナドゥも感動したが、夢幻の心臓IIのほうがパーティを組んでいたせいかもしれない。毎日あまりやる時間がとれないなかで1ヵ月ぐらいて解いた。とても満足だった。（岩手県 福永俊二）

●作品賞にザナドゥを——やはり、苦しみと快感を与えてくれたこのソフトをおいてほかにない。（長崎県 大森 睦）

●作品賞はナイザーだ。MZ-1500にはゲームが少なくなっているが、唯一DEMPAはがんばっている。MZ-1500賞として電波新聞社を表彰してほしい。（福岡県 旗生恭一）

●作品賞、Oh！MZ賞にナイザーを——なぜこんなにもナイザーを好むのかを書きます。①MZ-1500の代表的ゲームである。つまり、それだけユーザーと強い絆で結ばれている。②音楽が軽いので思わず踊ってしまう。③ペーマガの広告に「MZ-1500 ナイザー」と大きく書いてあっていい。（滋賀県 坂田泰弘）



ナイザーはMZ-1500ユーザーの宝だ

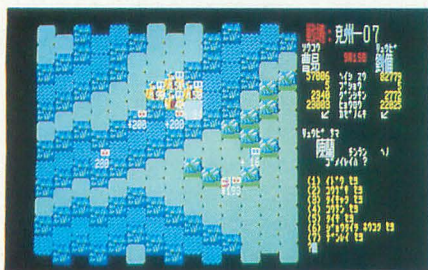
いえる。レリクスは大胆な構成でまったく独自の世界を構築したゲームだといってよいだろう。ただ、レリクスの世界がもつ独自性がすべての人にとって柔軟性のあるものとして受け入れられるというわけにはいかなかったようだ。また、A列車で行こうはOh! MZの編集室内でもっとも評判になったゲームである。ニュータイプその筋として期待したのだが、X1turbo専用（これは手抜きであろう）だったのでそれほど盛り上がりなかったのは残念だ。

中国四千年の歴史(?)に勝てるシナリオはない
——茨城県 牧野 豊

オリジナルシナリオ賞 三国志

オリジナルシナリオ賞は、昨年と同じく上位3作品の激しい戦いとなった。結果は三国志がD-SIDEとリ・バースを抑えて勝利。練りに練られたシナリオが評価されたということだろう。また、三国志には時代ごとに設定された5つのシナリオが用意されており、どの時代でどの英雄を選んでプレイするかによってバリエーションに富んだ楽しみ方ができるのも大きな魅力となったようだ。

今回のノミネートでは、アドベンチャーが2本、RPGが2本、シミュレーションが1本という内訳だった。一般的にアドベンチャーのシナリオと比べて、RPGやシミュレーションのシナリオとは質的にかなり違いがあり、シナリオの良さといわれてもちょっとわかりづらいかもしれない。というのもRPGやシミュレーションではプレイヤーが物語を作っていく（ただ解けば終わりというものもあるが）という点で、自在性が問題となるからだ。すぐに必勝パターンがわかってしまうようではダメ。誰もが自分なりのやり方でプレイして、それなりの難しさと楽しさを得られるよう工夫が必要なのである。



オリジナルシナリオ賞 三国志



美術デザイン賞 メルヘンヴェールI

“もっと修業つんでうまくなってやるぜっ”の高橋哲史

私こと高橋哲史(17)は編集室の大かたの予想どおり、GAME OF THE YEAR全部門に参加し、イラストも送ってしまうのである。作品賞「ウィバーン」/ゲームデザイン賞「レリクス」/オリジナルシナリオ賞「リ・バース」(以下省略)。

しかし、パソコンゲーム界も変わりましたね。2、3年前とはレベルが段違いになっています。昨年は数々の名作が生まれました。が、僕の望むゲームはまだ登場していません。プログラミングをしているときも、その「理想のゲーム」とでもいべきものは常に僕の頭を離れません。それは、RPGでもAVGでもアクションでもありません。つまりはジャンルの問題ではないのです。僕の目指すゲームとは「コンピュータを感じさせない」ものです。本当にプレイヤーがこのために泣き、笑い、本当に感動できるものです。「コンピュータ的な妥協」を許さないゲームなのです。だからとい

ってハードが人間に近づかねばならないというわけではなく、むしろマシンの制限を感じさせないようなものを作れないかと思うのです(その意味では現状のマシンの性能でもいいと思う)。あ、何かわかんようになってきた。混乱した頭を整理しきれないまま、さよーならというわけです。さよーなら。(福岡県 高橋哲史)



順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	三国志	光栄	133
2	D-SIDE	コムバク	110
3	リ・バース	マイコンハウスSPS	107
4	ウィザードリィ	アスキー フォアチューン	61
5	ザナドゥ	日本ファルコム	22

この曲を FM 音源で聞けない人はかわいそう
——大阪府 鎌田 剛

テーマ音楽賞 リ・バース

リ・バースが1票差でテーマ音楽賞に輝いた。ステレオ8重和音によるFM音源の魅力を示したリ・バース、曲の良さでは多くの読者から絶賛されたアルパトロス、それに本格的な演奏をピクチャーレコードに収録したア

ルファの3作品は、どれが受賞してもおかしくない内容だったと思う。また、アルパトロスの日本テレネットにはいい曲を作るスタッフがいて、新作のファイナルゾーン、夢幻戦士ヴァリスとたて続けにFM音源をフルに生かした素晴らしいアレンジを聴かせてくれる。特にファイナルゾーンには乱入投票が23票も届いているほどだ。

やはり来年度は、主題曲とBGM&効果音の2部門に分ける予定でいる。お楽しみに。

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	リ・バース	マイコンハウスSPS	97
2	アルパトロス	日本テレネット	96
3	アルファ	スクウェア	94
4	レリクス	ボーステック	73
5	メルヘンヴェールI	システムサコム	39

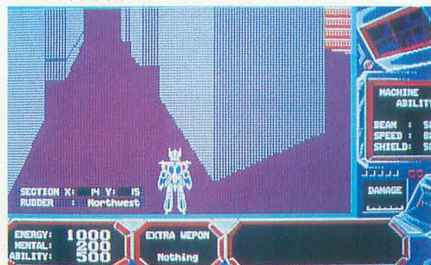
ビジュアルステージが独特の雰囲気であった
——愛媛県 藤田真也

美術デザイン賞 メルヘンヴェールI

これもかなりの接戦だったが、テーマ音楽に比べるとやや盛り上がり欠ける戦いとなった。比較的メッセージが多かったのはむしろ3位以下のザ・スクリーマー、アルファ、南海の標的などで、ザ・スクリーマーは「業



テーマ音楽賞 リ・バース



特殊効果賞 ウィバーン

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	メルヘンヴェールI	システムサコム	85
2	リ・バース	マイコンハウスSPS	80
3	ザ・スクリーマー	ストラットフォードC.C.	78
4	アルファ	スクウェア	62
5	南海の標的	ベアーズ	58

界中をアツと言わせた)(あんまりそんな覚えはないが)とか「仲間うちで評判になった」といったものが多く、アルファは要するにクリスのファン、そして南海の標的では「どこに行けばあんな夕日が見られるのだろう」といった哀愁に満ちたメッセージがあった。南海の標的については見たことのない読者も多いと思うので今回は特に夕日のシーンをダイジェストでご覧にしよう。

アニメ的なものやデジタイズしたものなど見慣れてしまったせいか、美術デザインとして評価される画面を作るのはなかなか難しいようである。

まるで、MAGICです

秋田県 照井清和

特殊効果賞 ウィバーン

ウィバーンの作者はご存じTUX吉村氏。高速グラフィックパッケージMAGICの作者としてOh!MZではお馴染みだ。実は(といってもみんな知ってるだろうけど)昨年の特殊効果賞となったブラズマラインの開発者で

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	ウィバーン	アルシスソフトウェア	194
2	プラスティー	スクウェア	123
3	アルバトロス	日本テレネット	41
4	ムーンチャイルド	ホット・バイ	33
5	アルファ	スクウェア	20

●ゲームデザイン賞はウィザードリィがいいと思う。ワードナを倒しても、持っていない宝があるかぎり遊べるし、続編のために何度でもワードナを倒してレベルを上げることができる。いまレベル21で、すごい物といったらMURAMASA BLADEとSHURIKENSしか持っていない。なんでRING OF HEALINGが見つからないんだ。

(千葉県 関根克聡)

●三国志、あの広大な世界、完璧な設定、値段の高さ(特にこだわりたいくないけど)、どこを取ってもすごい。

(宮城県 村上輝光)

●作品賞、オリジナルシナリオ賞、インテリジェント部門賞に三国志を——僕はもうこのソフトを一生手放すことはない。三国志なくしてシミュレーションは語れない。シミュレーションをバカにしているそのRPGかぶれめ、えっ？ 三国志は高くても買えないって？ エーイ、こうなったら孔明の計略だ(??)。最後に、あなたは昭馬師、昭を見たことある？

(福島県 北沢 昇)

●オリジナルシナリオ賞にリ・バースを推薦します。グラフィックもテーマ曲も最高でした。しかし、これらを盛り上げたのは、あの高度なシナリオのおかげだということを忘れてはいけません。素晴らしい続編を期待したいと思います。

(宮城県 岩佐貴史)

●オリジナルシナリオ賞はD-SIDE——ラグラン

もある。つまり、このGAME OF THE YEARでは特殊効果賞2連覇となったわけだ。とにかくあのソリッドモデルの3D迷路をグングン進むという技術はすべてのソフトのなかで最高のものだろう。

一方、メッセージの数ではプラスティーを讃える声が圧倒的。やはりアニメファンはこういうことにうるさい。

私は、クリスがかわいいと思います。いけませんか？
——大分県 塩田達也
主演キャラクター賞
クリス

どうもユニークな主演キャラクターがいなかったというのが正直なところ。アルファのクリスが受賞というのは妥当なところだが、アドベンチャーの主人公が受賞というのはあまりにも意外性に乏しい気がしないでもない。昨年のちゃっくんのようなキャラクターはもう出ないのだろうか。

今回大健闘なのがナイザーのアレス。ハイドライドのジムを初め、ドラスレやメルヘンヴェールのキャラクターがぜんぜん人気がない

順位	キャラクター名	作品名	ソフトハウス名	票数
1	クリス/アルファ		スクウェア	91
2	アレス・ナイザー/ナイザー		電波新聞社	49
3	ワードナ/ウィザードリィ		アスキー フォアチュン	46
4	へんきんくん/へんきんくん wars		アスキー	44
5	デゼニマン/デゼニワールド		ハドソン	6

ジュシリーズのシナリオは完全無欠だった。

(新潟県 吉川昌則)

●オリジナルシナリオ賞にはDAIVA(ディーバ)を。発売されたばかりだって？ んなことはどーでもいい！

(愛知県 溝口信太郎)

●オリジナルシナリオ賞はロマンシアがよいと思います。解き終えたとき王子の性格が歪んでしまっていたというのが最高ですね。

(京都府 林 貴晴)

●なんといっても86年度のCZシリーズにとって最高の贈り物だったのはFM音源ボードでした。このFM音源をいち早く採用して登場したのがリ・バースでした。レリクスなどでは、他機種でFM音源のテーマ曲が聞けるのにXIシリーズではPSGだったのはくやしい思いをしたものです。オプションながらサポートしてくれたSPSに感謝。

(鹿児島県 桃木野隆)

●テーマ音楽賞にアルバトロスを——あのオーブニングの音楽はいくら聴いても飽きがこない。

(茨城県 楠田輝也)

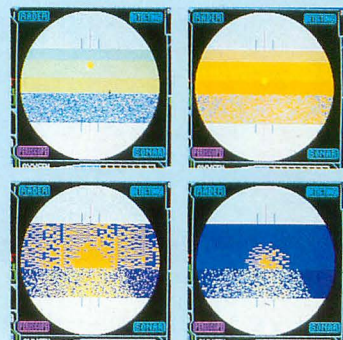
●テーマ音楽賞は、ピクチャーレコード付きのアルファに決定！

(北海道 藤田真央)

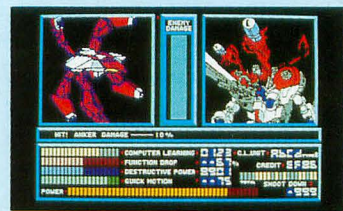
●テーマ音楽賞はファイナルゾーン——このファイナルゾーンが発売されたときには、もうすでに1月号が発売されていたのでノミネートされていなかったのだろうけど、誰がなんといおうと、こ



ファイナルゾーンはFM音源のアレンジが最高！ 乱入ごろを大いに刺激。



知る人ぞ知る、日没の様子。マイナーなゲームだが、実際に試した人々は口をそろえてその感動を訴える。



日本サンライズが動画を担当したプラスティー

のゲームのBGMは、あのXIシリーズの素晴らしいFM音源を生かしたもので、もうなにもいうことはない。ただスゴイのひと言に尽きると思う。

(千葉県 柳沼 努)

●テーマ音楽賞にファイナルゾーンをノミネートすべきだ。

(岐阜県 加藤 充)

●テーマ音楽賞はファイナルゾーンで乱入！——はっきりいってこれを書きたいがために参加したようなもの。FM音源(OPM)による8重和音ステレオが最大限に生かされたゲーム。聴いてない人は今すぐXI(+FM音源ボード)ユーザーのもとへ走ろう。迫力のシンセサイザサウンドに感動しない人はいないはずだ。

(福井県 砂子雅人)

●なぜテーマ音楽賞にロマンシアがないのだ！？すごい曲もいいが、ロマンシアのように口ずさめるような曲がいいと僕は思います。

(神奈川県 鈴木 紳)

●特殊効果賞？ これは絶対、短足『ウィバーン君』に決定！

(新潟県 吉川昌則)

●特殊効果賞は、絶対にプラスティーしかない。なんといっても日本サンライズのロボットアニメーションが見られるのだから。その筋のアニメファンにはたまらない感動を与えるプラスティーが最高だ。

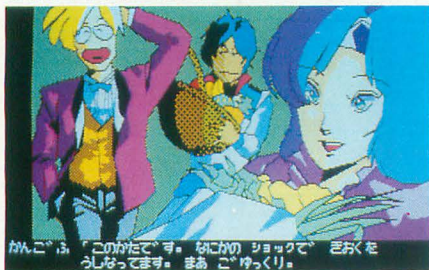
(愛媛県 松井慎一)

●プラスティーのためにXI turboを買いました。日本サンライズバンザイ！

(大阪府 森 次郎)



主演キャラクター賞 クリス



助演キャラクター賞 ブルー

かったことを思うと MZ-1500 ユーザーのアレスへの思い入れは絶大のようだ。

そのほか、ワードナについては主演かどうかで意見が分かれたようだ。地下10階に事務所を持つワードナに会えるのはもはやクライマックスであるが、ウィザードリィ(シナリオ #1)の世界全体にワードナの意思を感じる者にとってはやはり主演といってよいだろう。「だって結局は悪代官でしょう」という声もあったが……。

ま、いいかげんな奴だけだね……

——愛知県 森田善彦

助演キャラクター賞 ブルー

主演キャラクターに比べて、助演キャラクターのほうはいろんな意見があつてなかなか面白かった。なかでも目立ったのが三国志の諸葛孔明の乱入投票(7通)だ。ふつうは思いつかないような気がするが真剣にプレイする人にとっては重要なキャラクターとして印象に残るということだろう。もうひとり、かなり古いゲームだがワンダーハウス(ダスクフォーツ高知)に出てきたboy(少年)に2票入っているのが紹介しておきたい。

ほかにも、シルバードラゴンよりキングドラゴンをという声や、どうして湯のみなんかノミネートされるんだといったつっかかり投票する人もいたし、グラディウスのオブションというのにも笑った。

順位	キャラクター名/作品名	ソフトハウス名	票数
1	ブルー/地球戦士ライザー	エニックス	66
2	シルバードラゴン/ザナドゥ	日本ファルコム	46
3	湯のみ/棋太平	マイコンハウスSPS	41
4	アンドロイド/コスミックソルジャー	工画堂スタジオ	17
5	チューガ/発汗・惑星	ホット・ビー	15

これほどX1に合ったゲームはない。絶対に!!

——熊本県 松岡真彦

Oh!CZ賞 ザナドゥ

今年も圧倒的な強さでザナドゥがOh!CZ賞に選ばれた。2連覇達成である。それにしてもザナドゥを選ぶ人は本当にX1シリーズのためにザナドゥがあるように思い込んでいるような雰囲気である。どのハガキを見ても、ほんと不思議なくらい「やっぱりX1はザナドゥだ」とか「これしかない」とか書かれて

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	ザナドゥ	日本ファルコム	264
2	ウイバーン	アルシスソフトウェア	148
3	マッピーニューバージョン	電波新聞社	51
4	ハイドライドII	ティーアンドイーソフト	34
5	Zガンダム	バンダイ	11

勝手にGAME OF THE YEAR

Oh!MZ ベーパーソフトウェア賞

Choppy Zephyr (Oh!MZ 1月号)

Oh!MZ スピリット賞

tiny XEIVIOUS for 700 (Oh!MZ 11月号)

——ベーパーソフトウェア賞は質とゲームバランスから、またスピリット賞はハードの限界まで挑戦した tiny XEIVIOUS に真のユーザースピリットを感じたので、この2つに賞を与えたい。

(北海道 藤田真史)

隠れキャラクター賞

正義の味方オニギリマン(アルファ)——こおへんなキャラクター見たことない。

最優秀プログラマー賞

木屋善夫(日本ファルコム) / TUX 吉村(アルシスソフトウェア)——どんなワガママでも許してあげます。

最優秀シナリオライター賞

宮本恒之(日本ファルコム)——ゲームブックも面白かったですよ。

最優秀ソフトハウス賞

日本ファルコム——就職したい。

文字フォント賞

THEXDER (テグザー)——電卓風数字が好きっ。

(以上 秋田県 進藤慎一)

最優秀ローディング賞を作ろう

これは要するに、ゲームをロードしている間、最も私たちを楽しませて(?)くれたものに贈られるのだ。この賞にはドルアーガの塔(X1用テープ版)を推挙する。はっきりいって、このゲームのロードは未だに謎である。

P.S. 次はドラゴンバスター(X68000版?)だ。

(大阪府 玉井良平)

最近のゲームで流行ったこと BEST6

——と、それに対して思うこと。

①デカキャラ(ザナドゥ、ウイバーン、夢幻戦士ヴァリス、etc. …)

いる。やはり、X1のCP/Mで開発され、他機種に先駆けて発売されたこと、そしてテープユーザーを見捨てずサポートしたことなどが大きく影響しているのだろう。今後もぜひこういったユーザーの心をつかむソフトを出してほしいものである。

本当にハードを使いこなしている

——埼玉県 吉田周理

Oh!MZ賞 ゼビウス

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	ゼビウス	電波新聞社	174
2	ナイザー	電波新聞社	114
3	夢幻の心臓II	クリスタルソフト	52
4	道化師殺人事件	シンキングラビット	32
5	レイドック	ティーアンドイーソフト	23

- ②マルチウィンドウもどき(例をあげるときがない)。
- ③完璧な重ね合わせ(ロマンシア、ファイナルゾーン、etc. …)
- ④ながあひプロログ(レリクス、ファイナルゾーン、夢幻戦士ヴァリス、etc. …)
- ⑤マルチプレイヤー(まあ流行ったほうですね、九玉伝とかムーンチャイルドとか)
- ⑥3D処理(ウイバーン、シルフィード、etc. …)
- ⑦オマケ(レコード、音声カセット、フィギュア、チョコロキュー、etc. …)

——こうして見ると、どっかのソフトハウスがやって売れたことはあつたという間に流行りますね。そうやってソフトがどんどん一般受けするものになっちゃうんだよね。もっと海外のソフトとかを研究したり、ビデオゲームなんかには照準を合わせたりして、特異な(いい意味で)ものを作ってほしい。今年こそは「奥深いシナリオ」が流行る年になりますように。(前出 高橋哲史)

無冠の帝王賞

私は、ハイドライドに、昨年1月号で祝さんが提唱していた「無冠の帝王賞」をあげたい。昨年あれだけ多くの賞にノミネートされたのに、結局1部門も制することができなかったのはあまりにもかわいそーではないか。アクティブRPGというひとつのジャンルを築き上げた功績をもっと評価してあげようではないか! とゆーわけで重箱の隅を突つたような賞に乱入投票する次第です。

(千葉県 今井英介)





Oh! CZ賞 ザナドゥ

ゼビウスといえば、以前はX1のゲームマシンとしての優位性を示すソフトとして有名であった。しかしこのMZ-2500による、スムーズなスクロールと4096色のパレットボードをサポートしたアーケード版並みの素晴らしい移植版によって、イメージは逆転。いまやゼビウスはMZ-2500ユーザーの誇りとなっている。そしてOh! MZの11月号では、MZ-700/1500で遊べる tiny XEVIUS for 700も登場したのだ。こちらのほうにも乱入投票が数多く届いている。

そして、ナイザーも健闘した。MZ-1500用にはアーケードゲームの移植版が多いが、ナイザーは完全なオリジナルとしてユーザーの心をつかんだようである。

通信をサポートするとは……

——千葉県 岡崎秋夜

特別企画賞

ムーンチャイルド

このところユーザーの目は以前にも増して厳しくなり、内容の深さに向けられている。そのせいか、いわゆる企画ものというのはど

●主演キャラ賞にあおいさん（ウイングマン2）をあげないのは許せん！ ああ、あのラストシーンが再び脳裏に……。それに助演キャラ賞にリロちゃんをあげる私はどーせその筋さ！

（滋賀県 久保田幸雄）

●主演キャラクター賞は劉備玄徳（三国志）——いとしゅうございます玄徳さま……。

（静岡県 山崎 裕）

●助演キャラクター賞にライザのブルーを——私は兄から「おまえはブルーに似ている」と言われた。きっと笑い方が似ているのだろう。

（宮崎県 中村 巧）

●助演キャラクター賞にブルーを——思わず涙が出た……かもしれない。（長崎県 荒木 征則）

●あの画面の左下の小さな湯のみが、幾度となく困惑した私の心に安らぎを与えてくれた。

（埼玉県 萩原 宗）



仲沢 健一
（8）



Oh! MZ賞 ゼビウス

うも軽視される傾向にあるようだ。

ボイスレコーダ、通信による2人プレイなどMZ-2500でできるいろいろなことに挑戦したムーンチャイルドが特別企画賞に選ばれたのも当然のことかもしれないが、内容に関してはいま一步もの足りないとの声も多い。また以前ならディスク4枚というだけで話題となったであろうリ・バースはシナリオの良さやグラフィック、BGMなどのほうがより評価されるようになった。逆に、カレイドスコープはもうちょっと評価されてもよかったような気もする。これからは、内容とのバランスがとれた企画ものを期待したいところだ。

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	ムーンチャイルド	ホット・ビイ	84
2	リ・バース	マイコンハウスSPS	77
3	カレイドスコープ	ホット・ビイ	43
4	ジョイジョイバックスペシャル	SBCソフトウェア	21
5	暗闇の視点	ハドソン	16

●助演キャラクター賞は三国志の諸葛亮だ——彼を抜いて三国志を語ることはできない。主演キャラクターだという人もいます。

（東京都 田辺しずお）

●助演キャラクター賞はワンダーハウスのBOY！——何を言っても消えていく。なんだあいつは！

（三重県 阿形知英）

●助演キャラクター賞にboy少年（ワンダーハウス）を——ちなみに、作品賞には幻のワンダーハウス2をあげたい。

（東京都 森敦史）

●ハガキが余ったから出してしまうのだ。助演キャラクター賞は当然グラディウスのオプションがもらうべきだろう。

（千葉県 富永将之）

●助演キャラクター賞はゼビリ・バースの少女に。「私、おしゃべりな人って嫌いよ」。このセリフにあらとしたのは僕だけだろうか。

（宮城県 岩佐貴史）

●助演キャラクター賞はチャンピオンプロレスのイノケにしてくれ。あの2頭身キャラのなかに光る個性は見る人に「かわい〜♡」といわせる。特にイノケのあのグレートなアゴは、実にまたりとしてコクがあり、それでいて少しも生々しくない。ゲームセンターの感動がよみがえる。あっそれからスポーツゲームのワールドゴルフに！票。

（東京都 伊藤史彦）

●X1は本当にザナドゥというイメージがある。



特別企画賞 ムーンチャイルド

スベルような背景が気持ちよい

——神奈川県 田中 淳

アミューズメント・アクション部門賞
レイドック

レイドックが圧倒的な強さでトップとなった。レイドックはMZ-2500版のみなので同機種のユーザーの票が集中したとも考えられるが、ゲーニーズ以外はいずれもMZ-2500版があるため、やはりレイドックそのものの魅力がアミューズメントアクション性に優れていたといつてよいだろう。美しいグラフィック

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	レイドック	ティーアンドイーソフト	196
2	ウイバーン	アルシスソフトウェア	85
3	べんぎんくんwars	アスキー	64
4	フリッキー	マイクロネット	18
5	ゲーニーズ	コナミ	9



神奈川
丸藤 俊之
（18）

（京都府 岩本敬）

●Oh! CZ賞はウイバーンしかない。X1/X1turboの底力を見せてくれた。あれでFM音源ボードをサポートしていれば……。（兵庫県 三宅伸明）

●Oh! CZ賞にZガンダムを——マシンの装甲越しに敵の殺気を感じる。（福島県 佐藤昭仁）

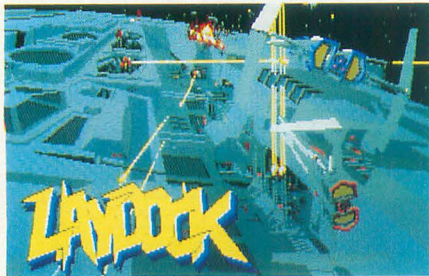
●Oh! MZ賞はゼビウスだ——MZ-2500が他のパーソナルコンピュータよりずっと優れていることを見事なまでに証明したソフトである。

（東京都 青木正和）

●Oh! MZ賞にナイザーを——まだまだMZ-2500には負けていられないぜつ。このゲームはそう言っているようだ。（宮城県 岡 恭一）

●Oh! MZ賞はtiny XEVIUS for 700に投票したくなるのは私だけであろうか。

（岩手県 佐藤宏明）



アミューズメント・アクション部門賞 レイドック

はもちろん、MZ-2500版のスピードはMSX₂やFM77AV版以上と評価も高い。レイドックには余計な派手さはなく、むしろシューティングゲームの基本に忠実に作られている。今年是这样いったストロングスタイル（正統派）のシューティングゲームが再び評価されるといった傾向が強いようだ。

仲間とおつきあいにはコレッ
——長野県 山村哲司

スポーツゲーム部門賞 アルバトロス

アルバトロスがダントツでスポーツゲーム部門を制したが、このジャンルは元気がないのが残念だ。ぺんぎんくん wars のドジボールなどは別にして、まともなスポーツシミュレーションがほとんど出ていない。野球やテニスなどはファミコンでも新作が出てないがまだまだ改良の余地はいくらでもあるはずである。最近のものではアルバトロスとワールドゴルフがかなり高い評価を得ているが（演出のアルバトロス、味わいのワールドゴルフなんてね）、ゴルフ以外にも野球、テニス、バレーボール、サッカーなどの人気スポーツを本格的に楽しめるものを期待したい。

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	アルバトロス	日本テレネット	151
2	ワールドゴルフ	エニックス	65
3	ぺんぎんくん wars	アスキー	40
4	チャンピオンプロレススペシャル	マイクロネット	29
5	野球狂	ハドソン	14

ディスクへアクセスするときのキンチョウ感がたまらない
——広島県 山下晃弘

SF&ファンタジー部門賞 ウィザードリィ

とにかくウィザードリィが強く圧倒的な勝利を収めた。この部門はSF&ファンタジーとなっているが、昨年のファンタジアンに続いて今年もファンタジーが勝ったわけである。SFではD-SIDE が頑張ったが、多少マイナーな感のあるゲームだけにこの差はいたしかたないといったところだろう。また昨年はファンタジーとしても人気の高かったザナドゥ

●アミューズメントアクション部門賞はレイドックに決まりだ。アクションゲームはあれを抜きには語れない。sonでもって、テーマ音楽賞にも乱入投票するぞ。全国のレイドックファンよ立ち上がれ！
（東京都 宅間 朗）

●インテリジェント部門賞に蒼き狼と白き牡鹿を——このゲームのスゴイところは、ほとんどBAS ICで書かれていることである（少なくともMZ-2500版は）。だから、プログラムの変更が簡単にできる。わが家にやってくるゲームジプシーの1君は、お姫様たちの名前を知っている女の子の名前に変えてプレイするというとても暗い遊び方をしているのだ。おじさん（わからない人は昨年の3月号を見よ。）にこの遊び方をお勧めしたい。
（北海道 光野冬樹）

●乱入だ！ インテリジェント部門賞は大戦略X1しかないぞ。マップはきれいで多彩、そしてエディットもでき、対戦もコンピュータ・人間のいず

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	ウィザードリィ	アスキー フォアチューン	276
2	D-SIDE	コムバックス	73
3	ザナドゥ	日本ファルコム	68
4	覇邪の封印	工画堂スタジオ	43
5	発・汗・惑・星	ホット・ビー	14

が今年はあまり注目されなかったようだが、これはファンタジーというジャンルが暗くて重々しいものといったイメージが定着してきたからだろう。まあ、明るいファンタジーがいけないというわけではないと思うのだが。

何日徹夜したか知ったもんじゃない
——栃木県 アウトラン

インテリジェント部門賞 三国志

三国志が予想どおりの強さを見せてインテリジェント部門賞に選ばれた。ウィザードリィがファンタジーの本格派なら、三国志はストラテジックゲームの本格派だ。まずは文句なしにこれしかないといったところだろう。

この分野のゲームとしては、パズルゲームや将棋、チェス、オセロ、トランプなどのシミュレーション、そしていわゆるシミュレーションウォーゲームと呼ばれるものがある。三国志はもちろんシミュレーションウォーに



スポーツゲーム部門賞 アルバトロス

れでも OK。年末に熱中してしまっただけ。アミューズメント・アクション部門賞はファイナルゾーンが最も素晴らしく似合っている。年始めに熱中してしまっただけ。
（岡山県 林 秀人）

●移植ビデオゲーム部門賞はMAPPY NEW VERSIONしかありません。私はOLD VERSION以来のファンでしたので、初めてNEW VERSIONをプレイしたときは、もう感動の嵐に巻き込まれてしまい涙が出そうなほどでした。それほどこの移植は素晴らしく完璧であるといえます。でも、こんなこと書いているのは私くらいだろうな。フン、いへんだもん。MZ-2500のXEVIOUSがなんだ。そのうちX1turboZのXEVIOUSが出るさ（出るといいのにな）。やっぱりゲームはMAPPYがいちばんさ。

（新潟県 本間 晃）

●移植ビデオゲーム部門賞はtiny XEVIOUS for 700——これしかないっ！ 海が黒くないんだあ。
（兵庫県 田中哲也）

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	三国志	光荣	311
2	A列車で行こう	アートディンク	92
3	蒼き狼と白き牡鹿	光荣	51
4	モータルモータル2	ビクター 音楽産業	16
5	大戦略X1	システムソフト	15

は違いないが、内容的には伝統的なシミュレーションウォーとはちょっと様子が違っており、政治的要素やマネジメントの要素が強い。これは光荣が信長の野望で世に示したオリジナルの国取りゲームといったものといえる。

すでに大戦略が乱入で5位に入っているが今年はストラテジックな内容を持つゲームが面白くなりそうだ。

ゼビウスは絶対に不滅だ！
——東京都 甲斐哲雄

移植ビデオゲーム部門賞 ゼビウス

予想どおり、ゼビウスが移植ビデオゲーム部門において2連覇を達成した。もちろんこれは、ゼビウス自体がシューティングアクションとしての頂点を究めた歴史に残るゲームであるためといえるが、昨年移植されたMZ-2500版があまりにも完璧な出来であったことや、あのMZ-700版タイニーゼビウスがOh！



SF&ファンタジー部門賞 ウィザードリィ

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	ゼビウス	電波新聞社	242
2	マッピー	電波新聞社	52
3	ボスコニアン	電波新聞社	44
4	ドルアーガの塔	電波新聞社	13
5	tiny XEVIUS for 700	Oh! MZ11月号	11

MZで発表されたことも大きく影響したといえるだろう。

ところで、今年はこの分野に大きな変化が起きようとしている。そう、いうまでもなくあのグラディウスをひっさげて登場したスーパーマシン X68000のことである。もちろんグラディウス以外のビデオゲームについてはいまのところなんともいえないが、まちがいなく台風の目となるであろう。P.S.ドルアーガの塔がノミネートされていなかったのは不覚であった。

世界最高のRPGだ！

——大阪府 長谷川泰右

移植外国ゲーム部門賞 ウィザードリィ

ウィザードリィが昨年に続いて選ばれた。こは文句なしに決まりという雰囲気だが、ち

●ハッキリ言わせてもらおう。ザナドゥだのハイドライドIIだのといっているが、史上最大のゲームはMZ-700用タイムシークレットである。このゲームは、MZ-700を買ってでもプレイする価値があると思う。うへん、シビアな意見だ。

(東京都 伴 正之)

●私の印象に最も残っているものはなんといってもザナドゥ、しかもテープ版です。このソフトにはパソコンゲームの良い面、悪い面その他いろいろと教えられました。パソコンを始めてから本格的に取り組んだ初めてのRPGであること、そしてX1で開発されたという思い入れ、ゲームとしての奥行きが深さ、楽しさを存分に味わいました。また、テープ版であるがゆえに死ぬ目に遭いました。あの“INSERT C TAPE”というメッセージを見て何度ぶっとんだことか！ このゲームにテープ版ゲーム賞を！ (鹿児島県 桃木野隆)

●作品賞にザナドゥシナリオII——あのザナドゥがグレードアップしたシナリオII。戦いの中に謎があり、技もある。知る人は言う、究極のRPGだ。／Oh! CZ賞にザナドゥ——ターボで開発され、X1/X1turboで巻に施風を巻き起こした日本一のザナドゥがOh! CZ賞に輝かなければ、天が許さん!!／移植ビデオゲーム部門賞にボスコニアン——ADPCMもどきのボイスレコーダ搭載のボスコは、僕のまねをするかわいいやつです。

(新潟県 加藤健二)

●作品賞にザナドゥを——いわずと知れたこのゲーム。X1ユニザードなら誰でも1度は通った道。それがザナドゥの世界。／作品賞にロマンシアを(コ

よつと寂しい。アーコンも健闘したが、発売されたのが年末でしかもMZ-2500版のみ。前評判も高かったから、実際に試してない期待票や、ウィザードリィに入れるのはもう……といった票が多かったというのが実情だろう。X1/X1turbo版も同時に出ていれば、さらに盛り上がったと思うのだが……。

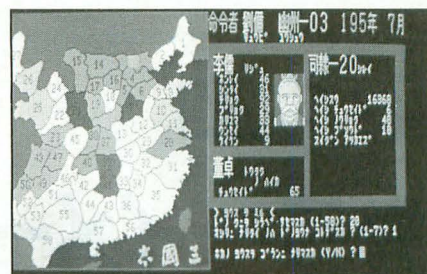
さて、ウルティマIVの日本版が計画されているが、X1などに移植されれば来年度はもっと面白くなるだろう。ウルティマについてはシリーズ3作目までがPC/FM系に移植されているがX1/MZには残念ながらない。今回は例の夢工場87の関係で多くの機種に移植されるようなので大いに期待したいところだ。でないと、来年もKNIGHT OF DIAMONDSでウィザードリィの独走ということになりかねない。

順位	作品名	ソフトハウス名	票数
1	ウィザードリィ	アスキー フォアチューン	288
2	アーコン	ビービーエス	91
3	チャンピオンシップ ロードランナー	ユニバース ソフトプロ	13
4	ファンタジー	スタークラフト	9
5	インボッシュブル ミッション	コンプティーク	5

ラ、どっちが作品賞なんだ？ 編集室)——二重、三重、四重、五重と仕掛けられた無数のカラクリを解いてく難しさ！ 時間さえかければ簡単に解けるRPGとはひと味もふた味も違う。そして最後は日本語話(解いた人にならわかる!?)。／テーマ音楽賞にレリクスを——オープニングの音楽もさるもの、歩いている途中の「ブーン、ブーン」という音がいつそうスリルを増す。しかし、あのイワシの頭だけみたいな野郎に何度殺られたことか。／インテリジェント部門賞に三国志を——住民の反乱、洪水、地震、いなご、数々の困難を乗り越えて中国統一をするのは並じやない。／移植外国ゲーム部門賞にウィザードリィを——今日のRPGの原点。英語表示でプレイすれば気分はもうアメリカ人。ハロー！ ディスイズアベン。／助演キャラクター賞はザナドゥシナリオIIのデカキャラPelutonに決まり。あのユニークな顔と動き。殺すに忍びなかった。(宮城県 川崎真基)

●Oh! MZ賞にナイザーを——夜も寝ないで頑張った僕は、涙なしでエンディングを見ることができませんでした。／主演キャラクター賞にナイザーのアレスを——ヨロイを取るまでに火をくぐらなかったのは私です。(愛知県 藤山健二)

●作品賞に夢幻の心臓IIを——ザナドゥやウイバーンもよかったが、じっくり遊べるRPGとしていちばんだ。／オリジナルシナリオ賞にD-SIDEを——シナリオのよさではビカーだろう。／美術デザイン賞に南海の標的を——あのグラフィックははっきりいってよかった。ぼくはこれでシミュレーションを見なおし始めた。／特殊効果賞にムー



インテリジェント部門賞 三国志



移植ビデオゲーム賞 ゼビウス



移植外国ゲーム賞 ウィザードリィ

ンチャイルドを——ボイスレコーダを使うなんて素晴らしいと思う。／特別企画賞にカレイドスコブを——ぼくはこのゲーム好きです。

(香川県 横山裕史)

●ところで、①女性キャラクター賞、②アタッチゲーム賞はないのだろうか。ちなみに①にはセリナ姫(ロマンシア)を、②にはロマンシアを推薦します。さらに美術デザイン賞は、キャラクター部門、メカ部門、画面デザイン部門、タイトルデザイン部門、オープニング／エンディングデモ部門などに分けたほうがいいと思います。ご考慮ください。(茨城県 山本文博)

●テーマ音楽賞：うっていぼこ——FM音源対応の中ではこれが最高です。リ・バースもなかなかですが、曲の数がちょっと足りないんですよ。／スポーツゲーム部門賞：べんぎんくんwars——このゲームを手に入れたときから私はビーバーを倒すことに命を賭けた。こんなバカバカしくて楽しいゲームがほかにあったらうか!?!／アミューズメントアクション部門賞：グラディウス——とにかくスカッとします。オプションをつけると、ありとあらゆるものを叩きつぶす快感ができてしまいました。それと、コナミのテクニックも上級品。試しに各面のビッグコアが現れたら、グラフィックの残るBASICを起動してください。ほーら驚いた。／作品賞：三国志——とんでもないゲームだ。全国統一したのに民忠のせいでは志を遂げられないよう。／Oh! CZ賞：リ・バース——あのラストのBGMはOPNでは聴けまい。

(大阪府 堀 僚嗣)

たくさんのお便り、ありがとうございました。ここに掲載させていただいた読者の皆さんにはOh! MZ特製の記念品をお送りいたします。

第22回

カラーイメージボードなのである

Iwai Ippei
祝 一平

私がいわずと知れた、講師の祝一平である。

さて、この連載もあれこれとふらついていたわけであるが、今月はひさびさに本筋に帰って、カラーイメージボードをやるのである。

このカラーイメージボードには、CZ-8BV1とCZ-8BV2の2つがあるわけだ。BV1とBV2の主な違いは、BV2ではスクランブル（ハーフトーン）回路のモードが増えたことと、ハイスピードモノクロなどという技が付いたこと、それに320/640ドットそれぞれに対応するスクランブルモードが付いたことなどである。それはともかく、論より証拠である。さっさと表1、2を見ていただきたい。

まず表1のCZ-8BV1である。注意すべき点は、コマンド10Hは1/1画面モード、リセットコマンド、スクランブルONの3つ

の機能を兼ねているということである。それによって、1/4画面および1/16画面のときに、

スクランブルOFF→ON

に切り換えるなどのときには、10Hを出してスクランブルをONにしたあとで、もう一度20Hか40Hを出力して、画面モードを設定し直さなければならない。また、スクランブルOFFの状態のままで、画面モードを1/4→1/1とする場合などにおいては、1/1画面モードにすると同時にスクランブルがONになってしまうので、さらに80Hを出力して、スクランブルをOFFにしなければならない。

次に表2がCZ-8BV2である。まずはI/Oアドレスが+2して、コマンドが4つ増えていることに注目（ジャンパースイッチにより、CZ-8BV1と同じアドレスにすることも可能である）。ここで注意しておかな

ければならないのが、CZ-8BV2は、リセット時にスクランブルが“モード2”になっているということである。すなわち、CZ-8BV1とはちよいと違うスクランブルをするのである。

具体的にどう違うかという、はっきりいってモード2のほうがより自然な中間色を表現しているのである。

モード1では斜めの縞がどうしても目立っていたわけであるが、モード2ではそういうことは少なくなっているのである。また、モード2のとき（だけ）はさらに、320/640ドットモードを選択できるようになっている。これは「スクランブルの仕方」なのである。もともとは640ドットモードなのであるが、もしも本体の画面モードが320ドット（WIDTH 40）だった場合は、320ドットモードのスクランブルのほうがより自然に見えるようである。

表1 CZ-8BV1

●I/Oアドレス	
コントロールポート	: 0800H番地
データポート	: 0801H番地
●コマンド	
10H ¹⁾	1/1画面モード+リセット+スクランブルON
20H ¹⁾	1/4画面モード
40H ¹⁾	1/16画面モード
80H ¹⁾	スクランブル回路OFF
01H	次の1ラインを読み始める
02H	次のプレーン(色)を読み始める (B→R→G→B→……)
04H ²⁾	コンピュータアクセスモード (バッファを読み始める)
08H ²⁾	ビデオ信号入力モード (ビデオ信号をデジタイズし続ける)

注1: 1)および2)のコマンドを出力したあとは、最低16.7msのウェイトを取ること（余裕を持って17ms以上が望ましい）。ただし、1)のあとに1)のコマンドが続くときならウェイトは必要ない。

注2: コマンド01Hを出力後、2ms以内に1ラインのデータを転送し終わること。また、このコマンド01Hを連続して出力するときは、6μs以上の遅延ウェイトを取ること。

注3: 1/4、1/16画面モードは横方向だけの縮小であるから、縦方向はソフトウェアで“間引く”必要がある。

表2 CZ-8BV2

●I/Oアドレス	
コントロールポート	: 0802H番地
データポート	: 0803H番地
●コマンド	
10H ¹⁾	1/1画面モード+リセット+スクランブルON
20H ¹⁾	1/4画面モード
40H ¹⁾	1/16画面モード
80H ¹⁾	スクランブル回路OFF
01H	次の1ラインを読み始める
02H	次のプレーン(色)を読み始める (B→R→G→B→……)
04H ²⁾	コンピュータアクセスモード (バッファを読み始める)
08H ²⁾	ビデオ信号入力モード (ビデオ信号をデジタイズし続ける)
81H	スクランブルをモード1 (BV1と同じ)にする
83H	320ドットモードのスクランブル
84H	640ドットモードのスクランブル
85H	ハイスピードモノクロモード

注4: CZ-8BV2では、リセット直後のスクランブルモードは「モード2の640ドットモード」である。よってCZ-8BV1と同じ動作をさせるためには、コマンド81Hを実行する必要がある。

注5: 320/640ドットモードはモード2のときだけ意味を持つ(モード1では両者は同じ)。

実践するのである

さっさとサンプルを出してしまうのである。リスト1, 2, 3, 4である。リスト1はX1用, リスト2はそのマシン語部分, リスト3はturbo用, リスト4はマシン語部分である。リスト1, 3とともに, 一般的な変更箇所は,

130行のI/Oアドレス

170~190行のモード設定

となっている。CZ-8BV1を使っているならば, 130行を,

130 CP=&H800:DP=&H801

としていただきたい。170~190行は画面の大きさの選択である。(REM)で殺してない行が選択されるわけだ。おっと, いま気がついたが, この場合はどちらもWIDTH 80のモードで走らせていただきたい。

プログラムの説明に入る。まずはリスト1である。大事なのは140, 150行でマシン語ルーチンを用意している点である。このマシン語ルーチンは手抜きしてあるので, 200, 210行で一部を書き換えたりしている。たまにしかマネしないよーに。

さて, それ以降の説明に進むのである。まず220行である。これはコントロールポートに10Hを出力しているわけだ。これがなにかと考えるならば, 表1より明らかに「1/1画面モード+リセット+スクランブルON」なわけだ。その次の230行では再びコントロールポートにMDを出力している。これはなにかといえば, 結局MDは10H, 20H, 40Hのうちのどれかなのである。10Hの場合は, ま, いってみれば詰めもの=無駄である。そこでMD=20Hの場合を説明するのである。

コントロールポートに20Hが出力される前は, カラーイメージボードは1/1画面モードでシャコシャコとビデオ入力をデジタイズしていたわけである。すなわち, カラーイメージボードはビデオ画面を640ドット×200ドット=80バイト×200ライン(実をいうと本当はもっと大きいのだが)のデータに変換していたのである。そこへ20Hというコマンドがきたわけである。そうすると, カラーイメージボードはそれまでの640×200をやめて, ビデオ信号を320ドット×200

リスト1 X1用

```
100 'FOR X1
110 INIT:CLS4:DEFINT B-Z
120 CLEAR &HE000
130 CP=&H802:DP=&H803
140 MEM$(&HE000,16)=HEXCHR$("EB 4E 23 46 16 50 D9 01 03 08 ED 78 D9 ED 79 03")
150 MEM$(&HE010,15)=HEXCHR$("15 D9 20 F6 C9")
160 DEFUSR0=&HE000
170 XS=80:YS=200:MD=&H10:SL=1 : '640*200
180 'XS=40:YS=96 :MD=&H20:SL=2 : '320*96
190 'XS=20:YS=48 :MD=&H40:SL=4 : '160*48
200 MEM$(&HE008,2)=MKI$(DP)
210 POKE &HE005,XS
220 OUT CP,&H10 : 'RESET
230 OUT CP,MD : '1/1,1/4,1/16 MODE
240 '
250 OUT CP,&H4 : 'COMP ACCESS (LATCH)
260 PAUSE 1
270 ADR=&H4000:GOSUB"IS"
280 ADR=&H8000:GOSUB"IS"
290 ADR=&HC000:GOSUB"IS"
300 OUT CP,&H8 : 'VIDEO ACCESS
310 PAUSE 1
320 GOTO 250
330 END
340 '
350 LABEL"IS"
360 OUT CP,&H2 : 'RGB
370 FOR I=1 TO 24
380 OUT CP,I : 'SET NEXT 1 LINE
390 NEXT
400 FOR Y=1 TO YS
410 D=INP(DP):D=INP(DP):D=INP(DP): 'SKIP 3
420 D$=USR0(MKI$(ADR))
430 ADR=ADR+&H800
440 IF (ADR AND &H3800)=0 THEN ADR=ADR-(&H4000-80)
450 FOR I=1 TO SL
460 OUT CP,I: 'PAUSE 0 : 'SET NEXT 1 LINE
470 NEXT
480 NEXT
490 RETURN
```

ドット=40バイト×200ラインのデータに変換するようになるのだ。縦のほうは200ラインのまま変わらないということに注意。もしもこれが20Hでなく40Hであったなら, 160ドット×200ドット=20バイト×200ラインとなる。

これらのデータを, 変に潰れたり伸びたりせずに表示させるには, コンピュータの画面モード(WIDTH)との関係で表3のようにすることになる。

さてここからが佳境である。リスト1の250行でコントロールポートに04Hを出力している。これは表1にもあるように, 「コンピュータアクセスモード」なのである。早い話が, カラーイメージボードはこのコマンドを受け取ると, それまでシャカシャカとデジタイズしていたのをやめて, 「よっしゃよっしゃ, デジタイズしたデータが欲しいんだな。ようし, 活きのいいやつをデジタイズしてお前に渡してやらあ。受け取りな, べらぼうめ」となるわけである。すなわち, カラーイメージボードは, 自分の持っているバッファを一杯にしたあとで「データ転送モード」に入るのである(注1にもあるように, バッファが一杯になるまで,

最悪の場合17ms待たなければならない)。

その次の270~290行では青, 赤, 緑の順でカラーイメージボードからG-RAMに転送している。この転送は単純なものではなく, 1ラインごとに送るので, 少々面倒である点に注意していただきたい。

ここまで説明すれば大体雰囲気はわかってきたと思うので, 少々はしよることにする。残っているのは410行である。これは空読みである。なんでこうするのかというと, それはカラーイメージボードのハードがそうになっているからである。気になるなら試しに410行を削除してみるとよい。あとは420行で1ライン転送し, 430, 440行でG-RAMアドレスを1ライン下げ, 450~470行で(カラーイメージボード側の)ラインのスキップをやっている。

基本的にちょいちょいといじって, ほどほどに暴走させてみると, よく理解できるであろう。がんばっていただきたい。

リスト3のturbo版は, データの転送にDMAを使っていること以外は変わったことはないの, 説明は省略である。なお, DMAに関しては1985年の8, 9月号を参照していただきたい。



リスト 2 カラーイメージボード→G-RAMへ1ライン転送

```

.Z80
.PHASE 0E000H ;OR ANY PLACE

E000 EB          EX DE,HL
E001 4E          LD C,(HL)
E002 23          INC HL
E003 46          LD B,(HL) ;BC=VRAM ADDR.
E004 16 50       LD D,80 ;XS
E005 D9          EXX
E006 01 0803     LD BC,0803H ;DPORT
E00A ED 78       LOOP: IN A,(C) ;GET 1 BYTE
E00C D9          EXX
E00D ED 79       OUT (C),A ;TO VRAM
E00F 03          INC BC ;INC VRAM ADDR.
E010 15          DEC D ;DEC COUNTER
E011 D9          EXX
E012 20 F6       JR NZ,LOOP
E014 C9          RET
END
    
```

リスト 3 X1turbo用

```

100 'FOR turbo
110 INIT:CLS4:DEFINT B-Z
120 CLEAR &HE000
130 CP=&H802:DP=&H803
140 MEMS(&HE000,12)=HEXCHR$("78 EB 01 80 1F 04 ED A3 3D 20 FA C9")
150 '
160 DEFUSR0=&HE000
170 XS=80:YS=200:MD=&H10:SL=1 : '640*200
180 'XS=40:YS=96 :MD=&H20:SL=2 : '320*96
190 'XS=20:YS=48 :MD=&H40:SL=4 : '160*48
200 OUT CP,&H10 : 'RESET
210 OUT CP,MD : '1/1,1/4,1/16 MODE
220 DMS=DMS+CHR$(&B1111001)+MKI$(&H4000)+MKI$(XS-1)
230 DMS=DMS+CHR$(&B11100,&B101000,&B11001101)
240 DMS=DMS+MKI$(DP)+CHR$(&B10011010)
250 D$=USR0(DMS)
260 PAUSE 1
270 '
280 DMS=CHR$(&B11001)+MKI$(0)+HEXCHR$("CF 87")
290 OUT CP,&H4 : 'COMP ACCESS (LATCH)
300 PAUSE 1
310 ADR=&H4000:GOSUB"IS"
320 ADR=&H8000:GOSUB"IS"
330 ADR=&HC000:GOSUB"IS"
340 OUT CP,&H8 : 'VIDEO ACCESS
350 PAUSE 1
360 GOTO 290
370 END
380 '
390 LABEL"IS"
400 OUT CP,&H2 : 'RGB
410 FOR I=1 TO 24
420 OUT CP,1 : 'SET NEXT 1 LINE
430 NEXT
440 FOR Y=1 TO YS
450 D=INP(DP):D=INP(DP):D=INP(DP): 'SKIP 3
460 MID$(DMS,2,2)=MKI$(ADR)
470 D$=USR0(DMS)
480 ADR=ADR+&H800
490 IF (ADR AND &H3800)=0 THEN ADR=ADR-(&H4000-80)
500 FOR I=1 TO SL
510 OUT CP,1: 'PAUSE 0 : 'SET NEXT 1 LINE
520 NEXT
530 NEXT
540 RETURN
    
```

リスト 4 DMAを使ってカラーイメージボード→G-RAMへ1ライン転送

```

.Z80
.PHASE 0E000H ;OR ANY PLACE

;DE=ADDRESS TO DATA,B=COUNTER
E000 78          LD A,B
E001 EB          EX DE,HL ;HL POINTS DATA
E002 01 1F80     LD BC,1F80H ;DMA I/O ADDR.
E003 04          LOOP: INC B
E004 ED A3       OUTI
E005 3D          DEC A
E006 20 FA       JR NZ,LOOP
E00B C9          RET
END
    
```

表 3 カラーイメージボードと本体の画面モード

	WIDTH 40	WIDTH 80
1/1=10H		80バイト×200ラインをそのままG-RAMへ(画面全体に表示)
1/4=20H	40バイト×200ラインをそのままG-RAMへ(画面全体に表示)	40バイト×200ラインを1ラインおきにG-RAMへ(画面の1/4に表示)
1/16=30H	20バイト×200ラインを1ラインおきにG-RAMへ(画面の1/4に表示)	20バイト×200ラインを3ラインおきにG-RAMへ(画面の1/16に表示)

気分は近未来である

さて、ここからぼちぼちフィニッシュに持ち込むのである。そしていったいなにをやるかというと、写真にもあるように、「BASIC+動画のウィンドウ」なのである。

種を明かすと、CTCの割り込みを使って、BASICと画像取り込みが並列動作してしまうのである。言葉でいうと簡単に聞こえてしまうが、これはちょっと他機種ではまねができないワザである。BASICがちゃんと動いている同じ画面で、1/16 (もしくは1/4)の画面がリアルタイムで動いているのである。これを見て、むむむとうならないやつはいないであろう。

で、このよーにBASIC+画像取り込みが(一応)マルチタスクするとどういうメリットがあるかというと、

- 1) 他機種のユーザーに自慢できる
- 2) 他機種のユーザーが驚く
- 3) 他機種のユーザーが落ち込む
- 4) 他機種のユーザーが寝返る
- 5) テレビを見ながらプログラムや、マシン語のダンプリストを入力できる (スーパーインポーズよりずっと目触りがよい)
- 6) 近未来の気分を味わえる

となっている。とにもかくにも、8色ながらも「動画のウィンドウ」なのである。恐らくこんなことができるマシンは、SFのなかぐらいにしか存在しなかったはずである。それが8ビットのturbo (とCTCを持つX1) でできてしまうのだだだっ! と逆上しつつ、プログラムの説明になだれ込むのであった。

リスト5がX1用のアセンブルリスト、リスト6がそのダンプリスト(CRCチェックサム付き)、リスト7がturbo用のアセンブルリスト、リスト8がそのダンプリスト(CRCチェックサム付き)となっている。そして使い方はリスト9~12である。

順に説明しよう。

それぞれのダンプリストを打ち込み、リスト6は、

SAVEM "BV. CPU", &HEF00, &HEFC6

でセーブする。

リスト8ならば、



SAVEM "BV. DMA", &HEF00, &HEFEE

である。チェックサム（およびCRC）の確認を確実にすること。

次に小手調べである。まずX1ユーザーはリスト9を、turboユーザーはリスト10を打ち込む（120行が1行違うだけである）。暴走すると元も子もなくなるのでセーブを忘れないように。

それからRUNすると（あらかじめマシン語部分をLOADMでロードしておいたほうがよい）、全画面取り込みが始まるのである。それがうまくいったらこっちのものである。SHIFT+BREAKで止めていただきたい。次に130~160行をリスト11、12のように打ち換えてそれぞれセーブしていただきたい。それぞれが1/4画面、1/16画面の取り込みを実行するのである。少し説明しておく、130行がX、Yの表示サイズと読み飛ばしの指定、140行がラインの間引き方、150行がI/Oアドレスと表示位置の指定である。CZ-8BV1の場合は802→800とすること。

これからCZ-8BV2を持っている人のための腕慣らしである。リスト11の150行にあるコマンドの並びを、

HEX CHR\$ ("10 20 83.....
としていただきたい。よく観察したあとで、BREAKして、次には、

HEX CHR\$ ("10 20 84.....
としていただきたい。どうだ、微妙にスクランブルのパターンが違うであろう。これが320ドットと640ドットモードの違いである。次に同じようなことを、

HEX CHR\$ ("10 20 81.....
と

HEX CHR\$ ("10 20 00.....
でもやっていただきたい。これがモード1とモード2の違いである。確かにモード2のほうが自然な感じであろう。また、モード1では、320/640ドットモードの違いがないということもチェックしていただきたい。

さらには申し訳ないのだが、ハイスピードモノクロに関しては自習ということにする。マシン語プログラムを適当に書き換えるなどしてみてほしい。モノクロであるから、パレットを変えて、1画面だけ転送すればよいのである。

さて、ここからがキメである。turboユーザーは1/16画面の取り込みプログラムの180行以降をリスト13のように書き換えるのである。そうすればBASICは"OK"とメッセージを出す、画像取り込みは相変わらず行われている。すなわち並列処理のでき上がりである。

この欠点は、少々キーの反応が悪くなることである。TEMPO文で適当に調節していただきたい（TEMPO 30で画像取り込みがいちばん遅くなる）。

さて、X1のユーザーであるが、今月はここまでである。しかしCTCさえあれば（DMAがなくとも）原理は同じなのだ。よって、CTCを持っている周辺機器のマウスボード、FM音源ボード、立体視ボードのうちいずれかがあれば同じことが可能である。この場

合、CTCを設定し、リスト13の200行で書き換えている割り込みベクトルも別々に書き換える、などが必要である（もちろん割り込みベクトルテーブルの位置も違っている）。

てなわけて、これに関しては自由研究とし、読者からのレポートを求めたりするのである（うむ、実にうまい逃げ道だ）。できるだけ簡潔に、できるだけその筋に、X1（X1BASIC）でマルチタスクしていただきたい。優秀者は発表する予定である。

なお注意しておくが、リスト13の200行は「割り込みを禁止せずにベクトルテーブルを書き換えている」ので、とんでもない反則である。やりすぎると暴走する。

また、このプログラムは「何度もRUNさせてはいけない」のである。つまり、割り込みを禁止せずに、割り込み処理ルーチンのワークをいじることになるからである。すなわち、2度目のRUN以降はロシアンルーレットである。

さて、プログラム中でDELAYというサブルーチンを使っているが、その時間はドブに捨ててしまっているのである。つまり、CTCをうまく使うともっと時間を有効に使え、BASICのキー反応が向上するのである。これは、明日への課題とするのである（うむうむ、これもうまい逃げ道だ）。

てなとこで今月はこれまでである。今月のプログラムをうまく使って、ひとりでも多くの他機種ユーザーを引き込むように。では同志たちよ、また来月。

リスト5 X1用アセンブルリスト

.Z80 .PHASE 0EF00H			
; COMMANDS			
10H	RESET, 1/1		
20H	1/4		
40H	1/16		
80H	HALF TONE OFF		
01H	NEXT 1 LINE		
02H	NEXT PLANE(B->R->G->B...)		
04H	COMP ACCESS		
08H	VIDEO ACCESS		
; CZ-8BV2			
81H	HALF TONE=MODE1		
83H	X=320 MODE		
84H	X=640 MODE		
85H	MONO COLOR MODE		
EF00	50	XS: DB	80 ;X SIZE
EF01	C8	YS: DB	200 ;Y SIZE
EF02	01	UPPASS: DB	1 ;UP PASS LINES
EF03	01	LTPASS: DB	1 ;LEFT PASS BYTES
EF04	01	TIME: DB	1 ;SKIP LINES
EF05	10 00	MODES: DB	10H,00H
EF07	00 00 00 00	DB	00H,00H,00H,00H,00H
EF0B	00		
EF0C	0802	CPORTA: DW	0802H ;OR 800H
EF0E	4000	TOPA: DW	4000H
EF10	CD EFAC	START: CALL	INIT ;INIT BV
EF13	F3	DI	
EF14	F5	PUSH	AF
EF15	C5	PUSH	BC


```

EF16 D5 PUSH DE
EF17 E5 PUSH HL
EF18 D9 EXX
EF19 C5 PUSH BC
EF1A D5 PUSH DE
EF1B E5 PUSH HL ;SAVE REGISTERS

EF1C ED 4B EF0C LD BC,(CPORTA)
EF20 3E 04 LD A,04H ;COMP ACCESS
EF22 ED 79 OUT (C),A ;LATCH
EF24 D9 EXX ;BC'=(CPORTA)
EF25 CD EFBE CALL DELAY

EF28 2A EF0E LD HL,(TOPA) ;VRAM ADDRESS
EF2B E5 PUSH HL
EF2C CD EF52 CALL IMAGES ;BLUE

EF2F E1 POP HL
EF30 E5 PUSH HL
EF31 CB B4 RES 6,H
EF33 CB FC SET 7,H
EF35 CD EF52 CALL IMAGES ;RED

EF38 E1 POP HL
EF39 CB FC SET 7,H
EF3B CD EF52 CALL IMAGES ;GREEN

EF3E 3E 08 LD A,08H ;VIDEO ACCESS
EF40 D9 EXX ;BC'=(CPORTA)
EF41 ED 79 OUT (C),A
EF43 D9 EXX

EF44 CD EFBE CALL DELAY

EF47 E1 POP HL
EF48 D1 POP DE
EF49 C1 POP BC
EF4A D9 EXX
EF4B E1 POP HL
EF4C D1 POP DE
EF4D C1 POP BC
EF4E F1 POP AF ;LOAD REGISTERS

EF4F FB EI
EF50 C9 RET ;OR RETI
EF51 00 NOP

;=====
EF52 3E 02 IMAY: LD A,02H ;NEXT PLANE
EF54 D9 EXX ;BC'=(CPORTA)
EF55 ED 79 OUT (C),A
EF57 D9 EXX

EF58 CD EF91 CALL DUMYV ;SKIP LINES
EF5B 3A EF01 LD A,(YS) ;LINE COUNT
EF5E 5F LD E,A ;E=COUNTER
EF5F CD EF9F IMAY: CALL DUMYH ;SKIP BYTES
EF62 44 LD B,H
EF63 4D LD C,L ;COPY ADDRESS
EF64 3A EF00 LD A,(XS)
EF67 57 LD D,A ;COUNTER
EF68 D9 EXX ;BC'=(CPORTA)
EF69 03 INC BC ;BC'=(DPORTA)
EF6A ED 78 IMAYL: IN A,(C) ;READ 1 BYTE
EF6C D9 EXX
EF6D ED 79 OUT (C),A ;TO VRAM
EF6F 03 INC BC ;INC VRAM ADR.
EF70 15 DEC D ;DEC COUNTER
EF71 D9 EXX
EF72 C2 EF6A JP NZ,IMAYL
EF75 0B DEC BC ;BC'=(CPORTA)
EF76 D9 EXX
EF77 3A EF04 LD A,(STIME)
EF7A CD EF94 CALL NEXTL ;SKIP LINES

EF7D 3E 08 LD A,8 ;DOWN 1 LINE
EF7F 84 ADD A,H
EF80 67 LD H,A
EF81 E6 38 AND 38H
EF83 C2 EF8C JP NZ,IMANEX
EF86 01 3FB0 LD BC,4000H-80
EF89 B7 OR A
EF8A ED 42 SBC HL,BC
EF8C 1D DEC E
EF8D C2 EF5F JP NZ,IMAY ;LOOP
EF90 C9 RET

EF91 3A EF02 ;?? LINES PASS
DUMYV: LD A,(UPPASS)
EF94 D9 EXX ;BC'=(CPORTA)
EF95 16 01 LD D,01H ;1L DOWN
EF97 ED 51 NEXTL1: OUT (C),D
EF99 3D DEC A
EF9A C2 EF97 JP NZ,NEXTL1
EF9D D9 EXX
EF9E C9 RET

EF9F D9 ;?? BYTES SKIP
DUMYH: EXX ;BC'=(CPORTA)
EFA0 0C INC C ;BC'=(DPORTA)
EFA1 3A EF03 LD A,(LTPASS)

EFA4 ED 50 DUMYHL: IN D,(C)
EFA6 3D DEC A
EFA7 20 FB JR NZ,DUMYHL
EFA8 0D DEC C
EFAA D9 EXX ;BC'=(CPORTA)
EFAB C9 RET

EFAC ED 4B EF0C INIT: LD BC,(CPORTA)
EFB0 21 EF05 LD HL,Modes
EFB3 7E LD A,(HL)
EFB4 23 INC HL
EFB5 B7 OR A
EFB6 C8 RET ;END MODE SET
EFB7 ED 79 OUT (C),A ;SET BV MODE
EFB9 CD EFBE CALL DELAY
EFBC 18 F5 JR INIT0

EFBE 11 0A37 ;DELAY: LD DE,2615 ;10
EFC1 1B DELAYL: DEC DE ;6
EFC2 7A LD A,D ;4
EFC3 B3 OR E ;4
    
```

```

EPC4 20 FB JR NZ,DELAYL ;12/7
EPC6 C9 RET ;10
;10+10+(6+4+4+12)*2615-12*7=68005
;=17.00125ms
END
    
```

リスト 6 X1用ダンプリスト

```

EF00 50 C8 01 01 01 10 00 00 : 2B
EF08 00 00 00 00 02 08 00 40 : 4A
EF10 CD AC EF F3 F5 C5 D5 E5 : CF
EF18 D9 C5 D5 E5 ED 4B 0C EF : 8B
EF20 3E 04 ED 79 D9 CD BE EF : FB
EF28 2A 0E EF E5 CD 52 EF E1 : FB
EF30 E5 CB B4 CB FC CD 52 EF : 39
EF38 E1 CB FC CD 52 EF 3E 08 : FC
EF40 D9 ED 79 D9 CD BE EF E1 : 73
EF48 D1 C1 D9 E1 D1 C1 F1 FB : CA
EF50 C9 00 3E 02 D9 ED 79 D9 : 21
EF58 CD 91 EF 3A 01 EF 5F CD : A3
EF60 9F EF 44 4D 3A 00 EF 57 : 9F
EF68 D9 03 ED 78 D9 ED 79 03 : 83
EF70 15 D9 C2 6A EF 0B D9 3A : 27
EF78 04 EF CD 94 EF 3E 08 84 : 0D
    
```

SUM: F5 DA 90 88 42 94 1F 75 92ED

```

EF80 67 E6 38 C2 8C EF 01 B0 : 73
EF88 3F B7 ED 42 1D C2 5F EF : 52
EF90 C9 3A 02 EF D9 16 01 ED : D1
EF98 51 3D C2 97 EF D9 C9 D9 : 51
EFA0 0C 3A 03 EF ED 50 3D 20 : D2
EFA8 FB 0D D9 C9 ED 4B 0C EF : DD
EFB0 21 05 EF 7E 23 B7 C8 ED : 22
EFB8 79 CD BE EF 18 F5 11 37 : 48
EPC0 0A 1B 7A B3 20 FB C9 : 36
    
```

SUM: 6B 48 EC 62 A6 E2 15 98 168C

リスト 7 X1turbo用アセンブルリスト

```

;Z80
;PHASE 0EF00H
1F80 DMA EQU 1F80H
;COMANDS
;10H RESET,1/1
;20H 1/4
;40H 1/16
;80H HALF TONE OFF
;01H NEXT 1 LINE
;02H NEXT PLANE(B->R->G->B...)
;04H COMP ACCESS
;08H VIDEO ACCESS
;CZ-8BV2
;81H HALF TONE=MODE1
;83H X=320 MODE
;84H X=640 MODE
;85H MONO COLOR MODE
EF00 50 XS: DB 80 ;X SIZE
EF01 C8 YS: DB 200 ;Y SIZE
EF02 01 UPASS: DB 1 ;UP PASS LINES
EF03 01 LTPASS: DB 1 ;LEFT PASS BYTES
EF04 01 STIME: DB 1 ;SKIP LINES
EF05 10 00 MODES: DB 10H,00H
EF07 00 00 00 00 DB 00H,00H,00H,00H
EF0B 00
EF0C 0802 CPORTA: DW 0802H ;OR 800H
EF0E 4000 TOPA: DW 4000H
;=====
EF10 CD EFAA START: CALL INIT ;INIT BV,DMA
EF13 F3 DI ENT:
EF14 F5 PUSH AF
EF15 C5 PUSH BC
EF16 D5 PUSH DE
EF17 E5 PUSH HL
EF18 D9 EXX
EF19 C5 PUSH BC
EF1A D5 PUSH DE
EF1B E5 PUSH HL ;SAVE REGISTERS
EF1C ED 4B EF0C LD BC,(CPORTA)
EF20 3E 04 LD A,04H ;COMP ACCESS
EF22 ED 79 OUT (C),A ;LATCH
EF24 D9 EXX ;BC'=(CPORTA)
EF25 CD EFE6 CALL DELAY
EF28 2A EF0E LD HL,(TOPA) ;VRAM ADDRESS
EF2B E5 PUSH HL
EF2C CD EF52 CALL IMAGES ;BLUE
EF2F E1 POP HL
EF30 E5 PUSH HL
EF31 CB B4 RES 6,H
EF33 CB FC SET 7,H
EF35 CD EF52 CALL IMAGES ;RED
EF38 E1 POP HL
EF39 CB FC SET 7,H
EF3B CD EF52 CALL IMAGES ;GREEN
    
```



```

EF3E 3E 08 ; LD A,08H ;VIDEO ACCESS
EF40 D9 ; EXX ;BC'=(CPORTA)
EF41 ED 79 ; OUT (C),A
EF43 D9 ; EXX

EF44 CD EFE6 ; CALL DELAY

EF47 E1 ; POP HL
EF48 D1 ; POP DE
EF49 C1 ; POP BC
EF4A D9 ; EXX
EF4B E1 ; POP HL
EF4C D1 ; POP DE
EF4D C1 ; POP BC
EF4E F1 ; POP AF ;LOAD REGISTERS

EF4F FB ; EI
EF50 C9 ; RET ;OR RETI
EF51 00 ; NOP

;=====
EF52 3E 02 ;IMAGES: LD A,02H ;NEXT PLANE
EF54 D9 ; EXX ;BC'=(CPORTA)
EF55 ED 79 ; OUT (C),A
EF57 D9 ; EXX

EF58 CD EF8F ;CALL DUMYV ;SKIP LINES
EF5B 3A EF01 ;LD A,(YS) ;LINE COUNT
EF5E 5F ;LD E,A ;E=COUNTER
EF5F CD EF9D ;CALL DUMYH ;SKIP BYTES
EF62 01 1F80 ;LD BC,DMA ;DMA ADDRESS
EF65 3E 19 ;LD A,00011001B ;WR0
EF67 ED 79 ;OUT (C),A
EF69 ED 69 ;OUT (C),L
EF6B ED 61 ;OUT (C),H ;SET VRAM ADDRESS
EF6D 3E CF ;LD A,0CFH ;WR6 LOAD
EF6F ED 79 ;OUT (C),A
EF71 3E 87 ;LD A,87H ;WR6 ENABLE
EF73 ED 79 ;OUT (C),A

EF75 3A EF04 ;LD A,(STIME)
EF78 CD EF92 ;CALL NEXTL ;SKIP LINES

EF7B 3E 08 ;LD A,8 ;DOWN 1 LINE
EF7D 84 ;ADD A,H
EF7E 67 ;LD H,A
EF7F E6 38 ;AND 38H
EF81 C2 EF8A ;JP NZ,IMANEX
EF84 01 3FB0 ;LD BC,4000H-80
EF87 B7 ;OR A
EF88 ED 42 ;SBC HL,BC
EF8A 1D ;DEC E
EF8B C2 EF5F ;JP NZ,IMAY ;LOOP
EF8E C9 ;RET

;?? LINES PASS
EF8F 3A EF02 ;DUMYV: LD A,(UPPASS)

EF92 D9 ;NEXTL: EXX ;BC'=(CPORTA)
EF93 16 01 ;LD D,01H ;1L DOWN
EF95 ED 51 ;NEXTL: OUT (C),D
EF97 3D ;DEC A
EF98 C2 EF95 ;JP NZ,NEXTL1
EF9B D9 ;EXX
EF9C C9 ;RET

;?? BYTES SKIP
EF9D D9 ;DUMYH: EXX ;BC'=(CPORTA)
EF9E 0C ;INC C ;BC'=(DPORTA)
EFA0 3A EF03 ;LD A,(LTPASS)

EFA2 ED 50 ;DUMYHL: IN D,(C)
EFA4 3D ;DEC A
EFA5 20 FB ;JR NZ,DUMYHL
EFA7 0D ;DEC C
EFA8 D9 ;EXX ;BC'=(CPORTA)
EFA9 C9 ;RET

EFAA ED 4B EF0C ;INIT: LD BC,(CPORTA)
EFAB 21 EF05 ;LD HL,M0DES
EFB1 7E ;LD A,(HL)
EFB2 23 ;INC HL
EFB3 B7 ;OR A
EFB4 28 07 ;JR Z,INIT1 ;END MODE SET
EFB6 ED 79 ;OUT (C),A ;SET BV MODE
EFB8 CD EFE6 ;CALL DELAY
EFBB 18 F4 ;JR INIT0

EFBD 3A EF00 ;INIT1: LD A,(XS)
EFC0 6F ;LD L,A
EFC1 26 00 ;LD H,0
EFC3 2B ;DEC HL
EFC4 22 EFDE ;LD (DMAXS),HL ;SET X SIZE
EFC7 2A EF0C ;LD HL,(CPORTA)
EFC8 23 ;INC HL ;HL=DPORTA
EFCB 22 EFE3 ;LD (DMAPDA),HL

EFCE 21 EFDD ;LD HL,DMADT
EFD1 3E 09 ;LD A,DMADT-DMADT
EFD3 01 1F80 ;SETDMA: LD BC,DMA
EFD6 04 ;SDMAL: INC B
EFD7 ED A3 ;OUTI ;OUT TO DMA
EFD9 3D ;DEC A
EFDA 20 FA ;JR NZ,SDMAL
EFD C9 ;RET

EFDD 61 ;DMADT: DEFB 01100001B ;WR0
EFDE ;DMAXS: DEFB 2 ;LENGTH
EFE0 1C ;DEFB 00011100B ;WR1
EFE1 28 ;DEFB 00101000B ;WR2
EFE2 CD ;DEFB 11001101B ;WR4
EFE3 ;DMA PDA: DEFB 2 ;PORT B ADR.
EFE5 9A ;DEFB 10011010B ;WR5
EFE6 ;DMADTE:

EFE6 11 0A37 ;DELAY: LD DE,2615 ;10
EFE9 1B ;DELA YL: DEC DE ;6
EFEA 7A ;LD A,D ;4
EFEB B3 ;OR E ;4
EFC EC 20 FB ;JR NZ,DELA YL ;12/7
EFEE C9 ;RET ;10
;10+10+(6+4+4+12)*2615-12+7=68005
;=17.00125ms
END

```

リスト 8 X1turbo用ダンプリスト

```

EF00 50 C8 01 01 10 00 00 : 2B
EF08 00 00 00 00 02 08 00 : 4A
EF10 CD AA EF F3 F5 C5 D5 : CD
EF18 D9 C5 D5 E5 ED 4B 0C : 8B
EF20 3E 04 ED 79 D9 CD E6 : 23
EF28 2A 0E EF E5 CD 52 EF : FB
EF30 E5 CB B4 CB FC CD 52 : 39
EF38 E1 CB FC CD 52 EF 3E : FC
EF40 D9 ED 79 D9 CD E6 EF : 9B
EF48 D1 C1 D9 E1 D1 C1 F1 : CA
EF50 C9 00 3E 02 D9 ED 79 : 21
EF58 CD 8F EF 3A 01 EF 5F : A1
EF60 9D EF 01 80 1F 3E 19 : 70
EF68 79 ED 69 ED 61 3E CF : 17
EF70 79 3E 87 ED 79 3A 04 : D1
EF78 CD 92 EF 3E 08 84 67 : E6 : 65

```

SUM: C0 C8 B0 5D 52 C0 51 0C 3533

```

EF80 38 C2 8A EF 01 B0 3F : 1A
EF88 ED 42 1D C2 5F EF C9 : 5F
EF90 02 EF D9 16 01 ED 51 : 3D : 5C
EF98 C2 95 EF D9 C9 D9 0C : 07
EFA0 03 EF ED 50 3D 20 FB : 0D : 94
EFA8 D9 C9 ED 4B 0C EF 21 : 05 : FB
EFB0 EF 7E 23 B7 28 07 ED : 79 : DC
EFB8 CD E6 EF 18 F4 3A 00 : EF : D7
EFC0 6F 26 00 2B 22 DE EF : 2A : D9
EFC8 0C EF 23 22 E3 EF 21 : DD : 10
EFD0 EF 3E 09 01 80 1F 04 : ED : C7
EFD8 A3 3D 20 FA C9 61 ED : 1E : 2F
EFE0 1C 28 CD 0C CD 9A 11 : 37 : CC
EFE8 0A 1B 7A B3 20 FB C9 : : 36

```

SUM: B4 77 EE 11 CA 97 49 2B F2C9

リスト 9 全画面取り込み (X1)

```

100 INIT ;'1/1 MODE
110 CLEAR &HEF00
120 IF MEMS(&HEF10,3)<>HEXCHR$( "CD AC EF" ) THEN LOADM "BV.CPU"
130 MEMS(&HEF00,4)=CHR$(80,200,24,3)
140 MEMS(&HEF04,1)=CHR$(1)
150 MEMS(&HEF05,7)=HEXCHR$( "10 00 00 00 00 00 00" )
160 MEMS(&HEF0C,4)=MKIS(&H802)+MKIS(&H4000)
170 CALL &HEF10
180 CALL &HEF13:GOTO 180

```

リスト 10 全画面取り込み (X1turbo)

```

100 INIT ;'1/1 MODE
110 CLEAR &HEF00
120 IF MEMS(&HEF10,3)<>HEXCHR$( "CD AA EF" ) THEN LOADM "BV.DMA"
130 MEMS(&HEF00,4)=CHR$(80,200,24,3)
140 MEMS(&HEF04,1)=CHR$(1)
150 MEMS(&HEF05,7)=HEXCHR$( "10 00 00 00 00 00 00" )
160 MEMS(&HEF0C,4)=MKIS(&H802)+MKIS(&H4000)
170 CALL &HEF10
180 CALL &HEF13:GOTO 180

```

リスト 11 1/4画面取り込み用変更点

```

130 MEMS(&HEF00,4)=CHR$(43,116,1,2)
140 MEMS(&HEF04,1)=CHR$(2)
150 MEMS(&HEF05,7)=HEXCHR$( "10 20 00 00 00 00 00" )
160 MEMS(&HEF0C,4)=MKIS(&H802)+MKIS(&H4500+37+80*10)

```

リスト 12 1/16画面取り込み用変更点

```

130 MEMS(&HEF00,4)=CHR$(21,58,1,2)
140 MEMS(&HEF04,1)=CHR$(4)
150 MEMS(&HEF05,7)=HEXCHR$( "10 40 00 00 00 00 00" )
160 MEMS(&HEF0C,4)=MKIS(&H802)+MKIS(&H4500+59+80)

```

リスト 13 テレビインリスト用変更点

```

180 TEMPO 80
190 MEMS(&HEF50,2)=HEXCHR$( "ED 4D" )
200 MEMS(&HEF81E,2)=MKIS(&HEF13)

```


質問箱

その筋質問箱

私は夢見るシャンソン解答者の祝一平である。ではさっさと最初の方どうぞ。

Q X1でゲームソフトのグラフィックをよ〜く見ないでも、1ドットで灰色などの中間色を使っているのがわかりますが、なぜこういうことができるのでしょうか？ ちなみにぼくは、パソコン歴半年の超ビギナーです。

P.S. X68000はAMIGAと同じ運命をたどるんでしょうか。三重県 井坂宏之

A それは、よ〜く見てないから灰色に見えてしまうのである。ちゃんと根性を入れてニラんだらば、ただの灰色ではないということに気づくはずなのである。では、いったいどーゆー灰色なのかというと、わかっている人もいるだろうが「タイリング」なのである。そこでNEW BASICかturboBASICを用意していただきたい。で、早い話、

PAINT (0, 0), & HIJ
において、I+J=7だと灰色っぽくなるのである。たとえば、

PAINT (0, 0), & H25
などである (2+5=7なのだ)。見えぐあいはWIDTHが40か80によっても違うし、高解像度かどうかによっても違う。あれこれ見比べて、人間の目がどんなにいい加減なものかを理解していただきたい。

ところでP.S.によると、X68000がAMIGAと同じになるという意見のよーであるが、どうやら私が考えるに、井坂氏はありがちな勘違いに陥っているようである。それは、「PC-9801=IBM PC」という誤解である。どういうことかという、『アスキー』の1986年10月号によると、IBM PCの累計出荷台数は750万台なのである。それに対してPC-9801シリーズは10分の1以下の70万台にしかすぎないのである。これは日本の人口が、米国の約2分の1であることを考えると、とんでもなく少ない台数なのだ。ちなみにIBM PCのコンパチマシンは500万台以上出ているそうだから、これも勘定に入れると、

IBM PC》PC-9801

ということになるのだ。米国ではマイナーな部類に入るといわれているMacintoshでさえ、98とはほぼ同じ台数の約70万台が売れているそうである。

つまり、日本の16ビットパソコン市場は

ぜんぜん未成熟なのである。はっきしいって、現在の10倍近くまで成長する余裕があるのだ。よって、X68000がPC-9801を追い抜く可能性は十分にあるのだ (もちろん簡単なことではないが)。そのよーなわけであるから、ものごとは単純ではないのである。これからが見ものというわけだ。では次の方どうぞ。

Q 私の機種はX1DIIである。ようするに1986年4月号の記事によりめでたく5インチドライブがひとつ付いたのである。しかし、ここでひとつ問題が生じるのである。そう、CZ-503Fの出現である。私は祝一平様の教えどおりにTEACのFD-55BVを使っている。これをずうずうしいが、CZ-503F内に装備して2ドライブということはできないのであろうか。「そなことはできんわい」となげやりな態度にならないで、真面目に答えてほしいものである。半分 (やっぱり30%にしよう) はあなたの責任でもあるのだから……。

石川県 向出孝一

A こらこら、いったいあの小さなケースにどーやってもう1台のドライブを入れろってんだっ。私は手品師じゃねーのである。そんなことはできんわいっ！ 次の方どうぞである。まったく、もー。

Q 祝大先生はじめまして。私は最近やっとディスクドライブを買ったX1Csのユーザーです。私はある日突然「マシン語でディスクを読み出したい!」と思い立ちました。しかし私はそのような技を持っていない。そこで、下のようなプログラム (C000H〜) でIPLのローダーを見ようと思ったのですが、走らせるといきなりIPLが起動してしまいます。どのようにしたらよいですか。また、マシン語でディスクを読むにはどうしたらよいのでしょうか。具体的に教えてください。

LD B, 1DH
OUT (C), A
JP 3000H

(3000Hにチェックサムが置いてある)

大阪府 有沢正樹

A うむ、どうやら比較的最近になってOh! MZを読み始めた筋のよーである。実をいうと、マシン語でディスクをリード/ライトする方法は、1985年12月号、1986年1、2月号の3回連続でやった



のである。というわけで、できればそちらのほうを見ていただきたいのであるが、残念ながら現在はこれらのバックナンバーの在庫はないそうである。よってここで単行本を紹介するのである。その本は、『X1システム研究所』、有田隆也、牛島昌和、Itti Rittaporn 著、日本ソフトバンク刊、2500円である。書店にない場合は注文ということになる。

さて、送られたプログラムであるが、実に初歩的なミスである。すなわち、バンク切り換えを理解できていないのである。よって、IPLの解析をしたいのであれば次のようにすべきである。

- 1) リスト1のプログラムをC000Hからに書き込む。
- 2) モニタから「*GC000」で実行。
- 3) 「*S8000 8FFF:IPL」でテープにセーブする。

こうすると、IPL ROMの内容 (0000H〜0FFFH) が、8000H〜8FFFHにコピーされたものが取れるわけである。存分に解析していただきたい。なお、BASICは壊れているから「*R」でBASICに帰ろうとしないように。

今月は以上である。私は誰の朝鮮漬けても食べるっ！

リスト1

C000	06 1D	LD	B, 1DH
C002	ED 79	OUT	(C), A
C004	21 0000	LD	HL, 0000H
C007	11 8000	LD	DE, 8000H
C00A	01 1000	LD	BC, 1000H
C00D	ED B0	LDIR	
C00F	06 1E	LD	B, 1EH
C011	ED 79	OUT	(C), A
C013	C9	RET	

特集

肉体派への“BASIC”入門

皆さんがふだんにげなく使っていることはいったいどうやって覚えたのでしょうか。聞いたり読んだり話したりしているうちに身についたものですね。BASICだってプログラミング“言語”。無理して“頭”で覚えようとするのではなく、最初は見よう見まね、たくさんのプログラムを読んだり打ち込んだり作ったりしていったこそ、本当に自分のものになるといえるでしょう。

“体”で覚えるBASIC、「肉体派・その1」です。

今回の特集ではプログラムを制作する“過程”に重点をおいています。それぞれの記事はそれぞれの目的をもっていますが、その根底にある生のプログラミングを肌で感じとってください。これぞ「肉体派・その2」です。

そして、条件反射のごとく、自然体で扱えるようになることで、BASICは素晴らしいコミュニケーションツールとして、あなたの手足となるのです。

さて、今回の特集の「プログラミング実況中継」の“延長戦”として、いよいよ来月からBASICのリレー連載がスタートします。これまでOh!MZでは“BASICの基本は同じ”ということで、プログラムを掲載する際もできるかぎり共通化、もしくは変更点を掲載してきましたが、実際のユーザーはもつと機種の特長を生かすかたちでプログラムを制作しています。このリレー連載ではそんな“おかまいなし”の部分も十分生かしていこうと考えています。よりアクティブに、より自由に、プログラミングを楽しんでいきましょう。

プログラミングとはなにか●

42 ————— 古くて新しいBASIC論 ————— 中川智哉

44 ————— ぜんまい仕掛けのプログラム ————— 吉田幸一

50 ————— 人がインタプリタになるとき ————— 高原ひでき

プログラミング実況中継●

52 ————— 7度デバッグして人を疑え ————— 祝 一平

57 ————— ないのなら移植してみよう ————— 瀧山 孝

63 ————— 改造はアマチュアの醍醐味だ ————— 泉 大介

69 ————— 大きく大きく大きくなあれ ————— 小嶋 靖

75 ————— チューンアップで整理整頓 ————— 桑野雅彦

機種別活用法●

80 ————— わが愛機わがBASIC ————— 佐藤 学

古くて新しいBASIC論

Nakagawa Norichika

中川 智哉

BASICは生まれたときから対話のための言語であった。しかし、近年は良くも悪くもプログラム言語としての側面のみが強調されてきたようだ。これから紹介するのは“コンピュータ言語”としてのひとつのBASIC論である。

初心者にとってBASICはコンピュータに命令を与える唯一の言語かもしれませんが、実際はコンピュータという世界の中に無数に散らばっている「コンピュータ言語」のうちのひとつです。BASICの特集にあたって、ここではまずコンピュータ言語そしてBASICインタプリタ¹⁾とはいったいなんなのか私なりの解釈を示したいと思います。

こういった話は今回の特集のテーマである“肉体派”とはちょっと離れるように思われるかもしれませんが、逆にこれまで多くの人がなんともしないに使ってきたBASICにいま一度“使命”を与えてやることは、“肉体派”への重要なステップとなるはずですよ。いや、結論を先にいってしまえば、つきつめていくとそれは“肉体派”になるのです。

コンピュータ言語とは

さて、先ほど「コンピュータ言語」という言葉を使いました。わかるようで、よくわからない、これはいったいどういうものなのでしょう。

私たちは相互に意志を伝達しあうために「言語」を使います。同様にコンピュータに命令を伝達するための手段が「コンピュータ言語」であるといってよいでしょう。言語というからには言葉であり、文法とか命令体系のようなものが備わっています。そして、私たちとコンピュータの対話のためのコミュニケーションツールということがができるでしょう。

ここで押さえておかなければならないのは、コンピュータが他の道具・装置とはつきり異なる特徴は、それがきわめて広範囲な問題を扱えるということです。だからこそ「言語」なのです。

その命令を伝える手段として、日本語や英語などのいわゆる自然言語を使えるほど現在のコンピュータシステム²⁾は進化していません。もちろんそういった研究も各方面で行われていますが、曖昧さを含むことの多い自然言語が扱えるようになるのはま

だまだ先の話でしょう。というわけで、こししばらくは人間のほうからコンピュータに歩み寄っていく必要があるわけです。

これに対して、コンピュータからの応答のほうはバラエティーに富んでいます。日本語、英語、グラフィック、ときには音声が使われることもあります。こういったものは自然言語そのもの、あるいは人間の感覚に直接訴えかけてくるものですから、コンピュータ言語とはいいません。

もうひとつはつきりさせておかなければならないことがあります。それは、コンピュータはマシンコードで書かれたプログラムを実行するだけの機械であるということです（詳しくは月号の「マシン語体操」を読んでください）。そして、私たちがそれを見たとき「マシン語」あるいは「機械語」となるのです。つまり、コンピュータ言語といった場合に、それはマシンにとっての言語ではなく、人間のほうから見たものといえるでしょう。

しかし、マシン語というものは単なる数字の羅列ですから、私たちには非常にわかりにくい。そこで、この数字を1対1対応でその内容を表す英語の省略形に置き換えたものが「アセンブリ言語」です。一般にマシン語といった場合にアセンブリ言語をさすことが多いのもこのためです。

当然のこととして、コンピュータ言語はより人間にわかりやすく、より扱いやすいように、という方向で発展してきました。それがFORTRANとかCOBOLとかPASCALなどの高級言語(high level language)です。これに対して、アセンブリ言語などは低級言語とも呼ばれます。なお、高級言語という場合、通常はなんらかのオペレーティングシステム上で動作し、コンパイラ³⁾をもっていることが想定されますから、私たちがふだん使っているBASICはあまり高級言語とは呼ばれません。

プログラム言語と コマンド言語

さて、一般にコンピュータ言語といえ

BASIC,FORTRAN,PASCAL,COBOL,C,LISP,PROLOGなどを思い起こします。これらは命令の列をプログラムとしてコンピュータシステムに与えるという意味で、「プログラム言語」と呼ぶことができます。高級言語・低級言語といった表現もこのプログラム言語にあてはまるものです。

では、プログラム言語以外のコンピュータ言語とはなんでしょう。最初にコンピュータ言語とは「コンピュータに命令を伝える手段」であると書きました。これによれば、オペレーティングシステムのコマンド、エディタのエディットコマンドなどは「コマンド言語」(通常は入力するとすぐに実行するのでコマンドインタプリタ)というコンピュータ言語として位置づけられそうです。実際、高度なオペレーティングシステムのコマンドには、へたなプログラム言語を凌ぐようなものも多いのです。そして、コマンド言語はまさにコンピュータとの対話のためのものであり、プログラム言語よりもはるかに重要なコミュニケーションツールといえるでしょう。

なお、X68000のようなビジュアルシェルのコマンド言語といってよいのでしょうか。少なくともそこには伝えるべき言葉も、文法も存在していません(もちろん操作法はありますが)。ビジュアルシェルは言語としてユーザーに歩み寄るよりも、もっと人間の感覚に訴える形でのコミュニケーションツールなのです。いわば言葉に対する身振り手振りで。そして、上手な身振り手振りは言葉よりもはるかに単純に、的確に意志を伝えることができます。

さて、ここでBASICについて考えてみましょう。私たちがいま使っているBASICはプログラム言語であると同時にコマンドインタプリタ、エディタでもあります。通常の高級言語による開発がオペレーティングシステムというコマンドインタプリタ、テキストを作成するためのエディタ、そしてプログラム言語という別々のコンピュータ言語で行われることを考えると、BASICはそれらがひとつとおり揃った状態にあるとい

えます。つまり、BASICは“システム環境”なのです。

“BASIC”で考えろ

以上見てきたようにコンピュータ言語は、日本語や英語などの自然言語に対して、人工言語と呼べるでしょう。たとえそれが英語を使っていたとしても、文法などはそのコンピュータ言語で厳密に定められており、やはり自然言語をもとにした人工言語です。そして、たとえ日本語がもとになっていたとしても、私たちにっては一種の“外国語”なのです。

そこに、コンピュータ言語を学ぶ際のひとつのポイントがあります。よく、「外国語をマスターするにはその国で生活してみるのがいちばんである」といいます。そして、生活しているうちにだんだんとその国の言葉でものごとを考えるようになっていきます。いや、言葉というよりも生活まるごとといったほうがよいかもしれません。コンピュータ言語も同じです。BASICを学ぶならBASICの言葉・様式で考えられるようになること、それがマスターの秘訣です。つきつめれば“肉体派”なのです。

さて、ここでもうひとつのポイントがあ

ります。「ひとつの外国語をマスターした人は別の国の言葉もすぐに覚えられる」ということです。これをいいかえれば「ひとつのコンピュータ言語をマスターした人は別の言語もすぐに覚えられる」ということになります。つまり、自国語以外の言葉で考えられる習慣のついた人は、他国語を学ぶ際のもっとも大きな障害がすでに解決されているからです。これは、Oh!MZの主張するところの“プログラミングの基本は同じ”ということにも一致します。

パーソナル プログラミングツール

BASICをプログラム言語としてだけ見るならば、非常に不十分なものとわざるをえないでしょう。そのBASICがひとつのプログラム言語として進化した形を、私たちは実際にX68000のX-BASICで見ることが出来ます。中でも「BASIC→C言語→マシン語」という新しいプログラミングシステムは、個人の楽しみとしての“パーソナルプログラミング”に大きな変革をもたらすかもしれません。参考として、X-BASICとC言語でクイックソートのプログラムを書いてみました。特集後半の葉野氏の記事にあるBASICプログラムと比較してみてください。

1) インタプリタ

インタプリタ(interpreter)とは「通訳するもの」という意味である。つまり、BASIC インタプリタは、「プログラムにはこうこうこうせよと書いてありますよ」と実際の処理をするところを呼び出すことでプログラムを実行していく仕組みになっている。「BASICはプログラムをマシン語に直しながら実行します」などと書いてある入門書をいまだに見かけるが、これは明らかに誤解を招く表現といえよう。

2) コンピュータシステム

コンピュータ本体はもちろん、ソフトウェア、周辺機器などもひっくるめた全体のことをコンピュータシステムと呼んでいる。コンピュータはハードウェア、ソフトウェアが一体となって動いており、ユーザーもそのシステム全体をひとつのものとして知覚するものだ。というわけで、本当はソフトウェアの出来が悪いのに「このマシンはよくない」という奇妙な発言が飛び出すことになる。

3) コンパイラ

インタプリタが「通訳」ならコンパイラ(compiler)は「翻訳」である。つまり、本当にプログラムをマシン語またはそれに近いものに変換してから実行するのである。その変換の作業をコンパイルといい、コンパイルと実行は同時ではなく別々の作業となる。

ださい。

BASICというコンピュータ言語/プログラム言語はもっともっと進化していくべきです。しかし、BASICが私たちにとってもっとも親しい“パーソナルプログラミングツール”であり続けることはまず間違いのないでしょう。

●リスト1 クイックソート(X-BASIC)

```
1000 /*..... ソート テスト .....*/
1010 int N=200:dim D(200) /*データ数
1020 int M=100 /*最大値
1030 for I=1 to N
1040 D(I)=int(rnd()*(M+1))
1050 next
1060 D(0)=N
1070 SORT(1,N)
1080 /*..... 結果表示 ....*/
1090 /*
1100 for I=1 to N
1110 print D(I)
1120 next
1130 end
1140 /*..... クイック ソート ....*/
1150 func SORT(LL:int,RR:int)
1160 int K,L,R,T
1170 if LL>=RR then return()
1180 K=D(RR):R=RR:L=LL-1
1190 repeat
1200 repeat:L=L+1:until D(L)<=K
1210 repeat:R=R-1:until D(R)>=K
1220 if L>=R then break
1230 T=D(L):D(L)=D(R):D(R)=T
1240 until 0
1250 T=D(L):D(L)=D(RR):D(RR)=T
1260 SORT(LL,L-1)
1270 SORT(L+1,RR)
1280 return()
1290 end func
```

```
main()
{
    int i,j;
    int MX;

    SEED=2097; /* 乱数初期化 */
    MX=200; /* 最大データ数 */
    for ( i=1; i<=200; i++) /* データ初期化 */
        D[i]=rnd();
    D[0]=100;

    sort(1,MX); /* クイック ソート */

    for ( i=1; i<=200; i++) /* 結果の表示 */
        printf("%8d",D[i]);
}

int rnd()
{
    return( SEED*899 ); /* 乱数発生ルーチン */
}

sort(l,rr)
int ll,rr;
{
    int k,l,r;
    int temp;

    if ( ll>=rr )
        return;
    k=D[rr];
    r=rr;
    l=l-1;

    do{
        for ( ; D[l]>k; );
        for ( ; D[r]<k; );
        if ( l<r ){
            temp=D[l];
            D[l]=D[r];
            D[r]=temp;
        };
    } while( l<r );

    temp=D[l];
    D[l]=D[rr];
    D[rr]=temp;
    sort(ll,l-1);
    sort(l+1,rr);
    return;
}
```

●リスト2 クイックソート(C言語)

```
/*.....
/*
/* クイックソート
/*
/*.....

int D[200];
int SEED;
```


ぜんまい仕掛けのプログラム

Yoshida Kouichi

吉田 幸一

プログラミング感覚とはいったいなんだろう。それは、僕たちの常識とマシンの常識のギャップを埋めることである。ここでは、仮想マシン“ぜんまいちゃん”を例に言語/プログラミングとはなにかを考えてみよう。

いきなり、全快1号登場

ある日ある時、富士山麓地下にある村正研究所で究極の美人アンドロイドが完成しました。その名も、“全快1号”。試作品の半壊1号に殴られて入院していた呪一平所長の全快祝いでつけられた名前です。究極というだけあって、見る聞く話す歩く叩く踊るなど人間と寸分違わぬ優れたもののアンドロイドです。さらに、読み書きそろばんまでこなしてしまいます。

しかし、究極のハードにも唯一の欠点がありました。全快1号をエンドユーザーが使うためのソフトがないのです。どんなに優れたアンドロイドもソフトがなければただの人形です。これまでのアンドロイドには目的別のアプリケーションソフト（応用プログラム）が用意されるというのが一般的でした。たとえば、英会話レッスンプログラムや、各種イベントのコンパニオンや受け付け嬢ソフトなどがありました。また、アンドロイドに専用洗濯機とコントロールソフトをつけて売るシステム販売なども流行したものです。

ところが、呪一平所長は全快1号をユーザーが自由な使い方ができるパーソナルなアンドロイドにという独自の考えを持っていました。限られた条件のもとで使うアプ

リケーションだけでなく、ユーザーが簡単な命令を組み合わせることによって思いどおりに動かすことのできるソフトウェアが必要だと考えたのです。

そこで呪一平所長は、正宗研究所にソフト開発を依頼しました。

納期を遅れに遅れてできあがったのが、日本語インタプリタ型言語¹⁾“ぜんまいちゃんV1.0”です。コマンドの数は最小限ですが、全快1号を自分でコントロールするには不可欠といえましょう。

ぜんまいちゃん概要

村正研究所が開発した全快1号は身長160cmの女性型アンドロイドで(図1)、ぜんまいちゃんは、全快1号に組み込まれたインタプリタ型言語です。完全日本語仕様を採用し、コマンドだけではなく、語順も修飾語・目的語+動詞といった自然の文章に近いプログラムを実現しました。また、全快1号のほとんどの機能をサポートしていますので、買ったその日から日本初のパーソナルアンドロイドとして使用できます。以降、インタプリタとそれが組み込まれた全快1号を総称して“ぜんまいちゃん”と呼ぶことにします。

ぜんまいちゃんはメインのプログラミングモードとダイレクトコマンドモード²⁾の

物語に登場するキャラクター

全快1号

究極の美人アンドロイドの名称。村正研究所で開発されたもので、ハードウェア的には人間と変わらない動作が可能であり、視覚、聴覚、触覚、それに平均月差±1.5秒以内の時計をサポートしている。従来のアンドロイドに比べて圧倒的に優秀な機能を持っており、それらの機能をユーザーが自分で利用できるようにするためのソフトウェアとして“ぜんまいちゃんV1.0”を組み込んである。全快1号の商品名もぜんまいちゃんとするようになった。

ぜんまいちゃん

全快1号の商品名だが、もともとは標準装備として組み込まれたエンドユーザーのためのプ

ログラム言語“ぜんまいちゃんV1.0”をさす。完全日本語仕様の簡単なコマンドでプログラムを書くことのできるインタプリタである。全快1号のほとんどの機能をサポートしている。

呪 一平

全快1号の設計者。自らを呪一平の永遠のライバルと称している。

村正研究所

全快1号を開発し世に送り出したハードウェアメーカー。富士山麓の地下にあり、所長の呪一平氏を初めマッドサイエンティストを揃えた超技術集団である。若き日の呪氏が、村正（ムラササブレード）のレプリカをウィザードリーの地下迷宮へ密輸して稼いだ資金をもとに設立

したといわれている。

正宗研究所

村正研究所の依頼でぜんまいちゃんを開発した北海道は網走刑務所地下深くにある謎のソフトハウス。かつては日本最高のスタッフを誇ったが、酒浸りの日々からついにアル中患者が続出したため、栄光の名残りはない。彼らが好んで飲むのはもちろん菊正宗である。

K君

この物語の主人公でぜんまいちゃんのご主人様である。プログラミングの経験はなく、初心者ならではのボケぶりも示すが、目覚ましプログラムを作るために徹夜する肉体派でプログラムの感覚をつかんでいく。

ほかに、手を引くとあとについて歩くお散歩モードを持っており、それぞれ音声によるコマンドで切り換えます。

命令の入力には音声を使用しますが、紙に書かれた手書き文字による入力も可能です。手書き文字による入力は、入力デバイス変更の後、文章の書かれた紙をぜんまいちゃんに手渡すことによって自動的に行われます。ぜんまいちゃんに文字を読ませるときはすべて彼女の手で文書を持たせる必要があります。

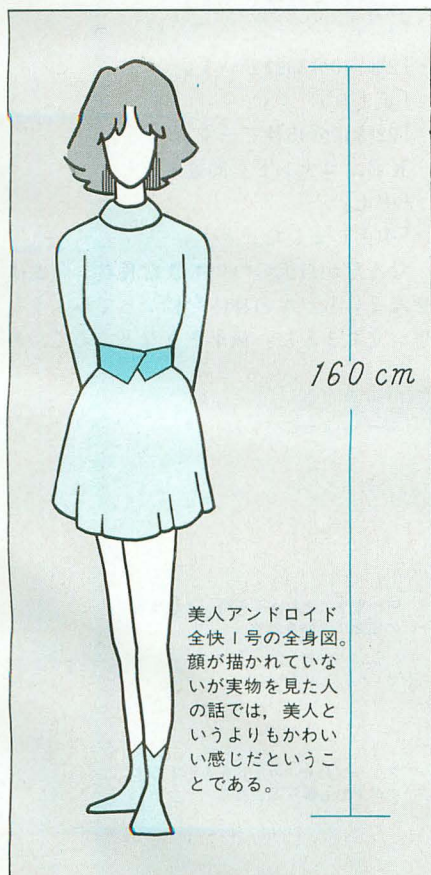
出力は音声と紙への手書きです。

このように、入出力が人間と見かけ上同じなので、文字どおりの対話型プログラミングが可能です。ただ、長いプログラムになりますと、エディット³⁾が少々(?)面倒な場合もあります。

ぜんまいちゃんのコマンドは汎用パーソナルアンドロイドとして必要だと思われる最小限にとどめてありますので(表1にコマンドの一部を紹介しておきますので必要に応じ参照してください)、誰にでもすぐぜんまいちゃんを使っていたることができま。あなたも、一家に1台ぜんまいちゃん。

では、わがままなぜんまいちゃんとわがままな初心者K君に登場願ひましょう。

図1



- 1) インタプリタ型言語というのは、プログラムテキスト(プログラムを、その言語の文法にしたがって記述したもの)を1ステップずつ解釈して実行する方式のプログラミング言語のことである。あくまで解釈しながら実行するのであって、コンパイラやアセンブラのようにマシン語のプログラムに変換するわけではない。
- 2) ぜんまいちゃんは通常はダイレクトコマンドモードになっており、命令を入力したらすぐさまそれを解釈して実行する。そして、「プログラム入力」という命令によってプログラミングモードに移る。このモードでの入力はすべてそのままメモリに記憶され、「実行」命令を入力するまでは決して勝手に実行してしまうなどという

ことはない。

- 3) エディットというのはプログラムを組む過程での編集作業のこと。ぜんまいちゃんはインタプリタなのでプログラムを少しずつ書いては実行し、また変更しては実行するといった方法で作っていくのに都合がよい(コンパイラ言語では、変更するたびに完全にバグを取り、それをコンパイルしなければ試すことができない)。ただし、手書き文字のエディット(プログラムの編集)ともなると、エンピツとケシゴムの世界であるから、長いプログラムだとはっきりいって大変だ。まして、自分の声をエディットしながら出せる人など、この世にはいないような気がするが……。

表1 ぜんまいちゃんV1.0のコマンド(抜粋)

コマンド	内容	書式	
実行	プログラムを実行する	実行	RUN
中止	実行を中断する	中止	STOP
消去	プログラム消去と、ぜんまいちゃんの初期化	消去	
プログラム入力	文書形式のプログラムを読む	プログラム入力	
お散歩	お散歩モードに入る	お散歩	
お散歩終了	お散歩モードを終了する	お散歩終了	
停止	実行の一時停止	[n秒間] 停止	
である	～を～に代入する(または比較)	<データ> は <データ> である	
注釈行			
言う(言え:ダイレクトモード)	文字列やデータの音声による出力	[音量nで] <データ> [と<データ>……] を言う 「文字列」と言え(ダイレクトモードで音声入力時)	
書く	文字列やデータの手書きによる出力	<データ> [と<データ>……] を書く	
入力する	文字列やデータの音声による入力	<変数> に入力する	
探す	指定したもの(予約物)を捜し、手の届く範囲内にあればその方向を向く。取ることも可能	<予約物> を探す [それを取る]	
行く	指定したラベルに制御を移す	<ラベル> へ行く	
呼ぶ	指定したサブルーチンを呼ぶ	<ラベル> を呼ぶ	
ここは～である	ラベル名の指定	ここは <ラベル> である	
もし～ならば	条件の判断	もし <条件式> ならば、<文>、	
そうでなければ		そうでなければ <文>、	
～回～を繰り返す	指定した回数だけ間のルーチンを繰り返す	n回、<文> を繰り返す	
終了	プログラムの終了	終了	
帰還	サブルーチンの終了	帰還	
*動作制御			
気をつけ	ぜんまいちゃんの姿勢を初期化する	気をつけ	
腕を肩を中心に回す	右(左)腕を肩を中心に指定位置から指定位置まで回す	右(または左)腕を(θ1, η1)から(θ2, η2)まで[角速度wで]正(または負)方向に回す	
手を動かす	右(左)手を指定位置から指定位置へハードの許す最短距離で動かす	右(または左)手を(x1, y1, r1)から(x2, y2, r2)へ[速度vで]動かす	
腰を曲げる	腰を前(後)方へ指定した角度曲げる	腰を前(または後)方にx度曲げる	
向く	指定した方向を向く	x度右(左)を向く	
歩く	前方に指定距離だけ移動する	歩幅wでn歩歩く	
正座する	その場で正座する	正座する	
腕を曲げる	右(左)腕を曲げる	右(左)腕をθ度曲げる	
座る	腰を下ろし、強度10以上の障害物(椅子)があればそこで止まる。ただしなければ転ぶ	座る	

*動作制御コマンドはすべて以下の「ただし」オプションがつく。

ただし、強度sの障害物に当たったら止める。

*動作制御コマンドで手の位置を表す座標は肩を原点とした(縦角度、横角度、距離)という極座標で表す。方向は上と右とを正とする。

システム変数

日付	日付が Y年M月D日 の形で入っている
時刻	時刻が T時M分S秒 の形で入っている
リスト	プログラムリストが入っている
気温	気温が 摂氏C度 の形で入っている
湿度	湿度が M% の形で入っている
明るさ	明るさ L ルックスの形で入っている
労働時間	初めてぜんまいちゃんの電源を入れたときからの時間が T時間M分S秒 の形で入っている

備考……文字列は両端を「」(かぎっこ)で囲む。

文の終わりは「.」で、ブロックの終わりやプログラムの終わりは「。」で示す。

目覚めたぜんまいちゃん

さてさて、K君は念願のぜんまいちゃんを手に入れて大喜びです。ひとりニタニタほくほく顔でさっそく彼女の電源ON。

ぜんまいちゃんの閉じられた瞼がゆっくりと開き、くりくりした無機質な瞳が姿を現しました。これがSFなら「私は誰、ここはどこ?」とでもなるのですが、そうは問屋がよろししません。ぜんまいちゃんは人工知能でもなんでもなく、命令どおりに動くだけのインタプリタにすぎないからです。

でも、気ばかりあせるK君はマニュアルもろくに目を通さず、その姿形に惑わされ、ついつい言葉を交わそうとしてしまうのです。あわてるなんとかはもらいが少ない、急いてはことを仕損じるというではありませんか。

「はじめまして、私はKです」
「ぶーっ。間違っまーす⁴⁾」

当たり前です。知らないコマンドを受け付けられないのはコンピュータの基本、マージャンのタンヤオです。彼女はC3-POでもハロでもありません。知らない言葉は星の数。それでもあせるK君はあせります。

「何が間違ってるというんでえ」

何を言おうと馬耳東風、糠に釘、馬の耳に念仏です。

「ぶーっ。間違っまーす」
「なんか、ほかのこと言え」
「なんか、ほかのこ」

はっきりいって、ふざけているとしかK君には思えません。しかし、「言え」という言葉には反応しそうです。

「K君好きよと言え」
「K君好きよ」
「愛してると言え」
「愛してる」

自分のしていることの恥ずかしさに気づいたK君。照れ隠しにマニュアルを手に取りました。いったい誰から照れるというのでしょうか。

やっとりファレンスマニュアルとにらめっこ。ひたひたと夜は更けてきました。K君、時間が気になりだします。

「いま、何時?」

思わず人間のつもりで話しかけてしまうK君。

「ぶーっ。間違っまーす」

ぜんまいちゃんはわがままでバカですから、当然、わかるように命令しないとだめです。K君はマニュアルを読んだおかげで

時刻というシステム変数⁵⁾があること、「を言え」で変数の内容を、「と言え」でその前の文をそのまま喋ることを知りました。今度は慎重に、

「時刻を言え」

ぜんまいちゃんの音声認識ユニットは優秀です。

「21時05分00秒」

ぜんまいちゃんの音声合成ユニットも優秀です。

まだまだ夜は長そうです。それにしても、「時刻を言え」では風情も色気もあったものではありません。

K君は安心して時計プログラムを作ることになりました。K君が「いま、何時」といったら「何時何分何秒です」と答えるプログラムです。

アルゴリズムは簡単。

“入力が「いま、何時」だったら、時刻を、「でーす」と言え”

でも、このままではぜんまいちゃんには通用しません。K君はもっと簡単にして、K君が何か言ったら時間を言うようにしました。できあがったのがリスト1-aです。

「プログラム入力」

と、K君はプログラム入力を開始するコマンドを言いました。ぜんまいちゃんは「はい」と答え、待機状態に入ります。

K君は紙に書いたリスト1-aをぜんまいちゃんに渡します。彼女が読み終わってK君にそれを返したらいつでも実行OK。

「実行」

ぜんまいちゃんインタプリタがプログラムを翻訳して実行します。

「ぶーっ。1行目がちがーう」

あれ? ぜんまいちゃんはすねて止まってしまいました。K君はあわててマニュアルを読み返します。おお、入力命令には必リスト1-a

ず引き数とやらがいるのか。引き数の意味がわからなくとも、マニュアルのサンプルを見れば「入力する」の前に、変数をつけなければいけないことくらいはわかります⁶⁾。そしてできたのがリスト1-b。

「実行」

ぜんまいちゃんはまばたきで入力待ちを示します。

「わっ、動いた」

緊張の一瞬。

「22時21分30秒でーす」

「やったー」

「ぶーっ。私わかんない」

思わず叫んだひと言もぜんまいちゃんにとってはただの命令。

「実行」

「いま、何時」

「22時22分50秒でーす」

こうなってくると、何度も繰り返すようにプログラムを直したくなります。

K君がマニュアルを読み返してみると、「ここは」命令と、「へ行く」命令がありました。そして、書き直したのがリスト1-cです。

新しいプログラムを入力して、

「実行」

「いま、何時」

「22時40分22秒でーす」

「わっ」

「22時40分35秒でーす」

「止まれ」

「22時40分45秒でーす」

K君、コマンドを間違えました。

「中止」

「中止しました」

なんだか自信のついてきたK君。今度はぜんまいちゃんの身体を動かしてみようと思ひ立ちました。簡単そうなところで、あ

入力する、
時刻と「でーす」
を言う。

ぶーっ。1行目がちがーう

リスト1-b

何時 に入力する、
時刻と「でーす」
を言う。

何と言うとそれが「何時」という名の変数に入力される

リスト1-c

ここは「スタート」である、
何時 に入力する、
時刻と「でーす」
を言う、
「スタート」へ行く。

ストップ命令「中止」を入力するまで何度でも繰り返される

いさつをしてお辞儀をするプログラム。

問題はお辞儀のところだけです。礼の基本。背筋を伸ばしたまま腰を30度曲げる。いかにもぜんまいちゃん、得意そう。

マニュアルを見ると、ありましたありました。腰を前方に曲げる命令。

“おはようございます”と言う、腰を前方に30度曲げる。”

たったこれだけです。さっそくぜんまいちゃんにプログラムを入力しました。

「おはようございます」

と言い、ぜんまいちゃんはかっつきり30度だけ腰を曲げてお辞儀。

K君、綺麗な女の子に丁寧にあいさつをしてもらうなんてと大感激。ついついもう1回。

「実行」

「おはようございます」

あれ、ぜんまいちゃんは30度曲がった状態からさらに30度曲げてしまいました⁷⁾。もう1回実行したら、細い腰が折れてしまいそう。このプログラムの欠点が暴露されてしまいました。

K君はプログラムの最初と最後に姿勢を正せばいいことに気づきました。マニュアルには「気をつけ」命令（姿勢初期化）がありました。そこで書き直したのがリスト2。

再び実行。今回はきちんと（腰の曲げ伸ばしが少々早いような気がしましたが）成功です。

ほっとしたところでふと時計を見ると、いつのまにか草木も眠る丑三つ時です。

目覚めよ、少年

はっと我にかえるK君。明日は月曜日。学校に行かなきゃ。

一度深い眠りについたら最後、目覚まし時計の5個や10個、地震雷火事親父くらいではてこでも起きません。ぜんまいちゃんの甘い声で起こしてもらうことにしました。

「ぜんまいちゃん。8時になったら起こしてね」

「ぶーっ。何いってるのかわかんない」

当たり前です。もうK君は慣れました。さっそく目覚ましプログラムに挑戦です。

人間相手ならことは簡単。

「8時になったらどんな手を使ってでも僕を叩き起こしてくれ」

ですみません。でも、その裏に隠れた暗黙の了解と一般常識があることを忘れてはなりません。たとえば8時になったら、というのはその裏に“8時に目覚まし鳴るか

ら僕より先に起きてくれ”という暗黙の了解が隠れているのです。ぜんまいちゃんにそれを期待するのは無謀というもの。

K君はぜんまいちゃんにわかる形にしなければとまた慣れない頭を使います。

“時刻が8時になったら、僕を起こせ”

“時刻が8時00分00秒になったら、耳元で「朝ですよ、起きてください」と10回言い、さらに僕を10回叩け”

“時刻が8時00分00秒になったら、音量10で「朝ですよ、起きてください」と10回繰り返して言い、力5で僕を10回繰り返して叩け”
だんだん命令らしくなってきました⁸⁾。

K君はこれでいいだろうと安心。

そこでK君は、

「命令入力」

と、プログラム入力を開始するコマンドを言いました。ぜんまいちゃんは「はい」と答え、待機状態に入ります。

K君はさっきのプログラムを紙に書いて渡しました。ちゃんと動くかどうかかわからないので、起こす時間は5分後の午前3時20分20秒にしてあります（リスト3-a）。

ぜんまいちゃんはプログラムを機械的に（機械ですから当然ですが）体内のメモリにしようと、次の命令を待ちます。

K君は「実行」と、ぜんまいちゃんの耳元で囁きました。

0.1秒もしないうちに、

「ぶーっ。1行目が文法的に間違ってるわー。わたし、わかんない」

もう聞き慣れたエラーメッセージ。K君は慣れた手つきでマニュアルをひもときます。パラパラ……、条件分岐、もし～ならば。

間違い発見。書き直し。

“もし 時刻が3時50分00秒 ならば”

ついでにK君、そのあとも確認しました。さて、再度実行……。

K君、実行前に、変なところに気がつきました。もし～ならばと、～になったらのリスト2

気をつけ、
「おはようございます」
と言う、
腰を前方に30度曲げる、
気をつけ。

リスト3-a

時刻が 3時20分20秒 になったら、
音量10で
「朝ですよ。早く起きてください」
と 10回 繰り返して言う、
力5で 僕を
10回繰り返して叩く。

ぶーっ。1行目が文法的に間違ってるわー。わたし、わかんない

4) これは、ぜんまいちゃんが発するエラーメッセージである。完全日本語仕様で、自然の文章に近いプログラミングが可能とはいえ、ぜんまいちゃんは人工知能ではない。概念的にはパソコンのBASICと同じレベルのインタプリタなのである。エラーメッセージはほかにもいろいろ出てくるのでお楽しみに。

5) ぜんまいちゃんには現在の時刻を表す「時刻」という変数があらかじめ用意されており、全快1号の体内に組み込まれた優秀な時計の値が常に読み込まれて変数「時刻」に入っている。このようなシステムによって定められた値をとる変数をシステム変数と呼ぶ。

6) 入力する（文字列やデータ）ということは、すなわち記憶することであり、どこに記憶するかを指示しなければ、ぜんまいちゃんも困ってしまうのである。また、あとから入力した情報が必要となったとき、どうやって呼び出すかを考えれば、適当な変数名をつけておく必要があることがわかるだろう。ちなみに、リスト1-bでは「何時」という変数名を使っているが、わかりにくければ「何かひと言」としておいてもよい。

7) 身体を曲げたらまたもとに戻すのが当たり前と思うのが人間の大ボケのひとつ。ひと言でお辞儀といっても、実際にはいくつもの基本動作に分解されるのである。

8) K君がアルゴリズムを考えている興味深いシーン。「起こす」という人間にとっては明解な言葉もぜんまいちゃんにとっては曖昧なもの。これらはより具体的な行動、基本的な動作に分解されていく。ただし、まだまだ命令らしくではためである。

意味の違いです。後者ですと～の状態になるまで待て、という意味を含んでいます、前者は含んでいません。～でないときのことも考えてやらねば……。ついでにラベルもつけて、と。

そこでできたのがリスト3-b。

さて、再度実行。今度はうまくいきそう？
いよいよ、3時50分。

「朝ですよ。起きてください」

と、真夜中には大きすぎる声で10回。K君は近所迷惑にならないかとひやひやものの。そして、

「ぶーっ。僕、なんて知らない」

再びストップ。確かに、そんな命令あるわけない。K君ははたと考え込みました。どうしようか。

用意された命令を上手に組み合わせ、具体的に表現しなければなりません。とりあえず喋るだけで満足でもいいのですがそれでは寝坊してしまいます。困った困った。

K君は起こされるときを想像してみました(図2)。

まず枕元に正座させて、僕の胸あたりに叩かせることにしよう。それには……。

慣れないことを考えたのと、夜も遅いのでK君の頭はボヤけてきました。

「時刻を言え」

「4時30分23秒」

ええい、まよとK君は徹夜で考えることにしました。目覚ましプログラムを作るために徹夜するなんてシャレにもなりません。

K君は眠い頭で考えます。寝ている人を起こすときはどうするか。名前を呼んで、布団の上から右手でポンポンと相手の身体を叩く。ヨシ。

K君はプログラムを簡単にするため、ぜんまいちゃんは彼の枕元で待機していると仮定しました。右手を伸ばせば届く位置。腕の曲げ伸ばし、肩を中心に腕を振る命令はある。叩くとは叩く対象に向かって腕を振ることだ。なんとかかなりそうだけい。

問題は腕をどこまで振り下ろすかです。相手が固定されたものならいざ知らず、K君は人間ですから寝返りをうつこともあります。強い力で叩かれれば痛いです。せめて、振り下ろした手がK君に当たったらそこで止めてもらわないと、身体に穴が開いてしまいます。K君、面倒臭そうなのでため息しきり。

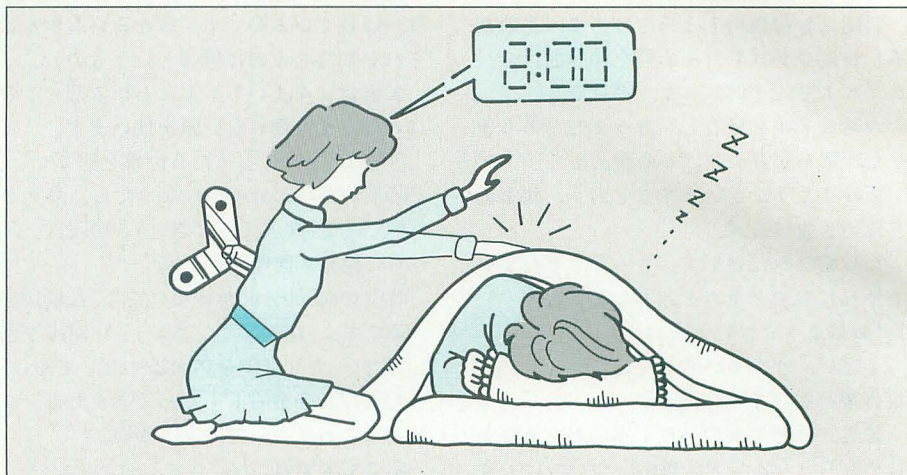
ここであきらめてはいけません。困ったときのマニュアル頼み。ほら、ありました。

“右腕を(縦開始角, 横開始角)から(縦終了角, 横終了角)まで角速度 W で正方向に回す[ただし強度 S の障害物に当たったら止め]”

“右手を(縦角度1, 横角度1, 距離1)から(縦角度2, 横角度2, 距離2)へ速度 V で動かす[ただし強度 S の障害物に当りリスト3-b

ここは「スタート」である、
もし時刻が「3時50分00秒」ならば、
10回
「朝ですよ。早く起きてください」
と音量10で言う
を繰り返す、
10回
僕を力5で叩く
を繰り返す、
終了。
そうでなければ「スタート」へ行く。

図2



たったら止め]”

下線部分に数値が入ります。座標は肩を原点とした手の先の位置を示すもので、極座標形式で表します。詳しくは図3を見ましょう。前者は腕を肩を中心に回すだけです、後者は手を座標から座標へハードの許す最短距離で動かすのが目的です。どちらも腕しか動かさないので、指定座標にはかなり制限がつきます。K君だろうがなんだろうがぜんまいちゃんから見れば障害物というのがなかなか泣かせます。

K君は後者を使うことにしました。

座標はどこに設定すればうまくいくかという問題が残っています。K君はダイレクトコマンドで数値を変えながら腕を動かしてみました。ぎくしゃくと腕を振るさまはまるでぜんまい仕掛けの人形です。だからぜんまいちゃんなのですね。

午前7時30分。やっと完成したのがリスト3-c。今度こそは動くぞ、とK君は実行前のごしらえをします。まずは、ぜんまいちゃんを布団の脇に連れてきて(お散歩モードにして手を引くのです)、正座させました(由緒正しいお嬢様なので正座くらいお茶の子さいさいなのです)。

さて、ぜんまいちゃんの手が届く範囲に寝て、準備完了。

「実行」

と言うが早いかK君は眠りの底に。

やがて8時になり、K君は無事20分の睡眠を手に入れたのでした。ただ、強度の設定がいいかげんだったせいか、少々痛い思いをしましたけれど。

立場変わってぜんまいちゃん

さて、今度は立場変わってぜんまいちゃんを主人公にしてプログラムを見てみましょう。リスト3-bとリスト3-cを彼女はどのように翻訳し、実行し、止まったか。少々極端な擬人化が行われますが、ご容赦のほどを。

わがままなK君の要求に何度もエラーメッセージで対抗し続けたぜんまいちゃんにも、やっと少しはましなプログラムが舞い込んできました。ぜんまいちゃんはそれを読んでK君に返します。リスト3-bです。

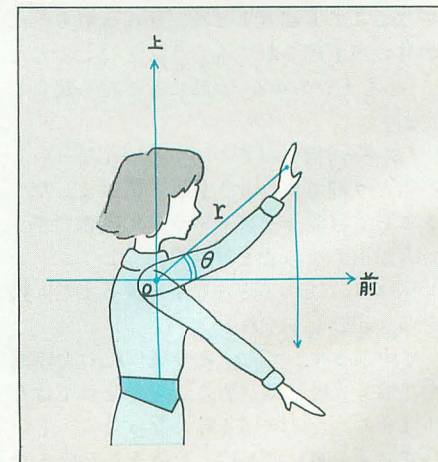
「実行」

と、K君の声が聞こえます。

ぜんまいちゃんは仕事ですから実行を始めます⁹⁾。

えーと、1行目はああラベル定義ね。わかったわ、「スタート」は1行目だって覚え

図3



とく。

2行目は、と。条件分岐ね。時刻？ あったかしら……(予約語テーブル¹⁰⁾を捜す) あったあった、システム変数ね。えっと、いま3時45分30秒か、3時50分00秒ではないわね¹¹⁾。

“そうでなければ”はどこかしら。あった。11行目だ。次のコマンドは、と。「スタート」へ行くのか。さっき定義されたラベルだったけ。

またさっきの条件分岐か。今の時刻は3時45分30秒か。また、そうでなければ、へ行って……。

3時50分00秒だわ。3行目、と。10回、か。繰り返し命令がどこかにあるわね。

4行目は出力用の文字列だわ。

5行目。“と音量10で言い”か。4行目の文字列を全快1号の音声合成ユニットへ渡してやればいいんだわ、出力レベルに10を指定して。ほれ、全快1号よ喋れ。

6行目は繰り返しだわ。3行目に戻らなきゃ。これで1回済んだからあと9回ね。また全快1号の音声合成ユニットに頼まなきゃ。あれ、まだ喋り終わっていないのか、私の身体は。喋り終わると次が待っているぞ……。

やっとな10回終わったわ。7行目だ。また繰り返し。

8行目。ん？ 僕？ そんな予約語にはないし、変数かなあ。いや、「僕」の次に格助詞の「は」や「が」がないから違う。こんな言葉知らない。文句言ってやる。

「ぶーっ。僕をなんていうコマンドわかんない」

ここでストップ。ぜんまいちゃんは新しい指令があるまでひと休み。

しばらくすると、再び目の前に汚い字で書かれたプログラムが突き出されました。K君は充血した目で、自信ありげです。

ぜんまいちゃんは何も考えずにそれを頭にしまいます。

「お散歩モード」

と、K君の声にぜんまいちゃんはモードを切り換えました。そして、手を引かれてふかふかの布団の脇まで連れていかれました。そこで、お散歩モード解除。

「正座せよ」

K君に言われ、ぜんまいちゃんは全快1号に指令を出して座りました。

K君は布団に入り、すりすりぜんまいちゃんの近くに、つまり手が届く範囲に寄ってきたかと思うと「実行」と言って寝てしまいました。

ぜんまいちゃんはリスト3の実行に取り

かかります。

「朝ですよ……」を10回繰り返すまではリスト2と一緒に割愛しましょう。

問題は7行目以降です。ちょっと見ただけではいったい何をするために手を動かすのか判断つきかねますが、ぜんまいちゃんにとってみれば、彼女にわかるよう表現されてさえいれば結果何が起ころうと関係ないのです。障害物が壊れようとなね。

さあ、8行目。右手を(30, 0, 60)から、か。ぜんまいちゃんは右手をその座標へ移動させるよう全快1号の右手駆動ユニットへ命令を出しました。ユニットから返事が返ってくるのを待って、終了座標、移動強度、強度7以上の障害物に当たったときに割り込みが発生するよう指示し、待ちます。もし強度7未満の障害物があったら、壊してでも手の移動を続けます。

ユニットは割り込みで動きを止めて、ぜんまいちゃんにその旨知らせてきました。何かにぶつかったんですね。

ぜんまいちゃんは次の行に移り、ここで繰り返ししか、と7行目へと飛びます。

4回目の繰り返しでK君が「イテ！」とかなんとか言っていたようですが、プログラム実行中は余計な言葉なんて気にも止めないので無視です。

6回目で「中止！」と、大声が聞こえてきました。この言葉は実行を中断する強い割り込みです。ぜんまいちゃんはあわてて「びーっ。実行停止」

と言い、強制終了させました。でも、振り下ろした手は止まりません。K君はしっかり1回余計に叩かれたのでした。

どうしてぜんまいちゃんか

以上、ぜんまいちゃんとK君のお話でした。どうして全快1号がとても可能とは考えられないすごいハードなのに、ぜんまいちゃんは単純なBASICまがいのインタプリタなのだろうなどと考えてはいけません。正宗研究所では、ユーザーが自分でプログラム

リスト3-C

ここは「スタート」である、
もし時刻が「8時0分0秒」ならば、
10回
「朝ですよ。早く起きてください」
と音量10で言う、
を繰り返す、
10回
右手を(30, 0, 50)から(-45, 0, 50)へ
速度5で動かす
ただし強度7の障害物に当たったら止める、
を繰り返す、
終了。
そうでなければ「スタート」へ行く。

苦勞の末、K君は10回もぜんまいちゃんに叩かれるプログラムを完成させた。

9) ここからは、インタプリタであるぜんまいちゃんがプログラムを解釈しながら実行する過程が示されている。

10) 予約語というのは、プログラムのなかで特定の意味をもち、他の目的には利用できない文字列のこと。ぜんまいちゃんにも、コマンド名やシステム変数などの予約語がテーブル(表のように並んだものと思えばよい)として用意されている。

11) K君は気づいたようだが、ぜんまいちゃんにわかるのは、現在～ではないということだけで、まだとかもう少しでという感覚はない。まして～するまで待つといった気くばりもしてくれない。いまひとつプログラミング感覚がつかめないという人は、このような人間だからこそ持ちうる感覚にとらわれていることが多い。

ラムを組むという使い方を軽視したのでしよう。今月の特集がBASICだからだという説もありますが、それもまた憶測です。私はハードの制御にメモリを使いすぎてユーザーインタフェイスのほうにまで手が回らなかったのだと思います。人工知能的な知識処理をしようとすると、膨大なメモリがいるのです。

ぜんまいちゃんの命令は1つひとつがとても単純で、具体的で、ちょっと見ただけではどんな役に立つかわかりません。しかし、何かやらせてみたいと思うことを、客観視し、具体的なものへと分解していくと最終的には用意されたコマンドで十分だということに気づくでしょう。K君がしたようにです。いくら「机を拭け」とか「コピーをとれ」なんてコマンドがあっても、限られなことにしか使えなければ結局肝心なときに役に立ちません。人はそれぞれ違った用途や生活を持っているのです。汎用性というのも大切なのです。

BASICも同じです。問題は抽象的な目的を、いかに具体化させ、単純な動作に分解するかなのです。そうすれば、パソコンの能力範囲内ならなんとなかなかに作られている(はず)なのです。

そしてユーザーは、人間がいかに抽象的でいかげんで暗黙の了解と一般常識に頼って生きているかを知るので。めでたしめでたし。

人がインタプリタになるとき

Takahara Hideki
高原ひでき

BASICでプログラミングをするときはインタプリタの立場にたって考える必要がある。そういった意味で、人が作ったプログラムを読んでもめることは、プログラムを組み立てる感覚を磨くのには有効なものといえるだろう。

プログラムを読んでみよう

パソコン雑誌や専門書には毎号誰かが作ったBASIC版のプログラムが大量に掲載されていますが、こうしたプログラムを読んだことはありますか？ だいたいにおいてホビイストのプログラムは「スパゲティプログラム」といわれるような流れがめちゃくちゃでわかりづらいものが多いわけですが、一方で非常にすっきりとしたわかりやすい秀作も少なくないようです。

ここではそういったプログラムを読んでみる、改造とか移植とか関係なしに解説することの意義を考えてみましょう。なお、ここから先は文法はある程度わかっているものとしますので、わからない命令があったらマニュアルで調べるなりしてください。

まずは簡単なものから

当然ですが、最初は短いプログラムから読むことをお勧めします。まず、わずか8行の「BALL 1:UP!」(BASIC-M25)です。入力して走らせる前にリスト1を読んでみてください。どんなことをするプログラムなのか、頭の中でイメージできますか？

では、順次内容を追ってみましょう。

```
100  注釈文
110  画面サイズを指定してクリアする
120  X座標を乱数1)で決める
130  カーソル位置をいま求めたX座標に  
    合わせ、Y座標は最下行(=24行目)  
    に合わせる
140  表示色を乱数で決める
150  カーソル位置に●を表示する
160  時間稼ぎの行(なくてもよい)
170  120行目に戻る
```

となります。ひとつ小細工してあり、130行目で最下行にカーソルをセットしましたので、150行目で自動的にスクロールアップします。

さて、リスト1を読んでわからなかった方、ここまで読んでみてどうでしょうか。

ほとんどの方がプログラムの動作をイメージできたことと思います。そのイメージできるといことが大切なのです。

さて、実際に実行してどうなるかといいますと、●の記号が各行にひとつずつ色違いで現れ、どんどん上にスクロールしていきます。ただそれだけですが、見ているとなかなかファンタジックな気分させてくれます。

いまの例でもそうですが、たいいていの短いプログラムでは上から下に順番に進んでいきますので、ゆっくりと目で追っていけば誰にでも理解できます。逆に、短くせにアッチにいたり、こちらに飛んだりというサーカスカバレーボールみたいなプログラムは初心者の方は読まないほうが良いということになるでしょう。

やや長くなると……

では次に2つ目のプログラム「BALL 2:MOVE!」を見てみましょう。これは7色のボールを画面にランダムに表示して、それぞれを任意に動かしてみる、というプログラムです。

今度は24行あります。上から順に流れているのは先ほどと同じですが、こちらのプログラムは大きく2つのブロックに分けることができます。

100~170 初期設定。7

つのボールの位置を決めて表示する

180~330 それぞれの

ボールを上下左右に動かす。4方向

のどちらに動かす

かは200行の乱数で決定。250行から

290行は画面からあふれそうになっ

たときのチェック。

7つとも表示が終わったら180行に

戻って繰り返す

以上です。長いプログラムは必ずいくつかのブロックに分割することができるようです。そのブロックはそれがあたかもひとつの命令語であるかのように意味や役割をもっていますから、プログラムを読む場合に重要な作業としては

1) ブロックに分ける

2) 各ブロックの役割を理解する

の2つが指摘できます。そして、ブロックに分割できたら、あとは小さなプログラムを読むのと同じですね。

分割の際REM(remark:注釈)文が適切な形でついていれば読みやすいのですが、残念ながら大きなプログラムになるとメモリを節約するために完成後に行ごと消している場合があります。REM文がない場合はしかたがないので、どこでブロックに分割するかを自分で決めてやらなくてはなりません。それがまったく不可能な場合はわかりにくいプログラムであるといえるでしょう。

●リスト1 BALL 1:UP!

```
100 REM ----- BALL 1:UP !
110 CONSOLE 0,25:CLS
120 X=INT(RND(1)*79)
130 LOCATE X,24
140 COLOR INT(RND(1)*7)+1
150 PRINT "●"
160 FOR X=1 TO 200:NEXT
170 GOTO 120
```

●リスト2 BALL 2:MOVE!

```
100 REM ----- BALL 2:MOVE !
110 DIM BX(7),BY(7)
120 CONSOLE 0,25:CLS
130 FOR Z=1 TO 7
140   BX(Z)=INT(RND(1)*40)*2:BY(Z)=INT(RND(1)*25)
150   COLOR Z
160   LOCATE BX(Z),BY(Z):PRINT "●";
170 NEXT Z
180 FOR Z=1 TO 7
190   LOCATE BX(Z),BY(Z):PRINT " ";
200   S=INT(RND(1)*5)
210   IF S=0 THEN BX(Z)=BX(Z)-2
220   IF S=1 THEN BX(Z)=BX(Z)+2
230   IF S=2 THEN BY(Z)=BY(Z)-1
240   IF S=3 THEN BY(Z)=BY(Z)+1
250   IF BX(Z)<0 THEN BX(Z)=2
260   IF BX(Z)>79 THEN BX(Z)=78
270   IF BY(Z)<0 THEN BY(Z)=1
280   IF BY(Z)>24 THEN BY(Z)=23
290   IF BX(Z)=78 AND BY(Z)=24 THEN BX(Z)=0:BY(Z)=0
300   COLOR Z
310   LOCATE BX(Z),BY(Z):PRINT "●";
320 NEXT Z
330 GOTO 180
```


さらに長い場合

では次は50行クラスの長い(?)プログラムを読んでみましょう。例にあげたのは「BALL 3:3-BALL」です。3つの鉄球を接し合わせて上から糸でぶらさげて、端の球を持ち上げて手を離すと「カチ、カチ、カチ……」と音を出しながら動く古典的な玩具のプログラムです。行数を短くするために減衰や重力加速度は加味していません。ブロックに分割すると

100~230 初期設定と表示

240~540 ボールの運動

の2つに分かれますが、それぞれのブロックでサブルーチン²⁾が使っています。190行目から230行目は3つのボールのグラフィック表示初期設定です。後半ブロックの本体は鉄球の動く際の座標を指定し、画像処理部分はすべて420行目から540行目までのサブルーチンにまわしてあります。

長いプログラムになると、まったく同じ作業が任意の場所で何回も出てくるケースが頻繁に起こります。そんなときに何回も同じ内容のプログラムを書くのもメモリの無駄ですし、面倒くさいことこのうえなし。そこでサブルーチンの登場となるわけです。

ところが、このサブルーチンはGOTO文と違って、それだけ見てもどこからきて、どこに戻るのかサッパリわかりませんね。しかし、サブルーチンの働きさえわかれば、GOSUB 命令そのものをその働きをする命令語と考えてしまえばいいわけです。実際にはどこからきてどこに戻るのかは問題にならないわけです。

ここでは50行のプログラムを例としてあげましたが、それ以上長いものでも基本的にはせいぜい10数行から30行のブロックの集合体であると考えてよいでしょう。ただ

し、長くなればそれだけブロックの数は増えますし、サブルーチンの数も増えます。ですから、ラインマーカーで区切りごとに印をつけたり、余白に内容を書き込んだりすることも必要でしょう。

読めれば書ける

そうやって人の作ったプログラムを分解して意味が理解できたとします。次の作業として、それぞれのブロックの内容を紙に書き出して、四角で囲み、流れを矢印で結んでいくと……、まさに略式ではありますが、自分にとっては最高のフローチャート³⁾になっているのではないのでしょうか。

プログラムを作る場合、最初にフローチャートを書いて内容をある程度把握してから着手するのが鉄則ですが、実際にはフローチャートを書くところから始めると必要以上におっくうになり、それだけでプログラム作りはいやになってしまいます。しかし、いまのような作業で自然にフローチャートができるわけですから、略式であれば決して難しい作業ではないのです。

じつはこれまで書いてきた「プログラムの読みかた・初級編」はそのままプログラム全体の構成方法の裏返しになっています。自分でプログラムを作るときに重要なこともまったく同じであり、

- 1) 全体の構想を略式でいいからまとめる
 - 2) まとまりのあるブロックに分ける
 - 3) 上から順を追って組み立てていく
 - 4) サブルーチンを効果的に使う
- となります。

さらに重要なことは、自分でなにかプログラムを作ろうと思った場合、紙の上で構想を練ってフローチャートを書くにせよ、いきなりディスプレイに向かうにせよ、おむね頭の中には全体像が浮かんでいるも

1) 乱数

RND(1)は0以上1未満のランダムな値をとる。したがって、これを79倍すれば0以上79未満の値となり、INTすることにより0以上78以下の整数値となる。乱数を使うときの定石だから、初心者の方は覚えておこう。

2) サブルーチン

なにかの処理をするひとまとまりのプログラムをルーチンと呼ぶ。本文でいっているブロックと同じである。その中でもGOSUBで飛んできてRETURNで飛んできた元に戻るものがサブルーチンである。

3) フローチャート

フロー(flow)とは「流れ」、チャート(chart)は「図」であり、文字どおりプログラムの「流れを示す図」、「流れ図」である。以前は「フローチャートの書き方」みたいな講座がよくあったが、最近あまり見かけなくなった。

のです。そして、命令を打ち込んでいくときには、その実行過程がイメージできていなければなりません。そう、プログラムを作成するとき人はBASICそのものになるのです。

とはいえ、初心者の方には決してやさしい作業でないのは明らかです。そこで頭の中である程度のプログラムの流れを組み立てる練習として、他人の作成したプログラムを読むことは効果的な方法だといえましょう。

一歩進めてみると、どんなケースでどんなブロックを組み立てているかはけっこう参考になるものです。意外な手法を使っていたりすると「なるほど」なんて思いますし、自分がオリジナルを編み出したと思いついていた手法がじつはありふれたものであったことがわかると思わずニヤリとしてしまったりもします。

実際にあなたが他人のプログラムを読んでみて、ある程度概略をイメージすることができるのならば立派なプログラムが作れるはず。本当は自分でプログラムを作るほうが他人のプログラムを読むよりも簡単はずなのです。

●リスト3 BALL 3:3-BALL

```
100 REM ----- BALL 3:3-BALL
110 CLS 3
120 AX=150:AY=100
130 BX=120:BY=100
140 CX=172:CY=100
150 X=AX:Y=AY:GOSUB 190
160 X=BX:Y=BY:GOSUB 190
170 X=CX:Y=CY:GOSUB 190
180 GOTO 240
190 REM ----- BALL PRINT:
200 LINE (X,0)-(X,Y),PSET,15
210 CIRCLE (X,Y),10,7
220 PAINT (X,Y),7
230 RETURN
240 REM ***** SWING:
250 X0=BX:X=BX:Y=BY:XX=BX:YY=BY
260 FOR S=270 TO 225 STEP -5
270 GOSUB 420
280 NEXT S
290 FOR S=225 TO 270 STEP 5
300 GOSUB 420
310 NEXT S
320 PRINT CHR$(7);
```

```
330 X0=CX:X=CX:Y=CY:XX=CX:YY=CY
340 FOR S=270 TO 315 STEP 5
350 GOSUB 420
360 NEXT S
370 FOR S=315 TO 270 STEP -5
380 GOSUB 420
390 NEXT S
400 PRINT CHR$(7);
410 GOTO 240
420 REM ----- SUB:
430 SS=S*PI/180
440 LINE (X0,0)-(XX,YY),PSET,0
450 CIRCLE (X,Y),10,0
460 PSET (X,Y),7
470 PAINT (X,Y),0,0
480 SS=S*PI/180
490 X=X0+100*COS(SS):XX=X0+90*COS(SS)
500 Y=100*SIN(SS):YY=90*SIN(SS)
510 LINE (X0,0)-(XX,YY),PSET,15
520 CIRCLE (X,Y),10,7
530 PAINT (X,Y),7
540 RETURN
```


7度デバッグして人を疑え

プログラミングはデバッグに始まり、デバッグに終わる。ここでは、雑誌に掲載されたプログラムの打ち込み方を中心に、祝一平流のデバッグ術を紹介しよう。もちろんこれはオリジナル制作にも当てはまるものである。

Iwai Ippei
祝 一平

初めにバグありき

この世はバグに満ちている。ちなみにこの文章を書いている今は2月の中旬なのであるが、ここ数日の暖冬のせいらしく、いきなり初ゴキブリが出てしまった。よりによって、持ち上げたコーヒークップのかげから飛び出てきたのである。きっとウケを狙って待ち伏せしていたに違いない。このことからわかるように、この世に生まれた以上はデバッグ¹⁾は避けて通ることができないものなのである。ましてや、パソコンに手を染めてしまった場合を考えていただきたい。そうなったらもはやバグと二人三脚なのである。

そこで、ここでは「雑誌に掲載されたBASICプログラムの打ち込み時におけるバグ取り」について検討していきたいと思うしだいである。なお、この記事は1986年1月号の70~75ページに掲載された「必殺バグ退治のテクニック」と重なる部分があるが、それは浮世の常なのである。

では始めるのである。

入力の基本

まず前提として、雑誌に掲載されたプログラムにバグが入っているかもしれない、という問題がある。これはできれば避けたいテーマなのであるが、残念ながらそうはいかない。掲載されたプログラムにバグがあるかもしれないということは過去の事実からも否定できないのである。つまり、ぶっちゃけた話、

パソコン雑誌にバグはつきものなのである。これは開き直っているわけではない。バグはあってはいけないものだし、できるだけ減らそうとしている。しかし事実は事実である。どんな雑誌でもある程度までバグを減らすことは可能であるが、しかし完全に取り除くのは至難の技なのである。

だが私は敢えて書くのである。「7度デバ

グして本を疑え」と。これは雑誌のほうが偉いのだ、ということの意味しているのではない。いわばパソコン雑誌の悲しい性(さか)なのである。雑誌が加害者で、読者は金を出してバグ入りの本を買わされた被害者である、というようなとらえ方は勘弁していただきたい。そう、雑誌のバグ取りも読者参加のSENTINEL(見張り番)なのである。

てなところで、まずは打ち込み方である。まず基本中の基本として、

1) **ファイル名を変えてこまめにセーブ**
テープやディスクをけちると怒突墓(ドツボ)にはまる確率が飛躍的に増大するものなのである。

古人いわく、セーブする門に福きたる。

2) **打ち込みながらの改良は必敗**

常識以前の問題である。初心者の頃には、注釈文²⁾の中身までリストどおりに打ち込むぐらいの素朴さがほしい。改良したければ完全に打ち込み終わった(バグも完全に取った)あとで行うべきである。

古人いわく、二兎を追う者は一兎をも得ず。

3) **入力に注意深く**

あわてて入力してあとからバグに苦しむよりも、少々時間が長がかかってもいいに入力していったほうが結果的には得であろう。ま、入力には自信があるという場合もあるだろうから人それぞれであるが、世の中には一度入ったらまず取れないというようなエイズみたいな入力ミスもあるのだ。心得ておいていただきたい。

古人いわく、注意一秒バグ一生。

以上のような注意事項を守ったにせよ守らなかったにせよ、結局はRUNとなるわけである。しかしそこはそれ、当然のように動かないのである。一発で動くなどということがそうそうあったまるものか。

そして、ここからが本当のテーマなのである。

これ以降いろいろリストが出てくるが、すべてリストAが正しいリスト、それ以外のB、Cは打ち間違った例などである。

軽症である

まずはふつうのエラーの場合である。たいていのエラーはほとんどの場合、単純な打ち込みミスであろう。よって、エラーが出たならばその行のリストを見て、紙面と違う部分を打ち直すのである。すなわち、

ナントカ error in 100

ならば、

LIST 100

で対抗するのである。たいていの場合はこれですむはずである。

しかし、世の中がそんなに甘いと思ったら新型間接税である。エラーといっても

100 PRINY A

のような単純なものとは限らないのだ。

まず、最初に困るのがマルチステートメント³⁾になっている行である。困ったことに、ほとんどのBASICインタプリタは、エラーが発生した行番号だけしか教えてくれない。わかっているくせにその行の中の何文字目でエラーが起きたのかを教えてくれないのである。よって、何度見直しても間違いが見つからないことがある。人間の観察力なんてたかがしれているのだ。そのよ一なときにおすすめの基本テクニック、お兄ちゃんの知恵袋は、

1行を分割する

というなんでもないことである。もちろん順序は変えずにである。たとえば、リスト1-Aをリスト1-Bのように打ち間違った場合、20行でSyntax error⁴⁾が出るのである。そして困ったことに、ごちゃごちゃしているので20行の中のどこにミスがあるのか見つけ出せなかったとしよう。この場合どうすればいいかという、リスト1-Cのように行番号を変えつつコピーし⁵⁾、その後リスト1-Dのように分割してしまうのである。このとき、リスト1-Dにあるようにもともとの20行を「殺す」必要があることに注意。このようにすると、リスト1-Dの23行目でエラーが出ることになる。こうすればミスのありかの候補がしばられてかなり楽に発

見できるであろう。この場合は閉じカッコがひとつ足りない、と気づくわけである。めでたしめでたし。

さて、ここでシャープBASIC⁶⁾の場合について注意しておく。シャープBASICではリナンバー⁷⁾が使えない場合もあるし、またREM文の動作がちょっと違ったりもする。そのときのお勧めはリスト2-A(正)、2-B(誤)、2-C(罣をしかける)である。ZZという変数がほかのところで使われていないことが大事である。こうしてからRUNしてエラーで止まったら、ダイレクトモード⁸⁾で、

PRINT ZZ

とするのである。このとき変数ZZが2と表示されたならば、「ZZ=2」と「ZZ=3」の間

●リスト1 複雑なマルチステートメント(1)

A (オリジナル)

```
10 INIT
20 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
30 PRINT "PI"
40 SCREEN
```

B (入力ミスがある)

```
10 INIT
20 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
30 PRINT "PI"
40 SCREEN
```

C (コピーする)

```
10 INIT
20 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
21 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
22 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
23 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
24 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
25 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
30 PRINT "PI"
40 SCREEN
```

D (行を分割する)

```
10 INIT
20 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
21 PRINT "#";RIGHT$( "0000"+HEX$(RECNO*16+I),4);"0=";FORJ=1TO16:PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";:NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
22 FORJ=1TO16
23 PRINTRIGHT$( "0"+HEX$(ASC(MID$(D$,I*16+J,1)),2);" ";
24 NEXT:PRINT"";:PRINT#0,MID$(D$,I*16+1,16)
25
30 PRINT "PI"
40 SCREEN
```

●リスト2 複雑なマルチステートメント(2)

A (オリジナル)

```
10 P=10:S1=0:S2=0:S3=0:FORI=1TO10:P=S1+I:S2=S2+I*I:S3=S3+I*I*I:NEXT
```

B (TOがTOになっている)

```
10 P=10:S1=0:S2=0:S3=0:FORI=1TO10:P=S1+I:S2=S2+I*I:S3=S3+I*I*I:NEXT
```

C (罣をしかける)

```
10 P=10:ZZ=1:S1=0:S2=0:ZZ=2:S3=0:FORI=1TO10:P=S1+I:S2=S2+I*I:ZZ=4:S3=S3+I*I*I:ZZ=5:NEXT:ZZ=6
```

にミスがある」とわかるわけだ。このようにしてシコシコとバグを取るのである。眺めているだけではわからないバグに対しては、このように罣をしかけるのである。簡単にいってしまうと「搜索範囲を狭くすると見つけやすくなる」というわけだ。

以上が軽症の場合の治療法である。

意外性のユーザー定義関数

リスト3-A、Bを見ていただきたい。これは、四捨五入のためにユーザー定義関数「FN A(X)」を使っているわけだ。そして、単純なプログラムであるからすぐわかるであろうが、リスト3-Bの10行の「DEF FN A(X)～」が間違っているのである (INT関

1) デバッグ

バグ(bug)とはもともと「虫」のことで、転じて「病原体」とか「故障」コンピュータ用語ではプログラムの「誤り」を意味する。デバッグ(debug)とはプログラムの「誤りを取り除く」ことでバグ取りともいう。「プログラムの虫」といった場合も、「プログラムに熱中する人」ではなく「バグ」をさすことが多い。

2) 注釈文

REMとかシングルクォーテーション(')で始まる文は、なんらかの処理を実行するものではなく、注釈(コメント)として扱われる。注釈文の有効範囲は、HuBASICやBASIC-M25/S25などでは行の終わりまでだが、そのほかのシャープ製BASICではコロン(:)があるとそれ以降の命令は有効となるので注意を要する。

3) マルチステートメント

BASICではコロン(:)で区切ることにより、1行に複数の命令(ステートメント)を記述することができる。これを「マルチステートメント」という。ちなみに、同じ命令でも

PRINT~

のように直接実行させる場合はコマンド、
10 PRINT~

のようにプログラムにした場合はステートメントと呼ぶ。それほど厳密な区別があるわけではないが「マルチコマンド」とはいわない。

4) Syntax error

PRINTをPRINTとするなどの文法的な間違い。ほとんど(すべて?)のBASICでエラー番号1が割り当てられていることからわかるとおり、もっともよく出るエラーといえるが、その内容は低次なものから高次なものまで奥が深い。

5) コピーといっても特殊なことをするわけではない。ここでは行番号を変えてリターンキーを押すだけのことである。

6) シャープBASIC

ここではHuBASIC、BASIC-M25/S25以外のシャープ製BASICのこと。ちなみにBASIC-M25はマイクロソフト系、HuBASICはシャープ系とマイクロソフト系の中間的なものといえる。

7) リナンバー

行番号が整然となるよう付けかえてくれる機能。たとえば、10行に続いて13、15、20、22、……となっているときも、RENUM命令を実行すれば10、20、30、40、50、……とすることができる。シャープBASICでも、MZ-700/1500のS-BASICにはリナンバー機能がある。

8) ダイレクトモード

行番号の付いたプログラムとしてではなく、キーボードから直接(ダイレクトに)

PRINT~

のようにコマンドを打ち込んで実行させること。ほとんどの命令は、意味のある/なしにかかわらずダイレクトモードで実行できるが、逆にダイレクトモードでしか使えない命令(コマンド)がある場合もある。

●リスト3 FN関数のあるプログラム

A (オリジナル)

```
10 DEF FN A(X)=INT(X+.5)
20 '
30 B=FN A(1.9)
```

B (なかなかとれないバグ)

```
10 DEF FN A(X)=INT(X+.5)
20 '
30 B=FN A(1.9)
```


数の右カッコが抜けている)。

さてこいつをRUNさせるとどうなるであろうか。まともに考えると、

Syntax error in 10

と思えるであろう。

甘い!!

これは

Syntax error in 30

となるのだ。実際にミスのある10行の「DEF FN A(X)～」のところではなく、

その関数を呼び出した行のエラーだと表示するのである。いったいぜんたいBASICを作ったやつはなにを考えているんだ。とにかくこのバグはやっかいである。いくら眺めても取れないのである。なぜエラーになるのか理解できないのである。というわけで、エラーを出した行に「FN～」があったら、そこらへんも当たっていただきたいのである。

恐怖の「尻つながり」

たとえばこんな恐ろしい話がある。

あるところに2台のパソコンが並んでいた。そして両方で同じBASICが走っており、なおかつLISTコマンドによってまったく同じリストが表示されるのである。

しかし、片方は正常に動くのに対して、もうひとつは、なんとSyntax errorで止まるのだ!

ギャー!!

ああ、なんて恐ろしいことだろう。この

よーなことがあってよいものだろうか。神も仏もないのであろうか。何度見比べてもまったく同じリストなのだ。なぜだなぜだなぜなののだだだ!!

さて、この「血も凍るエラー」の種明かしをしよう。これはじつは、

2つの行がつながってしまっているのである。このミスは本当に恐ろしいものである。一度ハマッたら、ちょっとやそつとではわからないであろう。リスト4-Aが正しいリスト、リスト4-Bが打ち間違いである(2つともまったく同じである)。

つまり、リスト4-Bは困ったことにリスト4-Cと同一なのである。リスト4-Bのほうは「S+I」と「40」の間にスペースが入っているので「2行になっているように見える」が、じつはしっかりとくっついているのである。よって、と一ぜんのごとくエラーとなる。ああ、恐ろしや恐ろしや。

これの予防方法は、「リターンキーを押してから行番号を入力することを心がける」ことである。なおHuBASICではうっかりctrl-Wを押してからリターンキーを押すと2行がくっついてしまい、このよーな事態に陥ることが多いので気をつけていただきたい。

そして、一度こうなってしまったあとは(とはいっても気がついてないわけだが)対処方法として、WIDTH(もしくはCONSOLE)命令で1行の表示桁を変えたりとか、リナンバーをしてみたりとか、もしくは「どうしてもSyntax errorが取れない行をもう一度打ち直してみる」という最終兵器などがある。世の中、どこに落とし穴があるかわ

かったものではない。鶴亀鶴亀。

Out of data

このエラーは「もうデータがないのににもかかわらずREAD文が実行された」ということである。このエラーはタチが悪いのである。その理由は、たとえば

Out of data in 100

というエラーが発生したとしよう。この場合、ほとんど確実に100行にはミスがないのである。

このエラーが出るのは次の3パターンに要約されると考えてまず間違いはない。

- 1) DATA文の打ち間違い
 - 2) RESTORE文の打ち間違い
 - 3) READ文を実行する回数が狂った
- 具体例はリスト5-A、B、6-A、B、7-A、Bである。

さて、これらの場合のチェック方法であるが、DATA文、RESTORE文の打ち間違いのケースは比較的楽である。ひたすら注意深くチェックすればミスが見つかるであろう。最悪の場合、DATA文とRESTORE文をページから拾い出して、すべてを打ち直すという手がある。ま、これはまだまだ楽なほうである。

やっかいな場合があるのが3)のケースで

●リスト4 どこが違うの?

A(オリジナル)

```
10 S=0
20 FOR I=1 TO 100
30   S=S+I
40 NEXT
50 PRINT S
```

B(リスト4-Aと同じに見える)

```
10 S=0
20 FOR I=1 TO 100
30   S=S+I
40 NEXT
50 PRINT S
```

C(リスト4-Bは本当はこれと同じ)

```
10 S=0
20 FOR I=1 TO 100
30   S=S+I 40 NEXT
50 PRINT S
```

●リスト5 READ~DATAのプログラム

A(オリジナル)

```
10 READ A,B,C
20 '
30 DATA 1,2,3
```

B(カンマがピリオドになっている)

```
10 READ A,B,C
20 '
30 DATA 1,2,3
```

質問電話の正しい使い方

ご存知のとおり、Oh! MZ 編集室にはバグ情報電話が設置されています。バグ情報として寄せられるものの大部分は単なる入力ミス、操作法の誤りによるものです。マシン語のプログラムであればチェックサムやCRCチェックバイトにより簡単にミスを修正することもできますが、BASICでは打ち間違いを発見するのさえひと苦労です。

大部分のエラーは、エラー発生行の近辺を見ればこと足りますが、Illegal function callなどは要注意。これらは変数名/行番号の打ち間違い、演算子/数値の入力ミスなどによって発生するもので、文法上はエラーにならないうえにリスト中のどこで間違ったかわからず、おまけにある程度BASICに慣れてくるとSyntax errorよりもお目ににかかる比率が増えてくるやっかい者なのです。Syntax errorであれば自分の入力ミスと納得する人も、こいつに出会うと「これはもしかしてバグではないのか」と疑心暗鬼にかられることが多くなります。

ここでまず、なすべきことは「Oh! MZに掲載されているプログラムにバグはない」と固く信じてエラー発生行で参照されている変数を表示させることです。文字変数の場合はLEN関数を使って文字数も確認します。どの変数がおかしいかを調べたら該当する変数名をサーチ、それでもだめならその変数に代入されている変数を洗い出し、それでもだめなら以下の点に注意してバグ情報電話の番号をダイヤルしましょう。

- 1) 電話番号は03(263)2230 です。間違えないように
- 2) 手元にOh! MZと筆記用具を用意する
- 3) 前置きは不要、何年何月号、該当記事、使用機種、エラーの内容を大きな声で簡潔に述べる

なお、発売直後はバグ情報収集のため情報が未整理ではっきりとは質問に答えられません。そのほか、作者に確認しなければ答えられない質問の場合、数日間お待ちいただくねばならないこともあります。「動かないよ」という声よりも「動いたよ」という声を多く聞きたいものです。

ある。どういうものかという、リスト8-A、Bである。リスト8-Bでは変数Cがおかしいのであるから、「C=～」の出るところをたんねんにチェックするしかない。ただし、そうしてもミスが見つかるとはかぎらない。つまり「C=D」などとしていたなら「DがおかしいとCもおかしくなる」のである。よって、「D=～」が含まれている行もすべてチェックしなければならなくなる。つまり、最悪の場合「リスト全部見直し」となる。また、「ずっと前に実行したREAD文がデータを読みすぎている」のが原因でエラーが起きているのかもしれない。そうしたらREAD文に関係するところをかたっぱしからチェックしなければならない。おこわ。

さて、DATA文にまつわるエラーにはそのほかにDATA errorというものがある。これは数値変数に文字列を読ませようとしたときに発生する。すなわち「データはあるのだが型が違う」というわけである。実例はリスト9-A、Bである(HuBASICではエラーにならない)

以上、DATA文に関するエラーすべてを通じていえることだが、もしもBASICに「現在読み込み中のDATA文のある行番号」というようなシステム変数¹⁰⁾があるならばけっこう役立つであろう。すなわち、HuB

●リスト6 RESTOREのあるプログラム

```
A (オリジナル)
10 RESTORE 40
20 READ A,B,C
30 '
40 DATA 1
50 DATA 2
60 DATA 3

B (RESTORE文を間違えた)
10 RESTORE 50
20 READ A,B,C
30 '
40 DATA 1
50 DATA 2
60 DATA 3
```

●リスト7 FORループでREAD~DATA(1)

```
A (オリジナル)
100 DIM A(10)
110 FOR I=1 TO 5
120 READ A(I)
130 NEXT
140 '
150 DATA 1,2,3,4,5

B (ループの回りすぎ)
100 DIM A(10)
110 FOR I=1 TO 6
120 READ A(I)
130 NEXT
140 '
150 DATA 1,2,3,4,5
```

ASICのDTLである。BASIC-M25にもシステム変数DTLがあるが、これはエラーやEND文などで実行が止まると0になってしまうから、止まったあとで表示させても意味がない。また、X1のNEW BASICではDTLは削られてしまっている。

Out of range

よくあるエラーにSubscript out of rangeというのがある。これもやっかいである。どのようなときにこのエラーが出るかはリスト10-A、Bを見ていただきたい。ま、早い話が「DIMで宣言した大きさを越えたり、もしくはマイナスの値を配列の添字にしようとした」ということなのである。リスト10-Bでは、エラーが出たあとで

PRINT I, J

としてダイレクトモードでI、Jを表示させると、それぞれ5、20となるはずである。DIM文では、

10 DIM A(10, 10)

と宣言されているのだから、Jの値が大きすぎてエラーとなったのである。

実例を示そう。リスト11-A、Bである。これはよく見ると「J=～」が含まれている行にはまったくミスがないのである。なのにJの値が異常になり、エラーが出るので

●リスト8 FORループでREAD~DATA(2)

```
A (オリジナル)
100 DIM A(10)
110 D=5
120 C=D
130 FOR I=1 TO C
140 READ A(I)
150 NEXT
160 '
170 DATA 1,2,3,4,5

B (D=6としたので140行でエラー)
100 DIM A(10)
110 D=6
120 C=D
130 FOR I=1 TO C
140 READ A(I)
150 NEXT
160 '
170 DATA 1,2,3,4,5
```

●リスト9 データに数値と文字列が混在

```
A (オリジナル)
10 READ A,B$
20 READ C,D$
30 '
40 DATA 1,SONO,3,SUJI
50 DATA 5,SABA,4,TAKO

B (カンマとビリオドを間違えた)
10 READ A,B$
20 READ C,D$
30 '
40 DATA 1.SONO,3.SUJI
50 DATA 5.SABA,4.TAKO
```

9) ctrl-W

CTRL (コントロール)キーを押しながらWキーを押すこと。MZ-80B/2000/2200のHuBASICでは、SFTLOCK(シフトロック)キーをCTRLの代わりとして使うので、SFTLOCK-Wということになる。

10) システム変数

BASICがあらかじめ特定の目的のために使っている変数。ご存知TIME\$ (シャープ BASIC ではTI\$) やSIZEなどもシステム変数である。

ある。

はっきりいって、ここにハマッたらかなりアブナイのである。この手のバグではないかと思ったら、このあとの「困ったとき」を見ていただきたい。

もっとも、DIM文の間違いということもありえる。念のため。

キャラクタの間違い

単純で恐ろしいのがキャラクタの打ち間違いである。0とO、TとY、マイナス(-)とカタカナの長音記号(ー)、Iと1とl(Lの小文字)、カンマ(,)とシングルクォーテーション(')などである。

このケースは、もしもエラーが出てくれたならば比較的簡単にデバッグできる。実例はリスト12-A、Bである。リスト12-BではIllegal function call¹¹⁾が出る。これは

●リスト10 配列を使ったプログラム

```
A (オリジナル)
10 DIM A(10,10)
20 I=5:J=10
30 A(I,J)=5

B (ちょっとバカバカしいミスだが……)
10 DIM A(10,10)
20 I=5:J=20
30 A(I,J)=5
```

●リスト11 配列のすべてに5を代入

```
A (オリジナル)
10 DIM A(10,10)
20 '
30 X=10:Y=10
40 FOR I=1 TO X
50 FOR J=1 TO Y
60 A(I,J)=5
70 NEXT
80 NEXT

B (取りにくいバグとなる)
10 DIM A(10,10)
20 '
30 X=10:Y=11
40 FOR I=1 TO X
50 FOR J=1 TO Y
60 A(I,J)=5
70 NEXT
80 NEXT
```


LOCATEで指定するキャラクターソルのY座標(ここではY-Y1の値)がマイナスの値だからである。

困ったとき

ここまでさんざん「怒突墓」とか「最悪」とか書いてきたが、「エラーは出ないがどうも動作がおかしい」というバグに比べればまるで天国なのである。エラーのピープ音はカンにさわるが、それでもエラーを見つけるためのヒントにはなっているのである。しかしエラーが出ないということはそのヒントさえもないわけである。

そこで、エラーは出ないがどうもおかしい、という場合にはどうすればよいかについて書くのである。なお、このデバッグ中は、

ON ERROR GOTO ~
はすべて

ON ERROR GOTO 0
にする。BREAK OFF文はREMで注釈しておく(殺す)などということを守っておいでいただきたい。

1) だいたいの予想をする

これは捜査の範囲をしぼるということである。たとえば画面表示がおかしいのなら、PRINT文やLOCATE(CURSOR)文をチェックする。もちろんそれらに関する変数も疑うなどである。また、特定のコマンド(IFやGOTOなど)、変数について集中的にチェックするという手もある。

2) トレースしてみる

TRON命令があるBASICなら、それを使ってみる手もある。ただし、あまり期待はしないほうがよい。

3) 変だと思ったらブレイク¹²⁾する

そうすればBreak in ~と表示されるだろうから、前後のリストをとって本と比較してみる。ただし、これもあまり期待しないほうがよい。

4) リスト全体をチェックする

これはかなり気力のいる作業であるが、もしも十分な気力があるならばいちばん強

力な方法である。

以上が一般的な手であるが、はっきりいってこれでバグが取れるとはかぎらない。そこで究極の手を公開しよう。

5) もう一度打って比較する

たとえば、自分も友人も入力したのだが、両方のプログラムとも正常に動かなかったときなどに有効である。もちろんひとりで2度入力してもよい。それで、比較は目でやってたら意味がない。プログラムでやるべきである。それがリスト13である。必要な条件は「アスキーセーブ¹³⁾ができること」と「同時に2つのファイルをOPENできること」である。これにあてはまるのはHuBASIC(X1/X1turboなど)、BASIC-M25/S25、X68000のBASICなどである。X1のテープBASICでも“MEM:”を使えば小さなプログラムなら可能である(長いプログラムなら何本かに分割するという手もある)。

使い方は次のとおりである。

- 1) まず2本のプログラムを別々の名前であスキーセーブする
- 2) リスト13をRUNする
- 3) 先ほどアスキーセーブしたファイル名を2つ入力する
- 4) 1行ずつ比較していったら、違っていたらその行を表示するので、行番号をメモしてからなにかキーを押すとなる。

肝心なのは「表示された行番号をメモしておく」ということである。また、行が抜けているとその行以降はすべて「一致しない」ということになるから、その場合はブレイクし、抜けた行を訂正してからもう一度である。

さて、なぜこんなことがデバッグになるのかというと、これは「同じプログラムを別々に2回打ち込んで、同じ場所で打ち間違いをする確率は低いだろう」という予測に基づいているのである。ただし、あくまでも「確率が低いだろう」にすぎないから完璧なデバッグ法とはいえない。しかし、バグは一定の確率で減っていくことが期待できるであろう(あくまで確率である)。おそらくこれが最後の手である。長いプログ

11) Illegal function call

「規定外の数値やデータが使われた」というエラー。BASICによってはIllegal data errorとか単にData errorともいうが、このエラーを出す条件が微妙に異なることもある。

12) ブレイク

いうまでもなくSHIFT+BREAK、つまりSHIFTキーを押しながらBREAKキーを押す。もちろんct rl-Cでもかまわない。機種やソフトによってはSTOPキーやESCキーで実行を中止する場合もあるので全部ひっくめて「ブレイクする」という。ブレイク(壊せ)といわれていきなりバットを取り出してはいけない。

13) アスキーセーブ

BASICプログラムを

SAVE “ファイル名”, A

のようにして、文字列データとしてディスクなどに記録すること。MZ-700/1500のQD/ディスクBASIC以外のシャープBASICにはこの機能が無い。

ラムであったならちよいとやる気がわかないかもしれないが、短いプログラムならばけっこう効き目があるだろうし、最悪の場合ならば3回打ち直してみてもよいだろう。とにかく健闘を祈るのであった。

最後に

はっきりいって打ち込んだBASICプログラムのデバッグはしんどい。1月号で発表したCRC付きのMACINTOSH-Cを使うのであれば、明らかに機械語のほうが楽に確実に入力できるであろう。しかし、1986年8月号の「試験に出るX1」でも書いたように、

プログラミング=バグ取り

なのである。そして、今はまだオリジナルプログラムを作れない人も、雑誌に載っているプログラムを打ち込んでデバッグすることは、将来オリジナルを作る際に必ず役に立つはずなのである。

おそらく日本中で「打ち込んだBASICプログラムのチェック」にかかった延べ時間は、ユーザーを100万人として、それぞれが10時間ぐらいを費やしてしまったとして、100万人×10時間=1000万人・時間となるであろう。これを自給600円で計算すると、60億円ということになる。うーむ、合掌である。

●リスト12 どこにでもあるプログラム

A(オリジナル)

```
10 X1=5:Y1=3
20 X=20:Y=10
30 LOCATE X-X1,Y-Y1:PRINT "@"
```

B(変数名を打ち間違えた)

```
10 X1=5:Y1=3
20 X=20:T=10
30 LOCATE X-X1,Y-Y1:PRINT "@"
```

●リスト13 ファイル比較プログラム

```
100 INPUT "FILE1";A$
110 INPUT "FILE2";B$
120 OPEN "I",#1,A$
130 OPEN "I",#2,B$
140 LINPUT #1,C$
150 LINPUT #2,D$
160 IF C$<>D$ THEN PRINTC$:PRINTD$:F$=INPUT$(1)
170 IF EOF(1)=0 THEN 140
180 IF EOF(2)=0 THEN 140
190 CLOSE
```


ないのなら移植してみよう

毎月たくさんのプログラムが各雑誌に掲載されるなかで、自分の機種の記事しか利用しないなんてもったいない。ここでは、実際のプログラムの移植作業を通して、そのチェックポイント、手順、完成までを追ってみよう。

Takiyama Takashi

瀧山 孝

毎月発行されている多くのパソコン雑誌には、これまた多くのプログラムが掲載されています。数えたことはありませんが、きっと100やそこまではすまない数でしょう。でも、その中から自分のマシン用のプログラムだけを選び出してみるとちょっと寂しい思いをすることになります。ほとんどの雑誌はいちおうすべての機種を対象に書かれている(らしい)のでしかたがないといえばそうなのですが、ユーザーにしてみれば雑誌のすみずみまで活用できなければ損をしたような気になりますよね。

で、移植ノスズメとなるわけです。

移植の必要条件

BASICプログラムを移植するために最低限必要なものをピックアップしてみましょう。

まず、当たり前のことですが、BASICそのものを知っていなければなりません。これを知らずには先には進めませんので、早くもつまづいてしまった人はもう少し勉強してから出直しましょう。

次に、自分のマシンのことはできるだけ知っておくべきでしょう。これはなにもBASICの命令をみんな暗記していなければならないというのではなく、「こんな処理をしたいときにはあの命令を使えばいい」とか、「これだけは逆立ちしてもできない」とかいったレベルで十分なのです。できることとできないことを見極めておくべし、ということです。(チェックポイントその1)。

もうひとつ、移植元マシンに関する知識もゼロでは困ります。上で述べた2点につ

いてはパソコンを使っていれば遅かれ早かれクリアできるようなことでしたが、他機種のことを知るのにはなかなか難しいことですね。どうすればよいでしょう？

チェックポイントその2。わからなければ調べるべし。

昨年のOH!MZ 1月号から4月号にはBASIC DATA LISTなるものがありましたし、BASIC命令対照表のようなものも市販されているようですから、これを利用しない手はありません。

そのようなものが手元にない場合には、チェックポイントその3として、そんなこと知らなくても移植はできる! という言葉を取りましょう。

世にBASICは数あれど、結局は同じ言語の方言ですから、部分(1語の命令)がわからなくとも意味(全体でどんな処理をしているか)がわかればなんとかなるものです。

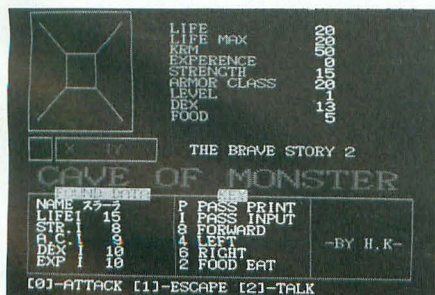
また、方言といっても今のBASICはマイクロソフト系¹⁾が主流ですから、わからない命令を探すほうが難しいでしょう。極端な例では画面の初期化部分を直すだけでそのまま走ってしまうことだってありますから、PC用だから、とあきらめてしまう前にリストをながめてみると意外な展開が待ち受けているかもしれないのです。

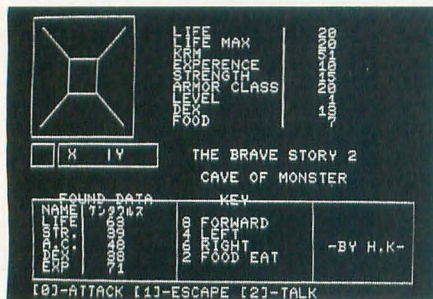
●リスト1 CAVE OF MONSTERオリジナル(FM-7/77用)

```

10  -----
20  THE BRAVE STORY 2
30  CAVE OF MONSTER
40  BY H.KAWAMURA
50  -----
60
70
80
90
100
110 GOSUB1310
120 GOSUB770
130 IS=INPUT$(1): IF IS="P" THEN GOSUB880 ELSE IF IS="I" THEN GOT0930
140 A=VAL(15)/2:IFA=0 OR A>4 THEN130
150 H=H-(A-2)+(A-3):H=H-(H<1)-(H>4)*4
160 IFIS="2"ANDQ(9)>0THEN Q(1)=Q(1)+Q(3)*20+1:Q(9)=Q(9)-1:IFQ(1)>Q(2)THEN Q(1)=Q(2)
170 IFIS="2"THEN GOSUB1050:GOT0130 ELSE IF F=1AND A=4 THEN130ELSE IFA<>4THEN120
180 X=X+H(H,1):Y=Y+H(H,2):RESTORE200:FORI=1TO13:READ A,B
190 IF X=A ANDY=B THEN H=H+2:GOT0150 ELSE NEXT:GOSUB770
200 DATA6,10,11,9,16,8,24,5,34,7,21,21,26,21,23,23,22,25,19,27,30,22,36,19,34,23
210 RESTORE230:FORI=1TO3:READ A,B,C,D:IFA=X ANDB=Y THEN GOSUB1060:X=C:Y=D:GOT0120
220 IF C=X ANDD=Y THEN GOSUB 1060:X=A:Y=B:GOT0120 ELSE NEXT
230 DATA 12,9,16,19,24,23,24,7,35,25,11,5
240 IF I(1)=0AND X=6AND Y=25THEN AS="MAP":GOSUB1080:I(1)=1:GOT0130

```





んどそのまま動くってことですよ。

そこで若干毛色の違う比較的シンプルな作りのシャープBASIC²⁾に移植してみました。

おっと。「なあんだX1に移植するんじゃないのか」とページをめくろうとしている君！ この原稿は他機種向けの記事を有効に使おうって話なんです。ここで読み飛ばしてしまったらなんにもならないではないですか。もう少しお付き合いを。また最後にX1, MZ-2500 用への変更点もサービスしちやいますからお見逃しなく。

リスト1を見てもらいましょう。これがオリジナルのFM版です。私の第一印象を伝えるべく、スペースの入れ方までなるべくオリジナルのとおりにしてみました（ただし、一部修正してあります）。こいつを移植するわけです。

まず、チェックしておかなければならないのはマシン語関係の命令があるかどうかです。PEEK, POKE, USRといった命令があると話がややこしくなってしまいます特にUSRなどでマシン語ルーチン³⁾を呼んでいる場合はマシン語レベルでの移植になってしまうから大変です。

PEEK, POKEも問題ですが、どのような目的で使っているかがわかれば簡単に処理できることもあります。たとえば、単にデータをメモリ上に置いているのならばそのままか、アドレスをずらしてやるだけですむのです。

このようなことをわきまえた上でリスト1を見てみます。と、590行などに POKE文があるではないですか。しかもデータのやりとりに使っているのではなく、どうやらBIOS⁴⁾のワークエリア⁵⁾を書き換えているようです。

が、運のよいことに作者が本文中でちゃんと説明してくれています。それによるとこのPOKE文はバックの色を変える目的で使われているそうです。それならばひと安心。なんとかなりそうです。プログラムの前後から判断して画面のリバース（白黒反転）を使うことにしました。

その次にイニシャライズ（初期化）部分

```
250 IF I(2)=0 AND X=26 AND Y=27 THEN AS="COMPASS":GOSUB1080:I(2)=1:GOTO130
260 IF I(5)=0 AND X=12 AND Y=4 AND I(3)=10 AND I(4)=10 AND Q(3)=100 THEN AS="FINAL ITE
M":GOSUB1080:I(5)=1:GOTO130
270 IF X=6 AND Y=4 AND I(5)=1 THEN 1170
280 RESTORE 300:IF I(3)<10 THEN FORT=0 TO I(3):READ A,B:NEXT ELSE 310
290 IF X=A AND Y=B THEN AS=STR$(I(3)+1)+" SWORD":GOSUB1080:I(3)=I(3)+1 ELSE 310
300 Q(5)=Q(5)+10:GOSUB1050:DATA 13,15,7,19,27,19,37,6,6,23,23,13,18,24,34,29,31,
13,2,2
310 RESTORE 330:IF I(4)<10 THEN FORT=0 TO I(4):READ A,B:NEXT ELSE 340
320 IF X=A AND Y=B THEN AS=STR$(I(4)+1)+" ARMOR":GOSUB1080:I(4)=I(4)+1 ELSE 340
330 Q(6)=Q(6)+10:GOSUB1050:DATA 10,25,21,23,18,9,12,11,18,20,37,10,34,4,27,9,39,
23,14,28
340 IF (X=34 AND Y=25 AND I(6)=0) OR INT(RND*5)+1=1 THEN 370
350 IF INT(RND*50)+1=1 THEN AS="FOOD":GOSUB1080:Q(9)=Q(9)+1:GOSUB1050
360 GOTO130
370 ----- FOUND ENEMY -----
380 RESTORE500:A=((ABS(14-X)+ABS(29-Y))/3)+1
390 IFX=34 AND Y=25 AND I(6)=0 THEN A=19 ELSE A=INT(RND*A)+1
400 FORT=1 TO A:READ AS:FOR I=1 TO 6:READ D(I):NEXT I,T:GOSUB1100
410 IF INT(RND*5)+1=1 THEN D(6)=(D(6)+1) MOD 2
420 LOCATE0,24:PRINT "[0]-ATTACK [1]-ESCAPE [2]-TALK":IS=INPUT$(1)
430 IFIS="2" THEN IF D(6)=1 THEN 620 ELSE 580
440 IF IS="1" THEN IF D(4)+FNA>Q(8) THEN 580 ELSE GOSUB 1040:GOSUB1110:PLAY "T1200
5116DC":GOTO130
450 IF IS<>"0" THEN 420 ELSE IF D(4)+FNA>Q(6) THEN 580
460 A=(Q(5)+FNA)-D(3):IF A<=0 THEN M=0 ELSE M=1:D(1)=D(1)-1
470 FORT=1 TO 5-(M-1)*30:LINE(16,136)-(80,142),XOR,2,BF:BEEP1:BEEP0
480 LINE(16,136)-(80,142),XOR,2,BF:NEXT:IF D(1)<0 THEN D(1)=0
490 GOSUB1100:IF D(1)>0 THEN 420 ELSE GOSUB1040:GOSUB1110
500 PLAY "T25503L64BAGFEDE":IF D(6)=1 THEN Q(3)=Q(3)-5 ELSE Q(3)=Q(3)+1
510 IF Q(3)<0 THEN Q(3)=0 ELSE IF Q(3)>100 THEN Q(3)=100
520 IF AS="レフ'リコ" THEN I(6)=1
530 A=D(5)-(Q(7)-1)*3:IFA>0 THEN Q(4)=Q(4)+A:GOSUB1050:IFQ(4)>=(Q(7)+1)*50 THEN 550
540 IF INT(RND*2)=1 THEN AS="FOOD":GOSUB1080:Q(9)=Q(9)+1:GOSUB1050:GOTO130 ELSE
130
550 Q(4)=0:Q(7)=Q(7)+1:Q(8)=Q(8)+6:Q(5)=Q(5)+1:Q(6)=Q(6)+2:Q(1)=Q(1)+15
560 Q(2)=Q(2)+15:LOCATE0,24:PRINT "LEVEL CHANGE!":FORT=1 TO 5000:NEXT:GOSUB1050
570 GOSUB1040:GOTO540
580 A=(D(2)+FNA)-Q(6):IF A<=0 THEN M=0 ELSE M=1:Q(1)=Q(1)-A
590 FORT=1 TO 10-(M-1)*90:BEEP1:BEEP0:POKE &HFD38,6:COLOR=(0,0):NEXT
600 GOSUB1050:IF Q(1)<=0 THEN 1120 ELSE 420
610 A=D(5)-(Q(7)-1)*3:IFA>0 THEN Q(4)=Q(4)+A
620 GOSUB1040:A=INT(RND*(Q(3)+10))+1:RESTORE740:FORT=1 TO A:READ AS
630 NEXT:BS="":FORT=1 TO LEN(AS):BS=BS+CHR$(ASC(MID$(AS,T,1))-1):NEXT
640 LOCATE0,24:PRINT BS:IS=INPUT$(1):GOSUB1040:GOSUB1110:GOTO130
650 DATA スター,15,8,9,10,10,7,シャープ,50,5,11,13,20,1,ラプ'レイ,36,8,10,20,19,0
660 DATA ゴレム,50,30,30,32,35,0,クンタウス,63,39,48,38,71,0,シルフ,10,3,3,20,5,1
670 DATA アンジュート,37,54,0,38,39,0,ホフ'ゴフ,71,50,75,45,50,0
680 DATA ホー'ウォー,54,124,58,51,23,1,スタンディ'ク,121,73,81,68,53,0
690 DATA サハ'ット,187,114,101,78,48,0,マン'ニス,203,73,124,90,57,0
700 DATA カ'ディ'ク,243,141,111,96,58,0,ストレ'イ,276,101,96,99,68,1
710 DATA マイ'コ'ット,217,211,176,110,69,0,ク'オ'クス,254217,254,108,68,0
720 DATA フ'クス,312,223,201,115,60,1,ター'ク'スト'カー,338,234,255,120,65,0
730 DATA レフ'リ'コ'ン,350,250,298,133,78,0
740 DATA ケウ'リ'チ'モ,キ'ヒ'ロ'ウ,21ハチナ'121ハ'ゴ,チ'ア'ト'ア'レ'ス!フ'エ'ス'フ,チ'ア'ク'ア'ス!ク'ア'ク'コフ
750 DATA イ'ト'メ'ヒ'ソ'ハ'ト'34レ'イ,サ'モ'ウ'ヒ!51y41チ,ゴ'ナ!チ'ナ'21ム'ク'レ'ナ!GJOBM!JUFN+!///
760 DATA ホ'ル'サ'グ!チ'カ'シ'ウ'ナ'1'リ'コ'ン,GJOBM!JUFN!ナ'シ'ロ'チ'コ'ス!///
770 ----- MAZE MAKE -----
780 LINE(1,1)-(9,9),,BF:IFX>29 AND Y=18 THEN LOCATE1,5:PRINT "DARK ZONE":GOTO840
790 LINE(16,8)-(159,79),PSET,7:LINE(159,8)-(16,79),PSET,7
800 LINE(63,31)-(112,56),PSET,7,B:LINE(64,32)-(111,55),PSET,0,BF
810 IF MID$(M$(Y+H(H,2)),X+H(H,1),1)=-1 THEN LINE(2,2)-(8,8),,2,BF
820 IF MID$(M$(Y+H(H+1,2)),X+H(H+1,1),1)=-0 THEN LINE(1,1)-(1,9),,LINE(1,2)-(1,8),,1
830 IF MID$(M$(Y+H(H-1,2)),X+H(H-1,1),1)=-0 THEN LINE(9,1)-(9,9),,LINE(9,2)-(9,8),,1
840 F=0:IF MID$(M$(Y+H(H,2)),X+H(H,1),1)=-1 THEN F=1
850 IF(1)-1 THEN LOCATE1,12:PRINT MID$( "NWSE",1,2) ELSE LOCATE1,12:PRINT " "
860 IF I(2)=0 THEN LOCATE6,12:PRINT " ":LOCATE11,12:PRINT " ":RETURN
870 LOCATE6,12:PRINTUSING"##":X:LOCATE11,12:PRINTUSING"##":Y:RETURN
1030 ----- SUB -----
1040 LOCATE0,24:PRINTTAB(39):RETURN
1050 FORT=1 TO 9:LOCATE28,T:PRINT USING"####":Q(T):NEXT:RETURN
1060 FORT=1 TO 300:POKE &HFD38,T MOD 7:P-T MOD 97:PLAY "T255L64V10N-P":NEXT
1070 COLOR=(0,0):RETURN
1080 FORT=1 TO 3:PLAY "T120L3206V10C","T120L3205V10C":LOCATE0,24:PRINT "TAKE A "+AS:
1090 FORT=1 TO 400:NEXT:GOSUB1040:NEXT:RETURN
1100 LOCATE6,17:PRINTAS:FORT=1 TO 5:LOCATE6,17+T:PRINTUSING"####":D(T):NEXT:RETURN
1110 LINE(6,17)-(14,22),,BF:RETURN
1120 ----- GAME OVER -----
1130 FORT=1 TO 3:SYMBOL(T*5,0),"GAME OVER",8,5,7:NEXT:FORT=1 TO 3000:NEXT
1140 AS="T120L4DEFFER4AAGAR32L8AADC":PLAY "V1005"+AS,"V904R32"+AS,"V802R16"+AS
1150 FORT=1 TO 25:LOCATE0,24:PRINT:NEXT:LOCATE3,10:PRINT "PUSH [ ANY ] KEY TO GAME
START!"
1160 IS=INPUT$(1):RUN
1170 ----- ENDING -----
1180 LOCATE0,24:PRINT "ケニ アナガ'アル!":FORT=1 TO 3000:NEXT:CLS:RESTORE 1250
1190 FORT=1 TO 6:READ AS:LOCATE0,24:PRINTAS:NEXT
1200 PLAY "T8005V10","T8003V11":FORT=1 TO 3:AS="L8DAG18FAF":BS="BA16BG"
1210 PLAYAS+ "06C05"+BS,AS+ "04C03"+BS:AS="L32AFGEL8FED16C+":PLAYAS+ "04A",AS+ "02A"
1220 AS="L32DABLA8":PLAYAS+ "06C05A06D05",AS+ "04C03A04D03":AS="BA16BGA8"
1230 PLAY "06C05"+AS, "04C03"+AS:PLAY "06CDC1605VABA", "04CDC1603BABA"
1240 NEXT:PLAY "05PGF16EFGF+4", "03PDF16EFGF+4":PLAY "L1RRRRRRR":GOTO 1200
1250 DATA ト'ウ'ク'フ' ス'ケ'ルト フ'キ'フ'キ'ト'ト'ウ'ク'フ' ク'ス'P'レ'ハ'シ'メ'タ
1260 DATA ナ'カ'ラ'ハ カ'イ'フ'フ'ト'モノ サ'ク'ビ'コ'エ'ガ キ'コ'ル.....
1270 DATA ア'ナ'ハ ミ'コ'ト'レ'フ'リ'コ'ン ヨ'シ'ト'ウ'ク'カ'ラ'ナ'ク'シ'ユ'フ
1280 DATA セ'イ'コ'シ'タ マ'チ'デ ソ'ウ'イ'ウ'ウ'フ'サ'ガ ヒ'ロ'ガ'ッ'タ...
1290 DATA "----- THE END -----"
1300 ----- TITTLE -----
1310 CLEAR1500:RANDOMIZE TIME:RESTORE1490:WIDTH40,25:FORT=1 TO 3
1320 SYMBOL(10+T*5,0),"CAVE OF MONSTER",5,4,1+(T-3)*4:NEXT
```


2) シャープBASIC

X1/X1turbo,BASIC-M25/S25以外のシャープ製BASICであるが、ここでは「MZ-2000/2200用 BASIC」と限定して考えたほうがいだろう。

3) ルーチン

なにかの処理をするひとまとまりのプログラム。たとえば、プログラム中でキー入力処理をしているところは「キー入力ルーチン」といえる。GOSUB (マシン語ならCALL) で呼び出されてRETURN (RET) で帰るものを特にサブルーチンと呼ぶ。

4) BIOS

Basic Input/Output System (基本入出力処理系) の略。キー入力とか画面出力、ファイル入出力などのためにBASICやOSが持っている基本的なルーチン集と考えてよい。IOCS (Input/Output Control System)、モニタサブルーチン、システムサブルーチンといった場合もほぼ同義である。

5) ワークエリア

マシン語プログラムなどで、プログラムが動作するのに必要なデータを格納するメモリ領域。それ自体が目的となるようなデータ (たとえば表集計のデータ) を格納するところはワークエリアとはいわずデータ領域と呼ぶが、一般にそれほど厳密には区別されていないようだ。

6) 展開する

ここでは、いくつかの命令を組み合わせる処理 (他機種の命令と同じ処理) をするようにすること。たとえば、S-BASICのPRINT [6] "@ "はHuBASICのCOLOR 6:PRINT "@ "に展開できる。また、「画面左下に "@ "を表示する」という処理はLOCATE 0,24:PRINT "@ "に展開できる。

を探してみます。冒頭で分岐している1310行以下が初期化ルーチンのようです。ここではテキストを40×25にしているだけで変わったことはしていません。

グラフィックとミュージック

今度はグラフィック関係のステートメントを見ます。X1に移植するのであればほとんど変更の必要はないところなのですが、シャープBASICですとネックとなる部分です。LINE文からして問題なのです。

普通に直線を引いている部分はデータの記述法が少し違うだけなのでよいのですがBオプション、BFオプションが出てくると知らない人は困ってしまいます。これが四角を描いたり、四角を塗りつぶすものだとわかったとしましょう。ところが、MZ-2000に標準のBASICには四角を描く命令さえ用意されていません。そこで、同じ処理をするサブルーチンを作るか、その場で展開する⁶⁾必要が生じてきます (リスト2-A、B)。赤でチェックですね。

LINE文ではもう1点、キャラクタによるラインを描くというオプションが使われています。これはループに展開するなどしなければなりません (リスト2-C)。

ほかにSYMBOL文なんてのが目につきます。ごっそりBASIC DATA LISTを見

```
1330 LOCATE3,24:PRINT" [SPACE] KEY TO GAME START!":WHILE INKEYS<>" :WEND
1340 CLS:AS="T120V10":PLAY AS,AS:DEF FNA=INT(RND*40)-20
1350 PLAY"05L4CDEFEDCCDFDGF","03L8ADADADADADADADADADAD"
1360 "----- SCREEN MAKE -----
1370 DIM BNS(15),Q(9),I(6),MS(30),P(19),D(6),H(5,2)
1380 FOR T=1TO6:READ X,Y,XX,YY:LINE(X,Y)-(XX,YY),PSET,7,B:NEXT:LOCATE4,12
1390 COLOR2:PRINT"X IY":COLOR6:LOCATE17,12:PRINT"THE BRAVE STORY 2"
1400 FOR T=1TO2:SYMBOL(10+T*4,112),"CAVE OF MONSTER":5,2,1:T:NEXT
1410 COLOR5:FOR T=1TO9:READ AS:LOCATE15,T:PRINT AS:NEXT:LINE(26,1)-(26,9),"1",7
1420 COLOR14:LOCATE3,16:PRINT"FOUND DATA":LOCATE20,16:PRINT"KEY":COLOR7
1430 FOR T=17TO22:READ AS,B:LOCATE1,T:PRINT AS:LOCATE16,T:PRINT B:NEXT
1440 COLOR3:LOCATE31,20:PRINT"-BY H.K-":COLOR7:FOR T=1TO9
1450 READ Q(T):NEXT:GOSUB1050:FOR T=0TO15:READ BNS(T):NEXT:FOR T=1TO30:READ AS
1460 FOR I=1TO10:A=VAL("&H"+MID$(AS,I,1)):MS(T)=MS(T)+BNS(A)
1470 NEXT I,T:FOR T=1TO4:READ H(T,1),H(T,2):NEXT:FOR T=1TO2:H(0,T)=H(4,T)
1480 H(5,T)=H(1,T):NEXT:X=14:Y=29:H=1:RETURN
1490 "----- DATA -----
1500 DATA 0,0,175,87,0,92,40,108,48
1510 DATA 92,216,108,0,132,248,188,248,132,472,188,472,132,639,188,LIFE
1520 DATA LIFE,MAX,KRM,EXPERIENCE,STRENGTH,ARMOR,CLASS,LEVEL,DEN,FOOD,NAME!
1530 DATA P,PASS,PRINT,LIFE,I,PASS,INPUT,STR,I,8,FORWARD,A,C,I,4,LEFT,DEN
1540 DATA 6,RIGHT,EXP,I,2,FOOD,EAT,20,20,50,0,15,20,1,13,5,0000,0001,0010
1550 DATA 0011,0100,0101,0110,0111,1000,1001,1010,1011,1100,1101,1110,1111
1560 DATA FFFFFFFFFF,8002002001,AEFAAFBDED,AAAAA8B5A1,AA8AA94AD,AAFAAAB5A5
1570 DATA AA02AAA52D,AAFAABB5A9,AA0AA014AD,AAFAAB7B5A5,AA0A80252D,AAFABFEDA9
1580 DATA AA028020AD,AAAAEFDA5,A2A2088D2D,BEBAFAFEA9,8002020001,BFABFFBF
1590 DATA 88AA000A01,AAAAAAAFD,AA8A000A85,AAEAAAAB5,A20A000AB5,AFAAAAAAB5
1600 DATA AA0A000A95,AAAAAAAF5,AA2A000A05,AAAAAABFD,800A000801,FFFFFFFF
1610 DATA 0,-1,-1,0,0,1,1,0
1620 "----- CAVE OF MONSTER By.H.K -----
1630 "----- マイコンBASICMagazine March1987 P.89 -----
```

●リスト2-A ボックスルーチン

```
1000 REM ** LINE (X0,Y0)-(X1,Y1),OR,,B **
1010 LINE X0,Y0,X1,Y0
1020 LINE X1,Y0,X1,Y1
1030 LINE X1,Y1,X0,Y1
1040 LINE X0,Y1,X0,Y0
1050 RETURN
```

●リスト2-B ボックスフルルーチン

```
1000 REM ** LINE (X0,Y0)-(X1,Y1),OR,,BF
1010 FOR I=Y0 TO Y1 STEP SGN(Y1-Y0)
1020 LINE X0,I,X1,I
1030 NEXT
1040 RETURN
```

●リスト2-C キャラクタボックスルーチン

```
1000 REM ** LINE (X0,Y0)-(X1,Y1),AS,,BF
1010 X=X0:IF X0>X1 THEN X=X1
1020 BS=LEFT$(AS,1)
1030 FOR I=Y0 TO Y1 STEP SGN(Y1-Y0)
1040 CURSOR X,I:PRINT STRING$(BS,ABS(X1-X0)+1):
1050 NEXT
1060 RETURN
```

●リスト2-D 16進文字列→数値変換ルーチン

```
1000 REM ** N=VAL("&H"+AS) **
1010 N=0
1020 FOR I=1 TO LEN(AS)
1030 M=ASC(MID$(AS,I,1))-48
1040 IF M>9 THEN M=M-7
1050 N=N*16+M
1060 NEXT
1070 RETURN
```

●リスト3-A MZ-2000/2200用CAVE OF MONSTER

```
10 REM ////////////////////////////////////////
20 REM /
30 REM / THE BRAVE STORY 2 `CAVE OF MONSTER' /
40 REM /
50 REM / オリジナル / H.KAWAMURA (FM-7/77) /
60 REM / マイコン BASIC Magazine 1987.3 /
70 REM / イショク / T.TAKIYAMA (MZ-20/2200) /
80 REM / Oh!MZ 1987.4 /
90 REM /
99 REM ////////////////////////////////////////
100 REM
110 GOSUB 1310
120 GOSUB 770
130 GET I$
140 A=INT(VAL(I$)/2):IF (A=0)+(A>4) THEN 130
150 H=H-(A/2)+(A/3):H=H-((H<1)-(H>4))*4
160 IF (I$="2")*(Q(9)>0) THEN Q(1)=Q(1)+INT(Q(3)/20)+1:Q(9)=Q(9)-1:
```


ると、文字列を任意の倍率でグラフィック画面に描く命令だと書いてあるでしょう。そこでパターンを作ってPATTERN文で表示する方法が考えられます。それでもよいのですが、プログラムの流れにおいてこの部分が本当に必要かどうかを考えてみます。という感じがしてくるのです。単に画面の見栄えをよくする意味しかないようだからです。ということで、今回はPRINT文で代用してしまうことにしました。

突然ですがチェックポイントその4として、本筋に関係なければカットしてもよし、が導き出されたわけです。

グラフィックはこれだけかな、と思ったところで思わぬ伏兵の登場です。なんとFM-7というマシンはキャラクタVRAM⁷⁾を持たず、グラフィック画面と兼用しているのです。ですからグラフィックが描かれている上に重ねてキャラクタを表示しようとすると下になったグラフィックは消えてしまうことになります。私も実際に作業に取りかかるまですっかり忘れていたのであわててしまいました。

ここは面倒なところでしたが、気をつけなければならないのは780行以下の迷路を表示する部分だけだとわかりました。大きく赤マルしておきましょう。

グラフィックの次にネックになるのは音楽関係でしょう。

FMは3重和音が出せるのですが、MZではちと苦しいのです。ここでも先ほどのチェックポイントその4を発動しましてバツサリ切ることにします。もちろん凝りたければ音符を細かく分割して和音らしくみせる方法もあります。じつは1カ所で使ってみたのですが、どうもいまひとつでした。

哀愁のシャープBASIC

ここまでくれば移植できたも同然、と書きたいところなのですが、我々がシャープBASICはそのシンプルさゆえに最近では当たり前になったいくつかの機能が不足しているのです。

悲しいかなIF~THEN~ELSEがありません。今回例としたプログラムには山ほどのELSEが使われているのです。これはもうひたすら展開しまくるしかありません。

一般に

```
IF 条件式 THEN 処理1 ELSE
  処理2
```

は

```
IF 条件式 THEN 処理1:GOTO次
```

```

IF Q(1)>Q(2) THEN Q(1)=Q(2)
170 IF IS="2" THEN GOSUB 1050:GOTO 130
172 IF (F=1)*(A=4) THEN 130
174 IF A<4 THEN 120
180 X=X+H(H,1):Y=Y+H(H,2):RESTORE 200:Z=0:FOR T=1 TO 13:READ A,B
190 IF (X-A)*(Y-B) THEN Z=1:H=H+2:T=99
192 NEXT:IF Z=1 THEN 150
194 GOSUB 770
200 DATA 6,10,11,9,16,8,24,5,34,7,21,21,26,21,23,23,22,25,19,27,
30,22,36,19,34,23
210 RESTORE 230:Z=0:FOR T=1 TO 3:READ A,B,C,D:IF (A=X)*(B=Y)
THEN Z=1:GOSUB 1060:X=C:Y=D:T=99:GOTO 222
220 IF (C=X)*(D=Y) THEN Z=1:GOSUB 1060:X=A:Y=B:T=99
222 NEXT:IF Z=1 THEN 120
230 DATA 12,9,16,19,24,23,24,7,35,25,11,5
240 IF (I(1)=0)*(X=6)*(Y=25) THEN AS="MAP":GOSUB 180:I(1)=1:GOTO 130
250 IF (I(2)=0)*(X=26)*(Y=27) THEN AS="COMPASS":GOSUB 1080:I(2)=1:GOTO 130
260 IF (I(5)=0)*(X=12)*(Y=4)*(I(3)=10)*(I(4)=10)*(Q(3)=100)
THEN AS="FINAL ITEM":GOSUB 1080:I(5)=1:GOTO 130
270 IF (X=6)*(Y=4)*(I(5)=1) THEN 1170
280 IF I(3)>=10 THEN 310
282 RESTORE 300:FOR T=0 TO I(3):READ A,B:NEXT
290 IF (X<>A)+(Y<>B) THEN 310
292 AS=STR$(I(3)+1)+" SWORD":GOSUB 1080:I(3)=I(3)+1
300 Q(5)=Q(5)+10:GOSUB 1050:
DATA 13,15,7,19,27,19,37,6,6,23,23,13,18,24,34,29,31,13,2,2
310 IF I(4)>=10 THEN 340
312 RESTORE 330:FOR T=0 TO I(4):READ A,B:NEXT
320 IF (X<>A)+(Y<>B) THEN 340
322 AS=STR$(I(4)+1)+" ARMOR":GOSUB 1080:I(4)=I(4)+1
330 Q(6)=Q(6)+10:GOSUB 1050:
DATA 10,25,21,23,18,9,12,11,18,20,37,10,34,4,27,9,39,23,14,28
340 IF (X=34)*(Y=25)*(I(6)=0) THEN 370
342 IF INT(RND(1)*5)=0 THEN 370
350 IF INT(RND(1)*50)=0 THEN AS="FOOD":GOSUB 1080:Q(9)=Q(9)+1:GOSUB 1050
GOTO 130
370 REM ----- FOUND ENEMY -----
380 RESTORE 650:A=((ABS(14-X)+ABS(29-Y))/3)+1
390 IF (X=34)*(Y=25)*(I(6)=0) THEN A=19:GOTO 400
392 A=INT(RND(1)*A)+1
400 FOR T=1 TO A:READ AS:FOR I=1 TO 6:READ D(I):NEXT I,T:GOSUB 1100
410 IF INT(RND(1)*5)=0 THEN D(6)=(D(6)+1)-INT((D(6)+1)/2)*2
420 CURSOR 0,24:PRINT "[0]-ATTACK [1]-ESCAPE [2]-TALK";
425 GET IS:IF IS="" THEN 425
430 IF (IS="2")*(D(6)=1) THEN 620
435 IF IS="2" THEN 580
440 IF IS<>"1" THEN 450
442 IF D(4)+FNA(0)>Q(8) THEN 580
444 GOSUB 1040:GOSUB 1110:MUSIC "DC":GOTO 130
450 IF IS<>"0" THEN 420
455 IF D(4)+FNA(0)>Q(6) THEN 580
460 A=(Q(5)+FNA(0))-D(3):IF A<=0 THEN M=0:GOTO 470
465 M=1:D(1)=D(1)-A
470 FOR T=1 TO 5-(M-1)*30:CURSOR 1,17:PRINT "NAME":MUSIC "+#B0"
480 CURSOR 1,17:PRINT "NAME":NEXT:IF D(1)<0 THEN D(1)=0
490 GOSUB 1100:IF D(1)>0 THEN 420
495 GOSUB 1040:GOSUB 1110
500 MUSIC "BOAGFEDE":Q(3)=Q(3)+5*(D(6)=1)-(D(6)<1)
510 IF Q(3)<0 THEN Q(3)=0
515 IF Q(3)>100 THEN Q(3)=100
520 IF AS="レフ'リコン" THEN I(6)=1
530 A=D(5)-(Q(7)-1)*3:IF A>0 THEN Q(4)=Q(4)+A:GOSUB 1050:
IF Q(4)>=(Q(7)+1)*50 THEN 550
540 IF INT(RND(1)*2)=0 THEN 130
545 AS="FOOD":GOSUB 1080:Q(9)=Q(9)+1:GOSUB 1050:GOTO 130
550 Q(4)=Q(7)-Q(7)+1+Q(8)-Q(8)+6:Q(5)=Q(5)+1+Q(6)-Q(6)+2:Q(1)=Q(1)+15
560 Q(2)=Q(2)+15:CURSOR 0,24:PRINT "LEVEL CHANGE!":FOR T=1 TO 5000:NEXT:
GOSUB 1050
570 GOSUB 1040:GOTO 540
580 A=(D(2)+FNA(0))-Q(6):IF A<=0 THEN M=0:GOTO 590
585 M=1:Q(1)=Q(1)-A
590 FOR T=1 TO 10-(M-1)*9:MUSIC "+#B0":CONSOLE R:MUSIC "+#B0":CONSOLE N:NEXT
600 GOSUB 1050:IF Q(1)<=0 THEN 1120
605 GOTO 420
610 A=D(5)-(Q(7)-1)*3:IF A>0 THEN Q(4)=Q(4)+A
620 GOSUB 1040:A=INT(RND(1)*INT(Q(3)/10))+1:RESTORE 740:FOR T=1 TO A:READ AS
630 NEXT:BS="" :FOR T=1 TO LEN(AS):BS=BS+CHR$(ASC(MID$(AS,T,1))-1):NEXT
640 CURSOR 0,24:PRINT BS:
642 GET IS:IF IS="" THEN 642
644 GOSUB 1040:GOSUB 1110:GOTO 130
650 DATA スラ、15,8,9,10,10,7,シ、カー、50,5,11,13,20,1,ラン、レイ、36,8,10,20,19,0
660 DATA コ、レム、50,30,30,32,35,0,ケンタウ、63,39,48,38,71,0,シル、10,3,3,20,5,1
670 DATA アンシーコート、37,54,0,38,39,0,フ、ゴ、71,50,75,45,50,0
680 DATA ルトウ、54,124,58,51,23,1,スタンディ、121,73,81,68,53,0
690 DATA サ、ハ、187,114,101,78,48,0,マンティ、203,73,124,90,57,0
700 DATA カ、ディ、243,141,111,96,58,0,ステ、276,101,96,99,68,1
710 DATA マ、コ、217,211,176,110,69,0,ク、254,217,254,108,68,0
720 DATA フ、リス、312,223,201,115,60,1,タ、ク、338,234,255,120,65,0
730 DATA レフ'リコン、350,250,298,133,78,0
740 DATA ク、イ、キ、ヒ、ロ、21!ハチナ!21ハコ、チ、ト、ハ、レズ!フ、エ、チ、ケ、タ、ス!ク、タ、コフ
750 DATA イ、ト、メ、ヒ、ツ、ハ、34!イ、サ、モ、フ、ヒ、51!41チ、コ、ナ!チ、タ、21!メ、レ、コ、ナ!GJOB!JUFN*///
760 DATA ロ、エ、フ、チ、カ、ナ、ク、リ、ロ、GJOB!JUFN!ナシ、シ、ロ、チ、コ、ス///
770 REM ----- MAZE MAKE -----
780 CURSOR 0,1:FOR Z=1 TO 9:PRINT SPACES(10):NEXT
784 IF (X>29)*(Y>18) THEN CURSOR 1,5:PRINT "DARK ZONE":GOTO 840
790 LINE 16,8,159,79:LINE 159,8,16,79
800 X0=63:Y0=31:XX=112:YY=56:GOSUB 2000
805 FOR Z=32 TO 55:BLINE 64,Z,111,Z:NEXT
810 IF MID$(M$(Y+H(H,2)),X+H(H,1),1)<>"1" THEN 820
815 CURSOR 0,2:FOR Z=1 TO 7:PRINT " ":STRING$(CHR$(30),7):NEXT
820 IF MID$(M$(Y+H(H+1,2)),X+H(H+1,1),1)<>"0" THEN 830

```


7) VRAM

ビデオRAM(Video RAM),つまり画面表示用メモリのことで、キャラクタ表示用ならキャラクタVRAM,グラフィック表示用ならグラフィックVRAM(G-RAM)と呼ばれる。なお、ありそうでないのがビデオROMである。

8) 不定ループ

FOR~NEXTによる繰り返し(ループ)はそこに入った段階でループ回数がわかっているため固定ループ、これに対して、WHILE~WENDやREPEAT~UNTILによる繰り返しは条件しだいでループ回数が変わるので不定ループという。ちなみに、プログラムの条件によってはいつまでも帰ってこないのが無限ループである。

処理 2

次~

のように展開できます。また、今回は使いませんでした。処理1, 2がそれぞれ長い処理の場合はサブルーチン化してしまっただろうがはっきりすることもあります。ほかにも展開の仕方はいろいろあり、場合にに応じて使い分けるのがよいでしょう。

シャープが我々に与えた試練はまだ続きます。

PRINT USINGがない、\$をつけても16進文字列を数値に変換できない、FOR以外のループ文がない、論理演算が行えない、などなどです。どれも簡単に代用できる方法があるので別にいいんですけどねえ。

まず、USINGですが、私が好んで使う方法は以下のようなものです。

```
PRINT USING "###"; 式
```

は

```
PRINT RIGHT$( " " + STR$(式), 4)
```

とします。見てもらえれば説明はいらないでしょう。

また、16進を表す文字列を数値に変換するにはリスト2-Dのようなサブルーチンを作っておけばよいでしょう。

ループ文については条件待ちの不定ループ⁸⁾はIFとGOTOに展開できますし、論理演算も普通は加減乗除で代用できます。ただ論理演算はその意味をつかんでいないと、突拍子もないバグの原因になりえますので気を付けてください。たとえば、

```
IF (A=0 AND B=0) OR C=0 THEN ~
```

を

```
IF (A=0)*(B=0)+(C=0) THEN ~
```

としてしまうとA, B, Cのすべてが0になったときに条件式の値が0, すなわち条件が成立しなかったことになってしまいます⁹⁾。この場合は

```
IF (A=0)*(B=0)-(C=0) THEN ~
```

```
822 BLINE 16,8,31,15:BLINE 16,79,31,72
824 CURSOR 1,2:FOR Z=1 TO 7:PRINT CHR$(30):CHR$(1):CHR$(4):NEXT
830 IF MID$(M$(Y+H(H-1,2)),X+H(H-1,1),1)<>"0" THEN 840
832 BLINE 159,8,144,15:BLINE 159,79,144,72
834 CURSOR 9,2:FOR Z=1 TO 7:PRINT CHR$(30):CHR$(1):CHR$(4):NEXT
840 F=0:IF MID$(M$(Y+H(H,2)),X+H(H,1),1)~"1" THEN F=1
850 CURSOR 1,12:Z=MID$( "NWSE",H,1):IF I(1)<>1 THEN Z$=" "
855 PRINT Z$
860 IF I(2)=0 THEN CURSOR 6,12:PRINT " ":CURSOR 11,12:PRINT " ":RETURN
870 CURSOR 6,12:PRINT RIGHT$( " "+STR$(X),2):TAB(11):RIGHT$( " "+STR$(Y),2):
      RETURN
1030 REM ----- SUB -----
1040 CURSOR 0,24:PRINT SPACES(39):RETURN
1050 FOR T=1 TO 9:CURSOR 28,T:PRINT RIGHT$( " "+STR$(Q(T)),4):NEXT:RETURN
1060 FOR T=1 TO 30:CONSOLE R:MUSIC "+B1":CAONSOLE L:MUSIC "+B1":NEXT
1070 RETURN
1080 FOR T=1 TO 3:MUSIC "C4":CURSOR 0,24:PRINT "TAKE A "+AS:
1090 FOR I=1 TO 400:NEXT:GOSUB 1040:NEXT:RETURN
1100 CURSOR 6,17:PRINT AS:FOR T=1 TO 5:CURSOR 6,17:T:
      PRINT RIGHT$( " "+STR$(D(T)),4):NEXT:RETURN
1110 CURSOR 0,17:FOR Z=1 TO 6:PRINT TAB(6):SPACES(9):NEXT:RETURN
1120 REM ----- GAME OVER -----
1130 CURSOR 1,5:PRINT "GAME OVER":FOR T=1 TO 5000:NEXT
1140 MUSIC "D5EFFERAAGAR0A3ADC"
1150 FOR T=1 TO 25:CURSOR 0,24:PRINT:CURSOR 3,15:
      PRINT "PUSH [ ANY ] KEY TO GAME START!"
1160 GET IS:IF IS$="" THEN 1160
1165 RUN
1170 REM ----- ENDING -----
1180 CURSOR 0,24:PRINT "ウエニ アナガア!":FOR T=1 TO 3000:NEXT:CONSOLE C40,GN
1190 RESTORE 1250:FOR T=1 TO 6:READ AS:CURSOR 0,24:PRINT AS
1200 FOR Z=1 TO 5000:NEXT:NEXT
1210 GOTO 1210
1250 DATA トウクワフ スケルト フキフキト トウクワフ クスレハジメタ
1260 DATA ナカカラ カイフフト モノ サクビゴエカ キコエル.....
1270 DATA アナハ ミコトレフ リコンツオシ トウクワノ タッジョフニ
1280 DATA セイコウシタ マチデ ソウイウ ウツサカ ヒロガッタ...
1290 DATA " " THE END " "
1300 REM ----- TITLE -----
1310 LIMIT MAX:FOR T=0 TO VAL(RIGHT$(TI$,2)):Z=RND(1):NEXT:RESTORE 1490
1320 CONSOLE C40,GH:CURSOR 11,15:PRINT "CAVE OF MONSTER"
1330 CURSOR 3,24:PRINT "PUSH [SPACE] KEY TO GAME START!";
1335 GET IS:IF IS$="" THEN 1335
1340 CONSOLE C40,GH:GRAPH 0111:DEF FNA(X)=INT(RND(1)*40)-20
1350 TEMPO 7:MUSIC "C0ACDDADDEADFAFDEADAADDCACDDADDFADDDAGAGDFAFD"
1360 REM ----- SCREEN MAKE -----
1370 DIM BNS(15),Q(9),I(6),M$(30),P(19),D(6),H(5,2)
1380 FOR T=1 TO 6:READ X0,Y0,XX,YY:GOSUB 2000:NEXT:CURSOR 4,12
1390 PRINT "X |Y":CURSOR 17,12:PRINT "THE BRAVE STORY 2"
1400 CURSOR 18,14:PRINT "CAVE OF MONSTER"
1410 FOR T=1 TO 9:READ AS:CURSOR 15,T:PRINT AS:NEXT
1415 CURSOR 26,1:FOR T=1 TO 9:PRINT " |":CHR$(1):CHR$(4):NEXT
1420 CURSOR 3,16:PRINT "FOUND DATA":CURSOR 26,16:PRINT "KEY"
1430 FOR T=17 TO 22:READ AS,B$:CURSOR 1,T:PRINT AS:CURSOR 16,T:PRINT B$:NEXT
1440 CURSOR 31,20:PRINT "BY H.K.":FOR T=1 TO 9
1450 READ Q(T):NEXT:GOSUB 1050:FOR T=0 TO 15:READ BNS(T):NEXT:
      HX$="0123456789ABCDEF":FOR T=1 TO 30:READ AS
1460 FOR I=1 TO 10:GOSUB 2020:M$(T)=M$(T)+BNS(A)
1470 NEXT I,T:FOR T=1 TO 4:READ H(T),H(T,2):NEXT:FOR T=1 TO 2:H(0,T)-H(4,T)
1480 H(5,T)-H(1,T):NEXT:X=14:Y=29:H=1:RETURN
1490 REM ----- DATA -----
1500 DATA 0,0,175,87,0,92,40,108,48
1510 DATA 92,218,108,0,132,248,188,248,132,472,188,472,132,639,188,LIFE
1520 DATA LIFE MAX,KRM,EXPERIENCE,STRENGTH,ARMOR CLASS,LEVEL,DEX,FOOD,NAME|
1530 DATA " ",LIFE|,8 FORWARD,STR|,4 LEFT,A.C|,6 RIGHT,DEX|
1540 DATA 2 FOOD EAT,EXP |," ",20,20,50,0,15,20,1,13,5,0000,0001,0010
1550 DATA 0011,0100,0101,0110,0111,1000,1001,1010,1011,1100,1101,1110,1111
1560 DATA FFFFFFFF,80020002001,AEFAAFBDED,AAAAA8B5A1,AAAAA94AD,AAAAAAB5A5
1570 DATA AA02AA52D,AAFAABB5A9,AA0AA014AD,AAFAAB7B5A5,AA0A8052D,AAFAFBEDA9
1580 DATA AA028028D,AAAAEFADA5,A2A2088D2D,BEBAFAEFA9,800200001,BFAFFFBFF
1590 DATA 88AA000A01,AAAAAAAFD,AA8A000A85,AAAAAAB5,AFEAAB5A5
1600 DATA AA0A000A95,AAAAAAAF5,AA2A000A05,AAAAAABFD,800A000801,FFFFFFFF
1610 DATA 0,-1,-1,0,0,1,1,0
1620 REM ----- CAVE OF MONSTER -----
1999 END
2000 LINE X0,Y0,XX,Y0:LINE XX,Y0,XX,YY:LINE XX,YY,X0,YY:LINE X0,YY,X0,Y0
2010 RETURN
2020 A=ASC(MID$(AS,1,1))-48:IF A<10 THEN RETURN
2030 A=A-7:RETURN
```

●リスト3-B MZ-2500(BASIC-M25)用変更点(リスト1からの変更)

```
470 FOR T=1 TO 5-(M-1)*10:LINE (16,136)-(80,142),XOR,2,BF:BEEP
500 PLAY "T25503L32BACFEDE":IF D(6)=1 THEN Q(3)-Q(3)-5 ELSE Q(3)-Q(3)+1
590 FOR T=1 TO 10-(M-1)*20:COLOR=(0,6):BEEP:COLOR=(0,0):NEXT
780 LINE (16,8)-(159,79),PSET,0,BF:IF X>29 AND Y=18 THEN LOCATE 1,5:
      PRINT "DARK ZONE":GOTO 840
810 IF MID$(M$(Y+H(H,2)),X+H(H,1),1)~"1" THEN LINE (32,16)-(143,71),PSET,2,BF
820 IF MID$(M$(Y+H(H+1,2)),X+H(H+1,1),1)~"0" THEN LINE (15,8)-(31,79),PSET,0,BF:
      LINE (16,16)-(31,71),PSET,1,BF
830 IF MID$(M$(Y+H(H-1,2)),X+H(H-1,1),1)~"0" THEN
      LINE (144,8)-(159,79),PSET,0,BF:LINE (144,16)-(159,71),PSET,1,BF
1060 FOR T=1 TO 300:COLOR=(0,T MOD 7):P-T MOD 97:PLAY "T255L32V10N-P":NEXT
1110 FOR Z=17 TO 22:LOCATE 6,Z:PRINT SPC(9):NEXT:RETURN
1130 FOR T=1 TO 3:SYMBOL (T*5,0),"GAME OVER",8,3,7:NEXT:FOR T=1 TO 3000:NEXT
1145 CLS 2
1180 LOCATE 0,24:PRINT "ウエニ アナガア!":FOR T=1 TO 3000:NEXT:CLS 3:RESTORE 1250
1310 RANDOMIZE:RESTORE 1490:INIT "CRT:40,25,1,1":INIT "CRT2:640,200,16":
      CLS 3:KLIST 0:KMODE 0:LOCATE 0,0,0:FOR T=1 TO 3
```


9) 大小比較をする演算を関係演算といい、一般に式が成立したときは-1(真)、成立しなかったときは0(偽)の値をもつ。また、IF~THEN命令は、条件文の演算(関係演算を含む)の結果が0でなければ THEN 以降を実行するようになっている。したがって、「IF Z THEN ~」とか「IF A-B THEN ~」といった書き方もできるわけである。

としなければならないのです。

そのほかではLOCATEはCURSORに直すなどのシャープBASIC風の命令名への付け換えがありますが、これは簡単ですよ。

最終段階

今度こそ作業の終わりが近づいてきました。見落としがなかったかどうか最後のチェックです。

おや? 740行以下のDATA文がおかしいですね。暗号化されているようです。

ふつう、暗号化するときにはアスキーコードを増減したり、任意の定数とXORをとったりするようです。このプログラムも例外ではなく、ここに並んだデータはすべてアスキーコードに1を足したものになっています。アスキーコードは機種別に微妙に異なっていますからASCやCHR\$を使っているのを見つけたら注意しなければならないのです。ですが、英数字や片仮名はほとんどの機種で共通のコードが割り当てられていますので、違いそうなところだけ見てみればよいでしょう(それを見つけるのが大変なのですが)。

そのような点に気をつけて変更を加えたのがリスト3の該当部分です。音引きがマイナスになっている以外はオリジナルのままですから比較してみてください。

どんどん移植しよう

今回の移植はだいたいこんな感じで進めました。ぐちゃぐちゃと書いてきましたが、振り返ってみますと、移植に際してもっとも必要なのは根気だったような気がします。それぞれの作業は単純でも、何度も同じことを繰り返すのはつらいものです。ですが、移植にはやってみるとわかる独特の面白さがあります。苦心しただけの価値はどこかに見いだせるものなのです。

最近自分の機種のプログラムが減ったと嘆いている人はどんどん移植にチャレンジしてみてください。うまくいったあかつきには、ひと仕事やりとげた喜びとともに楽しいゲームなり便利なツールなりが手に入るのです。

```
1320 SYMBOL (10+T*5,0), "CAVE OF MONSTER", 5, 2, 1+(T-3)*-4:NEXT
1340 CLS 3:AS="T120V10":PLAY AS,AS:DEF FNA=INT(RND*40)-20
1400 FOR T=1 TO 2:SYMBOL (10+T*4,112), "CAVE OF MONSTER", 5, 1, 1+T:NEXT
1410 COLOR 5:FOR T=1 TO 9:READ AS:LOCATE 15,T:PRINT AS:NEXT:
    LINE (424,8)-(424,79),PSET,7
1420 COLOR 6:CREV 1:LOCATE 3,16:PRINT "FOUND DATA":LOCATE 20,16:PRINT "KEY":
    COLOR 7:CREV 0
```

●リスト3-C X1/turbo用変更点(リスト1からの変更)

```
440 IF IS="1" THEN IF D(4)+FNA>Q(8) THEN 580 ELSE GOSUB 1040:GOSUB 1110:
    TEMPO 120:PLAY "05D1C":GOTO 130
470 FOR T=1 TO 5-(M-1)*10:LINE (16,136)-(80,142),XOR,2,BF:BEEP
500 TEMPO 512:PLAY "03B0AGFEDE":IF D(6)-1 THEN Q(3)-Q(3)-5 ELSE Q(3)-Q(3)+1
590 FOR T=1 TO 10-(M-1)*9:BEEP:PALET 0,6:PALET 0,0:NEXT
760 DATA ロヘ●ルサ!チカシニウナ!ト!リロニウ,GJOBM!JUFNヒ!ナシ!シロチホユス///
780 LINE (16,8)-(159,79),PSET,0,BF:IF X>29 AND Y=18 THEN LOCATE 1,5:
    PRINT "DARK ZONE":GOTO 840
820 IF MID$(M$(Y+H(H+1,2)),X+H(H+1,1),1)~"0" THEN LINE (16,8)-(31,79),PSET,0,BF:
    LINE (1,2)-(1,8),PSET,1
830 IF MID$(M$(Y+H(H-1,2)),X+H(H-1,1),1)~"0" THEN LINE (144,8)-(159,79),PSET,0,BF:
    LINE (9,2)-(9,8),PSET,1
1060 FOR T=1 TO 30:PALET 0,T MOD 7:BEEP:NEXT
1070 PALET 0,0:RETURN
1080 FOR T=1 TO 3:TEMPO 120:PLAY "06V10C0","05V10C0":LOCATE 0,24:
    PRINT "TAKE A "+AS:
1140 TEMPO 120:AS="D5EFFER5AAGAR0A3ADC":
    PLAY "V1005"+AS+"V904R0"+AS+"V802R1"+AS
1180 LOCATE 0,24:PRINT "ウエニ アナカア!":FOR T=1 TO 3000:NEXT:CLS 4:RESTORE 1250
1200 TEMPO 80:PLAY "05V10:03V11":FOR T=1 TO 3:AS="D3AG1AF":BS="B3A1BG"
1210 PLAY AS+"06C05"+BS+" "+AS+"04C03"+BS:AS="A0GCEP3EDIC+":
    PLAY AS+"04A"+BS+" "+AS+"02A"
1220 AS="D0AAB":PLAY AS+"06C305A06D05":AS+"04C303A04D03":AS="BA1BGA3"
1230 PLAY "06C05"+AS+"04C03"+AS:PLAY "06CDC105VABA:04CDC103BABA"
1240 NEXT:PLAY "05GFI1EFGF+4:03FDF1EFGF+4":PLAY "R9RRRRRR":GOTO 1200
1310 INIT:OPTION SCREEN 1:WINDOW (0,0)-(319,199),(0,0)-(639,199):RANDOMIZE TIME:
    RESTORE 1490:WIDTH 40,25:CONSOLE 0,25,0,40:KMODE 0:KLIST 0:FOR T=1 TO 3
1340 CLS 4:TEMPO 120:PLAY "V10:V10":DEF FNA=INT(RND*40)-20
1350 PLAY "05C5DEFEDCCDFDGF","03A3DADADADADADADADADADAD"
1420 COLOR 6:CREV 1:LOCATE 3,16:PRINT "FOUND DATA":LOCATE 20,16:PRINT "KEY":
    COLOR 7:CREV 0
```

(X1では1310行のWIDTH40,25をWIDTH40に変更、
KMODE 0:KLIST 0は削除してください)

CAVE OF MONSTERの遊び方

STORY

新しい町が栄えてから 300 年の月日が流れた。人々はみな、かつてのモンスターたちに支配されていたことなど忘れかけていた。しかし、皮肉にもモンスターはよみがえり、「テラ」の洞窟に住み始めた。これを悟った占い師「ルナ」は水晶玉に映った勇者の血筋をひく「スレン」を捜し始めた。ようやくスレンを見つけたときはすでに遅く、モンスターが悪事をはたらいていた。町を守るためにスレンはテラの洞窟に向かうのだった。はたしてスレンの運命はいかに?

HOW TO PLAY

RUNするとタイトルが出ますのでスペースキーを押してください。ゲームがスタートします。目的は悪の大將を倒し、洞窟から脱出することです。

敵に会ったら④で攻撃、①で逃げる、②で話すです。話そうと思っても攻撃してくる敵がいるので気をつけてください。敵に攻撃されたときは画面が光りますが、短く光っているときははずれです。攻撃した場合はNAMEと描かれたところが光ります。

パスワード

自分を強くしても電源を切っては水のアワなので、[P]キーを押してパスワードを表示させて紙に書いておき、続きをやるときに[□]キーを押してパスワードを入力してください。これでゲームを再開できます。

キー操作

- ⑧.....前進
- ④.....左を向く
- ⑥.....右を向く
- ②.....食料(FOOD)を食べる
- [P].....パスワードを見る
- [□].....パスワードを入力する

アイテム

COMPASS.....向いてる方向がわかる
MAP.....自分のX、Y軸がわかる
SWORD.....10個ある
ARMOR.....10個ある
??

パラメータ

LIFE.....生命力
LIFE MAX.....生命力の最大値
KRM.....心の善悪
EXPERIENCE.....経験
STRENGTH.....攻撃力
ARMOR CLASS.....防御力
LEVEL.....レベル
DEX.....すばやさ
FOOD.....食料

KRMは中立が50です。EXPERIENCEは(LIFE+1)×50より大きくなると0に戻り、LEVELが上がります。食料は拾ったり、敵に勝ったときなどに手に入ります。

改造はアマチュアの醍醐味だ

Izumi Daisuke

泉 大介

雑誌のプログラムを改造しながら打ち込む、なんてのはもってのほかだが、オリジナルに自分なりのアレンジを施してこそ本当の味が出るものだろう。というわけで、生まれつきのアレンジャー、泉大介の登場である。

体操のお兄さんは改造人間である、ってな古いネタで始めてもわかる人がどのくらいいるのだろうかと不安にかられる今日の頃。昔は人間を改造してコウモリ男にしてみたり、オートバイにとんでもないカウルを付けたりと、まさに改造花盛りなものでした。そうそう、そのオートバイにあやかって自転車にまでさまざまな手が加えられました。5段変速のレバーに凝ったものやナイトライダーのようなイルミネーションを付けたものやらで非常にゴージャスなものになる一方、よけいなものを付けているためにその重量と値段は増加の一途をたどっていたのです。

こんな話を始めたのは、人間にせよ自転車にせよオリジナルのままというのはどうも面白味に欠ける。改造してこそ味が出るんだという話をしたかったのです。と、なかば強引にBASICプログラムの改造の話にもってきてしまう私です。

どんなに面白いゲームでもしばらく遊んでいれば飽きがきます。どんなによくできたユーティリティ¹⁾でも自分の使い方にマッチしていなければ使いづらいと感じてしまいます。市販のプログラムの場合だと、プログラムにプロテクト²⁾がかかっているわ、BASICで書いたものがほとんどないわで「ここが気に入らん、あたつあたつ!」と簡単に改造してしまうというわけにはいきません。しかし、雑誌に掲載されたものならば話は別です。気に入らないところはとことん改造してやることのできるのです。

アクションゲームと私

雑誌から入力されて使われる機会がいちばん多いのはやはりゲームプログラムでしょう。スクロールものは一部マシン語プログラムを用いて高速化を図っているものがありますが、たいていのものはBASICで書かれています。

入力してバシバシ遊ぼうとすると、「なんだこれは。速すぎる!」ということが往々にしてあるものです。なんてったってち

とら初めてプレイするわけですから、何度もプレイして慣れきった作者が設定した速度についていけないのは明々白々。私のようにアクションゲームが苦手だけど好きだという人間にとって、作者設定のスピードほど恨めしいものはありません。

かてて加えて自機が3機ぐらいしかない場合などは悲劇です。アツと思う間もなく画面には「GAME OVER」の文字が輝いていることになるわけです。このGAME OVERというやつはくせ者です。今までさんざん苦勞してたどり着いた面から再ゲームなどという親切設計はほとんどありませんから、また1面からやり直し。結局同じところまでたどり着いたところで再びGAME OVERという展開が、指の反応がある程度慣れてくるまで繰り返されることになります。

マイシップ 増やしちゃうもんねの術

先に進みたくて進みたくてウズウズしてしまう私は最後の手段に訴えます。自分のアクションゲームに対する才能はよくわかっているの、いたずらに時を浪費するようなことはしません。自機を増やしてしまうのです。

ゲーム画面には必ず自機があつと何機残っているかという情報が表示されています。たとえば「LEFT: 3」というぐあいです。ということは、プログラムの中から「PRINT "LEFT: ";」という文を探し出せば自機の残りを入れている変数を見つけ出すことができます。

こうなりやしめたもの。この変数にはプログラムの最初の初期化部分で必ずスタート時点の自機の数が入力されるはず。たとえば自機の数にMS(My Shipの略)という変数名で扱われているなら「MS=3」という文が必ずあるわけです。この3を10にしてしまえば作者の方にはまことに申しわけないことながら、私は存分にゲームを楽しむことができるようになるのです。

それでもまだ不満が残るときには、私は禁じ手に訴えます。プログラム中から「MS

1) ユーティリティ

正確にはユーティリティ(utility)プログラム。utilityとは「実用向きの」という意味であるが、ワープロとか表集計など本格的実用を目指すものはユーティリティプログラムとは呼ばない。むしろ、システムを効率的に動かすための助力をするもの、ご主人の身のまわりの世話をするお手伝いさんだと思ってよい。

2) プロテクト

プロテクト(protect)とは「保護する」、「防ぐ」という意味で、たとえばディレクトリをとったときBas*のようにになっているのはファイルプロテクトがかかっている書き換え、削除ができない。ただし、一般にプロテクトといえばコピープロテクト(コピー防止)のことで、当然ファイルの中身も見ることができないものが多い。ちなみに、清水和人氏の原稿にコピープロテクト(コピー機でコピーをとった原稿が読めない)がかかっているのは有名である。

=MS-1」という文を見つけ出して、これを削除してしまうのです。これでもう誰も私の分身の数を減らすことはできません。無敵モードのようなものです。ただし、これをやるとゲームの面白さがほとんどなくなってしまいます。アクションゲームの面白さは「やられるまでにどれだけやるか」というところにもあるわけですから。

エネルギー 増やしちゃうもんねの術

自機の数ではなく、自機のエネルギーが0になったらゲームオーバーになってしまうゲームもあります。これも「マイシップ増やしちゃうもんねの術」と同じ解決策が通用します。

また、「エネルギー増やしちゃうもんねの術」には別の解決もあります。エネルギーというのは変数名Eで表されることがよくありますし、中にはごていねいにもENERGYという変数名になっているものもあります。そして「E=E-DM」のような文をプログラム中に発見できるでしょう。ここでDMは敵から受けたダメージを表していることにします。この「E=E-DM」を「E=INT(E-DM*0.1)」に変えてしまえば、なんとこれまでの10倍の耐久力を持つマイシップを作り上げることができるのです。「無敵」

にしてしまうのに良心の呵責を感じてしまう人にはこんな改造もいでしょう。

このほかにも「ミサイル増やしちゃうもんね」、「アイテム増やしちゃうもんね」などいろいろな技が考えられます。どの場合もそれがどんな変数名で表されているか、プログラムのどこで減らされているかを調べることが肝心なのです。BASICのSEARCH命令もしくはそれに相当するマシン語ルーチンは改造の必須アイテムといえましょう。

スピード 落とすちゃうもんねの術

難しいゲームを乗り切るもうひとつの方法はなんとかスピードを落としてやろうという企てです。どんなゲームでも必ずループをメインルーチン³⁾内に持っています。FOR~NEXTかもしれないIF~THENかもしれない。もちろん単にGOTOですませている場合だってあります。が、必ずループして同じ処理を繰り返しているものなのです。第一の作業はこのループの頭とお尻を見つけることです。

「えー、解析⁴⁾しなきゃいけないの〜」そりゃそうです。でなければプログラムに手を加えることなんてできやしません。というものの、じつは私も他人のプログラムを解析するのはあまり好きではないのです。そんな私が使っているちょっと便利な方法をお教えしましょう。

まずプログラムをRUNしゲームの途中でブレイクするのです。アクションゲームの場合、MZ系ではキーのオートリピートを効かせるための細工をしていますからブレイクは細心の注意を払って行います。そうすると「BREAK IN××」と表示されますね。××行はループの中の行ですから、リストをとって××行の前後を調べていけば、プログラム全部を解析することなくループの始めと終わりを見つけ出すことができるわけです。

スピードを簡単に落とすにはこのループの中で簡単な時間稼ぎをしてやればいいだけです。なるべくプログラムのほかの部分への影響が少ないように、ループの先頭、もしくはループの最後で時間稼ぎをしてやるのがよいでしょう。

時間稼ぎは具体的にはFOR~NEXTの空ループ⁵⁾で行います。このときどんな変数でこの空ループを回すかというのは大切なことです。IとかJとかいう変数はいかにもありふれていて、プログラムの中で使われている可能性十分です。私が空ループを作

るときにはQQとかUUとか、ふつうの人があまり使いそうにない変数を使います。もちろん実際の組み込みはプログラム中でこの変数名が使われていないかどうかをチェックしてからにするのはいうまでもありません。

時間稼ぎの空ループを入れるとすべて解決されると思うのはちょっとあさはかです。敵の動きが遅くなるのは大歓迎なのですが、それにつれて自分の移動速度も低下してしまうのです。これを防ぐには次の術を使わなければいけません。

敏捷性アップの術

自機の敏捷性をアップする、もしくは反応をよくするというのはプレイヤーにとって非常にうれしい改造でしょう。この改造によって今までタッチの差で回避できなかった敵との衝突を避けることができるようになるのですから。では具体的にどのように改造すればいいのかを考えてみましょう。

たいていのプログラムでは自機を移動させるためのキー入力はメインルーチンのループの中で1回しか行わないようです。これは敵が1回移動する間に自分も1回しか移動できないということです。もし敵が1回移動する間に自分は2回移動できるようになったとしたらどうですか。自機の反応はずっとよくなるでしょう。これが目標です。

この改造は上の2つほど簡単にはできません。こればかりはプログラムの解析なしには手をつけられないからです。まずキー入力部分を見つけ、キーに対してどのような処理がなされるかを探ります。処理には自機の座標だけを変えるもの、新しい座標に自機を表示することまで一気にやってしまうもの、などなどさまざまな処理があります。

説明を簡単にするためにここでは新しい座標のセットだけを行う処理の場合を考えてみましょう。この処理はたとえば次のようなプログラムになります。

```
1000 A$=INKEY$(0)
1010 MX=MX-(A$="4")*(MX>0)+(A$="6")*(MX<39)
1020 MY=MY-(A$="8")*(MY>0)+(A$="2")*(MY<24)
```

MXは「My ShipのX座標」という意味です。このプログラムは入力されたキーが4で、My ShipのX座標が0より大きければMy ShipのX座標をひとつ減らす、つまりMy Shipを左に動かす、というぐあいに上下左右へ

の移動を制御するよく見かける処理です。

これとまったく同じプログラムを1025, 1026, 1027行に書いてやるとどうなりますか。そのとおり。いまだ1個所しかなかった自機移動処理が2個所になりますね。そしてMy Shipは敵の2倍の移動性能を持つことになるのです。

ただし、このままではうまく動きません。BASICがいくら遅いといっても人間のキー入力反応に比べればずいぶん速いわけですから、この1000~1027行のプログラムではMy Shipを1回だけ動かすということが非常に難しく、ほとんど不可能なのです。

そこで、ゲームのスピードを落とすために入れた空ループが役立ちます。あの空ループを1021行に持ってくると、1回目と2回目のキー入力の間に若干の時間差が生まれますから、1回だけMy Shipを動かすということが可能になるのです。

もっと完璧にしようと思うならMy Shipの表示、衝突処理などすべての処理を2回行うことで実現できます。ただし、My Shipが弾を発射できるような場合には、かなり面倒な作業となること請け合いです。

マイシップの形にも こだわりたい

改造したいプログラムの全リストが手もとにあるわけですから、これまでに述べてきたような改造のほかにもいろいろと気ままに手を加えてやることができます。

まず自機の形です。自分の分身の形ですから、感情移入が難しいような形ではゲームの面白さも半減してしまいます。特にPCG⁶⁾を使っている場合には簡単にPCGエディタ⁷⁾で手を加えられます。PCGを使っているゲームではスタートと同時にブレイクしてPCGエディタに入ればいいわけです。

グラフィックキャラクタを使っている場合には、ゲームの初期化ルーチンで配列⁸⁾などにセットしていることが多いでしょう。ラッキーなときにはDATA文でキャラクタがプログラム中に収めてあるのを発見できます。ここを変更すれば完了です。

どちらの場合にも変更したキャラクタの大きさがオリジナルと同じ大きさになるように注意すれば、プログラムのほかの部分に手を加える必要はありません。ただし、画面から読み出した文字コードによって衝突判定を行っている場合、簡単には変更できないので注意が必要です。

グラフィックを使っている場合には、自機はPATTERN文あるいはPUT文で表示されます。この場合にはデータを解析してみ

自虐的な変更で恐縮なのですが、敵にやられたときの爆発シーンがどうも気に入らないということもあります。これも簡単に手を加えることができる改造ですね。

まず40行のTEMPO命令で音楽の演奏速度を最高に設定しているにもかかわらず、プログラム中にPLAY命令がないというのがそもそも臭いと気づいたらあなたはもう「その筋」です。さらにこの推論を裏付けるかのように100行にも（じつはここはゲームオーバーの処理なのですが）、同じようにCALLが使われています。ゲームオーバー時になんの音も鳴らないゲームなんて考えられません。ここまで考えてくると、CALLの直前で使われているPOKEは音程を変えるための処理ではないかと容易に想像できます。となればPLAYまたはMUSIC命令で適当に音を出してやることにすれば、原作と同じ音は鳴らないにしても他機種で簡

25行は画面の初期設定とキーのオートリビート速度を最高にしているところです。50行では配列へのデータセットを行っています。このように直接代入するようにしたのは、MZ-2500のプリンタではカーソルマークを印字できないからです¹⁰⁾。100行の爆発パターンが変わっているのも同じ理由からです。もちろん、こんな面倒な変更はせずオリジナルのままでも大丈夫です。50

```

10      ミニ 3D カーレース BY NISHIYA
20  DEFINATA-Z:DMCS(3),D$(3):CLS:COLOR5
30  FORI=0TO38:LOCATEI,0:PRINT "NEXT:LOCATE0,1:COLOR4,0
40  TEMP0:FORC=0TO17:G$=STRINGS(18-C, " ");PRINTGS:SPACES(C*2+1);G$:NEXT
50  FORC=0TO38:READC(C),D$(C):NEXTY=Y+17:POKE3197,100:CALL(3109)
60  LOCATEM,15:PRINTCS(3):Y=Y+2+(Y-17)*18:IF(M-3)+(M-31)THEN100
70  AS=INKEY$(0):IFAS=" "THENM=M-2 ELSEIFAS=" "THENM=M+2
80  M=M-(H-1)*M(C):M=N--(Y-2)-(Y-4)-(Y-8):P=P+2:COLORX:LOCATEM,15:PRINTDS(3):COLOR
7:LOCATE2,20:PRINTPOINT "P:M:F=M-X:IFN=0THENX-19:K=(END(1)*5/3-1)*2
90  COLOR3:LOCATEX,Y:PRINTDS(N):IF(Y<0+15)+(ABS(F)>3)THENLOCATEX,Y:PRINTCS(N):X=X+K:GOTO000
100  COLOR2:LOCATEM,15:PRINT "*****:FORI=4TO200STEP1.2:POKE
3197,1:CALL(3109):NEXT:CALL(3136):END
110 DATA

```

同じキーを押し続けると「ボッ、ボポボポボポ」というように自動的に繰り返し取り込まれることをオートリピートという。MZ-2500は最初の「ボッ」の長さを設定できるようになっていて、短くするにしたがって「ボ、ボポボポボポ」とか「ボポボポボポ」にすることができるのである。

行がちょっと長くなったので、変数の初期化(YとM)は51行に移してあります。爆発のあと109行でキーが離されるのを待ち、リピート速度を標準にして終了です。

オリジナルではカーソルキーで自分の車を左右に操っていますが、テンキーのほうが操作がしやすいだろうと考え「4」、「6」で動かすように変更してあります。

まずこれで遊んでみてください。オリジナルで遊んだことがないので実際の程度のスピードなのかはわかりませんが、このMZ-2500版はかなりの高速です。

マイカーのパワーアップ

とにかくこのままでは速すぎますから、「スピード落としちゃうもんねの術」を施します。51行に「PAU=400」、71行に「FOR I=0 TO PAU:NEXT」と2つ追加して、メインルーチン内に空ループを入れます。これでかなり敵の車がゆっくり走るようになったでしょう。ここではループカウンタ¹¹⁾にIを使いましたが、もちろんこれはメインルーチン内でIという変数はなんの意味も持っていないからです。

この状態でしばらくプレイしてみるとわかるのですが、「げっ! ヤバイ」と思ってすぐに車を操作したにもかかわらずぶつかってしまうことがあります。そうです。反応がいまいちなのです。そこで「敏捷性アップの術」を施します。70行と同じ72行を作ってやるわけです。こうしておけば反応は格段によくなります。また空ループを間にはさんでありますので、1回だけ移動したいというときには軽くチョンとキーを押せば反応してくれます。

ここで気をつけなければいけないことがあります。70行をよく見てください。もし入力されたキーが「4」なら車のX座標を2減らし、もし入力されたキーが「6」だったら車のX座標を2増やす。これが70行の役割です。これと同じ72行を作ってしまうと、X座標が一度に4減ったり4増えたりする事態が発生してしまうのです。そしてM(自分の車のX座標)がこのプログラムの規定範囲である $3 \leq M \leq 31$ を越えてしまうことがあります。これではまずいので、70行をちょっと変更してやります。 $M = M - 2$ の代わりに $M = M + (M > 3) * 2$ 、 $M = M + 2$ の代わりに $M = M - (M < 31) * 2$ としてやるのです。これでMが規定範囲を越えることはありません。心おきなく72行を作ってやることができます。

ではゲームをしてみてください。オリジ

ナルと比べると随分遊びやすくなっているでしょう。次はもっと大がかりな改造を施してみましょう。

アルゴリズムを改造する

ゲームをやってみるとわかると思います、ゲーム画面が非常にチラチラして見づらいですね。敵の車などほとんど見えないくらいです。どうしてこうになってしまうのかというと、画面に車が表示されている時間より画面から消えている時間のほうが長いからです。リスト1の90行を見てください。画面に敵の車を表示したあとそれを消し、60行へループしていますね。つまり、60~80行の間、敵の車は消えているのです。そして90行で表示したと思う間もなく消えているのですから見づらくて当然だといえるでしょう。それではここに手を入れてみます。

もっと見やすくするにはこのアルゴリズムに変更を加えてやります。「書いたらすぐ消す」のではなく「消したらすぐ書く」のです。これは前回車を表示した座標を入れてある新しい変数MB, XB, YBを作ることにによって実現できます。たとえばMBには前回自分の車を表示したX座標を入れます。そして自分の車を表示するときには(MB, 15)に書いてある車を消して、新たに(M, 15)に車を表示してやるのです。

リスト3は私がどんどん改造を加え続けたあげくの果てです。51行で新しい変数XBとYBに初期値を代入します。「消したらすぐ書く」をやっているのは80行と90行です。MBには60行で、XB, YBには90行でいずれも変更する直前にそれぞれM, X, Yの値を入れています。このアルゴリズムはチラチラしないゲームを作るときの定石ですから覚えておくと便利です。

さらに改造を続けましょう。オリジナル

の80行の頭に「 $M = M - (H = 1) * (M < 4)$ 」という文がありますね。ところがHという変数はここにしかありません。これはなにかをやろうとして途中でやめた跡ではないかと考えられます。もしかすると道路の端で跳ね返るようにするつもりだったのかもしれない。実際にはなにもししていない文なのでここでは削除してしまいました。

ゲームを簡単にしようとして入れたウェイトですが、ゲームに慣れてくるに従ってこのウェイトを短くするのはなかなかエグい手だと思いませんか。先に進めば進むほど敵のスピードが上がっていくのです。

突然スピードを上げるのはヒンシュクなので、ある程度走ったら音を出して、しかるのちにスピードアップすることにします。

なお、MZ-1500/2500, X1 turbo以外では、PLAY命令を実行すると音が鳴り終わるまでプログラムの実行が止まってしまいますので注意してください。

どれだけ走ったらというのはTMという変数で制御します。TMは敵の車が出現するごとに減らされるようになっていて(90行)、最初15が代入されています。つまり敵の車が15台出現すれば高らかに音が鳴り、スピードアップするのです。

TMの値によるこの処理は82~84行で行います。「IF TM THEN 90」ですから $TM \neq 0$ ならば90行に飛んでいってしまい、スピードアップの処理は行われません。実際のスピードアップは、空ループの時間を決めるPAUという変数を減らすことによってループにかかる時間を短縮することで行います。ただこの空ループは「敏捷性アップの術」で触れたようにキー入力と密接に関係していますので、空ループが短くなればなるほど自分の車の操作性は悪くなっていきます。まあスピードが上がるという設定なので、車が自分の意のままに動かなくなるのも理にかなっていると思いませんか。

●リスト2 ミニ3Dカーレース(MZ-2500 BASIC-M25用)

```
10          ミニ 3D カーレース BY NISHIYA
20 DEF INT A-Z: DIM C$(3), D$(3)
25 REPEAT ON ,4: INIT "crt:40,25,1,0": KMODE 0: COLOR 5
30 FOR I=0 TO 38: LOCATE I,0: PRINT " ": NEXT: LOCATE 0,1: COLOR 4,0
40 FOR C=0 TO 17: G$=STRING$(18-C," "): PRINT G$: " ": SPACES(C*2+1): " ": G$: NEXT
50 C$(0)="": D$(0)="": C$(1)="": D$(1)="": C$(2)="": D$(2)="": C$(3)="": D$(3)="":
D$(2)="": +CHR$(31,29,29,29)+ " " : C$(3)="": +CHR$(31,29,29,29,29)+ "": D$(3)="":
. □. " +CHR$(31,29,29,29,29)+ " <> "
51 Y=17: M=17
60 LOCATE M,15: PRINT C$(3): Y=Y+2+(Y-17)*18: IF (M-3)+(M-31) THEN 100
70 AS=INKEY$: IF AS="4" THEN M=M-2 ELSE IF AS="6" THEN M=M+2
80 M=M-(H=1)*(M<4): N=-(Y>2)-(Y>4)-(Y>8): P=P+2: COLOR 1: LOCATE M,15: PRINT D$(3)
: COLOR 7: LOCATE 2,20: PRINT "POINT": " ": P: "M": F=M-X: IF N=0 THEN X=19: K=(RND(1)*5/3-1)*2
90 COLOR 3: LOCATE X,Y: PRINT D$(N): IF (Y<>15)+(ABS(F)>3) THEN LOCATE X,Y: PRINT
C$(N): X=X+K: GOTO 60
100 COLOR 2: LOCATE M,15: PRINT "*****": CHR$(31,29,29,29,29,29,29): "*****": CHR$(31,
29,29,29,29,29): "*****"
109 WHILE INKEY$<> " ": WEND: REPEAT ON ,2: END
```


サウンドに凝ってみる

ゲームといえばBGM¹²⁾。もうこの2つは切っても切れない仲になってしまいました。

MZ-2000のオーナーである私は今回初めて、PSG¹³⁾を触ったのですが、これは面白いものですね。なんてったっていったんレジスタ¹⁴⁾をセットしてしまえば、グラフィックを描かせようが計算をさせようが音を出し続けているそのけなげな姿勢に私は感動しました。いままで苦勞に苦勞を重ねてゲーム中の音を出していたのが嘘のようです。

せっかくこんなに楽しいものが付いているのだからと、めいっぱい遊んでしまったのが55行と100行以降です。55行では快走する車のエンジン音を、100行以降ではクラッシュして爆発する音をそれぞれ作ってみました。PSGのない機種でも、ゲームの真ん中に鳴り続けるエンジン音は無理ながら、クラッシュ時の効果音は出してやることができます。

100行以降のクラッシュ時の処理はちょっと面白いことをやっています。オリジナルではクラッシュしたときは画面に「*」が長方形に現れるだけでした。クラッシュの音に凝ってしまうと、それまでなんとも思わなかったこの表示が急に味気ないものに感じられたのです。そこで「*」が音に合わせて飛び散っていくような効果を工夫してみました。

まず「ズガー————」の「ズ」でオリジナルと同じように「*」の長方形を書き、「ガー————」で「*」が飛び散ったような画面を表示します。そして音が終わったら地面にポツポツと「*」が残り、あたかも残骸が落ちているかのような画面にしたのです。まあ、味わってみてください。

そして大改造へ

このゲームでは道路はずっと直線ですね。改造の最後に道路を曲げることを考えてみました。

ゲームセンターのカーレースはハンドルの動きに合わせて道路が動きます。ハンドルを左に切ると道路の左端が、右に切ると道路の右端が近づいてくるのです。これは非常に自然な表現だと思うのですがBASICの速度のことを考えるとよしたほうがよさそうです。カーブにさしかかるといきなり遅くなるなんてのはごめんこうむりたいですからね。

そこで考えたのは、カーブにさしかかると外へ外へと車が投げ出されるようにすることです。左カーブではハンドルを左に、右カーブではハンドルを右に切らないとカーブから放り出されてしまうのです。

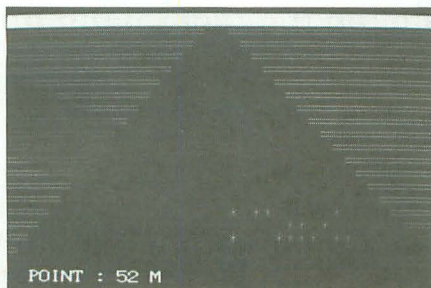
処理を簡単にするために、カーブを曲がっている間は敵の車は近づいてこないことにしましょう。また、カーブは次第に道路が曲がっていくのではなく、いきなり現れることにします。いきなり現れるというのはかなり違和感があるのではないかと思います。実際に試してみるとそれほどひどくありませんでした。実際には、画面に表示されている道路の上から5行をカーブの道路に書き換えます。

まずカーブにさしかかる条件を決めなければいけません。私はある程度の距離を走ったらカーブが現れることにしました。最初のカーブまでの距離は決まっていますが、2目からは乱数で距離を決定します。ですからいつ次のカーブがくるかは誰にもわかりません。いわばいつも初めてのコースを走っているようなものです。スリリングでしょう。またカーブにさしかかると道路を上から5行書き換えるのですから、この範囲に敵の車がいるときにはカーブに入らないことにします。

以上の条件を加味してカーブに入るかどうかの判断をしているのが90行の最後です。LLという変数に「ある程度走ったら」の「ある程度」を入れてあり、これと現在の走破距離Pを比較して条件の成立を吟味しています。LLがPより大きく、かつ敵の車のY座標が5より大きければ条件成立です。

1000行からがカーブの処理です。まず1000行で左カーブか右カーブかを決めています。曲がった道路を表示し、カーブが右か左かによってACにセットする数を変えます。カーブを曲がっている間じゅう自分の車のX座標を入れてある変数MにこのACを足し続けると車は自然とカーブの外へ外へと投げ出されるという仕掛けなのです(1180行)。

無事カーブを抜けたらもとの直線の道路を表示してカーブの処理を終わります。カーブを曲がっている間エンジン音が変わる



10) MZ-2500以外のMZはカーソル移動、画面消去などを制御するためにPRINT文のデータとして書き込んだ「↑↓←→」のような文字をプリンタに印字させることができるが、X1/X1turbo、MZ-2500ではプリンタのコントロールコードになっているなどの理由から印字できない。個人的なプログラムで使用するのには自由だが、投稿などをすることはできるが別の方法で対処していただきたいものである。

11) ループカウンタ

「FOR I=A TO B:~:NEXT」のIのように繰り返し回数をカウントし、ループを制御する変数のこと。この場合、A、Bはループカウンタとはいわない。

12) BGM

Back Ground Music(バックグラウンドミュージック)。なにかメインとなるものの雰囲気盛り上げるためにバックに流す音楽のこと。ただし、「マクロス」のようにBGM自体がメイン(私はそう思っている)になることもある。

13) PSG

Programmable Sound Generator(プログラマブルサウンドジェネレータ)、つまりプログラム可能な「音」発生機である。

14) レジスタ

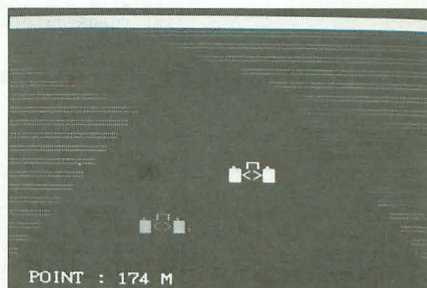
レジスタ(register)とはCPUや音源チップなどの内部にあるメモリのこと。CPUはこのレジスタがあるからこそ高速に演算などができるのだ。X1/turboやMZ-1500/2500などのPSGはこのレジスタにデータを書き込むことで音を出す仕組みになっている。

のがオシャレでしょ。

そして行き着くところは

私は人の書いたプログラムを解析するのが大が1ダース付くほど嫌いです。特にBASICプログラムは人によってさまざまな書き方をされるため、自分のスタイルとまったく違うものを解読しなければなりません。なかでも私はあの節操のない「まるちすてーとめんと」が嫌いなのです。ですから人の書いたプログラムを改造しようなんてことは、よっぽど気が向いたときにしかやりはしません。改造には解析が不可欠なのですから当然でしょう。

そんな私でも人の書いたプログラムを熱心に読むことがあるのです。それは、「あるプログラムを作っているんだけど、こういう処理をうまくするにはどうすればいいんだろう」と悩んだときです。自分が行いたい処理と似たようなことをやっているプロ



グラムがあれば欲しいところだけをじっくりと気がすむまで解析します。そしてその手法を学ばれます。

これを私は「アイデアだけいただき」と呼んでいます。いただいたアイデアはオリ

ジナルとは似ても似つかないプログラムになって私のプログラムの中に組み込まれます。これは根底に流れるアイデアだけを残してオリジナルに大改造を加えたとみるこ

オリジナルが原型をとどめないほどの大改造。「アイデアだけいただき」こそ改造の究極の姿だと私は思っています。

それでは最後に、皆さんが改造の醍醐味を堪能することを祈って。

●リスト3 改造版ミニ3Dカーレース(MZ-2500 BASIC-M25用)

```
10 3D カーレース ゲーム
11 D.Izumi
12
20 DEF INT A-Z: DIM C$(3), D$(3)
25 COLOR 5: REPEAT ON ,4: INIT "crt:40,25,1,0": KMODE 0
26 PLAY "e21e v120L32o6"
30 COLOR 5: PRINT STRING$(38, " ")
35 LOCATE 0,1: COLOR 4,0
40 FOR C=0 TO 17: G$=STRING$(17-C, "-"): PRINT G$: " ": SPACES(C*2+1): " ": G$: NEXT
50 C$(0)="-": D$(0)="-": C$(1)="-": D$(1)="-": C$(2)="-": D$(2)="-": C$(3)="-": D$(3)="-"
D$(2)="-": C$(31,29,29)+ " " : C$(3)="-": C$(31,29,29,29,29)+ " ": D$(3)="-"
. □ .+CHRS(31,29,29,29,29)+ " " : C$(3)="-": C$(31,29,29,29,29)+ " ": D$(3)="-"
51 XB=19: YB=1: Y=17: M=17: TM=15: PAU=400: LL=100
55 SOUND 7,&076: SOUND 0,0: SOUND 1,8: SOUND 11,40: SOUND 12,0: SOUND 13,8: SOUND 8
,16
60 MB=M: Y=Y+2+ (Y-17)*18: IF (M-3)+(M+31) THEN 100
70 AS=INKEYS: IF AS="4" THEN M=M+(M>3)*2 ELSE IF AS="6" THEN M=M-(M<31)*2
71 FOR I=1 TO PAU: NEXT
72 AS=INKEYS: IF AS="4" THEN M=M+(M>3)*2 ELSE IF AS="6" THEN M=M-(M<31)*2
80 N=- (Y>2) - (Y>4) - (Y>8): P=P+2: LOCATE MB,15: PRINT C$(3): COLOR 1: LOCATE M,15: PR
INT D$(3): COLOR 7: LOCATE 2,20: PRINT "POINT :": P: M: "": F=M-X: IF N=0 THEN X=19: K=(R
ND(1)*1.6-1)*2: TM=TM-1
82 IF TM THEN 90
83 PLAY "dcddc2"
84 PAU=PAU+(PAU>0)*20: TM=15
90 COLOR 3: LOCATE XB,YB: PRINT C$(NB): LOCATE X,Y: PRINT D$(N): IF (Y<>15)+(ABS(F
)>3) THEN XB=X: YB=Y: NB=N: X=X-K- ((X>(M+3))-(X<M))* (Y>7): IF (P>LL)*(Y>5) GOTO 1000
ELSE GOTO 60
100 COLOR 2: LOCATE M,15: PRINT "*****": CHRS(31,29,29,29,29,29): "*****": CHRS(31,
29,29,29,29,29): "*****"
101 SOUND 7,&066: FOR I=0 TO 5: SOUND 1,RND*8+7: SOUND 6,RND*8+15: SOUND 8,15-1/3:
FOR J=0 TO 300: NEXT: NEXT
102 LOCATE M-3,15: COLOR 2: PRINT " * * * * *"
103 LOCATE M-3,16: PRINT " * * * * *"
104 LOCATE M-3,17: PRINT " * * * * *"
105 FOR I=5 TO 30: SOUND 1,RND*8+7: SOUND 6,RND*8+15: SOUND 8,15-1/3: FOR J=0 TO 3
00: NEXT: NEXT
106 LOCATE M-3,15: PRINT " "
107 LOCATE M-3,16: PRINT " "
108 LOCATE M-3,17: PRINT " * * * * *": SOUND 8,0
109 WHILE INKEYS<>": WEND: REPEAT ON ,2: END
1000 COLOR 4: LOCATE 0,1: ON RND*2+1 GOTO 1010,1070
1010 PRINT "===== "
1020 PRINT "===== "
1030 PRINT "===== "
1040 PRINT "===== "
1050 PRINT "===== "
1060 AC=1: GOTO 1130
1070 PRINT "===== "
1080 PRINT "===== "
1090 PRINT "===== "
1100 PRINT "===== "
1110 PRINT "===== "
1120 AC=-1
1130 LP=P: LL=LL+200+INT(RND*100)
1140 SOUND 11,41: SOUND 0,99
1150 MB=M: AS=INKEYS: IF AS="4" THEN M=M+(M>3)*2 ELSE IF AS="6" THEN M=M-(M<31)*2
1160 FOR I=0 TO PAU: NEXT
1180 M=M+AC: IF (M<3)+(M>31) THEN M=- (M<3)*3- (M>31)*31
1185 LOCATE MB,15: PRINT C$(3): COLOR 1: LOCATE M,15: PRINT D$(3): COLOR 7: LOCATE 2,
20: PRINT "POINT :": P: M: "": LP=LP+1: P=P+2: F=M-X
1190 IF (M<4)+(M>30)+(Y-15)*(ABS(F)-3) THEN 100
1200 IF P-LP<50+RND*20 THEN 1150
1210 LOCATE 0,1: COLOR 4
1220 PRINT "===== "
1230 PRINT "===== "
1240 PRINT "===== "
1250 PRINT "===== "
1260 PRINT "===== "
1270 SOUND 11,40: SOUND 0,0
1280 IF M MOD 2=1 THEN 60
1290 MB=M: M=M-SGN(M-17)
1300 COLOR 1: LOCATE MB,15: PRINT C$(3): LOCATE M,15: PRINT D$(3): GOTO 60
```

●リスト4 X1/turbo用変更点(リスト3から変更)

```
20 DEF INT A-Z: DIM C$(C), D$(3)
25 COLOR 5: WIDTH 40
26 TEMPO 250: PLAY "O5"
51 XB=19: YB=1: Y=17: M=17: TM=15: LL=100
70 AS=INKEYS(0): 以下 MZ-2500版と同じ
72 AS=INKEYS(0): 以下 MZ-2500版と同じ
83 PLAY "D2CDCDC"
85 SOUND 7,&076: SOUND 0,0: SOUND 1,8: SOUND 11,40: SOUND 12,0: SOUND 13,8: SOUND 8,16
109 WHILE INKEYS(0)<>": WEND: KEY 0, "": END
1150 MB=M: AS=INKEYS(0): 以下 MZ-2500版と同じ
```


大きく大きく大きくなあれ

Kojima Yasushi
小嶋 靖

最初は小さかったプログラムがだんだんに大きなものへ、
暇プロから本格派へ。仕様書による制約のないアマチュ
アならではの楽しみである。そしてこれは、BASICを勉
強していく際のもっとも重要なプロセスでもあるのだ。

暇プロふたたび

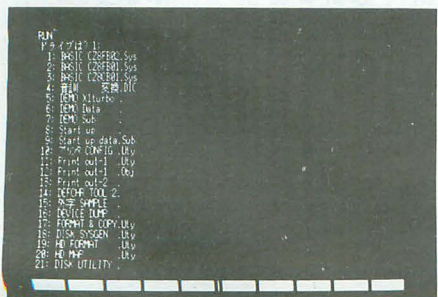
暇だなあ、なにかおもしろいことがない
かなあと思っているとき、あなたならどう
しますか。そんなとき僕はプログラムを作
っています。でも、役に立つものを作ろう
なんて初めから考えていません。大規模な
ものを目指して真剣になってしまったら暇
つぶしの意味がなくなってしまうから
ね。最初は10数行の短いプログラムを作
ておいて、暇があるたびにバージョンアッ
プしていく。そういったことに密かな楽し
みを見いだしているのは僕だけではないで
しょう。ここでは僕の暇つぶしプログラムの
のひとつを例に、プログラムが最初のバー
ジョンからどのように変わっていくのかを
見ていきたいと思います。それにしても、
マシン語やコンパイラ言語¹⁾とは違い、手軽
に使えるBASICは暇つぶしにはもってこ
いのプログラミング言語ですね。

テーマを決める

どのようなプログラムにもテーマがあり
ます。それは愛とか友情とかいったたい
そうなものではなく、要するにそれがなにを
するプログラムであるかということです。
まずこれを決めないことにはプログラムの
プの字も書くことはできません。誰ですか、

10 PRINT "プ"

がプログラムのプの字を書くプログラムだ
といっているのは。はい、ごくろうさま。
冗談はともかく、ここではフロッピーディ
スク内のファイル²⁾の中にある文字列を書



き出すプログラムを作ったときのことをお
話しましょう。

このプログラム、もともとはUNIX³⁾に
あるstrings(文字列という意味です)とい
うコマンドをまねたものです。これはファ
イルの中に含まれる英数記号(アスキーコ
ード20H~7FH)の何文字かの並びを取り出す、
つまりファイルに含まれる文字列らしきも
のを取り出すためのコマンドですが、正直
いってなにをするためのコマンドかよくわ
かりません。アセンブラ(これも実体はマシ
ン語ファイルです)の中に含まれるニーモ
ニックを取り出すこともできますが、それ
がなにになるというのでしょうか。とにかく、
この存在理由のわからないコマンドは、も
ともとたいした目的のない暇つぶしプログ
ラムには恰好のテーマといえます。

ファイル名を調べる

ファイルの内容を見るためには、そのフ
ァイルの実体がディスクのどこに格納され
ているのかを知らなくてはなりません。い
やその前に、どういう名前のファイルがあ
るのかを知るほうが先決です。そこでディ
レクトリ⁴⁾というものの登場です。

個々のファイルはディレクトリという32
バイトの情報によって管理されています。

●リスト1 ファイル名の表示

```

100 '*****
110 '* ディレクトリのファイル名を表示する *
120 '*****
130 DEFINT A-Z
140 INPUT "ドライブは";DRVS
150 IF (DRVS<>"0:")AND(DRV$<>"1:") THEN 140
160 FILN=0
170 FOR I=1 TO 16
180   DEVI$ DRV$,I+15,X$,Y$
190   FOR J=0 TO 3
200     IF CHR$(&HFF)=MID$(X$,32*J+1,1) THEN END
210     FILN=FILN+1
220     PRINT USING "###: ";FILN;
230     PRINT MID$(X$,32*J+2,13)+". "+MID$(X$,32*J+15,3)
240   NEXT J
250   FOR J=0 TO 3
260     IF CHR$(&HFF)=MID$(Y$,32*J+1,1) THEN END
270     FILN=FILN+1
280     PRINT USING "###: ";FILN;
290     PRINT MID$(Y$,32*J+2,13)+". "+MID$(T$,32*J+15,3)
300   NEXT J
310 NEXT I

```

1) コンパイラ言語

ある言語のプログラムを作成した場合、そのま
ま実行できるものをインタプリタ、プログラム
をマシン語またはそれに近い形に変換(コンパ
イル)してから実行するものをコンパイラという。
したがって、あらゆる言語にインタプリタとコ
ンパイラが考えられるのだが、コンパイラが主
体となるものをコンパイラ言語という。まあ、
BASIC, LISP, PROLOG, APL 以外の言語名を見
かけたらコンパイラ言語と思ってよい。

2) ファイル

「ファイル!」なんてガンダムごっこをしては
いけない。ディスクとかテープとかの外部記憶
装置に記録したプログラム、ひとまとまりのデ
ータを指す言葉である。外部記憶装置からの読
み書きはファイルを単位として行われる。

3) UNIX

日本では日本ランツが取得し、ラジカセに使用
している登録商標だが、この業界ではアメリ
カのAT&T(日本でいうNTT)が開発したOSの名
前である。暗号のようなコマンドを使いすぎて
自然言語を使えなくなった人々の魂が漂ってい
るようなOSであり、熱狂的な信者も多い。ただ、
実際に使いこなしている人は少ないので、「やっ
ぱりSYSTEM Vが本物だね」といえば仲間に入れ
てもらえる。

4) ディレクトリ

ディレクトリ(directory)とは「管理の」とか「住
所氏名録」の意味がある。ディスク内のファ
イルの索引のようなものである。

つまり、ファイルのディレクトリを見れば、
それがどのような種類のファイルであるか、
名前はなんというのか、いつ作成されたの
かといった情報がひと目でわかる仕組みに
なっているのです。そのディレクトリはデ

ディスク内の1カ所に集められていて、そこはディレクトリ領域と呼ばれます。HuBASIC 2Dのディスクではレコード番号⁵⁾16~31の領域がそれにあたります。

そこで、まずはディレクトリ領域に記録されているファイル名を読み出すプログラムを作ってみました。それがリスト1です。

このプログラムは最初にレコード番号が16から31までの領域をDEVI\$命令で1レコードずつ読み出します。1レコードは256バイトですから、32で割るとそこには8つ分のファイルのディレクトリが含まれているのがわかります。したがって、1レコードの1バイト目、33バイト目、65バイト目、……、225バイト目が各ディレクトリの先頭になります。

またディレクトリを順に見ていって先頭がFFHになればそこよりあとにディレクトリはないという約束になっています。リスト1の

IF CHR\$(&HFF) = MID\$~

の部分がディレクトリがおしまいになったかどうかを判定している部分です。もしディレクトリがあれば、2バイト目からの13バイトがファイル名、15バイト目からの3バイトがファイル名の拡張子ですから、それをプリントすればよいのです。

なお、DEVIS\$命令では1レコードを128バイトずつ2つに分けて読むため、前半分と後半分の処理用に同じ操作を繰り返しています。また、PRINT USING 命令でファイルの番号をプリントしていますが、これは番号を右詰めで表示するためです。

リスト1のプログラムはコメントを入れても22行しかありませんが、まあ最初はこんなものでしょう。

ファイル本体の位置を調べる

リスト1でディレクトリを読み出す方法がわかりましたから、次はファイルの本体がある場所を知るためのプログラムを書いてみます。じつはディレクトリの中にはファイルの本体の存在する場所も書いてあります。これはディレクトリの31バイト目になります（厳密には30バイト目から32バイト目までですが2Dディスクでは31バイト目だけで十分です）。ここにはファイルの本体の始まる位置がクラスタという単位で書かれています(図1)。1クラスタとは16レコードのことで、BASICではクラスタ単位でファイルの管理がされているのです。したがって、クラスタ番号を16倍したレコード番号の位置がファイルの本体が格納され

●図1 ディレクトリの内容

```

Descriptor:[record no.]
0:16
ADevice=0:
Record no.= 16
Addr. =
HEX DATA
'00010000=41 42 41 53 49 43 20 43 5A 38 46 42 30 32 53 79 'Character code
'00010100=73 20 00 A0 00 00 00 00 84 B4 15 12 00 00 02 00 'ABASIC C28FB025y
's 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 's 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
'00010200=02 53 74 61 72 74 20 75 70 20 20 20 20 20 42 61 'Start up Ba
's w h a t i s t h e s t a r t u p 's w h a t i s t h e s t a r t u p
'00010300=73 20 77 08 00 00 00 00 87 23 11 11 44 00 0C 00 'Start up dataSu
'b 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 'b 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
'00010400=04 53 74 61 72 74 20 75 70 20 64 61 74 53 75 'BDEVICE DUMP Ba
's d e v i c e d u m p 's d e v i c e d u m p
'00010500=62 20 00 00 00 00 00 00 87 23 11 11 45 00 0D 00 'TEST Ba
'b 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 'b 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
'00010600=42 44 45 56 49 43 45 20 44 55 4D 50 20 20 42 61 'Start up Ba
's t a r t u p 's t a r t u p
'00010700=73 20 64 02 00 00 00 00 87 23 11 11 54 00 0E 00 'TEST Ba
'b 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 'b 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
'00010800=04 54 45 53 54 20 20 20 20 20 20 20 20 42 61 'Start up Ba
's t a r t u p 's t a r t u p
'00010900=73 20 00 00 00 00 00 00 87 23 11 12 09 00 0F 00 'Start up Ba
'b 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 'b 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
'00010A00=02 50 31 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 'AP1
's p 1 's p 1
'00010B00=20 20 4B 04 00 00 00 00 87 26 14 11 58 00 10 00 'Kataoka's Kataoka
'00010C00=44 39 B9 8C 50 20 20 20 20 20 95 CF 8A 97 44 49 'C音訓 変換D1
's c a t a o k a ' s c a t a o k a
'00010D00=43 20 01 05 00 F0 00 00 87 23 11 16 22 00 11 00 'C A c a o k a ' s c a t a o k a
'00010E00=02 50 32 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 'AP2
's p 2 's p 2
'00010F00=20 20 77 06 00 00 00 00 87 26 14 11 56 00 19 00 'Wataoka's Wataoka
's w a t a o k a ' s w a t a o k a

```

先頭から32バイトずつが1つひとつのファイルに対応しています。各ディレクトリの31バイト目を見てみましょう。“BASIC CZ8FB02.Sys”は第2クラスタから、“Start up.Bas”は第12 (0CH) クラスタから始まっていることがわかります。

●図2 FATの内容

```

Descriptor:[record no.]          R...END
0:14
#Device=0:                      Record no.= 14
#Addr.=                          HEX DATA                                Character code
#000E00=01 0F 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0F 08 00 02 03   *tiffir如*
#000E10=84 12 13 14 15 16 17 18 0F 06 07 0C 07 08 09 0B   *stuvwxxyz*
#000E20=8B 22 23 0C 25 26 05 28 0C 0F 2B 2C 01 2E 02 30    *##8条件+,*
#000E30=8D 83 82 84 81 82 82 88 39 87 82 8C 80 80 8D 80    道≠h9劇*
#000E40=9D 80 81 8D 86 82 82 80 86 89 88 89 80 82 80 80    画** **
#000E50=8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F     非非非非非非非非
#000E60=8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F     非非非非非非非非
#000E70=8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F 8F     非非非非非非非非
#000E80=00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00     ~~~~~~
#000E90=00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00     ~~~~~~
#000EA0=00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00     ~~~~~~
#000EB0=00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00     ~~~~~~
#000EC0=00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00     ~~~~~~
#000ED0=00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00     ~~~~~~
#000EE0=00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00     ~~~~~~
#000EF0=00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00     ~~~~~~

```

ディレクトリの図で“BASIC CZ8FB02.Sys”は第2クラスタから始まっています。第2クラスタの続きはFATの先頭から $2+1=3$ バイト目の内容を見ればわかります。先頭から3バイト目の値は03Hですから、第2クラスタの続きは第3クラスタということになります。次に $3+1=4$ バイト目の内容は04Hですから、その続きは第4クラスタです。このようにたどっていくと第11クラスタに対応するFATの内容は8FHになり、ここでこのファイルが終了していることがわかります。第11クラスタのうち $8FH-7FH=10H=16$ レコード、つまりこのクラスタ全部が有効であることがわかります。

●図3 ファイルの内容

```

Descriptor:[record no.]          R...END
0:224
#Device=0:                      Record no.= 224
#Addr.=      HEX DATA
#00E000=48 00 0A 00 DC 3A B9 20 12 50 00 2C 12 19 00 3A H'3A07:7 7FA,RY:
#00E010=B8 01 2C 12 19 00 3A 9B 3A C6 3A FE 95 04 3A 9B 7A,RY:※:※:
#00E020=5A 0F 23 01 2C 22 20 20 2A 2A 20 2A 25 20 20 44 7A,RY:※:※:
#00E030=65 76 69 63 65 20 64 75 6D 70 20 75 74 69 63 7A,RY:※:※:
#00E040=74 79 20 2A 2A 2A 22 62 20 46 00 14 00 8F 3A 8F 2E 7A,RY:※:※:
#00E050=44 65 73 63 72 69 70 74 65 72 3A 5B 72 65 63 6F 7A,RY:※:※:
#00E060=72 64 20 6E 6F 2E 5D 22 2C 2C 22 52 2E 2E 2E 45 7A,RY:※:※:
#00E070=4E 44 22 3A B8 05 2C 12 14 00 3A FE 95 3A 44 56 7A,RY:※:※:
#00E080=24 F4 22 30 3A 22 3A C7 01 2C 44 56 24 00 39 00 7A,RY:※:※:
#00E090=1E 00 92 41 24 93 FF AB 28 41 24 29 F4 0F 23 00 7A,RY:※:※:
#00E0A0=E2 0B 1E 20 20 3A C2 20 41 F4 FF 2B F4 24 2C 7A,RY:※:※:
#00E0B0=22 3A 22 29 3A 93 41 EF 01 E2 44 56 24 F4 FF BA 7A,RY:※:※:
#00E0C0=28 41 24 2C 41 29 00 1D 00 23 00 93 FF C8 28 41 7A,RY:※:※:
#00E0D0=24 2C 41 F7 02 2C 02 29 F4 22 52 22 E2 20 DC 3A 7A,RY:※:※:
#00E0E0=C6 3A 98 0B 2B 00 28 00 C7 01 2C 44 56 24 3A 93 7A,RY:※:※:
#00E0F0=41 F6 FF AC 28 41 24 29 E2 20 52 45 4E 4F 4A 7A,RY:※:※:

```

HuBASICの付属ユーティリティとしてあまりにも有名な“DEVICE DUMP. Bas”の内容です。ディレクトリの内容からこのファイルの先頭クラスは14(0EH)であることがわかります。第14クラスタをレコード番号に換算すると14×16=224レコードになります。FATの15バイト目を見ると82Hですから、このファイルは全部で82H-7EH=3レコードです。

ている位置になります。

ところで、小さなファイルならば1 クラスタ (16レコード=4096バイト) 内に収まりますから問題ありませんが、16レコードを越えるような大きなファイルでは残りの内容がどのクラスタに存在するのかを知らなければなりません。それを記してあるのがFAT (File Allocation Tableの略、ファットと読みやすい) 領域なのです。これは2Dディスクではレコード番号が14の位置にあります。そして、FAT領域の「クラスタ番号+1」バイト目がファイルの残りの内容が格納されている領域のクラスタ番号になっています。ですから、このFAT領域をたどればファイル本体が存在する位置がわかるのです(図2)。もし、FATに記されたクラスタ番号が7Fh(=128)よりも大きいときはファイルがそのクラスタ内で終わっていることを示します。ディレクトリ領域に書けるファイル数の上限が16×8=128個(5.25インチ2Dディスクでは80クラスタしかない)ので、現実にはそれからシステム領域とディレクトリ領域を除いた78個まで)であることを考えると、128との比較も納得できるでしょう。また、クラスタ番号が128より大きいとき、それから127を引いたものがそのクラスタ内で有効なレコード数です。

なんだかディスクの構造と算数の勉強みたいになってしまいましたが、ここまでの知識をもとにファイルの本体の存在するクラスタを書き出すプログラムを作ってみました。それがリスト2です。

ここで、ディレクトリを読むプログラムはリスト1をもとにしたものですが、各ディレクトリの内容を配列に保存し、すべてのディレクトリを読み終わった時点でファイル名をプリントする点が異なっています。このときファイルの属性が0であるファイルはすでにKILL⁶⁾されていますから、ファイル名の後ろに「KILLED」という文字を付けてその旨を示しています。

ファイルの属性やファイル名などの配列への設定は「データセット」というサブルーチンで行っています。ここで設定した情

報はのちのち利用する予定です。

さて、FATの読み出しにはやはりDEVIS\$ コマンドを使用します。DEVIS\$でFATX\$, FATY\$という変数にFAT領域の内容を入れています。128以上のクラスタ番号が存在しないためFATY\$のほうは使われることはありません。Cという変数に代入されたクラスタ番号は

MID\$(FATX\$, C+1, 1)

という操作で続きのクラスタ番号を知ることができます。これがSという変数に代入されます。そこでまずCをプリントし、もしSが128以上であればSから127を引いたレコード数をプリントしておしまい。もしSが128より小さければSをCに代入して同じ操作を繰り返します。

これでめでたくファイル本体の存在する位置を知ることができるようになりました(図3)。

ファイル内容の表示

ファイルの本体が格納されている位置がわかるようになりましたから、今度は実際にファイルの内容を表示するようにしてみ

●リスト2 ファイルの位置の表示

```
100 '*****
110 '* ディレクトリのファイル名と先頭クラスタを表示する *
120 '*****
130 DEFINT A-Z
140 DIM FATT(128),FINAM$(128),FEXT$(128),FBYTE(128),FTOP(128)
150 INPUT"ドライブは";DRV$ : IF(DRV$="0:")OR(DRV$="1:") THEN 170 ELSE 150
160 FILN=0
170 FOR I=1 TO 16
180   DEVIS$ DRV$,I+15,DIRX$,DIRY$
190   FOR J=0 TO 3 : TS=DIRX$ : K=32*J
200     IF CHR$(&HFF)=MID$(TS,K+1,1) THEN 260
210     GOSUB "データセット" : NEXT J
220     FOR J=0 TO 3 : TS=DIRY$ : K=32*J
230       IF CHR$(&HFF)=MID$(TS,K+1,1) THEN 260
240       GOSUB "データセット" : NEXT J
250   NEXT I
260   FOR I=1 TO FILN
270     IF FATT(I)=0 THEN K$="(KILLED)" ELSE K$=""
280     PRINT USING"###: ";I ;
290     PRINT FINAM$(I)+". "+FEXT$(I)+K$,"先頭クラスタ ";FTOP(I)
300   NEXT I
310 '*****
320 '* 指定されたファイルのクラスタ番号を表示する *
330 '*****
340 INPUT"どのファイルですか (番号を入力)";F
350 IF (F<=0)OR(F>FILN) THEN 260
360 DEVIS$ DRV$,14,FATX$,FATY$
370 C=FTOP(F) : PRINT FINAM$(F)+". "+FEXT$(F),
380 S=ASC(MID$(FATX$,C+1,1))
390 PRINT USING"###: ";C;
400 IF S > &H7F THEN 420 ELSE C=S : GOTO 380
410 IF(S=0) THEN 440
420 S=S-&H7F : PRINT USING"最後は ### レコード";S
430 GOTO "終わり"
440 PRINT "未使用"
450 GOTO "終わり"
1000 LABEL"データセット"
1010 FILN=FILN+1
1020 FATT(FILN)=ASC(MID$(TS,K+1,1))
1030 FINAM$(FILN)=MID$(TS,K+2,13)
1040 FEXT$(FILN)=MID$(TS,K+15,3)
1050 FBYTE(FILN)=ASC(MID$(TS,K+19,1))
1060 FTOP(FILN)=ASC(MID$(TS,K+31,1))
1070 RETURN
9990 LABEL"終わり" : END
```

5) レコード番号

HuBASICではディスクへの読み書きを256バイトを1単位として扱っている。これをレコードといい、それに順番に付けられた番号がレコード番号である。つまりレコード番号がわかればディスク内の位置もわかるわけだ。決して、LPやSPを注文するときの番号ではない。

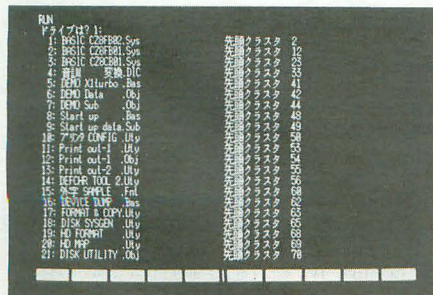
6) KILL

シャープBASICではDELETE命令。ファイルを削除するということであるが、実際にはディレクトリの属性を0にして、FATを書き換えているだけなので、ほかのファイルをセーブしたりしてないかぎり、ファイル本体はディスク上に残っている。

7) 中間コード

BASICのプログラムは英語に似ていて、どちらかといえば人間的である。仲間のコードから人(にんべん)を取ると中間コードになることからわかるように、BASICの内部処理用の非人間的な記号のことである。正確にいうと、メモリ効率や処理の高速化のため、人間が打ち込んだ命令は1〜数バイトのコードに変換されて記憶される。これが中間コードである。通常のセーブ/ロードも中間コード形式で行われる。

ました。といっても、マシン語ファイルやBASICの中間コード⁷⁾が入ったファイル画面に出したのでは、コントロールコードなどをそのままプリントすることになって画面が乱れてしまいます。そこでとりあえず対象をアスキーファイル⁸⁾に限っています。



ファイル名	サイズ	クラスタ
1. BASIC	212	2
2. BASIC	212	3
3. BASIC	212	4
4. BASIC	212	5
5. BASIC	212	6
6. BASIC	212	7
7. BASIC	212	8
8. BASIC	212	9
9. BASIC	212	10
10. BASIC	212	11
11. BASIC	212	12
12. BASIC	212	13
13. BASIC	212	14
14. BASIC	212	15
15. BASIC	212	16
16. BASIC	212	17
17. BASIC	212	18
18. BASIC	212	19
19. BASIC	212	20
20. BASIC	212	21
21. BASIC	212	22
22. BASIC	212	23
23. BASIC	212	24
24. BASIC	212	25
25. BASIC	212	26
26. BASIC	212	27
27. BASIC	212	28
28. BASIC	212	29
29. BASIC	212	30
30. BASIC	212	31
31. BASIC	212	32
32. BASIC	212	33
33. BASIC	212	34
34. BASIC	212	35
35. BASIC	212	36
36. BASIC	212	37
37. BASIC	212	38
38. BASIC	212	39
39. BASIC	212	40
40. BASIC	212	41
41. BASIC	212	42
42. BASIC	212	43
43. BASIC	212	44
44. BASIC	212	45
45. BASIC	212	46
46. BASIC	212	47
47. BASIC	212	48
48. BASIC	212	49
49. BASIC	212	50
50. BASIC	212	51
51. BASIC	212	52
52. BASIC	212	53
53. BASIC	212	54
54. BASIC	212	55
55. BASIC	212	56
56. BASIC	212	57
57. BASIC	212	58
58. BASIC	212	59
59. BASIC	212	60
60. BASIC	212	61
61. BASIC	212	62
62. BASIC	212	63
63. BASIC	212	64
64. BASIC	212	65
65. BASIC	212	66
66. BASIC	212	67
67. BASIC	212	68
68. BASIC	212	69
69. BASIC	212	70
70. BASIC	212	71
71. BASIC	212	72
72. BASIC	212	73
73. BASIC	212	74
74. BASIC	212	75
75. BASIC	212	76
76. BASIC	212	77
77. BASIC	212	78
78. BASIC	212	79
79. BASIC	212	80
80. BASIC	212	81
81. BASIC	212	82
82. BASIC	212	83
83. BASIC	212	84
84. BASIC	212	85
85. BASIC	212	86
86. BASIC	212	87
87. BASIC	212	88
88. BASIC	212	89
89. BASIC	212	90
90. BASIC	212	91
91. BASIC	212	92
92. BASIC	212	93
93. BASIC	212	94
94. BASIC	212	95
95. BASIC	212	96
96. BASIC	212	97
97. BASIC	212	98
98. BASIC	212	99
99. BASIC	212	100

このプログラムがリスト3です。リスト2からの変更点はファイルのクラスタ番号をプリントする代わりに、そのクラスタ番号で示される位置の内容をそのままプリントしている点です。これを“内容表示”というサブルーチンで行っています。最後のクラスタでは16レコードすべてをプリントしても無意味ですので、DEという変数でプリントするレコード数を制御しています。つまり、16×C（Cはクラスタ番号）番目から「16×C+DE」番目までのレコードをそのままプリントします。

また“内容表示”というファイルの先頭でこれからプリントするファイルがアスキーファイルであるかどうかを判定しています。アスキーファイルは属性を表す1バイトの第2ビットが1になっていますから、ファイルの属性と4（2進数で00000100）のビットごとのANDが0であるかどうかを調べているのです。

stringsプログラム

リスト3のプログラムでファイルの内容を最後までたどることができるになりました。このときクラスタ番号で指定される内容をそのままプリントする代わりにその中に含まれる文字列を取り出してプリントしてやれば、最初目的とした「文字列ダンププログラム」ができたことになります。

単純にはDEVI\$で読み出したデータを1バイトずつ調べていって、その1バイトが文字として意味のあるもの（たとえば20Hから7FHまでのアルファベット）であれば、その文字をプリントすればよいでしょう。その考え方を発展させたものがリスト4の

プログラムです。

このプログラムではサブルーチン“内容表示”からさらに呼ばれるサブルーチン“アスキー表示”で文字列の取り出しとプリントを行います。ここで文字列とはあらかじめ指定された長さ以上文字が続くものをいいます。また文字とはアルファベット（キャラクタコード20H～7FH）とカタカナ（キャラクタコードA0H～DFH）にしてあります。

サブルーチン“アスキー表示”の動作を以下に説明しましょう。与えられたレコードの内容を1バイトずつC\$という変数に代

入していき、C\$が文字でありつづける限りC\$をCH\$という変数に付け加えていきます。C\$が文字でなくなったときのCH\$の長さが指定されている長さよりも長ければCH\$をプリントします。この繰り返しです。

なお、このプログラムではCH\$にあと何文字以上C\$が付け加えられるとCH\$をプリントしてもよいかをCHSという変数に保持しておき、文字列の区切りでCHSの値が0以下であればCH\$をプリントするという方法をとっています。しかし、LEN関数でCH\$の長さを求めてやるほうが簡単だったかもしれません。

●リスト3 アスキーファイルの内容表示(リスト2に追加・変更)

```

310 '*****
320 '* 指定されたファイルの内容を表示する *
330 '*****
390 IF S > &H7F THEN 420
400 IF(S=0) THEN 440
410 DE=15 : GOSUB "内容表示" : C=S : GOTO 380
420 DE=S-&H80 : GOSUB "内容表示"
2000 LABEL "内容表示"
2010 IF (FATT(F) AND 4)=0 THEN RETURN : 'Ascファイルでない
2020 FOR I=0 TO DE
2030   DEVI$ DRV$,16*C+I,FX$,FY$
2040   PRINT FX$;FY$
2050 NEXT I
2060 RETURN

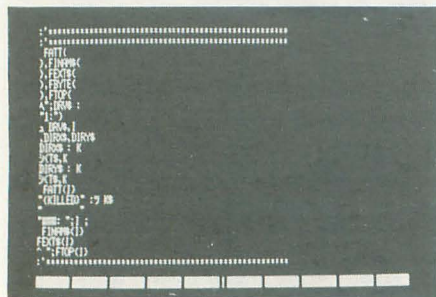
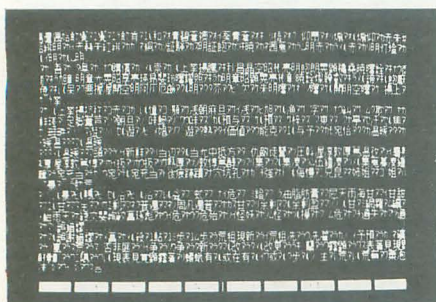
```

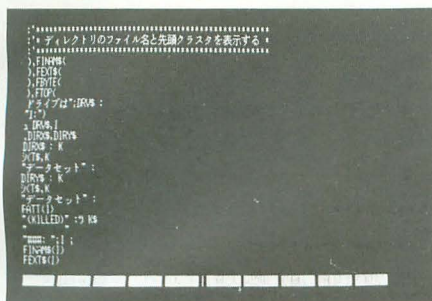
●リスト4 ファイル内文字列の表示(100～300行はリスト2と同じ)

```

310 '*****
320 '* 指定されたファイルの内容を表示する *
330 '*****
340 INPUT "どのファイルですか(番号を入力)";F
350 IF (F<=0)OR(F>FILN) THEN 260
360 DEVI$ DRV$,14,FATX$,FATY$
370 INPUT "何文字以上の文字列ですか";CN
380 IF CN<=0 THEN 370
390 CHS="" : CHS=CN
400 C=FTOP(F) : PRINT FINAM$(F)+". "+FEXT$(F)
410 S=ASC(MID$(FATX$,C+1,1))
420 IF S > &H7F THEN 450
430 IF(S=0) THEN 470
440 DE=15 : GOSUB "内容表示" : C=S : GOTO 410
450 DE=S-&H80 : GOSUB "内容表示" : IF LEN(CH$)>=CN PRINT CH$
460 GOTO "終わり"
470 PRINT "未使用"
480 GOTO "終わり"
1000 LABEL "データセット"
1010 FILN=FILN+1
1020 FATT(FILN)=ASC(MID$(TS,K+1,1)) : 'ファイル属性
1030 FINAM$(FILN)=MID$(TS,K+2,13) : 'ファイル名
1040 FEXT$(FILN)=MID$(TS,K+15,3) : 'ファイル名 拡張子
1050 FBYTE(FILN)=ASC(MID$(TS,K+19,1)) : 'Objサイズ 下位バイトのみ
1060 FTOP(FILN)=ASC(MID$(TS,K+31,1)) : '先頭クラスタ
1070 RETURN
2000 LABEL "内容表示"
2010 FOR I=0 TO DE
2020   DEVI$ DRV$,16*C+I,FX$,FY$
2030   A$=FX$ : GOSUB "アスキー表示"
2040   A$=FY$ : GOSUB "アスキー表示"
2050 NEXT I
2060 RETURN
3000 LABEL "アスキー表示"
3010 FOR J=1 TO LEN(A$)
3020   C$=MID$(A$,J,1) : AC=ASC(C$)
3030   IF(AC>=&H20)AND(AC<=&H7F) THEN 3060 : 'アルファベット
3040   IF(AC>=&HA0)AND(AC<=&HDF) THEN 3060 : 'カタカナ
3050   GOTO 3070
3060   CHS=CHS+C$ : CHS=CHS-1 : GOTO 3090
3070   IF(CHS<=0) PRINT CH$
3080   CHS="" : CHS=CN
3090 NEXT J
3100 RETURN
9990 LABEL "終わり" : GOTO 150

```





漢字も表示したい

リスト4の“アスキー表示”というサブルーチンを少し変更すれば、文字の中にシフトJISコードの漢字も含むことができるのがわかります。これがリスト5です。

シフトJISコードとは1バイト目が80H~9FH、2バイト目が40H~FCH(7FHを除く)のコードです。C\$が80Hから9FHの値を持つときは「もしかしたらこれはシフトJISコードの1バイト目かもしれない」ということでKONという変数の値を1にしておきます。またC\$をKS\$という変数に保持しておきます。そしてKONの値が1のときは、次のC\$に対してアルファベットであるかカタカナであるかなどの判断をせず、それが40H~FCH(7FHを除く)の範囲にあるかどうかを調べます。もしそうならばKS\$+C\$がシフトJISコードで表された漢字1文字ということで、それをCH\$に付け加えます。そうでなければ「今のはなにかの間違いだった」ということでKS\$もC\$も文字ではないとみなされます。

シフトJISコードであるかどうかの判定がこれでいかにどうかは議論の残るところです(たとえば、たまたま80Hというコードがあって次が“0”という文字を表す30Hだったときはどうするか)が、ここではこれ以上考えていません。

一応完成はしたけれど

リスト5で「文字列ダンププログラム」は一応完成ですが、これではあまりにもみずばらしいので画面表示の体裁を整えることにしました。それがリスト6です。

ここらへんまでくるとプログラムの行数も増えてきますし、人に見られても恥ずかしくないようにしておかなければならないでしょう。まず画面表示を色分けしてみました。これだけでもたいへんなバージョンアップを行ったように感じられてしまいますから不思議なものです。

次に最初のファイル名の表示ですが、フ

ファイル数が多いと表示したファイル名がスクロールして画面から消えてしまいます。そこで、ファイルを20個ずつ最大4画面に分けて表示できるようにしてみました。

最後は文字列の表示を途中で中断できるようにしました。SHIFT+BREAKでプログラムを中断するのはエレガントではありませんし、再実行のためにはRUNコマンドを実行しなければなりませんからね。

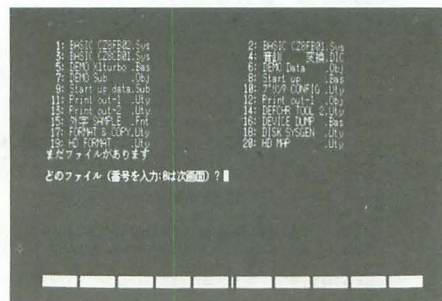
この3点がリスト5に対する大きな変更点です。これでやっと、このプログラムを皆さんに発表する勇気が出てきました。

残念ながら4色ページではないので写真の色は実際にプログラムを動かして確かめましょう。ほかにもけっこう凝ったことをしているので見てやってください。

表示画面の4分割は、現在どの画面が表示されているのかを0から3までの値としてTGLという変数に覚えておきます。そして「TGL×20+1」番目から「TGL×20+20」番目までのファイルを表示するわけです。そして次の画面を見たいときにはTGLを1増やして同じ表示をします(このときCONSOLEコマンドを併用しています)。

しかし、TGLは常に0から3までのすべての値をとるわけではありませんし、最後の画面で表示されるファイルの個数は20個より少ないかもしれません。すべてはディスクに含まれるファイルの総数FILNによって決まるのです。つまりTGLのとり最大値TMAXは

$$-(FILN \geq 21) - (FILN \geq 41) - (FILN \geq 61)$$



●リスト5 漢字を含む文字列の表示(リスト4に追加・変更)

```
390 CH$="" : CHS=CN : KON=0
3000 LABEL"アスキー表示"
3010 FOR J=1 TO LEN(A$)
3020 C$=MID$(A$,J,1) : AC=ASC(C$)
3030 IF KON=1 THEN 3100
3040 IF(AC>=&H20)AND(AC<=&H7F) THEN 3080 : 'アルファベット
3050 IF(AC>=&H80)AND(AC<=&H9F) THEN 3090 : 'シフトJIS(1文字目)
3060 IF(AC>=&HA0)AND(AC<=&HDF) THEN 3080 : 'カタカナ
3070 GOTO 3120
3080 CH$=CH$+C$ : CHS=CHS-1 : GOTO 3140
3090 KS$=C$ : KON=1 : GOTO 3140
3100 KON=0 : IF(AC<&H40)OR(AC>&HFC)OR(AC<&H7F) THEN 3120
3110 CH$=CH$+KS$+C$ : CHS=CHS-1 : GOTO 3140 : 'シフトJIS(2文字目)
3120 IF(CHS<=0) PRINT CH$
3130 CH$="" : CHS=CN
3140 NEXT J
3150 RETURN
```

8) アスキーファイル

ディスクなどに数値/文字列データとして記録されたファイルがアスキーファイルであるが、ここでは文字列データに限定される。BASICプログラムもアスキーセーブすることによって、アスキーファイルにすることができる。

9) 関係演算

加減乗除などは算術演算、AND、OR、XORなどは論理演算、そして大小比較をするのが関係演算である。たとえば、A=1のとき(A>=0)の値は-1(真)、(A<0)の値は0(偽)となる。

という式で求められます。関係演算⁹⁾の値は成立時に-1、不成立時に0となることを利用して、

```
IF(FILN>=0)AND(FILN<20)THEN TMAX=0
IF(FILN>=21)AND(FILN<40)THEN TMAX=1
IF(FILN>=41)AND(FILN<60)THEN TMAX=2
IF(FILN>=61)AND(FILN<80)THEN TMAX=3
```

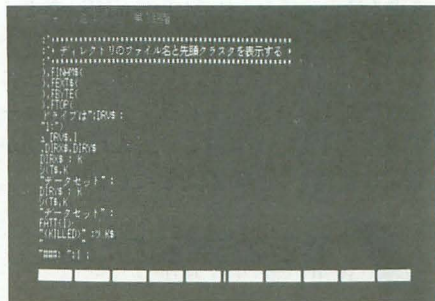
という関係をひとつの式で表したものです。

また、ある画面で表示すべき最大のファイルの番号FMAXは「TGL×20+20」とFILNの最小値です。ここではAとBの最小値が

$$((A+B)-ABS(A-B))/2$$

で与えられるという事実に基づいてFMAXの値を求めています。

ファイル名を表示するときに1行に2つのファイル名をプリントするようにしてみました。これはCNTという変数で制御されます。つまり、ファイル名を改行なしでプリントしておき、ファイル名をプリントすることにCNTを1増やします。そしてCNTが2になったときに改行し、CNTを0に戻すようにすればよいのです。ファイル名



10) 割り込み

あるプログラムが実行されているときに、外部からの要求(割り込み)によって一時的に別の処理をすることを割り込み処理という。キーが押されると割り込みがかかるキーボード割り込み、一定時間ごとに割り込みがかかるタイマー割り込みがよく使われる。そして、最強の割り込みはなんともいってもリセットである。

をFMAXまですべてプリントし終わったとき、CNTが0でなければさらに改行します。これは以後に表示されるメッセージが画面の左端にくるようにするためです。

表示の中断はON KEY GOSUB というコマンドを利用します。これは指定したファンクションキーが押されるとサブルーチンコールを実行するという一種の割り込み¹⁰⁾機能です。ここではF1キーを割り込みに用いるキーに割り当てています。またF1キーを実際に割り込み用のキーとして活性化、不活性化するのがKEY 1 ON, KEY 1 OFFというコマンドです。キー割り込み処理サブルーチンではWARIという変数を1にしているだけですが、“アスキー表示”サブルーチンの中でC\$を読むごとにWARIという変数を調べてそれが0の間だけ処理を続けるようにしています。

さて、以上の大きな3つの変更点のほかにもリスト5ではもうひとつの変更点があります。それは文字列が256文字以上になるときの処置です。文字変数が256文字以上の長さになるとエラーとなってプログラムの実行が終わってしまいます。そんなことがないようにCMINという変数にCHSの取り得る最小の値を入れておいてCHSと等しくなったらCHSの内容を吐き出してしようようにしたつもりですが、じつはこの方法には欠点があります。それはシフトJISコードを1文字として計算しているためですが、修正は宿題としておくことにします。

さらなる発展のために

リスト6で「文字列ダンププログラム」は一応の完成をみたわけですが、これはまだまだバージョンアップの余地を残しています。たとえばCH\$を調べて、指定した部分文字列を含む文字列をプリントさせるようにすることが考えられます。

しかし、ここですべてをやってしまうと、今度暇になったときにすることがなくなってしまうから、このへんでひとまずやめておきましょう。これが少年マンガなどの打ち切りで用いられる「未完」とか「第一部完」というやつです。ですから続編の期待など持たないでくださいな。

●リスト6 文字列ダンププログラム完成版

```

100 '#####
110 '#
120 '# 文字列ダンプ プログラム
130 '#
140 '#####
150 ' このプログラムでは2Dのディスクを仮定しています
160 ' システム領域 : 0 レコード
170 ' FAT領域 : 14 レコード
180 ' ディレクトリ : 16-31 レコード
190 '#####
200 '* ディレクトリのファイル名を表示する *
210 '#####
220 WIDTH 80,25 : COLOR 7 :DEFINT A-Z
230 DIM FATT(128),FINAMS(128),FEXTS(128),FBYTE(128),FTOP(128)
240 WARI=0 : ON KEY GOSUB 3190 : KEY 1 OFF : CONSOLE 0,24 : PRINT CHR$(5);
250 INPUT "ドライブは";DRV$: IF (DRV$<>"0:")AND(DRV$<>"1:") THEN 240
260 CLS : COLOR 4 : PRINT "ディレクトリ (" +DRV$+" )"
270 CONSOLE 2,22 : FILN=0 : KEY 1 ON
280 FOR I=1 TO 16
290 DEVI$ DRV$,I+15,DIRX$,DIRY$
300 FOR J=0 TO 3 : TS=DIRX$ : K=32*J
310 IF CHR$(&HFF)=MID$(TS,K+1,1) THEN 370
320 GOSUB "データセット" : NEXT J
330 FOR J=0 TO 3 : TS=DIRY$ : K=32*J
340 IF CHR$(&HFF)=MID$(TS,K+1,1) THEN 370
350 GOSUB "データセット" : NEXT J
360 NEXT I
370 TGL=0
380 TMAX=(FILN>=21)-(FILN>=41)-(FILN>=61) : 'TMAXは0-3
390 FMIN=20+TGL+1 : FMAX=FMIN+19
400 FMAX=((FMAX+FILN)-ABS(FMAX-FILN))/2 : '本当のFMAXはMIN(FMAX,FILN)
410 CNT=0 : CLS : FOR I=FMIN TO FMAX
420 IF FATT(I)=0 THEN K$="(KILLED)" ELSE K$=""
430 COLOR 5 : PRINT USING "###: ";I : COLOR 6
440 PRINT FINAMS(I)+". "+FEXTS(I)+K$ : CNT=CNT+1
450 IF CNT=1 THEN PRINT SPC(11);
460 IF CNT=2 THEN CNT=0 : PRINT
470 NEXT I
480 IF CNT<>0 THEN PRINT
490 IF FILN>FMAX THEN COLOR 5 : PRINT "まだファイルがあります"
500 PRINT
510 IF TGL=TMAX THEN TGL=0 ELSE TGL=TGL+1
520 '#####
530 '* 指定されたファイルの内容を表示する *
540 '#####
550 F=0 : COLOR 7 : INPUT "どのファイル(番号を入力:0は次画面)";F
560 IF F=0 THEN FMIN=65 : FMAX=FILN : GOTO 390
570 IF (F<0)OR(F>FILN) THEN 240
580 DEVI$ DRV$,14,FATX$,FATY$
590 INPUT "何文字以上の文字列ですか";CN
600 IF CN<=0 THEN 590
610 CONSOLE 0,24 : CH$="" : CHS=CN : KON=0 : CMIN=CN-255
620 C=FTOP(F) : CLS : COLOR 4 : PRINT "ファイル名 : ",FINAMS(F)+". "+FEXTS(F)
630 CONSOLE 2,22
640 S=ASC(MID$(FATX$,C+1,1))
650 IF S > &H7F THEN 680
660 IF (S=0) THEN 700
670 DE=15 : GOSUB "内容表示" : C=S : GOTO 640
680 DE=S-&H80 : GOSUB "内容表示" : IF LEN(CH$)>CN PRINT CH$
690 GOTO "終わり"
700 PRINT "未使用"
710 GOTO "終わり"
1000 LABEL "データセット"
1010 FILN=FILN+1
1020 FATT(FILN)=ASC(MID$(TS,K+1,1)) : 'ファイル属性
1030 FINAMS(FILN)=MID$(TS,K+2,13) : 'ファイル名
1040 FEXTS(FILN)=MID$(TS,K+15,3) : 'ファイル名 拡張子
1050 'FBYTE(FILN)=ASC(MID$(TS,K+19,1)) : 'Objサイズ 下位バイトのみ
1060 FTOP(FILN)=ASC(MID$(TS,K+31,1)) : '先頭クラス
1070 RETURN
2000 LABEL "内容表示"
2010 FOR I=0 TO DE
2020 DEVI$ DRV$,16+C+I,FX$,FY$
2030 AS=FX$ : GOSUB "アスキー表示"
2040 AS=FY$ : GOSUB "アスキー表示"
2050 NEXT I
2060 RETURN
3000 LABEL "アスキー表示"
3010 COLOR 6
3020 FOR J=1 TO LEN(AS)
3030 C$=MID$(AS,J,1) : AC=ASC(C$)
3040 IF KON=1 THEN 3110
3050 IF (AC=&H20)AND(AC<=&H7F) THEN 3090 : 'アルファベット
3060 IF (AC=&H80)AND(AC<=&H9F) THEN 3100 : 'シフトJIS (1文字目)
3070 IF (AC=&HA0)AND(AC<=&HDF) THEN 3090 : 'カタカナ
3080 GOTO 3130
3090 CH$=CH$+C$ : CHS=CHS-1 : GOTO 3150
3100 KS=C$ : KON=1 : GOTO 3160
3110 KON=0 : IF (AC<&H40)OR(AC=&H7F) THEN 3130
3120 CH$=CH$+KS+C$ : CHS=CHS-1 : GOTO 3150 : 'シフトJIS (2文字目)
3130 IF (CHS<=0) PRINT CH$
3140 CH$="" : CHS=CN
3150 IF CHS<=CMIN THEN PRINT CH$ : CH$=""
3160 IF WARI=1 THEN RETURN
3170 NEXT J
3180 RETURN
3190 'キー割り込みの処理
3200 WARI=1
3210 RETURN
9990 LABEL "終わり"
9991 COLOR 7 : CONSOLE 0,24 : GOTO 240

```


チューンアップで整理整頓

Kuwano Masahiko

桑野 雅彦

皆さんはプログラミングの途中で行き詰まってしまったときどうしているだろう。どうにかこうにか動くようになったときリストを見つめてなにを思うだろう。チューンアップはそんな場合の次へのステップのヒントである。

「これからお話しすることはプログラムが完成したあとのことです。決してエラーの文字が画面に貼り付いて離れないような段階で目にはいけません……」なんていうのは冗談で、むしろその逆です。でも、チューンアップと聞くと「高速化」のイメージが強く、そんな気持ちになりやすいものですね。

ここでいう「チューンアップ」は「プログラムの整理」といったような意味で、要するに、できあがった、あるいは作っている途中のプログラムに「動くことは動くんだがどうも気に入らん」、「たいしたことやってないのになんでこんなにごちゃごちゃしてるんだらう」という感情をもったら、お茶でも入れてからゆっくり考え直してみようというものです。

ですから、ここでいうチューンアップは、プログラムが完成したときよりは作っている途中で、プロのように最初に全体の設計をしてから取りかかったものよりも、小さかったはずのプログラムが肥満化してしまったという趣味的なプログラムのほうがおもしろい対象となるでしょう。

プログラムをほぐしてみる

たとえば、キーを押すとその向きにキャラクタ“@”が動くようなプログラムを書いたとします(リスト1)。10行もあれば書けそうなこのプログラムをゲームにしようとするとうなるでしょう。取るとポイントになるものを配置して、キャラクタを動かすたびにそれらとぶつかっているかを判定してスコアに入れる。そのままでは面白くないから、壁を作ってぶつかるとうゲームオーバーとします。このために、さっきの衝突判定のところにぶつかった相手がなんであるかの判定が必要になります(そんなこんなでできたのがリスト2)。

さらに、せっかくスコアが出るんだからハイスコアも出るようにしておきましょう。えい、この際だからベスト10とその名前も出るようにしよう。

やっぱりキャラクタの動きだけじゃあね、ミサイルが出るようにしたいな。発射ボタンはコレにしよう。あつ待てよ。ミサイルというからには“@”より早く動かなきゃいけないぞ。そうだ、自分だけミサイルが撃てるんじゃないか。相手にも撃ってもらおう。

こうやって1週間もたつと、もとの10行足らずだったときの姿はどこへやら、複雑怪奇なプログラムになってしまっていることでしょう。随所にはびこるIF文は改造の日々の証言者。バグを叩きつぶすために導入したのであろう、わけのわからない名前の変数がプログラムの中を縦横に走りまわり、不思議な論理演算を施されている……。

息も絶え絶えになりながら走っている、そんなプログラムになってしまいました。こうなってしまうともう改造も変更もままなりません。手を入れようとすればするほどこんがらがり、原因不明のバグを生成するだけのプログラムになってしまっているのです。

こんなときにはまず立ち止まって、自分の書いてきたプログラムを見つめるのをやめることです。「結局、俺はなにをやらかしたんだ」と自問自答してみましょう。手近なメモ紙、リスト用紙やチラシの裏を使ってまとめるのもよし、じっと天井を見つめるのもよし、とにかくやらせたいことを整理してみましょう。今までやってきたプログラム作成手順はひとまず忘れて、整理した結果だけからプログラムの全体像を描いてみると、これまであれだけごちゃごちゃとして、お祭り騒ぎになってしまった釣り糸

●リスト1 @を動かすプログラム

```
1000 ..... Move "@" by ten-key .....
1010 X=0:Y=0:XX=0:YY=0
1020 locate X,Y:print "~";
1030 locate XX,YY:print "@";
1040 X=XX:Y=YY
1050 A$=inkey$
1060 if A$="8" then YY=YY-1:goto 1020
1070 if A$="2" then YY=YY+1:goto 1020
1080 if A$="4" then XX=XX-1:goto 1020
1090 if A$="6" then XX=XX+1:goto 1020
1100 goto 1050
```

1) ロジック

言葉どおり「論理」(logic)であり、要するに「コンピュータシステムなどが動作する原理」である。また、「論理回路」とか「論理～」といった言葉の代わりにロジックといたりする。どちらかといえばハードウェア指向の言葉だが、ソフトウェアの場合はアルゴリズム(算法)よりももう少し漠然とした「原理」的意味合いが強い。

のようだったプログラムがスーッとほぐれていくときがあるはずだ。

こうなったらしめたもの。これまで作ってきたプログラムで編み出してきた数々のバグつぶしのテクニックに比べれば、作り直すなんて簡単なことでしょう。

そう、全部作り直してしまおうというのです。ここまで黙っていてごめん。でも、最初から作り直すなんていったら、まずたいていの人は「いやだ」と思うに違いないですから。

「大きく飛ぶためにはまずしゃがまなくてはならない」というとまるで70年代の青春ドラマつばくなりますが、行き詰まったら一度戻ってみるとよいことが多いのは確かかなようで、けっこうプロのプログラマ(シヤレたわけではないです)でも「3回くらい作り直すと満足いくものになる」ということがいわれているようですし、某大手コンピュータメーカーではソフトウェアエンジニアの養成のために、適当なインターバル(半年なり1年なり)をおいてまったく同一の課題でプログラムを1から書かせるそうです。熟練した人になると、ロジック¹⁾はおろか、コメントから変数、サブルーチンの名前、ラベルの付け方までまったく同

じものになるそうで……、私みたいに辞書を引き引きラベルを打ってる人間には想像もできません。ですから、単なる自己訓練の意味でも「ブツ壊して作り直す」ことは有意義でしょう。

プログラムのモジュール化

「またか」と思われた方も多いでしょう。「プログラムのモジュール化²⁾、構造化³⁾」を行うべし」ということが、ひとところほどではないですが常識のようにいわれています。PASCALブームが去ってひと息ついたと思ったら今度はC、そしてオブジェクト指向言語⁴⁾とやらが頭をのぞかせてきて、また構造化プログラミング講師が増えているようで、どうにも騒々しい。

まあ、うるさいことをいいたすときがなく、結局最後は「完全なオブジェクト指向でもないかぎり本当の構造化なんてできるわけがない」なんていう結論まで引っぱり出してバンザイ三唱ということになってしまう。

むしろ、私がいっているのはそんなに上等(そう)なことではなく、単にサブルーチンの固まりに分割することと、変数を整理するといったくらいのもので、そんなに真剣な顔をするようなものではありません。

BASICは原則としてGOSUB~RETURNによるサブルーチン呼び出しと大域変数⁵⁾しかありませんからけっこう悪いこともできるのですが、そういった悪さはなるべくやめて、なるべくまっとうなやり方をすることにしましょう。

先ほど、こんがらがってしまって困っていたプログラムを振り返れば、ブロックとして切り出せる部分があるはずです。また、現在、立て直しを図っているプログラムを考えてみれば、どのようなモジュール(サブルーチン)が必要になりそうか、想像できるでしょう。この段階で大切なのは、決して「速いプログラムにしよう」なんて野心は持たないことです。速くするのは次の段階で考えることにします。

必要そうなモジュールが設計できたらそれらを順ぐりに作ってガチガチと連結していくと、あら不思議。あれだけもつれた冷えたスパゲティが、流しそうめんのごとくさら〜りと流れていくように見えるでしょう(他人にどう見えるかはわかりませんが、とにかく自分にだけは)。

ここで急いで各サブルーチンにコメントを入れておきます。妙に気どったりせず、漢字が使えるなら日本語で、なにをしたい

●リスト2 リスト1から発展したもの

```

1000 ..... Move "@" by ten-key .....
1010 dim SCRN(80,25)
1020 cls
1030 gosub *WALL.SET
1040 X=40:Y=10:XX=40:YY=10:PPOINT=3001
1050 locate X,Y:print " ";
1060 locate XX,YY:print "@";
1070 X=XX:Y=YY
1080 AS=inkey$:if PPOINT>0 then PPOINT=PPOINT-1:locate 50,0:print PPOINT;
1090 if AS="8" then YY=YY-1:goto 1400
1100 if AS="2" then YY=YY+1:goto 1400
1110 if AS="4" then XX=XX-1:goto 1400
1120 if AS="6" then XX=XX+1:goto 1400
1130 if AS="1" then YY=YY+1:XX=XX-1:goto 1400
1140 if AS="3" then YY=YY+1:XX=XX+1:goto 1400
1150 if AS="7" then YY=YY-1:XX=XX-1:goto 1400
1160 if AS="9" then YY=YY-1:XX=XX+1:goto 1400
1170 goto 1080
1180 *WALL.SET
1190 for ZI=0 to 79
1200 locate ZI,0:print "#";
1210 locate ZI,22:print "#";
1220 SCRN(ZI,0)=1
1230 SCRN(ZI,22)=1
1240 next ZI
1250 for ZI=0 to 22
1260 locate 0,ZI:print "#";
1270 locate 79,ZI:print "#";
1280 SCRN(0,ZI)=1
1290 SCRN(79,ZI)=1
1300 next ZI
1310 for ZI=1 to 10
1320 X=int(rnd(1)*70)+5
1330 Y=int(rnd(1)*15)+3
1340 if X=40 and Y=10 then 1320
1350 locate X,Y:print "?";
1360 SCRN(X,Y)=2
1370 next ZI
1380 SCORE=0:locate 20,0:print " SCORE : ";SCORE;
1390 return
1400 if SCRN(XX,YY)=0 then 1050
1410 OBJ=SCRN(XX,YY)
1420 if OBJ=1 then *DEAD
1430 if OBJ=2 then *SCORE
1440 *DEAD
1450 locate X,Y:print "*";
1460 beep:locate 30,5:print "Chan!";
1470 for ZI=0 to 500:next
1480 beep:print " Pon!";
1490 goto 1490
1500 *SCORE
1510 SCRN(XX,YY)=0
1520 locate XX,YY:print "@";:locate X,Y:print " ";
1530 KAZU=KAZU+1:SCORE=SCORE+PPOINT:locate 20,0:print " SCORE : ";SCORE;
1540 if KAZU=10 then end
1550 goto 1050

```

●リスト3 リスト2をチューンアップ

```

1000 /*-----
1010      Sample program for you
1020      18 FEB 1987      by M.kuwano
1030      -----*/
1040 SCRN(X,Y) .... 画面上の壁等の記憶用
1050 PPOINT .... ?を取った時の得点
1060 SCORE .... プレイヤーの総得点
1070 KEYDAT .... キーデータ
1080 POINTS .... 取った?の数
1090 MAXPOINT .... ?の総数
1100
1110
1120 dim SCRN(80,25)
1130 gosub *INZ      'イニシャライズ
1140 gosub *GETKEY
1150 if KEYDAT=0 then 1140
1160 gosub *MOVE_AND_CHECK
1170 if POINTS<MAXPOINT then 1140
1180 print "END"
1190 end
1200
1210
1220 *INZ
1230 klist 0
1240 init "CRT1:80,25,1,0"
1250 cls
1260 MAXPOINT=10
1270 ..... SCREEN INZ .....
1280 for I=0 to 79

```


2) モジュール化

プログラムを役割別に小さく分割すること。この分割された単位をモジュール (module) といひ、ルーチンというよりも始めと終わり、そして処理内容がはっきりしており、単なるサブルーチンというよりもデータの受け渡しの規則が明確でなければモジュールとは呼べない。

3) 構造化プログラミング

プログラムを順次処理・分岐・ループの3つの基本構造からなるものとし、これを守ることで読みやすく、バグも少なく、保守を簡単にするためのプログラミング手法。GOTO文を使わず、プログラムはできるかぎり直線的に実行されるようにする。また、設計時にもおおまかなところから徐々に細かなところを作るようにする。反意語にスパゲティプログラムがある。

4) オブジェクト指向言語

ある仕事をするプログラムを作成するのに、処理の手順 (手続き) を記述する言語を手続き型言語といひ、BASICやFORTRAN、PASCALなど大部分の言語がこれにあたる。それに対して、「データ (もの: object) がメッセージを受け取って返事を返す」というデータ中心の考え方をするのがオブジェクト指向言語であり、ご存じSmalltalkはその代表選手である。

5) 大域変数

プログラム中でどこからでも参照できる変数のことで、グローバル (global) 変数ともいう。X-BASICやFuzzyBASICなどを除いて、ほとんどのBASICで扱える変数はこの大域変数だけである。これに対して、特定のサブルーチンや関数の中でのみ参照できるものを局所変数、ローカル (local) 変数といひ、これに指定した変数は同じ変数名を使っている他のルーチンの同名変数とはまったく別のものとして扱われる。

のか書いてしまいます。たぶん放っておくと1時間もすればきれいさっぱり忘れてしまうでしょうから。プリンタがあればリストを打ち出して、サブルーチンごとに四角で囲ってしましましょう。

すぐ次に行きたいところですが、ここで急ぐとまたつまずきます。まず、使っている変数を洗い出しておきましょう。BASICでは変数はすべて大域変数でありプログラム全体で共有されますから、変数のダブリがあったりすると大変です (最近のBASICは変数名を255文字まで判別してくれるものがあつたりでずいぶん楽になりました)。特に、ループカウンタや、一時的な計算結果などを保存しておくための変数の名前は重複しやすいだけに要注意です。

変数の重複とともに名前もチェックしておきましょう。あまり妙な名前を付けるとあとでなんのための変数かわからなくなります。単なるループカウンタのようなもの以外は、できるだけコメント文の中に意味を書いておくといひましょう。

さらに全体をながめてみると、なんだかよく似ているなアと思う部分があるはず。同じようなことをしているのだけれど、ところによって値の返し方やステータス⁶⁾コードが違っている部分がどうして

```
1290 locate 1,0:print "#";
1300 locate 1,22:print "#";
1310 SCRN(1,0)=1
1320 SCRN(1,22)=1
1330 next I
1340 for I=0 to 22
1350 locate 0,I:print "#";
1360 locate 79,I:print "#";
1370 SCRN(0,I)=1
1380 SCRN(79,I)=1
1390 next I
1400 '..... POINT setup .....
1410 for I=1 to MAXPOINT
1420 X=int(rnd(1)*75)+2
1430 Y=int(rnd(1)*18)+2
1440 if X=40 and Y=10 then 1420
1450 locate X,Y:print "?";
1460 SCRN(X,Y)=2
1470 next I
1480 '..... VARIABLE setup .....
1490 SCORE=0
1500 POINTS=0
1510 PPOINT=3001
1520 X=40:XX=40:Y=10:YY=10
1530 gosub *DISPSCORE
1540 locate XX,YY:print "@";
1550 return
1560 '
1570 '/*..... GET KEY DATA .....*/
1580 'キー入力が無いと keydat=0 を返します
1590 'XXXXXXXX
1600 '上 .....
1610 '下 .....
1620 '右 .....
1630 '左 .....
1640 '
1650 *GETKEY
1660 if PPOINT>0 then PPOINT=PPOINT-1:gosub *PPOINTDISP
1670 KEYDAT=0
1680 AS=inkey$:if AS="" then return
1690 if AS="8" then KEYDAT=&H20
1700 if AS="2" then KEYDAT=&H10
1710 if AS="4" then KEYDAT=1
1720 if AS="6" then KEYDAT=2
1730 if AS="7" then KEYDAT=&H21
1740 if AS="9" then KEYDAT=&H22
1750 if AS="1" then KEYDAT=&H11
1760 if AS="3" then KEYDAT=&H12
1770 return
1780 '
1790 '
1800 *PPOINTDISP
1810 locate 50,0:print PPOINT;
1820 return
1830 '
1840 '
1850 *MOVE_AND_CHECK
1860 if KEYDAT and 1 then XX=XX-1
1870 if KEYDAT and 2 then XX=XX+1
1880 if KEYDAT and &H10 then YY=YY+1
1890 if KEYDAT and &H20 then YY=YY-1
1900 locate X,Y:print "#";
1910 locate XX,YY:print "@";
1920 X=XX:Y=YY
1930 if SCRN(XX,YY)=0 then return
1940 if SCRN(XX,YY)=1 then *DEAD
1950 if SCRN(XX,YY)=2 then *GETPOINT
1960 print "?????":end
1970 '
1980 '
1990 *DEAD
2000 locate XX,YY:print "#";
2010 AS=".....END"
2020 locate 35,10
2030 for I=1 to 14
2040 for J=1 to 300:next
2050 print mid$(AS,I,1)::beep
2060 next I
2070 end
2080 '
2090 '
2100 *GETPOINT
2110 SCRN(XX,YY)=0
2120 SCORE=SCORE+PPOINT
2130 gosub *DISPSCORE
2140 POINTS=POINTS+1
2150 if POINTS=MAXPOINT then end
2160 '
2170 '
2180 *DISPSCORE
2190 locate 20,0:print " SCORE : ";SCORE;
2200 return
```


も出てきます。ステータスなどは、たとえば-1がエラーコード、0はOKというようにプログラム全体で統一しておく、あとあとの追加変更が容易になるでしょう。

変数関係が整理できたらひと息。これで、もつれにもつれて頭を抱えたときと同じレベルまで戻ってきたのです。お疲れさま。同じレベルとはいっても内容はまるで違い、追加・変更・削除などに要する手間に関しては天国と地獄ほどの差があるはずです。

高速化についてひとこと

私自身、できあがったプログラムの高速化ということはほとんど考えたことがありませんが、やはり必要な人もいますことでしょう。

高速化というのは、特にBASICではプログラムの読みやすさとの取り引きになります。BASICの遅さというのがよほど気になる人がいるのか、涙ぐましいまでの努力をしてわずか数%の時間の節約をしようとする試みが雑誌にもときどき取り上げられますが、私自身は単なる読み物くらいにしか考えていません。

以前はいろいろ試したこともあるのですが、時計の文字盤は確かに速くなったと証言していても、依然として遅いプログラムは遅いままでした。今考えればあたりまえのことで、現実のプログラムというのは、あっちへ行ったりこっちへ行ったりとリスト中を飛びまわりながら動くのですから、その中でわずか数10回しかかわらないループをいくら速くしたところで大きな変化など起こるはずがありません。それでいて、そのわずかな高速化のために払った犠牲はといえば見るも哀れなリストだったのですから、以後私が「高速化技法」なるものに興味がなくなったというのもわかっていただけるでしょう。

もちろん、ボトルネック⁷⁾になる部分がはっきりしている場合にはこういった「技法」も有効ではあるのですが、そこを改善してもなお遅い場合とか、こういった小技的、小域的な高速化が難しい場合には、大域的すなわちプログラムの流れ、アルゴリズム⁸⁾といった面から攻めるよりありません。いや、むしろ技法に走るよりも先にそういうことを考えるべきでしょう。

たとえば集計表のようなもので、1カ所のデータを変更するたびに表全体を計算し直していたのを、変更されたデータに関係する部分だけ計算し直すようにすれば格段に速くなります。

このような無駄に走っているロジックがないか、IF文を少し動かすと判定がより容易にならないかなど、実行しなくてはならない命令の数を削っていくことはなかなか効果的です。もちろん、その部分がボトルネックになっているということがはっきりしていた場合の話ですが。

それでも満足いかないときは、本当に思いついた改革が必要です。たとえば、数字の列を小さい順（もしくは大きい順）に並べ換えるソートについていえば、バブルソート（リスト4）でやっていたのをクイックソート（リスト5）にしてみるといったくらいの改革です。

さらに、サブルーチンとしての汎用性をなくし、ただひたすら高速化を求めるというのも一手でしょう。たとえば先ほどのソートについていうと、扱う数値の範囲が限定されている場合はその範囲分のテーブル

●リスト4 バブルソート

```
1000 '..... ソート テスト .....
1010 N=200: DIM D(N)          'データ数
1020 M=100                    '最大値
1030 FOR I=1 TO N
1040   D(I)=INT(RND(1)*(M+1))
1050 NEXT
1060 GOSUB *SORT
1070 END
1080 '..... 結果表示 .....
1090 *DISP
1100 FOR I=1 TO N
1110   PRINT D(I)
1120 NEXT
1130 END
1140 '..... バブルソート .....
1150 *SORT
1160 FOR I=1 TO N-1
1170   FOR J=1 TO N-I
1180     IF D(J)<D(J+1) THEN SWAP D(J),D(J+1)
1190   NEXT
1200 NEXT
1210 RETURN
```

●リスト5 クイックソート

```
1000 '..... ソート テスト .....
1010 N=200: DIM D(N), L(N), R(N) 'データ数
1020 M=100                    '最大値
1030 FOR I=1 TO N
1040   D(I)=INT(RND(1)*(M+1))
1050 NEXT
1060 GOSUB *SORT
1070 END
1080 '..... 結果表示 .....
1090 *DISP
1100 FOR I=1 TO N
1110   PRINT D(I)
1120 NEXT
1130 END
1140 '..... クイックソート .....
1150 *SORT
1160 SP=0: LL=1: RR=N: L(0)=0: R(0)=M: D(0)=M
1170
1180 IF LL>RR THEN RETURN
1190 K=D(RR): R=RR: L=LL-1
1200 REPEAT: L=L+1: UNTIL D(L)=<K
1210 REPEAT: R=R-1: UNTIL D(R)>=K
1220 IF L<R THEN SWAP D(L),D(R): GOTO 1200
1230 SWAP D(L),D(RR)
1240 SP=SP+1: R(SP)=RR: L(SP)=L+1: RR=L-1: GOSUB 1180
1250 RR=R(SP): LL=L(SP): SP=SP-1: GOSUB 1180: RETURN
```


よりよいプログラムへ

どうにかこうにかプログラムが完成の域へ達してくると、つい先を急いでしまいそうになるのが人情というもので、「PRISM FLASH Ver1.0 Rev3」などとタイトルやバージョンを入れて満足してしまいがちですが、ここでグワッとこらえるのが一歩進化する道。

できあがったプログラムのリストをじっくりと眺めていてもなかなか気付かない細かいエラートラップ⁹⁾をかけたり、ちょっとした使い勝手を向上させたりということをしておかななくてはなりません。こういったことは直接画面に出てきたり、ソフトウェアの機能を示す表などには現れないため見逃されがちですが、使っているうちにじわーっとにじみ出てくるようなよさになってきます。

使い込んでいくほど自分とソフトが一緒になってマシン、ディスク、ディスプレイといったものを操作しているような一体感が出る、ソフトを作った人の心がわかるようなものは、ソフトウェアの作成にかけた時間、プログラム自体のサイズともかなりの部分をこういった裏方的な作業に費やしているのです。

こういった裏方作業を飛ばしてしまったソフトウェアは使っているうちにだんだん不愉快になってきます。だいたいこういったソフトは使っている人のそばにいとよくわかります。「ウギャー！」とか「なんだこいつは」、「マジかよ〜これで商品かよ〜」「ウガガガ……」といった言葉が連発されるようならまず失格もののソフトでしょう。

「あっそうか。俺が悪かった」、「フムフム」、「よしよし」、静かなつぶやきしか出てこないソフトは金貨ものです。そう、「よいソフトは人を寡黙にさせる」のです。

BASICで組んだときにはデバイス¹⁰⁾管理はインタプリタの仕事ですから、おもにキー入力部分とエラー処理になるでしょう。

キー入力については、

- 1) 予期しないキー入力、たとえば数字を入れたところで文字を入力するとエラーにならないか
- 2) “Y”、“N”など、1文字で答えるところで、キーボードのシフト状態(小文字/大文字、カナ、GRAPH)などが異なっているにもかかわらず動くか
- 3) ファイルの消去といった重大な操作については必ず確認をとる(“思い直すつもりはありませんか?”など)ようにして

いるか

といったことが考えられます。また、値を入力するときにはその範囲、ファイル名などならその長さや書式(ピリオドが2つあったりしないかなど)についてもチェックすることが必要です。

エラー処理はON ERROR GOTOの使えるものに限りませんが、プリンタやディスク入出力など、事前にエラーの発生が予測される場合にはそのリカバリ策を構じておくことです。万一、紙切れを起こしたプリンタに出力しようとしても、“ERROR”と叫んで止まってしまったりせずに、“プリンタが準備されていません”とメッセージを出して、紙を入れるまで待たせるようにすることです。

この2点だけでも真剣に考えるとけっこうな手間になることがわかります。しかしこれを逆に考えれば、この2点だけを徹底して考えるだけでもずいぶんと使い勝手が変わってくることに भी なります。たとえば自分専用のユーティリティであれ、必ずしも正しい操作ばかりしているとは限りませんからね。

そして……

プログラミングの最後のステップとして、チューンアップという課題を取り上げてみました。かくいう私も決してほめられたプログラムを書いているわけではありません。いつもドジをしでかしては頭をかかえているのが現実です。その意味で、ここで私が書いてきたことは私自身にとっての理想・願望のようなものかもしれません。

プログラミングは、純粋に人間の理性によって行われるという点で非常に人間くさいものです。「コンピュータは人間の頭を映す鏡である」という言葉に象徴されるよう

●リスト6 ソートもどき

```
1000 ..... ソート テスト .....
1010 N=200:DIM D(N) ..... データ数
1020 M=100:DIM E(M) ..... 最大値
1030 FOR I=1 TO N
1040   D(I)=INT(RND(1)*(M+1))
1050 NEXT
1060 GOSUB *SORT
1070 END
1080 ..... 結果表示 .....
1090 *DISP
1100 FOR I=M TO 0 STEP -1
1110   FOR J=1 TO E(I):PRINT I:NEXT
1120 NEXT
1130 END
1140 ..... ソート モドキ .....
1150 *SORT
1160 FOR I=1 TO M:E(I)=0:NEXT
1170 FOR I=1 TO N:E(D(I))=E(D(I))+1:NEXT
1180 RETURN
```

6) ステータス

日本語でいうステータス(status)とは「地位」という意味で「ステータスシンボル」のように使われるが、コンピュータ用語では「状態」という意味で使われるので注意したい。たとえばステータスコードといえば、チェックルーチンでの結果や各処理の実行の成否、さらに周辺機器などの現在の状態を表すコードである。またステータスコントロールとは、周辺機器などの状態を制御することである。

7) ボトルネック

ボトルネック(bottle neck)は文字どおり「ビン」の首であり、ビンの中の水がスムーズに流れ出ることを妨げていることから「進行を妨げるもの」ということである。「要点」という意味で似ているキーポイントよりも悪い表現として使われることが多いので、「今年の巨人は原がボトルネックだ」などと発言するときは気をつけたほうがいい。

8) アルゴリズム

ソフトウェア作成において特定の処理をするための一連の方法・手続きのことで、「クイックソートはかなり速いアルゴリズムだ」などのように使う。日本語では「算法」という言葉があてはまるだろう。ところで、MZ-2500にアルゴキーで起動するミュージックエディタを作ったら名前はぜひ「アルゴ・リズム」にしていだきたい。

9) エラートラップ

トラップ(trap)とは「罠」であり、コンピュータ用語では「ある状況が生じると自動的・強制的に制御を他に移すこと」、つまりバグとか故障に対する罠である。どちらかといえばハードウェアの異常チェックなどで使われる言葉だが、ソフトウェアでも操作ミス・誤入力によりプログラムが停止あるいは制御不能になるのを防止するものをエラートラップと呼んだりする。

10) デバイス

デバイス(device)とは「装置」のことで、装置と呼べるものはすべてデバイスである。しかし、一般には周辺デバイスのことをいっていることが多い。ハード屋さんがデバイスといえば通常はトランジスタとかダイオードなどCPUの周辺デバイスであるが、ふつうのパソコンユーザーがデバイスといったらディスクやテープ、プリンタなど周辺機器のことである。

に、よく整理された使いやすいプログラムを書くには、本人の精進が大きなウェイトを占めているように思います。なにがとも努力、というわけですね。

わが愛機, わがBASIC

Sato Manabu

佐藤 学

ここまでの特集記事の中でシャープBASIC, HuBASIC, BASIC-M25などの言葉がいくつか登場した。それぞれのBASICの特徴を生かした使い方を考えるためにも, それぞれの位置づけをもう一度確認してみることにしよう。

星の数ほどパソコンが作られ, 大半が流れ星となっていった。そのパソコンに必ずといっていいほどBASICが一緒についてきた。流れた星の数だけBASICがあったといっても過言ではないであろう。日本のパソコンの歴史はBASICの歴史でもある。

MZ, X1系に限って見てみよう。その中だけでもS-BASICとかHuBASICとかたくさんある。サードパーティ¹⁾から発売されたものやCP/M²⁾, MS-DOS³⁾上で走るBASICを含めると無数のBASICが走ることになる。

これらのBASICを比較・紹介して, それぞれの活用法を考えてみよう。

はじめの一歩

シャープ系最初のBASICはというと, 1979年(もう8年も前になってしまった)に発売されたMZ-80Kにくっついてきた12K BASIC SP-5002である。電源ONでモニタが起動して, テープからBASICをロードするという, シャープのクリーン設計⁴⁾の源である。そのころ他社のパソコン(はっきりいうとPC-8001)にはマイクロソフト社のBASICが使われていたが, MZのBASICはシャープが自社開発したものであった。

そして, 高速BASIC SP-5010なんていうものがMZ-80K発売早々にオプションとして発売された。ことわっておくが, シャープBASICはある程度以上の技量を持つプログラマーにとっては悪いものではない。しかし, どうも初心者には冷たい。

ユーザーがBASICの勉強をしているうちに, 救世主がハードソンから現れた。HuBASICである。

- 変数のPUSH, POP可能
 - ラベルが使える
 - WHILE~WEND, REPEAT~UNTILがある
 - SEARCHコマンド
 - 逆スクロール可能なEDITモード
 - 実数型コンパイラ装備(オプション)
- などとにかく強力で, 今日のBASICの規

範となったともいえるくらい根性が入ったものであった(ただただロード時間が長かった)。

その後, このHuBASICの優秀さに目をつけたX1は, 当初からシャープHuBASICを搭載することになるというわけで, MZ系はシャープBASICとHuBASICの混在, X1系はHuBASICという状況になっていったわけである。

さて, ここいらへんの関係がいちばんややこしくなったのがMZ-2000/2200が発売されていたころである(MZ-2500には2000モードと80Bモードがあるのだから当然現在にもかかわる)。ざっと拾いあげてみよう(煩雑になるので型番は省略する)。

シャープBASIC系

テープBASIC

- カラーテープBASIC
- 倍精度テープBASIC
- ディスクBASIC
- カラーディスクBASIC
- 倍精度ディスクBASIC
- カラー漢字ディスクBASIC
- 漢字カラーQD BASIC
- RS-232C/GP-IBコントロールBASIC
- BASICコンパイラ(F-DOS)

HuBASIC系

- HuBASIC(テープ版)
- HuBASIC(ディスク版)

その他

- スーパーカラーBASIC
- 姫路BASIC
- dB BASIC
- dB-I BASIC&COMPILER
- FuzzyBASIC(S-OS)

最後のはちょっとオマケであるが, ざっと見ただけで10種類以上, これにCP/M上のBASICもつけ加えるとユーザーの選択の幅はとんでもないぐらいあったわけである。

ディスクを持っている人はディスク版, テープの人はテープ版と簡単にはいかない。テープでしか動かないソフトなんかがあるのはいずこも同じなのである。ディスクBASICにはRS-232C⁵⁾/GP-IB⁶⁾の命令もつい

ていたぞ! などという反論もあるだろうが, 今回は目をつぶってもらいたい(MZ-2500で2000モードと80Bモードを使えばこれ以上になるのだが, 本当にまともがなくなるので考えないことにする)。

さて, 機種別の説明とはいっても大きく2系統に分けられるので, シャープBASIC系とHuBASIC系の2種類について説明していく。

シャープBASICの特徴

シャープBASICとひと口にいつてしまってもいいのかわからないが, MZ-2000のディスクBASICを基準に説明する。とはいっても, 大部分はMZ-80Kから続いているものであり, MZ-700/1500でもある程度あてはまる(以下あてはまらないものは*で示す)。ただし, MZ-2500だけはまったく別のものと思われるのであとで述べる。

このシャープBASIC, いくつもの特徴を持っているのだが, 反面不満に変わることが多い。ざっとあげてみると,

- 変数名は頭2文字の判別
- 配列は2次元まで*
- 配列の添え字は255まで*
- ラベルが使えない(MZ-1500は可能)
- 整数型, 倍精度数値が扱えない
- IF文でELSEが使えない(MZ-1500は可能)
- WHILE~WEND, REPEAT~UNTILがない
- プログラムをアスキーセーブできない(MZ-1500は可能)
- プログラムでマシン語をセーブできない
- 大文字しかコマンドを受け付けけない

また, なんといっても「編集機能が弱い!」というのがいちばんのネックになっている。行番号を組み直すRENUMや行をまとめて削除するDELETE(ファイルを削除する命令として存在している)がない*などである。

しかし, その程度ではMZユーザーは負けてはいない。ないものはないのだ, 逆にないものは作ってしまうのだ。リナパーブ

ログラムなど作ってしまえばいい。というわけで、これまで雑誌にはさまざまなユーティリティプログラムが掲載されてきた。

悪口ばかりいってもつまらない。シャープBASICはいいところもたくさんある。まず、とにかくフリーエリアが広い。MZ-2000用ディスク版HuBASICのフリーエリアが約20Kバイトなのに対し、シャープBASICは約35Kバイトもあるのだ。そして速い。MZ-700が発表された当時はクロック3.6MHzながら並みいる4MHzマシンを抑えて最速を誇っていた。

それから倍精度長の数値が扱えないのだが、マイクロソフト系のBASICの倍精度より、シャープBASICの単精度のほうが計算の精度が高いのである。それにマイクロソフトBASICでは必ず問題になるガーベジコレクション⁷⁾もない。本当はあることはあるのだが、PCのBASICのように何10分、ときには1時間以上も止まってしまうということは決してない。マイクロソフトBASICでよくやるガーベジコレクションの回避という考えを捨てられるのだ。

マイクロソフト系では存在しない独特の命令もある。SWAP命令などはそのひとつだろう。マイクロソフト系ではSWAPという変数の値の交換だが、シャープBASICではディスク上のプログラムと現在走っているプログラムをまるごと交換してしまうものである。ファイル単位でGOSUBのようなもの。現在走っているプログラムは途中の状態をいったん待避しておき、SWAPされたプログラムの実行が終わると再び再開されるようになっていた。

また、グラフィックでパターンを表示するPATTERN命令も、その扱いやすさからかHuBASICにも取り入れられている。

シャープBASICを 楽しく使う方法

いまいったようにMZ-2000/2200までのシャープBASICにはRENUM命令がない。いったいいつごろまでさかのばればそれらのユーティリティが見つかるのだろうか。ここでも誠に申しわけないがMZ-2000(一部80Bも)を対象にOh!MZのバックナンバーを探してみよう。

リナンバー/アペンド/デリートユーティリティ(1983年11月)

高速ソートルーチン(1984年7月)

超高速ペイントルーチン(1984年8月)

BASIC文字列サーチツール(1984年5月)

BASICスピードアップツール(1983年8月)

BASIC短縮形入力ツール(1984年3月)

ディスクユーティリティFUSE-MZ(1983年6月)

などがある。これだけ打ち込んである人はもうすでにMZ-2000を手放せなくなっているであろう。これ以外にもキャラクターカーやグラフィックツール、ミュージックプログラム(なんとMZ-2000で3重和音を出すことのできるプログラム)などいろいろなユーティリティがあった。

これらのバックナンバーは現在編集室にも保存用資料として残されているだけである。ということでサービスとしてMZ-2000/2200用のリナンバー/アペンド/デリートユーティリティ(作:小笠原吉義)を再掲載しておく。テープBASIC MZ-1Z001用なのでほかに使いたい人には「ごめんなさい」と謝しておく。

これを打ち込めば、シャープBASICの泥沼から体半分ぐらいは抜け出せたようなものであるが、あと体半分はそのまま泥沼にはまっている。

どうすればいいか? これは「しっかりとメモをする」ということに尽きる。しっかりとメモするというとめんどろだと思える人もいるだろうが、変数名も行番号も自分でしっかりとメモして管理しておけば、変数名が2文字まででも、ラベルが使えなかったりしても気にならない。逆に変数名が短いことでつまらないスペルミスも起こさない。長いちゃんとした変数名をつけているとちよつとしたことで、動くには動くがちやんと動かないプログラムというものができてしまうことがあるのだ。

配列が小さいのはどうしようもないのだが、これはメモリを直接アクセスするなり、いくつかの配列を組み合わせるなりして回避してほしい。

HuBASICの特徴

シャープBASICがMZ-2000用だったの、HuBASICもMZ-2000用ディスク版を最初に考えてみよう。

特徴というとシャープBASICで実現できなかったことを実現しているのである。当然、配列はメモリいっぱい取れる。変数名は長くできる。ざっとあげると、

- ・変数名は255文字まで(ただし予約語で始まる変数名は不可)
- ・配列は何次元でも、添え字はメモリの許す限り使える
- ・ラベルが使える
- ・グラフィックが強化されて、ウィンドウ/ビューポート、タイリングペイントなど

1) サードパーティ

パソコンメーカー、ユーザー以外の第3グループで、パソコンメーカーが発売したマシンをサポートするハードウェアおよびソフトウェアを供給する周辺機器メーカーやソフトハウスなどの総称。決してパーティの3次会ではない。

2) CP/M

デジタルリサーチ(Digital Research)社の開発したディスクオペレーティングシステム。8080、Z80用のCP/M-80、8086用のCP/M-86、68000用のCP/M-68Kなどほとんどのマシンに移植されている。

3) MS-DOS

8086用にマイクロソフト(Microsoft)社の開発したディスクオペレーティングシステム。IBM-PCのPC-DOSとして広く普及した。日本ではPC-9801用の基本システム(ただしオプション)としてその地位を固めた感がある。

4) クリーン設計

BASICをROMとして持たず、起動時はモニタまたはIPL(Initial Program Loader)が外部記憶装置からソフトウェアをロードして使えるようにすること。これをシャープはクリーン設計と呼んでいる。

5) RS-232C

現在パソコン用としてももっとも普及しているデータ通信方式の名称。転送速度は200Kビット/秒以内なら任意の速度が許されるが、現実には300~9600ビット/秒が一般的に使用される。

6) GP-IB

IEEE-488バスとも呼ばれる通信形式で、おもに測定器とのデータ通信に使用されている。RS-232Cと違って数ビットのデータを一度に転送できるので高速通信が可能である。

7) ガーベジコレクション

文字列がデータ領域内に次々と格納されていった領域が満杯になったとき、不要になったデータを掃除して使用可能領域を新たに確保すること。ガーベジコレクション中はBASICがこの処理に専念しているため、プログラムの実行が止まったように見える。

8) 制御構造

繰り返し、ジャンプなどプログラムの流れを制御する命令の体系。直接的にはFOR~NEXT、WHILE~WEND、REPEAT~UNTILなどがこれにあたるが、そのほかの命令群も制御構造に関係していることはいうまでもない。

9) RAMディスク

フロッピーディスクなどと同様に読み書きができるようにしたメモリ。本体メモリの空き領域やG-RAM、外付けのRAMボードを使用する。まさに電光石火の高速処理が期待できるが、電源OFFで内容が消えてしまうものが多い。

が使える

- ・IF~THEN~ELSE, WHILE~WEND, REPEAT~UNTILなどがすべてあり制御構造⁸⁾が強力
- ・グラフィックメモリをRAMディスク⁹⁾として使用できる
- ・ディスクをレコード単位でアクセスできる
- ・X1とMZ-700のHuBASICのプログラムが読める(ただしX1専用の命令は不可)
- ・シャープBASICから移行してきた人にも違和感のないようにマイクロソフト系、シャープ系どちらの命令も持っている(命令数210以上)
- ・編集機能が強力(EDIT, RENUM, DELE

TE,SEARCH,コントロールキーなど) シャープBASICに比べてこれだけの機能が増えたわけである。これらはマイクロソフトBASICでできる以上のものである。

MZ-2000のHuBASICを取り上げたが、やはりHuBASICといえばX1、X1といえばHuBASICだろう。無印X1の当初からバンドリングされていたのだからX1ユーザーは羨ましい。MZ-2000のBASICの特徴(利点)はそのままに、X1のハードウェアの特徴であるPSGやグラフィック、PCG、スーパーインポーズ機能などもしっかりとサポートしていた。

欠点といえば、多少遅く、フリーエリアが少ないということだったが、NEW BASICなどで改良された(このころになってやっとクリーン設計というもののありがたさがユーザーにもわかってきた)。そして、ディスクドライブが標準になるにつれて、大きなプログラムを作るより小さなプログラムを切り換えながら走らせればよいことから、フリーエリアは気にならなくなってきた。

NEW BASICとは話が前後するがturboBASICの登場もびっくりした。当時としても漢字が使えるBASICとしては最高機能を持っていた。そして、最近になって多くの8ビット機で日本語が使えるようになってきた状況下でも、どの漢字BASICよりも使い勝手はいいと思う(同系列と思われるMZ-2500は除く)。

turboBASICではX1のHuBASICと比べて次の点が向上した。

- ・変数名に漢字を使える(ただし[]で囲む)
- ・ラベルにも漢字が使える
- ・漢字処理用の関数が増えた
- ・400ラインサポートになり、グラフィックも高速になった
- ・マウスサポート
- ・ハードディスクサポート
- ・階層化ディレクトリ¹⁰⁾をサポート

そしてもとのHuBASICも走り、いいことずくめのマシンであった。

MZ-2500のBASIC

さて、BASICを2つに分けたが、どちらに入れていいものかと考えるのがMZ-2500のBASICだ。シャープ開発のBASICなのだからシャープBASICであるのだが、中身はマイクロソフトBASICを参考にして作られているようで、いま述べたシャープBASIC系の特徴(特に悪いほう)は受け入れられない。また、turboBASICもかなり意識したようで、マイクロソフトBASICの欠点を克服

しているBASICでもある。

しかもいままでMZ系を使っていた人が困らないようにBASIC-S25を、マイクロソフト系を使っていた人のためにBASIC-M25を用意している。なお、MZ-2520ではBASIC-M25のみが標準搭載になったことから、今後はこちらに一本化されることになるだろう。

特徴は「速い!」のひと言に尽きるわけだ。いままでBASICでは遅くてやる気にならないことでも、ちょっとやってみようかなという気にさえる。グラフィックも速い(ハードウェアのせいもあるが)、色がいっぱいある、楽しめるBASICである。特徴といえばかなりturboBASICに近いのだが、ハードウェア関連も含めてX1turboに比べ以下の点が異なっている。

- ・256色も出せる
- ・日本語をそのまま変数に使える
- ・文節変換をサポートしている
- ・ブロックIF文¹¹⁾が使える
- ・FM音源(OPN)を含む6重和音サポート
- ・アルゴ機能を装備

MZ-2200発売以来2年の沈黙のあとの期待機種だけに、「これでもか、これでもか」というような大きな自信を感じたBASICである。事実3月号の「UNO」などはほとんどBASICで書かれているにもかかわらず、じつに満足な出来である。これからこのBASICを使いこなして良質のプログラムが生まれることを信じている。

その他の機種のBASIC

HuBASICやBASIC-M25/S25もよくできているが、ほかに8ビット機の中でよくできていると思うのがMSXのBASICである。

最近、格安MSX₂のおかげで1万円を切る値段で市場に出てきているMSXであるが、なかなか捨てたもんじやない(店頭品処分品のMSXとアルカノイドのセットでウィザードリィの値段より安くすむのだ。私は勢いで買ってしまった)。

さて、MSXの機能のひとつにスプライトというものがある。ファミコンやX68000にも使われている機能であるが、MSXのBASICでもこれをしっかりサポートしている。そのうえROMカートリッジを差し込めば、ほとんどの場合そのROMに対応した拡張BASICが立ち上がるようになっていく。たとえば、RS-232Cが標準でついていないMSXはRS-232Cを制御するBASICの命令がない。しかし、RS-232Cのオプションカート

リッジを差し込むと自動的に拡張RS-232C命令である「COMINI」やRS-232Cファイルに対する「OPEN」や「CLOSE」ができるようになる。また、MIDI¹²⁾用のカートリッジを差し込めばMIDI用の拡張命令が自動的に起動され使えるようになる。

こんな便利なBASICが載っている機械がなんでもっと売れなかったのか残念でならないが、最近のMSX₂の売れ行きを見ているとなんとか盛り返しそうである。隠れMSXファンである筆者は大きく期待しているのであるがどうなるのであろうか。

8ビット機として忘れちゃならないのがCP/M上のBASICである。ほとんどの8ビット機でCP/Mが走る環境が用意されている。

CP/Mが走ればマイクロソフト社のBASIC(各社のマイクロソフトBASICの元になったもの。グラフィック命令はない)やデジタルリサーチ社のBASIC(行番号が必要なく、GOTOやGOSUBにラベルが使える。IF文など通常1行に記述しなくてはならなかったものが複数行に渡って記述できる)などいくつかのBASICが使える。

マイクロソフトのBASICはインタプリタとコンパイラが用意されインタプリタでデバッグしてコンパイルできる。コンパイルした結果は同社のFORTRANコンパイラやCOBOLコンパイラの出力とリンクして使えるようになっていて、なかなか使いがよかった。

CP/M上のBASICが出てきたので、S-OS上のBASICも紹介しなければならないだろう。CP/Mが走ると同様にS-OSが走ればFuzzyBASICが走るようになってしまった。このBASICはなかなかのもので、しっかり構造化を意識していて、条件付きながら再帰ができる。発表は1986年9月号、連載が10月号から1987年1月号まで載っている。しかも、1月号では簡単なグラフィックまでサポートされてしまった。

さて、注目のX68000にも当然BASICが載っている。いろいろな記事で紹介されているように、まさにとんでもないBASICである。FuzzyBASICが目指している構造化BASICをもっともっと発展させたものである。もうすでに「C言語」と紙ひと重のような気がするのだがどうであろう。特徴を例によってざっとあげておく。

- ・ほとんどの機能が関数として処理される
- ・いままでのBASICと1行の概念が違い、制御構造が大幅に強化された
- ・ローカル変数が使える
- ・再帰が行える

- GOTO, GOSUB は行番号のみ参照だが、そんなもの使わなくてもプログラムが書ける
- C言語のソースに変換できる

これらのほかにもいろいろと特徴があるのだが、まあ今後各誌をにぎわすであろう特集記事のほうを楽しみにしておいてもらいたい。

BASICリレー連載のお知らせ

以上のように、それぞれのBASICはそれぞれの特徴を持っています。そして、皆さんもそれを生かす形でプログラムを作成していることと思います。これまでOh!MZでは「プログラミングの考え方の基本は同じ」という観点のもとに活用法、応用プログラムを紹介してきましたが、その基本方針は同じまま、さらに「各種機種の特徴も十分生かそう」というBASICリレー連載をスタートする予定です。内容はOh!MZのスタッフが「もっとも最近作

ったプログラム」を題材にして、基本的な考え方からアルゴリズム、プログラミングテクニックを解説します。いったいなにが飛び出すかわからない、まさしく今月号「プログラミング実況中継」の「生中継版」です。そして、なんと将来的にはこのリレー連載の筆者として読者の皆さんにも参加してもらおうという計画もあるのです。さあ、腕自慢の皆さん、何月か先の「お知らせ」もお見逃しなく。

(編集室)

10) 階層化ディレクトリ

ディレクトリの中に子供のディレクトリ(サブディレクトリ)を作り(階層化)、全体を木構造にしたファイル構造。「○中学△年□組×君」といったとき、この××君というファイルは○、△、□というディレクトリに属し、◎校長というファイルは○というディレクトリに属する。

11) ブロックIF文

IF~THEN~ELSEの文を1行中ではなく、何行かに分けて記述する方法。これを使えば、THEN~やELSE~の内容としてたくさんの処理が記述できるし、結果としてわかりやすいプログラムを書くことにもつながる。

12) MIDI

Musical Instrument Digital Interfaceの略で、デジタル方式の電子楽器を相互連動するための通信規格。最近発売されるシンセサイザの多くがMIDI対応になってきた。

●リナンバー/アペンド/デリートユーティリティ(MZ-2000/2200 BASIC MZ-1Z001用)

●使い方

LIMIT \$E9FFを実行後、このユーティリティと処理したいBASICプログラムをロードします。EA00番地にジャンプするとメニューが出るので番号を入力してください。

1) RENUMBER

開始行番号、終了行番号、新しい開始行番号、増分を順に入力すると、その範囲の行番号を付け換えます。(Def:~)はリターンキーだけ押した場合に設定される値です。

2) DELETE

先頭行番号と終了行番号を順に入力すると、その範囲の行を削除します。

3) APPEND

ファイル名を入力(省略可)すると、すでにロードされているプログラムのあとに、テープからプログラムを読み込んで追加します。行番号の並べ換えは行いません。

4) SORT

リナンバーやアペンドでバラバラになった行番号を昇順になるよう並べ換えます。

5) END

BASICのホットスタートに戻ります。

```
EA00 18 08 00 00 FF FF 0A 00 : 28
EA08 0A 00 ED 7B 0A 4D CD 4F : E5
EA10 ED CD 54 ED CD 59 ED CD : DB
EA18 5E ED CD 63 ED CD 68 ED : 8A
EA20 CD 6D ED 11 0D 4D CD C5 : 24
EA28 05 3A 0D 4D FE 31 CA 4A : DC
EA30 EB FE 32 CA 47 EA FE 33 : 47
EA38 CA E9 EA FE 34 CA 90 EA : 13
EA40 FE 35 CA 00 13 18 D9 11 : 12
EA48 93 ED CD 70 ED CD D0 EC : 33
EA50 38 F5 7E 2B B6 20 0C 3E : F6
EA58 FF CD 92 1A 2A 02 EA 7C : 0A
EA60 B5 28 E4 21 00 EE CD 91 : 2E
EA68 1A 2A 02 EA CD 88 19 8A : 28
EA70 EA E5 CD 3F 19 2A 04 EA : 0C
EA78 CD 45 18 E1 38 0C CD A8 : C4
```

SUM: 42 B0 96 D1 47 57 A7 99 135F

```
EA80 13 2A 00 EE 23 22 00 EE : 5E
EA88 18 DF CD 24 ED C3 00 EA : 82
EA90 11 A9 ED CD 70 ED 21 00 : F2
EA98 EE CD 91 1A 21 5C 54 CD : 04
EAA0 3F 19 28 3F E5 D5 CD 3F : 85
EAA8 19 28 36 E1 EB CD 45 18 : 6D
EAB0 E1 30 EC CD CA 19 E5 11 : A3
EAB8 0E 4E ED B0 E1 CD A8 13 : 62
EAC0 2A 10 4E CD 88 19 00 EA : E0
EAC8 22 0E 4E EB 21 0E 4E CD : B3
```

```
EAD0 CA 19 CD 7A 19 CD B2 13 : D5
EAD8 2A 00 EE 23 22 00 EE 18 : 63
EAE0 BB F1 F1 CD 24 ED C3 00 : 3E
EAE8 EA 11 9E ED CD 70 ED CD : 7D
EAF0 EF 1B 3E D8 32 D9 01 32 : 5E
EAF8 DA 01 3E AF 32 ED 01 3E : 26
```

SUM: 1F 93 E4 2C 55 CD B4 3F B3E1

```
EB00 C9 32 EE 01 CD CB 01 3E : C1
EB08 38 32 D9 01 3E E2 32 DA : 70
EB10 01 3E CD 32 ED 01 3E B2 : 1C
EB18 32 EE 01 38 1A 2A 52 11 : 00
EB20 2B 2B 4D 44 ED 5B 4E 52 : CF
EB28 1B 1B CD 60 19 CD 9A 1A : FD
EB30 ED 53 54 11 CD B2 02 CD : F3
EB38 96 1B 06 05 CD 14 0F 10 : BC
EB40 FB 11 49 ED CD 70 ED C3 : 2F
EB48 00 EA 11 86 ED CD 70 ED : 98
EB50 CD D0 EC 38 F5 7E 2B B6 : 15
EB58 20 05 3E FF CD 92 1A 11 : EC
EB60 BE ED CD 70 ED 21 06 EA : E6
EB68 CD E6 EC 38 F2 7E 2B B6 : 28
EB70 20 02 36 0A 11 D4 ED CD : 01
EB78 70 ED 21 08 EA CD E6 EC : 0F
```

SUM: 00 D6 9D 8A 08 53 62 F4 CF29

```
EB80 38 F2 7E 2B B6 20 02 36 : E1
EB88 0A ED 4B 06 EA 21 02 EE : 43
EB90 E5 2A 02 EA CD 88 19 00 : 69
EB98 13 CD 3F 19 28 0F CD C7 : 03
EBA0 EC 38 0A E3 73 23 72 CD : E6
EBA8 BA EC E3 18 EC E1 3E FF : AB
EBB0 CD 92 1A 21 5C 54 E5 18 : 47
EBB8 05 E1 CD 3F 19 E5 E5 CD : A2
EBC0 3F 19 E1 CA 8A EC 11 0E : 98
EBC8 4E CD 84 EC CD 84 EC CD : 95
EBD0 84 EC CD 84 EC 7E FE 0D : 36
EBD8 CA 61 EC FE 22 28 30 FE : 8D
EBE0 80 20 EF CD 84 EC FE 86 : 50
EBE8 28 32 FE 8C 28 2E FE 8D : C5
EBF0 28 2A FE 8E 28 26 FE 9C : C6
EBF8 28 22 FE 80 28 04 FE 81 : 73
```

SUM: 85 3E E5 2E CA 6F 87 B2 ED78

```
EC00 20 D0 CD 84 EC FE 0D 28 : 60
EC08 58 FE 3A 28 C5 18 F3 CD : 55
EC10 84 EC FE 0D 28 4B EC 22 : 0E
EC18 20 F5 18 B6 CD 84 EC D5 : F5
EC20 CD A7 18 44 EC 7A B3 28 : 11
EC28 1B 22 00 EE D5 21 02 EE : 11
EC30 7E 4F 23 A6 3C 28 16 79 : 89
EC38 BB 20 04 7E BA 28 08 23 : 6A
EC40 23 23 18 EC D1 18 8E 23 : E4
EC48 5E 23 56 EB E3 E1 D1 CD : 24
EC50 D4 18 2A 00 EE CD 67 18 : 50
EC58 2C D5 EB 3E 2C ED 13 18 : 93
EC60 BE CD 84 EC CD 12 14 CD : 96
```

```
EC68 E8 14 E1 E5 CD A8 13 E1 : 2B
EC70 E5 22 0E 4E EB 21 0E 4E : CB
EC78 CD CA 19 CD 7A 19 CD B2 : 8F
```

SUM: 16 E7 6B C6 2A 77 98 6C 3A80

```
EC80 13 C3 B9 EB 7E 12 23 13 : 40
EC88 7E C9 E1 ED 4B 06 EA 2A : 7A
EC90 02 EA CD 88 19 00 13 DD : 4A
EC98 21 00 00 E5 CD 3F 19 28 : 53
ECA0 0F CD C7 EC 38 0A E3 23 : D7
ECA8 CD BA EC DD 23 E1 18 EB : 57
ECB0 DD 22 00 EE CD 24 ED C3 : 8E
ECB8 00 EA 23 71 23 70 23 E5 : 19
ECC0 2A 08 EA 09 E3 C1 C9 E5 : 77
ECC8 2A 04 EA CD 45 18 E1 C9 : EC
ECD0 11 F8 EC CD 70 ED 21 02 : 42
ECD8 EA CD E6 EC D8 11 0E ED : 6D
ECE0 CD 70 ED 21 04 EA 11 0D : 57
ECE8 4D CD C5 05 E5 EB CD A7 : 28
ECF0 18 F7 EC E1 73 23 72 C9 : AD
ECF8 2A 53 54 41 52 54 20 4C : 24
```

SUM: 18 61 D5 44 18 F9 8D 5E A652

```
ED00 49 4E 45 23 28 44 65 66 : 36
ED08 3A 20 30 29 3F 0D 2A 45 : 6E
ED10 4E 44 20 4C 49 4E 45 23 : FD
ED18 20 28 44 65 66 3A 6D 61 : 5F
ED20 78 29 3F 0D 06 05 CD 14 : D9
ED28 0F 10 FB 2A 00 EE 11 02 : 45
ED30 EE D5 CD D4 18 D1 CD B6 : D0
ED38 05 11 40 ED CD 89 08 C9 : 6A
ED40 20 4C 49 4E 45 53 2E 2D : F6
ED48 2D 3C 45 4E 44 3E 0D 11 : 9C
ED50 77 ED 18 1C 11 84 ED 18 : 32
ED58 17 11 91 ED 18 12 11 9C : 7D
ED60 ED 18 0D 11 A7 ED 18 08 : D7
ED68 11 B0 ED 18 03 11 B6 ED : 7D
ED70 CD B6 05 CD 29 0A C9 2A : 7B
ED78 2A 2A 28 4D 45 4E 55 29 : DA
```

SUM: 3B 27 7E DD CB A3 19 FE 25D0

```
ED80 2A 2A 2A 0D 31 2E 3C 52 : 78
ED88 45 4E 55 4D 42 45 52 3E : 4C
ED90 0D 32 2E 3C 44 45 4C 45 : C3
ED98 54 45 3E 0D 33 2E 3C 41 : C2
EDA0 50 50 45 4E 4A 3E 0D 34 : F6
EDA8 2E 3C 53 4F 52 54 3E 0D : FD
EDB0 35 2E 45 4E 4A 0D 23 C5 : 2F
EDB8 DD CA DE DD 3F 0D 2A 4E : 26
EDC0 45 57 20 4E 55 4D 42 45 : 33
EDC8 52 20 28 44 65 66 3A 31 : 14
EDD0 30 29 3F 0D 2A 53 54 45 : BB
EDD8 50 20 4E 55 4D 42 45 52 : 39
EDE0 28 44 65 66 3A 31 30 29 : FB
EDE8 3F 0D 00 00 00 00 00 00 : 4C
```

SUM: DE 84 E0 C5 6E 0B F3 A0 3459

拡張漢字BASIC

Abe Kouta
安倍 広多

漢字を出すエディットできない、エディット時には漢字が見えない。NEW BASICでのジレンマを解決するのがこのプログラムです。仮想漢字VRAMを使用し、X1シリーズでX1turboにせまる日本語処理環境を提供します。皆さん活用してください。

X1で漢字BASICを

すでに、X1でも漢字入出力を強化したNEW BASICが発売されています。X1F/Gでは標準品となっているので、これを使って漢字対応のプログラムを作った方も多いと思います。しかしエディット中は画面表示が漢字でなく、DEVICE "GR:"を使うとエディットできないという仕様のため、X1turbo並みに手軽に漢字を、というわけにはいきません。漢字VRAMがない、といっ
てしまえばそれまでですが、漢字VRAMを持たない機種で漢字BASICを実現しているものもありますから、X1でだって可能はずなのです。

そこで、NEW BASICの欠点を改善し、従来のX1用BASICでturboBASIC風の環境を作ろうというわけです。今回のプログラムでは以下のような機能が拡張されます。

- 1) プログラム中の文字列部分すべてに漢字使用可能
- 2) 漢字は通常16×8ドットの縮小文字で表示されるが、CSIZE, PRINT #0を使用することで16×16, 32×8, 32×16ドット表示も可能
- 3) 画面上の漢字を含むすべての文字に対し、各種コントロールコードによるエディットが可能

X1turboのプログラムを読む

```
LIST
10 ***** HD FORMAT *****
20 18:CLS:WIDTH 80:PRINT#1:
30 CSIZE:PRINT#0 "xHard Disk Formatxx"
40 CONSOLE:18:CLS
50 LOCATE 6:PRINT CHR$(26):SPC(14):CFLASH:PRINT#0 "データを読み込んでいます。"
60 CLEAR:SETF:LOADM:DISK UTILITY:ON ERROR GOTO 330
70 MAKEFILE:SET DTM DNM(3):DNM(0)=0:DNM(1)=1:DNM(2)=2:DNM(3)=3:DNM(4)=4
80 CLS:PALETTE:PRINT#0 "タイプ:フォーマット"
90 CLS:PALETTE:PRINT#0 "タイプ:フォーマット"
100 LOCATE 16:PRINT "番号を入力してください。(0-3) ? " :X=FOS(0):Y=CSRLI
110 LOCATE 16:PRINT "番号を入力してください。(0-3) ? " :X=FOS(0):Y=CSRLI
120 CLS:COLOR:LOCATE 12:PRINT "ハードディスクの*DRX*DNM(D)*を*FOS*します。"
130 PRINT:PRINT SPC(12):FOS "*"を開始しますか。(Yes or No) ? " :X=FOS(0):Y=CSRLI
140 LOCATE 14:PRINT "Yes"
150 PRINT " " :SPC(36):PRINT#0 " "
160 LINE(120:127):(426:156).PSET,B:LINE(510:120)-(586:156).PSET,B
170 LOCATE 4:PRINT " " :GOTO 10
```

- 4) コピー機能(^P)を追加
 - 5) KMODE文による漢字表示切り換え
- これらの機能はCZ-8CB01, FB01 V1.0でも使用可能ですが、漢字の入出力にはNEW BASICの"KANJI INPUT.Obj", "プリンタCONFIG 2.Uty"をそのまま利用していますので、NEW BASICが必要です。

入力について

プログラムは3種類あります。リスト1のBASICプログラムとリスト2の"KAN&LP1"は必ず入力してください。リスト3の"KAN&LP2"は漢字出力のみを拡張するものです。プログラム中で漢字入力の必要がなく、リスト2では実行できないような大きなプログラムを使うときに使用します。

リスト1はBASICプログラムですからそのまま各BASICで打ち込んでください。リスト2, 3はCLEAR &HD 700でマシン語エリアを確保したあとモニタのMコマンドからまたは、マシン語入力ツールを使って入力してください(ダンプリストはMACINTOS-Cで出力されています)。

リスト4は"KAN&LP2"のソースリスト(ZEDA用)です。ORG命令のアドレスを変更し、(delete from)から(delete to)までの部分を削除することで"KAN & LP1"のソースリストになります。

これらのプログラムはBASICを書き換えるものですので実行前にはよく確認をし、エラーが発生した場合は念のためBASICを起動し直すようにしてください。

使用方法和注意

このプログラムは各BASICのバージョンを判別してBASICにパッチをあてています。まず、リスト1を実行、メニューから漢字入出力拡張モードを選択します。0ならば拡張は行われずノーマルBASICのまま、1ならば漢字入出力とも拡張されます。フリーエリアは約10Kバイト(CZ-8F01 V2.0)です。2ならば漢字出力のみが拡張され、フリーエリアは約15Kバイトになります。この場合は"KAN & LP2"が必要です。

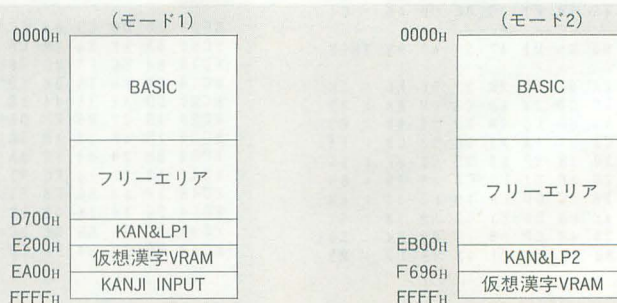
図1にメモリマップを掲載します。モード1時には&HD700, モード2時には&H EB00以降のエリアを使用するプログラムは実行できませんので注意が必要です。また、CLEAR文の設定にも気をつけねばなりません。

なお、一度モードを設定したあとはモードの再設定をしないでください。暴走する可能性があります。

●漢字入出力

漢字の入力法はNEW BASICとまったく同じです。^Xで漢字入力モードに入り、

図1 メモリマップ



ブレイクキーで変換します。漢字変換時は画面の下2行が消えてしまいますので、プログラムを入力するときなどはCONSOLEを切るなどして対応してください。

漢字の出力は拡張された命令、KMODEにより指定します。

KMODE 0 : 漢字出力をしない。グラフィックキャラクタを表示する

KMODE 1~7 : 指定したパレットコードで漢字を表示する

KMODE 8 : 文字のカラーコードで漢字を表示する

デフォルトはKMODE 8になっていますので、ふつうの文字とまったく同じように取り扱うことができます。この状態ではグラフィックとの共存はできませんのでグラフィックを使用したいときはKMODEで1, 2, 4などを指定、漢字の色はパレットで変えて使ってください。4色という制限はありますが漢字とグラフィックの共存ができます。

プリンタへの出力はKMODE 1~8のとき漢字が印字されます。漢字モードのないプリンタでは、“PCG SAMPLE. Fnt”などをあらかじめ(漢字BASICに入る前に)実行しておけば、CGEN 1の状態からプリンタに半角文字を外字半角定義文字として8×16ドットで印字できます。プリンタにコントロールコードを送るときやHCOPYを実行するときは必ずKMODE 0にしてください。

プリンタの設定はNEW BASICの“プリンタCONFIG”のデータをそのまま使用して行います。ディスク版では“Start up. Dat”をそのまま、テープ版ではリスト1の640行のデータを書き換えて使用します。

●エディット

ふつうの文字と同様にコントロールコード(INS/DEL, CLR/HOMEキーのほか、^A, ^E, ^J, ^N, ^O, ^W, ^Z)による

エディットが可能です。CONSOLEによる部分スクロールやCSIZE, CREVにも対応していますが、CFLASHは無視されるので注意が必要です。

^PによりX1turboのコピーキーの機能が使用できます。使用法は以下のとおりです。

- 1) 表示させたい位置で^Pを押す
- 2) カーソルをコピー元を持っていき、リターンキーを押す
- 3) ESCキーでコピーモードを抜ける
画面がスクロールするとBEEP音が鳴り、コピーモードから抜けてしまいます。また、^Aでインサートモードに入ったあとで、^Pを実行するとインサートモードを抜けてしまいますので、いったんコピーモードに入ってから^Aを実行するようにしてください。

プログラムについて

このような機能を実現するためにはどうしてもBASICを書き換えねばならないのですが、IOCSの書き換えをできるだけ少なくし、スクロールなどを高速化するためにいろいろと工夫がしてあります。

漢字はシフトJISコードで右側と左側に分けてテキストVRAMに格納されます。この際アトリビュートVRAMは上位2ビットだけが有効で、下位6ビットは0で埋めて画面には表示しないようにします。また、メモリ上にこれと1対1に対応する2Kバイトの仮想漢字VRAMを持ち、漢字の色や漢字の右側/左側の情報を記録しています。本当は4ビットで1文字に対応できるのですが、高速化のためあえて2Kバイト使用しています。このエリアはWIDTHを変更したときクリアされませんので、WIDTH命令はCLSを行ったあとで実行するようにしてください。

こうすることによって、BASICのSCRN

\$などで漢字コードを読み込むことが可能になり、非漢字部分は従来のままだから表示も高速化されるのです。

最初はIOCSの拡張だけにしようかと思っていたのですが、使いづらいのでX1turboやMZ-2500のようなKMODE文を追加しました(省略形KM.)。その代わり、さしあたって必要なような5文字のコマンド“C STOP”が削られています。どうしてもこのコマンドが必要なおときには、リスト1の40~70行にあるデータの後ろ2つを変更してください。データは順に、0~255までのオペランドを得るルーチンのアドレス、アレジスタのエラー番号のエラーを発生させるルーチンのアドレス、書き換える5文字の予約語が格納されているアドレス、その予約語の処理ルーチンの先頭アドレスとなっています。

漢字の入力、プリンタ出力などはNEW BASICのものをそのまま流用していますので、NEW BASICのマニュアルを参照してください。

このようなプログラムを書くのは初めてで疲れました。いちだんとフリーエリアが小さくなりましたが、NEW BASICにはNEW ONによる命令カット機能もありますから小さいプログラムなら十分に使えると思います。ディスクユーザーでないとい少し使いづらいかもしれませんが、テープユーザーの方もリスト1のロード関係の部分を変更するなど各自で工夫してみてください。

これでWORD POWORやLEXICONも使えればいいことはないのですが、これらのソフトはBASICを一部書き換えているため、X1では使えないのです。せめてユーザー辞書は完全にサポートしてほしいですね。

Profile

◇安倍君は和歌山県在住の16歳、高校2年生です。マイコン歴は6年VIC 1001を経て、現在X1のユーザーです。6502を少しばかり、Z80のマシン語歴も3年になるそうです。

リスト1 BASIC拡張プログラム

```
10 DIM ADRS(4,3)
20 GTOPE=0:ERJMP=1:WORDTBL=2:JUMPTBL=3
30 FORI=1TO4:FORJ=0TO3:READ A$:ADRS(I,J)=VAL("&H"+A$):NEXT:NEXT
40 DATA 4C5B,202F,28A5,2AEF 'FB01 V2.0
50 DATA 7F95,2076,2B67,2DFB 'FB01 V1.0
60 DATA 7738,2064,2B3C,2DCD 'CB01 V1.0
70 DATA 405B,202F,28A5,2AEF 'CB01 V2.0
80
90 FOOK=&H660'FB01V2ノ ReservedFutureERRORヲフセク'タメニイット IOCSへjumpスルアドレス
100 FB01V2=1:FB01V1=2:CB01V1=3:CB01V2=4
110 A=CVI(MEM$(&H20C8,2))
120 IF A=&H74DB THEN BASIC=CB01V2
130 IF A=&H7D34 THEN BASIC=FB01V2
140 IF A=&HF50D THEN BASIC=FB01V1
150 IF A=&HCDE3 THEN BASIC=CB01V1
160 '
```



```

170 PRINTCHR$(26)
180 PRINT"0:Normal BASIC"
190 PRINT"1:Extend Kanji output & input"
200 PRINT"2:Extend Kanji output only"
210 PRINT"Which? ";:
220 A$=INKEY$(1):IF A$="0" OR A$="1" OR A$="2" THEN PRINTA$ ELSE 220
230 '
240 ON VAL(A$)+1 GOTO 260,280,350
250 '
260 INIT:END
270 '
280 CLEAR&HD700:LOADM"KAN&LP1.Obj":LOADM"KANJI INPUT.Obj"
290 AD=&HD700:GOSUB"KMODE":GOSUB"SET":GOSUB"INSTALL":POKE&HFDAF,&HEB
300 IF BASIC<>FB01V2 THEN POKE&HEA06,2
310 CALL&HD700:CALL&HEA00:KEY0,CHR$(24)
320 PRINT"フ リンタ ハ "X$+"ニ セ ッ ティ サ レ テ イ マ ス。"
330 INIT:END
340 '
350 CLEAR&HEB00:LOADM"KAN&LP2.Obj"
360 AD=&HEB00:GOSUB"KMODE":GOSUB"INSTALL"
370 CALL&HEB00
380 GOTO320
390 '
400 LABEL"KMODE"
410 MEM$(AD+6,2)=MKI$(AD$(BASIC,GTOPE))
420 MEM$(AD+&H13,2)=MKI$(AD$(BASIC,ERJMP))
430 MEM$(AD$(BASIC,WORDTBL),5)="KMOD"+CHR$(ASC("E"))OR&H80)
440 IF BASIC=FB01V2 OR BASIC=CB01V2 THEN 460
450 MEM$(AD$(BASIC,JUMPTBL),2)=MKI$(AD+3):RETURN
460 MEM$(FOOK,3)=CHR$(&HC3)+MKI$(AD+3):MEM$(AD$(BASIC,JUMPTBL),2)=MKI$(FOOK)
470 RETURN
480 '
490 LABEL"SET"
500 RESTORE520
510 FORI=0TO5:READ A$:POKE &HEA06+I,VAL("&H"+A$):NEXT:RETURN
520 DATA 03 : '00=クテン 01=16シ 02=イチシ 03=オンクン 04=SYS 05=USR
530 DATA FF :
540 DATA 02 : '00=クテン 01=KANJI 02=シフト
550 DATA 01 : '00=ハンカク 01=セ ン カ ク
560 DATA 00 : '00=ヒラカ ナ 01=カタカナ
570 DATA 00 : '00=ローマ 01=エイズ
580 '
590 LABEL"INSTALL"
600 IF BASIC=CB01V1 OR BASIC=CB01V2 THENRESTORE640:READX$,Y$
610 IF BASIC=FB01V1 OR BASIC=FB01V2 THENOPEN"I",1,"Start up.Dat":INPUT#1,X$,Y$:C
LOSE
620 MEM$(AD+&H15,52)=MID$(HEXCHR$(Y$),27)
630 RETURN
640 DATA CZ-800P,010A00 17 051B521B253200 00 021B360000000000 041B25390F00 60 01
0A00 FF FF 00000000 00000000 0000000000 00000000 17 051B451B253200 00 041B521B36
000000 041B25390100 041B25391700

```

リスト2 KAN&LP1

```

D700 C3 1B DE 3E 00 C4 5B 4C : 65
D708 FE 09 30 04 32 A6 E1 C9 : BD
D710 3E 05 C3 2F 20 78 01 0A : D8
D718 00 FF FF 00 00 00 00 00 : FE
D720 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
D728 00 00 00 00 17 05 1B 45 : 7C
D730 1B 25 32 00 00 04 1B 52 : E3
D738 1B 36 00 00 00 04 1B 25 : 95
D740 39 01 00 04 1B 25 39 17 : CE
D748 00 21 D3 E1 09 C9 2A 0E : DF
D750 00 22 AC E1 C9 2A 0E 00 : B0
D758 22 AE E1 C9 2A 0E 00 CD : 7F
D760 59 05 16 00 19 44 4D C9 : E7
D768 CD 5C D7 CD 49 D7 7E C9 : 34
D770 CD 68 D7 F5 CB 5F C4 64 : 53
D778 07 F1 C9 CD 68 D7 B7 C8 : 4C

```

SUM: 8A 2F EF 8F 15 66 45 8B F92C

```

D780 CB 5F 28 09 CD 64 07 CD : 60
D788 62 DA C3 40 07 CD 40 07 : 5A
D790 CD 62 DA C3 64 07 11 00 : 48
D798 00 21 B3 E1 C3 82 FE F5 : ED
D7A0 21 B3 E1 54 5D 06 1E : FA
D7A8 23 B6 12 23 13 10 F8 F1 : 1A
D7B0 C9 F5 DD E5 21 C2 E1 DD : 21
D7B8 21 CA E1 0E 02 06 08 C5 : AF
D7C0 06 08 7E 07 CB 13 1B 12 : 4E
D7C8 0F CB 13 CB 12 07 10 F3 : D4
D7D0 C1 DD 72 00 DD 73 08 2B : 93
D7D8 DD 2B 10 E3 DD 21 BA E1 : 94
D7E0 DD 20 DA DD E1 F1 C9 21 : A0
D7E8 C3 E1 11 BB E1 01 08 00 : 5A
D7F0 ED B0 C9 21 BB E1 11 B3 : E7
D7F8 E1 01 08 00 ED B0 21 CB : 73

```

SUM: 79 71 F8 C5 8F C9 E7 8A D434

```

D800 E1 11 BB E1 01 08 00 ED : 84
D808 B0 C9 CD 5A 0A 2A AC E1 : 61
D810 22 0E 00 CD 5F D7 AF 32 : 14
D818 73 D8 21 B3 E1 11 00 00 : 11
D820 CD 32 D8 E5 2A AE E1 22 : 97
D828 0E 00 CD 5F D7 E1 ED 5B : 3A
D830 1D D8 C5 D5 E5 CD 7B D7 : 93
D838 E1 D1 C1 C3 3E D8 3A AB : 31
D840 E1 CB 77 28 0F E5 60 69 : 08
D848 ED 4B 07 00 06 00 B7 ED : E9
D850 42 44 4D E1 CD 66 D8 CD : 8C
D858 87 D8 03 3A AB E1 CB 7F : 72
D860 C8 CD 66 D8 18 21 E5 CD : BE
D868 49 D7 7E F5 3A AB E1 F5 : 4E
D870 E6 07 F6 08 77 F1 CB E8 : 06
D878 E6 C0 ED 79 CB E0 ED 51 : F5

```

SUM: 73 38 69 28 90 17 16 9C C762

```

D880 CB A8 CB A0 F1 E1 C9 E5 : 5E
D888 C5 CD 3B DA C1 E1 C5 16 : 24
D890 08 7E 23 E5 2A AB E1 CB : 0F
D898 5D 28 01 2F CB F0 CB 45 : 80
D8A0 C4 C5 D8 CB F8 CB 55 C4 : 08
D8A8 C5 D8 CB B0 CB 4D C4 C5 : B9
D8B0 D8 CB B8 3E 08 80 47 E1 : 49
D8B8 15 20 D6 C1 3A 73 D8 EE : 3F
D8C0 08 32 73 D8 C9 ED 79 C9 : 7D
D8C8 F5 3A A6 E1 B7 C2 DD D8 : E4
D8D0 AF 32 A5 E1 F1 57 3A 26 : 0F
D8D8 00 5F C3 E2 04 CD 51 D9 : FF
D8E0 32 AB E1 21 63 D9 22 39 : 76
D8E8 DA AF 32 A4 E1 F1 32 A9 : 0C
D8F0 E1 5F 3A A5 E1 21 AA E1 : AC
D8F8 B6 20 07 7B CD A0 EC DA : 8B

```

SUM: BA 79 30 69 13 C6 3D A0 FDB8

```

D900 29 DA 3A AB E1 07 07 E6 : BD
D908 03 21 2D D9 4F 87 81 4F : D0
D910 06 00 09 3A AA E1 3C 32 : 42
D918 AA E1 BE 20 05 AF 32 AA : F9
D920 E1 7E 23 BE 28 13 23 BE : 5C
D928 28 19 C3 23 DA 02 01 02 : 06
D930 04 02 04 04 01 03 08 02 : 1C
D938 06 7B 32 A5 E1 CD 4E D7 : 2B
D940 C3 23 DA 3A A5 E1 57 AF : 86
D948 32 A5 E1 CD 55 D7 C3 DA : 4E
D950 D9 FE 08 28 0A E6 07 6F : 6D
D958 3A 26 00 E6 F8 B5 C9 3A : F6
D960 26 00 C9 3A A9 E1 57 3A : 44
D968 26 00 5F C3 E2 04 3A A4 : 0C
D970 E1 F5 3A A5 E1 32 A4 E1 : 4D
D978 F1 32 A5 E1 C9 F5 3A A6 : 47

```

SUM: 15 03 14 00 F4 62 C9 41 D481

```

D980 E1 B7 C2 92 D9 AF 32 A4 : 4A
D988 E1 F1 FE 20 DA 77 05 C3 : 09
D990 DB 04 CD 51 D9 E6 3F 32 : 2D
D998 AB E1 21 DB 04 22 39 DA : C1
D9A0 F1 FE 20 30 17 F5 3A A4 : 29
D9A8 E1 B7 28 0C F5 CD 64 07 : F9
D9B0 F1 CD 29 DA AF 32 A4 E1 : 27
D9B8 F1 C3 77 05 5F AF 32 A5 : 15
D9C0 E1 3A A4 E1 B7 20 0F CD : 53
D9C8 4E D7 7B 32 A4 E1 CD A0 : C4
D9D0 EC D2 23 DA 18 53 57 CD : 4A
D9D8 55 D7 ED 53 1E D8 CD 52 : 81
D9E0 FC ED 53 97 D7 CD 96 D7 : E4
D9E8 3A AB E1 CB 77 C4 E7 D7 : 8A
D9F0 CC 9F D7 CB 7F C4 B1 D7 : D8
D9F8 21 3E D8 22 3C D8 CD 0A : 44

```

SUM: 8F 01 A8 88 44 2A 1E BF 9149


```

DA00 D8 3A AB E1 CB 77 28 17 : 1F
DA08 CD 95 D7 3A AB E1 CD F3 : C0
DA10 D7 CB 7F C4 B1 D7 21 54 : E2
DA18 D8 22 3C D8 CD 0A D8 AF : 6C
DA20 32 A4 E1 2A 0E 00 C3 FA : AC
DA28 04 F5 CD 7B D7 CD 62 DA : 21
DA30 AF 32 A4 E1 32 AA E1 F1 : 14
DA38 C3 DB 04 CB F0 1F DC 51 : A9
DA40 DA CB F8 1F 1F DC 51 DA : E2
DA48 CB B0 17 DC 51 DA CB B8 : 1C
DA50 C9 F5 C5 11 00 08 ED 59 : E2
DA58 3E 08 80 47 15 20 F7 C1 : FA
DA60 F1 C9 CD 68 D7 36 00 B7 : B3
DA68 28 03 CD 3B DA CB E0 CB : 83
DA70 E8 3E 20 ED 79 CB A0 CB : E2
DA78 A8 C9 D9 C5 D9 D5 E5 CD : 6F
SUM: 51 AE 7A B0 83 4E 35 E9 2325

```

```

DA80 EF DA 21 AD E1 35 E1 D1 : 5F
DA88 E5 44 4D CB A8 CD 49 D7 : D6
DA90 E5 D9 E1 D9 E1 44 4D 15 : FF
DA98 28 3F D9 54 5D 21 50 00 : 62
DAA0 19 E5 D9 D5 21 50 00 09 : 2A
DAA8 E5 E5 D9 C1 D9 D9 7E 36 : CA
DAB0 00 23 12 13 B7 C4 08 DB : A6
DAB8 ED 78 D9 ED 79 D9 CB E0 : 28
DAC0 ED 78 CB A0 03 D9 CB E0 : 57
DAC8 ED 79 CB A0 03 1D C2 AD : 60
DAD0 DA E1 D1 D9 E1 D9 C3 95 : 77
DAD8 DA 2A 26 00 CB F5 ED 69 : 40
DAE0 CB E0 ED 61 CB A0 03 1D : 84
DAE8 C2 DE DA D9 C1 D9 C9 44 : FA
DAF0 4D CB A8 CD 49 D7 7E 23 : 4E
DAF8 B7 28 07 E5 D5 CD 3B DA : 82
SUM: EB 48 C8 40 4D 0E DA A0 C007

```

```

DB00 D1 E1 03 1D C2 F6 DA C9 : 2D
DB08 D5 1E 00 57 CB A8 CB F0 : 78
DB10 D9 CB A8 CB F0 D9 CB 42 : ED
DB18 C4 3D DB CB F8 D9 CB F8 : 3B
DB20 D9 CB 52 C4 3D DB CB B0 : 4D
DB28 D9 CB B0 D9 CB 4A C4 3D : 43
DB30 DB CB B8 CB E8 D9 CB B8 : 6D
DB38 CB E8 D9 D1 C9 ED 78 ED : 78
DB40 59 CB E8 D9 ED 79 CB E8 : FE
DB48 D9 ED 78 ED 59 CB D8 D9 : 00
DB50 ED 79 CB D8 D9 ED 78 ED : 34
DB58 59 CB E0 D9 ED 79 CB E0 : EE
DB60 D9 ED 78 ED 59 CB 98 D9 : C0
DB68 ED 79 CB 98 D9 ED 78 ED : F4
DB70 59 CB A8 D9 ED 79 CB A8 : 7E
DB78 D9 ED 78 ED 59 CB D8 D9 : 00
SUM: 0B 6A 87 05 B2 E1 A6 5A D26C

```

```

DB80 ED 79 CB D8 D9 ED 78 ED : 34
DB88 59 CB A0 D9 ED 79 CB A0 : 6E
DB90 D9 ED 78 ED 59 CB 98 D9 : C0
DB98 ED 79 CB 98 D9 C9 D9 C5 : 09
DBA0 E5 D9 E5 D9 C1 CB A8 CD : 7D
DBA8 49 D7 D9 44 4D D9 E5 D9 : 21
DBB0 D5 C5 2A 26 00 CB F5 ED : 97
DBB8 69 CB E0 ED 61 CB A0 D9 : A6
DBC0 7E 36 00 23 B7 C4 EB DB : 18
DBC8 D9 03 1D C2 B7 DB C1 2A : 38
DBD0 07 00 26 00 09 D1 D9 E1 : C1
DBD8 ED 4B 07 00 06 00 09 D9 : 27
DBE0 15 C2 AB DB D9 E1 C1 D9 : B1
DBE8 C3 07 07 D9 C5 D9 C1 CB : D4
DBF0 A8 E5 D5 CD 3B DA D1 E1 : F6
DBF8 C9 E5 D5 CD 5F D7 CD 10 : 63
SUM: 0C 01 1C 99 1C 0F 84 EB 83F7

```

```

DC00 DC CB EC D1 44 4D ED 59 : 3B
DC08 CB E0 ED 51 CB A0 E1 C9 : FE
DC10 E5 CD 49 D7 7E 36 00 B7 : 3D
DC18 C4 3B DA E1 C9 CD 70 D7 : 97
DC20 CD BB 08 C3 E7 08 CD 70 : 7F
DC28 D7 F5 2A 0E 00 E5 CD 17 : CD
DC30 08 2A 0E 00 D1 B7 ED 52 : 07
DC38 28 12 F1 CD 64 07 CD 68 : 98
DC40 D7 B7 28 05 CB 5F CC 62 : 13
DC48 DA C3 40 07 F1 B7 C8 C3 : 17
DC50 62 DA CD 70 D7 2A 0E 00 : 88
DC58 C3 CB 08 CD 70 D7 CD BB : 32
DC60 08 C3 65 09 CD 70 D7 2A : 77
DC68 0E 00 C3 4D 09 E5 CD 5F : 38
DC70 D7 CD 80 DC CB E8 ED 58 : F8
DC78 CB E0 ED 50 CB A0 E1 C9 : FD
SUM: B2 2E FF 43 E1 8F 73 7B 3214

```

```

DC80 E5 CD 49 D7 7E 32 B2 E1 : 15
DC88 21 B3 E1 CB F0 1F CD A2 : FE
DC90 DC CB F8 1F 1F CD A2 CD : 28
DC98 CB B0 17 CD A2 DC CB B8 : 60
DCA0 E1 C9 C5 30 12 F5 16 08 : C4

```

```

DCA8 ED 78 77 23 3E 08 80 47 : 0C
DCB0 15 C2 A8 DC F1 C1 C9 01 : D7
DCB8 08 00 09 C1 C9 ED 59 CB : AC
DCC0 E0 ED 51 CB A0 CB A8 CD : C9
DCC8 49 D7 7E B7 E5 C4 3B DA : 13
DCD0 E1 3A B2 E1 77 21 B3 E1 : DA
DCD8 CB F0 1F CD F5 DC CB F8 : 3B
DCE0 1F 1F CD F5 DC CB B0 17 : 6E
DCE8 CD F5 DC CB B8 CB E8 AF : 83
DCF0 32 B2 E1 E1 C9 C5 30 14 : 78
DCF8 F5 16 08 7E 36 00 ED 79 : 2D
SUM: 80 C8 58 CD BD 8C BA 05 6638

```

```

DD00 23 3E 08 80 47 15 C2 FB : 02
DD08 DC F1 C1 C9 01 08 00 09 : 69
DD10 C1 C9 21 F7 07 22 58 07 : 2A
DD18 2A 0E 00 22 B0 E1 3A 26 : 4B
DD20 00 32 A8 E1 C3 A6 E1 32 : AE
DD28 A7 E1 AF 32 D8 DD 32 B5 : 05
DD30 DD CD EA DD CD AA 02 FE : E8
DD38 1B 28 33 FE 0D 28 4D FE : F4
DD40 01 20 07 21 D8 DD AE 77 : 23
DD48 18 EA FE 20 38 09 01 A8 : 0A
DD50 0E 5F CD E3 03 18 17 57 : A6
DD58 7A 21 66 DD 01 09 00 ED : D5
DD60 B1 CC 77 05 18 CE 02 06 : E7
DD68 0B 09 1C 1D 1E 1F CD EA : 41
DD70 DD 3A A8 E1 32 26 00 3A : 32
DD78 A7 E1 32 A6 E1 2A B0 E1 : FC
SUM: 6A 88 03 FA 48 B9 FB 82 381A

```

```

DD80 22 0E 00 21 9B 06 22 58 : 6C
DD88 07 C3 F7 07 CD EA DD CD : 29
DD90 70 D7 B7 32 A6 E1 28 16 : F5
DD98 3E 08 32 A6 E1 CD BC DD : 65
DDA0 D5 CD BC DD 62 6B D1 E5 : BE
DDA8 CD D3 DD D1 18 03 CD BC : F2
ddb0 DD CD D3 DD 3E 00 B7 20 : 6F
ddb8 B8 C3 31 DD CD 68 D7 E6 : 7B
DDC0 07 CB E8 57 B7 20 02 ED : D7
DDC8 50 CB E0 ED 58 D5 CD 40 : 22
DDD0 07 D1 C9 D5 CD FC DD 3E : 5A
DDD8 00 B7 C4 EA 08 D1 7A 32 : E4
DDE0 26 00 7B CD C8 04 CD FC : 03
DDE8 DD C9 2A B0 E1 CD 59 05 : 8C
DDF0 16 20 19 44 4D ED 78 EE : 33
DDF8 08 ED 79 C9 2A 0E 00 E5 : 54
SUM: 8D D4 09 EF 78 02 D3 30 F4F2

```

```

DE00 2A B0 E1 22 0E 00 E1 22 : EE
DE08 B0 E1 C9 3E 01 32 B5 DD : 5D
DE10 C3 4D 06 3E 01 32 B5 DD : 19
DE18 C3 53 06 21 A5 DA 22 55 : 33
DE20 06 21 ED 43 22 57 06 21 : F7
DE28 9E DA 22 59 06 21 FC DB : EE
DE30 22 70 09 3E CD 32 C9 04 : A8
DE38 21 C8 D8 22 CD 04 21 12 : E7
DE40 DD 22 89 00 21 0B DE 22 : B4
DE48 F0 05 21 13 DE 22 2C 06 : 5B
DE50 AF 32 E0 12 21 D3 E1 11 : B9
DE58 D4 E1 01 FF 07 77 ED B0 : D0
DE60 21 75 DE 7E 23 13 C8 5F : F3
DE68 56 23 3E C3 12 B7 01 02 : A2
DE70 00 ED B0 18 EE D6 04 7D : FA
DE78 D9 5B 06 7A DA E7 06 9E : 19
SUM: E7 7E 03 B2 9B EA 04 A8 F345

```

```

DE80 DB E4 08 1D DC 14 08 26 : 02
DE88 DC C8 08 52 DC F1 07 5B : 2D
DE90 DC 4A 09 64 DC 76 08 6D : 5A
DE98 DC 97 08 BD DC CF 04 C3 : AA
DEA0 04 D5 12 B0 DE E2 12 06 : 33
DEA8 DE 00 C5 D5 E5 C3 E5 12 : 17
DEB0 3A A6 E1 B7 28 06 E5 CD : 58
DEB8 00 DF E1 C9 D5 CD 05 E0 : 10
DEC0 D1 AF 32 1B 13 C9 F5 3A : D8
DEC8 A6 E1 B7 28 09 F1 E5 C5 : 0A
DED0 CD E0 DE C1 E1 C9 3A 1B : 4B
DED8 13 3C 32 1B 13 F1 18 CA : 82
DEE0 2A 1B 13 26 00 01 DA E0 : 39
DEE8 09 77 4F 21 1B 13 34 3E : 90
DEF0 C8 BE 38 05 3A 15 D7 BE : A7
DEF8 D0 35 CD 00 DF 79 18 E0 : 22
SUM: AD 18 1A 00 74 D8 25 D6 E4EF

```

```

DF00 C5 CD D3 E0 47 D5 21 DA : 5C
DF08 E0 CD 1D DF D1 C1 3A A3 : 18
DF10 E1 B7 28 05 32 DA E0 3E : EF
DF18 01 32 1B 13 C9 3A 2C D7 : 67
DF20 32 39 E0 AF 32 A3 E1 4F : FF
DF28 3A 1A D7 3C 20 2F CD 4C : CF
DF30 DF E5 C5 0E 00 CD E5 DF : 28
DF38 CD 47 DF C1 E1 E0 01 CD : 71
DF40 E5 DF 11 35 D7 18 08 11 : 12
DF48 43 D7 18 03 11 3D D7 7A : 74

```

```

DF50 B7 C8 C5 47 13 1A CD AA : 2F
DF58 DE 10 F9 C1 C9 78 B7 CA : 6A
DF60 05 E0 AF 32 A2 E1 7E CD : 94
DF68 A0 EC 57 38 29 05 28 21 : 92
DF70 23 5E CD 52 FC CD BC DF : 04
DF78 CD AA DF 7A CD AA DE 7B : A0
SUM: F1 64 27 07 9E 9B 9E C0 454D

```

```

DF80 CD AA DE CD B3 DF CD CE : 4F
DF88 DF 23 10 DA CD D3 DF 18 : 83
DF90 74 32 A3 E1 18 F6 3A 19 : 8B
DF98 D7 FE FF 28 04 5A 57 18 : C9
DFA0 D4 CD D3 DF 7A CD AA DE : 22
DFA8 18 DF D5 11 23 D7 CD 4F : F3
DFB0 DF D1 C9 D5 11 28 D7 CD : 2B
DFB8 4F DF D1 C9 3A A2 E1 B7 : 3C
DFC0 C0 3C 32 A2 E1 D5 11 1B : B2
DFC8 D7 CD 4F DF D1 C9 3A 1A : C0
DFD0 D7 B7 C8 3A A2 E1 B7 C8 : 92
DFD8 AF 32 A2 E1 D5 11 1F D7 : 4C
DFE0 CD 4F DF D1 C9 78 B7 28 : EC
DFE8 1C CD 7A E0 56 7A CD A0 : 80
DFF0 EC 38 1D 05 28 15 23 5E : 84
DFF8 C5 E5 CD 52 FC CD 17 E0 : 89
SUM: C8 84 00 E2 F0 D4 4B A2 4BD6

```

```

E000 E1 C1 23 10 E7 11 16 D7 : BA
E008 C3 4F DF CD CB E0 18 F5 : 76
E010 C5 E5 CD 23 E0 18 E9 C5 : 40
E018 21 B3 E1 CD 82 FE C1 16 : D9
E020 02 18 07 C5 CD 4D E0 C1 : A1
E028 16 01 0D 21 B3 E1 20 01 : FA
E030 23 0E 08 06 08 E5 AF CB : A6
E038 06 17 23 23 10 F9 CD AA : E3
E040 DE E1 0D 20 EE 01 10 00 : EB
E048 09 15 20 E5 C9 3A 26 00 : 4C
E050 E6 20 28 0C 21 B3 E1 1E : 0D
E058 16 CD 13 FE 1C C3 13 FE : 6F
E060 AF C6 14 5F 21 C3 E1 E5 : 92
E068 CD 13 FE E1 11 B3 E1 06 : 6A
E070 08 7E 23 12 13 12 13 10 : 03
E078 F8 C9 11 2D D7 CD 4F DF : D1
SUM: 2A E9 9D 6A BC 19 A2 D4 8F57

```

```

E080 E5 68 26 00 29 29 29 3A : 28
E088 34 D7 B7 28 34 3D 28 2E : B1
E090 C5 01 E8 03 CD B4 E0 CD : DF
E098 AA DE 01 64 00 CD B4 E0 : 4E
E0A0 CD AA DE 0E 0A CD B4 E0 : CE
E0A8 CD AA DE 3E 30 85 CD CA : BF
E0B0 DE C1 E1 C9 3E 2F B7 3C : A9
E0B8 ED 42 30 FB 09 C9 7D 6C : 15
E0C0 67 7C CD AA DE 7D CD AA : 2C
E0C8 DE E1 C9 32 A3 E1 16 20 : 74
E0D0 C3 23 E0 21 1B 13 7E 36 : C9
E0D8 00 C9 00 00 00 00 00 00 : C9
E0E0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E0E8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E0F0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E0F8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
SUM: F5 BE 09 9C 47 A2 FB 47 8B7F

```

```

E100 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E108 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E110 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E118 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E120 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E128 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E130 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E138 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E140 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E148 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E150 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E158 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E160 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E168 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E170 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E178 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
SUM: 00 00 00 00 00 00 00 0000

```

```

E180 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E188 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E190 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E198 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E1A0 00 00 00 00 00 00 08 00 : 08
E1A8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E1B0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E1B8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E1C0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E1C8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
E1D0 00 00 00 : 00
SUM: 00 00 00 00 00 00 08 0000 6433

```

▶ 職場の先輩にX1をほしいという人がいたのでしぶしぶ僕のを売った。そのお金を頭金に2ヵ月後X1turboIIに買い換えた。前のソフトもちょっとの手直しで動く。X1の先進性ってスゴイ。いまはテープからディスクへ移すのに忙しい毎日。 加藤 淳二 (30) 東京都

リスト3 KAN&LP2

EB00 C3 DE F2 3E 00 C4 5B 4C : 3C
EB08 FE 09 30 04 32 69 F6 C9 : 95
EB10 3E 05 C3 2F 20 78 01 0A : D8
EB18 00 FF FF 00 00 00 00 : FE
EB20 00 00 00 00 00 00 00 : 00
EB28 00 00 00 00 17 05 1B 45 : 7C
EB30 1B 25 32 00 00 04 1B 52 : E3
EB38 1B 36 00 00 00 04 1B 25 : 95
EB40 39 01 00 04 1B 25 39 17 : CE
EB48 00 21 96 F6 09 C9 2A 0E : B7
EB50 00 22 6F F6 C9 2A 0E 00 : 88
EB58 22 71 F6 C9 2A 0E 00 CD : 57
EB60 59 05 16 00 19 44 CD C9 : E7
EB68 CD 5C EB CD 49 EB 7E C9 : 5C
EB70 CD 68 EB F5 CB 5F C4 64 : 67
EB78 07 F1 C9 CD 68 EB B7 C8 : 60

SUM: 8A B5 C6 B9 15 51 5A 8B B7C3

EB80 CB 5F 28 09 CD 64 07 CD : 60
EB88 25 EF C3 40 07 CD 40 07 : 32
EB90 CD 25 EF C3 64 07 11 00 : 20
EB98 00 21 76 F6 C3 D4 EB 7A : 89
EBA0 D6 81 FE F6 30 29 FE 1F : 3A
EBA8 38 06 FE 3F 38 21 D6 40 : EA
EBB0 87 C6 21 57 7B D6 40 FE : 54
EBB8 BD 30 14 FE 3F 28 10 30 : A6
EBC0 01 3C FE 5F 30 04 C6 20 : B4
EBC8 5F C9 14 D6 3E 5F C9 11 : 89
EBD0 28 22 37 C9 7A FE 76 20 : 58
EBD8 1B 7B D6 21 FE 40 30 20 : 1B
EBE0 87 87 57 1E 15 CD 52 EC : A3
EBE8 14 CD 52 EC 14 CD 52 EC : 3E
EBF0 14 C3 52 EC FE 29 38 0B : 7F
EBF8 FE 30 38 04 FE 50 38 03 : F3

SUM: 5F FA D3 1E 28 08 B0 32 4920

EC00 11 28 22 DD E5 75 7B D6 : 53
EC08 20 6F 26 00 01 80 0E ED : 31
EC10 51 0C ED 61 0C 24 ED 61 : 29
EC18 25 0D 0D ED 50 0C ED 78 : ED
EC20 0C ED 01 0D 0D 5C 29 29 : 22
EC28 29 29 19 ED 69 0C ED 61 : 1B
EC30 0C DD E1 16 10 21 00 01 : 12
EC38 ED 61 0D 0D ED 78 DD 77 : 21
EC40 00 0C ED 78 DD 77 10 0C : E1
EC48 ED 69 DD 23 15 20 E9 DD : 51
EC50 E1 C9 D5 CD 33 00 D1 C9 : 19
EC58 FE 80 D8 FE A0 3F 0D FE : 01
EC60 E0 C9 F5 21 76 F6 54 5D : DC
EC68 06 10 7E 23 B6 12 23 13 : B5
EC70 10 F8 F1 C9 F5 DD E5 21 : 9A
EC78 85 F6 DD 21 8D F6 0E 02 : 0C

SUM: 1C 89 62 DC 28 47 5A E1 3364

EC80 06 08 C5 06 08 7E 07 CB : 31
EC88 13 CB 12 0F CB 13 07 12 : BA
EC90 07 10 F3 C1 DD 72 00 DD : F7
EC98 73 08 2B DD 2B 10 E3 DD : 7E
ECA0 21 7D F6 DD 20 DA DD E1 : 59
ECA8 F1 C9 21 86 F6 11 7E F6 : DC
ECB0 01 08 00 ED B0 C9 21 7E : 0E
ECB8 F6 11 76 F6 01 08 00 ED : 69
ECC0 B0 21 8E F6 11 7E F6 01 : DB
ECC8 08 00 ED B0 C9 CD 5A 0A : 9F
ECD0 2A 6F F6 22 0E 00 CD 5F : EB
ECD8 EB AF 32 36 ED 21 76 F6 : 7C
ECE0 11 00 00 CD F5 EC E5 2A : CE
ECE8 71 F6 22 0E 00 CD 5F EB : AE
ECF0 E1 ED 5B E0 EC C5 D5 E5 : 74
ECF8 CD 7B EB E1 D1 C1 C3 01 : 6A

SUM: 99 E7 8D C3 29 7A A0 34 8D23

ED00 ED 3A 6E F6 CB 77 28 0F : 04
ED08 E5 60 69 ED 4B 07 00 06 : F3
ED10 00 B7 ED 42 44 4D E1 CD : 25
ED18 29 ED CD 4A ED 03 3A 6E : C5
ED20 F6 CB 7F C8 CD 29 ED 18 : 03
ED28 21 E5 CD 49 EB 7E F5 3A : B4
ED30 6E F6 F5 E6 07 F6 08 77 : BB
ED38 F1 CB EB E6 C0 ED 79 CB : 7B
ED40 E0 ED 51 CB A8 CB A0 F1 : ED
ED48 E1 C9 E5 C5 CD FE EE C1 : CE
ED50 E1 C5 16 08 7E 23 E5 2A : 74
ED58 6E F6 CB 5D 28 01 2F CB : AF
ED60 F0 CB 45 C4 88 ED CB F8 : FC
ED68 CB 55 C4 88 ED CB B0 CB : 9F
ED70 4D C4 88 ED CB B8 3E 08 : 4F
ED78 80 47 E1 15 20 D6 C1 3A : AE

SUM: 09 4B 43 8F 41 8B C2 90 791C

ED80 36 ED EE 08 32 36 ED C9 : 37
ED88 ED 79 C9 F5 3A 69 F6 B7 : 74
ED90 C2 A0 ED AF 32 68 F6 F1 : 7F
ED98 57 3A 26 00 5F C3 E2 04 : BF
EDA0 CD 14 EE 32 6E F6 21 26 : AC
EDA8 EE 22 FC EE AF 32 67 F6 : 38
EDB0 F1 32 6C F6 5F 3A 68 F6 : 7C
EDB8 21 6D F6 B6 20 07 7B CD : A9
EDC0 58 EC DA EC EE 3A 6E F6 : 96
EDC8 07 07 E6 03 21 F0 ED 4F : 44
EDD0 87 81 4F 06 00 09 3A 6D : 0D
EDD8 F6 3C 32 6D F6 BE 20 05 : AA
EDE0 AF 32 6D F6 7E 23 BE 28 : CB
EDE8 13 23 BE 28 19 C3 E6 EE : CC
EDF0 02 01 02 04 02 04 04 01 : 14
EDF8 03 08 02 06 7B 32 68 F6 : 1E

SUM: AC 23 86 02 B2 40 EB 18 1C12

EE00 CD 4E EB C3 E6 EE 3A 68 : 3F
EE08 F6 57 AF 32 68 F6 CD 55 : AE
EE10 EB C3 9D EE FE 08 28 0A : 71
EE18 E6 07 6F 3A 26 00 E6 F8 : 9A
EE20 B5 C9 3A 26 00 C9 3A 6C : 4D
EE28 F6 57 3A 26 00 5F C3 E2 : B1
EE30 04 3A 67 F6 F5 3A 68 F6 : 28
EE38 32 67 F6 F1 32 68 F6 C9 : D9
EE40 F5 3A 69 F6 B7 C2 55 EE : 4A
EE48 AF 32 67 F6 F1 FE 20 DA : 27
EE50 77 05 C3 DB 04 CD 14 EE : ED
EE58 E6 3F 32 6E F6 21 DB 04 : BB
EE60 22 FC EE F1 FE 20 30 17 : 62
EE68 F5 3A 67 F6 B7 28 0C F5 : 6C
EE70 CD 64 07 F1 CD EC EE AF : 7F
EE78 32 67 F6 F1 C3 77 05 5F : 1E

SUM: 8C E1 8E 4E 80 0F 03 A0 C84E

EE80 AF 32 68 F6 3A 67 F6 B7 : 8D
EE88 20 0F CD 4E EB 7B 32 67 : 49
EE90 F6 CD 58 EC D2 E6 EE 18 : C5
EE98 53 57 CD 55 EB ED 53 E1 : D8
EEA0 EC CD 9F EB ED 53 97 EB : 05
EEA8 CD 96 EB 3A 6E F6 CB 77 : 2E
EEB0 C4 AA EC CC 62 EC CB 7F : BE
EEB8 C4 74 EC 21 01 ED 22 FF : 54
EEC0 EC CD CD EC 3A 6E F6 CB : DB
EEC8 77 28 17 CD 96 EB 3A 6E : AC
EED0 F6 CD B6 EC CB 7F C4 7A : E7
EED8 EC 21 17 ED 22 FF EC CD : EB
EEE0 CD EC AF 32 67 F6 2A 0E : 2F
EEE8 00 C3 FA 04 F5 CD 7B EB : E9
EEF0 CD 25 EF AF 32 67 F6 32 : 51
EEF8 6D F6 F1 C3 DB 04 CB F0 : B1

SUM: A5 93 F6 D1 C6 DC FE 8C C744

EF00 1F DC 14 EF CB F8 1F 1F : FF
EF08 CD 14 EF CB B0 17 CD 14 : 61
EF10 EF CB B8 C9 F5 C5 11 00 : 06
EF18 08 ED 59 3E 08 80 47 15 : 70
EF20 20 F7 C1 F1 C9 CD 68 EB : B2
EF28 36 00 B7 28 03 CD FE EE : D1
EF30 CB E0 CB B8 3E 20 ED 79 : 22
EF38 CB A0 CB A8 C9 D9 C5 D9 : 1E
EF40 D5 E5 CD B2 EF 21 70 F6 : AF
EF48 35 E1 D1 E5 44 4D CB A8 : D0
EF50 CD 49 EB E5 D9 E1 D9 E1 : 5A
EF58 44 4D 15 28 3F D9 54 5D : 97
EF60 21 50 00 19 E5 D9 D5 21 : 3E
EF68 50 00 09 E5 E5 D9 C1 D9 : 96
EF70 D9 7E 36 00 23 12 13 B7 : 8C
EF78 C4 CB EF ED 78 D9 ED 79 : 22

SUM: 07 14 EE F9 FB AC 69 79 B803

EF80 D9 CB E0 ED 78 CB A0 03 : 57
EF88 D9 CB E0 ED 79 CB A0 03 : 58
EF90 1D C2 70 EF E1 D1 D9 E1 : AA
EF98 D9 C3 58 FB 2A 26 00 CB : FE
EFA0 F5 ED 69 CB E0 ED 61 CB : 0F
EFA8 A0 03 1D C2 A1 EF D9 C1 : AC
EFB0 D9 C9 44 4D CB A8 CD 49 : BC
EFB8 EB 7E 23 B7 28 07 E5 D5 : 2C
EFC0 CD FE EE D1 E1 03 1D C2 : 4D
EFC8 B9 EF C9 D5 1E 00 57 CB : 86
EFD0 A8 F0 D9 C9 CB A8 CB F0 : 6A
EFD8 D9 CB 42 C4 00 F0 CB F8 : 5D
EFE0 D9 CB F8 D9 CB 52 C4 00 : 56
EFE8 F0 CB B0 D9 CB B0 D9 CB : 63
EFF0 4A C4 00 F0 CB B8 CB C8 : 34
EFF8 D9 CB B8 CB B8 D9 D1 C9 : 82

SUM: F4 FA BE F9 83 46 48 4D 0A7D

F000 ED 78 ED 59 CB E8 D9 ED : 24
F008 79 CB E8 D9 ED 78 ED 59 : B0
F010 CB D8 D9 ED 79 CB D8 D9 : 5E
F018 ED 78 ED 59 CB E0 D9 ED : 1C
F020 79 CB E0 D9 ED 78 ED 59 : A8
F028 CB 98 D9 ED 79 CB 98 D9 : DE
F030 ED 78 ED 59 CB A8 D9 ED : E4
F038 79 CB A8 D9 ED 78 ED 59 : 70
F040 CB D8 D9 ED 79 CB D8 D9 : 5E
F048 ED 78 ED 59 CB A0 D9 ED : DC
F050 79 CB A0 D9 ED 78 ED 59 : 68
F058 CB 98 D9 ED 79 CB 98 D9 : DE
F060 C9 D9 C5 E5 D9 E5 D9 C1 : A4
F068 CB A8 CD 49 EB D9 44 4D : DE
F070 D9 E5 D9 D5 C2 2A 26 00 : 81
F078 CB F5 ED 69 CB E0 ED 61 : 0F

SUM: FC 47 80 E8 18 E4 28 EB 96A2

F080 CB A0 D9 7E 36 00 23 B7 : D2
F088 C4 AE F0 D9 03 1D C2 7A : 97
F090 F0 C1 2A 07 00 26 00 09 : 11
F098 D1 D9 E1 ED 4B 07 00 06 : D0
F0A0 00 09 D9 15 C2 6E F0 D9 : F0
F0A8 E1 C1 D9 C3 07 07 D9 C5 : EA
F0B0 D9 C1 CB A8 E5 D5 CD FE : 92
F0B8 EE D1 E1 C9 E5 D5 CD 5F : 4F
F0C0 EB ED CD D3 F0 CB EC D1 : 44
F0C8 4D ED 59 CB E0 ED 51 CB : 47
F0D0 A0 E1 C9 E5 CD 49 EB 7E : AE
F0D8 36 00 B7 C4 FE EE E1 C9 : 47
F0E0 CD 70 EB CD BB 08 C3 E7 : 62
F0E8 08 CD 70 EB F5 2A 0E 00 : 5A
F0F0 E5 CD 17 08 2A 0E 00 D1 : DA
F0F8 B7 ED 52 28 12 F1 CD 64 : 52

SUM: 77 D6 A2 E0 79 AA D4 AD 1896

F100 07 CD 68 EB B7 28 05 CB : D6
F108 5F CC 25 EF C3 40 07 F1 : 3A
F110 B7 C8 C3 25 EF CD 70 BB : 7E
F118 2A 0E 00 C3 CB 08 CD 70 : 0B
F120 EB CD BB 08 C3 65 09 CD : 79
F128 70 EB 2A 0E 00 C3 4D 09 : AC
F130 E5 CD 5F EB CD 43 F1 CB : C8
F138 E8 ED 58 CB E0 ED 50 CB : E0
F140 A0 E1 C9 E5 CD 49 EB 7E : AE
F148 32 75 F6 21 76 F6 CB F0 : E5
F150 1F CD 65 F1 CB F8 1F 1F : 43
F158 CD 65 F1 CB B0 17 CD 65 : E7
F160 F1 CB B8 E1 C9 C5 30 12 : 25
F168 F5 16 08 ED 78 77 23 3E : 50
F170 08 80 47 15 C2 6B F1 F1 : F3
F178 C1 C9 01 08 00 09 C1 C9 : 26

SUM: DC 93 09 3B 65 93 87 7F 5729

F180 ED 59 CB E0 ED 51 CB A0 : 9A
F188 CB A8 CD 49 EB 7E B7 E5 : 8E
F190 C4 FE EE E1 3A 75 F6 77 : AD
F198 21 76 F6 CB F0 1F CD B8 : EC
F1A0 F1 CB F8 1F 1F CD B8 F1 : 68
F1A8 CB B0 17 CD B8 F1 CB B8 : 8B
F1B0 CB E8 AF 32 75 F6 E1 C9 : A9
F1B8 C5 30 14 F5 16 08 7E 36 : D0
F1C0 00 ED 79 23 3E 08 80 47 : 96
F1C8 15 C2 BE F1 F1 C1 C9 01 : 02
F1D0 08 00 09 C1 C9 21 F7 07 : BA
F1D8 22 58 07 2A 0E 00 22 73 : 4E
F1E0 F6 3A 26 00 32 6B F6 3A : 23
F1E8 F9 F6 32 6A F6 AF 32 9B : 6D
F1F0 F2 32 78 F2 CD AD F2 CD : C7
F1F8 AA 02 FE 1B 28 33 FE 0D : 2B

SUM: 23 73 63 5E 87 03 A1 CD 247B

F200 28 4D FE 01 20 07 21 9B : 57
F208 F2 AE 77 18 EA FE 20 38 : 6F
F210 09 01 A8 0E 5F CD E3 03 : D2
F218 18 17 57 7A 21 29 F2 01 : 3D
F220 09 00 ED B1 CC 77 05 18 : 07
F228 EC 02 06 0B 09 1C 1D 1E : 41
F230 1F CD AD F2 3A 6B F6 32 : 58
F238 26 00 3A 6A F6 32 69 F6 : 51
F240 2A 73 F6 22 0E 00 21 9B : 7F
F248 06 22 58 07 C3 F7 07 CD : 15
F250 AD F2 CD 70 EB B7 32 69 : 19
F258 F6 28 16 3E 08 32 69 F6 : 0B
F260 CD 7F F2 D5 CD 7F F2 62 : B3
F268 6B D1 E5 CD 96 F2 D1 18 : 5F
F270 03 CD 7F F2 CD 96 F2 3E : D4
F278 00 B7 20 B8 C3 F4 F1 CD : 04

SUM: 65 65 F5 DC 46 06 00 81 492D

▶ 高校に合格したら、やっと503FがX1Ckにつく。ばんざい！ と思ったらテープBASICではディスクが動かないんじゃないか、ちくしょう。せっかくウィザードリィのためにせっせと貯めた1万円が無駄になってしまふ。えーん。だから、どうかお願い、プレゼントの「夢幻戦士ヴァリス」ください。
山本 伸明 (15) 北海道


```

F280 68 EB E6 07 CB E8 57 B7 : 01
F288 20 02 ED 50 CB E0 ED 58 : 4F
F290 D5 CD 40 07 D1 C9 D5 CD : 25
F298 BF E2 3E 00 B7 C4 E4 08 : 56
F2A0 D1 7A 32 26 00 7B CD C8 : B3
F2A8 04 CD BF F2 C9 2A 73 F6 : DE
F2B0 CD 59 05 16 20 19 44 D0 : 0B
F2B8 ED 78 EE 08 ED 79 C9 2A : B4
F2C0 0E 00 E5 2A 73 F6 22 0E : B6
F2C8 00 E1 22 73 F6 C9 3E 01 : 74
F2D0 32 78 F2 C3 4D 06 3E 01 : F1
F2D8 32 78 F2 C3 53 06 21 68 : 41
F2E0 EF 22 55 06 21 ED 43 22 : DF
F2E8 57 06 21 61 EF 22 59 06 : 4F
F2F0 21 BC F0 21 70 09 3E CD : 73
F2F8 32 CC 04 21 8B ED 22 CD : 8A

```

SUM: B6 45 8A 61 08 5C 05 53 0F8D

```

F300 04 21 D5 F1 22 89 00 21 : B7
F308 CE F2 22 F0 05 21 D6 F2 : C0
F310 22 2C 06 AF 32 E0 12 21 : 48
F318 96 F6 11 97 F6 01 FF 07 : 31
F320 77 ED B0 21 F8 03 7E 23 : 01
F328 B7 C8 5F 56 23 3E C3 12 : 6A
F330 13 01 02 00 ED B0 18 EE : B9
F338 D6 04 40 EE 5B 06 3D EF : 95
F340 E7 06 61 F0 E4 08 E0 F0 : FA
F348 14 08 E9 F0 C8 08 15 F1 : CB
F350 F1 07 1E F1 4A 09 27 F1 : 72
F358 76 08 30 F1 97 08 80 F1 : AF
F360 CF 04 C3 04 D5 12 73 F3 : E7
F368 E2 12 89 F3 00 C5 D5 E5 : EF
F370 C3 E5 12 3A 69 F6 B7 28 : 32
F378 06 E5 CD C3 F3 E1 C9 D5 : ED

```

SUM: 7D EC 22 42 B0 41 E1 E5 A50C

```

F380 CD C8 F4 D1 AF 32 1B 13 : 69
F388 C9 F5 3A 69 F6 B7 28 09 : 3F
F390 F1 E5 C5 CD A3 F3 C1 E1 : A0
F398 C9 3A 1B 13 3C 32 1B 13 : CD
F3A0 F1 18 CA 2A 1B 13 26 00 : 51
F3A8 01 9D F5 09 77 4F 21 1B : 9E
F3B0 13 34 3E C8 BE 38 05 3A : 82
F3B8 15 EB BE D0 35 CD C3 F3 : 46
F3C0 79 18 E0 C5 CD 96 F5 47 : D5
F3C8 D5 21 9D F5 CD E0 F3 D1 : F9
F3D0 C1 3A 66 F6 B7 28 05 32 : 6D
F3D8 9D F5 3E 01 32 1B 13 C9 : FA
F3E0 3A 2C EB 32 FC F4 AF 32 : 54
F3E8 66 F6 4F 3A 1C BC 30 20 : 46
F3F0 2F CD 0F F4 E5 C5 0E 00 : B7

```

F3F8 CD A8 F4 CD 0A F4 C1 E1 : D6

SUM: B2 AF 27 C3 91 C6 E8 9E 7F8E

```

F400 0E 01 CD A8 F4 11 35 EB : A9
F408 18 08 11 43 EB 18 03 11 : 8B
F410 3D EB 1A B7 C8 C5 47 13 : E0
F418 1A CD 6D F3 10 F9 C1 C9 : DA
F420 78 B7 CA C8 F4 AF 32 65 : FB
F428 F6 7E CD 58 EC 57 38 29 : 3D
F430 05 28 21 23 5E CD 9F EB : 26
F438 CD 7F F4 CD 6D F4 7A CD : B5
F440 6D F3 7B CD 6D F3 CD 76 : 4B
F448 F4 CD 91 F4 23 10 DA CD : 20
F450 96 F4 18 74 32 66 F6 18 : BC
F458 F6 3A 19 EB FE FF 28 04 : 5D
F460 5A 57 18 D4 CD 96 F4 7A : 6E
F468 CD 6D F3 18 DF D5 11 23 : 2D
F470 EB CD 12 F4 D1 C9 D5 11 : 3E
F478 28 EB CD 12 F4 D1 C9 3A : BA

```

SUM: E4 07 38 B7 93 1B 2B 65 FF84

```

F480 65 F6 B7 C0 3C 32 65 F6 : 9B
F488 D5 11 1B EB CD 12 F4 D1 : 90
F490 C9 3A 1A EB B7 C8 3A 65 : 26
F498 F6 B7 C8 AF 32 65 F6 D5 : 86
F4A0 11 1F EB CD 12 F4 D1 C9 : 88
F4A8 78 B7 28 1C CD 3D F5 56 : C8
F4B0 7A CD 58 EC 38 1D 05 28 : 0D
F4B8 15 23 5E C5 E5 CD 9F EB : 97
F4C0 CD DA F4 E1 C1 23 10 E7 : 57
F4C8 11 16 EB C3 12 F4 CD 8E : 36
F4D0 F5 18 F5 C5 E5 CD E6 F4 : 53
F4D8 18 E9 C5 21 76 F6 CD D4 : F4
F4E0 EB C1 16 02 18 07 C5 CD : 75
F4E8 10 F5 C1 16 01 0D 21 76 : 81
F4F0 F6 20 01 23 0E 08 06 08 : 5E
F4F8 E5 AF CB 06 17 23 23 10 : D2

```

SUM: D2 34 B9 AA 5A A5 92 CB 6613

```

F500 F9 CD 6D F3 E1 0D 20 EE : 22
F508 01 10 00 09 15 20 E5 C9 : FD
F510 3A 26 00 E6 20 28 0C 21 : BB
F518 76 F6 1E 16 CD 52 EC 1C : C7
F520 C3 52 EC AF CD 16 5F 21 : 0A
F528 86 F6 E5 CD 52 EC E1 11 : 5E
F530 76 F6 06 08 7E 23 12 13 : 40
F538 12 13 10 F8 C9 11 2D EB : 1F
F540 CD 12 F4 E5 68 26 00 29 : 6F
F548 29 29 3A 34 EB B7 28 34 : BE
F550 3D 28 2E C5 01 E8 03 CD : 11

```

```

F558 77 F5 CD 6D F3 01 64 00 : FE
F560 CD 77 F5 CD 6D F3 0E 0A : 7E
F568 CD 77 F5 CD 6D F3 3E 30 : D4
F570 85 CD 6D F3 C1 E1 C9 3E : 5B
F578 2F B7 3C ED 42 30 FB 09 : 85

```

SUM: 73 14 2E 39 66 98 1B CF 8F2C

```

F580 C9 7D 6C 67 7C CD 6D F3 : C2
F588 7D CD 6D F3 E1 C9 32 66 : EC
F590 F6 16 20 C3 E6 F4 21 1B : 05
F598 13 7E 36 00 C9 00 00 00 : 90
F5A0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5A8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5B0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5B8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5C0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5C8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5D0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5D8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5E0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5E8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5F0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F5F8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00

```

SUM: 4F DE 2F 1D 0C 8A C0 74 665C

```

F600 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F608 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F610 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F618 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F620 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F628 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F630 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F638 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F640 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F648 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F650 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F658 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F660 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F668 00 08 00 00 00 00 00 00 : 08
F670 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F678 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00

```

SUM: 00 08 00 00 00 00 00 CF76

```

F680 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F688 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
F690 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00

```

SUM: 00 00 00 00 00 00 00 0000

リスト4 KAN&LPソースリスト

```

0000 1 ; KANJI extend package for CZ-8C/FB01
0000 2 ;
0000 3 ; Written by Kota Abe
0000 4 ;
0000 5 ; September - November
0000 6 ; 1986
0000 7 ;
0000 8 LEFT EQU 764H ;IOCS couor move left
0000 9 RIGHT EQU 740H ; right
0000 10 ATTRWK EQU 0026H ;IOCS color attribute work
0000 11 POSWK EQU 131BH ;Monitor printer position work
0000 12 ;
0000 13 ;CONV_JIS EQU 0FC52H ;(with KANJI INPUT.Obj)
0000 14 ;READKR2 EQU 0FE82H ;(with KANJI INPUT.Obj)
0000 15 ;STFJIS? EQU 0ECA0H ;(with KANJI INPUT.Obj)
0000 16 ;CGREAD EQU 0FE13H ;(with KANJI INPUT.Obj)
0000 17 ;
0000 18 ;ORG 0D700H ;(with KANJI INPUT.Obj)
0000 19 ;ORG 0EB00H ;(without KANJI INPUT.Obj)
0000 20 ;
0000 21 JP CHANGE ;IOCS ^ patch
0000 22 ;
0000 23 #MODE ; KMODE シェリ routine
0000 24 LD A,0
0000 25 CALL NZ,4C5BH ;FB01 V20,get operand (0-255)
0000 26 ;7F95H ;FB01 V10
0000 27 ;7738H ;CB01 V10
0000 28 CP 841
0000 29 JR NC,ERR
0000 30 LD (KMODE),A
0000 31 RET
0000 32 ;
0000 33 ERR
0000 34 LD A,5 ;illegal function call ERROR
0000 35 JP 202FH ;FB01 V20,ERROR entry
0000 36 ;2076H ;FB01 V10
0000 37 ;2064H ;CB01 V10
0000 38 ;
0000 39 ; Printer install data area
0000 40 ; CZ-80PK 7 Graphic printer 777 フォント data)
0000 41 DATMAX DB 120 ;printer width max
0000 42 DATCR DB 01,0AH,00;printer CR code
0000 43 DATHAN DB 0FFH ;ハタキ higher byte
0000 44 DATKANPR DB 0FFH ;KANJ printer:01 Gra.printer 0FFH
0000 45 DATKIN DS 4 ;KANJ IN code (KNJ)
0000 46 DATKOUT DS 4 ;KANJ OUT code (KNJ)
0000 47 DATDOTSPF DS 5 ;dot space vx 777 code (KNJ)
0000 48 ;

```

```

0000 48 DATDOTSPA DS 4 ;dot space 777 フォント code (KNJ)
0000 49 DATMLSB DB 17H ;MSB:17H LSB:1FH
0000 50 ;character dot 777 set
0000 51 DATDOT DB 5,1BH,45H,1BH,25H,32H,00
0000 52 DATNUM DB 00 ;data ノ カマ シティ 2027
0000 53 ;dot 777 フォント code
0000 54 DATRESET DB 04,1BH,52H,1BH,36H,00,00,00
0000 55 DAT1PASS DB 04,1BH,25H,39H,01H,00 ;for pass1
0000 56 DAT2PASS DB 04,1BH,25H,39H,17H,00 ;for pass2
0000 57 ;
0000 58 ; Calc (HL) KVRAM (BC ADRES)
0000 59 CALCKV
0000 60 LD HL,KVRAM
0000 61 ADD HL,BC
0000 62 RET
0000 63 ;
0000 64 ; Set cursor adrs to FCUR/ACUR
0000 65 SETFCUR
0000 66 LD HL,(000EH)
0000 67 LD (FCUR),HL
0000 68 RET
0000 69 ;
0000 70 SETACUR
0000 71 LD HL,(000EH)
0000 72 LD (ACUR),HL
0000 73 RET
0000 74 ;
0000 75 CONVADRN
0000 76 LD HL,(000EH)
0000 77 CONVADR
0000 78 CALL 0559H
0000 79 LD D,0
0000 80 ADD HL,DE
0000 81 LD BC,HL ;BC CUR ADRES
0000 82 RET
0000 83 ;
0000 84 PEEKKV ;data of KVRAM (now cursor)
0000 85 CALL CONVADRN
0000 86 CALL CALCKV
0000 87 LD A,(HL)
0000 88 RET
0000 89 ;
0000 90 ADJUSTCUR ;adjust cursor
0000 91 CALL PEEKKV

```

このハガキが載る頃には、たぶん大学生になってコンピュータばかりやっていると
 思えます。僕はX1Cなので、こんどはX1Dを買おうかな。そうして5インチディスクを付け
 れば無敵である。なにせX1Dは安いっ！

小島 忠晴 (17) 愛知県


```

EB73 F5 92 PUSH AF
EB74 C8 5F 93 BIT 3,A
EB76 C4 64 07 94 CALL NZ,LEFT
EB79 F1 95 POP AF
EB7A C9 96 RET
EB7B 97
EB7B 98 ADJUSTKAN ;adjust kanji pattern
EB7B CD 68 EB 99 CALL PERKKV
EB7E B7 100 OR A
EB7F C8 101 RET Z
EB80 CB 5F 102 BIT 3,A
EB82 28 09 103 JR Z,ADJK2
EB84 CD 64 07 104 CALL LEFT
EB87 CD 25 EF 105 CALL CLKAN
EB8A C3 40 07 106 JP RIGHT
EB8D 107 ADJK2
EB8D CD 40 07 108 CALL RIGHT
EB90 CD 25 EF 109 CALL CLKAN
EB93 C3 64 07 110 JP LEFT
EB96 111
EB96 112 READKR ;read KANJI ROM
EB96 113 JISWR ;input [JISWR+1] (JIS code)
EB96 11 00 00 114 LD DE,0000H ;JIS code
EB99 21 76 F6 115 LD HL,PATTERN
EB9C C3 D4 EB 116 JP READKR2
EB9F 117
EB9F 118 ; コマンドが有効な CONV_JIS,READKR2,SFTJIS?
EB9F 119 ; KANJI INPUT .Obj にインサートされたコマンドが有効な場合
EB9F 120 ; KANALP1.Obj のコマンドを delete して OK
EB9F 121 ; @@ (delete from)
EB9F 122
EB9F 123 ; Convert Shift-JIS code to JIS code
EB9F 124 ;
EB9F 125 ; input DE (Shift-JIS)
EB9F 126 ; output DE (JIS)
EB9F 127 ;
EB9F 128 CONV_JIS
EB9F 7A 129 LD A,D ;High
EBA0 D6 81 130 SUB 81H
EBA2 FE 6F 131 CP 6FH
EBA4 30 29 132 JR NC,STRANGE
EBA6 FE 1F 133 CP 1FH
EBA8 38 06 134 JR C,JIS0
EBAE FE 3F 135 CP 3FH
EBAC 38 21 136 JR C,STRANGE
EBAE D6 40 137 SUB 40H
EBB0 138 JIS0
EBB0 87 139 ADD A,A
EBB1 C8 21 140 ADD A,21H
EBB3 57 141 LD D,A
EBB4 7B 142 LD A,E ;Low
EBB5 D6 40 143 SUB 40H
EBB7 FE BD 144 CP 0BDH
EBB9 30 14 145 JR NC,STRANGE
EBBB FE 3F 146 CP 3FH
EBBD 28 10 147 JR Z,STRANGE
EBBF 30 01 148 JR NC,JIS1
EBC1 3C 149 INC A
EBC2 150 JIS1
EBC2 FE 5F 151 CP 5FH
EBC4 30 04 152 JR NC,JIS2
EBC6 C6 20 153 ADD A,20H
EBC8 5F 154 LD E,A
EBC9 C9 155 RET
EBCA 156 JIS2
EBCA 14 157 INC D
EBCB D6 3E 158 SUB 3EH
EBCD 5F 159 LD E,A
EBCF C9 160 RET
EBCF 161 STRANGE
EBCF 11 28 22 162 LD DE,2228H ;"#" mark(JIS)
EBD2 37 163 SCF
EBD3 C9 164 RET
EBD4 165
EBD4 166 ;
EBD4 167 ; Read KANJI-ROM
EBD4 168 ;
EBD4 169 ; input DE (JIS code)
EBD4 170 ; output (PATTERN 32bytes)
EBD4 171 ;
EBD4 172 READKR2 ;input DE (JIS code)
EBD4 7A 173 LD A,D
EBD5 FE 76 174 CP 76H ;Gaiji ?
EBD7 20 1B 175 JR NZ,KAN
EBD9 7B 176 LD A,E
EBDA D6 21 177 SUB 21H
EBDC FE 40 178 CP 40H
EBDE 30 20 179 JR NC,STR
EBE0 87 180 ADD A,A
EBE1 87 181 ADD A,A
EBE2 57 182 LD D,A
EBE3 1E 15 183 LD E,15H
EBE5 CD 52 EC 184 CALL CGREAD
EBE8 14 185 INC D
EBE9 CD 52 EC 186 CALL CGREAD
EBEC 14 187 INC D
EBED CD 52 EC 188 CALL CGREAD
EBF0 14 189 INC D
EBF1 C3 52 EC 190 JP CGREAD
EBF4 191 KAN
EBF4 FE 29 192 CP 29H
EBF6 38 0B 193 JR C,READ
EBF8 FE 30 194 CP 30H
EBFA 38 04 195 JR C,STR
EBFC FE 50 196 CP 50H
EBFE 38 03 197 JR C,READ
EC00 198 STR
EC00 11 28 22 199 LD DE,2228H
EC03 200 READ
EC03 DD E5 201 PUSH IX
EC05 E5 202 PUSH HL ;keep store adrs
EC06 7B 203 LD A,E
EC07 D6 20 204 SUB 20H
EC09 6F 205 LD L,A
EC0A 26 00 206 LD H,00H
EC0C 01 80 0E 207 LD BC,0E80H;KANJI-ROM I/O
EC0F ED 51 208 OUT (C),D
EC11 0C 209 INC C
EC12 ED 61 210 OUT (C),H
EC14 0C 211 INC C
EC15 24 212 INC H
EC16 ED 61 213 OUT (C),H
EC18 25 214 DEC H
EC19 0D 215 DEC C
EC1A 0D 216 DEC C
EC1B ED 50 217 IN D,(C)
EC1D 0C 218 INC C
EC1E ED 78 219 IN A,(C)
EC20 0C 220 INC C
EC21 ED 61 221 OUT (C),H
EC23 0D 222 DEC C
EC24 0D 223 DEC C
EC25 5C 224 LD E,H
EC26 29 225 ADD HL,HL
EC27 29 226 ADD HL,HL

```

```

EC28 29 227 ADD HL,HL
EC29 29 228 ADD HL,HL
EC2A 19 229 ADD HL,DE
EC2B ED 69 230 OUT (C),L
EC2D 0C 231 INC C
EC2E ED 61 232 OUT (C),H
EC30 0C 233 INC C
EC31 234
EC31 DD E1 235 POP IX ;get store adrs
EC33 16 10 236 LD D,10H
EC35 21 00 01 237 LD HL,100H
EC38 238 READLOOP
EC38 ED 61 239 OUT (C),H
EC3A 0D 240 DEC C
EC3B 0D 241 DEC C
EC3C ED 78 242 IN A,(C)
EC3E DD 77 00 243 LD (IX+00H),A
EC41 0C 244 INC C
EC42 ED 78 245 IN A,(C)
EC44 DD 77 10 246 LD (IX+10H),A
EC47 0C 247 INC C
EC48 ED 69 248 OUT (C),L
EC4A DD 23 249 INC IX
EC4C 15 250 DEC D
EC4D 20 E9 251 JR NZ,READLOOP
EC4F DD E1 252 POP IX
EC51 C9 253 RET
EC52 254
EC52 255 CGREAD
EC52 D5 256 PUSH DE
EC53 CD 33 00 257 CALL 0033H ;READ CG(10CS)
EC56 D1 258 POP DE
EC57 C9 259 RET
EC58 260
EC58 261 ;
EC58 262 ; Shift-JIS higher byte?
EC58 263 ;
EC58 264 ; input A (JIS higher byte)
EC58 265 ; output CY (1..ascii 0..shift-JIS)
EC58 266 ;
EC58 267 SFTJIS?
EC58 FE 80 268 CP 80H
EC5A D8 269 RET C
EC5B FE A0 270 CP 0A0H
EC5D 3F 271 CCF
EC5E D0 272 RET NC
EC5F FE E0 273 CP 0E0H
EC61 C9 274 RET
EC62 275
EC62 276 ; @@ (delete to)
EC62 277 ; コマンド ..
EC62 278
EC62 279
EC62 280 ;
EC62 281 ; Translate 16dot to 8dot (Y)
EC62 282 ; KANJI の 77 8dot = シフト 16
EC62 283 ; input none
EC62 284 ; output (PATTERN 16bytes)
EC62 285 ;
EC62 286 TRNS8
EC62 F5 287 PUSH AF
EC63 21 76 F6 288 LD HL,PATTERN;read pointer
EC66 54 5D 289 LD DE,HL ;write pointer
EC68 06 10 290 LD B,15
EC6A 291 TRNS80
EC6A 7E 292 LD A,(HL) ;get
EC6B 23 293 INC HL
EC6C B6 294 OR (HL)
EC6D 12 295 LD (DE),A
EC6E 23 296 INC HL
EC6F 13 297 INC DE
EC70 10 F8 298 DJNZ TRNS80
EC72 F1 299 POP AF
EC73 C9 300 RET
EC74 301
EC74 302 ;
EC74 303 ; Translate 16dot to 32dot (X)
EC74 304 ; KANJI の 22 24 = シフト 16
EC74 305 ; input none
EC74 306 ; output (PATTERN 32bytes)
EC74 307 ;
EC74 308 TRNS32
EC74 F5 309 PUSH AF
EC75 DD E5 310 PUSH IX
EC77 21 85 F6 311 LD HL,PATTERN+16 ;source
EC7A DD 21 8D F6 312 LD IX,PATTERN+23 ;dest.
EC7E 0E 02 313 LD C,2 ;loop times
EC80 314 TRNS320
EC80 06 08 315 LD B,8 ;
EC82 316 TRNS321
EC82 C5 317 PUSH BC
EC83 06 08 318 LD B,8 ;loop times
EC85 7E 319 LD A,(HL)
EC86 320 TRNS322
EC86 07 321 RLC A ;shift data
EC87 CB 13 322 RL E
EC89 CB 12 323 RL D
EC8B 0F 324 RRCA
EC8C CB 13 325 RL E
EC8E CB 12 326 RL D
EC90 07 327 RLC A
EC91 10 F3 328 DJNZ TRNS322
EC93 329
EC93 C1 330 POP BC
EC94 DD 72 00 331 LD (IX+0),D
EC97 DD 73 08 332 LD (IX+8),E
EC9A 2B 333 DEC HL
EC9B DD 2B 334 DEC IX
EC9D 10 E3 335 DJNZ TRNS321
EC9F 336
EC9F DD 21 7D F6 337 LD IX,PATTERN+7
ECA3 0D 338 DEC C
ECA4 20 DA 339 JR NZ,TRNS320
ECA6 DD E1 340 POP IX
ECA8 F1 341 POP AF
ECA9 C9 342 RET
ECAB 343
ECAB 344 ;
ECAB 345 ; Translate 16dot to 8dot (Y)
ECAB 346 ;
ECAB 347 ; input none
ECAB 348 ; output (PATTERN 16bytes)
ECAB 349 ;
ECAB 350 TRNS16 ;for upper
ECAB 21 86 F6 351 LD HL,PATTERN+16
ECAD 11 7E F6 352 LD DE,PATTERN+8
ECB0 01 08 00 353 LD BC,8
ECB3 ED B0 354 LDIR
ECB5 C9 355 RET
ECB6 356
ECB6 357 TRNS162 ;for under
ECB6 21 7E F6 358 LD HL,PATTERN+8
ECB9 11 76 F6 359 LD DE,PATTERN
ECBC 01 08 00 360 LD BC,8
ECBF ED B0 361 LDIR

```



```

ECC1 21 8E F6 362 LD HL,PATTERN+24
ECC2 11 7E F6 363 LD DE,PATTERN+8
ECC3 01 08 00 364 LD BC,8
ECC4 ED B0 365 LDIR
ECC5 C9 366 RET
ECC6 367
ECC7 368
ECC8 369 ;
ECC9 370 ; Write KANJI pattern (8dot)
ECCD 371 ;
ECCD 372 ; input BC (G-RAM un-offsetted adrs)
ECCD 373 ; (PATTERN -16) KANJI pattern (8dot)
ECCD 374 ; output none
ECCD 375 ;
ECCD 376
ECCD 377 WRITEKAN;usually this routine is for under 8dot
ECCD 378 ;if you change CHG4, for upper 8dot
ECCD CD 5A 0A 379 CALL 0A5AH ;set palet,priority
ECD0 2A 6F F6 380 LD HL,(FCUR)
ECD3 22 0E 00 381 LD (000EH),HL
ECD6 CD 5F ED 382 CALL CONVADR
ECD9 AF 383 XOR A
ECDA 32 36 ED 384 LD (CHG0+1),A ;left side
ECDD 21 76 F6 385 LD HL,PATTERN
ECE0 386 SFTJISWK
ECE0 11 00 00 387 LD DE,0000H ;D ShiftJIS higher
ECE3 CD F5 EC 388 CALL WRKAN2
ECE6 389
ECE6 E5 390 PUSH HL
ECE7 2A 71 F6 391 LD HL,(ACUR)
ECEA 22 0E 00 392 LD (000EH),HL
ECED CD 5F EB 393 CALL CONVADR
ECF0 E1 394 POP HL
ECF1 ED 5B E0 EC 395 LD DE,(SFTJISWK+0) ;E ShiftJIS lower
ECF5 396
ECF5 397 WRKAN2
ECF5 C5 398 PUSH BC
ECF6 D5 399 PUSH DE
ECF7 E5 400 PUSH HL
ECF8 CD 7B EB 401 CALL ADJUSTKAN
ECFB E1 402 POP HL
ECFC D1 403 POP DE
ECFD C1 404 POP BC
ECFE 405 CHG4
ECFE C3 01 ED 406 JP SIDE
ED01 407
ED01 408
ED01 409 SIDE
ED01 3A 6E F6 410 LD A,(BANK);(data which write to text VRAM)
ED04 CB 77 411 BIT 6,A
ED06 28 0F 412 JR Z,SIDE2 ;if CSIZE2/3
ED08 E5 413 PUSH HL
ED09 60 69 414 LD HL,BC ;width
ED0B ED 4B 07 00 415 LD BC,(0007H)
ED0F 06 00 416 LD B,0
ED11 B7 ED 42 417 SUB HL,BC
ED14 44 4D 418 LD BC,HL
ED16 E1 419 POP HL
ED17 420 SIDE2 ;entry SIDE2
ED17 CD 29 ED 421 CALL SETKVRAM
ED1A CD 4A ED 422 CALL HALF
ED1D 03 423 INC BC
ED1E 424
ED1E 3A 6E F6 425 LD A,(BANK)
ED21 CB 7F 426 BIT 7,A
ED23 C8 427 RET Z
ED24 CD 29 ED 428 CALL SETKVRAM
ED27 18 21 429 JR HALF
ED29 430
ED29 431 SETKVRAM
ED29 E5 432 PUSH HL
ED2A CD 49 EB 433 CALL CALCKV ;D (K-VRAM data)
ED2D 7E 434 LD A,(HL)
ED2E F5 435 PUSH AF
ED2F 3A 6E F6 436 LD A,(BANK)
ED32 F5 437 PUSH AF
ED33 E6 07 438 AND 7
ED35 439 CHG0
ED35 F6 08 440 OR 8 ;left side flag
ED37 77 441 LD (HL),A ;BC (un-off adrs)
ED38 F1 442 POP AF
ED39 CB E8 443 SET 5,B ;attr.
ED3B E6 C0 444 AND 0C0H
ED3D ED 79 445 OUT (C),A
ED3F CB E0 446 SET 4,B ;cha.
ED41 ED 51 447 OUT (C),D
ED43 CB A8 448 RES 5,B
ED45 CB A0 449 RES 4,B
ED47 F1 450 POP AF ;A before data of KVRAM
ED48 E1 451 POP HL
ED49 C9 452 RET
ED4A 453
ED4A 454
ED4A 455 HALF
ED4A E5 456 PUSH HL
ED4B C5 457 PUSH BC
ED4C CD FE EE 458 CALL ERASEKAN
ED4F C1 459 POP BC
ED50 E1 460 POP HL
ED51 461
ED51 C5 462 PUSH BC
ED52 16 08 463 LD D,08
ED54 464 HALF0
ED54 7E 465 LD A,(HL)
ED55 23 466 INC HL
ED56 E5 467 PUSH HL
ED57 2A 6E F6 468 LD HL,(BANK) ;Color attr.(L)
ED5A CB 5D 469 BIT 3,L ;CREV1 ?
ED5C 28 01 470 JR Z,CREV0
ED5E 2F 471 CPL
ED5F 472 CREV0
ED5F CB F0 473 SET 6,B ;blue
ED61 CB 45 474 BIT 0,L ;blue 1?
ED63 C4 88 ED 475 CALL NZ,WR
ED66 CB F8 476 SET 7,B ;green
ED68 CB 55 477 BIT 2,L ;green 1
ED6A C4 88 ED 478 CALL NZ,WR
ED6D CB B0 479 RES 6,B
ED6F CB 4D 480 BIT 1,L ;red 1?
ED71 C4 88 ED 481 CALL NZ,WR
ED74 CB B8 482 RES 7,B ;recover
ED76 3E 08 483 LD A,8 ;ldot under
ED78 80 484 ADD A,B
ED79 47 485 LD B,A
ED7A E1 486 POP HL
ED7B 15 487 DEC D
ED7C 20 D6 488 JR NZ,HALF0
ED7E C1 489 POP BC
ED7F 3A 36 ED 490 LD A,(CHG0+1)
ED82 E5 08 491 XOR 8
ED84 32 36 ED 492 LD (CHG0+1),A
ED87 C9 493 RET
ED88 494
ED88 495 WR
ED88 ED 79 496 OUT (C),A

```

```

ED8A C9 497 RET
ED8B 498
ED8B 499
ED8B 500 ;
ED8B 501 ; Extend PRINT#0 for KANJI
ED8B 502 ;
ED8B 503 ; input A (Shift-JIS/Ascii)
ED8B 504 ; output none
ED8B 505 ;
ED8B 506 PRINT#0
ED8B F5 507 PUSH AF
ED8C 3A 69 F6 508 LD A,(KMODE)
ED8F B7 509 OR A
ED90 C2 A0 ED 510 JP NZ,EX1#
ED93 AF 511 XOR A
ED94 32 68 F6 512 LD (JISH2),A
ED97 F1 513 POP AF
ED98 57 514 LD D,A
ED99 3A 26 00 515 LD A,(ATTRWK)
ED9C 5F 516 LD E,A
EDA0 C3 E2 04 517 JP 4E2H ;Jump to 10CS if KMODE=0
EDA0 518 EX1#
EDA0 CD 14 EE 519 CALL CALCBANK
EDA3 32 6E F6 520 LD (BANK),A
EDA6 21 26 EE 521 LD HL,AFTER
EDA9 22 FC EE 522 LD (CHG1+1),HL ;PRINT patch
EDAC 523
EDAC AF 524 XOR A
EDAD 32 67 F6 525 LD (JISH),A
EDB0 526
EDB0 F1 527 POP AF
EDB1 32 6C F6 528 LD (PRDATA),A
EDB4 529
EDB4 530 ;
EDB4 5F 531 LD E,A
EDB5 3A 68 F6 532 LD A,(JISH2)
EDB8 21 6D F6 533 LD HL,COUNT
EDBB B6 534 OR (HL)
EDBC 20 07 535 JR NZ,PR2#
EDBE 78 536 LD A,E
EDBF CD 58 EC 537 CALL SFTJIS?
EDC2 DA EC EE 538 JP C,PRASCI
EDC5 539 PR2#
EDC5 3A 6E F6 540 LD A,(BANK)
EDC8 07 541 RLCA
EDC9 07 542 RLCA
EDCA E6 03 543 AND 03H
EDCC 21 F0 ED 544 LD HL,CSTABLE
EDCF 4F 545 LD C,A
EDD0 87 546 ADD A,A
EDD1 81 547 ADD A,C ;A=A*3
EDD2 4F 548 LD C,A
EDD3 06 00 549 LD B,0
EDD5 09 550 ADD HL,BC
EDDE 3A 6D F6 551
EDDE 3C 552 LD A,(COUNT);inc counter
EDDA 32 6D F6 554 LD (COUNT),A
EDDD BE 555 CP (HL)
EDDE 20 05 556 JR NZ,CMP
EDE0 AF 557 XOR A
EDE1 32 6D F6 558 LD (COUNT),A
EDE4 7E 559 LD A,(HL)
EDE5 560 CMP
EDE5 23 561 INC HL
EDE6 BE 562 CP (HL) ;JIS H
EDE7 28 13 563 JR Z,HYTE
EDE9 23 564 INC HL
EDEA BE 565 CP (HL) ;JIS L
EDER 28 19 566 JR Z,LBYTE
EDEED C3 E6 EE 567 JP BYE
EDF0 568
EDF0 569 CSTABLE
EDF0 02 01 02 570 DB 2,1,2 ;for CSIZE0
EDF3 04 02 04 571 DB 4,2,4 ; 1
EDF6 04 01 03 572 DB 4,1,3 ; 2
EDF9 08 02 06 573 DB 8,2,6 ; 3
EDFC 574
EDFC 575
EDFC 576 HYTE
EDFC 7B 577 LD A,E
EDFD 32 68 F6 578 LD (JISH2),A
EE00 CD 4E EB 579 CALL SETFCUR
EE03 C3 E6 BE 580 JP BYE
EE06 581 LBYTE
EE06 3A 68 F6 582 LD A,(JISH2)
EE09 57 583 LD D,A
EE0A AF 584 XOR A
EE0B 32 68 F6 585 LD (JISH2),A
EE0E CD 55 EB 586 CALL SETACUR
EE11 C3 9D EE 587 JP PUTKANJI
EE14 588
EE14 589 CALCBANK ;A KMODE
EE14 FE 08 590 CP 8 ;A data of BANK
EE16 28 0A 591 JR Z,COL8
EE18 E6 07 592 AND 07H
EE1A 6F 593 LD L,A
EE1B 3A 26 00 594 LD A,(ATTRWK)
EE1E E6 F8 595 AND 0F8H ;0-7
EE20 B5 596 OR L
EE21 C9 597 RET
EE22 598 COL8
EE22 3A 26 00 599 LD A,(ATTRWK)
EE25 C9 600 RET
EE26 601
EE26 602 AFTER ;PRINT#0 712#0
EE26 3A 6C F6 603 LD A,(PRDATA)
EE29 57 604 LD D,A
EE2A 3A 26 00 605 LD A,(ATTRWK)
EE2D 5F 606 LD E,A
EE2E C3 E2 04 607 JP 4E2H
EE31 608
EE31 3A 67 F6 609 SWAPJISH
EE34 F5 610 LD A,(JISH)
EE35 3A 68 F6 611 PUSH AF
EE38 32 67 F6 612 LD A,(JISH2)
EE3B F1 613 LD (JISH),A
EE3C 32 68 F6 614 POP AF
EE3F C9 615 LD (JISH2),A
EE40 616
EE40 617 ;
EE40 618 ; Extend "Print 1 character" for KANJI
EE40 619 ;
EE40 620 ; input A (Shift-JIS H/L byte or Ascii byte)
EE40 621 ; output none
EE40 622 ;
EE40 623 ;
EE40 624
EE40 625 ; jump from 10CS 4D6H A..Ascii/Shift-JIS
EE40 626 EXT
EE40 F5 627 PUSH AF
EE41 3A 69 F6 628 LD A,(KMODE)
EE44 B7 629 OR A
EE45 C2 55 EE 630 JP NZ,EX1
EE48 AF 631 XOR A

```

▶ X1マニアタイプを購入しては4年。 BASICは一応マスターしたつもりですが、プログラミングは奥が深い。次々と発売される周辺機器を、女房の目をカサめて購入するのものと苦勞です。X1は魔物だ！

福田 文夫 (47) 東京都


```

EE49 32 67 F6 632 LD (JISH),A
EE4C F1 633 POP AF
EE4D FE 20 634 CP 20H
EE4F DA 77 05 635 JP C,577H
EE52 C3 DB 04 636 JP 4DBH ;Jump to IOCS if KMODE=0
EE55 637 EX1
EE55 CD 14 EE 638 CALL CALCBANK
EE58 E6 3F 639 AND 3FH
EE5A 32 6E F6 640 LD (BANK),A
EE5D 21 DB 04 641 LD HL,4DBH
EE60 22 FC EE 642 LD (CHG1+1),HL ;PRINT patch
EE63 643
EE63 F1 644 POP AF
EE64 FE 20 645 CP 20H
EE66 30 17 646 JR NC,PRINT
EE68 F5 647 PUSH AF ;control code
EE69 3A 67 F6 648 LD A,(JISH)
EE6C B7 649 OR A
EE6D 28 0C 650 JR Z,CTRL2
EE6F F5 651 PUSH AF
EE70 CD 64 07 652 CALL LEFT
EE73 F1 653 POP AF
EE74 CD EC EE 654 CALL PRASCI1
EE77 AF 655 XOR A
EE78 32 67 F6 656 LD (JISH),A
EE7B 657 CTRL2
EE7B F1 658 POP AF
EE7C C3 77 05 659 JP 577H ;control code
EE7F 660
EE7F 662 PRINT
EE7F 5F 663 LD E,A
EE80 AF 664 XOR A
EE81 32 68 F6 665 LD (JISH2),A
EE84 3A 67 F6 666 LD A,(JISH)
EE87 B7 667 OR A
EE88 20 0F 668 JR NZ,CADR
EE8A CD 4E EB 669 CALL SETFCUR
EE8D 7B 670 LD A,E
EE8E 32 67 F6 671 LD (JISH),A
EE91 CD 58 EC 672 CALL SFTJIS2
EE94 D2 E6 EE 673 JP NC,BYE ; yes
EE97 18 53 674 JR PRASCI1
EE99 675
EE99 676 CADR
EE99 57 677 LD D,A
EE9A CD 55 EB 678 CALL SETACUR
EE9D 679 PUTKANJ1
EE9D ED 53 E1 EC 680 LD (SFTJISWK+1),DE
EEA1 CD 9F EB 681 CALL CONV JIS;DE=JIS code
EEA4 ED 53 97 EB 682 LD (JISWK+1),DE
EEA8 CD 96 EB 683 CALL READKR ;
EEAB 3A 6E F6 684 LD A,(BANK)
EEAE CB 77 685 BIT 6,A
EEB0 C4 AA EC 686 CALL NZ,TRNS16
EEB3 CC 62 EC 687 CALL Z,TRNS8
EEB6 CB 7F 688 BIT 7,A
EEB8 C4 74 EC 689 CALL NZ,TRNS32
EEBB 21 01 ED 690 LD HL,SIDE;upper
EEBE 22 FF EC 691 LD (CHG4+1),HL
EEC1 CD CD EC 692 CALL WRITEKAN
EEC4 693
EEC4 3A 6E F6 694 LD A,(BANK)
EEC7 CB 77 695 BIT 6,A
EEC9 28 17 696 JR Z,PTKJ2
EECB 697
EECB CD 96 EB 698 CALL READKR
EECE 3A 6E F6 699 LD A,(BANK)
EED1 CD B6 EC 700 CALL TRNS162
EED4 CB 7F 701 BIT 7,A
EED6 C4 74 EC 702 CALL NZ,TRNS32
EED9 21 17 ED 703 LD HL,SIDE2;under
EEDC 22 FF EC 704 LD (CHG4+1),HL
EEDF CD CD EC 705 CALL WRITEKAN
EEF2 706
EEF2 707 PTKJ2
EEF2 AF 708 XOR A
EEF3 32 67 F6 709 LD (JISH),A
EEF6 710 BYE
EEF6 2A 0E 00 711 LD HL,(000EH);Cursor
EEF9 C3 FA 04 712 JP 4FAH ;Jump to IOCS
EEFC 713 PRASCI1 ;A print character
EEFC F5 714 PUSH AF
EEED CD 7B EB 715 CALL ADJUSTKAN
EEF0 CD 25 EF 716 CALL CLKAN
EEF3 AF 717 XOR A
EEF4 32 67 F6 718 LD (JISH),A
EEF7 32 6D F6 719 LD (COUNT),A
EEFA F1 720 POP AF
EEFB 721 CHG1
EEFB C3 DB 04 722 JP 4DBH ; Jump to IOCS (Print routine)
EEFE 723
EEFE 724 ERASEKAN ;A data of K-VRAM
EEFE 725 ;BC un-offsetted adrs
EEFE CB F0 726 SET 6,B
EF00 1F 727 RRA
EF01 DC 14 EF 728 CALL C,ERASE
EF04 CB F8 729 SET 7,B ;clear G-RAM(if KANJI was written)
EF06 1F 730 RRA
EF07 1F 731 RRA
EF08 DC 14 EF 732 CALL C,ERASE
EF0B CB B0 733 RES 6,B
EF0D 17 734 RLA
EF0E DC 14 EF 735 CALL C,ERASE
EF11 CB B8 736 RES 7,B
EF13 C9 737 RET
EF14 738
EF14 739 ERASE
EF14 F5 740 PUSH AF
EF15 C5 741 PUSH BC
EF16 11 00 08 742 LD DE,800H ;D loop-counter
EF19 743 ER1 ;E write-data
EF19 ED 59 744 OUT (C),E
EF1B 3E 08 745 LD A,8
EF1D 80 746 ADD A,B
EF1E 47 747 LD B,A
EF1F 15 748 DEC D
EF20 20 F7 749 JR NZ,ER1
EF22 C1 750 POP BC
EF23 F1 751 POP AF
EF24 C9 752 RET
EF25 753
EF25 754 CLKAN
EF25 CD 68 EB 755 CALL PEEKKV
EF28 36 00 756 LD (HL),0
EF2A B7 757 OR A
EF2B 28 03 758 JR Z,CLK2
EF2D 759 CLKAN2
EF2D CD FE EE 760 CALL ERASEKAN
EF30 761 CLK2
EF30 CB E0 762 SET 4,B
EF32 CB E8 763 SET 5,B
EF34 3E 20 764 LD A,"
EF36 ED 79 765 OUT (C),A
EF38 CB A0 766 RES 4,B

```

```

EF3A CB A8 767 RES 5,B
EF3C C9 768 RET
EF3D 769 ;
EF3D 770 ;
EF3D 771 ; Scroll Patch routine
EF3D 772 ;
EF3D 773 ; input D (console width Y)
EF3D 774 ; E (console width X)
EF3D 775 ; HL (destination of attribute)
EF3D 776 ;
EF3D 777 ;
EF3D 778 SCROLL
EF3D D9 779 EXX
EF3E C5 780 PUSH BC ; recover JP patch
EF3F D9 781 EXX
EF40 782 ;
EF40 D5 783 PUSH DE ;CLR first line
EF41 E5 784 PUSH HL
EF42 CD B2 EF 785 CALL FIRST
EF45 21 70 F6 786 LD HL,FCUR+1 ;console / 256*256
EF48 35 787 DEC (HL) ;Shift-JIS / upper byte
EF49 788 ;7*256 / 256
EF49 E1 789 POP HL
EF4A D1 790 POP DE
EF4B 791 ;
EF4B E5 792 PUSH HL
EF4C 44 4D 793 LD BC,HL
EF4E CB A8 794 RES 5,B
EF50 CD 49 EB 795 CALL CALCKV
EF53 E5 796 PUSH HL
EF54 D9 797 EXX
EF55 E1 798 POP HL ;HL dest. of K-VRAM
EF56 D9 799 EXX
EF57 E1 800 POP HL
EF58 801 ;
EF58 802 YLOOP
EF58 44 4D 803 LD BC,HL ;BC dest. of attribute
EF5A 15 804 DEC D
EF5B 28 3F 805 JR Z,FINE ;Console Y loop
EF5D 806 ;
EF5D D9 807 EXX
EF5E 54 5D 808 LD DE,HL ;DE dest. of K-VRAM
EF60 809 CHG2
EF60 21 50 00 810 LD HL,0050H
EF63 19 811 ADD HL,DE ;HL source
EF64 E5 812 PUSH HL ;save source
EF65 D9 813 EXX
EF66 814 ;
EF66 D5 815 PUSH DE
EF67 816 CHG3
EF67 21 50 00 817 LD HL,0050H
EF6A 09 818 ADD HL,BC ;HL source of attr.
EF6B E5 819 PUSH HL
EF6C E5 820 PUSH HL
EF6D D9 821 EXX
EF6E C1 822 POP BC
EF6F D9 823 EXX
EF70 824 ;
EF70 825 ; Scroll TEXT and KANJI
EF70 826 SCRL0 ;Scroll text VRAM
EF70 D9 827 EXX
EF71 7E 828 LD A,(HL) ;A' data of K-VRAM
EF72 36 00 829 LD (HL),0
EF74 23 830 INC HL
EF75 12 831 LD (DE),A
EF76 13 832 INC DE
EF77 B7 833 OR A
EF78 C4 CB EF 834 CALL NZ,KMOVE
EF7B ED 79 835 IN A,(C) ;A data of attr.
EF7D D9 836 EXX
EF7E ED 79 837 OUT (C),A ;attr. put
EF80 D9 838 EXX
EF81 CB E0 839 SET 4,B ;ascii get
EF83 ED 78 840 IN A,(C)
EF85 CB A0 841 RES 4,B
EF87 03 842 INC BC
EF88 D9 843 EXX
EF89 CB E0 844 SET 4,B ;ascii put
EF8B ED 79 845 OUT (C),A
EF8D CB A0 846 RES 4,B
EF8F 03 847 INC BC
EF90 848 ;
EF90 1D 849 DEC E
EF91 C2 70 EF 850 JP NZ,SCRL0 ;**** loop X end
EF94 851 ;
EF94 E1 852 POP HL ;get source of attr.
EF95 D1 853 POP DE ;get loop
EF96 D9 854 EXX
EF97 E1 855 POP HL
EF98 D9 856 EXX
EF99 C3 58 EF 857 JP YLOOP
EF9C 858 ;
EF9C 859 FINE ;Clear last line
EF9C 2A 25 00 860 LD HL,(ATTRWK) ;L CLR attr. H CLR Char.
EF9F CB F5 861 SET 6,L
EFA1 862 FIN1
EFA1 ED 69 863 OUT (C),L
EFA3 CB E0 864 SET 4,B
EFA5 ED 61 865 OUT (C),H
EFA7 CB A0 866 RES 4,B
EFA9 03 867 INC BC
EFAA 1D 868 DEC E
EFAB C2 A1 EF 869 JP NZ,FIN1
EFAC 870 ;
EFAC D9 871 EXX
EFAF C1 872 POP BC
EFB0 D9 873 EXX
EFB1 C9 874 RET ;Scroll main fin.
EFB2 875 ;
EFB2 876 FIRST ;Clear first line
EFB2 44 4D 877 LD BC,HL
EFB4 CB A8 878 RES 5,B
EFB6 879 ;
EFB6 CD 49 EB 880 CALL CALCKV ;HL K-VRAM adrs
EFB9 881 FIR1 ;BC un-offsetted
EFB9 7E 882 LD A,(HL)
EFBA 23 883 INC HL
EFBB B7 884 OR A
EFBC 28 07 885 JR Z,FIR2
EFBE E5 886 PUSH HL
EFBF D5 887 PUSH DE
EFC0 CD FE EE 888 CALL ERASEKAN
EFC3 D1 889 POP DE
EFC4 E1 890 POP HL
EFC5 891 ;
EFC5 892 FIR2
EFC5 03 893 INC BC
EFC6 1D 894 DEC E
EFC7 C2 B9 EF 895 JP NZ,FIR1
EFC8 C9 896 RET
EFCB 897 ;
EFCB 898 ;
EFCB 899 KMOVE
EFCB D5 900 PUSH DE
EFCF 1E 00 901 LD E,0

```



```

EFCE 57      902 LD D,A
EFCF CB A8   903 RES 5,B
EFD1 CB F0   904 SET 6,B ;Blue
EFD3 D9      905 EXX
EFD4 CB A8   906 RES 5,B
EFD6 CB F0   907 SET 6,B
EFD8 D9      908 EXX
EFD9 CB 42   909 BIT 0,D
EFD8 C4 00 F0 910 CALL NZ,GRSCL
EFDE         911
EFDE CB F8   912 SET 7,B
EFDE D9      913 EXX
EFE1 CB F8   914 SET 7,B
EFES D9      915 EXX
EFE4 CB 52   916 BIT 2,D
EFE6 C4 00 F0 917 CALL NZ,GRSCL
EFE9         918
EFE9 CB B0   919 RES 6,B
EFEB D9      920 EXX
EFEC CB B0   921 RES 6,B
EFEE D9      922 EXX
EFEF CB 4A   923 BIT 1,D
EFF1 C4 00 F0 924 CALL NZ,GRSCL
EFF4         925
EFF4 CB B8   926 RES 7,B
EFF6 CB E8   927 SET 5,B
EFF8 D9      928 EXX
EFF9 CB B8   929 RES 7,B
EFFB CB E8   930 SET 5,B
EFFD D9      931 EXX
EFEE D1      932 POP DE
EFFF C9      933 RET
F000         934
F000         935
F000         936 GRSCL
F000 ED 78 ED 59 937 IN A,(C):OUT (C),E:SET 5,B:EXX:OUT (C),A:SET 5,B:EXX
;000-100
F004 CB E8 D9 ED
F008 79 CB E8 D9 ED
F00C ED 78 ED 59 938 IN A,(C):OUT (C),E:SET 3,B:EXX:OUT (C),A:SET 3,B:EXX
;100-101
F010 CB D8 D9 ED
F014 79 CB D8 D9 ED
F018 ED 78 ED 59 939 IN A,(C):OUT (C),E:SET 4,B:EXX:OUT (C),A:SET 4,B:EXX
;101-111
F01C CB E0 D9 ED
F020 79 CB E0 D9 ED
F024 ED 78 ED 59 940 IN A,(C):OUT (C),E:RES 3,B:EXX:OUT (C),A:RES 3,B:EXX
;111-110
F028 CB 98 D9 ED
F02C 79 CB 98 D9 ED
F030 ED 78 ED 59 941 IN A,(C):OUT (C),E:RES 5,B:EXX:OUT (C),A:RES 5,B:EXX
;110-010
F034 CB A8 D9 ED
F038 79 CB A8 D9 ED
F03C ED 78 ED 59 942 IN A,(C):OUT (C),E:SET 3,B:EXX:OUT (C),A:SET 3,B:EXX
;010-011
F040 CB D8 D9 ED
F044 79 CB D8 D9 ED
F048 ED 78 ED 59 943 IN A,(C):OUT (C),E:RES 4,B:EXX:OUT (C),A:RES 4,B:EXX
;011-001
F04C CB A0 D9 ED
F050 79 CB A0 D9 ED
F054 ED 78 ED 59 944 IN A,(C):OUT (C),E:RES 3,B:EXX:OUT (C),A:RES 3,B:EXX
;001-000
F058 CB 98 D9 ED
F05C 79 CB 98 D9 ED
F060 C9      945 RET
F061         946
F061         947 ;CLS patch routine (IOCS 6E4H-)
F061         948
F061         949 ;input HL(CLS start attr. adrs)
F061         950 ; D (console width Y)
F061         951 ; E (console width X)
F061         952 ; output none
F061         953
F061         954 CLS
F061 D9      955 EXX
F062 C5      956 PUSH BC ;save registers
F063 E5      957 PUSH HL ;
F064 D9      958 EXX
F065 E5      959 PUSH HL
F066 D9      960 EXX
F067 C1      961 POP BC
F068 CB A8   962 RES 5,B
F06A CD 49 EB 963 CALL CALCKV ;HL' K-VRAM adrs
F06D D9      964 EXX
F06E         965 CLS0
F06E 44 4D   966 LD BC,HL
F070 D9      967 EXX
F071 E5      968 PUSH HL
F072 D9      969 EXX
F073 D5      970 PUSH DE
F074 C5      971 PUSH BC
F075 2A 26 00 972 LD HL,(ATTRWK)
F078 CB F5   973 SET 6,L
F07A         974
F07A         975 CLS1 ;X loop start
F07A ED 59   976 OUT (C),L ;Attr.
F07C CB E0   977 SET 4,B
F07E ED 51   978 OUT (C),H ;Ascii
F080 CB A0   979 RES 4,B
F082 D9      980 EXX
F083 7E      981 LD A,(HL) ;CLR K-VRAM
F084 36 00   982 LD (HL),0
F086 23      983 INC HL
F087 B7      984 OR A
F088 C4 AE F0 985 CALL NZ,CLSKAN
F08B D9      986 EXX
F08C 03      987 INC BC
F08D 1D      988 DEC E
F08E C2 7A F0 989 JP NZ,CLS1 ;X loop end
F091         990
F091 C1      991 POP BC
F092 2A 07 00 992 LD HL,(0007H)
F095 26 00   993 LD H,0
F097 09      994 ADD HL,BC
F098 D1      995 POP DE
F099 D9      996 EXX
F09A E1      997 POP HL
F09B ED 4B 07 00 998 LD BC,(0007H)
F09F 06 00   999 LD B,0
F0A1 09      1000 ADD HL,BC
F0A2 D9      1001 EXX
F0A3 15      1002 DEC D
F0A4 C2 6E F0 1003 JP NZ,CLS0 ;Y loop end
F0A7 D9      1004 EXX
F0A8 E1      1005 POP HL
F0A9 C1      1006 POP BC
F0AA D9      1007 EXX
F0AB C3 07 07 1008 JP 707H ;Jump to IOCS
F0AE         1009
F0AE         1010
F0AE         1011 CLSKAN
F0AE D9      1012 EXX

```

```

F0AF C5      1013 PUSH BC ;BC attr.
F0B0 D9      1014 EXX
F0B1 C1      1015 POP BC
F0B2 CB A8   1016 RES 5,B ;BC un-offsetted
F0B4 E5      1017 PUSH HL
F0B5 D5      1018 PUSH DE
F0B6 CD FE EE 1019 CALL ERASEKAN
F0B9 D1      1020 POP DE
F0BA E1      1021 POP HL
F0BB C9      1022 RET
F0BC         1023
F0BC         1024 ;
F0BC         1025 ; *E and *Z common patch
F0BC         1026 ;
F0BC         1027 ; input H(Y) L(X)
F0BC         1028 ; D(CLR character) E(CLR attr.)
F0BC         1029 ; output none
F0BC         1030 ;
F0BC         1031 ; *Z
F0BC E5      1032 PUSH HL
F0BD D5      1033 PUSH DE
F0BE CD 5F EB 1034 CALL CONVADR ;HL VRAM un-off adrs
F0C1 CD D3 F0 1035 CALL *KAN
F0C4 CB EC   1036 SET 5,H
F0C6 D1      1037 POP DE
F0C7 44      1038 LD B,H
F0C8 4D      1039 LD C,L
F0C9         1040
F0C9 ED 59   1041 OUT (C),E
F0CB CB E0   1042 SET 4,B
F0CD ED 51   1043 OUT (C),D
F0CF CB A0   1044 RES 4,B
F0D1 E1      1045 POP HL
F0D2 C9      1046 RET
F0D3         1047
F0D3         1048 *KAN
F0D3 E5      1049 PUSH HL
F0D4 CD 49 EB 1050 CALL CALCKV
F0D7 7E      1051 LD A,(HL)
F0D8 36 00   1052 LD (HL),0
F0DA B7      1053 OR A
F0DB C4 FE EE 1054 CALL NZ,ERASEKAN
F0DE E1      1055 POP HL
F0DF C9      1056 RET
F0E0         1057
F0E0         1058 ;
F0E0         1059 ; INS start patch
F0E0         1060 ;
F0E0         1061 INSST
F0E0 CD 70 EB 1062 CALL ADJUSTCUR
F0E3 CD BB 08 1063 CALL 8BBH ;recover patch
F0E6 C3 E7 08 1064 JP 8E7H
F0E9         1065
F0E9         1066 ;
F0E9         1067 ; DEL start patch
F0E9         1068 ;
F0E9         1069 DELST
F0E9 CD 70 EB 1070 CALL ADJUSTCUR
F0EC F5      1071 PUSH AF ;data of KVRAM
F0ED 2A 0E 00 1072 LD HL,(000EH);recover patch
F0F0 E5      1073 PUSH HL ;save
F0F1 CD 17 08 1074 CALL 817H ;DEL
F0F4 2A 0E 00 1075 LD HL,(000EH)
F0F7 D1      1076 POP DE
F0F8 B7 ED 52 1077 SUB HL,DE
F0FB 28 12   1078 JR Z,DELSUB
F0FD F1      1079 POP AF
F0FE CD 64 07 1080 CALL LEFT
F101 CD 68 EB 1081 CALL PEEKKV
F104 B7      1082 OR A
F105 28 05   1083 JR Z,DELST2
F107 CB 5F   1084 BIT 3,A
F109 CC 25 EF 1085 CALL Z,CLKAN
F10C         1086 DELST2
F10C C3 40 07 1087 JP RIGHT
F10F         1088
F10F         1089 DELSUB
F10F F1      1090 POP AF
F110 B7      1091 OR A
F111 C8      1092 RET Z
F112 C3 25 EF 1093 JP CLKAN
F115         1094
F115         1095 ;
F115         1096 ; *J start patch
F115         1097 ;
F115         1098 *JST
F115 CD 70 EB 1099 CALL ADJUSTCUR
F118 2A 0E 00 1100 LD HL,(000EH)
F11B C3 CB 08 1101 JP 8CBH
F11E         1102
F11E         1103 ;
F11E         1104 ; *E start patch
F11E         1105 ;
F11E         1106 ; *EST
F11E CD 70 EB 1107 CALL ADJUSTCUR
F121 CD BB 08 1108 CALL 8BBH
F124 C3 65 09 1109 JP 965H
F127         1110
F127         1111 ;
F127         1112 ; *Z start patch
F127         1113 ;
F127         1114 *ZST
F127 CD 70 EB 1115 CALL ADJUSTCUR
F12A 2A 0E 00 1116 LD HL,(000EH)
F12D C3 4D 09 1117 JP 94DH
F130         1118
F130         1119
F130         1120 ;
F130         1121 ; INS and DEL common patch
F130         1122 ; --- GET ---
F130         1123 ; input H(Y) L(X)
F130         1124 ; output D(ascii) E(attr.)
F130         1125 ;
F130         1126 INSDELG
F130 E5      1127 PUSH HL
F131 CD 5F EB 1128 CALL CONVADR
F134 CD 43 F1 1129 CALL INSKANG
F137 CB E8   1130 SET 5,B
F139 ED 88   1131 IN E,(C)
F13B CB E0   1132 SET 4,B
F13D ED 50   1133 IN D,(C)
F13F CB A0   1134 RES 4,B
F141 E1      1135 POP HL
F142 C9      1136 RET
F143         1137
F143         1138 INSKANG
F143 E5      1139 PUSH HL
F144 CD 49 EB 1140 CALL CALCKV
F147 7E      1141 LD A,(HL)
F148 32 75 F6 1142 LD (KVDATA),A
F14B 21 76 F6 1143 LD HL,PATTERN
F14E CB F0   1144 SET 6,B ;blue
F150 1F      1145 RRA
F151 CD 65 F1 1146 CALL GETKAN
F154 CB F8   1147 SET 7,B

```

▶ 久々に「おじさん」佐藤学氏の記事を拝見しましたが、「大戦略 X1」のなかに、「たといえば彼女から電話がかかってきたとします (…いない人は彼氏からと考えるか、早急に恋人を見つけてください)」とありますね。では電話のない人間はどうすればいいでしょうか？
 うーん、今夜も眠れない。
 亀井 信義 (22) 千葉県


```

F156 1F      1148  RRA
F157 1F      1149  RRA
F158 CD 65 F1 1150  CALL GETKAN
F15B CB B0    1151  RES      6,B
F15D 17      1152  RLA
F15E CD 65 F1 1153  CALL GETKAN
F161 CB B8    1154  RES      7,B
F163
F163 E1      1155  POP      HL
F164 C9      1157  RET
F165
F165      1159  GETKAN
F165 C5      1160  PUSH     BC
F166 30 12    1161  JR      NC,GETKAN2 ;unuse BANK then JP
F168 F5      1162  PUSH     AF
F169 16 08    1163  LD      D,8
F16B      1164  GETLOOP
F16B ED 78    1165  IN      A,(C)
F16D 77      1166  LD      (HL),A
F16E 23      1167  INC     HL
F16F 3E 08    1168  LD      A,8
F171 80      1169  ADD     A,B
F172 47      1170  LD      B,A
F173
F173 15      1172  DEC     D
F174 C2 6B F1 1173  JP      NZ,GETLOOP
F177
F177 F1      1175  POP     AF
F178 C1      1176  POP     BC
F179 C9      1177  RET
F17A
F17A      1179  GETKAN2
F17A 01 08 00 1180  LD      BC,8 ;inc pointer
F17D 09      1181  ADD     HL,BC
F17E C1      1182  POP     BC
F17F C9      1183  RET
F180
F180      1185 ;
F180      1186 ; --- PUT ---
F180      1187 ;
F180      1188 ; input BC(adrs of attr.)
F180      1189 ; D(ascii) S(attr.)
F180
F180      1191  INSDLP
F180 ED 59      1192  OUT     (C),E
F182 CB E0      1193  SET     4,B
F184 ED 51      1194  OUT     (C),D
F186 CB A0      1195  RES     4,B
F188
F188 CB A8      1197  RES     5,B
F18A CD 49 EB    1198  CALL    CALCKV
F18D 7E      1199  LD      A,(HL)
F18E B7      1200  OR      A
F18F E5      1201  PUSH    HL
F190 C4 FE EE    1202  CALL    NZ,ERASEKAN
F193 E1      1203  POP     HL
F194 3A 75 F6    1204  LD      A,(KVDATA)
F197 77      1205  LD      (HL),A
F198 21 76 F6    1206  LD      HL,PATTERN
F19B
F19B CB F0      1208  SET     6,B
F19D 1F      1209  RRA
F19E CD B8 F1    1210  CALL    PUTKAN
F1A1 CB FB      1211  SET     7,B
F1A3 1F      1212  RRA
F1A4 1F      1213  RRA
F1A5 CD B8 F1    1214  CALL    PUTKAN
F1A8 CB B0      1215  RES     6,B
F1AA 17      1216  RLA
F1AB CD B8 F1    1217  CALL    PUTKAN
F1AE CB B8      1218  RES     7,B
F1B0 CB E8      1219  SET     5,B
F1B2 AF      1220  XOR     A
F1B3 32 75 F6    1221  LD      (KVDATA),A
F1B6 E1      1222  POP     HL ;stack ++
F1B7 C9      1223  RET
F1B8
F1B8      1225  PUTKAN
F1B8 C5      1226  PUSH     BC
F1B9 30 14      1227  JR      NC,PUTKAN2
F1BB F5      1228  PUSH     AF
F1BC 16 08      1229  LD      D,8
F1BE      1230  PUTLOOP
F1BE 7E      1231  LD      A,(HL)
F1BF 36 00      1232  LD      (HL),0
F1C1 ED 79      1233  OUT     (C),A
F1C3 23      1234  INC     HL
F1C4 3E 08      1235  LD      A,8
F1C6 80      1236  ADD     A,B
F1C7 47      1237  LD      B,A
F1C8
F1C8 15      1239  DEC     D
F1C9 C2 BE F1    1240  JP      NZ,PUTLOOP
F1CC
F1CC F1      1242  POP     AF
F1CD C1      1243  POP     BC
F1CE C9      1244  RET
F1CF
F1CF      1245
F1CF      1246  PUTKAN2
F1CF 01 08 00    1247  LD      BC,8
F1D2 09      1248  ADD     HL,BC
F1D3 C1      1249  POP     BC
F1DA C9      1250  RET
F1D5
F1D5      1251
F1D5      1252 ;
F1D5      1253 ; COPY routine (^P)
F1D5      1254 ;
F1D5
F1D5      1255  COPY
F1D5 21 F7 07    1256  LD      HL,7F7H ;BEEP
F1D8 22 58 07    1257  LD      (758H),HL ;cursor move patch
F1DB 2A 0E 00    1258  LD      HL,(000EH) ;cursor 7 scroll シェイワ
F1DE 22 73 F6    1259  LD      (COPYXY),HL
F1E1 3A 26 00    1260  LD      A,(ATTRWK)
F1E4 32 6B F6    1261  LD      (ATTR),A
F1E7 3A 69 F6    1262  LD      A,(KMODE)
F1EA 32 6A F6    1263  LD      (KMODE2),A ;save KMODE
F1ED AF      1264  XOR     A
F1EE 32 9B F2    1265  LD      (INSWK+1),A
F1F1 32 78 F2    1266  LD      (CPYEND+1),A
F1F4
F1F4      1267
F1F4      1268  COPY0
F1F4 CD AD F2    1269  CALL    REVERSE
F1F7
F1F7      1270  COPY1
F1F7 CD AA 02    1271  CALL    02AAH ;input 1 cha.
F1FA FE 1B      1272  CP      1BH
F1FC 28 33      1273  JR      Z,ESC ;escape?
F1FE FE 0D      1274  CP      0DH
F200 28 4D      1275  JR      Z,CRKEY ;copy?
F202 FE 01      1276  CP      01 ;"A"?
F204 20 07      1277  JR      NZ,CPYCTRL
F206 21 9B F2    1278  LD      HL,INSWK+1
F209 AE      1279  XOR     (HL)
F20A 77      1280  LD      (HL),A
F20B 18 EA      1281  JR      COPY1
F20D

```

```

F20D FE 20      1283  CP      20H
F20F 38 09      1284  JR      C,MOVCPYCUR
F211 01 A8 0E    1285  LD      BC,0EA8H;top of input buffer
F214 5F      1286  LD      E,A ;ESC by other key
F215 CD E3 03    1287  CALL    3E3H ;write to input buffer
F218 18 17      1288  JR      ESC
F21A      1289  MOVCPYCUR
F21A 57      1290  LD      D,A
F21B 7A      1291  LD      A,D
F21C 21 29 F2    1292  LD      HL,KEYTABLE
F21F 01 09 00    1293  LD      BC,KEYEND-KEYTABLE+1
F222 ED B1      1294  CPIR
F224 CC 77 05    1295  CALL    Z,577H
F227 18 CE      1296  JR      COPY1
F229
F229 02 06 0B 09 1298  DB      "B"-40H,"F"-40H,"K"-40H,"I"-40H
F22D 1C 1D 1E 1F 1299  DB      1CH,1DH,1EH,1FH
F231      1300  KEYEND
F231      1301
F231      1302  ESC
F231 CD AD F2    1303  CALL    REVERSE
F234
F234 3A 6B F6    1305  LD      A,(ATTR)
F237 32 26 00    1306  LD      (ATTRWK),A
F23A 3A 6A F6    1307  LD      A,(KMODE2)
F23D 32 69 F6    1308  LD      (KMODE),A
F240 2A 73 F6    1309  LD      HL,(COPYXY)
F243 22 0E 00    1310  LD      (000EH),HL
F246 21 9B 06    1311  LD      HL,69BH
F249 22 58 07    1312  LD      (758H),HL
F24C C3 F7 07    1313  JP      7F7H ;BELL & RET
F24F
F24F      1314
F24F      1315
F24F      1316  CRKEY
F24F CD AD F2    1317  CALL    REVERSE
F252 CD 70 EB    1318  CALL    ADJUSTCUR
F255 B7      1319  OR      A
F256 32 69 F6    1320  LD      (KMODE),A ;if character is ascii then KM
F259 28 16      1321  JR      Z,CRASC ;ascii then
F25B      1322  CRKAN
F25B 3E 08      1323  LD      A,8 ;if KANJI then KMODE8
F25D 32 69 F6    1324  LD      (KMODE),A
F25F CD 7F F2    1325  CALL    CPYGET
F263 D5      1326  PUSH     DE
F264 CD 7F F2    1327  CALL    CPYGET
F267 62 6B      1328  LD      HL,DE
F269 D1      1329  POP      DE
F26A E5      1330  PUSH     HL
F26B CD 96 F2    1331  CALL    CPYPUT
F26E D1      1332  POP      DE
F26F 18 03      1333  JR      CRFIN
F271
F271      1334
F271      1335  CRASC
F271 CD 7F F2    1336  CALL    CPYGET
F274
F274      1337  CRFIN
F274 CD 96 F2    1338  CALL    CPYPUT
F277
F277      1339  CPYEND
F277 3E 00      1340  LD      A,0
F279 B7      1341  OR      A
F27A 20 B8      1342  JR      NZ,ESC2
F27C C3 F4 F1    1343  JP      COPY0
F27F
F27F      1345  CPYGET
F27F CD 68 EB    1346  CALL    PEEKKV
F282 E6 07      1347  AND      7
F284 CB E8      1348  SET     5,B
F286 57      1349  LD      D,A
F287 B7      1350  OR      A
F288 20 02      1351  JR      NZ,LET2
F28A ED 50      1352  IN      D,(C) ;D attr.
F28C
F28C      1353  LET2
F28C CB E0      1354  SET     4,B ;BC cha.
F28E ED 58      1355  IN      E,(C) ;E cha.
F290 D5      1356  PUSH     DE
F291 CD 40 07    1357  CALL    RIGHT
F294 D1      1358  POP      DE
F295 C9      1359  RET
F296
F296      1360
F296      1361  CPYPUT
F296 D5      1362  PUSH     DE
F297 CD BF F2    1363  CALL    SWAPCUR
F29A
F29A      1364  INSWK
F29A 3E 00      1365  LD      A,00
F29C B7      1366  OR      A
F29D C4 E4 08    1367  CALL    NZ,8E4H ;insert
F2A0 D1      1368  POP      DE
F2A1 7A      1369  LD      A,D
F2A2 32 26 00    1370  LD      (ATTRWK),A ;set attr.
F2A5 7B      1371  LD      A,E
F2A6 CD C8 04    1372  CALL    04C8H ;print(10CS)
F2A9
F2A9 CD BF F2    1373  CALL    SWAPCUR
F2AC C9      1375  RET
F2AD
F2AD      1376
F2AD      1377  REVERSE
F2AD 2A 73 F6    1378  LD      HL,(COPYXY)
F2B0 CD 59 05    1379  CALL    0559H
F2B3 16 20      1380  LD      D,20H
F2B5 19      1381  ADD     HL,DE
F2B6 44 4D      1382  LD      BC,HL
F2B8 ED 78      1383  IN      A,(C)
F2BA EE 08      1384  XOR     8
F2BC ED 79      1385  OUT     (C),A
F2BE C9      1386  RET
F2BF
F2BF      1387
F2BF      1388  SWAPCUR
F2BF 2A 0E 00    1389  LD      HL,(000EH)
F2C2 E5      1390  PUSH     HL
F2C3 2A 73 F6    1391  LD      HL,(COPYXY)
F2C6 22 0E 00    1392  LD      (000EH),HL
F2C9 E1      1393  POP      HL
F2CA 22 73 F6    1394  LD      (COPYXY),HL
F2CD C9      1395  RET
F2CE
F2CE      1396
F2CE      1397  CPY"N
F2CE 3E 01      1398  LD      A,1
F2D0 32 78 F2    1399  LD      (CPYEND+1),A
F2D3 C3 4D 06    1400  JP      64DH
F2D6
F2D6      1401
F2D6      1402  CPY"O
F2D6 3E 01      1403  LD      A,1
F2D8 32 78 F2    1404  LD      (CPYEND+1),A
F2DB C3 53 06    1405  JP      653H
F2DE
F2DE      1406
F2DE      1407
F2DE      1408
F2DE      1409 ; Change memory (10CS)
F2DE      1410 ;
F2DE      1411 ; input none
F2DE      1412 ; output none
F2DE      1413 ;
F2DE      1414  CHANGE ;for print 1 character
F2DE 21 68 EF    1415  LD      HL,CHG3+1;for scroll
F2E1 22 55 06    1416  LD      (655H),HL

```


F2E4 21 ED 43	1417	LD	HL,43EDH;Opecode "LD(???H),BC	F3C8 D5	1544	PUSH	DE
F2E7 22 57 06	1418	LD	(657H),HL	F3C9 21 9D F5	1545	LD	HL,PRTWKTOP
F2EA 21 61 EF	1419	LD	HL,CRG2+1	F3CC CD E0 F3	1546	CALL	PRINTILINE
F2ED 22 59 06	1420	LD	(659H),HL	F3CF D1	1547	POP	DE
F2F0 21 BC F0	1421	LD	HL,"E"Z;for "E or "Z	F3D0 C1	1548	POP	BC
F2F3 22 70 09	1422	LD	(970H),HL	F3D1 3A 66 F6	1549	LD	A,(CRJISH)
F2F6 3E CD	1423	LD	A,0CDH;for PRINT#0	F3D4 B7	1550	OR	A
F2F8 32 CC 04	1424	LD	(4CCH),A	F3D5 28 05	1551	JR	Z,#F9B3;POS=0
F2FB 21 8B ED	1425	LD	HL,PRINT#0	F3D7 32 9D F5	1552	LD	(PRTWKTOP),A
F2FE 22 CD 04	1426	LD	(4CDH),HL	F3DA 3E 01	1553	LD	A,\$01;POS=1
F301 21 D5 F1	1427	LD	HL,COPY;for COPY	F3DC	1554	#F9B3	
F304 22 89 00	1428	LD	(0089H),HL	F3DC 32 1B 13	1555	LD	(POSWK),A
F307 21 CE F2	1429	LD	HL,CPY" N	F3DF C9	1556	RET	
F30A 22 F0 05	1430	LD	(5F0H),HL	F3E0	1557	PRINTILINE	
F30D 21 D6 F2	1431	LD	HL,CPY" O	F3E0 3A 2C EB	1558	LD	A,(DATMLSB)
F310 22 2C 06	1432	LD	(62CH),HL	F3E3 32 FC F4	1559	LD	(#FAE7),A;program change
F313 AF	1433	XOR	A	F3E6 AF	1560	XOR	A
F314 32 E0 12	1434	LD	(12E0H),A	F3E7 32 66 F6	1561	LD	(CRJISH),A
F317	1435			F3EA 4F	1562	LD	C,A
F317 21 96 F6	1436	LD	HL,KVRAM;CLR KVRAM	F3EB 3A 1A EB	1563	LD	A,(DATKANPR)
F31A 11 97 F6	1437	LD	DE,KVRAM+1	F3EE 3C	1564	INC	A
F31D 01 FF 07	1438	LD	BC,7FFH	F3EF 20 2F	1565	JR	NZ,KNJPRINTER
F320 77	1439	LD	(HL),A;CLR	F3F1	1566		
F321 ED B0	1440	LDIR		F3F1	1567		
F323	1441			F3F1 CD 0F F4	1568	CALL	PASSIOUT
F323	1442			F3F4 E5	1569	PUSH	HL
F323	1443			F3F5 C5	1570	PUSH	BC
F323	1444			F3F6 0E 00	1571	LD	C,00
F323	1445			F3F8 CD A8 F4	1572	CALL	PRTSFTJIS
F323	1446			F3FB CD 0A F4	1573	CALL	PASS2OUT
F323 21 38 F3	1447	LD	HL,TABLE	F3FE C1	1574	POP	BC
F326	1448	CNG1		F3FF E1	1575	POP	HL
F326 7E	1449	LD	A,(HL)	F400 0E 01	1576	LD	C,01
F327 23	1450	INC	HL	F402 CD A8 F4	1577	CALL	PRTSFTJIS
F328 B7	1451	OR	A	F405 11 35 EB	1578	LD	DE,DATRESET
F329 C8	1452	RET	Z	F408 18 08	1579	JR	STRLPT
F32A 5F	1453	LD	E,A	F40A	1580		
F32B 56	1454	LD	D,(HL)	F40A	1581	PASS2OUT	
F32C 23	1455	INC	HL	F40A 11 43 EB	1582	LD	DE,DAT2PASS
F32D 3E C3	1456	LD	A,0C3H	F40D 18 03	1583	JR	STRLPT
F32F 12	1457	LD	(DE),A	F40F	1584	PASSIOUT	
F330 13	1458	INC	DE	F40F 11 3D EB	1585	LD	DE,DAT1PASS
F331 01 02 00	1459	LD	BC,2	F412	1586	STRLPT	
F334 ED B0	1460	LDIR		F412 1A	1587	LD	A,(DE)
F336 18 EE	1461	JR	CNG1	F413 B7	1588	OR	A
F338	1462			F414 C8	1589	RET	Z
F338	1463	TABLE		F415 C5	1590	PUSH	BC
F338 D6 04 40 EE	1464	DW	4D6H,EXT,65BH,SCROLL,6E7H,CLS	F416 47	1591	LD	B,A
F33C 5B 06 3D EF				F417	1592	STRLPT2	
F340 E7 06 61 F0				F417 13	1593	INC	DE
F344 E4 08 E0 F0	1465	DW	8E4H,INSS,814H,DELST,8C8H,"JST	F418 1A	1594	LD	A,(DE)
F348 14 08 E9 F0				F419 CD 6D F3	1595	CALL	LPTOUT
F34C C8 08 15 F1				F41C 10 F9	1596	DJNZ	STRLPT2
F350 F1 07 1E F1	1466	DW	7F1H,"EST,94AH,"ZST,876H,INSDELG	F41E C1	1597	POP	BC
F354 4A 09 27 F1				F41F C9	1598	RET	
F358 76 08 30 F1				F420	1599		
F36C 97 08 80 F1	1467	DW	897H,INSDELP,4CFH,4C3H	F420	1600	KNJPRINTER	
F36C CF 04 C3 04				F420 78	1601	LD	A,B
F36D D5 12 73 F3	1468	DW	12D5H,CR,12E2H,LPRINT	F421 B7	1602	OR	A
F36E E2 12 89 F3				F422 CA C8 F4	1603	JP	Z,CROUT
F36C 00	1469	DB	00	F425 AF	1604	XOR	A
F36D	1470			F426 32 65 F6	1605	LD	(KNJMODEFLAG),A
F36D	1471			F429	1606	KNJLOOP	
F36D	1472			F429 7E	1607	LD	A,(HL)
F36D	1473			F42A CD 58 EC	1608	CALL	SFTJIS?
F36D	1474			F42D 57	1609	LD	D,A
F36D	1475			F42E 38 29	1610	JR	C,ASCII
F36D	1476			F430 05	1611	DEC	B
F36D	1477			F431 28 21	1612	JR	Z,#FA32
F36D	1478	LPTOUT		F433 23	1613	INC	HL
F36D C5	1479	PUSH	BC	F434 5E	1614	LD	E,(HL)
F36E D5	1480	PUSH	DE	F435 CD 9F EB	1615	CALL	CONV_JIS
F36F E5	1481	PUSH	HL	F438	1616	#FA16	
F370 C3 E5 12	1482	JP	12E5H;IOCS	F438 CD 7F F4	1617	CALL	KINOUT
F373	1483			F43B CD 6D F4	1618	CALL	DOTSPF
F373	1484	CR		F43E 7A	1619	LD	A,D
F373 3A 69 F6	1485	LD	A,(KMODE)	F43F CD 6D F3	1620	CALL	LPTOUT
F376 B7	1486	OR	A	F442 7B	1621	LD	A,E
F377 28 06	1487	JR	Z,CRO	F443 CD 6D F3	1622	CALL	LPTOUT
F379 E5	1488	PUSH	HL	F446 CD 76 F4	1623	CALL	DOTSPA
F37A CD C3 F3	1489	CALL	CR1	F449 CD 91 F4	1624	CALL	KOUTOUT
F37D E1	1490	POP	HL	F44C	1625	NEXT	
F37E C9	1491	RET		F44C 23	1626	INC	HL
F37F	1492			F44D 10 DA	1627	DJNZ	KNJLOOP
F37F	1493	CRO		F44F	1628		
F37F D5	1494	PUSH	DE	F44F	1629	#FA2D	
F380 CD C8 F4	1495	CALL	CROUT	F44F CD 96 F4	1630	CALL	KOUTOUT2
F383 D1	1496	POP	DE	F452 18 74	1631	JR	CROUT
F384 AF	1497	XOR	A	F454	1632	#FA32	
F385 32 1B 13	1498	LD	(POSWK),A	F454 32 66 F6	1633	LD	(CRJISH),A
F388 C9	1499	RET		F457 18 F6	1634	JR	#FA2D
F389	1500			F459	1635	ASCII	
F389	1501	LPRINT		F459 3A 19 EB	1636	LD	A,(DATHAN)
F389 F5	1502	PUSH	AF	F45C FE FF	1637	CP	#FF
F38A 3A 69 F6	1503	LD	A,(KMODE)	F45E 28 04	1638	JR	Z,HANKAKU;ハンカ code ナ / printer then
F38D B7	1504	OR	A	F460 5A	1639	LD	E,D
F38E 28 09	1505	JR	Z,LPRINT#0	F461 57	1640	LD	D,A
F390 F1	1506	POP	AF	F462 18 D4	1641	JR	#FA16
F391 E5	1507	PUSH	HL	F464	1642	HANKAKU	
F392 C5	1508	PUSH	BC	F464 CD 96 F4	1643	CALL	KOUTOUT2
F393 CD A3 F3	1509	CALL	LPRINT1	F467 7A	1644	LD	A,D
F396 C1	1510	POP	BC	F468 CD 6D F3	1645	CALL	LPTOUT
F397 E1	1511	POP	HL	F46B 18 DF	1646	JR	NEXT
F398 C9	1512	RET		F46D	1647		
F399	1513	LPRINT#0		F46D	1648	DOTSPF	
F399 3A 1B 13	1514	LD	A,(POSWK)	F46D D5	1649	PUSH	DE
F39C 3C	1515	INC	A	F46E 11 23 EB	1650	LD	DE,DATDOTSPF
F39D 32 1B 13	1516	LD	(POSWK),A	F471 CD 12 F4	1651	CALL	STRLPT
F3A0 F1	1517	POP	AF	F474 D1	1652	POP	DE
F3A1 18 CA	1518	JR	LPTOUT	F475 C9	1653	RET	
F3A3	1519			F476	1654	DOTSPA	
F3A3	1520	LPRINT1		F476 D5	1655	PUSH	DE
F3A3 2A 1B 13	1521	LD	HL,(POSWK)	F477 11 28 EB	1656	LD	DE,DATDOTSPA
F3A6 26 00	1522	LD	H,\$00	F47A CD 12 F4	1657	CALL	STRLPT
F3A8 01 9D F5	1523	LD	BC,PRTWKTOP	F47D D1	1658	POP	DE
F3AB 09	1524	ADD	HL,BC	F47E C9	1659	RET	
F3AC 77	1525	LD	(HL),A	F47F	1660	KINOUT	
F3AD 4F	1526	LD	C,A	F47F 3A 65 F6	1661	LD	A,(KNJMODEFLAG)
F3AE 21 1B 13	1527	LD	HL,POSWK	F482 B7	1662	OR	A
F3B1 34	1528	INC	(HL)	F483 C0	1663	RET	NZ
F3B2 3E C8	1529	LD	A,\$C8	F484 3C	1664	INC	A
F3B4 BE	1530	CP	(HL)	F485 32 65 F6	1665	LD	(KNJMODEFLAG),A
F3B5 38 05	1531	JR	C,#F993	F488 D5	1666	PUSH	DE
F3B7 3A 15 EB	1532	LD	A,(DATMAX)	F489 11 1B EB	1667	LD	DE,DATKIN
F3BA BE	1533	CP	(HL)	F48C CD 12 F4	1668	CALL	STRLPT
F3BB D0	1534	RET	NC	F48F D1	1669	POP	DE
F3BC	1535	#F993		F490 C9	1670	RET	
F3BC 35	1536	DEC	(HL)	F491	1671	KOUTOUT	
F3BD CD C3 F3	1537	CALL	CR1	F491 3A 1A EB	1672	LD	A,(DATKANPR)
F3C0 79	1538	LD	A,C	F494 B7	1673	OR	A
F3C1 18 E0	1539	JR	LPRINT1	F495 C8	1674	RET	Z
F3C3	1540	CR1		F496	1675	KOUTOUT2	
F3C3 C5	1541	PUSH	BC	F496 3A 65 F6	1676	LD	A,(KNJMODEFLAG)
F3C4 CD 96 F5	1542	CALL	GETPOS	F499 B7	1677	OR	A
F3C7 47	1543	LD	B,A	F49A C8	1678	RET	Z

♪いま、私は所属のマイコン部のことでたいへんに悩んでいる。知るかぎりでは部員はたぶん6人。卒業してしまった3年生を含めても10人だった。だから私はOh! MZの誌面を借りて部員を募りたい。切実なんですよ。
小島 健 (16) 東京都


```

F49B AF 1679 XOR A
F49C 32 65 F6 1680 LD (KNJMODEFLAG),A
F49F D5 1681 PUSH DE
F4A0 11 1F EB 1682 LD DE,DATROUT
F4A3 CD 12 F4 1683 CALL STRLPT
F4A6 D1 1684 POP DE
F4A7 C9 1685 RET
F4A8 1686
F4A8 1687 PRTSFTJIS ;C=0 1pass, C=1 2pass
F4A8 78 1688 LD A,B
F4A9 97 1689 OR A
F4AA 28 1C 1690 JR Z,CROUT ;if data nothing then
F4AC CD 3D F5 1691 CALL GRSTART ;output GRAPHIC print code
F4AF 1692 #FAB2
F4AF 56 1693 LD D,(HL) ;D= data
F4B0 7A 1694 LD A,D
F4B1 CD 58 EC 1695 CALL SFTJIS?
F4B4 38 1D 1696 JR C,ASCII12 ;if ASCII then
F4B6 05 1697 DEC B
F4B7 28 15 1698 JR Z,#FAB2
F4B9 23 1699 INC HL
F4BA 5E 1700 LD E,(HL) ;DE=Shift JIS
F4BB C5 1701 PUSH BC
F4BC E5 1702 PUSH HL
F4BD CD 9F EB 1703 CALL CONV_JIS ;DE=JIS
F4C0 CD DA F4 1704 CALL GRPRINT
F4C3 1705 NEXT2
F4C3 E1 1706 POP HL
F4C4 C1 1707 POP BC
F4C5 23 1708 INC HL
F4C6 10 E7 1709 DJNZ #FABD ;loop END
F4C8 1710
F4C8 1711 CROUT ;output CR code
F4C8 11 16 EB 1712 LD DE,DATCR
F4CB C3 12 F4 1713 JP STRLPT
F4CE 1714
F4CE 1715 #FAB2 ;if lower カ ナツ CR then
F4CE CD 8E F5 1716 CALL KANRIGHTTEST
F4D1 18 F5 1717 JR CROUT
F4D3 1718 ASCII12 ;ASCII print
F4D3 C5 1719 PUSH BC
F4D4 E5 1720 PUSH HL
F4D5 CD E6 F4 1721 CALL #FAD1
F4D8 18 E9 1722 JR NEXT2
F4DA 1723
F4DA 1724
F4DA 1725 GRPRINT
F4DA C5 1726 PUSH BC
F4DB 21 76 F6 1727 LD HL,PATTERN
F4DE CD D4 EB 1728 CALL READKR2
F4E1 C1 1729 POP BC
F4E2 16 02 1730 LD D,$02
F4E4 18 07 1731 JR #FAD8
F4E6 1732 #FAD1
F4E6 C5 1733 PUSH BC
F4E7 CD 10 F5 1734 CALL #FBB2
F4EA C1 1735 POP BC
F4EB 16 01 1736 LD D,$01
F4ED 1737 #FAD8
F4ED 0D 1738 DEC C
F4EE 21 76 F6 1739 LD HL,PATTERN
F4F1 20 01 1740 JR NZ,#FADF
F4F3 23 1741 INC HL
F4F4 1742 #FADF
F4F4 0E 08 1743 LD C,$08
F4F6 1744 #FAE1
F4F6 06 08 1745 LD B,$08
F4F8 E5 1746 PUSH HL
F4F9 AF 1747 XOR A
F4FA 1748 #FAE5
F4FA CB 06 1749 RLC (HL)
F4FC 1750 #FAE7
F4FC 17 1751 RLA
F4FD 23 1752 INC HL
F4FE 23 1753 INC HL
F4FF 10 F9 1754 DJNZ #FAE5
F501 CD 6D F3 1755 CALL LPTOUT
F504 E1 1756 POP HL
F505 0D 1757 DEC C
F506 20 EE 1758 JR NZ,#FAE1
F508 01 10 00 1759 LD BC,0010H
F50B 09 1760 ADD HL,BC
F50C 15 1761 DEC D
F50D 20 E5 1762 JR NZ,#FADF
F50F C9 1763 RET
F510 1764 #FBB2
F510 3A 26 00 1765 LD A,(ATTRWK)
F513 E6 20 1766 AND $20
F515 28 0C 1767 JR Z,#FBCE
F517 21 76 F6 1768 LD HL,PATTERN
F51A 1E 16 1769 LD E,$16
F51C CD 52 EC 1770 CALL CGREAD
F51F 1C 1771 INC E
F520 C3 52 EC 1772 JP CGREAD
F523 1773
F523 1774 #FBCE
F523 1775 #FBD5
F523 1776
F523 1777
F523 AF 1778 XOR A
F524 1779 #FBDA
F524 C6 14 1780 ADD A,$14
F526 5F 1781 LD E,A
F527 21 86 F6 1782 LD HL,PATTERN+16
F52A E5 1783 PUSH HL
F52B CD 52 EC 1784 CALL CGREAD
F52E E1 1785 POP HL
F52F 11 76 F6 1786 LD DE,PATTERN
F532 06 08 1787 LD B,$08
F534 1788 #FBFA
F534 7E 1789 LD A,(HL)
F535 23 1790 INC HL
F536 12 1791 LD (DE),A
F537 13 1792 INC DE
F538 12 1793 LD (DE),A
F539 13 1794 INC DE
F53A 10 F8 1795 DJNZ #FBFA
F53C C9 1796 RET
F53D 1797 GRSTART
F53D 11 2D EB 1798 LD DE,DATDOT
F540 CD 12 F4 1799 CALL STRLPT
F543 E5 1800 PUSH HL
F544 68 1801 LD L,B
F545 26 00 1802 LD H,$00
F547 29 1803 ADD HL,HL
F548 29 1804 ADD HL,HL
F549 29 1805 ADD HL,HL
F54A 3A 34 EB 1806 LD A,(DATNUM)
F54D B7 1807 OR A

```

```

F54E 28 34 1808 JR Z,#FC3A
F550 3D 1809 DEC A
F551 28 2E 1810 JR Z,#FC37
F553 C5 1811 PUSH BC
F554 01 E8 03 1812 LD BC,1000
F557 CD 77 F5 1813 CALL DIV
F55A CD 6D F3 1814 CALL LPTOUT
F55D 01 64 00 1815 LD BC,100
F560 CD 77 F5 1816 CALL DIV
F563 CD 6D F3 1817 CALL LPTOUT
F566 0E 0A 1818 LD C,10
F568 CD 77 F5 1819 CALL DIV
F56B CD 6D F3 1820 CALL LPTOUT
F56E 3E 30 1821 LD A,$30
F570 85 1822 ADD A,L
F571 CD 6D F3 1823 CALL LPTOUT
F574 C1 1824 POP BC
F575 E1 1825 POP HL
F576 C9 1826 RET
F577 1827 DIV
F577 3E 2F 1828 LD A,$2F
F579 B7 1829 OR A
F57A 1830 #FC30
F57A 3C 1831 INC A
F57B ED 42 1832 SBC HL,BC
F57D 30 FB 1833 JR NC,#FC30
F57F 09 1834 ADD HL,BC
F580 C9 1835 RET
F581 1836 #FC37
F581 7D 1837 LD A,L
F582 6C 1838 LD L,H
F583 67 1839 LD H,A
F584 1840 #FC3A
F584 7C 1841 LD A,H
F585 CD 6D F3 1842 CALL LPTOUT
F588 7D 1843 LD A,L
F589 CD 6D F3 1844 CALL LPTOUT
F58C E1 1845 POP HL
F58D C9 1846 RET
F58E 1847
F58E 1848 KANRIGHTTEST ;lower カ ナツ CR / routine
F58E 32 66 F6 1849 LD (CRJISH),A
F591 16 20 1850 LD D," "
F593 C3 E6 F4 1851 JP #FAD1
F596 1852 GETPOS
F596 21 1B 13 1853 LD HL,POSWK
F599 7E 1854 LD A,(HL)
F59A 36 00 1855 LD (HL),$00
F59C C9 1856 RET
F59D 1857
F59D 1858 ; ** Work area **
F59D 00 00 00 00 1859 PRTWKTOP DS 200
F5A1 00 00 00 00
F5A5 00 00 00 00
F5A9 00 00 00 00
F5AD 00 00 00 00
F5B1 00 00 00 00
F5B5 00 00 00 00
F5B9 00 00 00 00
F5BD 00 00 00 00
F5C1 00 00 00 00
F5C5 00 00 00 00
F5C9 00 00 00 00
F5CD 00 00 00 00
F5D1 00 00 00 00
F5D5 00 00 00 00
F5D9 00 00 00 00
F5DD 00 00 00 00
F5E1 00 00 00 00
F5E5 00 00 00 00
F5E9 00 00 00 00
F5ED 00 00 00 00
F5F1 00 00 00 00
F5F5 00 00 00 00
F5F9 00 00 00 00
F5FD 00 00 00 00
F601 00 00 00 00
F605 00 00 00 00
F609 00 00 00 00
F60D 00 00 00 00
F611 00 00 00 00
F615 00 00 00 00
F619 00 00 00 00
F61D 00 00 00 00
F621 00 00 00 00
F625 00 00 00 00
F629 00 00 00 00
F62D 00 00 00 00
F631 00 00 00 00
F635 00 00 00 00
F639 00 00 00 00
F63D 00 00 00 00
F641 00 00 00 00
F645 00 00 00 00
F649 00 00 00 00
F64D 00 00 00 00
F651 00 00 00 00
F655 00 00 00 00
F659 00 00 00 00
F65D 00 00 00 00
F661 00 00 00 00
F665 00 1860 KNJMODEFLAG DS 1
F666 00 1861 CRJISH DS 1
F667 1862
F667 00 1863 JISH DS 1
F668 00 1864 JISH2 DS 1 ;for PRINT#0
F669 08 1865 KMODE DB 8 ;0 Normal,1-7 color 1-7,8 =COLOR
F66A 00 1866 KMODE2 DS 1
F66B 00 1867 ATTR DS 1
F66C 00 1868 PRDATA DS 1
F66D 00 1869 COUNT DS 1
F66E 00 1870 BANK DS 1
F66F 00 00 1871 FCUR DS 2 ;adrs of KANJI left side
F671 00 00 1872 ACUR DS 2 ;adrs of KANJI right side
F673 00 00 1873 COPYXY DS 2 ;for copy cursor
F675 00 1874 KVDATA DS 1
F676 00 00 00 00 1875 PATTERN DS 32
F67A 00 00 00 00
F67E 00 00 00 00
F682 00 00 00 00
F686 00 00 00 00
F68A 00 00 00 00
F68E 00 00 00 00
F692 00 00 00 00
F696 1876
F696 1877 KVRAM ;size 7FFH bit 0-2 using BANK
F696 1878 ; 2Kbyte bit 3 if 1 then KANJI right
F696 1879

```


究極のエディタを求めて

カードを破り捨て画面エディタへ

計算機というものは、さまざまな要求に柔軟に応じてくれるところがありがたいところでもあります。あれをしろといった一方的なことだけではなく、こういうときにこれをどのようにしてほしいという複雑な要求にも答えてくれなくてはなりませんので、計算機に対してなんらかの「手順」を与えてやるということは、将来どんなに計算機が発達しようとも必要であることには変わりありません。

ただし、

- 1) 計算機本体のハードウェアとプログラム言語が進化し、日常言語に近づく
- 2) インタフェイスのハードウェアと認識のアルゴリズムが進化する

という2点により、友だちになにかを頼むような雰囲気、コンピュータに処理をさせる環境の実現に近づきつつあるのは明らかです（『2001年宇宙の旅』のHALといったらピンとくるでしょう）。

そのような理想の状態がくるまでは、やはりある計算機言語のルールに従ったプログラムを、エディタが走る計算機に向かってシコシコと作らなくてはなりません。

ところで、エディタというものは最後のほうで触れるように、誰もがこれからますます使うようになるであろうワープロとも密接に関わってくるので、「私はエディタなど使う必要はない」という人にも意外と密接にかかわってくるものだと思います。

ほんの10数年前は、計算機と直接対話し

ながらプログラムを組むような環境などはまったく実現されていなかったのに、

プログラムを入力する

=カードに穴を開ける

というような、いま考えるとまったく恐ろしい世界が主流でした。プログラムのバグの修正はすなわち「ちえっ、こいつが悪いんだ」などとつぶやきながら、その部分のカードをクズかごに破り捨てることを意味していました。そしてまたその部分を穿孔機なる立派なマシンで穴を開け直してから、カードの束を持って読み取り機の前にいやいや並んだものでした。

その後、行単位で管理や修正を行うラインエディタの時代（10年ぐらひ続きましたか）を通り抜け、現在の80年代はスクリーンエディタ全盛の時代です。スクリーンエディタ方式というのは、いまのワープロのように画面上でカーソルを自由に移動して入力したり編集する方法のものです。

僕が愛用しているエディタは、UNIX上のvi（ブイアイと素直に呼ぶ）というもので、かなり有名なものです。さらにEMACS（イーマックスと呼ぶ）なる化け物のようなエディタがありますが、これにはいやというほどの機能が用意されており、ちゃんと使いこなしている人などほとんどいないようです。たぶん使いこなせれば素晴らしいのですが、不勉強な自分はいまだにエディタを終了させるコマンドさえ覚えていません。このEMACSでは、さらに自分でLISP言語を使って機能を拡張することもできます。

しかし、僕がviを気に入っている大きな理由のひとつは、インサート（テキスト入力）モードに比重を置きすぎているということです。つまりWordMasterやふつうのワープロでは、通常の状態を挿入モードとしており、なにか編集をしようすると特別のコマンド状態に移ったり、ファンクションキーやコントロールキーを使ったりせねばならないので、編集を自由自在に行いにくいと思えるのです。

一方viでは、最初の状態はインサートモ

ードではなく、コマンドを受け付けるモードです。つまり通常の状態をコマンドを受け付ける状態とし、インサートも削除やコピー、移動、サーチなどの編集コマンドのひとつと同列に扱っているのです（図1）。

使っていてなにがいいのかといいますと、たとえばカーソルの下から右に5文字は余計だから削除しようというときに、viでは「5x」というふうに、キーを2回叩くだけでいいのです。インサートモードをメインに考えたエディタでも、コントロールキーを使用して比較的簡単に編集操作ができるものは数多くありますが、やはり柔軟性ではかたまりません。ただ単に機能拡張に走るだけでなく、基本的なモードの再設計からやってほしいと思います。

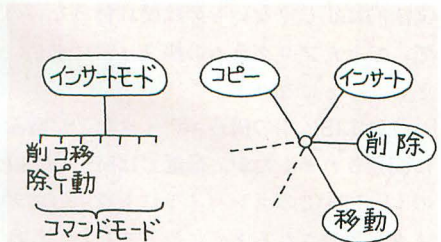
スクリーンエディタが100行で

先日、パラパラと雑誌をめくっていると見つけた記事があります。そこにはMacintosh用のスクリーンエディタのプログラムリストが載っていました（日経バイト1986年5月号）。Cで書かれているのですが、驚くべきことはプログラム全部でたったの100行ぐらひだということです。しかもただのスクリーンエディタではなく、マルチウィンドウでマウスを使って、どこでも自由に切り貼りができるというスグレもののなのです。

なぜこのような芸当ができてしまうのかというと、ウィンドウ関係だけでなく、切り貼りの編集までも、ROMのなかのルーチン（ツールボックス）でサポートしているということに尽きるようです。ですから、プログラムも全体的な制御構造を記述することに専念するだけでよく、ハードウェア上の細かい部分についてはまったく気にしなくてよいのです。

ユーザーインタフェース（ここでは特にユーザープログラムとハードの関係）については、Macintoshが現時点ではトップレベルかと思っていましたが、カラー版Macともいべきコモドル社のAMIGAのほうが格段に素晴らしい、ということ、別の記事

図1 コマンド体系の違い



1) インサート主導型

2) vi型

では主張しています。これはアメリカの『BYTE』誌(1986年9月号)のその名もズバリ「AMIGA VS. MACINTOSH」という記事です。そのなかで両機種の総合的な比較をし、その結果AMIGAを明らかな勝者としています。特にユーザーインタフェイスの点でもAMIGAが優れているといっているのは注目すべきことです。

AMIGAのインタフェイス部分は、INTUITION(直感という意味)というソフトが受け持っていますが、ユーザーのプログラムとの通信のために2つのメカニズムを備えています。ひとつは通常の文字単位の通信ですが、もうひとつはIDCMPというメッセージポートです。AMIGAは完全なマルチタスクマシンであり、タスク間の通信はこのメッセージポートを使いますが、INTUITIONとユーザープログラムの通信を受け持つのがこの特別なIDCMP(Intuition Direct Communication Port)なのです。このポートを介すおかげで、より柔軟なユーザーインタフェイスを実現したわけです。その結果Mac以上にユーザープログラムの負担を減らすことができるとしています。

大きな話題を巻き起こしているX68000は、ハードウェア的にはMacの上をいくものですが、しっかりとMacなみのROMを積んでいるので、AMIGAと同様なインタフェイスが実現するでしょう。革新的なハードが誕生したときにソフトが皆無なのはしかたのないことです。Macでさえ巨人IBMのパソコンには勝てないかと初めのうちは思われていましたが、いまではソフト的にも充実してきました。それはいつてみれ

ば当たり前のことなのです。何1000行ものプログラムでやっと実現することが、ハードの実力のおかげでわずか100行で実現してしまうのですから。

僕が愛用しているviなどのエディタも、基本的にはキャラクタディスプレイの端末を想定しているのです。そういう意味ではこれからのワークステーション全盛時代には、あっという間に誰も振り向かなくなるかもしれません。基本的にはそういうものなのです。

賢い構造エディタ

エディタの処理などはセントラルプロセッサにとってはほんの朝飯前の仕事ですし、なにせ「うーん、どこが間違っているのだろう?」などとうなっているような人間相手の仕事ですから、コンピュータとしては暇で暇でしかたがないわけです。そこでもっと賢い仕事をさせようというのが、構造エディタと呼ばれるものです。

ふつうのエディタでは、入力されたデータを構造のない単なる文字列として扱いますが(正確には行という構造はあります)、構造エディタは、対象とするテキストのなんらかの構造をあらかじめ知っています。ですから、いろいろとありがたいことが出てくるのです。

なお、この文章ではエディタといえばプログラムエディタを意味していますが、実際にはもっと抽象的なレベルのものもあります。構文エディタも広い意味のことばであり、特にプログラムなど狭い範囲のものを対象としているときには、構文指向型エディタ、言語指向型構造エディタなどといいます。

構文エディタはその言語の文法を知っているのです、

●構文的に間違いのないプログラムが必ず作れる

という大きな特長があります。このおかげで、エディタを抜け出してコンパイラを起動したら、カッコがひとつ足りなくてエラーとなり再びエディタに入って直す、など

という無駄な手間をかけなくていいようになります。

それだけでなく、

●初心者学習用にも向いている
ということも特長としていわれます。

ところが反対に、構造エディタは初心者には向かないという議論もあるのです。つまり削除、置換などの編集を行うときに、構造エディタの場合、ユーザーが内部で保持されているデータ構造を知っていなければならないということが多いのです。内部の構造というのはその言語に対応する構文木といわれるものです。

構造エディタにおける入力方式の典型的なものがテンプレート式です。これは構文をトップダウンに決めていくというもので、変数名やデータの値以外は直接にキーから入力する必要のないものです。

たとえば、IF文を入力しようと思ったら、Ctrlキー(コントロールキー)とIキーを押すだけでよく、それにより画面上に、

```
if(#COND) #STAT ;
```

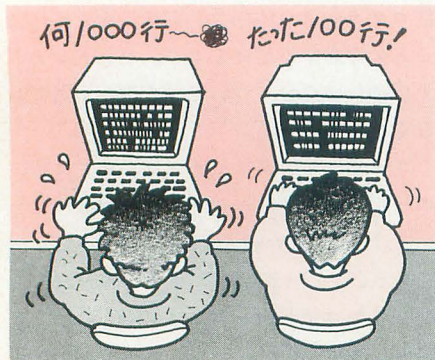
というテンプレートが表示されるのです。これは、条件部(#COND)とステートメント部(#STAT)の部分がまだ具体化されていないIF文の型です。そしてカーソルは#COND(条件)の上にあるので、次にCtrl+E(等式の意味)などと押すと

```
if(#EXPR==#EXPR) #STAT ;
```

となるのです(#EXPRは式を表す)。

このように徐々に細かいところの構文を選択的に決めていくというやり方です。この方法ならば厳密に文法を知らなくても、プログラムが作れますし、選択するとき文法的に正しくないものは受け付けられないので、できたプログラムの構文は常に正しいということになります。

昔はLISP用の構造エディタなどが盛んに開発されましたが、最近ではMS-DOS上のModula-2のコンパイラにも専用のエディタが用意されるまでになりました。これからは言語のコンパイラだけでなく、エディタ、デバッガまで含めた総合的な環境を競う時代といえるでしょう。



長所を集めたエディタを考える

実は昨年春から秋にかけて、究極のエディタはこれだという信念に基づいて構造エディタを作っていました。まず考えたのは、せっかく構文解析をするのだから構文的にまちがっているかどうかチェックするだけではもったいない、どうせならコンパイラの仕事の何割かでもやらせようということでした。そこで中間コードのようなものを直接エディタ内で入力に応じて徐々に作るようにしました。

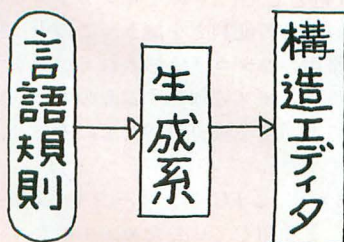
また対象とする言語は最初には決めておらずに、言語の文法規則を専用のツールであらかじめ構造エディタ用のデータに変換しておき、どんな言語にも対応できるようにしました(図2)。

ここまで考えてきたとき大きな問題になったのが、入力方法をどうするかということです。なんとか従来のスクリーンエディタの操作性を維持しつつ、構造エディタの利点も実現する方法はないかということで考えたのが、

「入力の任意の時点で先に述べたようなテンプレート選択式の入力とスクリーンエディタ式の入力が選べる」

というものです。つまり、たとえばここでIF文を書きたいと思ったならば、選択キーでテンプレートを画面上に表示させてもよいし、ふつうにキーで1文字ずつ書き下していてもよいというものです。1文字ずつ書いたなら、その文の入力が終わった時点で構文解析が行われ、エラーが発生したならばその場で修正します。

図2 言語に応じて



ですから、プログラムを最初から最後まで1文字ずつキー入力する人にとっては、ふつうのスクリーンエディタのように見えますし、ずっと選択式にやる人にとっては従来の構造エディタのように使えます。また、編集もかなり柔軟にできるようにしました。

内部の処理ではソースのテキストそのものと、構文木(正確には抽象構文木)の2つを持っています。このおかげで2つの方式を組み合わせることが可能になったのですが、たえず両者を同時に処理しなければならないので、処理系が少し重くなっていました。

もし目指している構造エディタが100%完成したならば、

- 1) バグの半分がエディタ内で検出できる
- 2) コンパイル時間が半分になる
- 3) 言語のマニュアルを見る回数が半分になる

というような大きな利点が生ずることになります。

残念ながら現在は、関連するまた別の大きなテーマのほうに研究の対象が移ってしまっているので、ここで述べたエディタの完成度を上げるという作業は中断していますが、そのうちきちんとした形に仕上げるつもりです。

ワープロだってエディタだ

ワープロの問題は、また別の機会にまとめてやるつもりですが、基本的にはエディタの問題を含んでいると思います。ですから、最初のほうで述べたモードについてのことも考えるべきです。ふつうのワープロは通常がインサートモードでなにか操作するときには特別のコマンド列で指示しなければなりません、頻繁に切り貼りをする場合にいまのような体系が本当に適切であるのかは疑問があると思われます。

一方構造エディタ的な実現方法をそのままワープロに持ち込むのは無理です。つまり日本語の文法というものは、プログラミング言語に比べて複雑極まりないので、



本質的にむずかしいのです。同じ言語でも自然言語と人工言語では決定的な差があります。それはあいまいさといってもよいし、文脈というものがあるかということともいえます。

ですから、さしあたっては部分的なサポート機能を持たせることを考えるべきです。構造エディタのトップダウンな入力方法、つまり段階的詳細化という方法(少しずつ大ざっぱなところから細かいところに向かって決めていくやり方)は大いに参考にすべきです。

なにか文章を書こうとして、いきなりワープロに向かってどうも抵抗感が強くなかなか書けないのは、文章を作るときに思考の過程をいまのワープロがまったくサポートしていないからです。

ふつうはどういうふうな論理の展開にするか、見出しはどうするかなどマクロなレベルから入っていき、それから徐々に具体的な部分に入っていくわけですが、このようなところをサポートしなかったら、いくら高度な編集機能を実現してもいつまでたっても、紙と鉛筆が必要な不完全なワープロのままであると思います。

最近、アメリカで注目を集めているニュータイプのワープロ(アイデアプロセッサという)は、このような部分をサポートしようというアプローチを持つものらしいので、ぜひ試しに使ってみようと思っています。

<参考文献>

有田、永松、森下：コンパイラを支援する構造エディタについて、情報処理学会第33回全国大会，pp. 763-764，1986

ホビー、ビジネスとパソコンの利用法はさまざまですが、新しい世界となると通信ということになります。峰岸氏の講演、ホビイストに熱心に受け止められたことでしょう。そして、毎回この千夜一夜で豊富な資料を提供してくださる氏ですが、その裏にはもっとも基本的かつ実用的なデータベースがあったからなのですね。

コンピュータとは無縁の私でしたが、10年ほど前からすっかりこの魅力にとりつかれてしまいました。そしてその後のパソコン遍歴や友人、周りの出来事などを書き続けています。

今夜は、5年ほど前に知り合った友人の誘いで、パソコン通信の楽しさ、面白さ、そしてこの「パソコンの新しい世界」を語るイベントに参加したので、このお話をいたしましょう。

会場からFBIネットなどにアクセスし、またBBSでの友だちとも初めて顔を合わせたりして楽しい1日でした。

ゲームでおなじみの乱数について、この等出現性を検定するプログラムでテストしました。この結果もお話しいたしましょう。

5年前のことでした

昭和56年12月、たった5年前のことですが、パソコンの世界ではずいぶん昔のような気がします。ちょうど、パソコンが世に出てビジネスユースへと広がりはじめ、オフィスではこれにどう対応していけばいいのか模索していたころでした。

「ビジネスを大きく変えていくパーソナルコンピュータ」というテーマの座談会が、あるイベントで開かれました^{注1}。座長はパソコンのビジネス実用では教祖的な存在の成蹊大学経済学部教授高橋三雄先生、企業へのパソコン導入では最先端を行っていた味の素(株)システム物流部保志尚部長、協和醸酵工業(株)システム部岡田英明次長、それに私の4名でした。

保志、岡田の両氏はいずれも全社のコンピュータ戦略を統括する立場であり、社内にパソコン革命を起こそうと情熱を燃やしており、もちろん、私も同じ立場のつもりだったのです。

味の素では本社に23の部門があり、パソコン利用台数もちょうど23台、ほとんどの部門で使っている——と保志さん、協和醸酵では事務用に22台、汎用コンピュータへのデータの収集用として19台——と岡田さん、そして私のところでは8台、それぞれどんなことに使われているかを語り合いました。

記憶装置がカセットデッキからディスクドライブに移りはじめたころ、お互いにビジネスへの利用の理想を述べ、そして、高橋先生には一層高い立場からのご意見を伺い、印象の深い1日でした。

このとき、このイベントの企画と進行を担当したのが(株)エスデージーの坂口利彦さんでした。

通信セミナーのイベントに参加

昨年末のことです。5年ぶりに坂口さんからの電話でした。

「パソコン通信セミナーというイベントを計画しています。パソコンホビイストという立場から、パソコン通信の楽しさについて話してみませんか」というのです。

好きなパソコンホビー、そして特にこのごろ熱中しているパソコン通信のこと、予定日も休日の成人の日とこのことなので喜んでOKしました。

すぐ、イベントの案内というプリントが届きましたが、情報の整理と活用でよく知られている山根一眞氏、パソコンでマンガを描くといわれるモンキーパンチ氏、パソコン通信のルーツ横田秀次郎氏、著作を拝見している中村広幸氏、いずれも有名な人たちではありませんか(図1)。

しまった。コレはとて……と思いましたが、パソコンホビイストとしてパソコン通信の楽しさを語るのならば、とファイトを出した次第です。

情報戦略の孔明、山根一眞さん

「情報の洪水」という言葉がある。

これはうそだ。

情報があふれるほどあっても、この洪水の中味は、じつは同じようなモノがあふれているだけで、これをキチンと整理するのが大切なのである^{注2}。

これは山根さんのいつも主張する言葉です。氏は、この主張から情報の整理と活用について研究し、自己体験をいくつもの著作に発表しています^{注3}。

まず、個人情報の収集、整理の3種の神器として、ワープロ、コピー、8ミリVTRをあげており、さらにこれらの活用にはデータブックとして36,000円のシステム手帳、ファイロファックスが最適と『スーパー手帳の仕事術』で述べています。

さらには、情報システム艸として、ファイロファックスをそのまま収容するショルダーバッグの便利さを説き、この中に秋葉原で入手した万年筆型の携帯用ハンダゴテまで入れているようです。このコテはガスライター用のガスで加熱するもので、10Wから40W相当まで熱量を調節でき、電子機器が増えている昨今、不可欠の道具であるというのです^{注4}。

私も、パーソナルコピー(キヤノンFC-3)、ワープロ(文豪ミニ7)、8ミリVTR(ソニー)と愛用していたため、すっかり山根党になってしまいました。

パソコン千夜一夜 第35夜

パソコンの新しい世界とRND関数

Minegishi Junji
FORESIGHT 峰岸 順二

彼の情報整理術のひとつ、10,000円でできるデータベースを紹介いたしましょう。私も情報の整理には以前から類似の手法を行っていましたが、氏の方法に統一し、とても重宝しています。

茶封筒の機動情報システム

情報の整理という、すぐパソコンを利用したらと思いますがこれはいけません。

共通のデータベースを、多数の人が使うのにはコンピュータが必要でしょう。しかし個人のデータの利用となると、まずパソコンのスイッチを入れ、ソフトを立ち上げて……と手間がかかります。名刺の利用、文献カードの利用が衰えないゆえです。

いろいろな情報がまとまってひとつのファイルになる。このファイルを、角形2号、240×332ミリの茶封筒に入れるのです。A4サイズが入り、100枚で1,000円前後で入手できます。

封筒のふたは不要なので切り取り、そして左端の上部にインデックスを書き込み、百科事典方式で茶封筒をアイウエオ順に並べて保管するのです(図2)。インデックス枠を書く定規を作るとうまく揃って気持ちよくできます。皆さんも工夫してください。

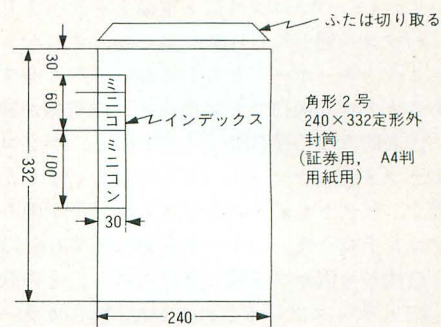
この方法で、私はパソコン関係の資料、各種のショウやイベントでのカタログ、新聞の切り抜きを整理し、千夜一夜のネタとし

ているのです。

「著作権」「スーパーミニコン」「AI」「秋葉原」などの茶封筒もあり、千夜一夜のテーマとなるのを待っています。もちろん、会社の私のデスクの中、プロジェクト

や担当者ごとの茶封筒でいっぱいです。

図2 機動情報システムの封筒加工法



モンキーパンチさん

モンキーパンチさんのパソコン利用については、いろいろな雑誌に紹介されているので有名です¹⁵⁾。

まずは10年前、渡米したときAppleに目をつけて購入、その後X1、FM-8、FM-7、PC-100を遍歴、そして現在ではPC-98XAを使っているとのことでした。

仕事に使えるのではないかと、との動機でスタートし、結局はグラフィックツールも自作するほどの熱中ぶり、マニアの世界にもドップリつかっているのでしょう。

パンチさんのパソコン通信へののめり込み、ぜひともこのイベントで聞きたかったのですが、あいにく1月12～14日と関西・中国地方への出張、残念でした。

パソコンの新しい世界

ホビーとしての「パソコン通信とその楽しさ」を語るには、イベント会場からホスト局にアクセスしてみせるのがベターと考えました。ホストとしては商業データベースではなく、アマチュア

のホビイストの、いわゆる草の根BBS局でなければなりません。会場にはパソコンが準備されているはず、少し早く会場に着き、マシンに持参のソフトを入れてさっそくFBIにアクセスしたので

す。FBIとは、私の属するパソコンクラブ、FORESIGHTのメンバーの中村守利さんが開局しているホストです。しかし、驚いたことには、キーボードをたたいてもCRTに文字がまったく出ないで応答なし、慌てました。マシンとモデムとソフトのどれかが合わない、条件設定が違うのか、と冷や汗が湧いてきました。

結局、この少しあとに到着したクラブの友人、実力No.1の川村さんをお願いをし、いつもと同じ手順でアクセスできるようになって面目を保つことができたのです。

まだまだパソコンは難しい、よくいわれるのですが、自動車のアクセルやブレーキのように、規格統一されたマシンやモデムが欲しいものです。

お話と会場からのアクセス

まず第1に、都内03局にはどんなBBSがあるのか、50局ほどのリストをOHPで映し出し、主なものを説明しました。

図1 「パソコン通信特別セミナー」メンバー

期日	1月12日～1月16日 時間 PM2:00～PM3:30				
12日	山根一真氏 ノンフィクションライター テーマ 「情報の有効利用とパソコン通信」 『スーパー書斎の仕事術』(ビジネス・アスキー)、『変体少女文字の研究』(講談社)などの著書で知られる山根氏に、パソコン通信を活用した情報の有効な利用法を披露していただきます。				
13日	モンキーパンチ氏 漫画家 テーマ 「趣味と実益を兼ねたパソコン通信」 「最近ではマンガのネタもBBSで探しています。」とおっしゃるパソコン通信への熱中ぶりを、ルパン3世誕生の裏話などを交えてお話しいたします。				
14日	横田秀次郎氏 常盤マイコンクラブ代表 テーマ 「広がれ、草の根BBS」 パソコン通信の先駆者ならではの、さまざまな経験談に加え、今後の草の根BBSの広がりなどを熱っぽく語っていただきます。				
15日	峰岸順二氏 マイコンクラブ FORESIGHT 会長 テーマ 「パソコンの新しい世界」 パソコン利用の第一人者を自他ともに認める峰岸氏に、パソコン通信の楽しさ、便利さをわかりやすく講演していただきながら、パソコンの新しい魅力を語っていただきます。				
16日	中村広幸氏 ネットワークデザイン研究所 テーマ 「コミュニケーション新時代」 パソコン通信によって生まれる、まったく新しいコミュニケーション世界、そこから始まる新しい時代について講演していただきます。				

表1 パソコン通信と電話の比較

	パソコン通信				電話
	BBS	電子メール	チャット	電報	
関係する人数	多数	一人	数人	一人	一人
タイミング	いつでも	いつでも	同時	同時	同時
実用	連絡	連絡	——	——	連絡
			おしゃべり	おしゃべり	おしゃべり
必要な技術					
ハード	パソコン一式、モデム				NTT
ソフト	プログラムタイピングの技術が必要				簡単
費用	D	C	A	B	B～D
面白さ(順序)	C	D	B	A	B～D
(理由)	発表欲満足	連絡便利	同時性	同時性	同時性
	ユーモア	複数へ連絡	技術競争	技術競争	
	情報入手	転載可能	不特定多数	特定の単数	
	感情不明	同左	同左	同左	感情明瞭

次に、パソコン通信に必要なもの、つまりハードとソフトについて話し、パソコン通信と電話とを比べました(表1)¹⁷⁾。

パソコン通信にはBBS、メール、それから同時にアクセスしている人とキーボードを介しておしゃべりをするチャットや電報がありますが、面白さではチャットや電報が勝ると思います。

代表的な草の根BBSとしてFBIと、パソコン関係の出版社であるナツメ社のナツメネットとを紹介しました。後者もマニア色が濃く、ゲストも読み書きできる談話室があり、また私専用の「パソコン千夜一夜」のボードもあります(図3)。

会場から両ホスト局にアクセスし、その状況は会場内の3台のCRTにディスプレイされました。特にカラーの雪ダルマは美しく、歓声があがったほどです。

パソコンに適不適はあるのか

最後におまけとして、私の持論、人にはパソコンに適不適があるのかについて述べました。

パソコンする人、しない人。パソコンをするには適性というものがあるのかどうか。私の周りのパソコンをする人、しない人を見ていると、どうも適性というものがあるようです。

表2を使って説明しました。これはその人の持ちものや行動を見て判定するものですが、皆さんや皆さんの周囲の方はどうでしょうか。もちろん、人間は複雑な動物なので例外も多いとは思いますが。

図3 ナツメネットの談話室

*****[談話室]*****

- [1] 当システム
 - [1] 当システムからのお知らせ
 - [2] 当システムへの御意見
 - [3] ナツメ社からのお知らせ
 - [4] ナツメ社への御意見
 - [5] ナツメ社社長室
 - [6] 著者との談話室
- [2] フリートーク
- [3] ホビー
 - [1] アニメーション
 - [2] Audio & Video
 - [3] BOOK+COMIC=倶楽部
 - [4] 自然に親しもう
 - [5] 呑み道楽/食い道楽
 - [6] G・U・N
- [4] コンピュータ
 - [1] パソコン一般
 - [2] パソコン通信
 - [3] 情報処理試験
 - [4] ファミコン
 - [5] ワープロ専用機
- [5] ハードウェア
 - [1] NECマシン
 - [2] 富士通マシン
 - [3] シャープマシン
 - [4] その他のマシン
- [6] ソフトウェア
 - [1] OS
 - [2] C言語
 - [3] BASIC/その他の言語
 - [4] ワープロソフト
 - [5] RDB/表計算ソフト
 - [6] ゲームソフト
- [7] 会員のプロフィール
- [8] パソコン千夜一夜
- [D] 旧掲示板
- [2] 旧フリートーク
- [C] チャット機能
 - [1] チャットルーム1に入室
 - [2] チャットルーム2に入室
 - [3] チャットルーム3に入室
 - [R] チャットルームの状況通知
 - [T] 電報機能
 - [W] 現在のアクセス状況通知

表2 パソコン適・不適判定チェックリスト

項 目	判 定 法	
	パソコン適	パソコン不適
好奇心が強い 文房具 電卓 群れない	変わった文房具を使う シャープペン・ボールペン・水性ペン 新型電卓 電卓はひとりで乗る 単独行を好む	従来の品物に愛着する 鉛筆愛用 使いなれた電卓 ひとり旅を嫌う 一緒に飲みたがる
綿密 新しもの好き	時刻表をよく読む デジタルウォッチ ウォークマンに飛び付く	他人の計画に従う アナログタイプ ウォークマン反対派

図4 会場からのアクセス

*****NAT [談話室] SpecialBoard [パソコン千夜一夜] *****
00056 87-01-15 15:38:30 NAT2009! 今、会場です
いま、会場のパソコンからNATにアクセスしています。
峰岸さんのお話、面白かったです。
いつもBBSでお話をしている川村さん、すぐ帰ってしまったのか会えないで残念でした。
峰岸さん、どうもご苦労さん。

“チャ” & puffin

*****FBI [談話室] *****
00124 87-01-15 15:27:31 FBI30036 ハイ ハイーイ
イマ カイジョーデース。
MINE シ ノ オハナシ タイヘン オモシロカッタ。
カワムラ サン ニ ワタシノ カオ ラ ミセルマエ ニ カエラレテ シマ
ッタ ノガ ココロノコリ デシタ。
デハ マタ。
“チャ”

BBSの友人たち

私がこのテーマでイベントに参加することは、あらかじめBBSに書いておいたので、BBSの友だちがたくさん応援にかけつけてくれました。クラブから6名、それにパソコン通信でいつもチャットをしておなじみののですが、まだ顔を合わせたことのない友人たち3人。

イベントが終わってから、私も含めて10人が集まり、楽しいおしゃべりをしたのです。こんな楽しさもパソコン通信のメリットでしょう。

この中の2名がイベントのデモ機からホスト局のボードへ書き込みをしていました。紹介いたしましょう(図4)。

イベントが終わったあと、何か記念に書いて欲しいと坂口さんに頼まれたので、次のような文を書きました。

「パソコンは
とてもたくさんの友人を
私に与えてくれました」

RND関数について

パソコンにはRNDという関数があります。

UFOを動かしたり、トランプをシャッフルしたり、そして麻雀パイをかき回したりするのに、この関数が活躍します。

手でサイコロを振るように、まったくでたらめな数が出るのが理想的なのですが、パソコンではこのためにいろいろな工夫をしているのです。

日本で最初のBASICマシンであるTK-80BSのレベル1 BASICのRNDはとてもひどく、同じ数字、たとえば1ばかりが続いて現

れたりしました。これはROMの内容を適当なアドレスから次々に読み込んでいくものらしく、ゲームが同じパターンとなってしまうようになるほどでした。

その後RNDも改良工夫されてきて、特別に問題がなくなりました。私はいつも、この関数の精度はどうか、マシンがレベルアップするたびに思うのですが、今夜はひとつ、この関数の精度をいろいろなマシンについて調べてみます。

Oh!PCに連載されている「バイト&ワードの風について」林晴比古さんのエッセイはとても内容が充実しており、愛読しています。この中で乱数のバラツキについて述べていますが、ここで使っている式を利用させていただきましよう^{注8}。

RNDの等出現性の検定

リスト1を使いました。

140行では0~9の乱数を10000回発生させています。このときの0~9の実現回数を数え、バラツキがどうかを調べるには、

$$\frac{(0\text{の回数}-1000)^2}{1000} + \frac{(1\text{の回数}-1000)^2}{1000} + \dots + \frac{(9\text{の回数}-1000)^2}{1000}$$

の式を使いました。バラツキが小さいほど精度がよいことを示しています。すべて1000回出現した場合は0になります。

手もとにあってすぐ使えるマシンについての結果を表3にまとめました。昭和52年、日本で初めて販売されたBASICマシン、TK-80BSのレベル1 BASICでは、6が414回、2が3816回と出現度が10倍近くの差があったのがわかります(リスト2)。

所要時間も測定してみましたが、PC、FM系に比べてMZの速いのが目立ちます。しかしこのPC-8801は初期のマシンなので最近のマシンではどうか、機会があったらテストしてください。

林さんは、次の式がバラツキが小さいので愛用していると述べています。

$$X_{i+1} = (23X_i + 2345) \bmod 4567$$

そしてリスト1の140行を次のように変更すれば使えます。

```
140 A=23×A+2345:A=A-INT(A/4567)*4567:X=
INT(A/4567*10)
```

この結果も表3に加えておきました。

パソコン対スーパーミニコン

32ビットCPUを使ったマシンの話題がにぎやかです。そして、スーパーミニコンやEWS(エンジニアリング・ワークステーション)と、どうも紛らわしい名前が新聞や雑誌で目につきます。

明日の夜は、この辺を整理し、性能と価格など比べてみましょう。

- 注1) ADVANCE No. 14, 1982.1.NECマイコンクラブ事務局
 注2) 山根一眞: 1万円のできるパーソナルデータベース 84p, ASPECT, 1984.12.アスキー
 注3) 山根一眞: スーパー書斎の仕事術, ビジネス・アスキー
 スーパー手帳の仕事術, ダイアモンド社
 注4) 「システム靴」術 8p, BOX, 1987.2.ダイアモンド社
 注5) LOGIN 230p, 1986.4.アスキー, BOX 63p, 1987.2.ダイアモンド社
 注6) FORESIGHT Bulletinboard Information Systemの略でクラブの会員および非会員で構成されている。2回線
 注7) 費用の項目では安価なものから、また面白さの項目では面白いものから順にAからDまでランク付けをしています
 注8) 林晴比古: バイト&ワードの風について 233p, Oh!PC, 1986.10.日本ソフトバンク

リスト1 RND 関数のチェックプログラム

```
10 REM -----
20 REM
30 REM RND関数のチェックプログラム
40 REM
50 REM ハヤシ ハルヒコ バイト&ワード ノ カビニ ノ ヲラ
60 REM
70 REM OH MZ 62(4) ハ'ソコン センヤイヤ
80 REM FOR MZ-700,1500,etc スペ'ラ
90 REM 62/2/1
100 REM -----
110 DIM CT(9)
120 N=10000
130 FOR I=1 TO N
140 X=INT(RND*10)
150 CT(X)=CT(X)+1
160 NEXT I
170 REM
180 FOR I=0 TO 9:PRINT/P I;"-":CT(I):NEXT
190 REM
200 D=N/10
210 FOR I=0 TO 9
220 BARA=BARA+((CT(I)-D)+2)/D
230 NEXT I
240 PRINT/P "ハ'ラフキ ="BARA
250 END
```

N = 10000を10回実行		
バラツキ		TI\$
ハ'ラフキ = 6.314		000146
ハ'ラフキ = 3.434		000146
ハ'ラフキ = 9.454		000146
ハ'ラフキ = 4.822		000146
ハ'ラフキ = 15.046		000146
ハ'ラフキ = 13.490		000146
ハ'ラフキ = 6.058		000146
ハ'ラフキ = 14.412		000146
ハ'ラフキ = 7.338		000146
ハ'ラフキ = 8.258		000146
ゴ'ウケイ = 88.446		
		(MZ-1500)

リスト2 TK-80 BSのプログラム(レベル1 BASIC)

	出力結果	
100 FOR I=0 TO 9		
110 @ (I)=0	0	1301
120 NEXT I	1	852
130 N=9999	2	3816
140 FOR I=1 TO N	3	507
150 X=RND(10)	4	812
160 X=X-1	5	630
170 @ (X)=@ (X)+1	6	414
180 NEXT I	7	553
190 FOR I=0 TO 9	8	538
200 PRINT I,@ (I)	9	576
210 NEXT I		
220 STOP		

表3 RND 10000回繰り返し等の等出現性

	所要時間 分:秒	バラツキ	10000回のRNDで現れる0~9の回数									
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
MZ-1500 S-BASIC	1:47	7.84	1028	959	970	1017	1017	964	1074	988	994	989
52-001	1:47	12.65	1046	998	972	997	1058	972	943	966	1028	1020
TK-80BS レベル1	6:11	9394.08	1301	852	3816	507	812	630	414	553	538	576
レベル2	5:10	23.48	1025	1072	974	940	983	938	1045	1076	968	979
PC-8801 N88BASIC	2:24	10.41	1037	960	1018	1008	956	976	1056	968	1004	1020
PC-8801 N-BASIC	2:57	10.41	1037	960	1018	1005	956	976	1056	968	1004	1020
PC-9801	0:44	16.76	1051	990	1074	957	1008	990	977	932	1035	986
FM-8	2:34	10.59	1009	1000	1035	998	989	947	998	1025	1053	946
FMX(MSX)	3:28	16.19	934	1031	1010	987	1004	956	1004	989	1092	993
PASOPIA-7	1:36	10.41	1037	960	1018	1005	956	976	1056	968	1004	1020
林晴比古氏の乱数(MZ)	3:39	0.42	998	992	999	998	997	993	1011	995	1009	1008

どこかの映画のように、マシンが思考を持たないから平和でいられるのか。でもこちらの気持ちも少しは察してよといいたくなるほどマシンは命令に忠実です。他愛もないミスで動かなかったときの気落ち、なぜこれくらいのことと、マシンを恨みたくもなりますよね。

蝶々

迷い出た小さな小さな青い蝶を追って、ホンニャアが驚くほどの高さまで跳び上がった。跳びながら、いちばん高いところで両手をパッと叩くように合わせたが、蝶はヒラヒラと逃げていった。ホンニャアがヒラリと芝生に舞い降りるのと一緒に、まだ枯れ色のフジのつるが大きく揺れた。

庭いっぱいのお日さまと、かすかな風と、緑を見せ始めた木々の香り、これは全部わが家のものだ。

ホンニャアはもういっぺんジャンプをしてから、今度は蝶と一緒に少し走って追いつがった。お日さまが、ホンニャアの背中であっというまぶしく光った。

待ちわびた季節がやってきて、みんなの心が自然にはずんでくる。鳥や花たちと呼びかわすかのように、お隣の窓からは犬のケリーが鼻をヒクつかせてのぞき、モテギさんの庭ではアヒル君が歌い出す。

そして、蝶はホンニャアを誘う。

おサルとホンニャア

トオルもいよいよ6年生の春を迎えた。勉強も趣味もいちだんと楽しそうに盛り上がりを見せて、元気いっぱいだ。今年は、学校の鼓笛隊の指揮者に選ばれて、張り切っている。

ホンニャアはというと、3歳半になった。もうとっくに大人なのだろうと思うが、その見極めはなかなか難しい。ともかくいつも無言だから、やることで判断するしかない

いのだが、観察するほどよくわからなくなる。

きりっと正座している姿は、横顔もリリしい立派な白猫なのに、蝶々を捕まえようと思いたつと、モモンガのように空中に跳び上がる。

ひたいにシワを寄せて気難しそうに考えごとをしているかと思うと、紙袋にもぐって出てこない。のぞくとひっかく。

名前を呼ばれても知らぬふり、何度も呼

猫とコンピュータ

第22回

おサル の ラッキョウ

Takazawa Kyoko

高沢 恭子

ぶと片耳だけピクリと動かす冷ややかさ。そのくせ、満腹のお腹を太陽にさん然と輝かせて、あお向けに眠る。

動物が年を取るといのは、いろいろの習慣を覚えるだけで、ほんとには生まれてからあとそんなに変わるものではないのかもしれない。動物が可愛いということのひとつの理由は、この辺にもあるのだろうか。

ホンニャアが、本棚の裏に入ってしまったビー玉を長いことかけて手でかき出すしぐさは、まったく子猫そのものだ。このあいだはパパに抱かれて蛍光灯のひもスイッチにじやれているうち、つめにかかってパッとランプがついた。そのときの驚き顔の

あどけなさは、“いくつになっても成長が感じられない”という可愛さではなかったろうか。

幼児のころ、おサルさんに玉ねぎがラッキョウの皮をむかせる話を讀んだ。きっと誰でも知っている話だ。

おサルは玉ねぎの皮をどんどんむいていくけれど、どこに中味があるのかわからないうまま全部むいてしまって、結局何も残らない。

むくということは知っていても、目的にたどりつけない。サル未発達をおもしろく語っているけれど、あざ笑っている。

猫でもサルでも未発達のおもしろさは同じように思うけれど、どうして猫だと「可愛く」て、サルだと「おかしく」なるのだろうか。猫は、姿かたちが愛らしいから、というためだけだろうか。

植民地

朝、新しい1日の始まりと一緒にカーテンを開けると、光の差し込む先にパソコンが並んでいる。本棚や書物と同じようにすっかり見慣れて、お掃除のときにはホコリを払ったり、ふいたりもする。こんな日常になってから10年以上たつ。

手作りのLkit-8に始まって、時を追って次々に現

れた機種が仲良く整列している様子は美しい。いちばん最近のものは、機能も姿もシェイプアップされて、いかにも誇らしそうだ。

これらの持ち主であり、真に働かせることができるのは、もちろん夫である。このことは10年前も今も同じはずだ。

Lkit-8が、基板を何層にも重ねてICや抵抗をビッシリ並べ、アバラ骨を見せて活躍していたころは、コンピュータの難しさも“これ見よがし”という感じだった。まるで『困難』という題名のオブジェが飾ってあるようなものだった。

その周りにも、パーツを何十種類も納めたケースや、ハンダや7つ道具がいつも置

いてあったから、お掃除するのもややこしくて、こっちは遠まきに見ているというのに近かった。

そのうち、夫の書棚に手引書や専門書が加速度的に増えるのに合わせてパソコンのお友だちとの交流がだんだん多くなっていくと、もうわが家はじわじわとパソコンの気運が盛り上がっていった。それにつれて、パソコンのほうも、静かにではあるが、2台、4台と繁殖していったのである。

いつの間にかハンダやパーツの兵隊たちの出陣は少なくなり、Lkit-8も展示品となっていていちばん高い棚に安置された。

部屋のすみに発生した異星の教祖は、わが家の一角に立派なコロニーを造りあげてしまったのだ。

さて、恐るべきことは、1室がマシンで埋め尽くされたことではない。もうすでに、タンズと同じようにパソコンの姿になじんでしまった者が、わけもわからなくせに、それに合わせて身ぶり手ぶりで踊りだすことである。

オーナーであって、一家の^あるじである夫が、仕事と趣味の両面でパソコンを上手に生かして、しかもそれがわが家の活気のみなものとひとつになっている。そうなる^と、パパのやることすべてがわが家の流儀になり、マネすることはよいことだと思込む。

「入力」だの、「命令」、「実行」、あるいは「フロッピー」や「初期設定」だの、繰り返して耳にしたり口にしたりするうち、みんな不思議でなくなるからフシギだ。

しかも、パソコンは誰でも触ればなにかが動く。それに、「触らないで！」といっているようだったあのLkit-8に比べたら、超薄型の最新機種は「触ってよ！」と誘っているのだ。

自分でキーを叩いてなにかができたとき、ここで浮かれ出すのが“大コメディ”の始まりである。意味もわかり、操作もできたのだから、パソコンが理解できた。なんとというシアワセな早合点か。

繰り返し学習

パソコン通信を始めてからの浮かれようというのは、自分でもよくわかる。

「BASIC」の勉強の地味なことに比べた

ら、こちらの呼びかけにたくさんの仲間が、答えたり、イタズラしたりの反応をしてくるのだから、次のファイトも湧いてくるというものだ。

CIAは、シスオペのカミヤマさん宅が回線の増設をしたうえ、新たにパソコンを1台つないだため、ホスト局で2人、外部から2人、合わせて4人での会話ができるようになった。

繰り返して勝る学習はないそうだ。せっせとアクセスの実習を続けるほどに手さばきもよくなり、およそのことが問題なくできるようになった。

長文をアップロードするとき、事前に作成してディスクに入れる。ファイル名を付けて、アクセスしてから移し出す手順。

通信をディスクに記録する、つまりダウンロードの手順。とりあえず最短時間で収録して、あとでゆっくり読むことができるし、消滅してしまうCHATや電報の記録^{チャット}ができる。

次々ステップを踏んで夫に教わり、教わっては繰り返すから、ますます手慣れてくる。キーボードに向かう姿勢も、いっばしのパソコンマニアのようだ。

晴天でキラキラ光る今朝のこと、

「ゆうべNATからダウンロードしたのを読んでおいてごらん」

と、出勤する夫がいった。

もう、コートはいらないからと、一度手にしたもの^をを食卓のイスの背にかけて、

「>A DIRでフロッピーのファイルを見ると、NAT0307 YU1というネームで入っているから、>AのあととTYPEと打って、そのファイル名を入力すれば出てくるよ」

夫が玄関のドアを開けるのに合わせて、ホンニヤアがすまし顔で一緒に出かけていった。

NAT（ナツメネット）の通信網も夜ごと若い人たちにぎわっている。ひとり1時間のリミットがあつて5分前には予告が出るそうだけれど、『いま5分前の警告が出た……』なんていうフレーズがあちこちに書



かれている。

CHATや電報は同時通話だから、MAILなどと違った刺激がいっぱいで、時間はあっという間になつてしまうのだろう。1時間たつと、自動的に“ブツン”となるそう。

晴れた日の気持ちよいひと仕事を済ませると、パソコンマダムの心境で意気^{よう}ようとマシンルームへ。

>AのあととDIRと入力すると、フロッピーのファイルの目次がズラリと表れた。

夫のいったファイル名は、最後の行に入っていた。

ひとりぼっちのおサル

「NAT0307 YU1」、これはネット名と日付、ダウンロードした者のイニシャルとその日の順番だ。夫と2人で6つほどのネットに加入しているの、わかりやすくするために決めめた。

でも私は、いつも自分のイニシャルを省略してしまう。

>Aとなったら、命令を待っている状態なのでTYPE、再びスペース、そのあとファイル名のNAT以下の文字を入力した。

ハイ、リターン！ ところが……「ファイルが見つかりません」というメッセージ。

最後の数字「1」を「I」にしたのではない。

それではと、2つに分かれたファイル名をつなげて入力し直してみた。

でもやっぱり、

「ファイルがみつかりません」

それなら今度は、TYPEとファイル名の間のスペースをなくし、YU1を離してみる。でも、ダメ。次に全部つなげてみる。今度は「コマンドまたはファイル名が違います」なんて出てきた。

意地になって始まりに戻り、指でモニタの文字をひとつずつたどって、確かめながら入力のをやり直し。でもリターンすると、出てくるのは同じ非情な返事。

リターンキーを連打すると「>A」がタテに一列どんどん並ぶ。こういうのは、なんにも表れないのより、もっと孤独だ。叩いても叩いても、ボウシの中からなにも出てこない手品みたいだ。

間違いを捜すには、あまりにもシンプルな入力操作。悲しいのは、教わったことのほかは、なにひとつできないということだ。ひとりぼっちのおサルは、もういっぺんリターンキーを叩いた。

手品のタネ

帰宅した夫に、ホンニャアがしっぽを立ってすり寄ってきた。肩に乗せるとそのままペタッと座りこんで、生きたエリマキになる。友情のあかしに、ホンニャアはパパのこめかみの辺りを、ザラザラの舌でいねいになめあげている。

「あのねーエ……」と、留守中の恨みを訴える声が自然に高くなって、

「TYPEのあと、ファイルネーム入れたって全然出てこないんだからあ……」

「そんなことはないだろう、どうしたのかなあ……」と、夫は「エリマキ猫」をトオルに渡し、着替えを済ませた。

「じゃあ、パパが見ているから、初めからひとりてやっごらん」

私がパソコンの前に座ると、夫は自分もイスを引き寄せて並んで座った。

カワハラさん特製のプログラム、TERMは、カッチンカッチンと動き始めた。

「どうぞ」の合図が出たら、STOPキーを押す。通信のプログラムに、記録や読み出し、文書作成（ワープロ）の仕事を割り込ませるためだ。Qを押し、リターン。

「>A」の命令待ちが出た。

「いい？ TYPEでしょ？ スペースでしょ？ NAT0307でしょ？……」

という終わらないうちに、夫が、

「そおーかあー、しまったなあ、そこでピリオドを入れるんだったよ……」

「エーッ！」

「前にも教えたはずなんだけれどね、ファイル名は字数に制限があつて、それ以上続けたいときはピリオドを付けなければいけないんだよ。この場合は8文字が制限だったんだよ」

「だって、このリストにはピリオドがないじゃないの」

「そうだね、セーブするときは打たれるのに、DIRで出したものでは消えてしまっているね」

「つまり、出し入れのときだけピリオドを入力するってわけね、ウーン」

「気の毒だったね、ママ……」

いつもダウンロードするとき、約束を守って自分のイニシャルを入れていたら、こんなことは習慣として身につけていただろうに。

たったひとつのピリオドで、昨夜の記録は手品のハトや花吹雪よろしく、目の前に流れ出した。

「ゆっくり読んだり、編集したいときはTYPEでなくてREDを入力すればいいんだよ。じゃあ、これは編集が済んでるから、PRINTの方法を教えてあげよう」

ディスクドライブにつながれているプリンタの電源を入れ、用紙をセットした。プリンタのスタートボタンを押し、

「今度は、>Aのあと、TYPE、スペース、ファイル名>PRNこれでリターンすれば印刷が始まるよ」

プリンタは動き始めた。

プリンが大好き

昨夜改めて、今度は自分でNATからダウンロードした。イニシャルも付けピリオドを使い、KY1とした。

「きょうは雪辱戦で、プリントアウトをやっごらん」と夫は出かけていった。

RED NAT0308. KY1でワープロ操作ができるようにして、不要な個所、重複部分を削るなどの編集を済ませた。改めてセー

ブし、いよいよ自力でのプリントアウトだ。

プリンタのスイッチON。ローラーが動いて、自分で定位置につく。ペーパーを挿入してセットのキーを押すと、ローラーに沿って滑り込み、スタート位置で待つ。これで準備OK。

>Aに続き、TYPE NAT0308.KY1>PRNをして、リターン。

ところが！ 悪夢の再来？ 今度はプリンタが、微動さえない。

ウソだ、そんなわけない。きょうこそパーフェクトに入力したのに。

2回、3回とやってみる。気が向くと動き出すのかもしれない。でも、ダメだ。

元気だった指先は死んだようになり、首はうなだれてきた。夫の書いたメモが白々と残っている。そのとき、光明が差しこんだ。そうだ！ プリンタの具合が悪いんだ。ほかの理由は考えられない。

「そうかなあ、プリンタが壊れたかなあ、じゃあ、やってみてごらん」

きょうの再びの悲運を告げる私に、帰宅した夫は気の毒そうにいった。

「ほら、TYPEでしょ、スペースでしょ、>でしょ、PRIN でしょ……」

「あーっ！……」と夫が、慰めようもないというようなタメ息をついた。

「PRINじゃないんだよねえ、『PRN』Iがいらなかったんだなあー」

そおー、そうなのね。

コンピュータってどうしてそんなに薄情なの？ ダウンロードして、編集が済んだら、次はプリントだってことくらい知ってるはずでしょ。Iがひとつ多いからって、そのくらい察してくれてもいいじゃない。

そりゃあ、私がプリンが好きだってことも少しは悪いけれど、コタツだって、アイロンだって、みんな自分で温度調節なんかもやってるじゃないの。

「条件付きジャンプ命令」

BASICの学習は「条件付きジャンプ IF THEN 命令」。なんだか痛快そうなタイトルだ。

GOTO命令は無条件で次に書かれている行番号に飛び越す命令である。

GOTO命令で、コンピュータは飛び越し

図 1 基本 1

```

100 REM -----
110 REM
120 REM          キホン (1)
130 REM -----
140 REM
150 INPUT "アナタ ノ ネンレイ ヲ INPUT シテ クタ"サイ ";N
160 IF N<20 THEN 190
170 PRINT "コト"モ ノ トキ ノ コトラ オモイタ"シマスカ?"
180 GOTO 200
190 PRINT "ハヤク セイジン ニ ナリタイ デ"スカ?"
200 END
READY

RUN

アナタ ノ ネンレイ ヲ INPUT シテ クタ"サイ  32
コト"モ ノ トキ ノ コトラ オモイタ"シマスカ?
READY

RUN

アナタ ノ ネンレイ ヲ INPUT シテ クタ"サイ  18
ハヤク セイジン ニ ナリタイ デ"スカ?
READY

```

図 2 基本 2

```

100 REM -----
110 REM
120 REM          キホン (2)
130 REM -----
140 REM
150 I=0:RESTORE 220
160 READ A
170 I=I+1
180 IF A<100 THEN 200
190 PRINT A;
200 IF I=9 THEN 230
210 GOTO 160
220 DATA 110,230,5,80,3000,56,70,101,110
230 END
READY

RUN

110 230 3000 101 110
READY

```

先を判断するが、IF条件 THEN n の命令では、「条件を満足したとき、行番号 n へ飛び越せ」を実行する。

THEN50は「行番号50へジャンプせよ」ということだが、THENのあとにPRINTやINPUTなど他の命令を書くことができる。

まず、基本 1 (図 1)。

160行でINPUTされた年齢 N が20歳より小さいかを判断する。

もし小さいときは190 行へ飛び実行する。小さくないときは170行を実行、次に180行で200行への無条件飛び越しをしてENDとなる。

次に、基本 2 (図 2)。

220行の9個のデータのうち、100以上のものだけをPRINTするプログラムを考えてみる。

Aを読み、 $A < 100$ を満足しないときはPRINTする。満足するときは200行へジャンプし、 $I = 9$ となったら、230行でEND、そうでないときは160行に戻って読み込み、新たに判断する。

170行 $I = I + 1$ は、ループの数を数えるカウンタで、ループの数を規制する大切な手筋だそう。

きょうの終わりは、基本 3 (図 3)。

230行のデータで20と40の間にある数を選び出すやり方。

20以下の場合、あるいは40以上の場合はPRINTしないでジャンプすればよい。200

図 3 基本 3

```

100 REM -----
110 REM
120 REM          キホン (3)
130 REM -----
140 REM
150 I=0:RESTORE
160 READ A
170 I=I+1
180 IF A<20 THEN 210
190 IF A>40 THEN 210
200 PRINT I;A
210 IF I=11 THEN 240
220 GOTO 160
230 DATA 15,23,34,40,52,31,5,21,18,24,67
240 END
READY

RUN

2 23
3 34
4 40
6 31
8 21
10 24
READY

```

行のPRINT I;Aで、何番目の数であるかもPRINTされる。

図 4 のように $(A < 20) + (A > 40)$ と1行で書くこともできる。「+」は英語の「OR」と同じ意味で使える。1行にまとめたときには次行190は削除する。

逆に20以下と40以上の数を選ぶ場合をやってみた。これも図5のように $(A > 20) * (A < 40)$ THEN 210 と1行で書くこともできる。次回もこの項目の続きを学習する。

そっくりさん

おサルはラッキョウがどういいうものかわからずに、一生懸命覚えたとおりのことだけをやる。ラッキョウはおサルにとって、むいてもむいても皮ばかり、中味がどこにあるのかわからない。

図 4

```

180 IF (A<20)+(A>40) THEN 210

RUN

2 23
3 34
4 40
6 31
8 21
10 24
READY

```

図 5

```

180 IF (A>20)*(A<40) THEN 210

RUN

1 15
4 40
7 5
9 18
READY

```

私も覚えたとおりを忠実にやってみる。でも、おサルのように上手に皮がむけない。むけないことがありがたい。なにが必要で、どこが必要か、考えるチャンスができそうだからだ。

ホンニャアが焼きたてのニジマスのアタマの温度を調べるとき、すばやく手を出して叩いてみるあのしぐさは、人間とはあまりに違う。第一、猫の「手」は前足であって、手ではない。だから愛らしい。

おサルのかたちたちは、あまりにも人間そっくりだ。あの手先は人間よりずっと器用そうにも見える。なにかをマネしてそれができなかったときは、かたちがそっくりであればあるほど、おかしさは大きいものかもしれない。

私も近ごろ、一段とタイプが上達して、ますますパソコンマニアとそっくりになってきたようだ。

本当の使いやすさは まず内部の充実から

Katsumoto Shin
勝本 信

開発者自ら納得する設計思想を

アメリカ製のハンダ吸い取り器は実に使い勝手がよい。本体はプラスチック製で、大きな注射器のような形をしており、バネの付いたピストンを押し込むとロックされて止まる。あらかじめ吸い取りたい箇所をハンダゴテで溶かしておいて、吸い取り器の吸い口を近づけ、発射ボタンを押す。「ボスン」という鈍い音がしてピストンが戻り、余分なハンダが吸い取られる。

国産のハンダ吸い取り器は、アメリカのものとは比べてコンパクトで、多くが金属製である。見掛けは立派であるが、性能は劣悪である。まず、金属製であるために重く、ピストンが戻るときの衝撃で手元が狂ってしまう。そのうえピストンが小型であるために、吸い取りのパワーが小さい。そして、国産のハンダ吸い取り器の致命的な欠点は、吸い口が細いことである。

ハンダ吸い取り器は、注射器のように圧力差を利用してハンダを吸い取るのではない。ピストンが戻る際に起こる空気の流れに乗せて、勢いよくハンダを吸い込むのである。だから吸い口は太くなければならないし、全体の大きさも大きくなければならない。

今回は上手な配線の仕方の話ではない。モデムの話をしたと思うのだが、といってモデムを自作しようというわけでもない。ただ、アメリカ規格（Hayes規格）のモデムの使いやすさの秘密を、ハンダ吸い取り器に見出したように思えたので引き合いに出してみた。アメリカ製のモデムにしるハンダ吸い取り器にしる、どちらも設計者が実際に自分で使ってみて納得がいくような設計を行った、そんな気がする。

コンピュータと電話回線を結ぶインタフェイスであるモデムは、ここ1年で急速に普及しつつある。高速で安価なモデムが多数出現したことに加えて、電話機のコンセントも、モジュラージャックタイプが増えてきたために、モデムを接続する際にも特別な工事が不要になったことが主な原因であろう。

それまで300bpsの遅い音響カプラを使っ

ていて、初めて1200bpsのモデムから流れるように送られてくる文字列を見た瞬間の驚きは、ちょうど、カセットテープからフロッピーディスクへ乗り換えたときの感激に匹敵する。日本におけるコンピュータ通信も、これでやっと新しい段階に入ったとそのときは思ったものである。

あれが噂のHayesコンパチ

1200bps 全二重通信対応の安価なモデムは、そのほとんどがインテリジェントタイプであり、通信パラメータの設定からオートダイヤル、回線の接続と切り離しまで、すべてコンピュータからのコマンドで行うことができるようになった。多くのモデムで、コマンド体系は米国のHayes（ヘイズ）社発売のSmartmodemと同じものを採用している。いわゆるHayesコンパチブルと呼ばれるモデムである。1200bps 全二重通信対応のモデムが普及しつつあるということの意義は、単に通信速度が4倍になったことよりも、むしろ“Hayesコンパチブル”が、ついに日本に上陸したことのほうが大きい。

なぜ、Hayesコンパチブルにこだわるのか。それは、モデムのHayes規格こそ実際に設計者が使いながら改良を重ねて世の中に送り出したように思えるからである。Hayes社純正のSmartmodemは、ザイログのマイクロプロセッサZ8と4KバイトのRAMを搭載し、14種類のコマンドを受け付け、17個のレジスタで通信パラメータを記憶する。

他社からHayesコンパチブルとして発売されているモデムは、さらに多くの機能を持ち、モニター用スピーカの音量調整や、モールス信号の発生まで、こなすものさえある。これでもか、これでもか、というぐあいにはたくさんの機能が詰め込まれているところは、永遠のワープロソフト WordStarを思い出させる。

たとえばオートダイヤルひとつにしても、まず、プッシュホン回線用のトーンを発生するか、あるいはパルスを発生するかをコマンドで切り換えられる。これにより、いままではプッシュホンでしか行うことができなかった国鉄の指定席予約を、パルス回線から行うことができるようになった。ま



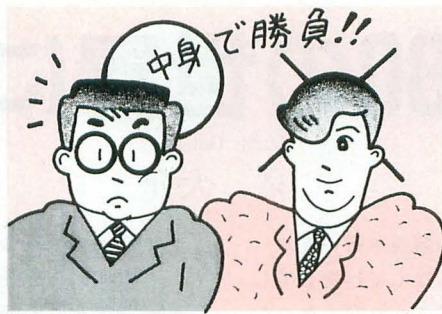
ず、パルスによるオートダイヤルで電話をかけ、つながったらトーンに切り替えて、今度は予約のためのデータをやはりオートダイヤルで送るのである。コンピュータ通信とはまったく関係のないところで、モデムを有効に利用できるという一例である。

データビット長やパリティなどの通信パラメータを自動的に判別することも Hayes モデムの大きな特長である。Hayes モデムのコマンドは、1 種類の例外を除いてすべて頭に AT の 2 文字が付く。モデムは、コンピュータのこの 2 文字を解析してコンピュータ側のボーレート、データビット長、パリティ、ストップビットのすべてを自動判別する。このため、通信パラメータはコンピュータ側で設定するだけでよい。モデムがコンピュータに追随してくれるのである。

通信の開始と終了を制御するコマンドは、Hayes モデムを世の中に広く普及させたものとも大きな要因であるといつてよい。もし私が、Hayes 社のモデム設計者であったなら、このコマンドを会う人ごとに自慢して歩くだらう。それほど巧妙なしかけなのだ。

インテリジェントモデムは、コンピュータからコマンドを受けてオートダイヤルなどの機能を実現するのであるが、コンピュータからは送信データも送られてくる。モデムはコンピュータから送られてきた文字が、コマンドなのかあるいはデータなのかを区別して動作する。コマンドを受け付けるモードにいるモデムを、データ通信を行うモードにするにはなんらかのコマンドを送ればよい。Hayes モデムの場合には“ATO” (O はオンラインを表す) を送る。問題は、データモードにいるモデムをコマンドモードに戻す方法である。特定の文字がきたら、コマンドモードに復帰するというのでは、その文字を送ることができなくなってしまう。

そこで Hayes モデムの設計者が考えた方法は、3 つの連続した + 記号 (この + も他の文字に変更できる) が送られてきたら、コマンドモードに復帰するというものである。厳密に言えば、+++ の前にも後ろにも一定の時間データがこなかった場合であ



る。この方法なら、アスキーコード 0 から 255 まですべての文字を送ることができし、たとえ、文字列 +++ を含んだ文書ファイルやマシン語ファイルを転送する場合でも、+++ の前にも後ろにもなんらかのデータがあるだろうから突然コマンドモードに戻ってしまうということはない。このようなアイデアを思いつくその発想力の源は、ハンダ吸い取り器と同じところにあるように思える。

Hayes 対 CCITT

上で述べた方法は、聞いてみればなるほどと思うのであるが、もし、モデムの設計者の立場に立たされたら、どのような方法が浮かぶであろうか。誰でもまず思いつく方法は、RS-232C の制御線の 1 本を用いて、たとえば制御線 DTR が ON であるときに受けた文字はデータとして電話回線へ送り、OFF のときに受けた文字はコマンドと解釈するというところであろう。この方法は単純明解であり、実際に日電やシャープなど日本の大手パソコンメーカーから発売されている CCITT 規格のモデムでは採用されているのだが、はっきりいって実用的ではない。なぜなら、コンピュータ側で制御線のコントロールを行えない場合があるからである。

私が使用しているマシンもそのひとつで、制御線はハンドシェイク用として固定的に使われ、ユーザーは、たとえ I/O ポートを直接アクセスしても制御線を自由にコントロールすることはできない。このようなマシンでは、CCITT 規格のモデムのインテリジェント機能はまったく使えない。従って、机の上にある CCITT 規格のモデムを横目ににらみながら、今日もダイヤルを指でま

わすという日々を送ることになる。

CCITT 規格のモデムのインテリジェント機能は、ほとんどすべての点で Hayes 規格のモデムに比べて劣っているといつてよい。たとえばオートダイヤルの際のパルスとトーンの切り換えはコマンドで行えず、スイッチ (最悪の場合にはデッドスイッチ) にたよらねばならない。ブレイク信号の送出をサポートしていないことも重大な欠陥のひとつである。通信速度の切り替えや表示の中断などに、ブレイク信号を使用している BBS ホスト局がいくつかあるからである。

最後にもうひとつ、CCITT モデムの欠点を挙げよう。それは、RS-232C の制御線を使用してモード切り換えや電話回線の接続切断を行わねばならないため、通信ソフトが複雑になるということである。Hayes 規格のモデムのように、BASIC で書かれた 1 行の通信プログラムで実用的に使えろといふわけにはいかない。

CCITT モデムを発売している多くのメーカーでは、専用の通信ソフトウェアをバンドルして供給することにより対応しているが、これも一時しのぎにしかすぎない。どんなに優れた通信ソフトウェアでも、ユーザーが新しい機能を追加したり変更したりすることはまず不可能だからである。バンドルされた通信ソフトウェアがサポートしていない機能は、涙を飲んであきらめるしかないのである。

実際、CCITT 規格のモデムにバンドルされてくる通信ソフトウェアは、ブレイク信号が送れなかったり、チェックサムタイプの X-MODEM しかサポートしておらず、CRC タイプの X-MODEM を扱えなかったりで、使いものにならない場合が多い。

これは、モデムに限らずいえることであるが、システムというか“内側の部分”がしっかりしているということが重要である。しかし現実には、貧弱なシステムを供給し、アプリケーションをバンドルしてお茶を濁しているメーカーが多い。これでは、ユーザーはいつまでたってもその貧弱なアプリケーションから逃れられない。外観にとらわれず、本当に使いやすいハンダ吸い取り器を選びたいものである。

EXERCISE-16

マシン語体操1・2・3

再びZ80の世界にご招待

Izumi Daisuke

泉 大介

今月から数回にわたり、もう一度Z80の命令の解説を行います。途中から読み始めたために命令の内容がわからなくて挫折してしまった方や、途中で抜けてしまったためついてこれなくなった方はもう一度挑戦してみてください。これまでは使う命令の数を限定して進めてきましたが、今後は便利な命令があればどんどん使っていくつもりです。そのたびに命令に解説を加えますので安心してください。

また命令の解説のあとに応用編をつけてあります。これは前回までの内容とは異なり、簡単なプログラムによる基礎知識の応用を目指しています。前回までの内容をすべて理解していっしょに読むものにとっても、命令の意味はほぼ覚えているという初級の方にとっても興味深く読んでいただけるものにしていく所存です。では皆さん、マシン語の世界への探査行に出かけましょう。

マシン語ってなに

私たちが使っているパソコンのなかには、CPU(中央演算装置)と呼ばれるLSIが入っています。これは人間にたとえると脳にあたるもので、周辺にあるいろいろな装置への命令はすべてCPUから出されるのです。

マシン語はこの脳に直接命令を下すための言語です。LSIに下す命令ですから本来電気信号なのですが、それでは人間にとって非常に扱いにくいものになってしまいます。このため電気信号を2進数で表現する方法が考案されました。電圧の高低を1と0で表現するようにしたわけです。CPUへの命令はZ80の場合8桁の2進数を使って01000110というぐあいに表します。

しかし、8つも0や1が並んでいるのでは非常に間違いやすく、また間違えているところを発見するのも難しくなります。そこで8桁の2進数を上位4桁と下位4桁に分け、2桁の16進数で表す方法が採用されました。どうやって8桁の2進数を2桁の16進数にするのかは図1に書いておきましたので参照してください。

私たちがマシン語を使うときに16進数を使うのは、このように間違いを少なくしようという意図があつてのことなのです。無味乾燥な16進数ではありますが、マシン語はCPUに直接命令を下す言語ですから超高速ですし、またできないことはなにもありません。万能の言語なのです。

では、次にどのようにすればCPUに命令できるのかをお話しましょう。16進数を使うことはわかっても、実際どのようにすればいいのかわからなくては宝の持ちぐさですすからね。

マシン語の命令はメモリに直接書き込みます。モニタのメモリセットコマンドで、メモリに16進数を書き込んでいけばそれがそのまま命令になるのです。もちろん書き込む16進数は意味のあるものでなければなりません。そうでないと画面をグチャグチャにしたり、キー入力をまったく受け付けなくなったりというぐあい

にCPUはメチャクチャな動きを始めます。これが暴走です。

ではどのような16進数が意味のあるもので、どのような16進数が意味のないものなのでしょう。これはいまからマシン語を勉強していくうちに、次第にわかってきますから心配しないでください。

図1 8桁の2進数を2桁の16進数へ

01011100
↓ 4桁ずつに分ける
0101 1100
↓ ↓ それぞれを変換
5 C
↓ 合体
5C

変換手順		
0001 = 1 0010 = 2 0100 = 4 1000 = 8	} を覚える	
0101 = 0100 + 0001		
= 4 + 1 = 5		
1100 = 1000 + 0100		
= 8 + 4 = 12 ₍₁₀₎ = C ₍₁₆₎		

S-OSを使って

一般にマシン語プログラムというのは、機種ハードウェアに深く依存するものです。しかしハードのことを知らなければプログラムできないというのは困りものです。そこで画面に文字を出したり、キーボードから1文字入力したり、1行入力したりといった基本的なルーチンを、ちょうどBASICというサブルーチンのような形にして用意したものがIOCSやモニタサブルーチンなどと呼ばれているものです。

ただしこれらのサブルーチンは、パソコンを作った会社がそのときの都合で仕様を決めたものですから、機種によってまったく使い方が違っているのです。BASIC風이라면、ある会社のサブルーチンでは画面に表示したい文字列をLIN\$という変数にセットして「GOSUB 10000」として呼び出せばよかったのに、別の会社のサブルーチンではPRT\$にセットして「GOSUB 12500」としなければならないというようなことです。

これでは使うほうはたまったものではありません。ある機種用のマシン語プログラムがほかの機種では動かなかったり暴走する理由のひとつはここにあるのです。そこでサブルーチンの呼び出し方法やサブルーチンのある行番号を統一しようという試みが行われました。これがS-OS(全機種共通システム)なのです。S-OSを使うとS-OSが載っているすべての機種で同じプログラムを走らせることができます。

私はこの連載を通して、できるだけたくさんの人にマシン語に触れてもらいたいと考えています。かといって、全機種分のプログラムを用意することはとてもできません。そこでS-OSを使ってプログラムを作っていくことにします。

でもここで「なんだ、俺の機種用のマシン語じゃないのか」と、早とちりしないでください。S-OSの使い方がわかるということは、各機種の IOCS ルーチンの使い方もわかるということです。というのも、両者はほとんど同じように使うことができるからです。S-OSを使うことで得たテクニックは、そのまま自分の機種専用にプログラムを書く際に生かされてきます。

ZIMPLの入力

ではまず、マシン語を入力してみることに始めてみましょう。マシン語の入力には1987年1月号で発表した入力ツールMACIN TO-Cを使用します。具体的な入力方法、使用方法是そのときに詳しく述べてありますので参照してください。これを使えば容易に入力ミスを発見することができますが、もちろんマシン語モニタやそのほかの入力ツールを使っていたいただいてもけっこうです。

入力ツールが用意できたら、120ページに掲載してあるリスト5を打ち込んでください。これはZIMPLというマシン語学習用のツールです。このツールは第14、15回のマシン語体操で作成しました。最後にはこの程度のものは作れるようになりますから、安心してついてきてください。

リスト5を全部打ち込みチェックサムの確認も終わったら、とりあえずセーブしておきます。実行してみる前にセーブしておくことはマシン語を扱う上での常識なのです。というのは、マシン語というものは間違っていると暴走を始めます。暴走するとキー入力がかたくなってしまうことがあるのです。打ち込んだだけでセーブしておかないと、もし暴走したときにもう一度最初から全部打ち込み直しということになってしまいます。

さて準備は整いましたか。ではマシン語の世界へ足を踏み入れていくことにしましょう。

変数に値を代入しよう

Z80はBASICと同じように変数を持っています。これらの変数はレジスタと呼ばれていて、0~255の数値を代入してやるができます。レジスタにはA, B, C, D, E, H, L という名前がついています。BASICのように自分で名前をつけられないのがちょっと変わっているところでしょうか。

0~255というのは16進数で書くと00H~FFH、つまり2桁の16進数ということになります。2桁の16進数のことを1バイトといいますからA, B, C, D, E, H, Lの各レジスタには1バイトのデータを代入してやることもいえるわけです。

これらのレジスタにデータを代入する、それがLD(ロード)命令です。LD命令は「LD α , β 」のように使います。これは β を α へ代入するという意味です。BASICで書くなら、「 $\alpha = \beta$ 」ということになるでしょう。では、先ほど入力してもらったZIMPLを使ってさっそく試してみることにしましょう。

まず、S-OSのLコマンドを使ってZIMPLをロードします。次にJコマンドを使って「J3000」とします。これでZIMPLが起動します。画面に「Input Start Adrs \$」と表示され、カーソルが点滅していますか？ もしなっていないければ入力ミスしているので、もう一度よくチェックサムを確認してみてください。

OKならば、いよいよZIMPLのスタートです。まずマシン語を作りたいアドレスを入力してやらなければなりません。「Input Start Adrs \$」に続いて4桁の16進数でアドレスを入れてやりま

す。モニタのメモリセットやメモリダンプコマンドでアドレスを入力してやるのと同じ要領です。ここでは8000と入れてやりま

8000

と表示して入力待ちになりました。■はカーソルです。左に表示されている8000は先ほど打ち込んだアドレスを表しています。これは、「8000H番地にはどんな命令を置きますか」とZIMPLが催促しているところなのです。ではLD命令を試してみましょう。

8000 LD A, 3■

と打ち込んで、リターンキーを押してみてください。

8000 3E 03 LD A, 3

8002 ■

こうなれば成功です。「LD A, 3」はAレジスタに3を入れなさいという命令です。これをZIMPLが解釈して「3EH 03H」というマシン語にしたのです。

Z80は「LD A, 3」という表現を理解することはできません。最初に書いたように16進数しか理解できないのです。逆に人間は、「3EH 03H」などといわれても、なにがなんだかさっぱりわかりません。そこでZIMPLは、人間には「LD A, 3」というわかりやすい表記で入力してもらい、それをZ80が理解できる16進数に直すという作業をしているわけです。

もっといろいろやってみましょう。

8002 06 20 LD B, \$20

これはBレジスタに20Hを入れてみた例です。このように、ZIMPLでは数の前に\$をつけて16進数を表します。レジスタに入れることのできる数は0~255ですから、16進数でいうと00H~FFH、ZIMPLの表記法では\$00~\$FFということになります。

次にレジスタの内容を別のレジスタへ移す例です。

8004 67 LD H, A

これはAレジスタに入っている数をHレジスタへコピーしているところです。8000H番地でAレジスタに3を入れたから、これでHレジスタの内容も3になったということです。もちろん、

8005 68 LD L, B

とすればLレジスタの内容はBレジスタの内容である\$20、つまり32になります。

ではブレイクしてください。機種によってブレイクキーを押すだけ、シフトキーとブレイクキーを同時に押す、ストップキーを押すなどさまざまですが、これ以降は単に「ブレイクする」と表現することにします。

ブレイクすると「Input Start Adrs \$」という表示に戻りまたね。もう一度8000H番地を指定してください。次にメモリとのデータのやりとりの方法をお目にかけます。

メモリには、0000H~FFFFHまでのアドレスが振ってあります。そしてひとつのアドレスには1バイトのデータを入れておくことができます。Z80ではアドレスに入っているデータを表現するのにアドレスをカッコでくくったものを使います。たとえば9000H番地に12Hというデータが入っているとすると、「(9000H)は12Hだ」というぐあいに表現するわけです。

ですから、9000Hに入っているデータをAレジスタに代入したいときには次のようにします。

8000 3A 00 90 LD A, (\$9000)

逆に9000HにAレジスタの内容を入れたければ次のようにします。

8003 32 *00 90 LD (\$9000), A

しかしほかのレジスタの内容をメモリに入れたいときには、このように簡単にはいきません。というのは、Aレジスタは特別な

レジスタだからなのです。メモリとデータのやり取りが許されているのはAレジスタだけです。そこで、

```
8006 78          LD    A,B
8007 32 00 09     LD    ($9000),A
```

というぐあい一度Aレジスタに移してから改めてメモリにデータを入れることになります。

ここまで本当にレジスタにデータが入っているのかどうかなどということを確認せずにきましたので、次に本当にデータが入っているかどうか確認をしてみることにしましょう。まずブレイクして、「Input Start Adrs \$」のところでもう一度8000H番地を指定してください。

さて確認の方法ですが、レジスタの内容を直接のぞいてみるわけにはいきません。そこで一度メモリに入れ、その値をモニタのメモリセットコマンドで確かめてみることにしましょう。プログラムは次のようになります。

```
8000 3E 20          LD    A,$20
8002 32 00 90       LD    ($9000),A
8005 C9            RET
```

まず、8000HでAレジスタに\$20を入れます。このままではAレジスタの内容を調べることができませんから、8002HでAレジスタの内容を9000H番地に入れます。8005HのRETについてはまたあとから説明します。ここでは単にマシン語プログラムの最後に置くおまじないのようなものだと思ってください。

さて、これでメモリに「Aレジスタに\$20を代入し、それを9000H番地へ入れる」プログラムができました。次はこのプログラムを実行します。実行するためには2度ブレイクをしてZIMPLを抜けなければなりません。まず1回目のブレイクで「Input Start Adrs \$」の表示に戻りますから、ここでもう一度ブレイクしてやるのです。S-OSのモニタに戻ってきましたね。

「J8000」でいま作ったプログラムを実行します。これは「8000H番地からプログラムを入れてあるから実行しておくれ」という意味のS-OSのモニタの命令なのです。

「J8000」と打ち込むと、さっそく改行してカーソルが点滅を始めたでしょう。この程度のプログラムなら一瞬にして実行は終了してしまいます。うまくいってれば9000H番地の内容は20Hになっているはずですが。早速確かめてみましょう。まずMコマンドで各種のマシン語モニタに入ってください。そしてメモリセットコマンドもしくはメモリダンプコマンドを使って9000H番地の内容を確認してみてください。どうですか、ちゃんと20Hになっていますか。

レジスタペア

前節でレジスタ、それにメモリへマシン語を使ってデータを格納する方法をお話ししましたが、いつも決まったアドレスにしかデータを格納できないのはなにかと不便なものです。そこで、レジスタを使ってアドレスを表現する方法が考えられました。

アドレスは4桁の16進数で表しますね。一方レジスタは2桁の16進数しか格納できません。しかし、レジスタを2つ使えば2桁+2桁で4桁の16進数を表現できます。こうしてBとC、DとE、HとLをくっつけて使う方法が用意されているのです。そして、レジスタをペアで使っていることを明確にするために、BC、DE、HL というようにレジスタ名をくっつけて表記します。このように使用されているレジスタBC、DE、HLのことを、レジスタペア

といいます。

レジスタペアヘデータをを入れるには、レジスタヘデータを入れたときと同じ要領で次のようにします。

```
LD    BC,$9000
LD    DE,$1234
LD    HL,$A0B0
```

これは、

```
LD    B,$90
LD    C,$00
LD    D,$12
LD    E,$34
LD    H,$A0
LD    L,$B0
```

としたのと同じことです。

さて、先ほどアドレスをカッコでくるとアドレスに入っているデータを意味するようになるということを話しましたね。レジスタペアはアドレスを表すことができます。では次のプログラムはなにをするプログラムだと思えますか。

```
8000 21 00 90       LD    HL,$9000
8003 11 00 A0       LD    DE,$A000
8006 7E            LD    A,(HL)
8007 12            LD    (DE),A
8008 C9            RET
```

要点は8006H、8007H番地です。このようにレジスタペアをカッコでくくることによって、レジスタペアが指しているアドレスの内容を取り出したり、レジスタペアが指しているアドレスヘデータを格納することができるのです。このプログラムでは8006H番地で「Aレジスタに9000H番地の内容を取り出し」、8007H番地で「その値をA000Hへ格納している」のです。当たっていましたか。

実際にプログラムを動かして、本当にこのとおり動作するかどうか試してみましょう。まず各種のマシン語モニタに入り、9000H番地の内容を適当に変えます。わかりやすいように12Hなどとしておくとよいでしょう。次にA000H番地の内容を00Hにしておきます。これは9000H番地に書き込んだデータと違う値ならなんでもかまいません。ZIMPLを起動し、上のプログラムを入力します。S-OSに帰って、Jコマンドを使って実行してください。

再びマシン語モニタに入って、メモリダンプコマンドでA000Hの内容を確認してみてください。9000H番地に書き込んだ値に変わっていますか。

レジスタペアの内容はメモリに書き込んだり読み出したりしてやるすることができます。ちょうどAレジスタの内容をメモリに、

```
LD    A,($A000)
LD    ($9000),A
```

とやって出し入れしたのと同じように、

```
LD    ($9000),HL
LD    DE,($9000)
```

というようにして実行します。このときちょっと注意しなければならないことがあります。それは、「LD (\$9000),HL」というのは

```
LD    ($9000),L
LD    ($9001),H
```

という意味を持つということです。ですからいまHL=1234Hだとすると、「LD (\$9000),HL」の実行によって(9000H)=34H、(9001H)=12H となります。つまり上位2桁と下位2桁が逆になってメモリに入るということなのです。どうしてわざわざ逆にするのだ

ろうと疑問に思う方がいらっしゃるでしょう。実はこういう仕様になっていると、いろいろと便利なこともあるのです。このことはもっと力がついてきたときにまたお話ししましょう。

ではこれも実際に試してみることにしましょう。プログラムは次のようになります。

```
8000 21 34 12 LD HL,$1234
8003 22 00 90 LD ($9000),HL
8006 C9 RET
```

例によってZIMPLで入力し、実行してからモニターで確かめてみてください。

LD命令のまとめ

文法 1

LD r, r' r, r'はレジスタ, A, B, C, D, E, H, L, (HL)
LD r, n nは2桁の16進数
LD rp, mn rpはレジスタペアBC, DE, HL
LD rp, (mn) mnは4桁の16進数
LD (mn), rp
Aレジスタだけにある命令
LD A, (mn)
LD (mn), A
LD A, (BC)
LD A, (DE)
LD (BC), A
LD (DE), A

これが今回やったLD命令のすべてです。この表のなかでレジスタに、(HL) が加えてあるのを見て疑問をお持ちになった方がいらっしゃると思います。混乱するとマズイと思ってあえて特に説明しなかったのですが、(HL) はまるっきりレジスタとして扱って差し支えありません。ですから「LD B, C」とか「LD A, L」というようにやるのと同じ調子で、「LD B, (HL)」とか「LD (H, L), E」といったことが可能なのです。これはHLが特別なレジスタペアだからです。Aレジスタと同じようにHLも特別扱いされているわけですね。

これで皆さんはもう自由にレジスタやメモリに値をセットしたり、読み出したりできるようになったわけです。ZIMPLを使って、思いつくままにどんどん試してみてください。そしてLD命令に慣れてきたら次の命令を試してみましょう。

サブルーチンと呼び出す

S-OSのなかには、パソコンのハードウェアのことをなにも知らなくてもマシン語プログラムが書けるように、いろいろなサブルーチンが入っているということを最初にお話ししましたね。先月号にMZ, X1のS-OSが再掲載されています。そしてそのなかの94ページに全サブルーチンの一覧がありますから、具体的にどういうサブルーチンがあるのかはここを参照してください。

では、どうやってこれらのサブルーチンを利用すればいいのかです。BASICでサブルーチンを利用するときは、「これこれの変数にこういう値を代入してから呼び出します」というぐあいにやりますね。マシン語サブルーチンの場合も同じで、「これこれのレジスタにこういう値を代入してからサブルーチンと呼び出します」

ということになります。そしてマシン語サブルーチンと呼び出す命令、BASICの場合でいえばGOSUBにあたるのがCALLなのです。

CALL命令は「CALL 1FEEH」というぐあいに使います。これは1FEEH番地にあるマシン語サブルーチンと呼び出さないという命令です。では、S-OSのサブルーチンをいくつか呼び出して使ってみることにしましょう。

先ほど、LD命令で本当にレジスタに数値がセットされたのかどうかを知るのに、一度メモリに入れてから調べましたが、実はもっと簡単にレジスタの内容をのぞくことができるのです。これにはS-OSの#PRTHXというサブルーチンを使います。このサブルーチンは、1FC1H番地から始まっています。どういうことをするサブルーチンなのかといいますと、Aレジスタに入っている数値を画面に16進数で表示してくれるサブルーチンなのです。このサブルーチンはAレジスタの内容を表示したあとと改行しません。そこで改行を行ってくれるサブルーチンもついでに使ってみることにします。改行を行うサブルーチンは#LETNLという名前で、1FEEH番地にあります。ではプログラムしてみましょう。

```
8000 3E 0A LD A,10
8002 CD C1 1F CALL $1FC1
8005 CD EE 1F CALL $1FEE
8008 C9 RET
```

内容を説明します。まず8000H番地でAレジスタに数を入れてあります。そして8002H番地で#PRTHXと呼び出して、Aレジスタの内容を画面に表示させます。8000H番地でAレジスタには10を入れましたから、画面には0A(10進数で10のこと)と表示されるはずですね。続いて8005H番地で#LETNLと呼び出し改行させて、8008Hのおまじないです。

では実行してみましょう。入力が終わったら2度ブレイクしてS-OSのモニターに戻り、Jコマンドを使うんでしたね。画面に0Aと表示されましたか。

この#PRTHXを利用して、ほかのレジスタの内容を表示してやることもできます。たとえば、Bレジスタの内容を表示したければ「LD A, B」とやってから#PRTHXと呼び出せばいいわけです。レジスタペアの内容の表示も簡単です。

```
8100 7C LD A,H
8101 CD C1 1F CALL $1FC1
8014 7D LD A,L
8105 CD C1 1F CALL $1FC1
8108 CD EE 1F CALL $1FEE
810B C9 RET
```

まずHレジスタの内容を、次にLレジスタの内容を先の#PRTHXを使って表示して改行しています。この8100Hからのルーチンは、

```
8000 21 34 12 LD HL,$1234
8003 CD 00 81 CALL $8100
8006 C9 RET
```

のようにして呼び出してやることができます。CALL命令が使えるということは、8100Hからのプログラムはサブルーチンなのではないでしょうか。

実はそうなのです。もうおわかりかと思いますが、RETというのはBASICのRETURN命令と同じです。RETURNを略してRET、覚えやすいでしょう。

ここで、「おや、するといままで作ってきたプログラムはどんな

のだろう。全部最後にRETがついているぞ」と思った方は鋭いですね。そのとおり。S-OSのJコマンドというのは実はサブルーチンと呼び出す命令なのです。たとえば、「J8000」とS-OSのモニターで入力すると、「CALL \$8000」を実行するようにS-OSは作っています。呼び出したプログラムから帰ってこられるように、これまでのサンプルの最後にはRETがついているのですね。

いま作ったHLレジスタの内容を画面に出力するプログラムは、#PRTHLという名前のサブルーチンとしてすでにS-OSに組み込まれています。3月号の表によると、#PRTHLは1FBEHから始まっています。#PRTHX、#PRTHLのPRTというのはPRINTを略したものです。

さてここで表の#PRTHLのずーっと右を見てください。レジスタ破壊という欄があり、AFと書かれていますね。これは、「このサブルーチンを使うとAレジスタとFレジスタの内容が変わってしまうよ」という意味なのです。Fレジスタというのは来月やりますから、ここではそういうレジスタがあるのだからだけ覚えておいてください。

レジスタの内容が変わってしまうというのは具体的にどのようなことなのでしょう。まずは次のプログラムを見てください。

```
8000 3E 00      LD    A,0
8002 21 34 12   LD    HL,$1234
8005 CD BE 1F   CALL  $1FBE
8008 CD EE 1F   CALL  $1FEE
800B CD C1 1F   CALL  $1FC1
800E CD EE 1F   CALL  $1FEE
8011 C9        RET
```

このプログラムは、HLレジスタの内容を表示したあとでAレジスタの内容を表示しています。Aレジスタには8000H番地で0を入れてありますので、画面にはHLの内容1234に続いて00と表示されそうなものなのですが、実際にはそうはなりません。Aレジスタの内容が、1FBEHの#PRTHLをコールする前とあとで変わってしまったのです。これがレジスタ破壊です。

というわけで、CALL、RETはまとめて覚えておきましょう。

文法 2

CALL mn	mn番地をサブルーチンコールする
RET	サブルーチンから帰る

画面に文字を出してみよう

数を表示してばかりでは面白くありません。今度は画面に文字を表示するサブルーチンを使ってみることにしましょう。S-OSにはいくつか文字表示用のサブルーチンが用意されています。今度はそのなかのひとつ、#PRINTを使ってみます。このサブルーチンは1FF4Hにあり、「PRINT CHR\$(A);」をやってくれます。Aレジスタに表示したい文字のコードを入れ、呼び出してやればよいわけです。

```
8000 3E 41      LD    A,$41
8002 CD F4 1F   CALL  $1FF4
8005 CD EE 1F   CALL  $1FEE
8008 C9        RET
```

8000H番地でAレジスタに入れている\$41は、「A」のキャラクタコードです。8002H番地で画面に表示させ、改行して終わりです。実行してみてください。

この#PRINTでは、S-OSでサポートされている何種類かのコントロールコードも実行してやることができます。\$0Dは改行、\$0Cは画面クリア、\$1C、\$1D、\$1E、\$1Fは順にカーソル右左上下です。ですから、

```
8000 3E 0C      LD    A,$0C
8002 CD F4 1F   CALL  $1FF4
8005 C9        RET
```

とすれば、画面をクリアしてくれます。

次に文字列を画面に表示してみましょう。これには#MSXを使います。#MSXは、BASICで表現してみると

```
「#MSX」
WHILE PEEK(DE)<>0
  PRINT CHR$(PEEK(DE));
  DE=DE+1
WEND
RETURN
```

という動作をするサブルーチンです。

どうしてPEEKなんかが使っているのだろうと、疑問に思っている方もいるかと思います。これはマシン語には文字変数がないからなのです。そこで表示したい文字列をコードでメモリに入れておき、その先頭のアドレスをDEレジスタにセットして呼び出すようになっているわけです。

それでは、文字をコードに直してメモリに入れる方法です。これにはDEFBという命令を使います。DEFBというのはZ80の命令ではなく、ZIMPLの命令です。Z80の命令表には載っていませんので注意してください。DEFBは「DEFB \$41,\$42」といった形で使います。ZIMPLで入力してみると、

```
8000 41 42      DEFB  $41,$42
8002 0A 0B      DEFB  10,11
```

となることからおわかりのように、DEFBというのはそのあとに書いてある数をそのままメモリに落としなさいという命令なのです。しかしこれでは、

```
8000 48 45 4C 4C  DEFB  $48,$45,$4C,$4C,$4F
8004 4F
```

としてやっと「HELLO」という文字をセットできるのでですから非常に面倒ですね。そこで、

```
8000 48 45 4C 4C  DEFB  "H","E","L","L","O"
8004 4F
```

というように「"」で文字をくくれば文字のコードが得られるようにしてあります。これで随分と楽になったと思うのですが、それでもまだいちいち「"」を書くのがうっとうしいといえます。そんなものぐさな人のために、DEFMという命令がZIMPLには用意されています。DEFMを使うと、

```
8000 48 45 4C 4C  DEFM  "HELLO"
8004 4F
```

と非常に簡潔になります。

では、画面に文字列を表示してみましょう。もう一度復習すると、#MSXというサブルーチンはメモリに入れてある文字列を表示するんでしたね。ではメモリに文字列をセットしてやります。

```
9000 48 45 4C 4C  DEFM  "HELLO S-OS"
9004 4F 20 53 2D
9008 4F 53
```

このままではどこで文字列が終わるのかわかりませんから、文字列のエンドコード（終了マーク）を入れてやらなければなりません。

ん。#MSXの場合エンドコードは00Hとなっています。

```
900A 0D 00          DEFB $0D,0
```

最初の\$0Dは改行コードです。このようにすれば、何度も#LET NLを呼び出して改行させる必要はありません。2番目の00で文字列は終了します。

これで文字列のセットは終わりましたから、次は表示プログラムです。現在画面は、

```
900C
```

となっていますね。そこでカーソルを行頭に持っていき、900Cを8000に変えてください。これだけで次から命令を8000H番地に作ることができるようになります。

現在表示文字列は9000Hに入れてあり、また#MSXは1FE5Hにありますからプログラムは次のようになります。

```
8000 11 00 90      LD    DE,$9000
```

```
8003 CD E5 1F      CALL $1FE5
```

```
8006 C9            RET
```

まず、8000HでDEレジスタに文字列が格納してあるアドレスを入れています。そして#MSXを呼び出し終了です。実行してみてください。

カーソル位置の指定

最後に、BASICのLOCATE命令やCURSOR命令に該当する処理をやってみましょう。S-OS“SWORD”には#LOCというカーソルの位置を指定するサブルーチンが用意されています。カーソル位置の指定はLレジスタにX座標、HレジスタにY座標をセットしてからこのサブルーチンを呼び出すことで行います。#LOCは201EH番地から始まります。

大ちゃんのワンポイントレッスン

1月号のMACINTO-Cはよかったですね。CRC はここだけ見ればチェックできるので大変便利です。

ところで私はマシン語体操のメモリエディタを愛用しているのですが、今日はこれにCRCをつける方法を報告します(とっても簡単)。

1) MACINTO-Cをロードし、31EFH (B1EFH以下同様)から6バイトを、

```
31EF CD BE 1F CD EE 1F
```

に変える

2) 31C1H~31F5Hを適当なファイル名でセーブ

3) メモリエディタをロード

4) 2)でセーブしたものを8362Hにロード

5) 80C7Hより3バイトを

```
80C7 C3 62 83
```

と変更する

6) 8000H~839FHをセーブする

以上です。

愛知県 小山 徳章

そのうちやろうやろうと思っていたら小山さんに先を越されてしまいました。MACINTO-CのCRC生成ルーチンはリロケータブルになっています。つまり、置かれたアドレスに関係なく動作するようにできているのです。ですからMACINTO-CのCRC生成ルーチンを取り出し、メモリエディタのトータルサム計算のところに組み込んでやれば、めでたくCRC対応のメモリエディタができあがるという寸法です。

```
8000 2E 0A          LD    L,10
8002 26 14          LD    H,20
8004 CD 1E 20      CALL $201E
8007 3E 2A          LD    A,"*"
8009 CD F4 1F      CALL $1FF4
800C CD EE 1F      CALL $1FEE
800F C9            RET
```

8000H、8002H番地でカーソルをセットしたい座標をHLレジスタに入れ、8004H番地で#LOCを呼び出しカーソルセットを行います。この例ですと(10,20)にカーソルがセットされるわけですね。次に8007H、8009H番地で画面にアスタリスク(*マーク)を表示し、800CH番地で改行して終了となります。実行して確かめてください。なお8000H、8002H番地ではLレジスタとHレジスタ別々に座標を入れていますが、もちろん「LD HL,\$140A」でもかまいません。

もうひとつ例をお見せしましょう。

```
9000 47 4F 4F 44  DEFM "GOOD-BYE"
9004 2D 42 59 45
9008 0D 00          DEFB $0D,0
8000 3E 0C          LD    A,$0C
8002 CD F4 1F      CALL $1FF4
8005 2E 0A          LD    L,10
8007 26 05          LD    H,5
8009 CD 1E 20      CALL $201E
800C 11 00 90      LD    DE,$9000
800F CD E5 1F      CALL $1FE5
8012 C9            RET
```

まず9000H番地に表示する文字列をセットし、8000H番地からプロ

CRCチェックバイトは縦横サムでは発見できないミスの検出に非常に有効な方法です。具体的にどのように計算するのかを1987年1月号で解説しましたので参照してみてください。

では、小山さんの手順を説明しておきましょう。1)はCRC計算ルーチンの最後で画面にCRCを表示し改行しているところに手を加えているのです。1月号のソースリストでは296、297行にあたります。MACINTO-Cは全機種版も用意するため、S-OSのサブルーチンを直接コールしていません。ここを直接S-OSのサブルーチンを呼び出すよう変更しているのです。

2)はMACINTO-CのCRC生成表示ルーチンをセーブしているところです。続いて3)、4)でメモリエディタの後ろにこのCRCルーチンをくっつけています。

5)はメモリエディタのトータルサム計算部分の最初に変更を加え、トータルサム算出の代わりにCRCの計算表示をさせるようにしています。4)で付け加えたCRCルーチンヘジャンプするようにしているのです。最後に6)でいま作ったメモリエディタをセーブして終了です。

ソースリストレベルでメモリエディタにCRC計算ルーチンを組み込みたいという方は次のようにしてください。

1) メモリエディタのソースリストの1~133行をFILE1というファイル名でセーブ

2) メモリエディタのソースリストの140~503行をFILE3という名でセーブ

3) MACINTO-Cソースリストの252~298行をFILE2という名でセーブ

4) FILE1、FILE2、FILE3の順にファイルを読み込む

これで終了です。好きなアドレスでアセンブルしてCRC付きメモリエディタを作ってください。

ただし、MACINTO-C発表の際にも注意したことなのですが、1ブロック128バイトに満たないブロックはCRCの値が合致しません。気をつけてください。

グラムを作ります。8000H, 8002H番地で画面をまずクリア, 続いて8005H, 8007H番地でカーソル位置をHLレジスタに入れて8009H番地でカーソルセットをします。そして800CH, 800FH番地でさっき9000Hにセットしておいた文字列を表示して終了です。

Hop to it—1

三角関数ルーチン

このコーナーは、毎回ランダムにテーマを決めて応用プログラムを作っていきます。このコーナーではある程度の知識と経験のある方を対象としますので初心者の方にはちょっと難しいかもしれません。しかし、回を重ねていくうちに力がついて、次第にこちらのコーナーのほうも理解してもらえるようになると思います。まだ説明していない命令がいくつか出てくるとは思いますが、わからないところは飛ばして、わかる説明だけでも読んでみてください。きっとあとで役に立つことでしょう。

さて今月のテーマですが、いろいろ迷ったあげく、三角関数をやっつけることにしました。前回までのマシン語体操でも浮動小数点計算などやっていませんから、そっちの展開ではありません。整数でなんとか三角関数計算をやっつけてみようじゃないかというのがテーマです。

ご存じのように三角関数の値は小数で表されます。たとえば、 $\sin(10^\circ)$ なら0.173648というようにです。これを解決するのに次のような方法を考えてみました。通常、三角関数は式のなかで出てきます。たとえば $\sin(10^\circ) \times 23$ というぐあい입니다。そこでまず0.173648を10000倍し、そのときの小数点以下第一位を四捨五入した数1736を用意します。そして 1736×23 を計算し、そのあとに10000で割ってやれば目的の答えの近似値を得ることができるのです。はやい話が $\sin(10^\circ) \times 23 \div 0.173648 \times 23 \div 1736 \times 23 \div 10000$ という近似をやるわけです。

ここでひとつ新たな問題が生じます。 $\sin(89^\circ)$ をいまの近似方法で表現すると $9998 \div 10000$ となりますね。マシン語体操で以前やった掛け算ルーチンは「HL=HL×DE」を計算するルーチンでしたから、 $\sin(89^\circ) \times 7$ を計算しようとしても $9998 \times 7 > 65535$ となってしまう計算ができないのです。7倍しようとしただけでオー

表1 今月登場する命令たち(17語)

LD	値を入れる。「LD (9876H), A」で9876H番地にAが入る
CALL	サブルーチンを呼ぶ。「CALL NZ, #NL」はノンゼロなら#NLをコールする
RET	サブルーチンから帰る。「RET C」はキャリなら帰る
PUSH	スタックにレジスタの値を保存する (ex.「PUSH HL」)
POP	スタックからレジスタに値を取り出す (ex.「POP DE」)
XOR	A=A XOR m, mはレジスタまたは数値
OR	A=A OR m
CP	Aとmを比較する。結果はフラグに残る
ADD	A=A+m, HL=HL+rp。rpはレジスタペア (HL, DE, BC)
SUB	A=A-m
ADC	A=A+m+cy, HL=HL+rp+cy。cyはキャリなら1
INC	r=r+1。rはレジスタ (B, C, D, E, H, L, (HL), A)
DEC	r=r-1
JP	BASICのGOTOに相当。「JP 8000H」は8000H番地へジャンプする
JR	相対ジャンプを行う
EX	「EX DE, HL」はDEレジスタとHLレジスタの内容を交換する
EXX	BC, DE, HLをBC', DE', HL'と交換する

さてこれで文字列表示はすべてできるようになりました。BAS ICを使い始めたときもそうだったようにマシン語も要は慣れなのです。今月の知識を利用してどんだんプログラムを作ってみてください。

パーフローしてしまうような三角関数では、実用にはほど遠いといえましょう。

この問題の解決はただひとつ。「HLDE=HL×DE」という新しい掛け算ルーチンを作ってやるしかありません。これは、HL=D E=FFFFHの場合であれば、HL×DE=FFFE0001Hという答えを4桁ずつHLレジスタとDEレジスタに入れ、HL=FFFEH, DE=0001Hとして帰ってくるサブルーチンです。

このようなサブルーチンを作ってしまうと、先ほどの「あらかじめ10000倍しておく」という解決を少し修正してやることができます。10000倍する代わりに65536倍することにすれば、精度を上げることができると同時にあとで65536で割るという作業が非常に簡単になるのです。掛け算の結果はHLDEに返りますから、65536で割るということはDEを無視しHLだけを取り出せばよいことになります。

これで掛け算と近似の問題は解決できました。あとは $\sin(x)$ のxに応じて、65536倍した数値を返してくれるサブルーチンを作ればよいだけです。本来、三角関数の値はマクローリン展開などの近似式を使ってシコシコ割り算と階乗を取り回して算出するものなのですが、ここではxは整数と限定していますのでもっと簡単な解決策があります。 $\sin(0^\circ) \sim \sin(90^\circ)$ の値を65536倍したテーブルを作り、xの値に応じてこのテーブルを参照するようにすればいいのです。

どうして $0^\circ \sim 90^\circ$ のテーブルを、しかも \sin のテーブルだけを持っていればいいのかと疑問に思われたかもしれません。これは高校の数学でやった次のような三角関数の性質を思い出していただければおわかりかと思ひます。中学校以下の読者の方々はご両親にきいてください。

- 1) $\cos(x) = \sin(\pi/2 - x)$
- 2) $\sin(\pi/2 + x) = \cos(x)$
- 3) $\sin(\pi + x) = -\sin(x)$
- 4) $\cos(\pi + x) = -\cos(x)$

以上の4つの性質を使って、 $0^\circ \sim 359^\circ$ の範囲のすべての三角関数の値を算出してやることのできるのです。もちろんxは 360° より大きくなることもあります。あらかじめ360で割った余りを対象に計算すればいいだけです。これは問題になりません。残りは $\tan(x)$ の計算ですが、あらかじめ $\sin(x)/\cos(x)$ を計算してしまうより、 $A \times \sin(x)$ を計算してから $\cos(x)$ で割ったほうが誤差が少なくなります。

今月は手始めに、この三角関数ルーチンの要である掛け算ルーチンと、 $0^\circ \sim 90^\circ$ の \sin を計算するルーチンを作ってみることにしましょう。

このプログラムは1985年7月号に掲載されたS-OS用のエディタセンブラZEDAで作成してあります。本来、リスト1~3はひと続きのリストなのですが、説明の都合上3つに分けて掲載しました。リストについている行番号を見ていただければわかることと思いますが、入力するときはリスト3、リスト1、リスト2の順に打ち込んでください。

掛け算ルーチン

まずは掛け算ルーチンからです。掛け算ルーチンを作り始めたところ、これまで使っていたBC, DE, HLの3つのレジスタペアだけでは足りなくなっていましたので、いままでも秘蔵してき

図2 4ビット×4ビット=8ビットの過程

0101×0101を計算する			
操作	CY	被乗数	答
1) 答を0にする	0	0101	00000000
2) 答を左へシフト	0	0101	00000000
3) 被乗数を左へシフト	0 ←	1010	00000000
4) CY=0 なので答と乗数を足さない			
5) 答を左へシフト	0	1010	00000000
6) 被乗数を左へシフト	1 ←	0100	00000000
7) CY=1. ゆえに答と乗数を足す	0	0100	00000101
8) 答を左へシフト	0	0100	00001010
9) 被乗数を左へシフト	0 ←	1000	00001010
10) CY=0			
11) 答を左へシフト	0	1000	00010100
12) 被乗数を左へシフト	1 ←	0000	00010100
13) CY=1. ゆえに答と乗数を足す	0	0000	00011001
14) 終了			

た裏レジスタというものを導入することになります。

Z80はBC, DE, HLという普段私たちが使っているレジスタペアのちょうど裏側にBC', DE', HL'という3つのレジスタペアを持っています。そして裏側にあるということでこれらのレジスタペアのことを裏レジスタと呼ぶわけです。この裏レジスタに対して「LD BC', 285」というような命令はできません。通常裏レジスタは切り離されていて、値を入れることも取り出すこともできないのです。

EXX命令は、この切り離されている裏レジスタと表レジスタをつなぎ換える命令です。つなぎ換えるといままでの表レジスタは裏側に隠れ、裏レジスタが表に現れます。ですから、HL'になにか値をセットしたければ、

```
EXX
LD HL, 3000H
EXX
```

とプログラムすれば、裏のHLレジスタに3000Hがセットされます。心配症の方のためにいっておくと、EXX命令は最短命令実行時間である4ステートで終了します。ですから全レジスタを保存しておきたい場合など、EXX命令で保存したほうがPUSH, POPで保存するより速くなるといえます。

「表と裏をつなぎ換える」という表現からおわかりかと思いますが、BCレジスタの値をHL'にコピーしようとする場合には、

```
PUSH BC
EXX
POP HL
EXX
```

などとするしかありません。

さてリスト1です。この掛け算ルーチンではHL', DE'に掛け算の答え、BC'に乗数を入れます。表のほうは、HLレジスタに被乗数を入れてあります。説明のなかでは裏レジスタには「'」をつけて表してあります。

まず81~86行で乗数をBC'へ移し、HL'DE'=0, BC'=DE とします。これで初期化は終了です。そして

- 1) HL'DE'を左にシフト (89~94行)
- 2) HLを左にシフト (96, 97行)
- 3) 2)の結果、キャリフラグが立ったらHL'DE'=HL'DE'+BC'を計算 (99~106行)

という動作を16回繰り返します。

どうしてこれで掛け算ができるのかを図2に書いておきましたので参照してください。これは2進数の筆算をやるのと同じ手順なのです。16ビット×16ビットの答えを32ビットで返すのでは追いつけるのが大変でしょうから、4ビット×4ビットの答えを8ビットで返す様子を書いておきます。原理的にはまったく同じです。

16ループを回ると、HL'DE'に掛け算の答えが入っていますね。そこでEXX命令によって裏レジスタを表に引っ張り出すと、最初の仕様どおりHLDEに答えを入れて帰ることができます。

sin関数サブルーチン

このサブルーチンはsin, cos関数のなかから呼び出されて使われるルーチンで、HLにHL×sin(A)の答えを入れて帰ります。ただし、Aの範囲は0°~90°に限定されています。このなかでA=0°, A=90°のときには計算するまでもありませんので、最初に判断して結果を返すようにしました。ではリスト2を見てください。

リスト1 乗算ルーチン

```

805D 73 ; -----
9000 74 ; ORG 9000H
9000 75
9000 76 ; Times Routine
9000 77 ;
9000 78 ; HLDE=HL*DE
9000 79 ;
9000 80 TIMES:
9000 D5 81 PUSH DE ; シ'ウスウ
9001 D9 82 EXX
9002 21 00 00 83 LD HL,0 ; HL'=0
9005 11 00 00 84 LD DE,0 ; DE'=0
9008 C1 85 POP BC ; BC'=DE
9009 D9 86 EXX
900A 3E 10 87 LD A,16
900C 88 ;
900C D9 89 TIMES1: EXX
900D EB 90 EX DE,HL
900E 29 91 ADD HL,HL ; shift left DE'
900F EB 92 EX DE,HL
9010 ED 6A 93 ADC HL,HL ; shift left HL'
; with CY
9012 D9 94 EXX
9013 95 ;
9013 29 96 ; ADD HL,HL ; shift left HL
9014 30 08 97 JR NC,TIMES3
9016 98 ;
9016 D9 99 EXX
9017 EB 100 EX DE,HL
9018 09 101 ADD HL,BC ; DE'=DE'+BC'
9019 EB 102 EX DE,HL
901A 30 01 103 JR NC,TIMES2
901C 23 104 INC HL ; inc HL' if CY=1
901D 105 ;
901D D9 106 TIMES2: EXX
901E 3D 107 TIMES3: DEC A
901F 20 EB 108 JR NZ,TIMES1
9021 D9 109 EXX
9022 C9 110 RET
9023 111 ;

```


116~122行が例外処理です。まず116~120行がA=0°のときの処理で、このときはHLレジスタに0を入れてリターンします。121, 122行はA=90°のときの処理です。sin(90°)の値は1ですから、持って入ってきたHLをそのまま返してやります。

124行からがA=1°~89°のときの処理です。このときはsin(x)×65536の値を入れた表を利用します。表はSINTBL(9048H)以降に(SINTBL)=sin(1°)×65536, (SINTBL+2)=sin(2°)×65536というように作ってあります。なぜアドレスが2ずつ増えているのかといいますと、sin(x)×65536の値が2バイトになるからなのです。

このように表を作ると、Aレジスタの値(角度)からsin(A)×65536の値が入っているアドレスを算出するには次のような計算を

リスト2 sinルーチン

```

9023      112 ; Subroutine of SIN
9023      113 ;
9023      114 ; HL=HL*SIN(A) タタシ 0<A<=90
9023      115 ;
9023      116 SUBSIN:
9023 B7      117 OR A
9024 20 04    118 JR NZ,SBSIN1
9026 21 00 00 119 LD HL,0
9029 C9      120 RET
902A FE 5A    121 SBSIN1: CP 90
902C C8      122 RET Z
902D          123 ;
902D D6 01    124 SBSIN2: SUB 1
902F 87      125 ADD A,A
9030 5F      126 LD E,A
9031 16 00    127 LD D,0 ; DE=(A-1)*2
9033 E5      128 PUSH HL
9034 21 48 90 129 LD HL,SINTBL
9037 19      130 ADD HL,DE
9038 5E      131 LD E,(HL)
9039 23      132 INC HL
903A 56      133 LD D,(HL)
903B E1      134 POP HL
903C CD 00 90 135 CALL TIMES
903F E5      136 PUSH HL
9040 21 00 80 137 LD HL,8000H
9043 19      138 ADD HL,DE
9044 E1      139 POP HL
9045 D0      140 RET NC
9046 23      141 INC HL
9047 C9      142 RET
9048          143 ;
9048          144 SINTBL:
9048 78 04 EF 08 145 DEFW 1144, 2287 ; 1-10
904C 66 0D DC 11 146 DEFW 3430, 4572
9050 50 16 C2 1A 147 DEFW 5712, 6850
9054 33 1F A1 23 148 DEFW 7987, 9121
9058 0C 28 74 2C 149 DEFW 10252, 11380
905C D9 30 3A 35 150 DEFW 12505, 13626 ; 11-20
9060 96 39 EF 3D 151 DEFW 14742, 15855
9064 42 42 90 46 152 DEFW 16962, 18064
9068 D9 4A 1C 4F 153 DEFW 19161, 20252
906C 58 53 8F 57 154 DEFW 21336, 22415
9070 BE 5B E6 5F 155 DEFW 23486, 24550 ; 21-30
9074 07 64 20 68 156 DEFW 25607, 26656
9078 31 6C 39 70 157 DEFW 27697, 28729
907C 39 74 2F 78 158 DEFW 29753, 30767
9080 1C 7C 00 80 159 DEFW 31772, 32768
9084 DA 83 A9 87 160 DEFW 33754, 34729 ; 31-40
9088 6D 8B 27 8F 161 DEFW 35693, 36647
908C D6 92 79 96 162 DEFW 37590, 38521
9090 11 9A 9C 9D 163 DEFW 39441, 40348
9094 1B A1 8E A4 164 DEFW 41243, 42126
9098 F3 A7 4C AB 165 DEFW 42995, 43852 ; 41-50
909C 97 AE D5 B1 166 DEFW 44695, 45525
90A0 05 B5 27 B8 167 DEFW 46341, 47143
90A4 3A BB 3F BE 168 DEFW 47930, 48703
90A8 35 C1 1B C4 169 DEFW 49461, 50203
90AC F3 C6 BB C9 170 DEFW 50931, 51643 ; 51-60
90B0 73 CC 1C CF 171 DEFW 52339, 53020
90B4 B4 D1 3C D4 172 DEFW 53684, 54332
90B8 B3 D6 1A D9 173 DEFW 54963, 55578
90BC 6F DB B4 DD 174 DEFW 56175, 56756
90C0 E7 DF 09 E2 175 DEFW 57319, 57865 ; 61-70
90C4 19 E4 17 E6 176 DEFW 58393, 58903
90C8 04 E8 DE E9 177 DEFW 59396, 59870
90CC A6 EB 5C ED 178 DEFW 60326, 60764
90D0 FF EE 90 F0 179 DEFW 61183, 61584
90D4 0E F2 78 F3 180 DEFW 61966, 62328 ; 71-80
90D8 D0 F4 15 F6 181 DEFW 62672, 62997
90DC 47 F7 65 F8 182 DEFW 63303, 63589
90E0 70 F9 68 FA 183 DEFW 63856, 64104
90E4 4C FB 1C FC 184 DEFW 64332, 64540
90E8 D9 FC 82 FD 185 DEFW 64729, 64898 ; 81-89
90EC 18 FE 99 FE 186 DEFW 65048, 65177
90F0 07 FF 60 FF 187 DEFW 65287, 65376
90F4 A6 FF D8 FF 188 DEFW 65446, 65496
90F8 F6 FF 189 DEFW 65526
OBJECT CODE END 90F9

```

すればよいことがわかります。

$$[\text{アドレス}] = \text{SINTBL} + (A-1) \times 2$$

124~134行でこの計算を行い、求めたアドレスの内容をDEレジスタに取り出しています。まずAから1を引き、A+Aを計算します。これで(A-1)×2の計算は終了です。この結果とSINTBLを足せば目的のアドレスが得られますね。まずAレジスタをEレジスタに移し、Dレジスタを0にします。これでDE=(A-1)×2となりました。HLにSINTBL(9048H)を入れてHL+DEを計算すると、HL=SINTBL+(A-1)×2となります。sin(A)×65536の値は(HL)と(HL+1)の2バイトですから、これを131~133行でDEレジスタに取り出します。

128行と134行でHLレジスタを保存していますが、これはHLレジスタにはsin(A)倍される数が入っているのを保存しているのです。

以上でDEレジスタにはsin(A)×65536が入りましたので先ほど作ったHLDE=HL×DEの掛け算ルーチンを呼び出し、HL×sin(A)を計算します(135行)。これでHLだけを持って帰ればHL×sin(A)の計算は終了なのですが、精度を上げるためにもうひと計算します。

HLDE÷65536という式は別の見方をすると、HLという整数にDE÷65536という小数がくっついたものとも考えられます。HLだけを持って帰るということは、小数部を切り捨ててしまうことにほかなりません。精度を上げるためのもうひと計算とは、DE÷65536の最上位桁で四捨五入してやることです。

DE÷65536=0.5となるのはDE=32768=8000Hのときですね。ですから、DE+8000Hを計算してキャリが出れば、DE÷65536≥0.5ということになります。もしノンキャリならDE÷65536<0.5です。つまり、DE+8000Hを計算した結果のキャリフラグを見てやれば、四捨なのか五入なのかを判定できるわけです。

136~142行はこの四捨五入ルーチンです。まず136行でHL×sin(A)の整数部分が入っているHLレジスタを保存しておき、137, 138行でDE+8000Hを計算し、139行で保存しておいたHLを取り出します。

計算の結果、ノンキャリならそのままリターン、もしキャリが出ていればHLをひとつ大きくしてからリターンします。

円を描く

せっかく三角関数を作ったのですから、これを利用して円を描いてみることにします。もちろんグラフィックではありません。なんと'*'を使ってキャラクタ画面に描いてみようというのです。さあ、寄ってらっしゃい見てらっしゃい。

円を描くにはまず中心を決めなければいけません。画面を40字モードにしたときのだいたいの中心である(20, 12)を円の中心としましょう。半径は12です。これより大きいと画面をはみ出してしまいます。

これだけ決めておけば、あとは $x=20+12 \times \cos(\theta)$, $y=12+12 \times \sin(\theta)$ という式に従って得られる座標に'*'を描いていけば自然に円ができます。ここで θ は $0^\circ \leq \theta \leq 359^\circ$ の範囲を動く必要はありません。なぜなら円は上下左右対称ですから、第一象限の4分の1円があれば、残りは作ってやることのできるからです。いま $S=\sin(\theta)$, $C=\cos(\theta)$ だとします。ただし $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ です。このとき、

$$X1=20-12 \times C, Y1=12-12 \times S$$

$$X2=20+12\times C, Y2=12-12\times S$$

$$X3=20-12\times C, Y3=12+12\times S$$

$$X4=20+12\times C, Y4=12+12\times S$$

という4つの座標が求まり、(X1,Y1), (X2,Y2), (X3,Y3), (X4,Y4)に'*'を描いてやる事ができるわけです。

では、プログラムのほうを見ていきましょう。リスト3です。12~15行で画面のクリアと40文字モードの設定といったイニシャライズを行っています。16行で開始角度を設定。ここではA=0°にしています。

18~31行でsin(A)とcos(A)の計算を行います。まず18行で現在の角度を保存しておき、19行でHLに半径をセットします。20行でsinルーチン呼び出しますが、いま半径を12としていますのでHL×sin(a)≤12ですね。つまりHレジスタは必ず0になるのです。このため21行ではLレジスタの値だけを取り出し、メモリに保存しています。これでsinの計算は終了です。

次にcosの計算に移ります。cos(θ)=sin(90°-θ)ですから、23、24行で現在の角度をBレジスタに取り出し、再び保存します。25、26行は90°-θの計算を行っているところです。Aにはまず90を入れておいてそこからBを引き、算出します。半径をHLに入れ、28行でsinルーチン呼び出します。

これでsinとcosの計算は終わりです。求められた値はそれぞれC、Bレジスタに入れておきます(29~31行)。次は画面への表示を行います。

33行でEレジスタに円の中心のX座標、DレジスタにY座標をセットします。あとはCレジスタとEレジスタ、BレジスタとDレジスタの間で足したり引いたりし、合計4つの座標を計算するわけです。座標をひとつ計算するたびに67行のサブルーチン呼んで、画面に'*'を描かせています(34~58行)。

60行で保存しておいた角度を取り出し、61行で5°増加させます。結果95°になれば再び18行に戻ってsin、cosの計算と円の表示を続けます。もし95°になったならカーソルを円の中心に置いて終了です。

円の半径と角度の増分は密接に関係しています。私もいろいろ試してみたのですが、八角形になってしまったり円が切れてしまったりとなかなか苦労させられました。皆さんもそれぞれに研究してみてください。

来月はどんな角度を入力してもちゃんと計算してくれるsin、cosルーチンを制作します。それを使ってちょっと懐かしいことをたくらんでいますのでご期待ください。

リスト3 円を描く(ソースリスト)

```

0000      1 ;   エン ラ カク
0000      2 ;
0000      3 ;   ORG      8000H
0000      4 ;
0000      5 #PRINT: EQU      1FF4H
0000      6 #LOC:   EQU      201EH
0000      7 #WIDCH: EQU      2030H
0000      8 ;
0000      9 HANKEI: EQU      12
0000     10 ;
0000     11 TEST:
0000     12 LD      A,0CH ; カ" メンショウキョ  &
                                * 40モシ" セツテイ

0002 CD F4 1F      13 CALL #PRINT
0005 3E 28          14 LD      A,40
0007 CD 30 20      15 CALL #WIDCH
000A AF            16 XOR      A
000B              17 ;
000B F5            18 TEST1: PUSH AF ; SIN COS ノ ユイザン
000C 21 0C 00      19 LD      HL,HANKEI
000F CD 23 90      20 CALL SUBSIN
0012 7D            21 LD      A,L
0013 32 5C 80      22 LD      (DTSIN),A
0016 C1            23 POP      BC
0017 C5            24 PUSH   BC ; B=カクト*
0018 3E 5A          25 LD      A,90
001A 90            26 SUB      B ; A=PAI/2-カクト*
001B 21 0C 00      27 LD      HL,HANKEI
001E CD 23 90      28 CALL SUBSIN
0021 4D            29 LD      C,L ; COS
0022 3A 5C 80      30 LD      A,(DTSIN)
0025 47            31 LD      B,A
0026              32 ;
0026 11 14 0C      33 LD      DE,0C14H ; (20,12)
0029 7A            34 LD      A,D
002A 90            35 SUB      B
002B 67            36 LD      H,A ; Y-SIN
002C 7B            37 LD      A,E
002D 81            38 SUB      C
002E 6F            39 LD      L,A ; X-COS
002F CD 54 80      40 CALL CIR
0032              41 ;
0032 7B            42 LD      A,E
0033 81            43 ADD      A,C
0034 6F            44 LD      L,A ; X+COS
0035 CD 54 80      45 CALL CIR
0038              46 ;
0038 7A            47 LD      A,D
0039 80            48 ADD      A,B
003A 67            49 LD      H,A ; Y+SIN
003B 7B            50 LD      A,E
003C 91            51 SUB      C
003D 6F            52 LD      L,A ; X-COS
003E CD 54 80      53 CALL CIR
0041              54 ;
0041 7B            55 LD      A,E
0042 81            56 ADD      A,C
0043 6F            57 LD      L,A ; X+COS
0044 CD 54 80      58 CALL CIR
0047              59 ;
0047 F1            60 POP      AF
0048 06 05          61 ADD      A,5
004A FE 5F          62 CP      95
004C 20 BD          63 JR      NZ,TEST1
004E 21 14 0C      64 LD      HL,0C14H ; エン ノ チョウシン
0051 C3 1E 20      65 JP      #LOC
0054              66 ;
0054 CD 1E 20      67 CIR: CALL #LOC
0057 3E 2A          68 LD      A,'*'
0059 C3 F4 1F      69 JP      #PRINT
005C              70 ;
005C 00            71 DTSIN: DEFB 0
005D              72

```

リスト4 円を描く(ダンプリスト)

```

8000 3E 0C CD F4 1F 3E 28 CD : 5D
8008 30 20 AF F5 21 0C 00 CD : EE
8010 23 90 7D 32 5C 80 C1 C5 : C4
8018 3E 5A 90 21 0C 00 CD 23 : 45
8020 90 4D 3A 5C 80 47 11 14 : 5F
8028 0C 7A 90 67 7B 91 6F CD : C5
8030 54 80 7B 81 6F CD 54 80 : E0
8038 7A 80 67 7B 91 6F CD 54 : FD
8040 80 7B 81 6F CD 54 80 F1 : 7D
8048 C6 05 FE 5F 20 BD 21 14 : 3A
8050 0C C3 1E 20 CD 1E 20 3E : 56
8058 2A C3 F4 1F 00 CD : CD

```

SUM: B5 E3 C6 08 5D DA 18 7A 224D

```

9000 D5 D9 21 00 00 11 00 00 : E0
9008 C1 D9 3E 10 D9 EB 29 EB : C0

```

```

9010 ED 6A D9 29 30 08 D9 EB : 55
9018 09 EB 30 01 23 D9 3D 20 : 7E
9020 EB D9 C9 B7 20 04 21 00 : 89
9028 00 C9 FE 5A C8 D6 01 87 : 47
9030 5F 16 00 E5 21 48 90 19 : 6C
9038 5E 23 56 E1 CD 00 90 E5 : FA
9040 21 00 80 19 E1 D0 23 C9 : 57
9048 78 04 EF 08 66 0D DC 11 : D3
9050 50 16 C2 1A 33 1F A1 23 : 58
9058 0C 28 74 2C D9 30 3A 35 : 4C
9060 96 39 EF 3D 42 42 90 46 : 55
9068 D9 4A 1C 4F 58 53 8F 57 : 1F
9070 BE 5B E6 5F 07 64 20 68 : 51
9078 31 6C 39 70 39 74 2F 78 : 9A

```

SUM: 87 6E 54 D3 2F 98 C9 2A 6736

9080 1C 7C 00 80 DA 83 A9 87 : A5

```

9088 6D 8B 27 8F D6 92 79 96 : 25
9090 11 9A 9C 9D 1B A1 8E A4 : D2
9098 F3 A7 4C AB 97 AE D5 B1 : 5C
90A0 05 B5 27 B8 3A BB 3F BE : 8B
90A8 35 C1 1B CA F3 C6 BB C9 : 12
90B0 73 CC 1C CF B4 D1 3C D4 : BF
90B8 B3 D6 1A D9 6F DB B4 DD : 57
90C0 E7 DF 09 E2 19 E4 17 E6 : AB
90C8 04 E8 DE E9 A6 EB 5C ED : 8D
90D0 FF EE 90 F0 0E F2 78 F3 : D8
90D8 D0 F4 15 F6 47 F7 65 F8 : 6A
90E0 70 F9 68 FA 4C FB 1C FC : 2A
90E8 D9 FC 82 FD 18 FE 99 FE : 01
90F0 07 FF 60 FF A6 FF D8 FF : E1
90F8 F6 FF : F5

```

SUM: ED FC 5D 22 D0 41 4C 61 8836

リスト5 ZIMPL全リスト

```

3000 C3 28 32 2A 84 32 CD BE : 88
3008 1F CD 18 20 2E 14 CD 1E : 51
3010 20 ED 5B 76 1F CD D3 1F : BC
3018 3E 1E CD F4 1F 1A FE 1B : 6F
3020 C8 CD B2 1F 30 05 CD C4 : 2C
3028 1F 18 D8 22 84 32 21 10 : 18
3030 00 19 EB C9 1A FE 28 F5 : 02
3038 20 01 13 1A CD 4D 30 FE : 96
3040 1B 28 06 F1 3E 00 C0 3C : 74
3048 C9 F1 3E 1B C9 CD 5E 30 : 37
3050 1A B7 C8 FE 2C C8 FE 29 : B2
3058 3E 1B C0 13 AF C9 FE 25 : C7
3060 28 29 FE 26 28 39 FE 24 : F8
3068 28 4C FE 27 28 69 FE 22 : 4A
3070 28 65 21 00 00 1A FE 30 : F6
3078 D8 FE 3A D0 13 D6 30 29 : 22

```

SUM: D3 C2 1D 12 D0 9F F5 36 44DF

```

3080 4D 44 29 29 09 4F 06 00 : 41
3088 09 18 EA 21 00 00 13 1A : 59
3090 FE 30 D8 FE 32 D0 13 29 : 42
3098 D6 30 28 F3 23 18 F0 21 : 6D
30A0 00 00 13 1A FE 30 D8 FE : 31
30A8 38 D0 13 D6 30 29 29 : 9C
30B0 4F 06 00 09 18 ED 21 00 : 84
30B8 00 13 1A FE 30 D8 FE 3A : 6B
30C0 38 08 FE 41 D8 FE 47 D0 : 6C
30C8 D6 07 D6 30 13 29 29 : 71
30D0 29 4F 06 00 09 18 E3 21 : A3
30D8 00 00 47 13 1A B8 28 06 : 5A
30E0 B7 C8 65 6F 18 F5 13 C9 : 3C
30E8 1A FE 20 C0 13 18 F9 5D : 79
30F0 54 2A 84 32 77 23 73 23 : 64
30F8 72 C9 CD 18 20 2E 05 CD : 40

```

SUM: 7F BC 4A 2F A4 AA 3B FB 2DFE

```

3100 1E 20 2A 84 32 7E 23 CD : 8C
3108 C1 1F CD F1 1F 10 F6 22 : E5
3110 84 32 CD 18 20 7D D6 14 : 22
3118 CD F1 1F 3C 20 FA C3 EE : E4
3120 1F 21 F5 31 22 97 31 01 : 51
3128 1D 00 18 2A 21 F5 31 22 : C8
3130 97 31 01 13 00 18 1F 21 : 34
3138 12 32 22 97 31 01 0C 00 : 3B
3140 18 14 21 1E 32 22 97 31 : 87
3148 01 0A 00 18 09 21 99 31 : 17
3150 22 97 31 01 5C 00 C3 BA : BE
3158 32 28 03 3E 1B C9 D5 E5 : 39
3160 13 1A CD 8E 31 BE 20 06 : 9D
3168 B7 28 07 23 18 F2 E1 D1 : C5
3170 18 E4 D5 06 00 ED 5B 97 : B6
3178 31 EB E5 B7 ED 52 E1 28 : 00

```

SUM: 95 D4 F6 B1 ED A5 44 C6 CBC3

```

3180 08 7E 23 B7 20 F4 04 18 : 90
3188 F1 D1 E1 E1 78 C9 FE 20 : E3
3190 28 03 FE 2C 00 AF C9 00 : 8D
3198 00 4C 44 00 50 55 53 48 : D0
31A0 00 50 4F 50 00 45 58 00 : 8C
31A8 41 44 44 00 41 44 43 00 : 91
31B0 53 55 42 00 53 42 43 00 : C2
31B8 41 4E 44 00 58 4F 52 00 : CC
31C0 4F 52 00 43 50 00 49 4E : CB
31C8 43 00 44 45 43 00 4A 50 : A9
31D0 00 44 4A 4E 5A 00 4A 52 : D2
31D8 00 43 41 4C 4C 00 52 45 : B3
31E0 54 00 4E 4F 50 00 44 45 : CA
31E8 46 42 00 44 45 46 57 00 : AE
31F0 44 45 46 4D 00 42 00 43 : A1
31F8 00 44 00 45 00 48 00 4C : 1D

```

SUM: 66 79 C2 5B 62 AB 18 89 4E46

```

3200 00 28 48 4C 29 00 41 00 : 26
3208 28 42 43 29 00 28 44 45 : 87
3210 29 00 42 43 00 44 45 00 : 37
3218 48 4C 00 41 46 00 4E 5A : C3
3220 00 5A 00 4E 43 00 43 00 : 2E
3228 CD EE 1F 11 6D 32 CD E5 : 3C
3230 1F ED 5B 76 1F CD D3 1F : BB
3238 1A FE 1B C8 21 12 00 19 : 47
3240 EB CD B2 1F 38 E2 22 84 : 49
3248 32 CD EE 1F CD 03 30 FE : 0A

```

```

3250 1B 28 D5 CD 4D 31 FE 1B : 7C
3258 28 F2 D5 6F 26 00 29 11 : BE
3260 86 32 19 5E 23 56 EB D1 : 64
3268 CD 81 1F 18 DF 49 6E 70 : 8B
3270 75 74 20 53 74 61 72 74 : 17
3278 20 41 64 72 73 20 24 00 : EE

```

SUM: E7 05 68 4B C0 B3 63 1F 756C

```

3280 00 00 00 00 00 00 28 33 : 5B
3288 38 34 4D 34 5C 34 75 34 : 26
3290 B2 34 DB 34 E4 34 03 35 : 45
3298 03 35 03 35 03 35 35 35 : 12
32A0 59 35 73 35 A1 35 CD 35 : 0E
32A8 FA 35 28 36 44 36 48 36 : 85
32B0 81 36 8A 36 1A ED B1 28 : 57
32B8 03 3E 1B C9 D5 11 9A 31 : D6
32C0 EB B7 ED 52 EB D1 CA 5E : C5
32C8 31 F5 2B 2B 7E 23 23 B7 : F7
32D0 20 04 F1 C3 5E 31 F1 79 : D1
32D8 B0 20 D9 3E 1B C9 2A 84 : 79
32E0 32 77 06 01 C3 FA 30 5D : FA
32E8 2A 84 32 77 23 73 06 02 : F5
32F0 C3 FA 30 CD EF 30 06 03 : E2
32F8 C3 FA 30 CD E8 30 1A FE : EA

```

SUM: 92 3A E5 97 B6 C1 93 07 9BDB

```

3300 41 C0 13 1A 13 FE 2C C8 : 33
3308 E1 C3 C4 1F D6 04 38 12 : AB
3310 F5 06 04 CD FA 30 F1 C8 : AF
3318 47 2A 84 32 CD DE 1F 78 : 49
3320 18 EA C6 04 47 C3 FA 30 : 00
3328 CD E8 30 CD 21 31 FE 1B : 1D
3330 CA B6 33 32 80 32 13 CD : 77
3338 21 31 FE 1B 28 2A 32 82 : 71
3340 32 FE 06 20 08 3A 80 32 : 4A
3348 FE 06 CA C4 1F 3A 82 32 : 9F
3350 FE 08 30 2F 3A 80 32 FE : 4F
3358 08 30 28 87 87 87 F6 40 : 2B
3360 47 3A 82 32 B0 C3 DE 32 : B8
3368 CD 34 30 FE 1B CA C4 1F : F7
3370 B7 20 36 3A 80 32 FE 08 : FF
3378 D2 C4 1F 87 87 87 F6 06 : 46

```

SUM: 01 FA B5 E1 7A 01 71 B5 A7E6

```

3380 C3 E7 32 3A 82 32 FE 07 : CF
3388 20 08 3A 80 32 D6 08 87 : 79
3390 18 0F 3A 80 32 FE 07 C2 : DA
3398 C4 1F 3A 82 32 D6 08 87 : 36
33A0 3C 87 87 87 F6 02 C3 DE : 6A
33A8 32 3A 80 32 FE 07 C2 C4 : A9
33B0 1F 3E 3A C3 F3 32 CD 37 : 83
33B8 31 FE 1B 28 44 FE 03 CA : 81
33C0 C4 1F 32 80 32 13 CD 34 : DB
33C8 30 FE 1B CA C4 1F B7 20 : CD
33D0 0B 3A 80 32 87 87 87 87 : 13
33D8 3C C3 F3 32 3A 80 32 FE : 0E
33E0 02 20 05 3E 2A C3 F3 32 : 77
33E8 3A 80 32 87 3C EB 2A 84 : 48
33F0 32 36 ED 23 87 87 87 F6 : 03
33F8 43 CD F4 30 06 04 C3 FA : FB

```

SUM: 69 D7 14 26 ED 87 0E F9 990D

```

3400 30 CD 34 30 FE 1B CA C4 : 08
3408 1F B7 CA C4 1F 22 80 32 : 57
3410 13 1A FE 41 20 08 3E 32 : 04
3418 2A 80 32 C3 F3 32 CD 37 : C8
3420 31 FE 03 D2 C4 1F FE 02 : E7
3428 20 08 3E 22 2A 80 32 C3 : 27
3430 F3 32 87 2A 80 32 1B 85 : 55
3438 CD E8 30 CD 37 31 FE 1B : 33
3440 CA C4 1F 06 C5 87 87 87 : 0D
3448 87 B0 C3 DE 32 CD E8 30 : EF
3450 CD 37 31 FE 1B CA C4 1F : FB
3458 06 C1 18 E9 CD E8 30 CD : 7A
3460 37 31 FE 01 C2 C4 1F 13 : 1F
3468 CD 37 31 FE 02 C2 C4 1F : DA
3470 3E EB C3 DE 32 CD FB 32 : F6
3478 20 1D 01 C6 80 C5 CD 2C : 42

```

SUM: 23 1A 44 51 2A 97 A9 27 F756

```

3480 31 FE 1B 28 05 C1 B0 C3 : AB
3488 DE 32 CD 34 30 C1 FE 1B : 1B
3490 CA C4 1F 79 C3 E7 32 CD : CF
3498 37 31 FE 02 C2 C4 1F 13 : 20
34A0 CD 37 31 FE 03 D2 C4 1F : EB
34A8 87 3C 87 87 87 F6 01 C3 : 12
34B0 DE 32 CD FB 32 20 06 01 : 31
34B8 CE 88 C3 7D 34 CD 37 31 : FF
34C0 FE 02 C2 C4 1F 13 CD 37 : BC
34C8 31 FE 03 D2 C4 1F 87 3C : AA
34D0 87 87 87 F6 42 6F 3E ED : 67
34D8 C3 E7 32 CD E8 30 01 D6 : 98
34E0 90 C3 7D 34 CD FB 32 20 : 1E
34E8 06 01 DE 98 C3 7D 34 CD : BE
34F0 37 31 FE 02 C2 C4 1F 13 : 20
34F8 CD 37 31 FE 03 D2 C4 1F : EB

```

SUM: 23 EC 55 F9 0C C1 DD 27 3A09

```

3500 87 18 CD 32 34 35 CD E8 : BC
3508 30 CD 2C 31 FE 1B 28 0F : AA
3510 47 3A 34 35 D6 04 87 87 : D2
3518 87 B0 F6 80 C3 DE 32 CD : 4D
3520 34 30 FE 1B CA C4 1F 3A : 6D
3528 34 35 D6 04 87 87 87 F6 : CE
3530 C6 C3 E7 32 00 CD E8 30 : 87
3538 CD 2C 31 FE 1B 28 09 06 : 7A
3540 04 87 87 87 B0 C3 DE 32 : 1C
3548 CD 37 31 FE 03 D2 C4 1F : EB
3550 87 87 87 87 F6 03 C3 DE : B6
3558 32 CD E8 30 CD 2C 31 FE : 3F
3560 1B 28 04 06 05 18 DA CD : 11
3568 37 31 FE 03 D2 C4 1F 87 : A5
3570 3C 18 DE CD E8 30 CD 42 : 26
3578 31 FE 1B 28 17 32 80 32 : 6D

```

SUM: C9 A4 31 A1 83 74 21 A6 1F34

```

3580 13 CD 34 30 FE 1B CA C4 : EB
3588 1F 3A 80 32 87 87 87 F6 : 96
3590 C2 C3 F3 32 CD 34 30 FE : D8
3598 1B CA C4 1F 3E C3 C3 F3 : 7F
35A0 32 CD E8 30 CD 34 30 FE : FF
35A8 1B CA C4 1F 06 10 E5 2A : ED
35B0 84 32 11 7E 00 B7 ED 52 : 3B
35B8 D1 EB B7 ED 52 D4 C4 1F : 6F
35C0 7C B7 C2 C4 1F 11 80 00 : 69
35C8 19 78 C3 E7 32 CD E8 30 : 52
35D0 CD 42 31 FE 1B 28 17 32 : CA
35D8 80 32 13 CD 34 30 FE 1B : 0F
35E0 CA C4 1F 3A 80 32 C6 04 : 63
35E8 87 87 87 87 87 C0 CD 34 : B5
35F0 30 FE 1B CA C4 1F 06 18 : A9
35F8 18 B4 CD E8 30 CD 42 31 : F1

```

SUM: 2C E8 36 16 E1 82 62 42 2A0C

```

3600 FE 1B 28 17 32 80 32 13 : 4F
3608 CD 34 30 FE 1B CA C4 1F : F7
3610 3A 80 32 87 87 87 F6 C4 : 3B
3618 C3 F3 32 CD 34 30 FE 1B : 32
3620 CA C4 1F 3E CD C3 F3 32 : A0
3628 CD E8 30 1A B7 28 10 CD : BB
3630 42 31 FE 1B CA C4 1F 87 : C0
3638 87 87 F6 C0 C3 DE 32 3E : D5
3640 C9 C3 DE 32 AF C3 DE 32 : 1E
3648 21 00 00 22 6B 36 2A 84 : 92
3650 32 22 82 32 CD E8 30 1A : 07
3658 B7 CA C4 1F CD 34 30 FE : 93
3660 1B CA C4 1F D5 EB 2A 82 : 34
3668 32 73 23 00 00 22 82 32 : 9E
3670 D1 1A 13 B7 20 E6 ED 5B : 03
3678 84 32 B7 ED 52 7D C3 0C : F8

```

SUM: 9D 5E D4 04 14 13 02 BE FF3F

```

3680 33 21 72 23 22 6B 36 C3 : 6F
3688 4E 36 CD E8 30 1A B7 CA : 04
3690 CA 1F 47 2A 84 32 13 1A : 3F
3698 B7 CA C4 1F 4F 13 1A B7 : 97
36A0 28 04 1F 23 18 F6 78 B9 : FF
36A8 C2 C4 1F ED 5B 84 32 B7 : 5A
36B0 ED 52 CA C4 1F 7D C3 0C : 38
36B8 33 : 33

```

SUM: 06 5A A4 28 B7 C1 87 DA 5C69

THE SENTINEL

これまでS-OS用のゲームというパズルっぽいものが多かったのですが、2月号では待望のアドベンチャーゲームとそのツールを発表、そして今月は2本のアクションゲームの登場です。S-OSのゲームもバラエティに富んできましたね。

まず、ひとつ目はシューティングゲームの元祖ともいえるINVADER GAME。これは以前このコーナーにも登場し、「インベーダーゲーム作ってるよ」といった松坂君の作品、もうひとつは2月号で発表したMARMALADEの作者による、横スクロール型シューティングゲームTANGERINEです。

S-OSの現バージョン“SWORD”では入出力を各機種のモニタに依存した形になっています。そのため画面表示などでアクションゲームを作るには速度的に不利のように思われていたのですが、これらのゲームではみごとにその不安を打ち破ってくれました。特にINVADER GAMEでは、デモ画面を見た人は誰もが専用ルーチンを内蔵しているものと思ってしまったほどです。S-OSの共通ルーチンだけでもここまでできる、というひとつの見本といえます。あのデモ画面の作り方は、これからゲームを作ろうという方にはきっと参考になることでしょう。

また、TANGERINEの作者、片岡君は初めてアクションゲームを制作したそうですが、作ってみて初めてX 68000用グラディウスのデモが2週間でできたという話が信用できたと語ってくれました。もちろん、グラディウスとTANGERINEではスケールが違いますが、キャラクタもスプライトも面倒な重ね合わせ処理などは不要、アルゴリズムを記述するだけでほぼゲームができてしまうのです。S-OSでグラフィックが使えないということは表現力を制限されるものの、その分手軽にゲームが作れるわけですね。

●NEW BEMS

S-OSでアクションゲームといえば、やはりBEMSを忘れてはいけません。ニューバージョンの仕様決定が遅れているため、待ちきれない読者の中にはNEW BEMSの試作版を作って送ってきた方もいました。仮想画面を採用し、背景(B画面×2)の独立スクロールルーチンなどを組み込んであり、なかなか強力なもののようです。INVADER GAMEの松坂君もNEW BEMSではBCD 6桁、ダミー付きの得点計算/表示ルーチンは必須であるとか、そのほかの方々からも具体的な提案が届きつつあります。ニューバージョンの仕様完成までは、もうしばらくお待ちください。

●PASOPIA版S-OS“SWORD”登場

Oh! MZの姉妹誌Oh! PASOPIA第11号でPASOPIA/5版のS-OS“SWORD”が発表され、S-OSの輪もいちだんと広がってきました。

さらに投稿作品の内容も次第にレベルアップし、先日はあのFuzzyBASICのコンパイラも届きました。FuzzyBASICの作者、瀧山君によって入念なチェックの真最中です。

また、現在Lisp, Prolog, FORTHなど、S-OS用言語のアプリケーションを整理しています。おもしろい自作プログラムをお持ちの方、ぜひ編集室までご連絡ください。

第40部 INVADER GAME 第41部 TANGERINE

全機種共通システム掲載記事

■85年6月号
序論 共通化の試み
第1部 S-OS “MACE”
第2部 Lisp-85インタプリタ
第3部 チェックサムプログラム
■85年7月号
第4部 マシン語プログラム開発入門
第5部 エディタアセンブラ ZEDA
第6部 デバッグツール ZAD
■85年8月号
第7部 ゲーム開発パッケージ BEMS
第8部 ソースジェネレータ ZING
■85年9月号
インタラプト S-OS 番外地
第9部 マシン語入力ツール MACINTO-S
第10部 Lisp-85入門(1)
■85年10月号
第11部 仮想マシン CAP-X85
連載 Lisp-85入門(2)
■85年11月号
連載 Lisp-85入門(3)
■85年12月号
第12部 Prolog-85発表
■86年1月号
第13部 リロケータブルのお話
第14部 FM音源サウンドエディタ
■86年2月号

第15部 S-OS “SWORD”
第16部 Prolog-85入門(1)
■86年3月号
第17部 magiFORTH 発表
連載 Prolog-85入門(2)
■86年4月号
第18部 思考ゲーム JEWEL
第19部 LIFE GAME
連載 基礎からの magiFORTH
連載 Prolog-85入門(3)
■86年5月号
第20部 スクリーンエディタ E-MATE
連載 実戦演習 magiFORTH
■86年6月号
第21部 Z80TRACER
第22部 magiFORTH TRACER
第23部 ディスクダンプ&エディタ
第24部 SWORD 2000 QD
連載 対話で学ぶmagiFORTH
特別付録 PC-8801版S-OS “SWORD”
■86年7月号
第25部 FM音源ミュージックシステム
付録 FM音源ボードの製作
連載 計算力アップのmagiFORTH
特別付録 SMC-777版S-OS “SWORD”
■86年8月号
第26部 対局五目並べ

第27部 MZ-2500版S-OS “SWORD”
■86年9月号
第28部 FuzzyBASIC 発表
連載 明日に向かって magiFORTH
■86年10月号
第29部 ちょっと便利な拡張プログラム
第30部 ディスクモニタ DREAM
第31部 FuzzyBASIC 料理法<1>
■86年11月号
第32部 パズルゲーム HOTTAN
第33部 MAZE in MAZE
連載 FuzzyBASIC 料理法<2>
■86年12月号
第34部 CASL & COMET
連載 FuzzyBASIC 料理法<3>
■87年1月号
第35部 マシン語入力ツールMACINTO C
連載 FuzzyBASIC料理法<4>
■87年2月号
第36部 アドベンチャーゲームMARMALADE
第37部 テキアベ作成ツールCONTEX
第38部 魔法使いはアニメが大好き
第39部 アニメーションツール MAGE
付録 “SWORD”再掲載とMAGICの標準化

*以上のアプリケーションは、基本システムであるS-OS “MACE”またはS-OS “SWORD”がないと動作しませんのでご注意ください。

全機種共通S-OS“SWORD”要

INVADER GAME

Matsuzaka Mikiya

松坂 幹哉

その昔、パソコンやゲームセンターを賑わしたインベーダーゲームがS-OS用として復活しました。ゲームはもちろん、デモ画面の楽しさもまた格別。まさにS-OS用アクションゲームの第1弾にふさわしいプログラムといえるでしょう。

懐かしのインベーダー

1月号のSENTINELで予告したインベーダーゲームが完成しましたので、発表します。1月号で書いたように、これはBEM S用のゲームではありません。S-OSのサブルーチンだけでもこれだけのことができるんだ、というところをじっくり味わってください。

S-OS用なので各機種に依存するグラフィックキャラクタは使用していません、というか、使用できませんでした。しかし、ゲームの雰囲気は十二分にお伝えすることができます。また、デモにも凝ってみましたので、錯綜するドットにあふれた最近のゲームのデモに食傷気味の皆さん、シンプルなキャラクタが必死に演じるこのデモをお楽しみください。

遊び方

プログラムをロードしたら、S-OSのモニターから#J3000とすると、デモが始まります。得点や操作についての説明も出ますのでよく見ておいてください。特に左右移動はK、Lキーです。おましがえなく。デモにも見飽きたらスペースキーを少し長めに押してください。お馴染みのゲームがスタートします。左右に動きながらだんだん下に迫ってくる敵を、ひたすら撃ち落としてください。ときどきUFO（敵の母艦？）が画面上部を横切るので、そいつも狙ってください。

自機は最初3機あり、1500点で1upします。ずいぶん低いと思われる方がいらっしやるかもしれませんが、まあプレイしてみてください。1500点取るのもかなりたいへんなのがわかると思います。最近のゲームはとかく点数がインフレ気味で100万点ボーナスなんてものもありますが、コツコツ地

味にポイントを稼ぐのもたまにはいいのではないのでしょうか（陰の声：昔のゲームはみんなそうだった……）。

さて、話が横にそれかけましたが自機の操作は、Kキーで左、Lキーで右、スペースキーでビーム発射となっています。このビームは1発ずつしか撃てません。その代わり、スペースキーをずっと押していれば前のビームが消えるとともに次のビームが発射されます。

敵のビームはこちらのビームが当たっても、互いにすり抜けてしまいます。逃げるしかありません。また、障害物は自機あるいは敵のビームが8発当たると少しずつ消えていきます。

動いている敵を全部倒すと1面クリアです。自機が全部やられるか、敵が自機と同じところまで降りてきしまうとゲームオーバーです。なお、ゲーム中にシフト+ブレイクキーを押すとS-OSのモニターに戻ります。

このプログラムは全機種共通で走りますが、MZ-2500を使用している方は以下の点に注意してください。

- 1) スクロールモードを25行に変更
- 2) 文字のフォントは8×8のものを使用すること

具体的な方法は1986年8月号を参照してください。

入力方法

ダンプリスト（3000H～430BH）をMACINTOSH-C（B000Hからのもの）などで打ち込んでいきます。入力ミスがないかどうかチェックサムなどでよく確認してから、スタートアドレス3000Hでセーブしてください。各機種のモニターを使用する場合は、マニュアルをよく読んで、操作ミスのないようにしましょう。いずれの場合でもこのプログ

INVADER GAME

A ... 10 PTS. [SPACE]
B ... 20 PTS. I
C ... 30 PTS. [K] X [L]
UF ... ?? PTS.

ラムを実行する際には、S-OS“SWORD”が必要です。

ソースリストはメインとデモの部分が別になっています。しかし、注意していただきたいのはこれは分割アセンブルするのではない、ということです。したがって、改造前のZEDAでもアセンブル可能です。

具体的には、まず、メインのソースを読み込んでアセンブルし、次に、テキストをクリアして（改造版ZEDAではさらにA0を実行して）、デモのソースを読み込んでアセンブルします。そして、オブジェクトをオフセット付きでセーブします。詳しくは、ZEDAの各掲載記事を参照してください。

なお、MZ-80K/C/1200/700/1500をお使いの方は、このままではメモリ不足のためにアセンブルできません。そこでソースリストの不要なスペースやコメントを削除して、オブジェクトの格納アドレスを変更するなどの処置が必要です。

ソースリストを見るとわかるように、本

ここでMZ-80B/2000/2200用“SWORD”のデバッグ情報です。これらの機種ではキー入力時にカーソルキャラクタが正常に取り込まれていませんでした。

3月号で発表したダンプリストに以下のような修正を加えてください。

IB61H 20H → 1EH

この修正を行わないと今回のINVADER GAMEは正常に動作しないので注意してください。

リスト1 INVADER GAMEダンプリスト

```

3000 CD 9B 36 CD 00 39 CD B9 : 2A
3008 36 3E 0C CD F4 1F 2E 09 : 97
3010 26 0A CD 1E 20 11 45 38 : C9
3018 CD E5 1F CD 35 37 CD 35 : 0C
3020 37 3E 0C CD F4 1F CD D9 : 07
3028 36 CD 49 37 CD D8 37 CD : 2C
3030 10 38 CD 8E 35 CD 81 35 : 5B
3038 CD 6A 30 3A 76 50 3D 32 : D6
3040 76 50 CC 6A 30 CD 22 31 : 4C
3048 CD 65 31 CD 0A 32 3A 87 : 2D
3050 50 EE 01 32 87 50 CC 25 : 39
3058 32 CD 15 34 CD A3 34 CD : B9
3060 2C 37 CD CD 1F CA FA 1F : FF
3068 18 D1 3A 75 50 32 76 50 : E0
3070 06 05 05 0E 0B 0D 78 CB : 79
3078 27 CB 27 CB 27 CB 27 81 : 7E

```

SUM: 76 BD C6 09 E4 7A 3A A1 8A70

```

3080 26 00 6F 11 00 50 19 7E : 8D
3088 FE 00 28 2C C5 CB 20 CB : CD
3090 21 3A 88 50 81 6F 3A 89 : E6
3098 50 80 67 C1 CD 1E 20 3E : 41
30A0 20 CD F4 1F 3A 73 50 CD : CA
30A8 14 31 CD 1E 20 16 00 58 : BE
30B0 21 67 38 19 7E CD F4 1F : 37
30B8 AF B9 20 B9 B8 20 B3 2A : F6
30C0 88 50 3A 73 50 CD 14 31 : E7
30C8 22 88 50 3A 73 50 FE 02 : F7
30D0 D2 FD 30 FE 01 CA E6 30 : DE
30D8 3A 70 50 CB 27 21 88 50 : E5
30E0 86 FE 00 C0 18 0C 3A 71 : 13
30E8 50 CB 27 21 88 50 86 FE : BF
30F0 1B C0 3A 73 50 CD 44 C6 : CF
30F8 03 32 73 50 C9 3A 72 50 : BD

```

SUM: 43 D8 7D 77 47 A9 80 B6 EF09

```

3100 CB 27 21 89 50 86 FE 18 : 88
3108 D2 41 37 3A 73 50 E6 01 : 2E
3110 32 73 50 C9 FE 02 30 08 : F6
3118 FE 01 28 02 D0 C9 2C C9 : 14
3120 24 C9 CD D0 1F FE 20 CA : 91
3128 54 31 21 77 50 46 FE 4B : FC
3130 20 09 78 3D B7 F2 46 31 : FE
3138 3C 18 0B FE 4C 78 20 06 : 47
3140 3C FE 1A 38 01 3D 77 2A : 6B
3148 77 50 CD 1E 20 11 6C 38 : 87
3150 CD E5 1F C9 3A 7A 50 FE : 9C
3158 FF C0 2A 77 50 2C 25 22 : 23
3160 79 50 C3 52 32 21 7C 50 : FD
3168 7E 2B FE FF 20 06 CD D0 : 69
3170 31 CD 9C 31 21 7E 50 7E : 38
3178 2B FE FF 20 09 ED 5F E6 : 83

```

SUM: 73 30 CD 48 87 D5 14 3C 16F1

```

3180 1F FE 0B DC 9C 31 21 80 : 72
3188 50 7E 2B FE FF C0 ED 5F : 02
3190 E6 7C CB 2F CB 2F FE 0B : 5F
3198 DC 9C 31 C9 EB 4F CD B9 : 32
31A0 31 B7 C8 3E 05 90 CB 20 : 6E
31A8 CB 21 05 79 21 88 50 86 : E9
31B0 12 13 78 21 89 50 86 12 : 2F
31B8 C9 06 05 26 50 3E 40 81 : 49
31C0 6F AF 96 C0 D5 11 10 00 : 6A
31C8 B7 ED 52 D1 10 F3 AF C9 : 42
31D0 E5 3A 77 50 21 88 50 96 : 75
31D8 CB 2F 4F 16 00 79 92 4F : B9
31E0 14 FE 00 FA F1 31 FE 0C : 38
31E8 30 07 CD B9 31 FE 00 20 : 0C
31F0 16 79 82 4F 14 FE 00 FA : 6C
31F8 DD 31 FE 0C 30 F3 CD B9 : C1

```

SUM: 15 39 77 D5 BC 3A 26 69 5DBA

```

3200 31 FE 00 20 02 18 D6 79 : B8
3208 E1 C9 3A 7A 50 FE FF C8 : 73
3210 2A 79 50 CD 1E 20 3E 20 : 5C
3218 CD F4 1F 25 22 79 50 7C : 6C
3220 B7 F8 C3 52 32 06 03 11 : 10
3228 7B 50 1A 6F 13 1A 67 FE : E6
3230 FF CA 4E 32 CD 1E 20 3E : 92
3238 20 CD F4 1F 7C 3C FE 19 : CF
3240 12 67 30 07 D5 CD 52 32 : D6
3248 D1 18 03 3E FF 12 13 10 : 5E
3250 D9 C9 CD 1E 20 CD 1B 20 : B5
3258 FE 7B CA 80 32 FE 41 CA : FE
3260 B9 32 FE 42 CA C6 32 FE : EB
3268 43 CA D3 32 FE 58 CA 8D : BF
3270 33 FE 55 CA D1 33 FE 46 : 98
3278 CA D0 33 3E 49 C3 F4 1F : 2A

```

SUM: 0D A0 EB FD 28 E7 9A 5F 3ABB

```

3280 CD CA 4F E5 7D D6 03 CD : B8
3288 2B 38 CB 2A 7A CB 27 82 : 46
3290 83 5F 7C D6 15 CB 27 CB : 06
3298 27 CB 27 CB 27 83 21 50 : FF

```

```

32A0 50 16 00 5F 19 EB E1 1A : C4
32A8 FE 00 28 CF EB 35 20 05 : 3A
32B0 3E 20 CD F4 1F EB C3 E0 : CC
32B8 33 E5 11 01 00 CD 4A 35 : 76
32C0 CD 8E 35 E1 18 1A E5 11 : 99
32C8 02 00 CD 4A 35 CD 8E 35 : DE
32D0 E1 18 0D E5 11 03 00 CD : CC
32D8 4A 35 CD 8E 35 E1 18 00 : 08
32E0 E5 CD 1E 20 CD E2 1F 20 : DE
32E8 1D 00 CD C4 1F CD 06 33 : D3
32F0 AF 12 3A 74 50 3D 32 74 : A2
32F8 50 CA 0C 36 CD 22 33 CD : 4B

```

SUM: 5C C5 A0 FF F2 A0 95 45 8933

```

3300 3E 33 E1 C3 E0 33 EB 21 : 34
3308 88 50 7B 96 CB 2F 4F 23 : 55
3310 7A 96 CB 27 CB 27 CB 27 : E6
3318 81 4F 06 00 21 00 50 09 : 50
3320 EB C9 21 2E 33 23 23 BE : 3A
3328 30 FB 23 7E 32 75 50 C9 : 8C
3330 02 01 06 05 0C 10 17 14 : 55
3338 22 18 2D 1C 37 20 26 50 : 50
3340 16 04 0E 40 06 0B 69 7E : 60
3348 FE 00 20 0A 23 10 F8 15 : 68
3350 79 D6 10 4F 18 EE 7A 32 : 60
3358 72 50 16 00 06 05 6A 7E : CB
3360 FE 00 20 0B D5 11 10 00 : 1F
3368 19 D1 10 F3 14 18 ED 7A : 80
3370 32 70 50 16 0A 06 05 6A : 87
3378 7E FE 00 20 0B D5 11 10 : 9D

```

SUM: C6 AE 78 1A 84 63 5D 96 84B8

```

3380 00 19 D1 10 F3 15 18 ED : 07
3388 7A 32 71 50 C9 2A 77 50 : 27
3390 2C CD 1E 20 06 08 11 82 : D8
3398 38 CD E5 1F CD C4 1F 11 : CA
33A0 85 38 CD E5 1F CD C4 1F : 3E
33A8 10 EC 3A 8B 50 3D 32 8B : 0B
33B0 50 F2 B8 33 E1 C3 1D 36 : 24
33B8 3E 00 32 77 50 CD 35 37 : 70
33C0 3E 0C CD F4 1F E1 C3 29 : F7
33C8 30 3A 83 50 85 6F 18 01 : 4A
33D0 2D 22 81 50 3E 14 32 84 : 28
33D8 50 21 00 00 22 85 50 C9 : 31
33E0 EB 2A 79 50 B7 ED 52 20 : F4
33E8 05 26 FF 22 79 50 2A 7B : BA
33F0 50 B7 ED 52 20 05 26 FF : 90
33F8 22 7B 50 2A 7D 50 B7 ED : 88

```

SUM: 4E 06 BC 3B 00 20 BD E5 D20A

```

3400 52 20 05 26 FF 22 7D 50 : 8B
3408 2A 7F 50 B7 ED 52 C0 26 : D5
3410 FF 22 7F 50 C9 2A 85 50 : B8
3418 11 00 00 B7 ED 5A FA 4D : 56
3420 34 23 22 85 50 ED 5F CB : 65
3428 27 5F 19 11 00 02 B7 ED : 56
3430 52 F8 21 FF FF 22 85 50 : 60
3438 ED 5F E6 01 32 83 50 20 : 58
3440 06 3E 1B 32 81 50 C9 3E : 69
3448 FF 32 81 50 C9 3A 87 50 : DC
3450 B7 C8 2A 81 50 3A 83 50 : 87
3458 FE 01 28 23 7D 3D F2 6E : 64
3460 34 CD 1E 20 22 85 50 CD : 03
3468 E2 1F 20 20 00 C9 2D 22 : 59
3470 81 50 CD 1E 20 11 70 38 : 95
3478 CD E5 1F CD 3C 35 C9 7D : 55

```

SUM: 44 F4 2E CB B8 21 22 2B 5608

```

3480 3C FE 1A 38 11 2C CD 1E : B4
3488 20 21 00 00 22 85 50 CD : 05
3490 E2 1F 20 20 00 C9 2C 22 : 58
3498 81 50 CD 1E 20 11 74 38 : 99
34A0 C3 E5 1F 3A 84 50 B7 C8 : 54
34A8 2A 81 50 CD 1E 20 3A 84 : C4
34B0 50 3D 32 84 50 FE 0F 30 : D0
34B8 2B FE 0D 30 1E FE 0C 30 : BE
34C0 0C FE 01 D0 11 78 38 CD : 69
34C8 E5 1F C3 3C 35 CD F4 34 : 2D
34D0 EB CD E5 1F EB CD 4A 35 : F3
34D8 C3 8E 35 11 78 38 CD E5 : F9
34E0 1F C3 3C 35 E6 01 28 06 : 68
34E8 11 7C 38 C3 E5 1F 11 7F : 1C
34F0 38 C3 E5 1F ED 5F E6 0E : 3F
34F8 16 00 5F 21 0C 35 19 56 : 46

```

SUM: 44 A9 4B A5 D0 F5 44 F5 8E87

```

3500 23 5E CB 27 06 00 4F 21 : E9
3508 1C 35 09 C9 00 05 01 00 : 29
3510 01 00 01 05 02 00 02 00 : 0B
3518 02 05 03 00 35 30 20 00 : 8F
3520 31 30 30 00 31 30 30 00 : 22
3528 31 35 30 00 32 30 30 00 : 28
3530 32 30 30 00 32 35 30 00 : 29
3538 33 30 30 00 7D FE 1A C0 : E8

```

```

3540 2E 1C CD 1E 20 3E 21 C3 : 77
3548 F4 1F 21 90 50 46 23 7B : F8
3550 CD 73 35 05 28 0D 7A CD : F6
3558 73 35 05 28 06 AF CD 73 : CA
3560 35 10 FA 7E FE 00 CA AE : 33
3568 35 3A 90 50 3C 32 90 50 : 9D
3570 C3 AE 35 86 FE 0A 38 06 : 72
3578 D6 0A 77 23 34 C9 77 23 : 11

```

SUM: 6E 42 F6 47 59 0D B0 86 03BD

```

3580 C9 2E 24 26 0A CD 1E 20 : 56
3588 21 98 50 46 18 0B 2E 24 : C4
3590 26 0F CD 1E 20 21 90 50 : 41
3598 46 23 7E CD C1 1F CD E2 : 43
35A0 1F 1D 1D 1D 00 10 F2 CD : 45
35A8 E2 1F 20 20 00 C9 3A 8C : D0
35B0 50 B7 C8 FE 02 28 08 CD : CC
35B8 E3 35 11 D0 07 18 06 CD : EB
35C0 E3 35 11 96 00 B7 ED 52 : B5
35C8 D8 3A 8C 50 3D 32 8C 50 : 39
35D0 3A 8B 50 3C 32 8B 50 CD : 2B
35D8 C4 1F CD C4 1F CD C4 1F : 43
35E0 C3 10 3D 21 00 00 11 04 : 41
35E8 36 D9 21 90 50 46 23 7E : F7
35F0 23 D9 EB 4E 23 46 23 EB : AC
35F8 B7 28 04 09 3D 18 F9 D9 : 13

```

SUM: 16 23 D7 50 4A 16 C0 3D 1FCD

```

3600 10 ED D9 C9 01 00 0A 00 : AA
3608 64 00 E8 03 21 00 00 DD : 4D
3610 86 00 DD 86 00 2B 7C B5 : 45
3618 20 F5 C3 21 30 2E 03 26 : 80
3620 0A CD 1E 20 DD 21 5D 38 : A8
3628 0E 02 06 05 21 00 00 DD : 19
3630 86 00 2B 7C B5 20 F8 CD : C7
3638 E2 1F 20 20 00 1F 1D 1D : BA
3640 1D 20 00 DD 7E 00 DD 23 : 98
3648 CD F4 1F CD E2 1F 20 1D : EB
3650 1D 1D 1F 20 20 20 1D 1E : F4
3658 1E 00 CD C4 1F 10 CD CD : 78
3660 F1 1F 0D 20 C5 3A 98 50 : 24
3668 21 90 50 BE CA 75 36 DA : 0A
3670 8D 36 C3 03 30 47 85 6F : F4
3678 78 11 98 50 83 5F 1A BE : 2B

```

SUM: D6 F7 93 F3 06 5D 4F 39 14FF

```

3680 CA 89 36 DA 8D 36 C3 03 : EC
3688 30 1B 2B 10 F1 21 90 50 : 78
3690 11 98 50 01 08 00 ED B0 : 9F
3698 C3 03 30 3E 28 CD 30 20 : 79
36A0 3E 0C CD F4 1F 21 B1 36 : 32
36A8 11 98 50 01 08 00 ED B0 : 9F
36B0 C9 04 00 00 01 00 00 : CE
36B8 00 AF 32 8A 50 3E 02 32 : 2D
36C0 8B 50 32 8C 50 21 D1 36 : 11
36C8 11 90 50 01 08 00 ED B0 : 97
36D0 C9 01 00 00 00 00 00 : CA
36D8 00 11 00 50 0E 05 06 0B : 85
36E0 3E 01 12 13 10 FC 06 05 : 7B
36E8 AF 12 13 10 FC 0D 20 EE : F8
36F0 E2 6B 13 36 08 01 1F 00 : 3E
36F8 6D B0 21 13 37 01 19 00 : 22

```

SUM: 87 B6 0B F1 D6 B5 32 1F 56A8

```

3700 ED B0 3A 8A 50 3C 32 8A : A9
3708 50 3D CD 38 38 7B 3C 32 : B3
3710 89 50 C9 00 0A 0A 01 37 : E8
3718 20 20 01 18 00 FF 00 FF : 57
3720 00 FF 00 FF 00 00 00 00 : FE
3728 00 00 00 01 21 00 18 2B : 65
3730 7C B5 20 FB C9 21 00 00 : 36
3738 DD 86 00 2B 7C B5 20 F8 : D7
3740 C9 AF 32 8B 50 E1 C3 8D : B6
3748 33 2E 1C 26 19 25 CD 1E : CC
3750 20 3E 21 CD F4 1F 7C FE : D9
3758 00 20 F2 11 75 37 1A 6F : 58
3760 13 FE FF C8 1A 67 13 CD : 39
3768 1E 20 1A 13 FE 00 28 EE : F7
3770 CD F4 1F 18 F5 1D 00 3D : 47
3778 3D 3D 3D 3D 3D 3D 3D : E8

```

SUM: 96 21 C7 BF 14 AD 45 62 9A20

```

3780 3D 3D 00 1F 02 49 4E 56 : 88
3788 41 44 45 52 00 21 04 47 : 88
3790 41 4D 45 00 1D 06 3D 3D : 70
3798 3D 3D 3D 3D 3D 3D 3D : E8
37A0 3D 00 1F 08 48 49 2D 53 : 75
37A8 43 4F 52 45 00 26 0A 30 : 89
37B0 00 1F 0D 53 43 4F 52 45 : A8
37B8 28 31 29 00 26 0F 30 00 : E7
37C0 1E 11 42 45 41 4D 20 4C : B0
37C8 45 46 54 00 1F 17 46 4F : AA
37D0 52 20 53 2D 4F 53 00 FF : 93
37D8 2E 03 26 15 CD 1E 20 11 : 88

```

▶ X 68000にはぜひZ80カードがほしい。べつにX1のプログラムが動かなくなっただけでもない。ただS-O Sを移植しただけなのさ。X 68000でS-O Sが動くことを夢みつつ、きょうなら……。

川崎睦郎 (18) 大阪府


```

37E0 50 50 3E 02 F5 0E 04 06 : ED
37E8 03 1A 13 B7 28 04 3E 7B : CC
37F0 18 02 3E 20 CD F4 1F 10 : 68
37F8 F0 CD E2 1F 20 20 20 00 : 1E
SUM: E2 5D EE CD 93 75 8C 1B CE59

```

```

3800 0D 20 E4 26 16 CD 1E 20 : 58
3808 11 60 50 F1 3D 20 D5 C9 : AD
3810 2E 25 26 13 CD 1E 20 3A : D1
3818 8B 50 B7 28 0B 47 CD E2 : BB
3820 1F 58 1D 1D 1D 00 10 F6 : D4
3828 C3 F1 1F 16 00 FE 03 38 : 22
3830 05 14 D6 03 18 F7 5F C9 : 29
3838 16 00 FE 0A 38 05 14 D6 : 45
3840 0A 18 F7 5F C9 47 20 41 : E9
3848 20 4D 20 45 20 20 20 53 : 85
3850 20 54 20 41 20 52 20 54 : BB
3858 20 21 21 21 00 20 47 41 : 2B
3860 4D 45 4F 56 45 52 20 43 : 31
3868 42 42 41 41 20 58 20 00 : 9E
3870 55 46 20 00 20 55 46 00 : 76
3878 20 20 20 00 58 58 00 2B : 3B
SUM: 42 19 49 2F 7E 7C 93 69 C93F

```

```

3880 2B 00 2A 1D 00 58 1D 00 : E7
3888 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
3890 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
3898 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38A0 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38A8 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38B0 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38B8 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38C0 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38C8 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38D0 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38D8 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38E0 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38E8 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38F0 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
38F8 FF FF FF FF FF FF FF FF : F8
SUM: 1C F1 1B 0E F1 49 0E F1 21C9

```

```

3900 CD 9A 3D 06 00 CD 87 39 : 37
3908 C8 3E 0C CD F4 1F CD A3 : 62
3910 39 3A A8 50 3D 32 A8 50 : D2
3918 20 F4 CD C4 1F 06 00 CD : 97
3920 87 39 C8 06 05 CD 96 39 : 2F
3928 CD C4 1F 0E 04 06 28 C5 : B5
3930 CD 24 3D C1 10 F9 CD C4 : 89
3938 1F 06 C8 CD 87 39 C8 0D : 4F
3940 20 EB 11 4B 3D 1A 13 FE : CF
3948 FF 28 11 B7 28 F7 6F 1A : 97
3950 67 13 CD 1E 20 3E 7B CD : 0B
3958 F4 1F 18 E9 06 0D CD 96 : 8A
3960 39 01 57 02 11 00 51 1A : 0F
3968 6F 13 1A 67 13 CD 1E 20 : 21
3970 1A 13 CD F4 1F 0B 7B B1 : 41
3978 C2 67 39 CD C4 1F 06 00 : 18
SUM: 2C 00 28 BC 82 7C 06 2E CDE2

```

```

3980 CD 87 39 C8 C3 00 39 26 : 77
3988 50 CD D0 1F FE 20 C8 25 : 17
3990 20 FD 10 F3 04 C9 2E 00 : 1B
3998 26 18 CD 1E 20 CD EE 1F : 23
39A0 10 FB C9 11 80 3A 2A 0A : 69
39A8 50 2C 24 22 A0 50 0E 0D : CD
39B0 E5 06 0D 7C B7 FA D3 39 : 31
39B8 FE 18 D2 D3 39 7D B7 FA : 22
39C0 D3 39 7D B7 FA D3 39 FE : 44
39C8 28 D2 D3 39 CD 1E 20 1A : 2B
39D0 CD F4 1F 2C 24 13 10 DB : 2E
39D8 E1 2C 2C 2C 2C 0D 20 D0 : 8E
39E0 2A A2 50 2D 24 22 A2 50 : 81
39E8 0E 0D E5 06 0D 7C B7 FA : 40
39F0 08 3A FE 18 D2 08 3A 7D : E9
39F8 B7 FA 08 3A FE 28 D2 08 : F3
SUM: 46 BC 88 47 0D 96 CD DC 746C

```

```

3A00 3A CD 1E 20 1A CD F4 1F : 3F
3A08 2C 25 13 10 E0 E1 2C 2C : 8D
3A10 2C 2C 0D 20 D5 2A A4 50 : 78
3A18 2D 25 22 A4 50 0E 0D E5 : 68
3A20 06 0D 7C B7 FA 3D 3A FE : B5
3A28 18 D2 3D 3A 7D B7 FA 3D : CC
3A30 3A FE 28 D2 3D 3A CD 1E : 94
3A38 20 1A CD F4 1F 2C 24 13 : 7D
3A40 10 E0 E1 2C 2C 2C 2C 0D : 8E
3A48 20 D5 2A A6 50 2C 25 22 : 88
3A50 A6 50 0E 0D E5 06 0D 7C : 85
3A58 B7 FA 72 3A FE 18 D2 72 : B7
3A60 3A 7D B7 FA 72 3A FE 28 : 3A
3A68 D2 72 3A CD 1E 20 1A CD : 70
3A70 F4 1F 2C 25 13 10 E0 E1 : 48
3A78 2C 2C 2C 0D 20 D5 C9 : 7B
SUM: F0 73 E2 DC 01 40 F3 A8 4632

```

```

3A80 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3A88 20 20 20 20 20 20 20 : 00

```

```

3A90 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3A98 20 20 20 20 20 20 20 : 11
3AA0 20 20 20 20 20 20 20 : 11
3AA8 7B 20 7B 7B 7B 20 7B : C7
3AB0 20 7B 7B 20 20 7B 7B : C7
3AB8 20 20 20 20 20 7B 7B : 11
3AC0 7B 20 7B 7B 20 7B 20 : 6C
3AC8 20 7B 7B 20 7B 20 7B : 6C
3AD0 20 7B 7B 20 20 20 7B : 6C
3AD8 7B 7B 20 20 7B 7B 20 : C7
3AE0 7B 20 20 20 7B 7B 7B : C7
3AE8 20 7B 7B 20 7B 20 20 : 11
3AF0 7B 20 20 20 20 20 20 : 5B
3AF8 7B 7B 7B 20 20 20 20 : 11
SUM: 22 22 7D B6 22 7D 7D 7D 392B

```

```

3B00 20 20 20 7B 20 20 20 7B : B6
3B08 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3B10 7B 20 20 7B 7B 20 20 : 6C
3B18 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3B20 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3B28 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3B30 20 20 20 20 7B 20 20 : 5B
3B38 20 20 20 20 20 7B 7B : 11
3B40 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3B48 20 20 20 7B 7B 7B 20 : 11
3B50 20 20 20 20 20 20 20 : 5B
3B58 7B 20 7B 7B 20 20 20 : 11
3B60 7B 7B 20 20 7B 7B 7B : 22
3B68 20 20 7B 7B 20 20 7B : 11
3B70 20 20 7B 7B 7B 20 7B : C7
3B78 20 7B 7B 7B 20 20 7B : C7
SUM: 11 B6 C7 7D C7 6C 6C 22 E5D5

```

```

3B80 20 7B 7B 20 20 7B 7B : 6C
3B88 7B 20 20 7B 7B 7B 20 : C7
3B90 20 7B 7B 7B 7B 20 20 : C7
3B98 20 7B 7B 7B 7B 20 20 : C7
3BA0 7B 7B 7B 20 20 7B 20 : 6C
3BA8 7B 7B 20 7B 20 20 20 : 11
3BB0 20 20 20 7B 7B 20 20 : 11
3BB8 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3BC0 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3BC8 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3BD0 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3BD8 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3BE0 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3BE8 20 20 20 20 20 20 7B : 5B
3BF0 7B 20 20 20 20 20 20 : 5B
3BF8 20 7B 7B 20 20 7B 20 : 11
SUM: 6C 22 C7 C7 6C 22 11 5B 0965

```

```

3C00 20 7B 7B 20 7B 20 7B : C7
3C08 7B 7B 7B 20 7B 20 7B : 6C
3C10 7B 7B 20 7B 20 7B 7B : 22
3C18 20 20 7B 7B 7B 20 20 : 6C
3C20 20 7B 7B 20 7B 20 20 : 11
3C28 7B 7B 7B 20 20 7B 20 : 6C
3C30 7B 7B 20 20 7B 7B 20 : C7
3C38 7B 20 20 20 7B 7B 20 : 6C
3C40 20 7B 7B 7B 20 20 20 : 6C
3C48 7B 7B 20 7B 20 20 20 : 11
3C50 20 20 20 20 20 7B 7B : 11
3C58 7B 20 20 20 20 20 20 : 5B
3C60 20 7B 20 7B 7B 20 20 : 6C
3C68 20 20 20 20 20 20 7B : B6
3C70 7B 20 20 20 20 20 20 : 5B
3C78 20 20 20 20 20 20 20 : 00
SUM: D8 33 22 C7 7D 7D 22 C7 2636

```

```

3C80 20 20 20 20 20 20 7B : B6
3C88 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3C90 7B 7B 20 7B 7B 20 20 : 6C
3C98 20 20 20 20 20 20 7B : B6
3CA0 7B 20 20 20 20 20 20 : 5B
3CA8 20 20 20 7B 7B 20 7B : 11
3CB0 20 7B 7B 7B 7B 20 7B : C7
3CB8 7B 20 7B 7B 20 7B 20 : C7
3CC0 20 20 20 20 7B 7B 7B : 6C
3CC8 20 20 7B 7B 20 7B 20 : 11
3CD0 20 20 7B 7B 7B 20 7B : C7
3CD8 20 7B 7B 20 20 7B 7B : 6C
3CE0 20 7B 7B 20 20 7B 20 : C7
3CE8 7B 20 7B 7B 7B 20 20 : 6C
3CF0 20 7B 7B 7B 20 7B 20 : 6C
3CF8 20 7B 7B 7B 20 7B 20 : C7
SUM: 6C 22 D8 33 D8 7D 7D 7D 8F89

```

```

3D00 20 20 20 20 20 20 7B : 5B
3D08 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3D10 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3D18 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3D20 20 20 20 20 20 20 20 : 00
3D28 CD 1E 20 21 00 59 ED 5B : CD
3D30 A9 50 13 ED 53 A9 50 : 5E
3D38 11 A0 00 0E 09 06 28 7E : 74
3D40 23 CD F4 1F 10 F9 19 0D : 32
3D48 20 F3 C9 11 10 10 0F 0F : 2B
3D50 0F 0E 10 0E 11 0E 12 0E : 7A

```

```

3D58 13 0E 14 0D 15 0C 16 0B : 84
3D60 16 0A 15 00 0C 12 0D 12 : 72
3D68 0E 12 0F 12 10 12 00 14 : 77
3D70 12 13 12 12 13 11 14 11 : 92
3D78 15 12 16 13 16 14 15 15 : A4
SUM: D7 CB 00 3E 95 4F 91 02 3988

```

```

3D80 14 15 13 00 18 12 18 13 : 91
3D88 17 14 17 15 16 16 17 15 : AF
3D90 18 14 19 13 1A 12 1B 13 : B2
3D98 00 FF 21 68 3E 11 A0 50 : C7
3DA0 01 0B 00 ED B0 21 00 59 : 23
3DA8 11 01 59 01 07 07 36 20 : D0
3DB0 ED B0 11 73 3E 1A 13 FE : 8A
3DB8 FF CA DB 3D 21 00 59 01 : 5C
3DC0 C8 00 B7 28 04 09 3D 18 : 09
3DC8 F9 1A 13 06 00 4F 09 AF : 33
3DD0 EB ED A0 BE 20 FB EB 13 : 4F
3DD8 C3 B5 3D 21 00 51 11 B4 : EC
3DE0 40 06 0A 0E 00 71 23 70 : 62
3DE8 23 1A 13 77 23 0C 79 FE : 6D
3DF0 28 38 F2 04 78 FE 19 38 : 1D
3DF8 EA 01 57 02 21 00 51 C5 : 7B
SUM: 25 D7 B6 C6 7C AC D4 FC 399A

```

```

3E00 E5 CD 27 3E 11 57 02 CD : 4E
3E08 4D 3E 54 5D 29 19 11 00 : 8F
3E10 51 19 EB E1 06 03 1A 4E : A7
3E18 77 79 12 13 23 10 F7 C1 : 00
3E20 05 78 B1 C2 FF 3D C9 C5 : C0
3E28 D5 ED 5B 49 3E ED 4B 4B : 27
3E30 3E 21 00 00 3E 10 29 CB : A1
3E38 23 CB 12 DA 3F 3E 09 3D : 9D
3E40 C2 36 3E 22 49 3E D1 C1 : 71
3E48 C9 33 E9 83 03 C5 EB 44 : 5F
3E50 4D 21 00 00 3E 10 CB 23 : AA
3E58 CB 12 ED 6A ED 42 D2 62 : 97
3E60 3E 09 3D C2 56 3E C1 C9 : 64
3E68 E3 F2 08 FE 08 19 E3 25 : 04
3E70 13 00 00 01 2D 41 20 2E : D0
3E78 2E 2E 20 31 30 20 50 54 : A1
SUM: 40 B3 0F 75 4F 08 D7 EE 17E1

```

```

3E80 53 2E 00 03 2D 42 20 2E : 41
3E88 2E 2E 20 32 30 20 50 54 : A2
3E90 53 2E 00 05 2D 43 20 2E : 44
3E98 2E 2E 20 33 30 20 50 54 : A3
3EA0 53 2E 00 07 2D 55 46 20 : 70
3EA8 2E 2E 20 3F 3F 20 50 54 : BE
3EB0 53 2E 00 02 42 5B 53 50 : C3
3EB8 41 43 45 5D 00 04 45 49 : B8
3EC0 00 06 40 5B 4B 5D 20 20 : 89
3EC8 58 20 20 5B 4C 5D 00 01 : 9D
3ED0 62 49 4E 00 03 50 7B 7B : 42
3ED8 20 20 20 7B 7B 20 7B : 11
3EE0 7B 7B 7B 20 7B 7B 7B : 22
3EE8 20 20 20 7B 7B 7B 20 : 11
3EF0 7B 7B 7B 20 7B 7B 7B : 22
3EF8 7B 00 04 50 20 7B 20 : AA
SUM: 82 2A 8D A9 58 54 FF 5E 131C

```

```

3F00 7B 20 20 7B 20 7B 20 : 11
3F08 7B 20 7B 20 20 20 20 : B6
3F10 20 7B 20 7B 7B 20 7B : C7
3F18 20 20 20 7B 7B 20 7B : 00
3F20 05 50 20 7B 20 20 7B : CB
3F28 7B 7B 20 20 7B 7B 20 : 6C
3F30 7B 7B 7B 7B 20 20 7B : C7
3F38 20 7B 7B 20 7B 7B 20 : C7
3F40 20 7B 7B 00 06 50 20 7B : 07
3F48 20 20 20 20 20 7B 20 : B6
3F50 20 20 7B 20 7B 20 7B : 11
3F58 20 20 20 7B 20 7B 20 : 11
3F60 7B 7B 20 20 20 7B 20 : 6C
3F68 7B 00 07 50 7B 7B 20 : 63
3F70 7B 7B 7B 20 20 7B 7B : 22
3F78 7B 20 20 7B 7B 20 20 : 11
SUM: BD 8D 09 8D 63 08 7D 5D 4093

```

```

3F80 20 7B 7B 7B 20 7B 7B : C7
3F88 7B 7B 20 20 7B 7B 20 : C7
3F90 7B 00 00 79 50 52 4F 47 : 2C
3F98 52 41 4D 45 44 20 7B : 24
3FA0 7B 20 7B 20 7B 20 7B : C7
3FA8 20 7B 20 7B 20 7B 20 : 6C
3FB0 20 20 7B 7B 00 01 84 7B : 36
3FB8 7B 7B 7B 20 7B 20 7B : 22
3FC0 7B 20 20 7B 20 7B 20 : 6C
3FC8 20 7B 20 7B 7B 00 02 7C : 2F
3FD0 42 59 00 02 84 7B 7B : 92
3FD8 7B 7B 20 7B 20 7B 20 : C7
3FE0 20 7B 20 7B 7B 20 7B : C7
3FE8 7B 7B 7B 00 03 84 7B : 93
3FF0 7B 20 7B 20 7B 20 7B : 6C
3FF8 7B 20 7B 20 20 7B 20 : 11
SUM: 87 12 6A 73 E7 8A 3C 11 3F7E

```

```

4000 7B 20 7B 7B 20 20 7B 00 : 4C

```



```

3088 AF      159 ALDEAD: XOR      A
3089 B9      160                CP A
308A 20 B9   161                JR C, NZ, LOPX
308C B8      162                JR B
308D 20 B3   163                JR NZ, LOPY
308F 2A 88 50 164                LD HL, (TPINX)
30C2 3A 73 50 165                LD A, (MOVDRC)
30C5 CD 14 31 166                CALL MOVLOC
30C8 22 88 50 167                LD (TPINX), HL
30CB          168                LD A, (MOVDRC)
30CE FE 02   169                CP 2
30D0 D2 FD 30 171                JP NC, CHKDWN
30D3 FE 01   172                CP 1
30D5 CA E6 30 173                JP Z, CHKRHT
30D8 3A 78 58 174                LD A, (LEDGE)
30DB CB 27   175                SLA A
30DD 21 88 50 176                LD HL, TPINX
30E0 86      177                ADD A, (HL)
30E1 FE 00   178                CP 0
30E3 C0      179                RET NZ
30E4 18 0C   180                JR CREVRL
30E6 3A 71 50 181                LD A, (REDGE)
30E9 CB 27   182                SLA A
30EB 21 88 50 183                LD HL, TPINX
30EE 86      184                ADD A, (HL)
30EF FE 1B   185                CP 27
30F1 C0      186                RET NZ
30F2 3A 73 50 187                LD A, (MOVDRC)
30F5 ED 44   188                NEG
30F7 C6 03   189                ADD A, 3
30F9 32 73 50 190                LD (MOVDRC), A
30FC C9      191                RET
30FD 3A 72 50 192                LD A, (LEDGE)
3100 CB 27   193                SLA A
3102 21 89 50 194                LD HL, TPINX
3105 86      195                ADD A, (HL)
3106 FE 18   196                CP 24
3108 D2 41 37 197                JP NC, OCCUPY
310B 3A 73 50 198                LD A, (MOVDRC)
310E E6 01   199                AND 1
3110 32 73 50 200                LD (MOVDRC), A
3113 C9      201                RET
3114          202 MOVLOC
3114 FE 02   203                CP 2
3116 30 08   204                JR NC, MOVDWN
3118 FE 01   205                CP 1
311A 28 02   206                JR Z, MOVHRT
311C 2D      207 MOVFLT: DEC L
311D C9      208                RET L
311E 2C      209 MOVHRT: INC L
311F C9      210                RET L
3120 24      211 MOVDWN: INC H
3121 C9      212                RET H
3122          213
3122          214 ;/* MOVE BEAM AND CHECK BEAM */
3122          215 ;
3122          216 ; ビームがラウカス (ハッパ モカリスル)
3122          217 ;
3122          218
3122          219 BEMHOU
3122 CD D0 1F 220                CALL #GETKY
3125 FE 20   221                CP 2
3127 CA 54 31 222                JP Z, BMSHOT
312A 21 77 50 223                LD HL, MSHIPX
312D 46      224                LD B, (HL)
312E FE 4B   225                CP 25
3130 20 09   226                JR NZ, NOTLKY
3132 78      227                LD A, B
3133 3D      228                DEC A
3134 B7      229                OR A
3135 F2 46 31 230                JP P, MOVHOK
3138 3C      231                INC A
3139 18 0B   232                JR MOVHOK
313B FE 4C   233                NOTLKY: CP "L"
313D 78      234                LD A, B
313E 20 06   235                JR NZ, MOVHOK
3140 3C      236                INC A
3141 FE 1A   237                CP 26
3143 38 01   238                JR C, MOVHOK
3145 3D      239                DEC A
3146 77      240 MOVHOK: LD (HL), A
3147 2A 77 50 241                LD HL, (MSHIPX)
314A CD 1E 20 242                CALL #LOC
314D 11 6C 38 243                LD DE, HOUCR
3150 CD E5 1F 244                CALL #MSX
3153 C9      245                RET
3154 3A 7A 50 246                LD A, (MBEAMY)
3157 FE FF   247                CP 255
3159 C0      248                RET NZ
315A 2A 77 50 249                LD HL, (MSHIPX)
315D 2C      250                INC L
315E 25      251                DEC H
315F 22 79 50 252                LD (MBEAMX), HL
3162 C3 52 32 253                JP CHKHT
3165          254
3165          255 ;/* DROP BEAM FROM INVADER */
3165          256 ;
3165          257 ; キラッ イッパ ランダム ニ ニハツ
3165          258 ;
3165          259
3165          260 DROPEM
3165 21 7C 50 261                LD HL, BEAMW+1
3168 7E      262                LD A, (HL)
3169 2B      263                DEC HL
316A FE FF   264                CP 255
316C 20 06   265                JR NZ, RNDRP1
316E CD D0 31 266                CALL FINEAR
3171 CD 9C 31 267                CALL SETBEM
3174 21 7E 50 268                LD HL, BEAMW+3
3177 7E      269                LD A, (HL)
3178 2B      270                DEC HL
3179 FE FF   271                CP 255
317B 20 09   272                JR NZ, RNDRP2
317D ED 5F   273                LD A, R
317F E6 1F   274                AND 1FH
3181 FE 0B   275                CP 0BH
3183 DC 9C 31 276                CALL C, SETBEM
3186 21 80 50 277                LD HL, BEAMW+5
3189 7E      278                LD A, (HL)
318A 2B      279                DEC HL
318B FE FF   280                CP 255
318D C0      281                RET NZ
318E ED 5F   282                LD A, R
3190 E6 7C   283                AND 7CH
3192 CB 2F   284                SRA A
3194 CB 2F   285                SRA A
3196 FE 0B   286                CP 0BH
3198 DC 9C 31 287                CALL C, SETBEM
319B C9      288                RET
319C          289
319C          290 ;/* SET BEAM ATTRIBUTE */
319C          291 ;
319C          292 ; ハッパ ラウカス キ ト コウコトナ
319C          293 ;
319C          294
319C          295 SETBEM
319C EB      296                EV DE, HL
319D 4F      297                LD C, A
319E CD B9 31 298                CALL ONELIN
31A1 B7      299                OR A
31A2 CB      300                RET Z
31A3 3E 05   301                LD A, 5
31A5 90      302                SUB B
31A6 CB 20   303                SLA B
31A8 CB 21   304                SLA C

```

```

31AA 05      305                DEC B
31AB 79      306                LD A, C
31AC 21 50 50 307                LD HL, TPINX
31AF 86      308                ADD A, (HL)
31B0 12      309                LD (DE), A
31B1 13      310                INC DE
31B2 78      311                LD A, B
31B3 21 89 50 312                LD HL, TPINX
31B6 86      313                ADD A, (HL)
31B7 12      314                LD (DE), A
31B8 C9      315                RET
31B9          316
31B9          317 ;/* LOOK ONE LINE */
31B9          318 ;
31B9          319 ; ソノ レッダ ナ イハバン シタラ ミツケル
31B9          320 ;
31B9          321
31B9          322 ONELIN
31B9 06 05   323                LD B, 5
31B8 26 50   324                LD HL, 50H
31BD 3E 40   325                LD A, 40H
31BF 81      326                ADD A, C
31C0 6F      327                LD L, A
31C1 AF      328 OLINE1: XOR A
31C2 96      329                SLA A
31C3 C0      330                RET NZ
31C4 D5      331                PUSH DE
31C5 11 10 00 332                LD DE, 10H
31C6 B7      333                OR B
31C9 ED 52   334                SBC HL, DE
31CB D1      335                POP DE
31CC 10 F3   336                DJNZ OLINE1
31CD AF      337                XOR A
31CF C9      338                RET
31D0          339
31D0          340 ;/* FIND NEAREST LINE */
31D0          341 ;
31D0          342 ; ビームがラウカス (ハッパ モカリスル)
31D0          343 ;
31D0          344
31D0          345 FINEAR
31D0 E5      346                LD A, (MSHIPX)
31D1 3A 77 50 347                LD HL, TPINX
31D4 21 88 50 348                SUB (HL)
31D7 96      349                SRA A
31D8 CB 2F   350                LD C, A
31DA 4F      351                LD C, A
31DB 15 00   352                LD D, 0
31DD 79      353 FINER1: LD A, C
31DE 92      354                SUB D
31DF 4F      355                LD C, A
31E0 14      356                INC D
31E1 FE 00   357                CP 0
31E3 FA F1 31 358                JP M, FINER2
31E6 FE 0C   359                CP 12
31E8 30 07   360                JR NC, FINER2
31EA CD B9 31 361                CALL ONELIN
31ED FE 00   362                CP 0
31EF 20 16   363                JR NZ, FOUNER
31F1 79      364 FINER2: LD A, C
31F2 82      365                ADD A, D
31F3 4F      366                LD C, A
31F4 14      367                INC D
31F5 FE 00   368                CP 0
31F7 FA DD 31 369                JP M, FINER1
31FA FE 0C   370                CP 12
31FC 60 F3   371                JR NC, FINER2
31FE CD B9 31 372                CALL ONELIN
3201 FE 00   373                CP 0
3203 20 02   374                JR NZ, FOUNER
3205 18 D6   375                LD FOUNER1: LD A, C
3207 79      376                POP HL
3208 E1      377                RET
3209 C9      378
320A          379
320A          380 ;/* MOVE MY BEAM */
320A          381 ;
320A          382 ; ビームがラウカス (ハッパ モカリスル)
320A          383 ;
320A          384
320A          385 MVBEM
320A 3A 7A 50 386                LD A, (MBEAMY)
320D FE FF   387                CP 255
320E 86      388                DEC HL
3210 2A 79 50 389                LD HL, (MBEAMX)
3213 CD 1E 20 390                CALL #LOC
3216 3E 20 391                LD A, " "
3218 CD F4 1F 392                CALL #PRINT
321B 25      393                LD DE, H
321C 22 79 50 394                LD (MBEAMX), HL
321F 7C      395                LD A, H
3220 B7      396                OR A
3221 78      397                RET M
3222 C3 52 32 398                JP CHKHT
3225          399
3225          400 ;/* MOVE INVADER BEAM */
3225          401 ;
3225          402 ; インバダー ノ ビーム ラウカス
3225          403 ;
3225          404
3225          405 MVBEM
3225 06 03   406                LD B, 3
3227 11 7B 50 407                LD DE, BEAMWK
322A 1A      408 MVBIM1: LD A, (DE)
322B 0F      409                LD L, A
322C 13      410                INC DE
322D 13      411                LD A, (DE)
322E 67      412                LD H, A
322F FE FF   413                CP 255
3231 CA 4E 32 414                JP Z, MVBIM2
3234 CD 1E 20 415                CALL #LOC
3237 3E 20 416                LD A, " "
3239 CD F4 1F 417                CALL #PRINT
323C 7C      418                LD A, H
323D 3C      419                INC A
323E FE 19   420                CP 25
3240 12      421                LD (DE), A
3241 67      422                LD H, A
3242 30 07   423                JR NC, OUTWIN
3244 D5      424                PUSH DE
3245 CD 52 32 425                CALL CHKHT
3248 11      426                POP DE
3249 18 03   427                JR MVBIM2
324B 3E FF   428 OUTWIN: LD A, OFFH
324D 12      429                LD (DE), A
324E 13      430 MVBIM2: INC DE
3248 10 D9   431                DJNZ MVBIM1
3251 C9      432                RET
3252          433
3252          434 ;/* CHECK HIT */
3252          435 ;
3252          436 ; 「キラッ」 !! 「スミッ」
3252          437 ;
3252          438
3252          439 CHKHT
3252 CD 1E 20 440                CALL #LOC
3255 CD 1B 20 441                CALL #SCRN
3258 FE 7B   442                CP 7BH
325A CA 80 32 443                JP Z, SHLHT
325D FE 41   444                CP "A"
325F CA B9 32 445                JP Z, AHIT
3262 FE 42   446                CP "B"
3264 CA C6 32 447                JP Z, BHIT
3267 FE 43   448                CP "C"
3269 CA D3 32 449                JP Z, CHIT
326C FE 58   450                CP "X"

```

▶ XEVIOUS, SPACE BLUSTER FZ の古籾さん、この次は MZ-700 用ビジュアルシエ
ルなんてのはどうでしょう。キャラグラのアイコン、さてどう作るか。

上手 幸一 (17) 岐阜県

3332	597	:			
3333	598	:	イサハシ	ハシ	ハシ
3334	599	:	レフカ	ミツナオ	ミツナオ
3335	600	:			
3336	601	:	FINEGE		
3337	602	:		LD	H,50H
3338	603	:		LD	D,4
3339	604	:			C,40H
3340	605	:	FINDD1:	LD	B,0BH
3341	606	:		LD	L,C
3342	607	:	FINDD2:	LD	A,(HL)
3343	608	:		CP	0
3344	609	:		JR	NZ,DLIVE
3345	610	:		INC	HL
3346	611	:	DJNZ		FINDD2
3347	612	:		DEC	D
3348	613	:		LD	A,C
3349	614	:		SUB	10H
3350	615	:		LD	C,A
3351	616	:			FINDD1
3352	617	:	DLIVE:	LD	A,D
3353	618	:		LD	(DEDGE),A
3354	619	:			D,0
3355	620	:	FINDL1:	LD	B,5
3356	621	:			L,D
3357	622	:	FINDL2:	LD	A,(HL)
3358	623	:		CP	0
3359	624	:		JR	NZ,LLIVE
3360	625	:		PUSH	DE
3361	626	:		LD	DE,10H
3362	627	:		ADD	HL,DE
3363	628	:		POP	D
3364	629	:		DJNZ	FINDL2
3365	630	:		INC	D
3366	631	:			FINDL1
3367	632	:	LLIVE:	LD	A,D
3368	633	:			(LEDGE),A
3369	634	:		LD	D,10
3370	635	:	FINDR1:	LD	B,5
3371	636	:			L,D
3372	637	:	FINDR2:	LD	A,(HL)
3373	638	:		CP	0
3374	639	:		JR	NZ,RLIVE
3375	640	:		PUSH	DE
3376	641	:		LD	DE,10H
3377	642	:		ADD	HL,DE
3378	643	:		POP	D
3379	644	:		DJNZ	FINDR2
3380	645	:		DEC	D
3381	646	:		JR	FINDR1
3382	647	:	RLIVE:	LD	A,D
3383	648	:			(REDGE),A
3384	649	:		RET	
3385	650	:			
3386	651	:	/*	BEAM	HOU HIT */
3387	652	:			
3388	653	:		ウキヤ	ツ、ツ、ツ、ツ
3389	654	:			
3390	655	:			
3391	656	:	HOUGHIT		
3392	657	:		LD	HL,(MSHIPX)
3393	658	:		INC	L
3394	659	:		CALL	#LOC
3395	660	:			B,8
3396	661	:	HOHIT1:	LD	DE,DECH1
3397	662	:		CALL	#MSX
3398	663	:		CALL	#BEEP
3399	664	:		LD	DE,DECH2
3400	665	:		CALL	#MSX
3401	666	:		CALL	#BEEP
3402	667	:		DJNZ	HOHIT1
3403	668	:		LD	A,(LPTHOU),A
3404	669	:		DEC	A
3405	670	:		LD	(LPTHOU),A
3406	671	:		JF	P,HOUSED
3407	672	:		POP	HL
3408	673	:		JF	GMOVER
3409	674	:			
3410	675	:	HOUSED		
3411	676	:		LD	A,0
3412	677	:		CALL	(MSHIPX),A
3413	678	:		LD	PAUSE
3414	679	:		LD	A,BCH
3415	680	:		CALL	#PRINT
3416	681	:		POP	HL
3417	682	:		JF	HOT2
3418	683	:			
3419	684	:	/*	UFO	HIT */
3420	685	:			
3421	686	:		ウキヤ	ツ、ツ、ツ、ツ
3422	687	:			
3423	688	:			
3424	689	:	UHIT		
3425	690	:		LD	A,(UFODRC)
3426	691	:		ADD	A,L
3427	692	:			L,A
3428	693	:		JR	UFOHIT


```

3415 743 FLYUFO LD HL,(UF0CNT)
3416 744 LD DE,0
3418 745 OR A
3419 746 ADC HL,DE
3420 747 JP M,MOVUFO
3421 748 INC HL
3422 749 LD (UF0CNT),HL
3423 750 LD A,R
3424 751 SLA A
3425 752 LD E,A
3426 753 ADD HL,DE
3427 754 LD DE,200H
3428 755 OR A
3429 756 SBC HL,DE
3430 757 RET M
3431 758 LD HL,0FFFFH
3432 759 LD (UF0CNT),HL
3433 760 LD A,R
3434 761 AND 1
3435 762 LD (UF0DRC),A
3436 763 JR NZ,RUFSET
3437 764 LUFSET: LD A,27
3438 765 LD (UF0X),A
3439 766 RET
3440 767 LD A,-1
3441 768 LD (UF0X),A
3442 769 RET
3443 770 MOVUFO
3444 771 LD A,(CNT01)
3445 772 OR A
3446 773 RET Z
3447 774 LD HL,(UF0X)
3448 775 LD A,(UF0DRC)
3449 776 CP 1
3450 777 JR Z,RUFMOV
3451 778 LD A,L
3452 779 DEC A
3453 780 JP P,NTLEGE
3454 781 CALL #LOC
3455 782 LD (UF0CNT),HL
3456 783 CALL #MPRINT
3457 784 DB " ",0
3458 785 RET
3459 786 LD A,L
3460 787 NTLEGE: DEC A
3461 788 LD (UF0X),HL
3462 789 CALL #LOC
3463 790 LD DE,LUFCHR
3464 791 CALL #MSX
3465 792 REP:
3466 793 RET
3467 794 LD A,L
3468 795 INC A
3469 796 CP 26
3470 797 JR C,NTREGE
3471 798 INC L
3472 799 CALL #LOC
3473 800 LD HL,0
3474 801 LD (UF0CNT),HL
3475 802 CALL #MPRINT
3476 803 DB " ",0
3477 804 RET
3478 805 LD A,L
3479 806 NTREGE: INC L
3480 807 LD (UF0X),HL
3481 808 CALL #LOC
3482 809 LD DE,LUFCHR
3483 810 JP #MSX
3484 811 LD A,L
3485 812 LD (UF0CNT),HL
3486 813 CALL #MPRINT
3487 814 DB " ",0
3488 815 RET
3489 816 LD A,L
3490 817 LD (UF0CNT),HL
3491 818 CALL #MPRINT
3492 819 DB " ",0
3493 820 RET
3494 821 LD A,L
3495 822 LD (UF0CNT),HL
3496 823 CALL #MPRINT
3497 824 DB " ",0
3498 825 RET
3499 826 LD A,L
3500 827 LD (UF0CNT),HL
3501 828 CALL #MPRINT
3502 829 DB " ",0
3503 830 RET
3504 831 LD A,L
3505 832 LD (UF0CNT),HL
3506 833 CALL #MPRINT
3507 834 DB " ",0
3508 835 RET
3509 836 LD A,L
3510 837 LD (UF0CNT),HL
3511 838 CALL #MPRINT
3512 839 DB " ",0
3513 840 RET
3514 841 LD A,L
3515 842 LD (UF0CNT),HL
3516 843 CALL #MPRINT
3517 844 DB " ",0
3518 845 RET
3519 846 LD A,L
3520 847 LD (UF0CNT),HL
3521 848 CALL #MPRINT
3522 849 DB " ",0
3523 850 RET
3524 851 LD A,L
3525 852 LD (UF0CNT),HL
3526 853 CALL #MPRINT
3527 854 DB " ",0
3528 855 RET
3529 856 LD A,L
3530 857 LD (UF0CNT),HL
3531 858 CALL #MPRINT
3532 859 DB " ",0
3533 860 RET
3534 861 LD A,L
3535 862 LD (UF0CNT),HL
3536 863 CALL #MPRINT
3537 864 DB " ",0
3538 865 RET
3539 866 LD A,L
3540 867 LD (UF0CNT),HL
3541 868 CALL #MPRINT
3542 869 DB " ",0
3543 870 RET
3544 871 LD A,L
3545 872 LD (UF0CNT),HL
3546 873 CALL #MPRINT
3547 874 DB " ",0
3548 875 RET
3549 876 LD A,L
3550 877 LD (UF0CNT),HL
3551 878 CALL #MPRINT
3552 879 DB " ",0
3553 880 RET
3554 881 LD A,L
3555 882 LD (UF0CNT),HL
3556 883 CALL #MPRINT
3557 884 DB " ",0
3558 885 RET
3559 886 LD A,L
3560 887 LD (UF0CNT),HL
3561 888 CALL #MPRINT
3562 889 DB " ",0
3563 890 RET
3564 891 LD A,L
3565 892 LD (UF0CNT),HL
3566 893 CALL #MPRINT
3567 894 DB " ",0
3568 895 RET
3569 896 LD A,L
3570 897 LD (UF0CNT),HL
3571 898 CALL #MPRINT
3572 899 DB " ",0
3573 900 RET
3574 901 LD A,L
3575 902 LD (UF0CNT),HL
3576 903 CALL #MPRINT
3577 904 DB " ",0
3578 905 RET
3579 906 LD A,L
3580 907 LD (UF0CNT),HL
3581 908 CALL #MPRINT
3582 909 DB " ",0
3583 910 RET
3584 911 LD A,L
3585 912 LD (UF0CNT),HL
3586 913 CALL #MPRINT
3587 914 DB " ",0
3588 915 RET
3589 916 LD A,L
3590 917 LD (UF0CNT),HL
3591 918 CALL #MPRINT
3592 919 DB " ",0
3593 920 RET
3594 921 LD A,L
3595 922 LD (UF0CNT),HL
3596 923 CALL #MPRINT
3597 924 DB " ",0
3598 925 RET
3599 926 LD A,L
3600 927 LD (UF0CNT),HL
3601 928 CALL #MPRINT
3602 929 DB " ",0
3603 930 RET
3604 931 LD A,L
3605 932 LD (UF0CNT),HL
3606 933 CALL #MPRINT
3607 934 DB " ",0
3608 935 RET
3609 936 LD A,L
3610 937 LD (UF0CNT),HL
3611 938 CALL #MPRINT
3612 939 DB " ",0
3613 940 RET
3614 941 LD A,L
3615 942 LD (UF0CNT),HL
3616 943 CALL #MPRINT
3617 944 DB " ",0
3618 945 RET
3619 946 LD A,L
3620 947 LD (UF0CNT),HL
3621 948 CALL #MPRINT
3622 949 DB " ",0
3623 950 RET
3624 951 LD A,L
3625 952 LD (UF0CNT),HL
3626 953 CALL #MPRINT
3627 954 DB " ",0
3628 955 RET
3629 956 LD A,L
3630 957 LD (UF0CNT),HL
3631 958 CALL #MPRINT
3632 959 DB " ",0
3633 960 RET
3634 961 LD A,L
3635 962 LD (UF0CNT),HL
3636 963 CALL #MPRINT
3637 964 DB " ",0
3638 965 RET
3639 966 LD A,L
3640 967 LD (UF0CNT),HL
3641 968 CALL #MPRINT
3642 969 DB " ",0
3643 970 RET
3644 971 LD A,L
3645 972 LD (UF0CNT),HL
3646 973 CALL #MPRINT
3647 974 DB " ",0
3648 975 RET
3649 976 LD A,L
3650 977 LD (UF0CNT),HL
3651 978 CALL #MPRINT
3652 979 DB " ",0
3653 980 RET
3654 981 LD A,L
3655 982 LD (UF0CNT),HL
3656 983 CALL #MPRINT
3657 984 DB " ",0
3658 985 RET
3659 986 LD A,L
3660 987 LD (UF0CNT),HL
3661 988 CALL #MPRINT
3662 989 DB " ",0
3663 990 RET
3664 991 LD A,L
3665 992 LD (UF0CNT),HL
3666 993 CALL #MPRINT
3667 994 DB " ",0
3668 995 RET
3669 996 LD A,L
3670 997 LD (UF0CNT),HL
3671 998 CALL #MPRINT
3672 999 DB " ",0
3673 1000 RET

```

```

3534 32 35 30 00 887 DM "250":DB 0
3535 33 30 30 00 888 DM "300":DB 0
3536 34 30 30 00 889
3537 35 30 30 00 890
3538 36 30 30 00 891
3539 37 30 30 00 892
3540 38 30 30 00 893
3541 39 30 30 00 894
3542 40 30 30 00 895
3543 41 30 30 00 896
3544 42 30 30 00 897
3545 43 30 30 00 898
3546 44 30 30 00 899
3547 45 30 30 00 900
3548 46 30 30 00 901
3549 47 30 30 00 902
3550 48 30 30 00 903
3551 49 30 30 00 904
3552 50 30 30 00 905
3553 51 30 30 00 906
3554 52 30 30 00 907
3555 53 30 30 00 908
3556 54 30 30 00 909
3557 55 30 30 00 910
3558 56 30 30 00 911
3559 57 30 30 00 912
3560 58 30 30 00 913
3561 59 30 30 00 914
3562 60 30 30 00 915
3563 61 30 30 00 916
3564 62 30 30 00 917
3565 63 30 30 00 918
3566 64 30 30 00 919
3567 65 30 30 00 920
3568 66 30 30 00 921
3569 67 30 30 00 922
3570 68 30 30 00 923
3571 69 30 30 00 924
3572 70 30 30 00 925
3573 71 30 30 00 926
3574 72 30 30 00 927
3575 73 30 30 00 928
3576 74 30 30 00 929
3577 75 30 30 00 930
3578 76 30 30 00 931
3579 77 30 30 00 932
3580 78 30 30 00 933
3581 79 30 30 00 934
3582 80 30 30 00 935
3583 81 30 30 00 936
3584 82 30 30 00 937
3585 83 30 30 00 938
3586 84 30 30 00 939
3587 85 30 30 00 940
3588 86 30 30 00 941
3589 87 30 30 00 942
3590 88 30 30 00 943
3591 89 30 30 00 944
3592 90 30 30 00 945
3593 91 30 30 00 946
3594 92 30 30 00 947
3595 93 30 30 00 948
3596 94 30 30 00 949
3597 95 30 30 00 950
3598 96 30 30 00 951
3599 97 30 30 00 952
3600 98 30 30 00 953
3601 99 30 30 00 954
3602 100 30 30 00 955
3603 101 30 30 00 956
3604 102 30 30 00 957
3605 103 30 30 00 958
3606 104 30 30 00 959
3607 105 30 30 00 960
3608 106 30 30 00 961
3609 107 30 30 00 962
3610 108 30 30 00 963
3611 109 30 30 00 964
3612 110 30 30 00 965
3613 111 30 30 00 966
3614 112 30 30 00 967
3615 113 30 30 00 968
3616 114 30 30 00 969
3617 115 30 30 00 970
3618 116 30 30 00 971
3619 117 30 30 00 972
3620 118 30 30 00 973
3621 119 30 30 00 974
3622 120 30 30 00 975
3623 121 30 30 00 976
3624 122 30 30 00 977
3625 123 30 30 00 978
3626 124 30 30 00 979
3627 125 30 30 00 980
3628 126 30 30 00 981
3629 127 30 30 00 982
3630 128 30 30 00 983
3631 129 30 30 00 984
3632 130 30 30 00 985
3633 131 30 30 00 986
3634 132 30 30 00 987
3635 133 30 30 00 988
3636 134 30 30 00 989
3637 135 30 30 00 990
3638 136 30 30 00 991
3639 137 30 30 00 992
3640 138 30 30 00 993
3641 139 30 30 00 994
3642 140 30 30 00 995
3643 141 30 30 00 996
3644 142 30 30 00 997
3645 143 30 30 00 998
3646 144 30 30 00 999
3647 145 30 30 00 1000

```

♪MZ-700に不可能はないシリーズ第2弾,SPACE BLUSTER FZはすごい!あの画面
 といい,MZ-700も極めるとあなるのか.XEVIIOUSにも驚いたが今回はさらに上だと思
 う。私もあんなプログラムを組めるようになりたいものだ。もしできたら Oh!MZに載せ
 てくだされね。
 伊藤 直広 (16) 福島県


```

382B      1316
382B      1317 ADIV3
382B 16 00 1318          LD      D,0
382D FE 03 1319 DIV3L: CP      3
382F 38 05 1320          JR      C,DIV3E
3831 14      1321          INC      D
3832 D6 03 1322          SUB      3
3834 18 F7 1323          JR      DIV3L
3836 5F      1324 DIV3E: LD      E,A
3837 C9      1325          RET
3838
3838      1326
3838      1327 ;/* D=A/10 E=A mod 10 */
3838      1328
3838      1329 ADIV10
3838 16 00 1330          LD      D,0
383A FE 0A 1331 DIV10L: CP      10
383C 38 05 1332          JR      C,DIV10E
383E 14      1333          INC      D
383F D6 0A 1334          SUB      10
3841 18 F7 1335          JR      DIV10L
3843 5F      1336 DIV10E: LD      E,A
3844 C9      1337          RET
3845
3845      1338
3845      1339 ;
3845
3845      1340 >>> MESSAGE AND CHARACTER <<<
3845      1341
3845      1342 GMSTMS DM      "G A M E S T A R T ! ! !"
3845
3845      1343
3845      1344 GMOVMS DM      DB      0
3845      1345          "GAMEOVER"
3845      1346 HOUCHR DM      "CBBA"
3845      1347          "X"
3845      1348 LUFCHR DM      DB      0
3845      1349          "UF"
3845      1350 RUFCHR DM      DB      0
3845      1351          "UF"
3845      1352 POUCHR DM      DB      0
3845      1353          "XX"
3845      1354 BRNCH1 DM      DB      0
3845      1355          "++"
3845      1356 BRNCH2 DM      DB      0
3845      1357          "++"
3845      1358 DEDCH1 DB      "X",1DH,0
3845      1359 DEDCH2 DB      "X",1DH,0

```

リスト 3 INVADERデモ部ソースリスト

```

0000      1 ;/* INVADER GAME */
0000      2 ;
0000      3 ; DEMO PROGRAM
0000      4 ;
0000      5 ;
0000      6 ; FOR S-OS "SWORD"
0000      7 ;
0000      8 ; BY M.MATSUZAKA
0000      9 ;
0000      10
0000      11 OFFSET 0C900H-3900H
0000      12 ORG      3900H
0000      13 ;
0000      14
0000      15 #BEEP EQU      1FC4H
0000      16 #GETKY EQU      1FD0H
0000      17 #LTNL EQU      1FE0H
0000      18 #PRINT EQU      1FF4H
0000      19 #LOC EQU      201EH
0000      20 ;
0000      21
0000      22 RDBLKX EQU      050A0H
0000      23 RDBLKX EQU      050A1H
0000      24 RDBLKX EQU      050A2H
0000      25 RDBLKX EQU      050A3H
0000      26 RDBLKX EQU      050A4H
0000      27 RDBLKX EQU      050A5H
0000      28 RDBLKX EQU      050A6H
0000      29 RDBLKX EQU      050A7H
0000      30 MTSSTEP EQU      050A8H
0000      31 OFSETA EQU      050A9H
0000      32 TTLSON EQU      05100H
0000      33 VIRSON EQU      05900H
0000      34
0000      35 ;
0000      36 DEMO
0000      37 CALL      DMWIN
0000      38 LD      B,0
0000      39 CALL      CHKSPC
0000      40 RET      Z
0000      41
0000      42 LD      A,0CH
0000      43 CALL      #PRINT
0000      44
0000      45 DEMO1: CALL      MKTTLA
0000      46 LD      A,(MTSTEP)
0000      47 DEC      A
0000      48 LD      (MTSTEP),A
0000      49 JR      NZ,DEMO1
0000      50 CALL      #BEEP
0000      51
0000      52 LD      B,0
0000      53 CALL      CHKSPC
0000      54 RET      Z
0000      55
0000      56 LD      B,5
0000      57 CALL      SCRUP
0000      58 CALL      #BEEP
0000      59
0000      60 LD      C,4
0000      61 DEMO2: LD      B,40
0000      62 DEMO3: PUSH      BC
0000      63 CALL      SCRL1
0000      64 POP      BC
0000      65 DJNZ      DEMO3
0000      66 CALL      #BEEP
0000      67 LD      B,200
0000      68 CALL      CHKSPC
0000      69 RET      Z
0000      70 DEC      C
0000      71 JR      NZ,DEMO2
0000      72
0000      73 LD      DE,LINDAT
0000      74 DEMO4: LD      A,(DE)
0000      75 INC      DE
0000      76 CP      0FFH
0000      77 JR      Z,DEMO5
0000      78 OR      A
0000      79 JR      Z,DEMO4
0000      80 LD      L,A
0000      81 LD      A,(DE)
0000      82 LD      H,A
0000      83 INC      DE
0000      84 CALL      #LOC
0000      85 LD      A,THR
0000      86 CALL      #PRINT
0000      87 JR      DEMO4
0000      88
0000      89 DEMO5: LD      B,13
0000      90 CALL      SCRUP
0000      91
0000      92 LD      BC,599
0000      93 LD      DE,TTLSON
0000      94 DEMO6: LD      A,(DE)
0000      95 LD      L,A
0000      96 INC      DE
0000      97 LD      A,(DE)
0000      98 LD      H,A
0000      99 INC      DE
0000      100 CALL      #LOC
0000      101 LD      A,(DE)
0000      102 INC      DE
0000      103 CALL      #PRINT
0000      104 DEC      BC
0000      105 LD      A,B
0000      106 OR      C
0000      107 JP      NZ,DEMO6
0000      108 CALL      #BEEP
0000      109
0000      110 LD      B,0
0000      111 CALL      CHKSPC
0000      112 RET      Z
0000      113
0000      114 JP      DEMO
0000      115
3987
3987
3987
3987
3987
3987 26 50
3989 CD 00 1F
398C FE 20
398E C8
398F 25
3990 20 FD
3992 10 F3
3994 04
3995 C9
3996
3996
3996 2E 00
3998 26 18
399A CD 1E 20
399D CD EE 1F
39A0 10 FB
39A2 C9
39A3
39A3
39A3
39A3
39A3
39A3
39A3
39A3 11 80 3A
39A6 2A A0 50
39A9 2C
39AA 24
39AB 22 A0 50
39AE 0E 0D
39B0 E5
39B1 0E 0D
39B3 7C
39B4 B7
39B5 FA D3 39
39B8 FE 18
39BA D2 D3 39
39BD 7D
39BE B7
39BF FA D3 39
39C2 7D
39C3 B7
39C4 FA D3 39
39C7 FE 28
39C9 D2 D3 39
39CC CD 1E 20
39CF 1A
39D0 CD F4 1F
39D3 2C
39D4 24
39D5 13
39D6 10 DB
39D8 E1
39D9 2C
39DA 2C
39DB 2C
39DC 2C
39DD 0D
39DE 20 D0
39E0
39E0 2A A2 50
39E3 2D
39E4 24
39E5 22 A2 50
39E8 0E 0D
39EA E5
39EB 0E 0D
39ED 7C
39EE B7
39EF FA 08 3A
39F2 FE 18
39F4 D2 08 3A
39F7 7D
39F8 B7
39F9 FA 08 3A
39FC FE 28
39FD D2 08 3A
3A01 CD 1E 20
3A04 1A
3A05 CD F4 1F
3A08 2C
3A09 25
3A0A 13
3A0B 10 E0
3A0D E1
3A0E 2C
3A0F 2C
3A10 2C
3A11 2C
3A12 0D
3A13 20 D5
3A15
3A15 2A A4 50
3A18 2D
3A19 25
3A1A 22 A4 50
3A1D 0E 0D
3A1F E5
3A20 0E 0D
3A22 7C
3A23 B7
3A24 FA 3D 3A
3A27 FE 18
3A28 D2 3D 3A
3A2C 7D
3A2D B7
116 ;/* CHECK SPACE KEY */
117 ;
118 ; スペースキーを押したら、リターンを返す
119 ; リターンキーを押したら、リターンを返す
120 ;
121
122 CHKSPC
123          LD      H,50H
124          CALL    #GETKY
125          CP      Z
126          JR      NZ,CHKSP1
127          INC     B
128          INC     B
129          INC     B
130          INC     B
131          INC     B
132          INC     B
133 ;/* SCROLL UP */
134
135 SCRUP
136          LD      L,0
137          LD      H,24
138          LD      #LOC
139          CALL    #LTNL
140          DJNZ    SRLUP1
141          RET
142
143 ;/* MAKE TITLE A */
144
145 ; タイトルを"リターン"で埋める
146 ;
147
148 MKTTLA
149 MOVWORD: LD      DE,RDDATA
150          LD      HL,(RDBLKX)
151          INC     L
152          INC     H
153          LD      (RDBLKX),HL
154          LD      C,13
155          LINRD1: PUSH      HL
156          LD      B,13
157          LINRD2: LD      A,H
158          OR      A
159          JP      M,WOUTRD
160          CP      24
161          JP      NC,WOUTRD
162          LD      A,L
163          OR      A
164          JP      M,WOUTRD
165          LD      A,L
166          OR      A
167          JP      M,WOUTRD
168          CP      40
169          JP      NC,WOUTRD
170          CALL    #LOC
171          LD      A,(DE)
172          CALL    #PRINT
173          LD      L
174          WOUTRD: INC     H
175          INC     DE
176          DJNZ    LINRD2
177          POP     HL
178          INC     L
179          INC     L
180          INC     L
181          INC     L
182          DEC     C
183          JR      NZ,LINRD1
184
185 MOVWORD: LD      HL,(RDBLKX)
186          DEC     H
187          INC     L
188          LD      (RDBLKX),HL
189          LD      C,13
190          LINLD1: PUSH      HL
191          LD      B,13
192          LINLD2: LD      A,H
193          OR      A
194          JP      M,WOUTLD
195          CP      24
196          JP      NC,WOUTLD
197          LD      A,L
198          OR      A
199          JP      M,WOUTLD
200          CP      40
201          JP      NC,WOUTLD
202          CALL    #LOC
203          LD      A,(DE)
204          CALL    #PRINT
205          LD      L
206          WOUTLD: INC     H
207          INC     DE
208          DJNZ    LINLD2
209          POP     HL
210          INC     L
211          INC     L
212          INC     L
213          INC     L
214          DEC     C
215          JR      NZ,LINLD1
216
217 MOVWORD: LD      HL,(RDBLKX)
218          DEC     H
219          DEC     L
220          LD      (RDBLKX),HL
221          LD      C,13
222          LINLUI: PUSH      HL
223          LD      B,13
224          LINLU2: LD      A,H
225          OR      A
226          JP      M,WOUTLU
227          CP      24
228          JP      NC,WOUTLU
229          LD      A,L
230          OR      A

```

進化のめざましいパソコンだが、たったひとつ昔から全然進化していないデバイスがある。キーボードだ。これは入力装置として下の下。なぜなら人間には言葉という出力法があるのに、それが生かされていない。というわけで「音声入力装置」をX68000用に出してほしい。「キーボードのないパソコン」こそが未来を拓きうる。 野原 勉 (21) 千葉県

[illegible]


```

3E0D 19          465      ADD     HL,DE
3E0E 11 00 51    466      LD      DE,TTLSSOS
3E11 19          467      ADD     HL,DE
3E12 EB          468      EX      DE,HL
3E13 E1          469      POP     HL
3E14 06 03       470      LD      B,3
3E16 1A          471      SHFL2: LD  A,(DE)
3E17 4E          472      LD      C,(HL),A
3E18 77          473      LD      (HL),A
3E19 79          474      LD      A,C,(HL),A
3E1A 12          475      LD      (DE),A
3E1B 13          476      INC     DE
3E1C 23          477      INC     HL
3E1D 10 F7       478      DJNZ   SHFL2
3E1E C1          479      POP     BC
3E20 0B          480      DEC     BC
3E21 78          481      LD      A,B
3E22 B1          482      OR      C
3E23 C2 FF 3D    483      JP      NZ,SHFUL1
3E26 C9          484      RET
3E27            485
3E27            486      /* RANDOM NUMBER SET */
3E27            487
3E27            488      RND
3E27 C5          489      PUSH   BC
3E28 D5          490      PUSH   DE
3E29 ED 5B 49 3E 491      LD      DE,(OLDNRND)
3E2D ED 4B 48 3E 492      LD      BC,(STEP)
3E31 21 00 00     493      LD      HL,0
3E34 3E 10       494      LD      A,16
3E36 29          495      RNDLOP: ADD HL,HL
3E37 CB 23       496      SLA     E
3E39 CB 12       497      RL      D
3E3B DA 3F 3E    498      JP      C,SKIP
3E3E 09          499      ADD
3E3F 3D          500      SKIP: DEC A
3E40 C2 36 3E    501      JP      NZ,RNDLOP
3E43 22 49 3E    502      LD      (OLDNRND),HL
3E46 D1          503      POP     DE
3E47 C1          504      POP     BC
3E48 C9          505      RET
3E49 33 E9       506      OLDNRND: DW 0E933H
3E4B 83 03       507      STEP  DW 899
3E4D            508
3E4D            509      /* HL= HL mod DE */
3E4D            510
3E4D            511      MOD
3E4D C5          512      PUSH   BC
3E4E EB          513      EX      DE,HL
3E4F 44          514      LD      B,H
3E50 4D          515      LD      C,L
3E51 21 00 00     516      LD      HL,0
3E54 3E 10       517      LD      A,16
3E56 CB 23       518      MODLOP: SLA E
3E58 CB 12       519      RL      D
3E5A ED 6A       520      ADC     HL,HL
3E5C ED 42       521      SBC     HL,BC
3E5E D2 62 3E    522      JP      NC,MODSKP
3E61 09          523      ADD     HL,BC
3E62 3D          524      MODSKP: DEC A
3E63 C2 56 3E    525      JP      NZ,MODLOP
3E66 C1          526      POP     BC
3E67 C9          527      RET
3E68            528
3E68            529      /* ワ-ワ エア ノ ショット */
3E68            530
3E68 E3 F2 08 FE 08 19 E3 531      DMINUT  DB  -29,-14,8,-2,8,23,-29,37,19
3E6F 25 13       532
3E71 00 00       533      DW      0
3E73            534      /* キ-ット アラマツ ヲラ-ワ- */
3E73            535
3E73            536      PRSDAT
3E73 01 2D       537      DB      1,45
3E75 41 20 2E 2E 2E 20 31 538      DM      "A ... 10 PTS."
3E7C 30 20 50 54 53 2E    539
3E82 00 03 2D    540      DB      0,3,45
3E85 42 20 2E 2E 2E 20 32 540      DM      "B ... 20 PTS."
3E8C 30 20 50 54 53 2E    541
3E92 00 05 2D    542      DB      0,5,45
3E95 43 20 2E 2E 2E 20 33 542      DM      "C ... 30 PTS."
3E9C 30 20 50 54 53 2E    543
3EA2 00 07 2D    544      DB      0,7,45
3EA5 55 46 20 2E 2E 20 3F 544      DM      "UF ... ?? PTS."
3EAC 3F 20 50 54 53 2E    545
3EB2 00 02 42    546      DB      0,2,66
3EB5 5B 53 50 41 43 45 5D 546      DM      "[SPACE]"
3EBC 00 04 45     547      DB      0,4,69
3EBF 49          548      DM      "I"
3EC0 00 06 40     549      DB      0,6,64
3EC3 5B 4B 5D 20 58 20    550      DM      "[K] X. [L]"
3ECA 20 5B 4C 5D    551
3ECE 00 01 62     552      DB      0,1,98
3ED1 49 4E       553      DM      "IN"
3ED3 00 03 50     554      DB      0,3,80
3ED6 7B 7B 20 20 20 7B 7B 554      DM
3EDD 20 20 7B 7B 7B 7B 20 555
3EE4 20 7B 7B 7B 20 20 20 556      DB      0,4,80
3EEB 7B 7B 7B 20 20 7B 7B 556      DM
3EF2 7B 7B 20 20 7B 7B 7B 557
3EF9 00 04 50     558      DB      0,5,80
3EFC 20 7B 20 20 7B 20 20 558      DM
3F03 7B 20 7B 20 20 7B 20 559
3F0A 7B 20 20 20 20 20 20 560      DB      0,6,80
3F11 7B 20 7B 7B 20 7B 7B 560      DM
3F18 20 20 20 7B 7B 20 7B 561
3F1F 00 05 50     562      DB      0,7,80
3F22 20 7B 20 20 20 7B 7B 562      DM
3F29 7B 20 20 7B 7B 20 20 563
3F30 7B 7B 7B 7B 20 20 20 564      DB      0,0,121
3F37 7B 20 7B 7B 20 7B 7B 564      DM      "PROGRAMED"
3F3E 7B 20 20 7B 7B 565
3F43 00 06 50     566      DB      0,1,132
3F46 20 7B 20 20 20 20 20 566      DM
3F4D 7B 20 7B 20 20 7B 20 567
3F54 7B 20 20 7B 20 20 20 568      DB      0,2,124
3F5B 7B 20 7B 7B 20 7B 7B 568      DM      "BY"
3F62 20 20 20 7B 7B 20 7B 569      DB      0,2,132
3F69 00 07 50     570      DM
3F6C 7B 7B 7B 20 7B 7B 7B 570
3F73 20 20 7B 7B 7B 7B 20 571
3F7A 20 7B 7B 20 20 20 20 572      DB      0,5,120
3F81 7B 7B 7B 20 20 7B 7B 572      DM
3F88 7B 7B 20 20 20 7B 7B 573
3F8F 20 7B 7B 20 20 7B 7B 574      DB      0,6,120
3F91 00 00 79     575      DB      0,7,120
3F94 50 52 4F 47 52 41 4D 575      DM
3F9B 45 44 20 20 20 7B 7B 20 576
3FA2 7B 7B 20 7B 20 7B 20 577
3FA3 7B 20 7B 20 7B 20 7B 578      DB      0,8,120
3FAB 20 20 7B 7B 578      DM
3FB4 00 01 84     579      DB      0,9FFH
3FB7 7B 7B 7B 7B 7B 20 7B 579      DM
3FB8 20 7B 7B 20 20 7B 20 580
3FCD 00 02 7C     581      DB      0,0FFH
3FD0 42 59       582      DB      0,0FFH
3FD2 00 02 84     583      DM
3FD5 7B 7B 7B 7B 20 7B 20 584
3FDC 20 7B 20 7B 20 7B 20 584      DM

```

```

3FE3 7B 7B 7B 20 7B 7B 7B 585
3FEA 7B 7B 7B 7B 7B 7B 7B 585
3FEB 00 03 84     571      DB      0,3,132
3FEE 7B 20 7B 20 7B 20 7B 572      DM
3FF5 20 7B 20 7B 20 7B 20 573
3FFC 20 7B 20 20 7B 20 7B 574      DB      0,5,120
4003 7B 20 20 7B 574      DM
4007 00 05 78     573
400A 7B 7B 7B 7B 7B 20 20 574
4011 7B 7B 20 20 7B 7B 7B 575
4018 20 7B 7B 7B 20 7B 20 576      DB      0,6,120
401F 7B 20 7B 7B 7B 20 20 576      DM
4026 7B 7B 20 20 7B 20 7B 577
402D 20 20 7B 7B 578      DB      0,7,120
4031 00 06 78     577      DB
4034 7B 7B 7B 7B 7B 20 7B 578      DM
403B 20 7B 7B 20 20 7B 20 579
4042 20 7B 7B 20 20 7B 20 580      DB      0,8,120
4049 7B 20 20 7B 7B 20 7B 580      DM
4050 20 7B 7B 20 7B 7B 20 581
4057 20 7B 20 7B 7B 581      DB      0,9FFH
405C 00 07 78     581      DB
405F 7B 7B 7B 7B 7B 20 7B 582      DM
4066 7B 7B 7B 20 20 7B 20 583
406D 20 20 7B 7B 20 7B 20 584      DB
4074 7B 20 20 7B 20 20 7B 584      DM
407B 7B 7B 7B 20 20 7B 7B 585
4082 20 7B 7B 7B 7B 585      DB
4087 00 08 78     579      DB
408A 7B 20 7B 20 7B 20 7B 580      DB
4091 20 7B 7B 20 20 7B 20 581
4098 20 7B 7B 7B 20 7B 7B 582      DB
409F 7B 20 7B 7B 7B 20 7B 583      DM
40A6 20 7B 7B 20 7B 20 7B 584
40AD 7B 20 20 7B 7B 585      DB
40B2 00 FF       581      DB
40B4            582      DB
40B4 20 20 20 20 20 20 20 583      DM
40BB 20 20 20 20 20 20 20 584
40C2 20 20 20 20 20 20 20 584      DM
40C3 20 20 20 20 20 20 20 585
40D0 20 20 2A 20 20 20 20 586
40D7 20 20 20 20 20 20 20 587
40DC 20 20 20 20 20 20 20 588
40E3 20 20 20 2A 20 20 20 20 589
40EA 20 20 20 2E 20 20 20 20 590
40F1 20 20 20 20 20 20 20 20 591
40F8 20 20 20 20 20 2E 20 20 592
40FF 20 20 20 20 20 20 20 593
4104 20 2E 20 20 20 20 2A 2E 594
410B 20 20 20 20 20 20 20 2E 595
4112 20 20 20 20 20 20 2A 20 596
4119 20 2E 20 20 20 20 20 20 597
4120 20 2A 20 20 20 20 20 20 598
4127 20 20 2E 2A 20 20 20 599
412C 20 20 20 7B 7B 7B 7B 599      DM
4133 7B 7B 7B 7B 20 20 20 599
413A 20 20 20 20 20 20 7B 7B 599
4141 7B 7B 7B 7B 7B 20 20 599
4148 20 7B 7B 7B 7B 7B 7B 599
414F 7B 7B 20 20 2E 20 20 599
4154 2E 20 7B 7B 7B 7B 7B 599
415B 7B 7B 7B 7B 23 20 2A 599
4162 20 2E 20 20 7B 7B 7B 599
4169 7B 7B 7B 7B 7B 7B 20 599
4170 7B 7B 7B 7B 7B 7B 7B 599
4177 7B 7B 23 20 20 20 599
417C 20 2E 7B 7B 7B 7B 7B 599
4183 7B 7B 23 23 23 7B 7B 599
418A 7B 7B 7B 20 7B 7B 7B 599
4191 7B 7B 7B 7B 7B 7B 23 599
4198 7B 7B 7B 7B 7B 7B 7B 599
419F 23 23 23 20 20 20 599
41A4 20 2A 7B 7B 7B 7B 7B 599
41AB 7B 7B 7B 20 20 20 7B 599
41B2 7B 7B 7B 23 7B 7B 7B 599
41B9 23 23 23 7B 7B 7B 23 599
41C0 7B 7B 7B 7B 7B 7B 7B 599
41C7 7B 20 20 2E 20 20 20 599
41CC 2E 20 20 7B 7B 7B 7B 599
41D3 7B 7B 7B 20 7B 7B 7B 599
41DA 7B 7B 7B 23 7B 7B 7B 599
41E1 23 20 20 7B 7B 7B 23 599
41E8 2E 7B 7B 7B 7B 7B 7B 599
41EF 7B 7B 20 20 20 20 599
41F4 20 20 2E 20 7B 7B 7B 599
41FB 7B 7B 7B 7B 23 7B 7B 599
4202 7B 7B 7B 23 7B 7B 7B 599
4209 7B 7B 7B 7B 7B 7B 7B 599
4210 20 20 7B 7B 7B 7B 7B 599
4217 7B 7B 23 2A 20 20 599
421C 20 20 7B 7B 7B 7B 7B 599
4223 7B 7B 7B 7B 23 20 23 599
422A 23 23 23 23 7B 7B 7B 599
4231 7B 7B 7B 7B 7B 7B 23 599
4238 7B 7B 7B 7B 7B 7B 7B 599
423F 7B 7B 23 20 2E 20 599
4244 20 20 7B 7B 7B 7B 7B 599
424B 7B 7B 7B 7B 23 23 20 599
4252 20 20 20 20 20 20 7B 7B 599
4259 7B 7B 7B 7B 7B 23 23 599
4260 7B 7B 7B 7B 7B 7B 7B 599
4267 7B 23 23 20 20 20 599
426C 20 2E 20 20 23 23 23 599
4273 23 23 23 23 20 20 20 599
427A 2A 20 2E 20 20 20 23 599
4281 23 23 23 23 23 23 23 599
4288 2E 23 23 23 23 23 23 599
428F 23 23 20 20 20 20 599
4294 2A 20 20 20 20 2E 20 599
429B 20 20 20 20 2E 20 20 599
42A2 20 20 20 20 20 20 20 599
42A9 20 20 2E 20 20 20 20 599
42B0 20 20 20 20 20 20 20 599
42B7 2E 20 20 20 20 20 20 599
42BC 20 20 2E 20 20 2A 20 599
42C3 20 20 20 20 20 20 20 2E 599
42CA 20 20 20 20 20 20 20 20 599
42D1 2E 20 20 20 2A 20 20 599
42D8 20 20 20 2A 2E 20 20 599
42DF 20 20 20 2A 20 20 20 599
42E4 20 20 20 20 20 20 20 599
42EB 2E 20 20 20 2A 20 20 599
42F2 20 20 2E 2A 20 20 20 599
42F9 20 20 20 20 20 20 20 2E 599
4300 20 20 2A 20 20 20 20 599
4307 20 20 2E 20 20 20 20 599

```

▶ X68000の現物をまだ見たことがない。神戸が辺境だからだろうか。

原田 龍彦 (17) 兵庫県

全機種共通S-OS“SWORD”要

TANGERINE

Kataoka Masahiro

片岡 正博

横スクロールだ

あるところに、とても平和な国がありました。この国はマーメイド色の空、川辺には色とりどりの花が咲き、橋のたもとでは人々が微笑んでいる……。それはもう素晴らしい国でした。ところがある日、この国の命ともいべき“TANGERINE TREE”が隣の国の者に盗まれてしまったのです。とたんにこの国は光を失い、人々は不安におびえ始めました。ついにひとりの若者が立ち上がり、この国の伝説の乗り物“LUCY”に乗って失われた“TANGERINE TREE”を取り戻すべく旅立ったのです。

グラディウスでおなじみの横スクロール型シューティングゲームです。名前は「タンジェリン」とお呼びください。このゲームはこのままの形で楽しめますが、データ部分を簡単に変更できますので、オリジナルのマップを拡張してよりいっそうゲームの世界を広げてみてください。

入力・操作方法

リスト1はメインプログラムです。8000HからMACINTOSH-Cなどのマシン語入力ツールから打ち込んでください。打ち終わったらセーブしてチェックサムをよく確認してください。

リスト2はデータ部分です。入力方法はリスト1と同様ですが、とりあえずプログラムの動作を確認したいという場合には、適当なところまでダンプリストを打ち込み、待ち時間のところをFFHとしたデータを末尾に加えてテストランさせることも可能です。今回のプログラムでは7面分のデータを用意してあります。メインプログラムと一緒にまとめてセーブしておくといでしょう。

ゲームの実行はJ8000です。自分で拡張したデータがある場合などはHLレジスタにデータの格納アドレスをセットすれば、J8003として開始することもできます。あるいは、データアドレスを8001H、8002H番地に登録しておいてJ8000としてもかまいません。

操作はテンキー、カーソルキー、及びSキーを中心としたキーで自機の移動、5、S、スペース、リターンキーでミサイルを発射します。それぞれの機種で使いやすいものを使用してください。機体は4面ごとに1機増え、全機破壊されるとゲームオーバーです。

スピードはX1を基準に設定してありますが、機種や好みに応じて変更することができます。タイトル画面でSキーを押すとスピード変更モードに入ります。カーソルキーで選択しリターンキーで決定します。このときスペースキーを押すと（アスタリスクを表示）ダミーの待ち時間がなくなり高速になりますが、スピードが一定しなくなってしまいます。また、86C3HのIDATAWの部分を直接書き換えることでも調整が可能です。スピードを速くしたい場合は値を小さく、遅くしたい場合は大きくしてください。そのほか、自機の数86C2H番地に格納されています。ご自由に変更してみてください。

データ形式

9000H以降はデータエリアです。このデータは敵キャラや障害物の出現順に飛行パターンなどの4個のデータで構成されており、順に、

- 1) 待ち時間：前のキャラクターが出現してから次のキャラクターを表示するまでの時間
- 2) 出現位置：Y座標で指定（1～19）

全機種共通システムにアクションゲームの代名詞ともいえる、スクロール型シューティングゲームの登場です。スピード変更モードもあり、マップの拡張も簡単にできるようになっています。自分流に改造して楽しんでみてはいかがでしょうか。

- 3) 敵キャラ：1文字のアスキーコードで指定

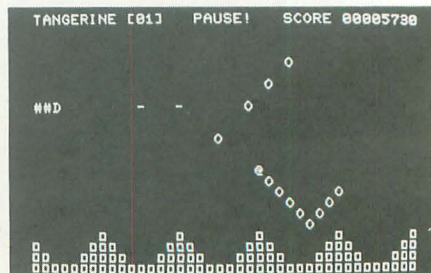
- 4) 敵の動き：1……直進
2……斜め上
3……斜め下
1～3が基本パターン、これらに3を加えると速度が2倍になる

のように指定します。

データ中には00H及びFFHを使用してはいけません。00Hは各面の終わりを表し、FFHは全面の終わりを示すのに使われています。1)のデータでは1を指定すると待ち時間なしとなります。また、当然ながら3)のデータとしてコントロールコードを使用することはできません。

敵キャラクターは常に右方向から現れて、それぞれの方向に直線的な動きをします。上端、下端までいくと方向を変えるという単純なパターンですが、速度を変えたり、組み合わせを工夫することで多彩なコンビネーション攻撃が可能です。

自分でデータを作るときは上記の形式に従って、1キャラクターにつき4バイトのデータをキャラクターの出現する順番に並べていきます。各面の区切りには00Hを、全データの終わりにはFFHを置いてください。いきなり入力してもよいのですが一度紙の上でパターンを検討してからの方がよいでしょう。なお、一度に画面に表示される敵の数は一応50個までに制限してあります。



プログラムについて

このプログラムでは画面の読み出しルーチンを一切使用せず、衝突判定などはすべてワークエリア上で処理しています。

主なルーチンについて解説してみましよう。

SCROLL :

これは画面の下側にある山の部分をスクロールさせているルーチンです。山のデータは図1のような3バイトで表されています。まず、いちばん上段のデータを読み、ローテイトしながらビットが0ならスペース、1なら山のデータを書いていきます。これを5回繰り返して1段分のできあがり、あとは同様に中段、下段のデータを書いていきます。次回に山を表示する前にもう一度余分にローテイトしてやれば、山は左にスクロールしていくわけです。

TEKI :

敵キャラクターの移動ルーチンです。敵のワークエリアを調べ、キャラクターを移動します。もちろん衝突判定も行っています。当たった相手が飛行機なら、メインフラグ(自機)はDEADとなります。ミサイルなら敵キャラクターのフラグが0となり、敵キ

ャクターのガーベジコレクションが行われます。これは敵キャラクターを出てきた順番に画面に出現させるようにして不要な混乱を避けるためです。こうして、ひとり敵キャラクターを移動させると、次のキャラクターの待ち時間を1引いて、0であればめでたく敵出現、引く前にすでに0であれば1面クリアとなります。

MSIL :

ミサイルのワークエリアから生きているミサイルを探し出し、移動させ衝突判定をするルーチンです。このとき、スペースキーなどが押されていれば新たなミサイルが発射されます。一連の処理のなかでこのルーチンが2度CALLされているのは、ミサイルを自機の2倍の速度で移動させるためです。

最後に

2月号のアドベンチャーゲームMARMA LADEで予告したとおり、今回はS-OS用のアクションゲームです。もともと、このプログラムはS-OSではアクションゲームはむずかしいということであえて挑戦してみたものです。相変わらずリアルなキャラクターだとかスムーズスクロールという時

図1 山の部分のデータ

```
00001000 : 08H
00011100 : 1CH
00111110 : 3EH
```

代の流れに逆行するような画面でごめんなさい。

これだけの数のキャラクターを扱ったのは初めてですが、さすがにマシン語は速いです。Z80は強力です。このプログラムではS-OSの共通ルーチンしか使用せず、速度には少し不安があったのですが、結局ウェイトをかけなければならない速度になってしまいました。これからS-OSでアクションゲームを作ろうという人にひと言、大丈夫です。S-OSでも十分アクションゲームを作ることができます。自信を持ってがんばってください。

Profile

◇片岡君は京都府在住の18歳です。X1Ckユーザーで2月号のMARMALADEの作者でもあります。現在は小休止中ですが、RPGにも挑戦してみたいとのこと。

リスト1 TANGERINE ダンプリスト

```
8000 21 00 90 22 D0 86 AF CD : A5
8008 30 20 CD 2B 81 CD 3D 80 : 53
8010 CD 86 80 CD 3A 82 CD 69 : 92
8018 82 3A EA 86 3D CA 42 86 : FB
8020 CD 7F 83 CD 13 84 3A EA : 57
8028 86 3D CA 42 86 3D CA E0 : 3C
8030 85 3D CC FF 81 CD E8 81 : 44
8038 CD 7F 83 18 D6 21 E2 86 : 46
8040 11 E3 86 01 2B 00 36 00 : DC
8048 ED B0 21 BA 86 11 D6 86 : 6B
8050 01 0A 00 ED B0 2A D0 86 : 28
8058 22 D2 86 22 D4 86 CD E2 : A5
8060 1F 0C 54 41 4E 47 45 52 : EC
8068 49 4E 45 20 5B 30 31 5D : 15
8070 00 21 1A 00 CD 1E 20 CD : 13
8078 E2 1F 53 43 4F 52 45 00 : 7D
```

SUM: B0 61 96 34 B2 F6 4D 77 F51C

```
8080 D9 CD CA 85 B7 C9 F5 21 : 8B
8088 0E 87 11 0F 87 01 FA 00 : 37
8090 36 00 ED B0 F1 F5 30 0D : F6
8098 21 EA 86 11 EB 86 01 23 : 37
80A0 00 36 00 ED B0 2A D4 86 : 57
80A8 F1 F5 30 03 2A D2 86 7E : 19
80B0 3C 20 0D 2A D0 86 3A DF : 02
80B8 86 B7 28 04 3D 32 DF 86 : 3D
80C0 22 D2 86 22 D4 86 7E 32 : A6
80C8 E0 86 F1 30 E2 21 01 0A : C1
80D0 22 DB 86 CD C4 1F CD 5E : 5E
80D8 80 18 0E 2A D9 86 23 7E : D0
80E0 B7 20 03 21 B1 86 2D D9 : 2D
80E8 86 21 0B 00 CD 1E 20 3A : F7
80F0 DD 86 06 00 D6 0A 38 03 : 84
80F8 04 18 F9 C6 0A 4F 78 87 : 33
```

SUM: B3 6A CB A3 DE 42 F4 6F DD4C

```
8100 87 87 87 B1 CD C1 1F 21 : 14
8108 00 17 CD 1E 20 06 28 2A : 7A
8110 D9 86 7E CD F4 1F 10 FB : C8
8118 2A DB 86 CD 1E 20 11 AC : 53
8120 86 CD E5 1F CD D0 1F 32 : 45
8128 E1 86 C9 3E 0C D0 1F 1F : 5A
8130 21 0B 0A CD 1E 20 CD E2 : F0
8138 1F 54 20 41 20 4E 20 47 : A9
8140 20 45 20 52 20 49 20 4E : AE
```

```
8148 20 45 00 CD C4 1F CD D0 : B2
8150 1F B7 20 FA CD D0 1F B7 : 63
8158 28 FA FE 1B 28 11 FE 53 : C5
8160 28 15 FE 0C 28 11 CD C4 : 11
8168 1F 3E 0C CD F4 1F C9 E1 : F3
8170 21 00 00 CD 1E 20 C9 CD : C2
8178 C4 1F B7 F5 21 00 00 CD : 7D
```

SUM: E4 5E 2F A3 4A AA D1 D3 2B0B

```
8180 1E 20 CD E2 1F 53 50 45 : F4
8188 45 44 20 00 21 C3 86 7E : 91
8190 CD C1 1F 3A B0 86 B7 3E : 12
8198 20 20 02 3E 2A CD F4 1F : 8A
81A0 F1 30 0A 11 00 08 1B 7A : D9
81A8 B3 20 FB 18 06 CD D0 1F : A8
81B0 B7 20 C8 CD D0 1F FE 5A : B3
81B8 28 17 FE 1D 28 14 FE 58 : EC
81C0 28 13 FE 1C 28 10 FE 20 : AB
81C8 28 0F FE 0F CA 2B 81 18 : D0
81D0 E2 37 35 18 A6 37 34 18 : 8F
81D8 A2 3A B0 86 1F 3F 17 32 : B9
81E0 B0 86 CD C4 1F B7 18 93 : 48
81E8 3A DF 86 67 2E 01 2B 7C : DC
81F0 B5 20 FB C9 06 03 21 00 : C3
81F8 00 CD EE 81 10 FB C9 21 : 31
```

SUM: 46 B1 F6 A9 32 D8 5F 1D 3304

```
8200 11 00 CD 1E 20 CD E2 1F : EA
8208 50 41 55 53 45 21 00 CD : 6C
8210 1E 20 CD C4 1F CD D0 1F : AA
8218 FE 1B 28 F9 CD D0 1F B7 : AD
8220 28 FA E1 FE 0C CA 7E 86 : DB
8228 CD E2 1F 20 20 20 20 20 : 6E
8230 20 00 CD C4 1F AF 32 EA : 9B
8238 86 E9 21 00 14 CD 1E 20 : AF
8240 21 D6 86 16 03 7E 0E 05 : 27
8248 06 08 07 F5 E5 2A D9 86 : 78
8250 7E E1 38 05 CD F1 1F 18 : 91
8258 03 CD F4 1F F1 10 EB 0D : DC
8260 20 E6 CB 06 E3 15 20 DD : 0C
8268 C9 2A DB 86 CD D0 1F FE : 0E
8270 35 28 6A FE 53 28 66 FE : A4
8278 0D 28 62 FE 20 28 5E 32 : 6D
```

SUM: EB 2D 30 C7 B9 CF B3 2D 3FF3

```
8280 E1 86 FE 1B 28 51 FE 31 : 28
8288 28 6D FE 5A 28 69 FE 32 : AE
8290 28 68 FE 58 28 64 FE 1F : 8F
8298 28 60 FE 33 28 61 FE 43 : 83
82A0 28 5D FE 34 28 5E FE 41 : 7C
82A8 28 5A FE 1D 28 56 FE 36 : 4F
82B0 28 57 FE 44 28 53 FE 1C : 56
82B8 28 4F FE 37 28 50 FE 51 : 73
82C0 28 4C FE 38 28 4B FE 57 : 72
82C8 28 47 FE 1E 28 43 FE 39 : 2D
82D0 28 44 FE 45 28 40 C9 3E : 1E
82D8 03 32 EA 86 C9 21 E1 86 : F6
82E0 BE C8 32 E1 86 06 08 21 : 4E
82E8 EE 86 7E B7 28 06 23 23 : 1D
82F0 23 10 F7 C9 3C 77 C9 CD : 3C
82F8 21 83 CD 1B 83 18 32 CD : 26
```

SUM: 64 02 48 69 EE 60 BC BD 68A5

```
8300 26 83 18 F6 CD 21 83 18 : 40
8308 28 CD 26 83 18 23 CD 21 : C7
8310 83 CD 2C 83 18 1B CD 26 : 25
8318 83 18 F6 7C FE 13 C8 24 : 0A
8320 C9 7D B7 C8 2D C9 7D FE : 36
8328 20 C8 2C C9 7C 3D C8 25 : 83
8330 C9 E5 2A DB 86 CD 1E 20 : 44
8338 CD F1 1F CD F1 1F CD F1 : 78
8340 1F E1 22 DB 86 CD 1E 20 : 8E
8348 11 AC 86 CD E5 1F DD 21 : 12
8350 0E 87 06 32 2A DB 86 DD : 35
8358 7E 00 B7 28 1A DD 7E 01 : D3
8360 BD 28 08 2C BD 28 04 2C : 22
8368 BD 20 0C DD 7E 02 BC 20 : 2E
8370 06 3E 01 32 EA 86 C9 11 : C1
8378 05 00 DD 19 10 D6 C9 FD : A7
```

SUM: 14 EA E3 07 FF 8E 66 30 1731

```
8380 21 EE 86 06 08 FD 7E 00 : 1E
8388 3D 28 50 3D 28 63 3A B0 : 67
8390 86 B7 28 3F 21 00 18 CD : AA
8398 1E 20 CD F1 1F 3E 20 CD : 46
83A0 F4 1F 18 2F DD 21 0E 87 : ED
83A8 FD 75 01 FD 74 02 C5 06 : B1
83B0 32 DD 7E 00 B7 28 14 DD : 5D
83B8 7E 01 BD 20 0E DD 7E 02 : C7
83C0 BC 20 08 CD 84 85 CD 6A : F1
```



```

83C8 85 18 05 11 05 00 DD 19 : AE
83D0 10 DF C1 11 03 00 FD 19 : DA
83D8 10 AB C9 2A DB 86 11 03 : 23
83E0 00 19 CD 1E 20 3E 2D CD : 5C
83E8 F4 1F 3E 02 FD 77 00 18 : DF
83F0 B3 FD 6E 01 FD 66 02 CD : 51
83F8 1E 20 7D FE 27 28 0B CD : E0

```

SUM: C9 76 AC F7 2E 14 47 D4 0ABA

```

8400 F1 1F 3E 2D CD F4 1F 2C : 87
8408 18 9A CD F1 1F FD 36 00 : C2
8410 00 18 91 AF 32 EB 86 DD : D8
8418 21 0E 87 06 32 0E 00 DD : D9
8420 7E 00 B7 28 0F 18 68 CD : B9
8428 ED 84 38 05 11 05 00 DD : A1
8430 19 10 EC C9 79 B7 28 19 : 4F
8438 3A B0 86 B7 28 F3 21 00 : 63
8440 18 CD 1E 20 CD F1 1F CD : CD
8448 1E 20 3E 20 CD F4 1F 18 : 94
8450 E0 0C 21 E0 86 35 20 E0 : A8
8458 0D EB 2A D4 86 23 E5 66 : EA
8460 2E 27 DD 36 00 01 CD 1E : 54
8468 20 EB E1 23 7E DD 77 03 : E4
8470 CD F4 1F 23 7E DD 77 04 : D9
8478 23 22 D4 86 7E 32 E0 86 : B5

```

SUM: 49 2F DC 76 31 DB 6A 7F F4D4

```

8480 EB B7 20 A3 EB 23 22 D4 : 69
8488 86 3E 02 32 EA 86 C9 DD : 0E
8490 6E 01 DD 66 02 CD 1E 20 : BF
8498 CD F1 1F 7D B7 28 44 DD : 5A
84A0 7E 04 57 FE 04 38 10 D6 : F9
84A8 03 2D 28 37 08 DD 7E 03 : F5
84B0 CD ED 84 DA 31 84 08 2D : 02
84B8 D6 02 28 05 3D 8E 0E 18 : 90
84C0 16 25 7C FE 02 30 10 14 : 0B
84C8 DD 72 04 18 0A 24 7C FE : 13
84D0 13 38 04 15 DD 72 04 CD : 84
84D8 1E 20 DD 7E 03 CD F4 1F : 7C
84E0 C3 27 84 DD 36 00 00 CD : 4E
84E8 6A 85 C3 31 84 C5 D5 E5 : E6
84F0 DD 75 01 DD 74 02 EB 7B : 0C
84F8 2A DB 86 BD 28 08 2C BD : 61

```

SUM: 28 F2 78 1D 4A C1 61 B4 81E2

```

8500 28 04 2C BD 20 0E 7A BC : 79
8508 20 0A 3E 01 32 EA 86 CD : D8
8510 6A 85 18 52 EB 3A EB 86 : EF
8518 B7 28 18 FD 2A EC 86 FD : 8D
8520 7E 01 BD 20 0E FD 7E 02 : E7
8528 BC 20 08 CD 84 85 00 6A : F1
8530 85 18 33 06 08 0E 00 FD : E9
8538 21 EE 86 FD 7E 00 B7 28 : EF
8540 1D FD 7E 01 BD 20 17 FD : 8A
8548 7E 02 BC 20 11 CD 84 85 : 43
8550 CD 6A 85 3E 01 32 EB 86 : 9E
8558 FD 22 EC 86 18 08 11 03 : C5
8560 00 FD 19 10 D6 B7 E1 D1 : 65
8568 C1 C9 C5 E5 DD E5 E1 54 : 2B
8570 5D 01 05 00 09 01 05 00 : 72
8578 ED B0 7E B7 20 F7 AF 12 : AA

```

SUM: B9 E4 24 8E 42 69 80 DF 1D45

```

8580 E1 C1 37 C9 E5 D9 E1 CD : 0E
8588 1E 20 CD F1 1F AF DD 77 : 1E
8590 00 FD 77 00 DD 7E 03 06 : D8
8598 10 FE 40 38 08 06 12 FE : A4
85A0 7B 30 02 06 0A DD 7E 04 : 1C
85A8 FE 02 38 03 CB 20 0E FE : 28
85B0 05 38 02 CB 20 0E 08 21 : 61
85B8 E8 86 7E FE 09 20 08 36 : 51
85C0 00 2B 0D 28 F0 18 F3 34 : 8F
85C8 10 EB 21 20 00 CD 1E 20 : 47
85D0 21 E2 86 06 08 7E C6 30 : 0B
85D8 CD F4 1F 23 10 F7 D9 C9 : AC
85E0 21 11 0A E5 CD 1E 20 CD : F9
85E8 E2 1F 43 4C 45 41 52 21 : 89
85F0 00 CD C4 1F CD F4 81 D9 : CB
85F8 3A DD 86 3C CB 47 20 08 : 13

```

SUM: B0 92 DF C1 99 2B 28 BD 858B

```

8600 CB 4F 20 04 21 DE 86 34 : F7
8608 47 FE 15 38 02 06 0A 48 : EC
8610 06 32 C5 D9 06 01 CD B5 : 5F
8618 85 C1 10 F6 41 10 F0 CD : 5A
8620 C4 1F CD F4 81 E1 CD 1E : F1
8628 20 CD E2 1F 20 20 20 20 : 6E
8630 20 20 00 CD C4 1F AF 32 : D1
8638 EA 86 21 DD 86 34 B7 C3 : A2
8640 10 80 2A DB 86 CD 1E 20 : 26
8648 11 AC 86 CD E5 1F CD C4 : A5
8650 1F CD F4 81 21 DE 86 35 : 1B
8658 28 24 7E 21 13 0A CD 1E : F3
8660 20 C6 30 CD F4 1F CD C4 : 87
8668 1F CD D0 1F FE 1B 28 0E : 2A
8670 CD F4 81 CD D0 1F FE 1B : 17
8678 28 04 37 C3 10 80 21 0F : E6

```

SUM: 27 7A B4 8E C6 F6 F2 64 EC79

```

8680 0A CD 1E 20 CD E2 1F 47 : 2A
8688 41 4D 45 20 4F 56 45 52 : 2F

```

```

8690 00 CD C4 1F CD D0 1F B7 : 23
8698 20 FA CD D0 1F B7 28 FA : AF
86A0 FE 1B C2 0A 80 21 00 00 : 86
86A8 CD 1E 20 C9 23 23 44 00 : 5E
86B0 01 DB 40 23 4F 2A 30 7B : 63
86B8 24 00 08 1C 3E B0 86 01 : BD
86C0 0A 01 03 06 00 00 00 00 : 14
86C8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
86D0 00 90 00 90 24 90 80 C1 : 15
86D8 E3 B1 86 01 0A 01 00 06 : 2C
86E0 0A 00 00 00 00 00 08 02 : 14
86E8 06 00 01 00 00 00 00 27 : 2E
86F0 0A 00 00 00 00 00 00 00 : 0A
86F8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00

```

SUM: 62 37 A8 D8 66 6E 2D B6 285B

```

8700 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8708 00 00 00 00 00 00 01 05 : 06
8710 0A 41 02 01 07 0A 41 02 : A2
8718 01 1A 0F 42 03 01 1C 0F : 9B
8720 42 03 01 1E 0F 42 03 00 : B8
8728 1F 0E 42 03 00 00 00 00 : 72
8730 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8738 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8740 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8748 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8750 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8758 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8760 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8768 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8770 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8778 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00

```

SUM: 6C 6C 54 64 19 4D 61 16 A988

```

8780 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8788 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8790 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
8798 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87A0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87A8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87B0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87B8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87C0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87C8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87D0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87D8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87E0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87E8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87F0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
87F8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00

```

SUM: 00 00 00 00 00 00 00 0000

```

8800 00 00 00 00 00 00 00 00 : CC
8808 00 41 4C 4C 20 42 45 4C : CC
8810 4C 0D 54 41 31 3A 20 43 : BC
8818 41 4C 4C 20 47 45 54 4B : 24
8820 59 0D 20 4F 52 20 41 0D : 95
8828 20 4A 52 20 4E 5A 2C 54 : 04
8830 41 31 0D 54 41 32 3A 20 : A0
8838 43 41 4C 4C 20 47 45 54 : 1C
8840 4B 59 0D 20 4F 52 20 41 : D3
8848 0D 20 4A 52 20 5A 2C 54 : C3
8850 41 32 0D 20 43 50 20 31 : 84
8858 42 48 0D 20 4A 52 20 5A : CD
8860 2C 54 41 33 0D 20 43 50 : B4
8868 20 27 53 27 0D 20 4A 52 : 8A
8870 20 5A 2C 53 50 45 45 44 : 17
8878 0D 20 43 50 20 30 43 48 : 9B

```

SUM: DE 4B 2B 6B 1F B7 46 FD 80FF

```

8880 0D 20 4A 52 20 5A 2C 53 : C2
8888 50 45 45 44 0D 20 43 41 : CF
8890 4C 4C 20 42 45 4C 4C 0D : E4
8898 20 4C 4A 20 41 2C 30 43 : B0
88A0 48 0D 20 43 41 4C 4C 20 : B1
88A8 50 52 49 4E 54 0D 20 52 : 0C
88B0 45 54 0D 54 41 33 3A 20 : C8
88B8 50 4F 50 20 48 4C 0D 20 : D0
88C0 4C 44 20 48 4C 2C 30 0D : AD
88C8 20 43 41 4C 4C 20 4C 4F : F7
88D0 43 0D 20 52 45 54 0D 3B : A3
88D8 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D : EB
88E0 CB DF 2D C4 DE 20 C1 AA : 04
88E8 DD BC DE 2D 2D 2D 2D : 4B
88F0 2D 2D 2D 2D 0D 53 50 45 : A9
88F8 45 44 3A 20 43 41 4C 4C : FF

```

SUM: EC CC D9 41 36 78 D1 52 4242

```

8900 20 42 45 4C 4C 0D 20 4F : BB
8908 52 20 41 20 3B 20 28 43 : 99
8910 79 3D 30 29 0D 53 43 30 : E2
8918 3A 20 50 55 53 48 20 41 : FB
8920 46 0D 20 4C 44 20 48 4C : B7
8928 2C 30 0D 20 43 41 4C 4C : A5
8930 20 4C 4F 43 0D 20 43 41 : AF
8938 4C 4C 20 4D 50 52 49 4E : 3E
8940 54 0D 20 44 45 46 4D 20 : BD
8948 27 53 50 45 45 44 20 27 : DF
8950 0D 20 44 45 46 42 20 30 : 8E
8958 0D 20 4C 44 20 48 4C 2C : 9D
8960 49 44 41 54 41 57 0D 20 : E7
8968 4C 44 20 41 2C 28 48 4C : D9

```

```

8970 29 0D 20 43 41 4C 4C 20 : 92
8978 50 52 49 4E 54 48 0D 20 : 02

```

SUM: A6 1B 6C 1E BD C2 52 79 94DD

```

8980 4C 44 20 41 2C 28 44 46 : CF
8988 4C 41 47 29 0D 20 4F 52 : CB
8990 20 41 0D 20 4C 44 20 41 : 7F
8998 2C 27 20 27 0D 20 4A 52 : C3
89A0 20 4E 5A 2C 53 43 31 0D : 68
89A8 20 4C 44 20 41 2C 27 2A : 8E
89B0 27 0D 53 43 31 3A 20 43 : 98
89B8 41 4C 4C 20 50 52 49 4E : 32
89C0 54 0D 20 50 4F 50 20 41 : D1
89C8 46 0D 20 4A 52 20 4E 43 : C0
89D0 2C 53 43 33 0D 20 4C 44 : B2
89D8 20 44 45 2C 30 30 30 30 : 9D
89E0 48 0D 53 43 32 3A 20 44 : BB
89E8 45 43 20 44 45 0D 20 4C : AA
89F0 44 20 41 2C 44 0D 20 4F : 91
89F8 52 20 45 0D 20 4A 52 20 : A0

```

SUM: 95 21 92 19 60 0D 5A EA E35D

```

8A00 4E 5A 2C 53 43 32 0D 20 : C9
8A08 4A 52 20 53 43 34 0D 53 : E6
8A10 43 33 3A 20 43 41 4C 4C : EC
8A18 20 47 45 54 4B 59 0D 20 : D1
8A20 4F 52 20 41 0D 20 4A 52 : CB
8A28 20 4E 5A 2C 53 43 30 0D : C7
8A30 53 43 34 3A 20 43 41 4C : F4
8A38 4C 20 47 45 54 4B 59 0D : FD
8A40 20 43 50 20 27 5A 27 0D : 88
8A48 20 4A 52 20 5A 2C 53 43 : F8
8A50 35 0D 20 43 50 20 31 44 : 8A
8A58 48 0D 20 4A 52 20 5A 2C : B7
8A60 53 43 36 0D 20 43 50 20 : AC
8A68 27 58 27 0D 20 4A 52 20 : 8F
8A70 5A 2C 53 43 37 0D 20 43 : C3
8A78 50 20 31 43 48 0D 20 4A : A3

```

SUM: EA B7 83 73 CA 5E 6E 24 5498

```

8A80 52 20 5A 2C 53 43 38 0D : D3
8A88 20 43 50 20 27 20 27 0D : 4E
8A90 20 4A 52 20 5A 2C 53 43 : F8
8A98 39 0D 20 43 50 20 30 44 : 8D
8AA0 48 0D 20 4A 50 20 5A 2C : B5
8AA8 54 49 54 4C 45 0D 20 4A : F9
8AB0 52 20 53 43 34 0D 53 43 : DF
8AB8 35 3A 20 53 43 46 0D 53 : CB
8AC0 43 36 3A 20 44 45 43 20 : BF
8AC8 28 48 4C 29 0D 20 4A 52 : AE
8AD0 20 53 43 30 0D 53 43 37 : C0
8AD8 3A 20 53 43 46 0D 53 43 : D9
8AE0 38 3A 20 49 4E 43 20 28 : B4
8AE8 48 4C 29 0D 20 4A 52 20 : A6
8AF0 53 43 30 0D 53 43 39 3A : DC
8AF8 20 4C 44 20 41 2C 28 44 : A9

```

SUM: A6 70 DC 1A D6 F0 B2 5F 5A1E

```

8B00 46 4C 41 47 29 0D 20 52 : C2
8B08 52 41 0D 20 43 43 46 0D : 99
8B10 20 52 4C 41 0D 20 4C 44 : BC
8B18 20 28 44 46 4C 41 47 29 : CF
8B20 2C 41 0D 20 43 41 4C 4C : B6
8B28 20 42 45 4C 4C 0D 20 4F : BB
8B30 52 20 41 20 3B 20 28 43 : 99
8B38 79 3D 30 29 0D 20 4A 52 : D8
8B40 20 53 43 30 0D 3B 2D 2D : 88
8B48 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D : B3
8B50 C4 20 2D 2D 2D 2D 2D : F2
8B58 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D : 68
8B60 2D 2D 0D 57 41 49 54 3A : D6
8B68 20 4C 44 20 41 2C 28 57 : BC
8B70 44 41 54 41 29 0D 20 4C : BC
8B78 44 20 48 2C 41 0D 20 4C : 92

```

SUM: 02 8E 58 3E 0F 16 C4 54 5266

```

8B80 44 20 4C 2C 31 0D 57 31 : A2
8B88 3A 20 44 45 43 20 48 4C : DA
8B90 0D 20 4C 44 20 41 2C 48 : 92
8B98 0D 20 4F 52 20 4C 0D 20 : 67
8BA0 4A 52 20 4E 5A 2C 57 31 : 18
8BA8 0D 20 52 45 54 0D 57 41 : BD
8BB0 49 54 40 3A 20 4C 44 20 : E7
8BB8 42 2C 33 0D 20 4C 44 20 : 7E
8BC0 48 4C 2C 30 0D 57 32 3A : C0
8BC8 20 43 41 4C 4C 20 57 31 : E4
8BD0 0D 20 4A 4E 5A 20 57 : DA
8BD8 32 0D 20 52 45 54 0D 3B : 92
8BE0 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D : C3
8BE8 B2 BC 2D 2D 2D 2D 2D : F1
8BF0 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D : 68
8BF8 2D 2D 2D 2D 0D 50 41 55 : A7

```

SUM: 5A 71 88 AD 22 87 7F 06 B068

```

8C00 53 45 3A 20 4C 44 20 48 : EA
8C08 4C 2C 30 30 31 31 48 0D : 8F
8C10 20 43 41 4C 4C 20 4C 4F : F7
8C18 43 0D 20 43 41 4C 4C 20 : AC
8C20 4D 50 52 49 4E 54 0D 20 : 07
8C28 44 45 46 4D 20 27 50 41 : F4
8C30 55 53 45 21 27 0D 20 44 : A6

```

♪ マシン語体操 1・2・3 をいつも愛読しています。周りの者からは役に立ちそうなど
 だけ利用され、それ以外では粗大変人として扱われながらパソコンに向かう毎日です。
 でも本人はいたって明るいですよ。これからもがんばってください。原 圭 (24) 京都府


```

8C38 45 46 42 20 30 0D 20 43 : 8D
8C40 41 4C 4C 20 4C 4F 43 0D : E4
8C48 20 43 41 4C 4C 20 42 45 : E3
8C50 4C 4C 0D 50 31 3A 20 43 : C3
8C58 41 4C 4C 20 47 45 54 4B : 24
8C60 59 0D 20 43 50 20 31 42 : AC
8C68 48 0D 20 4A 52 20 5A 2C : B7
8C70 50 31 0D 50 32 3A 20 43 : AD
8C78 41 4C 4C 20 47 45 54 4B : 24
SUM: 4D AD 69 8F FA 23 95 88 72AD

```

```

8C80 59 0D 20 4F 52 20 41 0D : 95
8C88 20 4A 52 20 5A 2C 50 32 : E4
8C90 0D 20 50 4F 50 20 48 4C : D0
8C98 0D 20 43 50 20 30 43 48 : 9B
8CA0 0D 20 4A 50 20 5A 2C 4A : B1
8CA8 31 0D 20 43 41 4C 4C 20 : 9A
8CB0 4D 50 52 49 4E 54 0D 20 : 07
8CB8 44 45 46 4D 20 27 20 20 : A3
8CC0 20 20 20 20 27 0D 20 44 : 18
8CC8 45 46 42 20 30 0D 20 43 : 8D
8CD0 41 4C 4C 20 42 45 4C 4C : 18
8CD8 0D 20 58 4F 52 20 41 0D : 94
8CE0 20 4C 44 20 28 50 46 4C : DA
8CE8 41 47 29 2C 41 0D 20 4A : 95
8CF0 50 20 28 48 4C 29 0D 3B : 9D
8CF8 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D : EF
SUM: F3 0B CF A7 B8 EF 21 E9 633A

```

```

8D00 BC DE AE B3 20 2D 2D 2D : A2
8D08 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D : 68
8D10 2D 2D 2D 2D 0D 53 43 52 : A9
8D18 4F 4C 4C 3A 20 4C 4A 20 : F1
8D20 48 4C 2C 31 34 30 40 48 : CD
8D28 0D 20 43 41 4C 4C 20 4C : B5
8D30 4F 43 0D 20 4C 44 20 48 : B7
8D38 4C 2C 52 44 41 54 41 0D : F1
8D40 20 4C 44 20 44 2C 33 0D : 80
8D48 52 31 3A 20 4C 44 20 41 : CE
8D50 2C 28 48 4C 29 0D 20 4C : 8A
8D58 44 20 43 2C 35 0D 52 32 : 99
8D60 3A 20 4C 44 20 42 2C 38 : B0
8D68 0D 52 33 3A 20 52 4C 43 : CD
8D70 41 0D 20 50 55 53 48 20 : CE
8D78 41 46 0D 20 50 55 53 48 : F4
SUM: 8D 78 41 46 0D 20 50 55 53 48 : F4

```

```

SUM: 00 E9 D7 C3 5A D3 6A 64 0560
8D80 20 48 4C 0D 20 4C 44 20 : 91
8D88 48 4C 2C 28 59 41 44 52 : 18
8D90 29 0D 20 4C 44 20 41 2C : 73
8D98 28 48 4C 29 0D 20 50 4F : B1
8DA0 50 20 48 4C 0D 20 4A 52 : CD
8DA8 20 43 2C 52 34 0D 20 43 : 85
8DB0 41 4C 4C 20 50 52 49 4E : 32
8DB8 54 53 0D 20 4A 52 20 52 : E2
8DC0 35 0D 52 34 3A 20 43 41 : A6
8DC8 4C 4C 20 50 52 49 4E 54 : 45
8DD0 0D 52 35 3A 20 50 4F 50 : DD
8DD8 20 41 46 0D 20 44 4A 4E : B0
8DE0 5A 20 52 33 0D 20 44 45 : B5
8DE8 43 20 43 0D 20 4A 52 20 : 8F
8DF0 4E 5A 2C 52 32 0D 20 52 : D7
8DF8 4C 43 20 28 48 4C 29 0D : A1
SUM: A3 B4 7F 0D 18 5E F5 19 74C4

```

```

8E00 20 49 4E 43 20 48 4C 0D : BB
8E08 20 44 45 43 20 44 0D 20 : 7D
8E10 4A 52 20 4E 5A 2C 52 31 : 13
8E18 0D 20 52 45 54 0D 3B 2D : 8D
8E20 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D : 68
8E28 B3 B7 20 2D 2D 2D 2D 2D : 6B
8E30 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D 2D : 68
8E38 2D 2D 2D 0D 40 4D 4F 56 : C6
8E40 45 3A 20 4C 44 20 48 4C : E3
8E48 2C 28 40 58 59 29 0D 20 : 9B
8E50 43 41 4C 4C 20 47 45 54 : 1C
8E58 48 59 0D 20 43 50 20 27 : AB
8E60 35 27 0D 20 4A 52 20 5A : 9F
8E68 2C 40 31 31 0D 20 43 50 : 8E
8E70 20 27 53 27 0D 20 4A 52 : 8A
8E78 20 5A 2C 40 31 31 0D 20 : 75
SUM: 71 21 22 75 4A 2F CE F8 E1BE

```

```

8E80 43 50 20 30 44 48 0D 20 : 9C
8E88 4A 52 20 5A 2C 40 31 31 : E4
8E90 0D 20 43 50 20 27 20 27 : 4E
8E98 0D 20 4A 52 20 5A 2C 40 : AF
8EA0 31 31 0D 20 4C 44 20 28 : 67
8EA8 4B 44 41 54 41 29 2C 41 : FB
8EB0 0D 20 43 50 20 31 42 48 : 9B
8EB8 0D 20 4A 52 20 5A 2C 40 : AF
SUM: 8E 80 43 50 20 30 44 48 0D 20 : 9C

```

```

8EC0 31 30 0D 20 43 50 20 27 : 68
8EC8 31 27 0D 20 4A 52 20 5A : 9B
8ED0 2C 40 31 0D 20 43 50 20 : 7D
8ED8 27 5A 27 0D 20 4A 52 20 : 91
8EE0 5A 2C 40 31 0D 20 43 50 : B7
8EE8 20 27 32 27 0D 20 4A 52 : 69
8EF0 20 5A 2C 40 32 0D 20 43 : 88
8EF8 50 20 27 58 27 0D 20 4A : 8D
SUM: DC 55 DF 8C BD 8A F3 99 56FB

```

```

8F00 52 20 5A 2C 40 32 0D 20 : 97
8F08 43 50 20 31 46 48 0D 20 : 9F
8F10 4A 52 20 5A 2C 40 32 0D : C1
8F18 20 43 50 20 27 33 27 0D : 61
8F20 20 4A 52 20 5A 2C 40 33 : D5
8F28 0D 20 43 50 20 27 43 27 : 71
8F30 0D 20 4A 52 20 5A 2C 40 : AF
8F38 33 0D 20 43 50 20 27 34 : 6E
8F40 27 0D 20 4A 52 20 5A 2C : 96
8F48 40 34 0D 20 43 50 20 27 : 7B
8F50 41 27 0D 20 4A 52 20 5A : AB
8F58 2C 40 34 0D 20 43 50 20 : 80
8F60 31 44 48 0D 20 4A 52 20 : A6
8F68 5A 2C 40 34 0D 20 43 50 : BA
8F70 20 27 36 27 0D 20 4A 52 : 6D
8F78 20 5A 2C 40 36 0D 20 43 : 8C
SUM: 0B 35 41 1B 32 56 32 FA D302

```

```

8F80 50 20 27 44 27 0D 20 4A : 79
8F88 52 20 5A 2C 40 36 0D 20 : 9B
8F90 43 50 20 31 43 48 0D 20 : 9C
8F98 4A 52 20 5A 2C 40 36 0D : C5
8FA0 20 43 50 20 27 37 27 0D : 65
8FA8 20 4A 52 20 5A 2C 40 37 : D9
8FB0 0D 20 43 50 20 27 51 27 : 7F
8FB8 0D 20 4A 52 20 5A 2C 40 : AF
8FC0 37 0D 20 43 50 20 27 38 : 76
8FC8 27 0D 20 4A 52 20 5A 2C : 96
8FD0 40 38 0D 20 43 50 20 27 : 7F
8FD8 57 27 0D 20 4A 52 20 5A : C1
8FE0 2C 40 38 0D 20 43 50 20 : 84
8FE8 31 45 48 0D 20 4A 52 20 : A7
8FF0 5A 2C 40 38 0D 20 43 50 : BE
8FF8 27 27 39 27 0D 20 4A 52 : 70
SUM: 55 00 43 23 20 5E 44 09 5D09

```

リスト 2 TANGERINE データ部

```

9000 32 03 41 01 08 09 42 01 : CB
9008 08 0F 43 01 1E 0A 41 02 : C6
9010 03 08 41 02 03 06 41 02 : 9A
9018 14 02 42 03 03 04 42 03 : A7
9020 03 06 42 03 14 0C 43 03 : B4
9028 03 0E 43 03 03 10 43 03 : B0
9030 1E 10 23 01 05 04 23 01 : 7F
9038 05 0A 23 01 1E 0A DB 02 : 38
9040 02 0A DB 02 02 0A DB 02 : D2
9048 0A 12 DB 03 02 12 DB 03 : EC
9050 02 12 DB 03 0A 06 DB 02 : DF
9058 02 06 DB 02 02 06 DB 02 : CA
9060 1E 0A 3C 03 01 0A 4F 01 : C2
9068 01 0A 3C 02 1E 0D 7D 01 : F2
9070 01 0E 7D 01 01 0F 7D 01 : 1B
9078 01 10 7D 01 01 17 7D 01 : 1F
SUM: AB B0 B0 20 97 A6 BC 1E F50E

```

```

9080 0A 03 7D 01 01 04 7D 01 : 0E
9088 01 05 7D 01 01 06 7D 01 : 09
9090 01 07 7D 01 0A 08 7D 01 : 16
9098 01 09 7D 01 01 0A 7D 01 : 11
90A0 01 0B 7D 01 01 0C 7D 01 : 15
90A8 1E 12 23 01 03 06 23 01 : 81
90B0 03 0C 23 01 14 10 2B 01 : 83
90B8 05 0A 2B 01 05 0A DB 01 : 70
90C0 0A 06 2A 04 03 12 2A 04 : 81
90C8 03 0C 2A 04 14 02 58 02 : AD
90D0 10 12 58 03 10 0A 58 02 : F1
90D8 10 04 58 03 10 06 58 02 : DF
90E0 10 0E 58 03 10 0C 58 02 : EF
90E8 1E 04 30 01 02 04 39 01 : 93
90F0 14 04 33 03 02 05 36 03 : 8E
90F8 10 12 32 02 02 11 37 02 : A2
SUM: B3 95 D3 1F 77 92 1A 1A DB69

```

```

9100 10 0A 34 03 02 0B 35 03 : 96
9108 10 0C 31 02 02 0B 38 02 : 96
9110 10 01 33 03 02 02 33 03 : 81
9118 02 03 33 03 10 10 35 02 : 92
9120 02 0F 36 02 02 0E 38 02 : 93
9128 1E 08 2B 01 0A 10 2B 01 : 98
9130 05 03 2B 01 1E 0B 40 02 : 9F
9138 02 0B 4F 02 02 0B 4F 02 : BC
9140 02 0B 4F 02 02 0B 4F 02 : BC
9148 02 08 40 03 01 0B 4F 02 : AA
9150 02 08 4F 03 01 0B 4F 02 : B9
9158 02 08 4F 03 01 0B 4F 02 : B9
SUM: 91 00 0A 34 03 02 0B 35 03 : 96

```

```

9160 02 08 4F 03 01 0B 4F 02 : B9
9168 02 08 4F 03 02 08 4F 03 : B8
9170 02 08 4F 03 02 08 4F 03 : B8
9178 02 08 4F 03 1E 11 2A 04 : B9
SUM: 69 82 0F 28 6A B4 1A 25 E9D0

```

```

9180 05 02 2A 04 05 0C 2A 04 : 74
9188 05 07 2A 04 14 0A 2B 01 : 7E
9190 01 08 2B 01 01 0C 2B 01 : 6E
9198 01 10 2B 01 0A 02 2B 01 : 75
91A0 01 06 2B 01 01 0A 2B 01 : 6A
91A8 01 0E 2B 01 01 12 2B 01 : 7A
91B0 1E 0F DB 02 02 0F DB 02 : F8
91B8 02 0F DB 02 0A 12 DB 03 : E8
91C0 02 12 DB 03 02 12 DB 03 : E4
91C8 0A 05 DB 02 02 05 DB 02 : D0
91D0 02 05 DB 02 1E 04 23 01 : 2A
91D8 05 10 23 01 05 0A 23 01 : 6C
91E0 24 02 24 01 05 12 24 01 : 87
91E8 05 08 24 01 05 0C 7D 01 : C1
91F0 02 0C 7D 01 02 0C 7D 01 : 18
91F8 02 0C 7D 01 01 0F 24 01 : C1
SUM: 6E A1 AC 1C 66 B9 F5 19 D324

```

```

9200 02 0A 28 01 01 0B 2E 01 : 70
9208 01 0C 7D 01 02 09 4F 01 : E6
9210 01 0A 48 01 01 0B 4D 01 : AE
9218 01 0C 7D 01 02 0A 29 01 : C1
9220 01 0B 2E 01 01 0C 7D 01 : C6
9228 02 03 24 01 01 0C 7D 01 : B5
9230 02 0C 7D 01 02 0C 7D 01 : 18
9238 02 11 24 01 01 0C 7D 01 : C3
9240 05 0A 24 01 05 06 24 01 : 64
9248 05 0E 24 01 46 01 20 01 : A0
9250 00 32 04 4F 03 0A 4F : EB
9258 02 0A 0E 4F 03 1E 02 23 : AF
9260 01 01 07 23 01 01 0C 23 : 5D
9268 01 01 11 23 01 1E 06 3C : 97
9270 03 02 07 3C 03 02 08 3C : 91
9278 03 0A 0D 3C 02 02 0C 3C : A2
SUM: 20 B9 E3 66 63 AB 5D 53 5D04

```

```

9280 02 02 0B 3C 02 0A 02 3C : 95
9288 03 02 03 3C 03 02 0A 3C : 89
9290 03 1E 12 2A 04 05 03 2A : 93
9298 04 05 08 2A 04 05 0D 2A : 7B
92A0 04 1E 02 2B 01 01 06 2B : 82
SUM: 92 80 02 02 0B 3C 02 0A 02 3C : 95

```

```

92A8 01 01 0A 2B 01 01 0E 2B : 72
92B0 01 01 12 2B 01 0A 04 2B : 79
92B8 01 01 08 2B 01 01 0C 2B : 6E
92C0 01 01 10 2B 01 1E 12 43 : B1
92C8 06 0A 0A 43 06 0A 02 43 : B2
92D0 05 0A 12 43 05 0A 05 3C : B4
92D8 03 01 0A 4F 01 01 0F 3C : AA
92E0 02 1E 10 2A 04 01 0A 2A : 93
92E8 04 01 04 2A 04 01 0A 2A : 7B
92F0 04 01 0A 2A 04 01 0A 2A : 6C
92F8 04 0A 10 2A 04 01 0A 2A : 81
SUM: 30 88 B2 20 2E 63 8A 1E E8A0

```

```

9300 04 01 04 2A 04 1E 10 DB : 40
9308 03 02 10 DB 03 02 10 DB : E0
9310 03 0A 04 DB 02 02 04 DB : CF
9318 02 02 0A DB 02 0A 0D DB : D7
9320 02 02 0D DB 02 02 0D DB : D8
9328 02 1E 0B 23 01 05 11 23 : 88
9330 01 05 05 23 01 01 03 03 : CD
9338 01 01 04 7D 01 01 05 7D : 07
9340 01 01 06 7D 01 01 07 7D : 0B
9348 01 01 0D 7D 01 01 0E 7D : 19
9350 01 01 0F 7D 01 01 10 7D : 1D
9358 01 01 11 7D 01 0C 08 7D : 22
9360 04 01 09 7D 04 01 0A 7D : 17
9368 04 01 0B 7D 04 01 0C 7D : 1B
9370 04 14 11 2A 04 05 0E 2A : 94
9378 04 05 0B 2A 04 14 0A 4F : AF
SUM: 26 54 A0 9B 24 7C B2 CB 8F50

```

```

9380 02 0A 0C 4F 02 0A 0E 4F : D0
9388 03 1E 08 41 02 03 06 41 : B6
9390 02 03 04 41 02 04 02 42 : A4
9398 03 03 04 42 03 03 06 42 : 9A
93A0 03 14 0A 43 03 03 0C 43 : B9
93A8 03 03 0E 43 03 1E 13 53 : DE
93B0 01 02 13 2D 01 02 13 4F : A8
93B8 01 02 13 53 01 02 13 22 : A1
93C0 01 02 13 53 01 02 13 57 : D6
93C8 01 02 13 4F 01 02 13 52 : CD
93D0 01 02 13 44 01 02 13 22 : 92
93D8 01 1E 06 41 05 02 06 41 : B4
93E0 05 02 06 41 05 0A 10 42 : AF
93E8 06 02 10 42 06 02 10 42 : B4
93F0 06 0A 0A 43 05 02 0A 43 : B1
93F8 05 02 0A 43 05 14 05 23 : 95
SUM: 93 80 02 0A 0C 4F 02 0A 0E 4F : D0

```

♪うれしいよー、2月号には両手を上げて喜びました。なんといつてもS-OSの再掲載がうれしい。待っていただけに、とおってもよかった。しかも満開製作所からは「満開2号」が、2007年2月上旬発売とは。いまからお金ためようっと。 丹羽 章暢 (18) 愛知県

SUM: 2C 7D C3 49 2E 73 CF 11 4E07

9400 01 01 0F 23 01 05 0A 23 : 67
9408 01 1E 0A 3C 01 02 0A 3C : AE
9410 01 01 05 3C 02 01 0F 3C : 91
9418 03 02 0A 3C 01 01 05 3C : 8E
9420 02 01 0F 3C 03 02 05 3C : 94
9428 02 01 0F 3C 03 1E 03 2B : 9D
9430 01 01 08 2B 01 01 0D 2B : 6F
9438 01 01 12 2B 01 1E 01 4F : AE
9440 06 0A 0A 4F 0A 0A 13 4F : D9
9448 05 14 08 7D 0A 01 0D 7D : 2D
9450 04 02 0A 3C 01 01 0C 4A : A4
9458 01 02 09 30 01 01 0A 4D : 95
9460 01 01 0B 4D 01 02 0A 3E : A5
9468 01 01 0C 4C 01 0A 08 7D : EA
9470 04 01 0D 7D 0A 0A 08 7D : 22
9478 04 01 0D 7D 0A 0A 08 7D : 22

SUM: 26 4C B6 70 21 75 96 D0 CE60

9480 04 01 0D 7D 0A 46 01 20 : FA
9488 01 00 32 08 DB 02 02 08 : 22
9490 DB 02 02 08 DB 02 0A 02 : D0
9498 DB 03 02 02 DB 03 02 02 : C4
94A0 DB 03 0A 05 DB 02 02 05 : D1
94A8 DB 02 02 05 DB 02 1E 0A : E3
94B0 3C 04 01 10 3C 0A 05 06 : 9C
94B8 3C 04 01 0E 3C 0A 05 08 : 9C
94C0 3C 04 01 0C 3C 0A 05 0A : 9C
94C8 3C 04 14 06 23 01 01 0E : 8D
94D0 23 01 0A 06 23 01 01 0E : 67
94D8 23 01 1E 03 58 02 0A 06 : AF
94E0 58 02 0A 09 58 02 0A 0C : D9
94E8 58 02 0A 0F 58 02 0A 12 : ED
94F0 58 02 0A 0C 58 03 1E 0A : F3
94F8 7D 01 02 0A 7D 01 02 0A : 14

SUM: 2C 24 AE 00 22 69 7E A1 A2A1

9500 7D 01 02 07 7D 01 01 08 : 0E
9508 7D 01 01 09 7D 01 01 0A : 11
9510 7D 01 01 0B 7D 01 01 0C : 15
9518 7D 01 01 0D 7D 01 02 0A : 16
9520 7D 01 02 0A 7D 01 02 0A : 14
9528 7D 01 0A 03 2B 0A 01 11 : CC
9530 2B 0A 02 06 2B 0A 01 0E : 75
9538 2B 0A 1E 03 04 02 02 03 : 97
9540 4F 02 02 03 4F 02 02 03 : AC
9548 4F 02 02 03 4F 02 02 03 : AC
9550 4F 02 02 03 4F 02 02 03 : AC
9558 4F 02 02 03 4F 02 02 0A : B3
9560 40 03 02 0A 4F 03 02 0A : AD
9568 4F 03 02 0A 4F 03 02 0A : BC
9570 4F 03 02 0A 4F 03 02 0A : BC
9578 4F 03 02 0A 4F 03 02 0A : BC

SUM: AD 22 41 72 7F 23 1B 8F 61C8

9580 4F 03 02 11 40 02 02 11 : BA
9588 4F 02 02 11 4F 02 02 11 : C8
9590 4F 02 02 11 4F 02 02 11 : C8
9598 4F 02 02 11 4F 02 02 11 : C8
95A0 4F 02 02 11 4F 02 1E 06 : D9
95A8 23 01 01 0A 23 01 01 0E : 62
95B0 23 01 05 06 23 01 01 0A : 5E
95B8 23 01 01 0E 23 01 05 06 : 62
95C0 23 01 01 0A 23 01 01 0E : 62
95C8 23 01 1E 0A 4D 03 01 0B : A8
95D0 4D 03 01 0C 4D 03 14 06 : C7
95D8 4D 02 01 07 4D 02 01 08 : AF
95E0 4D 02 14 02 4D 03 01 03 : B9
95E8 4D 03 01 04 4D 03 1E 05 : C8
95F0 2B 01 01 0A 2B 01 01 0F : 73
95F8 2B 01 1E 0A 3C 05 01 0A : A0

SUM: C4 1C 66 B4 F0 22 65 B0 5380

9600 3C 06 0A 0A 3C 05 01 0A : A2
9608 3C 06 0A 0A 3C 05 01 0A : A2
9610 3C 06 0A 0A 3C 05 01 0A : A2
9618 3C 06 14 04 23 01 01 08 : 87
9620 23 01 01 0C 23 01 01 10 : 66
9628 23 01 14 0A 2A 04 02 06 : 78
9630 2A 04 01 0E 2A 04 02 02 : 6F
9638 2A 04 01 12 2A 04 0A 0A : 83
9640 2A 04 02 06 2A 04 01 0E : 73
9648 2A 04 02 02 2A 04 01 12 : 73
9650 2A 04 0A 0A 2A 04 02 06 : 78
9658 2A 04 01 0E 2A 04 02 02 : 6F
9660 2A 04 01 12 2A 04 0A 0A : 83
9668 2A 04 02 06 2A 04 01 0E : 73
9670 2A 04 02 02 2A 04 01 12 : 73
9678 2A 04 14 12 30 01 02 12 : 99

SUM: DA 42 71 A4 CE 3A 27 AC BCF3

9680 30 01 02 12 30 01 08 0F : 8D
9688 30 01 02 0F 30 01 07 0C : 86
9690 30 01 02 0C 30 01 07 09 : 80
9698 30 01 02 09 30 01 02 09 : 78
96A0 30 01 02 0A 2A 0A 0D : 82
96A8 2A 0A 0A 03 2A 0A 0F : 7A
96B0 3C 01 01 13 23 01 02 07 : 7E
96B8 21 01 01 08 21 01 01 09 : 57
96C0 21 01 01 0A 21 01 01 0B : 5B
96C8 21 01 01 0C 21 01 01 0D : 5F

96D0 21 01 01 0E 21 01 01 0F : 63
96D8 21 01 01 10 21 01 01 11 : 67
96E0 21 01 01 12 21 01 01 13 : 6B
96E8 23 01 02 13 23 01 02 10 : 6F
96F0 2A 04 0A 02 2A 0A 0C : 7E
96F8 2A 04 10 10 23 01 01 11 : 84

SUM: 93 19 37 C9 6D 19 41 C9 3EDE

9700 23 01 01 12 23 01 01 13 : 6F
9708 23 01 02 10 23 01 02 0E : 6A
9710 23 01 01 0F 23 01 01 10 : 69
9718 23 01 01 12 28 01 01 13 : 74
9720 2E 01 02 0E 23 01 01 11 : 75
9728 4F 01 01 12 48 01 01 13 : C0
9730 4D 01 02 0E 23 01 01 0F : 92
9738 23 01 01 10 23 01 01 12 : 6C
9740 29 01 01 13 2E 01 02 10 : 7F
9748 23 01 02 10 23 01 01 11 : 6C
9750 23 01 01 12 23 01 01 13 : 6F
9758 23 01 02 0D 2A 0A 0A 05 : 70
9760 2A 0A 0A 13 2A 0A 10 10 : 99
9768 23 01 01 11 23 01 01 12 : 6D
9770 23 01 01 13 23 01 02 10 : 6E
9778 2D 01 01 13 2D 01 02 10 : 82

SUM: A8 13 1E 0D 7D 16 2C 04 F34F

9780 2D 01 01 13 2D 01 02 0E : 80
9788 23 01 01 0F 21 01 01 10 : 67
9790 21 01 01 11 21 01 01 12 : 69
9798 21 01 01 13 21 01 02 0E : 68
97A0 23 01 02 0E 23 01 02 0E : 68
97A8 23 01 01 0F 21 01 01 10 : 67
97B0 21 01 01 11 21 01 01 12 : 69
97B8 21 01 01 13 21 01 02 08 : 62
97C0 2A 0A 0A 0D 2A 0A 0A 03 : 80
97C8 2A 0A 0A 0F 2A 0A 46 01 : BC
97D0 20 01 00 32 0A 40 02 02 : A1
97D8 0A 4F 02 02 0A 4F 02 02 : BA
97E0 0A 4F 02 02 0A 4F 02 02 : BA
97E8 0A 4F 02 02 0A 4F 02 02 : BA
97F0 0A 4F 02 02 0C 4F 02 02 : B0
97F8 0C 4F 02 02 0C 4F 02 02 : BE

SUM: C2 9C 27 E2 AA CC 68 86 1649

9800 0C 4F 02 02 0C 4F 02 02 : BE
9808 0C 4F 02 02 0C 4F 02 02 : BE
9810 0C 4F 02 02 0E 0C 4F 02 02 : B5
9818 0E 4F 03 02 0E 4F 03 02 : C4
9820 0E 4F 03 02 0E 4F 03 02 : C4
9828 0E 4F 03 02 0E 4F 03 02 : C4
9830 0E 4F 03 1E 0A 2B 01 01 : AF
9838 08 2B 01 01 0C 2B 01 01 : 6E
9840 10 2B 01 1E 0B 4D 03 01 : B6
9848 0C 4D 03 01 0D 4D 03 0A : C4
9850 01 4D 03 01 02 4D 03 01 : A5
9858 03 4D 03 0A 0B 4D 02 01 : B8
9860 0C 4D 02 01 0D 4D 02 1E : D6
9868 0A 58 01 26 02 58 02 05 : EA
9870 0E 58 03 05 06 58 02 05 : D3
9878 0E 58 03 05 0A 58 02 05 : D1

SUM: B0 BB 26 89 A4 AA 25 48 FE23

9880 0C 58 03 05 0E 58 02 26 : FA
9888 08 23 01 01 0C 23 01 03 : 60
9890 0A 23 01 1E 08 3C 06 02 : 98
9898 08 3C 06 02 08 3C 06 02 : 98
98A0 0C 3C 05 02 0C 3C 05 02 : 9E
98A8 0C 3C 05 02 0F 3C 06 02 : A2
98B0 0F 3C 06 02 0F 3C 06 02 : A6
98B8 09 3C 05 02 09 3C 05 02 : 98
98C0 09 3C 05 1E 0C 4F 04 02 : C9
98C8 0C 4F 04 02 0C 4F 04 05 : C5
98D0 12 4F 04 02 12 4F 04 02 : CE
98D8 12 4F 04 05 0F 4F 04 02 : CE
98E0 0F 4F 04 02 0F 4F 04 05 : CB
98E8 09 4F 04 02 0F 4F 04 02 : BC
98F0 09 4F 04 05 03 4F 04 02 : B9
98F8 03 4F 04 02 03 4F 04 05 : B3

SUM: B3 2F 41 60 B4 5B 45 4E D1E0

9900 06 4F 04 02 06 4F 04 02 : B6
9908 06 4F 04 14 04 2B 01 01 : 9E
9910 0A 2B 01 01 10 2B 01 1E : 91
9918 02 7D 01 01 0A 7D 01 01 : 04
9920 06 7D 01 01 08 7D 01 01 : 0C
9928 0A 7D 01 01 0C 7D 01 01 : 14
9930 0E 7D 01 01 10 7D 01 01 : 1C
9938 12 7D 01 0A 01 7D 04 01 : 1D
9940 03 7D 04 01 05 7D 04 01 : 0C
9948 07 7D 04 01 09 7D 04 01 : 14
9950 0B 7D 04 01 0D 7D 04 01 : 1C
9958 0F 7D 04 01 11 7D 04 01 : 24
9960 13 7D 04 14 02 4F 02 0A : 05
9968 0A 4F 03 0A 12 4F 02 14 : DD
9970 02 23 01 01 0A 23 01 01 : 56
9978 12 23 01 14 02 DB 02 02 : 2B

SUM: 9D 40 27 5C 8F A6 25 4B 664C

9980 02 DB 02 02 02 DB 02 0A : CA
9988 06 DB 02 02 06 DB 02 02 : CA
9990 06 DB 02 0A 0A DB 03 02 : D7

9998 0A DB 03 02 0A DB 03 0A : DC
99A0 0E DB 03 02 0E DB 03 02 : DC
99A8 0E DB 03 1E 0A 56 02 0A : 76
99B0 0E 56 02 0A 12 56 02 0A : E4
99B8 10 56 03 0A 0C 56 03 0A : E2
99C0 08 56 03 1E 03 2B 04 01 : B2
99C8 12 2B 04 05 08 2B 04 01 : 7E
99D0 0D 2B 0A 0A 08 7D 01 01 : CD
99D8 09 7D 01 01 0A 7D 01 01 : 11
99E0 0B 7D 01 01 0C 7D 01 02 : 16
99E8 0B 7D 01 01 0A 28 01 01 : BB
99F0 0B 2E 01 01 0C 7D 01 02 : C7
99F8 08 7D 01 01 09 4F 01 01 : E1

SUM: A8 9C 24 76 9A 0A 22 42 18B5

9A00 0A 48 01 01 0B 4D 01 01 : AE
9A08 0C 7D 01 02 08 7D 01 01 : 13
9A10 0A 29 01 01 0E 2E 01 01 : 70
9A18 0C 7D 01 02 08 7D 01 01 : 13
9A20 09 7D 01 01 0A 7D 01 01 : 11
9A28 0B 7D 01 01 0C 7D 01 46 : 5A
9A30 02 4F 05 0A 0C 4F 05 04 : BE
9A38 0A 4F 06 0A 0E 4F 06 04 : C4
9A40 06 4F 05 0A 10 4F 05 04 : C6
9A48 08 4F 06 0A 12 4F 06 04 : CC
9A50 0A 4F 05 0A 0A 4F 06 46 : 07
9A58 01 20 01 00 32 0A 2A 04 : 86
9A60 06 08 2A 0A 06 0C 2A 04 : 7C
9A68 06 06 2A 0A 06 10 2A 04 : 7E
9A70 06 0A 2A 0A 14 0A 58 03 : B7
9A78 08 0C 58 02 08 08 58 03 : D9

SUM: 79 34 F8 2A DC 2C 50 B3 0A94

9A80 08 0E 58 02 08 06 58 03 : D9
9A88 08 10 58 02 08 01 58 03 : D6
9A90 14 05 3C 05 02 05 3C 05 : A2
9A98 02 05 3C 05 02 08 4D 03 : A2
9AA0 01 07 4D 03 01 06 4D 03 : AF
9AA8 0A 12 4D 02 01 11 4D 02 : CC
9AB0 01 10 4D 02 0A 0A 4D 03 : C4
9AB8 01 0B 4D 03 01 0C 4D 03 : B9
9AC0 26 02 3D 04 01 06 3D 04 : B1
9AC8 01 0A 3D 04 01 0E 3D 04 : 9C
9AD0 01 12 3D 04 03 0A 3D 04 : 9C
9AD8 01 08 3D 04 01 0C 3D 04 : 98
9AE0 01 10 3D 04 06 0A 3C 01 : 9F
9AE8 01 0A 3C 02 01 0A 3C 03 : 93
9AF0 02 0A 3C 01 01 0A 3C 02 : 92
9AF8 01 0A 3C 03 02 0A 3C 01 : 93

SUM: 61 B0 41 32 31 8D 51 30 CCEF

9B00 01 0A 3C 02 01 0A 3C 03 : 93
9B08 14 04 2A 0A 01 08 2A 04 : 7D
9B10 01 0C 2A 0A 01 10 2A 04 : 7A
9B18 14 0C 7D 03 01 0B 7D 03 : 2C
9B20 01 0A 7D 03 02 0B 7D 03 : 18
9B28 01 0D 7D 03 02 0C 7D 03 : 1C
9B30 01 0D 7D 03 01 0E 7D 03 : 1D
9B38 10 05 7D 02 01 06 7D 02 : 1A
9B40 01 07 7D 02 02 0A 7D 02 : 0C
9B48 01 06 7D 02 02 03 7D 02 : 0A
9B50 01 04 7D 02 01 05 7D 02 : 09
9B58 10 0F 7D 02 01 10 7D 02 : 2E
9B60 01 11 7D 02 02 0E 7D 02 : 20
9B68 01 10 7D 02 02 0D 7D 02 : 1E
9B70 01 0E 7D 02 01 0F 7D 02 : 1D
9B78 1E 12 DB 02 02 12 DB 02 : FE

SUM: 71 B0 47 28 17 B0 47 29 6151

9B80 02 12 DB 02 08 02 DB 03 : D9
9B88 02 02 DB 03 02 02 DB 03 : C4
9B90 08 05 DB 02 02 05 DB 02 : CE
9B98 02 05 DB 02 1E 05 51 01 : 59
9BA0 02 0A 41 01 02 0F 5A 01 : BA
9BA8 07 05 57 01 02 0A 53 01 : C4
9BB0 02 0F 58 01 07 05 45 01 : BC
9BB8 02 0A 44 01 02 0F 43 01 : A6
9BC0 1E 10 33 02 02 0F 36 02 : AC
9BC8 02 0E 39 02 02 0D 30 02 : 8C
9BD0 02 0C 30 02 02 0B 30 02 : 7F
9BD8 1E 02 4F 02 06 07 4F 02 : CF
9BE0 06 0C 4F 02 06 11 4F 02 : CB
9BE8 1E 0A 41 03 02 0B 41 03 : BD
9BF0 02 0C 41 03 0A 05 42 02 : A5
9BF8 02 04 42 02 03 42 02 : 93

SUM: 83 98 9E 1F 57 8D 10 1E 5401

9C00 0A 0F 43 02 02 0E 43 02 : B3
9C08 02 0D 43 02 1E 03 24 01 : 9A
9C10 02 0A 24 01 02 11 24 01 : 69
9C18 14 0C 0A 02 02 0B DE 02 : D3
9C20 02 0A DB 02 0A 0D 28 02 : 2A
9C28 02 0C 50 02 02 0B 29 02 : 98
9C30 1E 11 24 04 02 0A 24 04 : 8B
9C38 02 03 24 04 14 02 4F 03 : 95
9C40 02 03 62 03 0A 02 4C 03 : C5
9C48 02 03 61 03 0A 02 44 03 : BC
9C50 02 03 69 03 0A 0D 4F 02 : D9
9C58 02 0C 62 02 0A 0D 4C 02 : D7
9C60 02 0C 61 02 0A 0D 44 02 : CE
9C68 02 0C 61 02 1E 08 DB 05 : 77
9C70 01 0C DB 06 0A 0A DB 05 : DC

トはきりってS-OSがここまで充実するとは思いませんでした。これからも発展して
いくのでしょうね。
松尾 和茂 (17) 佐賀県

9C78 01 10 DB 06 0A 08 DB 05 : E4

SUM: 54 A5 E7 2E AA 90 2D 2C 4676

```

9C80 01 0C DB 06 14 0E 56 03 : 69
9C88 04 0C 56 03 04 0A 56 03 : D0
9C90 0A 06 56 03 04 0A 56 03 : CA
9C98 04 02 56 03 0A 0A 56 02 : CB
9CA0 04 0C 56 02 04 0E 56 02 : D2
9CA8 46 01 20 01 00 32 10 4F : F9
9CB0 02 01 04 4F 03 14 04 4F : C0
9CB8 02 01 10 4F 03 14 0C 4F : D4
9CC0 02 01 08 4F 03 14 08 4F : C8
9CC8 02 01 0C 4F 03 1E 02 3C : BD
9CD0 05 02 02 3C 05 02 02 3C : 8A
9CD8 05 05 10 3C 06 02 10 3C : AA
9CE0 06 02 10 3C 06 05 08 3C : A3
9CE8 06 02 08 3C 06 02 08 3C : 98
9CF0 06 05 0F 3C 05 02 0F 3C : A8
9CF8 05 02 0F 3C 05 1E 03 23 : 9B

```

SUM: 86 43 C3 B6 57 EB 0C D4 1185

```

9D00 01 01 08 23 01 01 0D 23 : 5F
9D08 01 01 12 23 01 1E 0E 58 : BC
9D10 03 06 0D 58 03 06 0C 58 : DB
9D18 03 06 0B 58 03 06 0A 58 : D7
9D20 03 06 09 58 03 06 08 58 : D3
9D28 03 1E 03 2A 04 01 08 2A : 85
9D30 04 01 0D 2A 04 01 12 2A : 7D
9D38 04 14 13 3E 02 02 12 4F : CE
9D40 02 02 11 3C 02 0A 0B 3E : A6
9D48 03 02 0C 4F 03 02 0D 3C : AE
9D50 03 0A 01 3E 03 02 02 4F : A2
9D58 03 02 03 3C 03 1E 02 2B : 92
9D60 01 01 12 2B 01 03 06 2B : 74
9D68 01 01 0E 2B 01 03 0A 2B : 74
9D70 01 1E 0A 40 01 02 0A 3E : B4
9D78 01 0A 05 40 01 01 0F 40 : A1

```

SUM: 25 81 AE BB 24 6A AA EE 83E9

```

9D80 01 02 05 3E 01 01 0F 3E : 95
9D88 01 1E 0A 40 02 01 0A 40 : B6
9D90 03 02 09 3E 02 01 0B 3E : 98
9D98 03 14 05 40 02 01 0F 40 : AE

```

```

9DA0 03 02 04 3E 02 01 10 3E : 98
9DA8 03 14 0C 40 02 01 08 40 : AE
9DB0 03 02 0B 3E 02 01 09 3E : 98
9DB8 03 1E 0A 4C 01 02 0A 2E : B2
9DC0 01 02 0A 49 01 02 0A 2E : 91
9DC8 01 02 0A 42 01 02 0A 2E : 8A
9DD0 01 1E 03 45 02 02 02 33 : A0
9DD8 02 0A 0D 44 02 02 0C 33 : A0
9DE0 02 0A 12 43 02 02 11 37 : AD
9DE8 02 0A 0C 45 03 02 0D 33 : A2
9DF0 03 0A 02 47 03 02 03 33 : 91
9DF8 03 0A 08 41 02 02 07 35 : 96

```

SUM: 23 C0 8E 28 1E 19 A8 7A 45B4

```

9E00 02 0A 12 45 02 02 11 35 : AD
9E08 02 1E 01 58 03 06 0B 58 : E5
9E10 02 06 05 58 03 06 0F 58 : D5
9E18 02 06 09 58 03 06 13 58 : DD
9E20 02 06 0A 58 03 1E 0A 7D : 12
9E28 03 01 0B 7D 03 01 0C 7D : 19
9E30 03 01 0D 7D 03 02 0B 7D : 1B
9E38 03 01 0E 7D 03 02 0C 7D : 1D
9E40 03 01 0F 7D 03 02 0D 7D : 1F
9E48 03 01 0E 7D 03 01 0F 7D : 1F
9E50 03 01 10 7D 03 1E 10 56 : 18
9E58 02 0A 10 56 02 08 10 56 : E0
9E60 02 0A 0E 56 03 08 0E 56 : DF
9E68 03 08 0E 56 03 0A 02 56 : D4
9E70 03 08 02 56 03 0A 02 56 : C6
9E78 03 1E 08 DB 02 02 08 DB : EB

```

SUM: 29 80 B4 C6 2D 7C C1 B4 82F9

```

9E80 02 02 08 DB 02 06 11 DB : DB
9E88 03 02 11 DB 03 02 11 DB : E2
9E90 03 06 05 DB 03 02 05 DB : CE
9E98 03 02 05 DB 03 46 02 4F : 7F
9EA0 04 01 04 4F 06 01 06 4F : B4
9EA8 04 01 08 4F 06 01 0A 4F : BC
9EB0 04 01 0C 4F 05 01 0E 4F : C3
9EB8 04 01 10 4F 05 01 12 4F : CB
9EC0 04 46 01 20 01 00 32 0A : A8
9EC8 58 02 14 0A 58 02 0A 12 : EE
9ED0 58 02 08 0A 58 02 06 0E : DA
9ED8 58 03 06 02 58 03 06 0E : D2

```

```

9EE0 58 02 06 0A 58 03 06 07 : D2
9EE8 58 03 06 13 58 02 06 0E : E2
9EF0 58 03 06 0C 58 03 06 0A : D8
9EF8 58 02 06 01 58 03 06 05 : C7

```

SUM: 87 67 86 08 8A 66 B9 78 A7DC

```

9F00 58 02 06 0F 58 03 06 0A : DA
9F08 58 03 06 08 58 02 06 0A : D3
9F10 58 03 06 01 58 03 06 0A : CD
9F18 58 02 06 0E 58 03 06 02 : D1
9F20 58 03 06 0E 58 02 06 0A : D9
9F28 58 03 06 07 58 03 06 13 : DC
9F30 58 02 06 0E 58 03 06 0C : DB
9F38 58 03 06 0A 58 02 06 01 : CC
9F40 58 03 06 05 58 02 06 0F : D5
9F48 58 03 06 0A 58 03 06 08 : D4
9F50 58 02 06 0A 58 03 06 01 : C4
9F58 58 03 06 0A 58 02 06 0E : D9
9F60 58 03 06 02 58 03 06 0E : D2
9F68 58 02 06 0A 58 03 06 07 : D2
9F70 58 03 06 13 58 02 06 0E : E2
9F78 58 03 06 0C 58 03 06 0A : D8

```

SUM: 80 2B 60 A1 80 2A 60 9D 5E01

```

9F80 58 02 06 01 58 03 06 05 : C7
9F88 58 02 06 0F 58 03 06 0A : DA
9F90 58 03 06 08 58 02 06 0A : D3
9F98 58 03 06 01 58 03 06 0A : CD
9FA0 58 02 06 0E 58 03 06 02 : D1
9FA8 58 03 06 0E 58 02 06 0A : D9
9FB0 58 03 06 07 58 03 06 13 : DC
9FB8 58 02 06 0E 58 03 06 0C : DB
9FC0 58 03 06 0A 58 02 06 01 : CC
9FC8 58 03 06 05 58 02 06 0F : D5
9FD0 58 03 06 0A 58 03 06 08 : D4
9FD8 58 02 06 0A 58 03 06 01 : C4
9FE0 58 03 1E 05 7D 01 01 07 : 0A
9FE8 7D 01 01 09 7D 01 01 0B : 12
9FF0 7D 01 01 0D 7D 01 01 0F : C3
9FF8 7D 01 46 01 20 01 00 0F : F5

```

SUM: EF 25 AE 89 B7 24 4B 87 3C2E

リスト 3 TANGERINE ソースリスト

```

0000 1 ;
0000 2 ; TANGERINE BY M.KATAOKA
0000 3 ;
0000 4 PRINT EQU 1FF4H
0000 5 MPRINT EQU 1FE2H
0000 6 PRINTS EQU 1F11H
0000 7 PRINTH EQU 1FC1H
0000 8 MSX EQU 1FE5H
0000 9 GETKY EQU 1FD0H
0000 10 BELL EQU 1FC4H
0000 11 LOC EQU 201EH
0000 12 WIDCH EQU 2030H
0000 13 ;
0000 14 TDATA EQU 9000H
0000 15 OFFSET 4E00H-8000H
0000 16 ORG 8000H
0000 17 ;
0000 18 START1: LD HL,TDATA
0000 19 START2: LD (TADR1),HL
0000 20 XOR A
0000 21 ORL WIDCH
0000 22 MAIN1: CALL TITLE
0000 23 CALL INIT1
0000 24 MAIN2: CALL INIT2
0000 25 MAIN3: CALL SCROLL
0000 26 CALL @MOVE
0000 27 LD A,(PFLAG)
0000 28 DEC A
0000 29 JP Z,DEAD
0000 30 CALL MSIL
0000 31 CALL TEKI
0000 32 LD A,(PFLAG)
0000 33 DEC A
0000 34 JP Z,DEAD
0000 35 DEC A
0000 36 JP Z,CLEAR
0000 37 DEC A
0000 38 CALL Z,PAUSE
0000 39 CALL WAIT
0000 40 CALL MSIL
0000 41 JR MAIN3
0000 42 ;
0000 43 INIT1: LD HL,SDATA
0000 44 LD DE,SDATA+1
0000 45 LD BC,8+1+3+32-1
0000 46 LD (HL),0
0000 47 LDIR
0000 48 LD HL,IDATA
0000 49 LD DE,RDATA
0000 50 LD BC,10
0000 51 LDIR
0000 52 LD HL,(TADR1)
0000 53 LD (TADR2),HL
0000 54 LD (TADR3),HL
0000 55 110: CALL MPRINT
0000 56 DEFB 0CH
0000 57 DEFB 'TANGERINE'
0000 58 DEFB 'NE [01]'
0000 59 DEFB 0
0000 60 LD HL,001AH
0000 61 CALL LOC
0000 62 CALL MPRINT
0000 63 DEFB 'SCORE'
0000 64 DEFB 0
0000 65 EXX

```

```

8081 CD CA 85
8084 B7
8085 C9
8086
8086 F5
8087 21 0E 87
808A 11 0F 87
808D 01 FA 00
8090 36 00
8092 ED B0
8094 F1
8095 F5
8096 30 0D
8098 21 EA 86
809B 17 EB 86
809E 01 23 00
80A1 36 00
80A3 ED B0
80A5 2A D4 86
80A8 F1
80A9 F5
80AA 30 03
80AC 2A D2 86
80AF 7E
80B0 3C
80B1 20 0D
80B3 2A D0 86
80B6 3A DF 86
80B9 B7
80BA 28 04
80BC 4D
80BD 32 DF 86
80C0 22 D2 86
80C3 22 D4 86
80C6 7E
80C7 32 E0 86
80CA F1
80CB 30 0E
80CD 21 01 0A
80D0 22 DB 86
80D3 CD C4 1F
80D6 CD 5E 80
80D9 18 0E
80DE 2A D9 86
80E2 23
80E3 7E
80E4 B7
80E1 20 03
80E3 21 B1 86
80E6 22 D9 86
80E9 21 0B 00
80EC CD 1E 20
80EF 3A DD 86
80F2
80F2 06 00
80F4 D6 0A
80F6 38 03
80F8 F4
80F9 18 F9
80FB C6 0A
80FD 1F
80FE 78
80FF 87
8100 87
8101 87

```

```

66 CALL SCORE0
67 OR A ; (Cy=0)
68 RET
69 ;
70 INIT2: PUSH AF
71 LD HL,TFLAG
72 LD DE,TFLAG+1
73 LD BC,250
74 LD (HL),0
75 LDIR
76 POP AF
77 PUSH AF
78 JR NC,I20
79 LD HL,PFLAG
80 LD DE,PFLAG+1
81 LD BC,1+3+32-1
82 LD (HL),0
83 LDIR
84 I20: LD HL,(TADR3)
85 POP AF
86 PUSH AF
87 JR NC,I21
88 LD HL,(TADR2)
89 I21: LD A,(HL)
90 INC A
91 JR NZ,I22
92 LD HL,(TADR1)
93 LD A,(WDATA)
94 OR A
95 JR Z,I22
96 DEC A
97 LD (WDATA),A
98 I22: LD (TADR2),HL
99 LD (TADR3),HL
100 LD A,(HL)
101 LD (MACHI),A
102 POP AF
103 JR NC,I23
104 LD HL,0A01H
105 LD (0XY),HL
106 CALL BELL
107 CALL 110
108 JR I25
109 I23: LD HL,(YADR)
110 INC HL
111 LD A,(HL)
112 OR A
113 JR NZ,I24
114 LD HL,YDATA
115 I24: LD (YADR),HL
116 I25: LD HL,000BH
117 CALL LOC
118 LD A,(MDATA)
119 ;
120 LD B,0 ; Oh!MZ 1986.11.
121 I26: SUB 10 ; マシンタイプ1,2,3 用
122 JR C,I27
123 INC B
124 JR I26
125 I27: ADD A,10
126 LD C,A
127 LD A,B
128 ADD A,A
129 ADD A,A
130 ADD A,A

```

♪ SWORDがある、MAGICもある、MAGEが出た。これで私は無敵だ……と思う。

奥野 康弘 (16) 石川県


```

8102 87      131      ADD A,A
8103 B1      132      OR C
8104 CD C1 1F 133      CALL PRINTH
8107         134      ;
8107 21 00 17 135      LD HL,1700H
810A CD 1E 20 136      CALL LOC
810D 06 28    137      LD B,40
810F 2A D9 86 138      LD HL,(YADR)
8112 7E      139      LD A,(HL)
8113 CD F4 1F 140 I28: CALL PRINT
8116 10 FB    141      DJNZ I28
8118 2A DB 86 142      LD HL,(XY)
811B CD 1E 20 143      CALL LOC
811E 11 AC 86 144      LD DE,@DATA
8121 CD E5 1F 145      CALL MSX
8124 CD D0 1F 146      CALL GETKY
8127 32 E1 86 147      LD (KDATA),A
812A C9      148      RET
812B         149 ;----- タイム -----
812B 3E 0C    150 TITLE: LD A,0CH
812D CD F4 1F 151      CALL PRINT
8130 21 0B 0A 152      LD HL,0A00H
8133 CD 1E 20 153      CALL LOC
8136 CD E2 1F 154      CALL MPRINT
8139 54 20 41 20 4E 20 47 155      DEFM 'T A N G E R I N E'
8140 20 45 20 52 20 49 20
8147 4E 20 45
814A 00
814B CD C4 1F 156      DEFB 0
814E CD D0 1F 157      CALL BELL
8151 B7      158 TA1: CALL GETKY
8152 20 FA    159      OR A
8154 CD D0 1F 160      JR NZ,TA1
8157 B7      161 TA2: CALL GETKY
8158 28 FA    162      OR A
815A FE 1B    163      JR Z,TA2
815C 28 11    164      CP 1BH
815E FE 53    165      JR Z,TA3
8160 20 15    166      CP 'S'
8162 FE 0C    167      JR Z,SPEED
8164 28 11    168      CP 0CH
8166 CD C4 1F 169      JR Z,SPEED
8169 3E 0C    170      CALL BELL
816B CD F4 1F 171      LD A,0CH
816E C9      172      CALL PRINT
816F B1      173      RET
8170 21 00 00 174 TA3: POP HL
8173 CD 1E 20 175      LD HL,0
8176 C9      176      CALL LOC
8177         177      RET
8177 CD C4 1F 178 ;----- スピード チェンジ -----
817A B7      179 SPEED: CALL BELL
817B F5      180      OR A ; (Cy=0)
817C 21 00 00 181 SC0: PUSH AF
817E CD 1E 20 182      LD HL,0
8182 CD E2 1F 183      CALL LOC
8185 53 50 45 45 44 20 184      CALL MPRINT
818B 00      185      DEFM 'SPEED'
818C 21 C3 86 186      DEFB 0
818F 7E      187      LD HL,IDATAW
8190 CD C1 1F 188      LD A,(HL)
8193 3A B0 86 189      CALL PRINTH
8195 B7      190      LD A,(FLAG)
8197 3E 20    191      OR A
8199 20 02    192      LD A,' '
819B 3E 2A    193      JR NZ,SC1
819D CD F4 1F 194      LD A,'*'
81A0 F1      195 SC1: CALL PRINT
81A1 30 0A    196      POP AF
81A3 11 00 08 197      JR NC,SC3
81A6 1B      198      LD DE,0800H
81A7 7A      199 SC2: DEC DE
81AB B3      200      LD A,D
81A9 20 FB    201      OR E
81AB 18 06    202      JR NZ,SC2
81AD CD D0 1F 203      JR SC4
81B0 B7      204 SC3: CALL GETKY
81B1 20 C8    205      OR A
81B3 CD D0 1F 206      JR NZ,SC0
81B5 FE 5A    207 SC4: CALL GETKY
81B8 28 17    208      CP 'Z'
81BA FE 1D    209      JR Z,SC5
81BC 28 14    210      CP 1DH
81BE FE 58    211      CP Z,SC6
81C0 28 13    212      CP 'X'
81C2 FE 1C    213      JR Z,SC7
81C4 28 10    214      CP 1CH
81C6 FE 20    215      JR Z,SC8
81C8 28 0F    216      CP ' '
81CA FE 0D    217      JR Z,SC9
81CC CA 2B 81 218      CP 0DH
81CF 18 E2    219      JP Z,TITLE
81D1 37      220      JR SC4
81D2 35      221 SC5: SCF
81D3 18 A6    222 SC6: DEC (HL)
81D5 37      223      JR SC0
81D6 34      224 SC7: SCF
81D7 18 A2    225 SC8: INC (HL)
81D9 3A B0 86 226      JR SC0
81DC 1F      227 SC9: LD A,(FLAG)
81DD 3F      228      RRA
81DE 17      229      CCF
81DF 32 B0 86 230      RLA
81E2 CD C4 1F 231      LD (FLAG),A
81E5 B7      232      CALL BELL
81E6 18 93    233      OR A ; (Cy=0)
81E8         234      JR SC0
81E8 3A DF 86 235 ;----- ウェイト -----
81EB 67      236 WAIT: LD A,(WDATA)
81EC 2E 01    237      LD H,A
81EE 2B      238      LD L,1
81EF 7C      239 W1: DEC HL
81F0 B5      240      LD A,H
81F1 20 FB    241      OR L
81F3 C9      242      JR NZ,W1
81F4 06 03    243      RET
81F6 21 00 00 244 WAIT@: LD B,3
81F9 CD EE 81 245      LD HL,0
81FC 10 FB    246 W2: CALL W1
81FE C9      247      DJNZ W2
81FF         248      RET
81FF 21 11 00 249 ;----- タイム -----
8202 CD 1E 20 250 PAUSE: LD HL,0011H
8205 CD E2 1F 251      CALL LOC
8208 50 41 55 53 45 21 252      CALL MPRINT
820E 00      253      DEFM 'PAUSE!'
820F CD 1E 20 254      DEFB 0
8212 CD C4 1F 255      CALL LOC
8215 CD D0 1F 256      CALL BELL
8218 FE 1B    257 P1: CALL GETKY
821A 28 F9    258      CP 1BH
821C CD D0 1F 259      JR Z,P1
821E         260 P2: CALL GETKY
821F B7      261      OR A
8220 28 FA    262      JR Z,P2
8222 E1      263      POP HL
8223 FE 0C    264      CP 0CH
8225 CA 7E 86 265      JP Z,D1
8228 CD E2 1F 266      CALL MPRINT
822B 20 20 20 20 20 20 267      DEFM ' '
8231 00      268      DEFB 0
8232 CD C4 1F 269      CALL BELL
8235 AF      270      XOR A
8236 32 EA 86 271      LD (PFLAG),A
8239 E9      272      JP (HL)
823A         273 ;----- テキスト -----
823A 21 00 14 274 SCROLL: LD HL,1400H
823D CD 1E 20 275      CALL LOC
8240 21 D6 86 276      LD HL,RDATA
8243 16 03    277      LD D,3
8245 7E      278 R1: LD A,(HL)
8246 0E 05    279      LD C,5
8248 06 08    280 R2: LD B,8
824A 07      281 R3: RLCA
824B F5      282      PUSH AF
824C E5      283      PUSH HL
824D 2A D9 86 284      LD HL,(YADR)
8250 7E      285      LD A,(HL)
8251 E1      286      POP HL
8252 38 05    287      JR C,R4
8254 CD F1 1F 288      CALL PRINTS
8257 18 03    289      JR R5
8259 CD F4 1F 290 R4: CALL PRINT
825B C9      291 R5: POP AF
825D 10 EB    292      DJNZ R3
825F 0D      293      DEC C
8260 20 E6    294      JR NZ,R2
8262 CB 06    295      RLC (HL)
8264 23      296      INC HL
8265 15      297      DEC D
8266 20 DD    298      JR NZ,R1
8268 C9      299      RET
8269         300 ;----- テキスト -----
8269 2A DB 86 301 @MOVE: LD HL,(XY)
826C CD D0 1F 302      CALL GETKY
826F FE 35    303      CP '5'
8271 28 6A    304      JR Z,@11
8273 FE 53    305      CP 'S'
8275 28 66    306      JR Z,@11
8277 FE 0D    307      CP 0DH
8279 28 62    308      JR Z,@11
827B FE 20    309      CP ' '
827D 28 5E    310      JR Z,@11
827F 32 E1 86 311      LD (KDATA),A
8282 FE 1B    312      CP 1BH
8284 28 51    313      JR Z,@10
8286 C9      314      CP '1'
8288 28 6D    315      JR Z,@1
828A FE 5A    316      CP 'Z'
828C 28 69    317      JR Z,@1
828E FE 32    318      CP '2'
8290 28 68    319      JR Z,@2
8292 FE 58    320      CP 'X'
8294 28 64    321      JR Z,@2
8296 FE 1F    322      CP 1FH
8298 28 60    323      JR Z,@2
829A FE 33    324      CP '3'
829C 28 61    325      JR Z,@3
829E FE 43    326      CP 'C'
82A0 28 5D    327      JR Z,@3
82A2 FE 34    328      CP '4'
82A4 28 5E    329      JR Z,@4
82A6 FE 41    330      CP 'A'
82A8 28 5A    331      JR Z,@4
82AA FE 1D    332      CP 1DH
82AC 28 56    333      JR Z,@4
82AE FE 36    334      CP '6'
82B0 28 57    335      JR Z,@6
82B2 FE 44    336      CP 'D'
82B4 28 53    337      JR Z,@6
82B6 FE 1C    338      CP 1CH
82B8 28 4F    339      JR Z,@6
82BA FE 37    340      CP '7'
82BC 28 50    341      JR Z,@7
82BE FE 51    342      CP '8'
82C0 28 4C    343      JR Z,@7
82C2 FE 38    344      CP '8'
82C4 28 4B    345      JR Z,@8
82C6 FE 57    346      CP 'W'
82C8 28 47    347      JR Z,@8
82CA FE 1E    348      CP 1EH
82CC 28 43    349      JR Z,@8
82CE FE 39    350      CP '9'
82D0 28 44    351      JR Z,@9
82D2 FE 45    352      CP 'E'
82D4 28 40    353      JR Z,@9
82D6 C9      354      RET
82D7 3E 03    355 @10: LD A,3
82D9 32 EA 86 356      LD (PFLAG),A
82DC C9      357      RET
82DD 21 E1 86 358 @11: LD HL,KDATA
82E0 BE      359      CP (HL)
82E1 C8      360      RET Z
82E2 32 E1 86 361      LD (KDATA),A
82E5 06 08    362      LD B,8;
82E7 21 EE 86 363      LD HL,MFLAG
82EA 7E      364 @12: LD A,(HL)
82EB B7      365      OR A
82EC 28 06    366      JR Z,@13
82EE 23      367      INC HL
82EF 23      368      INC HL
82F0 23      369      INC HL
82F1 10 F7    370      DJNZ @12
82F3 C9      371      RET
82F4 3C      372 @13: INC A
82F5 77      373      LD (HL),A
82F6 C9      374      RET
82F7 CD 21 83 375 @1: CALL @40
82FA CD 1B 83 376 @2: CALL @20
82FD 18 32    377      RET
82FF CD 26 83 378 @3: CALL @60
8302 18 F6    379      JR @2
8304 CD 21 83 380 @4: CALL @40
8307 18 28    381      JR @20
8309 CD 26 83 382 @5: CALL @60
830C 18 23    383      JR @20
830E CD 21 83 384 @7: CALL @40
8311 CD 2C 83 385 @8: CALL @80
8314 18 1F    386      JR @20
8316 CD 26 83 387 @9: CALL @60
8319 18 F6    388      JR @8
831B 7C      389 @20: LD A,H
831C FE 13    390      CP 19
831E C8      391      RET Z
831F 24      392      INC H

```

▶老眼鏡のやっかいになりつつS-OSのダンプリストを打ち込んでいます。そういうわけで、できればもう少し大きな活字を使ってください。 細田 正明 (49) 神奈川県

8320 C9	393 RET	8433 C9	525 RET
8321 7D	394 @40: LD A,L	8434 79	526 T5: LD A,C
8322 B7	395 OR A	8435 B7	527 OR A
8323 C8	396 RET Z	8436 28 19	528 JR Z,T7
8324 2D	397 DEC L	8438 3A B0 86	529 T6: LD A,(DFLAG)
8325 C9	398 RET	8438 B7	530 OR A
8326 7D	399 @60: LD A,L	843C 28 F3	531 JR Z,T4
8327 FE 20	400 CP 32	843E 21 00 18	532 LD HL,1800H ; タミ
8329 C8	401 RET Z	8441 CD 1E 20	533 CALL LOC
832A 2C	402 INC L	8444 CD F1 1F	534 CALL PRINTS
832B C9	403 RET	8447 CD 1E 20	535 CALL LOC
832C 7C	404 @80: LD A,H	844A 3E 20	536 LD A,' '
832D 3D	405 DEC A	844C CD F4 1F	537 CALL PRINT
832E C8	406 RET Z	844F 18 E0	538 JR T4
832F 25	407 DEC H	8451 0C	539 T7: INC C
8330 C9	408 RET	8452 21 E0 86	540 LD HL,MACHI
8331 E5	409 @20: PUSH HL	8455 35	541 DEC (HL)
8332 2A DB 86	410 LD HL,(@XY)	8456 20 E0	542 JR NZ,T6
8335 CD 1E 20	411 CALL LOC	8458 0D	543 DEC C ; シェフケン
8338 CD F1 1F	412 CALL PRINTS	8459 EB	544 EX DE,HL
833B CD F1 1F	413 CALL PRINTS	845A 2A D4 86	545 LD HL,(TADR3)
833E CD F1 1F	414 CALL PRINTS	845D 23	546 INC HL
8341 E1	415 POP HL	845E E5	547 PUSH HL
8342 22 DB 86	416 LD (@XY),HL	845F 66	548 LD H,(HL)
8345 CD 1E 20	417 CALL LOC	8460 2E 27	549 LD L,39
8348 11 AC 86	418 LD DE,@DATA	8462 DD 36 00 01	550 LD (IX+0),1
834B CD E5 1F	419 CALL MSX	8466 CD 1E 20	551 CALL LOC
834E DD 21 0E 87	420 LD IX,TFLAG	8469 EB	552 EX DE,HL
8352 06 32	421 LD B,50	846A E1	553 POP HL
8354 2A DB 86	422 @21: LD HL,(@XY)	846B 23	554 INC HL
8357 DD 7E 00	423 LD A,(IX)	846C 7E	555 LD A,(HL)
835A B7	424 OR A	846D DD 77 03	556 LD (IX+3),A
835B 28 1A	425 JR Z,@23	8470 CD F4 1F	557 CALL PRINT
835D DD 7E 01	426 LD A,(IX+1)	8473 23	558 INC HL
8360 BD	427 CP L	8474 7E	559 LD A,(HL)
8361 28 08	428 JR Z,@22	8475 DD 77 04	560 LD (IX+4),A
8363 2C	429 INC L	8478 23	561 INC HL
8364 BD	430 CP L	8479 22 D4 86	562 LD (TADR3),HL
8365 28 04	431 JR Z,@22	847C 7E	563 LD A,(HL)
8367 2C	432 INC L	847D 32 E0 86	564 LD (MACHI),A
8368 BD	433 CP L	8480 EB	565 EX DE,HL
8369 20 0C	434 JR NZ,@23	8481 B7	566 OR A
836B DD 7E 02	435 @22: LD A,(IX+2)	8482 20 A3	567 JR NZ,T2
836E BC	436 CP H	8484 EB	568 EX DE,HL ; クリフ
836F 20 06	437 JR NZ,@23	8485 23	569 INC HL
8371 3E 01	438 LD A,1	8486 22 D4 86	570 LD (TADR3),HL
8373 32 EA 86	439 LD (PFLAG),A	8489 3E 02	571 LD A,2
8376 C9	440 RET	848B 32 EA 86	572 LD (PFLAG),A
8377 11 05 00	441 @23: LD DE,5	848E C9	573 RET
837A DD 19	442 ADD IX,DE	848F DD 6E 01	574 T8: LD L,(IX+1) ; タミ
837C 10 D6	443 DJNZ @21	8492 DD 66 02	575 LD H,(IX+2)
837E C9	444 RET	8495 CD 1E 20	576 CALL LOC
837F	445 -----	8498 CD F1 1F	577 CALL PRINTS
837F DD 21 EE 86	446 MSIL: LD IX,MFLAG	849B 7D	578 LD A,L
8383 06 08	447 LD B,8;	849C B7	579 OR A
8385 FD 7E 00	448 M1: LD A,(IY)	849D 28 44	580 JR Z,Td
8388 3D	449 DEC A	849F DD 7E 04	581 LD A,(IX+4)
8389 28 50	450 JR Z,M7	84A2 57	582 LD D,A
838B 3D	451 DEC A	84A3 FE 04	583 CP 4
838C 6D 63	452 JR Z,M8	84A5 34 10	584 JR C,T9
838E 3A B0 86	453 LD A,(DFLAG)	84A7 D6 03	585 SUB 3
8391 B7	454 OR A	84A9 2D	586 DEC L
8392 28 3F	455 JR Z,M6	84AA 28 37	587 JR Z,Td
8394 21 00 18	456 LD HL,1800H ; タミ	84AC 08	588 EX AF,AF'
8397 CD 1E 20	457 CALL LOC	84AD DD 7E 03	589 LD A,(IX+3)
839A CD F1 1F	458 CALL PRINTS	84B0 CD ED 84	590 CALL HANTEI
839D 3A 20	459 LD A,' '	84B3 DA 31 84	591 JP C,T4
839F CD F4 1F	460 CALL PRINT	84B6 0E	592 EX AF,AF'
83A2 18 2F	461 JR M6	84B7 2D	593 T9: DEC L
83A4 DD 21 0E 87	462 M2: LD IX,TFLAG	84B8 D6 02	594 SUB 2
83A8 FD 75 01	463 LD (IY+1),L	84BA 28 05	595 JR Z,Ta
83AB FD 74 02	464 LD (IY+2),H	84BC 3D	596 DEC A
83AE C5	465 PUSH BC	84BD 28 0E	597 JR Z,Tb
83AF 06 32	466 LD B,50	84BF 18 16	598 JR Tc
83B1 DD 7E 00	467 M3: LD A,(IX)	84C1 25	599 Ta: DEC H ; タミ
83B4 B7	468 OR A	84C2 7C	600 LD A,H
83B5 28 14	469 JR Z,M4	84C3 FE 02	601 CP 2
83B7 DD 7E 01	470 LD A,(IX+1)	84C5 30 10	602 JR NC,Tc
83BA BD	471 CP L	84C7 14	603 INC D
83BB 20 0E	472 JR NZ,M4	84C8 DD 72 04	604 LD (IX+4),D
83BD DD 7E 02	473 LD A,(IX+2)	84CB 18 0A	605 JR Tc
83C0 BC	474 CP H	84CD 24	606 Tb: INC H ; タミ
83C1 20 08	475 JR NZ,M4	84CE 7C	607 LD A,H
83C3 CD 84 85	476 CALL SCORE	84CF FE 13	608 CP 19
83C6 CD 6A 85	477 CALL GC	84D1 38 04	609 JR C,Tc
83C9 18 05	478 JR M5	84D3 15	610 DEC D
83CB 11 05 00	479 M4: LD DE,5	84D4 DD 72 04	611 LD (IX+4),D
83CC DD 19	480 ADD IX,DE	84D7 CD 1E 20	612 Tc: CALL LOC
83D0 10 DF	481 M5: DJNZ M3	84DA DD 7E 03	613 LD A,(IX+3)
83D2 C1	482 POP BC	84DD CD F4 1F	614 CALL PRINT
83D3 11 03 00	483 M6: LD DE,3	84E0 C3 27 84	615 JP T2
83D6 FD 19	484 ADD IY,DE	84E3 DD 36 00 00	616 Td: LD (IX),0
83D8 10 AB	485 DJNZ M1	84E7 CD 6A 85	617 CALL GC
83DA C9	486 RET	84EA C3 31 84	618 JP T4
83DB 2A DB 86	487 M7: LD HL,(@XY)	84ED	619 -----
83DE 11 03 00	488 LD DE,3	84ED C5	620 HANTEI: PUSH BC
83E1 19	489 ADD HL,DE	84EE D5	621 PUSH DE
83E2 CD 1E 20	490 CALL LOC	84EF E5	622 PUSH HL
83E5 3E 2D	491 LD A,' '	84F0 DD 75 01	623 LD (IX+1),L
83E7 CD F4 1F	492 CALL PRINT	84F3 DD 74 02	624 LD (IX+2),H
83EA 3E 02	493 LD A,2	84F6 EB	625 EX DE,HL
83EC FD 77 00	494 LD (IY),A	84F7 7B	626 LD A,E
83EF 18 B3	495 JR M2	84F8 2A DB 86	627 LD HL,(@XY)
83F1 FD 6E 01	496 M8: LD L,(IY+1)	84FB BD	628 CP L
83F4 FD 66 02	497 LD H,(IY+2)	84FC 28 08	629 JR Z,H1
83F7 CD 1E 20	498 CALL LOC	84FE 2C	630 INC L
83FA 7D	499 LD A,L	84FF BD	631 CP L
83FB FE 27	500 CP 39	8500 28 04	632 JR Z,H1
83FD 28 0B	501 JR Z,M9	8502 2C	633 INC L
83FF CD F1 1F	502 CALL PRINTS	8503 BD	634 CP L
8402 3E 2D	503 LD A,' '	8504 20 0E	635 JR NZ,H2
8404 CD F4 1F	504 CALL PRINT	8506 7A	636 H1: LD A,D
8407 2C	505 INC L	8507 BC	637 CP H
8408 18 9A	506 JR M2	8508 20 0A	638 JR NZ,H2
840A CD F1 1F	507 M9: CALL PRINTS	850A 3E 01	639 LD A,1
840D FD 36 00 00	508 LD (IY),0	850C 32 EA 86	640 LD (PFLAG),A
8411 18 91	509 JR M2	850F CD 6A 85	641 CALL GC
8413	510 -----	8512 18 52	642 JR H7
8413 AF	511 TEKI: XOR A	8514 EB	643 H2: EX DE,HL
8414 32 EB 86	512 LD (HFLAG),A	8515 3A EB 86	644 LD A,(HFLAG)
8417 DD 21 0E 87	513 LD IX,TFLAG	8518 B7	645 OR A
841B 06 32	514 LD B,50	8519 28 18	646 JR Z,H3
841D 0E 00	515 LD C,0 ; Flag	851B FD 2A EC 86	647 LD IY,(HFLAG+1)
841F DD 7E 00	516 T1: LD A,(IX)	851F FD 7E 01	648 LD A,(IY+1)
8422 B7	517 OR A	8522 BD	649 CP L
8423 28 0F	518 JR Z,T5	8523 20 0E	650 JR NZ,H3
8425 18 68	519 JR T8	8525 FD 7E 02	651 LD A,(IY+2)
8427 CD ED 84	520 T2: CALL HANTEI	8528 BC	652 CP H
842A 38 05	521 JR C,T4	8529 20 08	653 JR NZ,H3
842C 11 05 00	522 T3: LD DE,5	852B CD 84 85	654 CALL SCORE
842F DD 19	523 ADD IX,DE	852E CD 6A 8F	655 CALL GC
8431 10 EC	524 T4: DJNZ T1	8531 18 33	656 JR H7

♪ Oh! MZの連載記事を1冊の本にまとめて出すべきだと思う。S-OS関係はもちろん、「試験に出るX1」など内容が濃いのでけっこうもうかるんじゃないですか。ユーザーもそれを待ち望んでいるはずだ。
岩下 政勝 (18) 熊本県

870 TFLAG: DEFS 251 ; Teki Flag,X,Y,Chr,Move

MZ-80B/B2版

グラフィックパッケージMAGIC

Midorikawa Ken
緑川 健

先月号で予告したとおり、MZ-80B/B2版MAGICを発表します。これでMAGICも各機種出揃いましたね。MZ-80BはG-RAM M1のみでも動作可能、3月号のMAGEにも対応しています。また、80B版“SWORD”のデバッグも行います。

広がるMAGICの輪

1986年9月号でTUX吉村氏の発表したグラフィックパッケージMAGICは、その手軽さと高速性・各機種共通データなどの特徴により多くの信奉者を生み出したようです。また、1月号ではFuzzy BASICとリンクされ、3月号ではアニメーションツールMAGEが発表されるなど、Oh!MZで進められているS-OSプロジェクトにとってもなくてはならない存在となった観があります。

発表当時は640×200ドット専用ということもあり懸念されていた他機種への移植もMZ-1500/SMC-777と行われ、グラフィックが扱えるS-OS対応機種でMAGICが走らないのはMZ-80Bのみ……。

こんなときにこそ試されるのがユーザーの底力です。

MZ-80Bユーザーの皆さん、長らくお待ちいたしました。いよいよMZ-80B版MAGICの登場です。

入力方法および使い方

リスト2をモニタのMコマンドやマシン語入力ツールから打ち込んでください。AF2BH~AFFFHは入力する必要はありません。入力が済んだらAF00H~C1FFHの範囲をセーブしておきましょう。ついでにMZ-80Bの“SWORD”の虫取りも行います。これまでE-MATEなどFLGETルーチンを使用したアプリケーションを使っていると突然画面が反転してしまうという症状がありましたが、リスト1のように変更を加えることでこれを防ぐことができます。ただし入力の際はFLGETを使った入力ツールなどは使用できません。モニタのMコマンドから入力するのが安全です。

動作確認の意味でリスト3としてS-OS用の簡単なサンプルゲームを用意しました。これは9月号の物体誘導ゲームと同内容のものです。MAGICの高速性が実感されることでしょう。入力後、S-OSのモニタからJ8000とすればゲームが始まります。画面奥から飛来する物体をI, J, Lおよびコンマの各キーで中央へ誘導してください。

MAGICは与えられたコマンドを解釈実行するリアルタイムグラフィック専用インタプリタです。コマンド列は任意のアドレスから置かれ、その先頭アドレスをIXレジスタに入れてB004H番地をコールするか、または、先頭アドレスをC202H番地からの2バイトにセットしたのちにB000H番地をコールすることで実行されます。コマンドの種類・機能は表1にまとめられていますので参照してください。具体的なコマンド列の作り方は昨年9月号にて詳しく説明されています。

なお、AF00H番地からは先月統一されたイニシャライズルーチンが置かれており、MAGICを使う前にアプリケーションプログラム側で1度実行する必要があります。

MZ-80B版MAGICについて

当然のことですが、今までに発表されたサンプル、アプリケーションの類いはそのまま動作するように作ってあります。ただ、MZ-80Bのグラフィックは320×200ドット、モノクロ、2プレーンというハンデを負っていますので、少々無理が生じてしまいました。

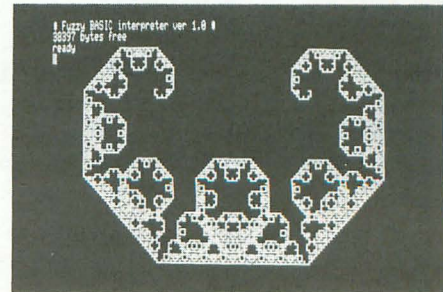
画面横方向のドット数に関してはMZ-1500版同様に内部で640ドットから320ドットへ変換することによりデータの互換性を保っています。

また、今のところ3プレーンをフルに使ったアプリケーションは見られませんが、

今後の状況によっては正常に動かないものが出てくるかもしれません。さらに、モノクロであることによるしわ寄せは、すでに3月号で発表されたMAGEでも表れており、ピクチャーエディタの特徴のひとつであったアンダー画面を利用した作画などが使にくくなっています。

ところで、MZ-80Bユーザーの中にはG-RAMを1枚しか装着していない人も多いと思います。このプログラムではイニシャライズ時に装着されているG-RAMの枚数を判定し、以後はそれに応じた画面に書き込みを行うようにしてあります。G-RAMが2枚あれば、それぞれのプレーンに書き込まれますが、1枚しか装着されていない場合には0~2のどのプレーンに描画してもすべてG-RAM 1に書き込まれてしまいますので注意してください。

さあ、これでMZ-80Bユーザーも共通化グラフィックの世界に参加できるようになりました。どんどんアプリケーションを作りましょう。そろそろリアルタイム3Dパッケージの本領を発揮した本格的なゲームが欲しいですね。今のところ単色画面2画面切り換えは全機種で共通に使用できますから、そのうちワイヤーフレーム版スペースハリアーとかが出てくるかもしれません。



Profile

◇緑川君は宮城県に住む17歳、高校2年生です。マイコン歴5年、MZ-80BとMZ-5500のユーザーで、今度はMZ-5500でSWORDを走らせてみたいと語ってくれました。

表1 MAGICのコマンド

タイルパターンの指定

塗りつぶしコマンドで指定するタイルパターンは横1バイト、縦4バイトのビットイメージで指定します。MZ-80Bの場合、解像度の違いから多少感じが変わることがあります。

00H LINE

連続した直線を描く

データ	バイト数	内容
00H	1	コマンド
n	1	座標総数
X ₁	2	座標 1
Y ₁	2	
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
X _n	2	座標 n
Y _n	2	

※以下、2バイトデータは-32768～32767(8000H～7FFFH)

01H SPLINE

3点を結ぶスプライン曲線を描く

データ	バイト数	内容
01H	1	コマンド
X ₁	2	座標 1
Y ₁	2	
X ₂	2	座標 2
Y ₂	2	
X ₃	2	座標 3
Y ₃	2	

02H BOX

2点を対角とする長方形を描く

データ	バイト数	内容
02H	1	コマンド
X ₁	2	座標 1
Y ₁	2	
X ₂	2	座標 2
Y ₂	2	

03H TRIANGLE

三角形を塗りつぶす

データ	バイト数	内容
03H	1	コマンド
TILE	4	タイルパターン
X ₁	2	座標 1
Y ₁	2	
X ₂	2	座標 2
Y ₂	2	
X ₃	2	座標 3
Y ₃	2	

04H BOX FULL

2点を対角とする長方形を塗りつぶす

データ	バイト数	内容
04H	1	コマンド
TILE	4	タイルパターン
X ₁	2	座標 1
Y ₁	2	
X ₂	2	座標 2
Y ₂	2	

05H CIRCLE FULL

円を塗りつぶす

データ	バイト数	内容
05H	1	コマンド
TILE	4	タイルパターン
X	2	中心座標
Y	2	
R	2	半径

06H SET WINDOW

ウィンドウを設定する

データ	バイト数	内容
06H	1	コマンド
X ₁	2	左上座標
Y ₁	2	
X ₂	2	右下座標
Y ₂	2	

※起動後必ず設定する必要がある

07H SET MODE

グラフィックモードを設定する

データ	バイト数	内容
07H	1	コマンド
MODE	1	ラインモード
PLANE	1	プレーン
ラインモード：録画するときの書き込みモード		
0:RESET 1:XOR 2:OR 3:NOP		
プレーン：描画をするグラフィックプレーン		
0または1		

※起動後必ず設定する必要がある

08H POINT

指定座標の色を調べる

データ	バイト数	内容
08H	1	コマンド
X	2	座標
Y	2	

※カラーコードがC202Hに格納される

※座標が規定外ならカラーコードはFFHになる

09H CLS

ウィンドウ内をクリアする

データ	バイト数	内容
09H	1	コマンド

0AH PALET

パレットを設定する

データ	バイト数	内容
0AH	1	コマンド
P ₀	1	パレットカラー
P ₁	1	
P ₂	1	
P ₃	1	
P ₄	1	
P ₅	1	
P ₆	1	
P ₇	1	

※MZ-80B/B2ではモノクロ画面しか持たないため、この機能はページ切り換え用を使用する。カラーコード1、2に0以外が指定されると対応するプレーンが表示される。

0BH SET 3D PARAMETER

3D→2D変換用のパラメータを設定する

データ	バイト数	内容
0BH	1	コマンド
Pnum	1	パラメータナンバー
DATA	2	設定データ
パラメータナンバー		
0: CX		物体の位置(オフセット)
1: CY		
2: CZ		
3: DX		回転の中心座標
4: DY		
5: DZ		
6: HEAD		回転角(度)
7: PITCH		
8: BANK		

※物体の位置は、MAGIC内部では次のSET3D DATAで指定した座標に加算して処理される

0CH SET 3D DATA

物体の3Dデータを設定する

データ	バイト数	内容
0CH	1	コマンド
PCT	1	頂点の数(n+1)
X ₀	2	頂点 0
Y ₀	2	
Z ₀	2	頂点リスト
⋮	⋮	
⋮	⋮	
X _n	2	頂点 n
Y _n	2	
Z _n	2	線分の数(m)
LCT	1	
LS ₁	1	
LE ₁	1	線分 1
⋮	⋮	
⋮	⋮	線分リスト
⋮	⋮	
⋮	⋮	
LS _m	1	線分 m
LE _m	1	

※ひとつの線分は2つの頂点ナンバーで指定する

0DH TRANSLATE 3D→2D

3Dデータを3Dパラメータに従って2Dに変換し、ワークエリアに格納する

データ	バイト数	内容
0DH	1	コマンド

0EH DISPLAY 2D

TRANSLATE 3D→2Dで変換したデータに従ってワイヤフレーム表示する

データ	バイト数	内容
0EH	1	コマンド

※0BH、0CH、0DHコマンドの実行後に行う必要があるが、ワークエリアの内容が破壊されていないければこのかぎりではない

0FH DONE

MAGICを終了し呼び出したシステムに戻る

データ	バイト数	内容
0FH	1	コマンド

リスト1 SWORDのデバッグ

```

0000 1 : #####
0000 2 :
0000 3 : SWORD 80B カイシャ プログラム
0000 4 : (FLGET ノ カイシャ)
0000 5 :
0000 6 : #####
0000 7 :
0000 8 #FLGET EQU $1924
0000 9 :
0000 10 ?PONT EQU $0C29
0000 11 DSPR EQU $0C3E
0000 12 ?DPCT EQU $0A3D
0000 13 #FLPOS EQU $0003
0000 14 DPCHR EQU $19BF
0000 15 PRNT EQU $19C0
0000 16 KEYIN EQU $19C6
0000 17 NKCHV EQU $1580
0000 18 CSCHR EQU $1F
0000 19
0000 20 ORG #FLGET
0000 21 :
0000 22 FLGET
0000 23
0000 24 PUSH HL
0000 25 CALL ?PONT
0000 26 LD (#FLPOS),HL
0000 27 CALL DSPR
0000 28 LD (DPCHR),A
0000 29 FLGET
0000 30 LD A,CSCHR
0000 31 CALL PRNT
0000 32 CALL KEYIN
0000 33 PUSH AF
0000 34 LD A,(DPCHR)
0000 35 CALL PRNT

```

```

1941 F1
1942 B7
1943 20 06
1944 CD C6 19
1945 B7
1946 B7
1947 28 E7
1948
1949 FE 09
1949 28 09
194F FE 0A
1951 28 05
1953 FE 0C
1955 C2 82 15
1958
1958 CD 39 0A
195B 18 D5
195D

```

```

36 POP AF
37 OR A
38 JR NZ,SKEY?
39 CALL KEYIN
40 OR A
41 JR Z,FLGET1
42 SKEY?
43 CP 9
44 JR Z,LOCK
45 CP 10
46 JR Z,LOCK
47 CP 12
48 JP NZ,MXCNV+2
49 LOCK
50 CALL ?DPCT
51 JR FLGET1
52

```

●ダンプリスト

```

1924 F5 C5 CD 29 0C 22 03 00 : D1
192C CD 3E 0C 32 BF 19 3E 1F : 7E
1934 CD C0 19 CD C6 19 F5 3A : 81
193C BF 19 CD C0 19 F1 B7 20 : 46
1944 06 CD C6 19 B7 28 E7 FE : 76
194C 09 28 09 FE 0A 28 05 FE : 6D
1954 0C C2 82 15 CD 39 0A 18 : 8D
195C D5 : D5
SUM: 2E 93 10 14 38 CE E3 8D 1F50

```

リスト2 MZ-80B版MAGIC

●MGINIT

```

AF00 DB E8 F6 80 D3 E8 3E 06 : 38
AF08 32 56 C2 3E 07 D3 F4 21 : 77
AF10 00 F0 46 77 BE 20 05 3D : BD
AF18 20 F9 70 2C 7D 32 8A C2 : B0
AF20 3E 06 D3 F4 DB E8 7F : 33
AF28 D3 E8 C9 00 00 00 00 : 84
SUM: 3E 05 0A 55 F0 F5 A7 A5 71D9

```

●MAGIC本体

```

B000 DD 2A 00 C2 18 10 00 01 : F2
B008 03 07 0F 1F 3F 7F 01 02 : F9
B010 04 08 10 20 40 80 DD 7E : 57
B018 00 E6 0F DD 23 21 16 B0 : DC
B020 F5 87 6F 26 00 11 2E B0 : F0
B028 19 7E 23 66 6F E9 4E B0 : 76
B030 77 B0 83 B0 02 B1 11 B1 : CF
B038 1D B1 6B B1 37 B1 59 B1 : DC
B040 18 B2 8D B2 8B B1 A5 B1 : 9B
B048 E8 B4 83 BF D7 B1 DD 46 : 89
B050 00 DD 23 C5 CD D9 B1 C1 : DD
B058 05 CA A2 B8 C5 CD D9 B1 : 45
B060 2A 28 C2 E5 2A C2 D2 E5 : F4
B068 CD 00 B7 E1 22 2A C2 E1 : 54
B070 22 28 C2 C1 18 E6 C9 CD : 59
B078 D9 B1 CD D9 B1 CD D9 B1 : 38
SUM: 6D 93 8B 19 63 9B 0C A0 D822

```

```

B080 C3 D1 BF DD E5 E1 11 0C : 93
B088 C2 ED A0 ED A0 ED A0 ED : 56
B090 A0 ED A0 ED A0 ED A0 ED : 34
B098 A0 E5 CD 98 C1 CD 9A C1 : D3
B0A0 DD E1 2A 8C C2 22 2C C2 : 42
B0A8 22 2C C2 2A 8C C2 22 2A : D6
B0B0 C2 2A 92 C2 22 2E C2 CD : 1F
B0B8 00 B7 2A 90 C2 22 28 C2 : 3F
B0C0 C2 22 C2 2A 8C C2 22 2A : D6
B0C8 C2 2A 92 C2 22 2E C2 CD : 1F
B0D0 00 B7 2A 8C C2 22 2A C2 : 3F
B0D8 22 2E C2 2A 8C C2 22 28 : D4
B0E0 C2 2A 90 C2 22 2C C2 CD : 1B
B0E8 00 B7 2A 92 C2 22 2A C2 : 43
B0F0 22 2E C2 2A 8C C2 22 28 : D4
B0F8 C2 2A 90 C2 22 2C C2 CD : 11
SUM: 32 F2 C0 3B AA CC 1F FD 2423

```

```

B100 00 B7 CD 06 B2 CD D9 B1 : 93
B108 CD D9 B1 CD D9 B1 C3 5F : D0
B110 BC CD 06 B2 CD D9 B1 CD : 65
B118 D9 B1 C3 30 BE CD 00 B2 : C0
B120 CD D9 B1 DD 0E DD 00 B6 : E5
B128 01 CB 2C CB 1D DD 23 DD : BD
B130 23 22 2C C2 C3 A7 BE DD : 38
B138 7E 00 E6 03 32 57 C2 DD : 8F
B140 23 DD 7E 00 DD 23 B7 28 : 5D
B148 03 BA 8A C2 47 3A 56 C2 : 22
B150 E6 06 B0 D3 F4 32 56 C2 : AD
B158 C9 CD D9 B1 ED 5B 28 C2 : 52
B160 ED 4B 2A C2 CD F5 BB 32 : D3
B168 02 C2 C9 DD E5 E1 11 15 : 56
B170 C2 ED A0 ED A0 ED A0 ED : 56
B178 A0 ED A0 ED A0 ED A0 ED : 34
SUM: F7 A5 FA E1 8D 99 6A 1B C4F8
B180 A0 E5 CD 98 C1 CD 9A C1 : D3

```

```

B188 DD E1 C9 DD 7E 00 E6 0F : D7
B190 87 6F 26 00 11 03 C2 19 : 0B
B198 EB DD E5 E1 23 ED A0 ED : 2B
B1A0 A0 E5 DD E1 C9 DD 7E 00 : 67
B1A8 DD 23 32 B4 C6 DD E5 E1 : 4F
B1B0 11 B6 C6 ED A0 ED A0 ED : 94
B1B8 A0 ED A0 ED A0 ED A0 3D : 84
B1C0 C2 B3 B1 7E 23 32 B5 C6 : 74
B1C8 11 B6 CC ED A0 ED A0 3D : EA
B1D0 C2 CB B1 E5 DD E1 C9 E1 : 8B
B1D8 C9 2A C2 C2 22 30 C2 2A : 1F
B1E0 2E C2 22 32 C2 2A 28 C2 : 1A
B1E8 22 2C C2 2A 2A C2 22 2E : 76
B1F0 C2 DD E5 E1 11 28 C2 ED : 4D
B1F8 A0 ED A0 ED A0 ED A0 E5 : 2C
SUM: 2D D3 D9 01 A1 82 11 B1 C89A

```

```

B200 CD 98 C1 DD E1 C9 DD E5 : 6F
B208 E1 11 5A C2 ED A0 ED A0 : 28
B210 ED A0 ED A0 ED A0 E1 C9 : 86
B218 2A 15 C2 ED 5B 19 C2 7D : A1
B220 E6 F8 B4 0F 0F 0F 67 7B : A1
B228 E6 F8 B2 0F 0F 0F 94 CB : 1C
B230 3F CB 3F 3C 32 53 B2 5C : 18
B238 2A 17 C2 3A 1B C2 95 57 : 06
B240 14 26 00 29 29 29 44 4D : 46
B248 29 29 09 46 06 E0 09 CD : 46
B250 71 B2 1E 00 AF 44 4D 02 : 83
B258 03 02 03 02 03 02 03 1D : 2F
B260 C2 57 B2 3E 28 85 6F 30 : 55
B268 01 24 15 C2 52 B2 C3 85 : 48
B270 B2 3A 56 C2 D3 F4 E3 22 : D0
B278 83 B2 E1 F3 DB E8 F6 80 : 42
SUM: A3 9A 59 EB 82 F4 57 54 BA37

```

```

B280 D3 E8 C3 00 00 DB E8 E6 : 27
B288 7F D3 E8 FB C9 3A 56 C2 : 50
B290 E6 01 47 AF DD B6 01 28 : 99
B298 03 CB C8 AF DD B6 02 28 : 02
B2A0 02 CB D0 78 D3 F4 32 56 : 64
B2A8 C2 01 08 00 DD 09 C9 7C : F6
B2B0 2F 67 7D 2F 6F 23 3E FF : 11
B2B8 C9 7C B5 C8 7A B3 20 08 : 17
B2C0 CB 7C 21 FF 7F C8 23 C9 : 9A
B2C8 7C AA 08 CB 7C 28 07 7C : 20
B2D0 2F 67 7D 2F 6F 23 CB 7A : 19
B2D8 28 07 7A 2F 57 7B 2F 5F : 38
B2E0 13 7A 2F 47 7B 2F 4F 03 : FF
B2E8 AF 09 38 02 19 B7 17 29 : 02
B2F0 09 38 02 19 B7 17 29 09 : 5C
B2F8 38 02 19 B7 17 29 09 38 : 8B
SUM: 98 87 66 09 3F 08 56 5C 865E

```

```

B300 02 19 B7 17 29 09 38 02 : 55
B308 19 B7 17 29 09 38 02 19 : 8A
B310 B7 17 29 09 38 02 19 B7 : 6A
B318 17 29 09 38 02 19 B7 : 6A
B320 26 00 6F 08 07 D6 7C 2F : 9F
B328 67 7D 2F 6F 23 C9 7B 5F : 9F
B330 C8 7A B3 20 08 CB 7C 21 : 85
B338 FF 7F C8 23 C9 7C AA 08 : 60
B340 CB 7C 28 07 7C 2F 67 7D : 05
B348 2F 6F 23 CB 7A 28 07 7A : AF
B350 2F 57 7B 2F 5F 13 7A 2F : 4B
B358 47 7B 2F 4F 03 AF 09 38 : 33
B360 02 19 B7 17 29 09 38 02 : 55
B368 19 B7 17 29 09 38 02 19 : 8C

```

```

B370 B7 17 29 09 38 02 19 B7 : 0A
B378 17 29 09 38 02 19 B7 17 : 6A
SUM: 96 53 0E 0C AB B1 23 3D 97A5

```

```

B380 29 09 38 02 19 B7 17 29 : 7C
B388 09 38 02 19 B7 17 29 F5 : 48
B390 09 38 02 19 B7 17 29 09 : 5C
B398 38 02 19 B7 17 29 09 38 : 8B
B3A0 02 19 B7 17 29 09 38 02 : 55
B3A8 19 B7 17 29 09 38 02 19 : 6C
B3B0 B7 17 29 09 38 02 19 B7 : 0A
B3B8 17 29 09 38 02 19 B7 17 : 6A
B3C0 29 09 38 02 19 B7 17 E1 : 34
B3C8 2F 08 87 D0 7C 2F 67 7D : 5D
B3D0 2F 6F 23 C9 7C B5 28 04 : E7
B3D8 7A B3 20 05 67 6F 57 5F : DE
B3E0 C9 7C AA 08 CB 7A 28 07 : 8B
B3E8 7A 2F 57 7B 2F 5F 13 CB : E7
B3F0 7C 28 07 7C 2F 67 7D 2F : 69
B3F8 6F 23 7C 4D 21 00 00 CB : 47
SUM: 3C B4 DB 58 CC B4 31 D5 CDC6

```

```

B400 3F CB 19 30 02 62 6B CB : ED
B408 3C CB 1D 1F CB 19 30 01 : 58
B410 19 CB 3C CB 1D 1F CB 19 : 0B
B418 30 01 19 CB 3C CB 1D 1F : 0B
B420 CB 19 30 01 19 CB 3C CB : 05
B428 1D 1F CB 19 30 01 19 CB : 35
B430 3C CB 1D 1F CB 19 30 01 : 58
B438 19 CB 3C CB 1D 1F CB 19 : 0B
B440 30 01 19 CB 3C CB 1D 1F : 58
B448 CB 19 30 01 19 CB 3C CB : 00
B450 1D 1F CB 19 30 01 19 CB : 35
B458 3C CB 1D 1F CB 19 30 01 : 58
B460 19 CB 3C CB 1D 1F CB 19 : 0B
B468 30 01 19 CB 3C CB 1D 1F : 58
B470 CB 19 30 01 19 CB 3C CB : 00
B478 1D 1F CB 19 30 01 19 CB : 35
SUM: 86 38 60 9D 49 CF B2 38 EEE8

```

```

B480 3C CB 1D 1F CB 19 30 01 : 58
B488 19 CB 3C CB 1D 1F CB 19 : 0B
B490 30 01 19 57 59 08 87 D0 : 5B
B498 7C 2F 67 7D 2F 6F 7A 2F : D6
B4A0 57 7B 2F 5F 13 7A B3 C0 : 60
B4A8 23 B9 11 5A 00 19 11 68 : E9
B4B0 01 B7 ED 52 F2 B1 B4 19 : 67
B4B8 CB 7C 20 FB 0E 00 11 B4 : 35
B4C0 00 B7 ED 52 F2 C9 B4 0C : 71
B4C8 19 11 5A 00 B7 ED 52 19 : 93
B4D0 FA DA B4 EB 21 B4 00 B7 : FF
B4D8 ED 52 29 11 BD B9 19 7E : 86
B4E0 23 66 6F 0D C2 AF B2 C9 : F1
B4E8 3A B4 C6 B7 C8 2A 15 C2 : 34
B4F0 ED 5B 19 C2 19 22 D9 B6 : ED
B4F8 2A 17 C2 26 00 ED 5B 1B : 8C
SUM: BB BD 5A BE AD FE 9F C4 166E

```

```

B500 C2 54 19 CB 3C CB 1D 22 : 40
B508 EA B6 2A 0F C2 CD AA B4 : C6
B510 22 3A C2 2A 0F C2 CD AE : 94
B518 B4 22 3C C2 2A 11 C2 CD : 9E
B520 AA B4 22 3E C2 2A 11 C2 : 7D
B528 CD AE B4 22 40 C2 2A 13 : 90
B530 C2 CD AA B4 22 42 C2 2A : 3D
B538 13 C2 CD AE B4 22 44 C2 : 2C

```


B540 2A 3A C2 ED 5B 42 C2 CD : 3F
B548 D4 B3 E5 2A 3C C2 ED 5B : DC
B550 40 C2 CD D4 B3 ED 5B 44 : E2
B558 C2 CD D4 B3 D1 19 22 53 : 75
B560 B6 2A 3A C2 ED 5B 44 C2 : 2A
B568 CD D4 B3 E5 2A 3C C2 ED : 4E
B570 5B 40 C2 CD D4 B3 ED 5B : 4F
B578 42 C2 CD D4 B3 D1 B7 ED : CD
SUM: EE D3 52 6E C8 E0 6D C8 4439

B580 52 22 7B B6 2A 3C C2 ED : BA
B588 5B 3E C2 CD D4 B3 22 A3 : 74
B590 B6 2A 3E C2 ED 5B 44 C2 : 2E
B598 CD D4 B3 22 5D B6 2A 3E : F1
B5A0 C2 ED 5B 42 C2 CD D4 B3 : 62
B5A8 22 85 B6 2A 40 C2 CD AF : 05
B5B0 B2 22 AD B6 2A 3C C2 ED : 4C
B5B8 5B 42 C2 CD D4 B3 E5 2A : C2
B5C0 3A C2 ED 5B 40 C2 CD D4 : E7
B5C8 B3 ED 5B 44 C2 CD D4 B3 : 55
B5D0 D1 B7 ED 52 22 67 B6 2A : 30
B5D8 3C C2 ED 5B 44 C2 CD D4 : 30
B5E0 B3 E5 2A 3A C2 ED 5B 40 : 46
B5E8 C2 CD D4 B3 ED 5B 42 C2 : 62
B5F0 CD D4 B3 D1 19 22 8F B6 : A5
B5F8 2A 3A C2 ED 5B 3E C2 CD : 3B
SUM: 87 1C 43 4D D3 DE AC 13 7272

B600 D4 B3 22 B7 B6 2A 03 C2 : 05
B608 22 71 B6 2A 05 C2 22 99 : F5
B610 B6 2A 07 C2 22 C1 B6 FD : 3F
B618 21 B4 C2 11 B6 C6 3A B4 : 12
B620 C6 32 FA B6 2A 09 C2 1A : B7
B628 13 95 6F 1A 13 9C 67 22 : 69
B630 28 C2 2A 0B C2 1C 13 95 : A3
B638 6F 1A 13 9C 67 22 2A C2 : AD
B640 2A 0D C2 1A 13 95 6F 1A : 44
B648 13 9C 67 22 34 C2 D5 2A : 2D
B650 28 C2 11 00 00 CD D4 B3 : 4F
B658 E5 2A 2A C2 11 00 00 CD : D9
B660 D4 B3 E5 2A 3A C2 11 00 : 9D
B668 00 CD D4 B3 D1 19 D1 19 : 28
B670 11 00 00 19 22 C2 2A : 64
B678 28 C2 11 00 00 CD D4 B3 : 4F
SUM: 94 7C 75 1F 78 4C 0B 59 E0E2

B680 E5 2A 2A C2 11 00 00 CD : D9
B688 D4 B3 E5 2A 3A C2 11 00 : 9D
B690 00 CD D4 B3 D1 19 D1 19 : 28
B698 11 00 00 19 22 2E C2 2A : 66
B6A0 28 C2 11 00 00 CD D4 B3 : 4F
B6A8 E5 2A 2A C2 11 00 00 CD : D9
B6B0 D4 B3 E5 2A 3A C2 11 00 : 9D
B6B8 00 CD D4 B3 D1 19 D1 19 : 28
B6C0 11 00 00 19 3B 7C 28 93 : 9C
B6C8 21 00 00 01 32 00 09 F5 : 42
B6D0 EB 2A 2C C2 CD B9 B2 29 : 64
B6D8 11 00 00 19 FD 75 00 FD : 99
B6E0 74 01 D1 2A 2E C2 CD B9 : F6
B6E8 B2 11 00 00 19 FD 75 02 : 50
B6F0 FD 74 03 11 04 00 FD 19 : 9F
B6F8 D1 3E 00 3D C2 21 B6 C9 : AE
SUM: CD 04 D7 C4 22 3B 32 54 C777

B700 2A 28 C2 ED 5B 2C C2 01 : 4B
B708 00 00 7B 95 7A 9C F2 13 : 2B
B710 B7 EB 04 13 3A 15 C2 93 : 5D
B718 3A 16 C2 9A F0 1B 3A 19 : 0A
B720 C2 95 3A 1A C2 9C F8 22 : 23
B728 28 C2 ED 53 2C C2 2A 2A : 6C
B730 C2 ED 5B 2E C2 7B 95 7A : 84
B738 9C F2 3E B7 EB 0C 13 3A : C7
B740 17 C2 93 3E 00 9A F0 1B : 4F
B748 3A 1B C2 95 3E 00 9C F8 : 7E
B750 78 A9 28 01 EB 22 2A C2 : 43
B758 ED 53 2E C2 2A 28 C2 ED : 31
B760 4B 15 C2 B7 ED 42 F2 74 : 6E
B768 B7 CD 3B B8 ED 43 28 C2 : 91
B770 ED 53 2A C2 2A 2C C2 ED : 31
B778 4B 19 C2 03 B7 ED 42 FA : 09
SUM: 53 86 57 4B A8 5F 10 9F 526C

B780 8E B7 0B CD 3B B8 ED 43 : 40
B788 2C C2 ED 53 2E C2 2A 2A : 72
B790 C2 ED 5B 2E C2 7B 95 7A : 84
B798 9C F2 B8 B7 22 2E C2 ED : FC
B7A0 53 2A C2 2A 28 C2 ED 5B : 9B
B7A8 2C C2 2A C2 C2 ED 5B 28 : 66
B7B0 C2 2A 2A C2 03 B7 ED 42 : FE
B7B8 ED 4B 1B C2 03 B7 ED 42 : FE
B7C0 F0 EB ED 4B 17 C2 B7 ED : 90
B7C8 42 F8 2A 28 C2 ED 5B 2A : C0
B7D0 C2 22 2A C2 ED 53 2E C2 : FA
B7D8 2A 2C C2 ED 53 2E C2 2A : 72
B7E0 2C C2 ED 53 2C C2 2A 28 : 70
B7E8 C2 3A 17 C2 03 B7 ED 42 : 91
B7F0 ED 43 28 C2 ED 53 2A C2 : 46
B7F8 ED 43 28 C2 ED 53 2A C2 : 46
SUM: 2E 6B 55 D8 68 FC 54 AF 9944

B800 2A 2C C2 3A 1B C2 5F 06 : 84
B808 00 0C B7 ED 42 FA 1C B8 : C0
B810 0D CD 3B B8 ED 43 2C C2 : EB
B818 ED 53 2E C2 2A 28 C2 ED : 31
B820 5B 2A C2 22 2A C2 ED 53 : 95

B828 28 C2 2A 2C C2 ED 5B 2E : 78
B830 C2 22 2E C2 ED 53 2C C2 : 02
B838 C3 AE B8 2A 28 C2 22 60 : BF
B840 C2 2A 2C C2 22 65 C2 2A : 4E
B848 2A C2 22 63 C2 2A 2E C2 : 4D
B850 22 69 C2 2A 63 C2 ED 5B : E4
B858 69 C2 19 CB 2C CB 1D 5B : 08
B860 2A 60 C2 ED 5B 66 C2 19 : D5
B868 CB 2C CB 1D D1 E5 B7 ED : 39
B870 42 22 89 B8 E1 F2 81 B8 : B1
B878 22 60 C2 ED 53 63 C2 18 : C1
SUM: FC 39 B5 A4 48 A8 A5 12 BCD3

B880 07 22 66 C2 ED 53 69 C2 : BC
B888 21 00 00 CB 7C 28 07 7C : 13
B890 2F 67 7D 2F 6F 23 24 25 : 1D
B898 C2 53 B8 7D FE 02 D2 53 : 6F
B8A0 B8 C9 2A 28 C2 22 2C C2 : A5
B8A8 2A 2A C2 22 2E C2 3A 5F : B9
B8B0 C2 87 87 87 C6 A5 01 2F : 12
B8B8 B9 32 9B B9 FE A5 01 2F : 12
B8C0 38 28 03 01 00 30 79 32 : 3F
B8C8 4B B9 78 32 6E B9 32 B4 : BB
B8D0 B9 3A 2A C2 47 3A 2E C2 : 50
B8D8 90 57 D2 F8 B8 ED 44 57 : F1
B8E0 2A 28 C2 E5 2A C2 C2 22 : 33
B8E8 28 C2 E1 22 2C C2 3A 2E : 43
B8F0 C2 32 2A C2 78 32 2E C2 : 7A
B8F8 2A 2C C2 ED 4B 28 C2 B7 : F1
SUM: 80 42 AF 66 10 26 08 30 9644

B900 ED 42 01 05 03 D2 12 B9 : D5
B908 7C 2F 67 7D 2F 6F 23 01 : 51
B910 0D 0B 79 32 6D B9 32 B3 : CE
B918 B9 78 32 70 B9 32 B6 B9 : 2D
B920 E5 3A 2A C2 6F 26 00 29 : C9
B928 29 29 44 4D 29 29 09 ED : 2B
B930 4B 28 C2 79 6E F8 B0 0F : 4B
B938 0F 0F 85 4F 3E 0E 8C 47 : E3
B940 3A 28 C2 E6 07 21 0E B0 : F0
B948 85 6F 7E 00 6F 7A D9 D1 : 05
B950 14 15 20 04 B8 D2 E8 B9 : 21
B958 4F 06 00 62 6B CB 3C CB : F4
B960 1D D5 D9 D1 14 1C CD 71 : 0A
B968 B2 0A B5 02 CB 00 30 01 : 6F
B970 03 D9 B7 ED 42 D9 D2 83 : FA
B978 B9 D9 19 D9 3E 28 81 4F : B0
SUM: 44 D1 86 E0 0F A8 63 DB EC19

B980 30 01 04 1D C2 69 B9 15 : 4B
B988 C2 69 B9 C3 85 B2 4F 47 : 74
B990 CB 3F 6F 26 00 04 CD 71 : E1
B998 B2 D9 0A B5 02 3E 28 81 : 33
B9A0 4F 30 01 04 D9 B7 ED 52 : 53
B9A8 D2 B8 B9 79 85 6F 30 01 : E1
B9B0 24 D9 CB 00 30 01 03 D9 : D5
B9B8 10 DF C3 85 B2 00 00 1D : 06
B9C0 01 3B 02 59 03 76 04 93 : A7
B9C8 05 B0 06 C2 07 E8 08 03 : 81
B9D0 0A 1D 0B 36 0C 4E 0D 65 : 34
B9D8 0E 7B 0F 90 10 A4 11 B6 : A3
B9E0 12 C6 13 06 14 E3 15 EF : BC
B9E8 16 F9 17 01 19 07 1A 0C : 6D
B9F0 1B 0E 1C 0E 1D 0B 1E 07 : A0
B9F8 1F 00 20 F6 20 EA 21 DB : 3B
SUM: 44 72 06 83 19 B3 B5 25 7122

BA00 22 C9 23 B5 24 9E 25 84 : 2E
BA08 26 66 27 46 28 23 29 FC : 69
BA10 29 D3 2A A5 2B 75 2C 41 : D8
BA18 2D 09 2E CE 2E 8F 2F 4D : 6B
BA20 30 06 31 BC 31 6E 32 1C : 10
BA28 33 C6 33 6C 34 0E 35 AC : BB
BA30 35 46 36 DB 36 6C 37 F9 : 5E
BA38 37 82 38 06 39 85 39 00 : EE
BA40 3A 77 3A E9 3A 56 3B BF : 5E
BA48 3B 23 3C 83 3C DE 3C 3A : A7
BA50 3D 85 3D D1 3D 19 3E 5C : C0
BA58 3E 99 3E D2 3E 07 3F 36 : A1
BA60 3F 60 3F 85 3F A6 3F C1 : 48
BA68 3F D8 3F E9 3F F6 3F FD : B0
BA70 3F 00 40 7D 93 7C 9A FA : 9F
BA78 7B BA EB 04 05 C0 3A 1B : 3E
SUM: 95 49 0E 75 80 5E C6 27 208F

BA80 C2 B9 D8 0C C8 3A 17 C2 : 3A
BA88 B9 D0 0D 79 08 ED 4B 15 : 64
BA90 C2 0B 79 93 78 9A F0 03 : 64
BA98 79 95 78 9C FA A1 BA 60 : D7
BAA0 69 ED 4B 19 C2 79 95 78 : 02
BAA8 9C F8 79 93 78 9A F2 B3 : 57
BAB0 BA 50 59 01 79 08 13 01 : F9
BAB8 07 F8 7D A1 32 FA BA 7B : 7E
BAC0 A1 32 C5 BB 7D A0 BA 0F : 33
BAC8 0F 0F 67 7B A0 B2 0F 0F : 70
BAD0 0F 94 57 7C 08 5F 6F 26 : 72
BAD8 00 29 29 29 44 4D 29 29 : 5E
BAE0 09 08 85 4F 3E E0 8C 47 : D6
BAE8 21 5A C2 7B E6 03 85 6F : 95
BAF0 7E 32 22 BB 14 15 CA DB : 5B
BAF8 BB 3E 00 21 06 B0 85 6F : C4
SUM: 9E 26 85 83 CE 1D 1B 4E 7BAD

BB00 7E 6F 2F 67 CD 71 B2 0A : 7D
BB08 A5 6F 3A 22 BB A4 B5 02 : 86

BB10 03 15 CA C4 BB 3E 50 92 : 81
BB18 87 21 24 BB 85 6F 30 01 : AC
BB20 24 3E 00 E9 02 03 02 03 : 55
BB28 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB30 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB38 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB40 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB48 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB50 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB58 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB60 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB68 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB70 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB78 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
SUM: E7 73 6D 12 E0 E6 FF C3 8E2E

BB80 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB88 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB90 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BB98 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BBA0 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BBA8 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BBB0 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BBB8 02 03 02 03 02 03 02 03 : 14
BBC0 02 03 02 03 3E 00 21 06 : 6F
BBB8 00 85 6F 7E 67 2F 6F 0A : 31
BBD0 A5 6F 3A 22 BB A4 B5 02 : 86
BBB8 C3 85 B2 CD 71 B2 3A FA : 1E
BBE0 BA 21 06 B0 55 85 6F 3A : 14
BBE8 C5 BB 5E 82 6F 7B 2F 6F : 1F
BBF0 67 2F 6F 18 DA 04 05 20 : 20
BBF8 63 3E C7 B9 38 5E 3E 7F : 74
SUM: 73 DD 07 8B B7 FF 70 A3 47CB

BC00 93 3E 02 9A 38 56 C5 D5 : 95
BC08 E5 69 26 00 29 29 29 44 : 33
BC10 4D 29 29 09 7B E6 F8 B2 : B3
BC18 0F 0F 0F 85 4F 3E E0 8C : AB
BC20 47 7B E6 07 21 0E B0 85 : 13
BC28 6F 7E 6F 16 00 CD 76 B2 : 67
BC30 3A 56 C2 E6 FE D3 F4 0A : 07
BC38 A5 28 01 14 3A 8A C2 E6 : 4E
BC40 01 28 0D 3A 56 C2 F6 01 : 7F
BC48 D3 F4 0A A5 28 02 CB CA : 35
BC50 DB E8 E6 7F D3 E8 FB 7A : 58
BC58 E1 D1 C1 C9 3E FF C9 3A : 7C
BC60 29 C2 47 3A 2D C2 4F 3A : E4
BC68 31 C2 A0 A1 E6 FC C0 3A : 10
BC70 2B C2 2A 32 C2 A4 ED 5B : F7
BC78 2E C2 A2 87 D8 ED 52 F2 : 22
SUM: AC 33 E9 FA C0 D5 75 BE 438C

BC80 9A BC 2A 32 C2 ED 53 32 : E6
BC88 C2 22 2E C2 C2 2A 2C C2 : D9
BC90 5B 30 C2 ED 53 2C C2 22 : 9D
BC98 30 C2 2A 32 C2 ED 5B 2A : 82
BCA0 C2 B7 ED 52 F2 FC BC 2A : 5F
BCA8 2E C2 ED 4B 32 C2 ED 53 : 5C
BCB0 32 C2 22 2A C2 ED 43 2E : 60
BCB8 C2 2A 28 C2 ED 5B 2C C2 : 0C
BCC0 ED 4B 30 C2 22 30 C2 ED : 2B
BCC8 53 28 C2 ED 43 2C C2 2A : 85
BCD0 2E C2 ED 5B 2A C2 B7 ED : C8
BCD8 52 F2 F4 BC 2A 2E C2 ED : FB
BCD0 53 2E C2 22 2A C2 2A 28 : A3
BCD8 2E ED 5B 2C C2 ED 53 28 : 60
BCF0 C2 22 2C C2 2A 28 C2 ED : D3
BCF8 5B 2C C2 22 48 C2 22 4A : E1
SUM: BD C5 46 94 EB F0 A8 50 839B

BD00 C2 EB 3E 03 B7 ED 52 28 : 0C
BD08 0D F2 17 BD 7C 2F 67 7D : 62
BD10 2F 6F 23 3E 0B FE AF 32 : E9
BD18 FD BD 22 ED BD 2A 30 C2 : A2
BD20 3E 03 B7 ED 52 28 0D F2 : 5E
BD28 35 BD 7C 2F 67 7D 2F 6F : 1F
BD30 23 3E 0B FE AF 32 1C BE : 25
BD38 22 0C BE 2A 2A C2 22 8A : A8
BD40 C2 EB 2A 32 C2 B7 ED 52 : C1
BD48 22 15 BE 2A 32 C2 ED 5B : 5B
BD50 2E C2 B7 ED 52 2C B5 E5 : FC
BD58 2A 2A C2 EB ED 52 E5 D9 : FE
BD60 D1 E1 D9 22 F6 BD 20 25 : A5
BD68 2A 2C C2 22 48 C2 B7 20 : 1B
BD70 35 2A 28 C2 ED 5B 2C C2 : 7F
BD78 ED 4B 2A C2 CD 73 BA 2A : 48
SUM: 0C 81 E4 2B B8 71 43 D8 881B

BD80 2C C2 ED 5B 30 C2 ED 4B : 60
BD88 2A C2 C3 73 BA CB 2C CB : 9F
BD90 1D 22 86 C2 2A 15 BE CB : 4E
BD98 2C CB 1D 22 86 C2 CD 66 : 23
BDA0 BD D9 7C 5D D9 CB D9 22 : 63
BDAA F6 BD 54 5D CB 2C CB 1D : 43
BDAB 22 86 C2 D9 2A 30 C2 ED : 4C
BDAB 5B 2C C2 3E 83 B7 ED 52 : 08
BDC0 28 0D F2 D0 BD 7C 2F 6F : C6
BDC8 7D 2F 6F 23 3E 0B FE AF : 34
BDD0 32 FD BD 22 ED BD 2A 8A : 66
BDD8 C2 44 4D 23 22 8A C2 2A : 08
BDE0 48 C2 ED 5B 4A C2 CD 73 : 94
BDE8 BA 2A 86 C2 11 00 00 B7 : F2
BDF0 ED 52 F2 85 BE 11 00 00 : 05
BDF8 ED 4B 48 C2 19 00 D2 FC : 29
SUM: 44 BF BF F7 A9 DA AF 1F D9C1

♪結婚して1年目のころ、家内と2人でダイエー向ヶ丘店へ出かける时必须ゲームコーナーで30分以上「ムーンクレスタ」をしていました。あのドッキングシーンにひかれるものがあったので。どなたかSuperMZにムーンクレスタを移植してください。

山本 雅昭 (31) 神奈川県


```

BE00 BD ED 43 48 C2 22 86 C2 : 61
BE08 2A 88 C2 11 00 00 B7 ED : 29
BE10 52 F2 24 BE 11 00 00 ED : 24
BE18 4B 4A C2 19 00 D2 1B BE : 1B
BE20 ED 43 4A C2 22 86 C2 D9 : 81
BE28 1B 7A B3 D9 C2 D6 BD C9 : 3F
BE30 2A 28 C2 ED 5B 2C C2 E5 : 2F
BE38 B7 ED 52 E1 FA 40 BE EB : BA
BE40 CB 7A C0 CB 7C 28 03 21 : 98
BE48 00 00 3E 7F 95 3E 02 9C : 2E
BE50 D8 3E 7F 93 3E 02 9A 30 : 32
BE58 03 11 7F 02 22 9A BE ED : FC
BE60 53 9D BE 2A 2E C2 ED 5B : 10
BE68 2A C2 7C CB 7C 28 03 21 : FB
BE70 00 00 A2 CB 7A 28 03 11 : 23
BE78 00 00 07 D8 B7 ED 52 30 : 05

```

SUM: 90 AB DB 10 58 BF F9 63 64CA

```

BE80 05 19 EB B7 ED 52 3E C7 : 04
BE88 93 D8 24 25 20 03 BD 30 : C4
BE90 01 6F 45 04 7B D9 4F 06 : 62
BE98 00 21 00 00 11 00 00 CD : FF
BEA0 7B BA D9 1C 10 EE C9 AF : A0
BEA8 D9 5F 57 32 58 C2 2A 2C : 31
BEB0 C2 22 46 C2 44 4D 78 B1 : A6
BEB8 D9 CA 75 BF D9 62 6B 2B : A8
BEC0 B7 ED 42 D9 F0 28 25 CD : C9
BEC8 4E BF 3A 58 C2 B7 20 C1 : 54
BED0 2A 48 C2 ED 5B 4A C2 ED : 75
BED8 4B 75 C2 CD 7B BA 2A 48 : F6
BEE0 C2 ED 5B 4A C2 ED 4B 7B : C9
BEE8 C2 CD 7B BA C2 4E BF D9 : 77
BEF0 62 6B 2B B7 ED 42 D9 28 : DF
BEF8 26 2A 48 C2 ED 5B 4A C2 : AE

```

SUM: 0E 3E 88 17 0F 48 7E DD 97CA

```

BF00 ED 4B 75 C2 CD 7B BA 2A : 9B
BF08 75 C2 ED 5B 7B C2 B7 ED : 60
BF10 52 28 0C 42 4B 2A 48 C2 : 47
BF18 ED 5B 4A C2 CD 7B BA 3E : 94
BF20 01 32 58 C2 D9 13 D5 D9 : E7
BF28 E1 29 2B 4A 0D 2A 46 C2 : F8
BF30 B7 ED 42 22 46 C2 D2 BC : 9E
BF38 BE AF 32 58 C2 D9 0B C5 : 62
BF40 D9 E1 29 ED 4B 46 C2 09 : 2C
BF48 22 46 C2 C3 BC BE D9 2A : 6A
BF50 28 C2 B7 ED 52 22 48 C2 : 0C
BF58 2A 28 C2 19 22 4A C2 C5 : 20

```

```

BF60 2A 2A C2 B7 ED 42 22 75 : 93
BF68 C2 2A 2A C2 09 22 7B C2 : 40
BF70 42 4B D1 D9 C9 2A 28 C2 : 14
BF78 ED 5B 28 C2 ED 4B 2A C2 : 56

```

SUM: 60 92 F8 6B B5 03 FF A8 CE96

```

BF80 C3 7B BA 3A B4 C6 B7 C8 : 2B
BF88 3A B5 C6 B7 C8 21 B6 CC : D7
BF90 32 CB BF 4E 23 7E 23 E5 : B3
BF98 69 26 00 29 29 11 B4 C2 : 68
BFA0 19 11 28 C2 ED A0 ED A0 : 2E
BFA8 ED A0 ED A0 6F 26 00 29 : D8
BFB0 29 11 B4 C2 19 11 2C C2 : C8
BFB8 ED A0 ED A0 ED A0 ED A0 : 34
BFC0 CD 98 C1 CD 9A C1 CD 00 : 1B
BFC8 B7 E1 3E 00 3D C2 90 BF : 24
BFD0 C9 2A 28 C2 ED 5B 30 C2 : 17
BFD8 19 CB 2C CB 1D EB 2A 2C : 39
BFE0 C2 29 B7 ED 52 22 C2 C2 : F1
BFE8 2A 2A C2 ED 5B 32 C2 19 : 6B
BFF0 CB 2C CB 1D EB 2A 2E C2 : E4
BFF8 29 B7 ED 52 22 2E C2 AF : E0

```

SUM: FA 27 79 CF C5 62 DF 5F 56F6

```

C000 2A 28 C2 22 61 C2 32 60 : EB
C008 C2 2A 2A C2 22 64 C2 32 : 52
C010 63 C2 2A 2C C2 ED 5B 28 : AD
C018 C2 AF ED 52 CB 2C CB 1D : 8F
C020 1F CB 2C CB 1D 1F CB 2C : 14
C028 CB 1D 1F 32 72 C2 22 73 : 02
C030 C2 2A 2E C2 ED 5B 2A C2 : 10
C038 AF ED 52 CB 2C CB 1D 1F : EC
C040 CB 2C CB 1D 1F CB 2C CB : C0
C048 1D 1F 32 75 C2 22 76 C2 : FF
C050 2A 2C C2 29 EB 2A 28 C2 : 40
C058 B7 ED 52 ED 5B 30 C2 19 : 49
C060 7C 87 9F 32 7A C2 22 78 : AA
C068 C2 29 8F 32 80 C2 22 7E : 8E
C070 C2 2A 2E C2 29 EB 2A 2A : 44
C078 C2 B7 ED 52 ED 5B 32 C2 : F4

```

SUM: F7 B7 28 0C EF 57 7A A1 4614

```

C080 19 7C 87 9F 32 7D C2 22 : 4E
C088 7B C2 29 8F 32 83 C2 22 : 8E
C090 81 C2 AF 6F 32 82 26 C2 : 12
C098 32 68 C2 22 69 C2 32 6B : 46
C0A0 C2 22 6C C2 32 6E C2 22 : 96
C0A8 6F C2 32 71 C2 0E 11 FD : B2

```

```

C0B0 21 8C C2 C5 2A 60 C2 3A : BA
C0B8 62 C2 47 ED 5B 66 C2 3A : 15
C0C0 68 C2 19 88 47 ED 5B 6C : C6
C0C8 C2 3A 6E C2 19 88 FD 74 : 3E
C0D0 00 FD 77 01 2A 63 C2 3A : FE
C0D8 65 C2 47 ED 5B 69 C2 3A : 1B
C0E0 6B C2 19 88 47 ED 5B 6F : CC
C0E8 C2 3A 71 C2 19 88 FD 74 : 41
C0F0 02 FD 77 03 2A 66 C2 3A : 05
C0F8 68 C2 47 ED 5B 72 C2 3A : 27

```

SUM: 21 10 55 0E 7F B4 2B AF F96D

```

C100 74 C2 19 88 22 66 C2 32 : 53
C108 68 C2 2A 69 C2 3A 6B C2 : E6
C110 47 ED 5B 75 C2 3A 77 C2 : 39
C118 19 88 22 69 C2 32 6B C2 : 4D
C120 2A 6C C2 3A 6E C2 47 ED : F6
C128 5B 78 C2 3A 7A C2 4F 19 : 73
C130 88 22 6C C2 32 6E C2 2A : 64
C138 7E C2 EB 3A 80 C2 19 89 : 49
C140 22 78 C2 32 7A C2 2A 6F : 63
C148 C2 3A 7D C2 47 ED 5B 7B : 39
C150 C2 3A 7D C2 47 ED 5B 7B : 4D
C158 6F C2 32 71 C2 2A 81 C2 : 03
C160 EB 3A 83 C2 19 89 22 7B : A9
C168 C2 32 7D C2 01 04 00 FD : 35
C170 09 C1 0D C2 B3 C0 21 8C : B9
C178 C2 06 10 C5 11 28 C2 ED : 85

```

SUM: 54 A2 9A 71 B2 27 13 F0 92E6

```

C180 A0 ED A0 ED A0 ED A0 E5 : 2C
C188 ED A0 ED A0 ED A0 ED A0 : 24
C190 CD 00 B7 E1 C1 10 E4 C9 : E3
C198 62 6B 2B 2B 2B CB 2E 2B : 72
C1A0 CB 1E C9 00 00 00 00 00 : B2
C1A8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1B0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1B8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1C0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1C8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1D0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1D8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1E0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1E8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1F0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
C1F8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00

```

SUM: 87 16 38 99 79 68 9F 79 0559

リスト3 3D物体誘導ゲーム

```

8000 CD 00 AF CD E2 1F 0C 30 : 86
8008 30 30 30 00 DD 21 56 81 : 65
8010 CD 04 B0 AF 32 54 81 32 : 69
8018 53 81 32 55 81 21 D0 07 : D4
8020 22 7F 81 CD C9 80 22 77 : D1
8028 81 CD C9 80 22 7B 81 3A : EF
8030 55 81 3C FE 03 38 01 AF : FB
8038 32 55 81 DD 21 75 81 CD : C9
8040 04 B0 DD 21 CD 81 CD 04 : D1
8048 B0 2A 7F 81 11 32 00 B7 : D4
8050 ED 52 28 0E 22 7F 81 CD : 64
8058 9F 80 CD 09 81 CD 1F 81 : E3
8060 18 D9 CD 7E 80 21 00 00 : DD
8068 CD 1E 20 2A 53 81 24 CD : FA
8070 BE 1F 3A 54 81 3C 32 54 : AE
8078 81 FE 20 38 A0 C9 2A 77 : E1

```

SUM: AB 97 60 E6 F6 03 C5 B8 52B8

```

8080 81 CD 94 80 D0 2A 7B 81 : 58
8088 CD 94 80 D0 CD CA 1F 21 : 82
8090 53 81 34 C9 11 28 00 19 : 23
8098 11 50 00 B7 ED 52 C9 CD : ED
80A0 B8 80 5E 23 56 EB 01 0D : 08
80A8 00 09 01 68 01 B7 ED 42 : 59

```

```

80B0 30 01 09 EB 72 2B 73 C9 : FE
80B8 3A 55 81 21 8F 81 B7 C8 : C0
80C0 21 93 81 3D C8 21 97 81 : 73
80C8 C9 2A 51 81 7C 2F 47 7D : 34
80D0 2F 4F 11 83 03 21 00 00 : 36
80D8 3E 10 29 CB 13 CB 12 30 : 62
80E0 01 09 3D 20 F5 22 51 81 : 50
80E8 45 4C 21 00 00 11 C8 00 : 8B
80F0 3E 10 CB 21 CB 10 ED 6A : 6C
80F8 0C ED 52 30 02 19 0D 3D : E0

```

SUM: BB 7F B8 E4 0F 4E 7E BE C9BF

```

8100 20 F0 11 64 00 B7 ED 52 : 7B
8108 C9 CD D0 1F 06 00 FE 2C : B5
8110 C8 04 FE 4A C8 04 FE 4C : 2A
8118 C8 04 FE 49 C8 04 C9 78 : 20
8120 B7 28 13 3D 28 13 3D 28 : D4
8128 20 3D C0 2A 7B 81 11 0A : 5E
8130 00 19 22 7B 81 C9 2A 7B : A5
8138 81 11 F6 FF 18 F3 2A 77 : 33
8140 81 11 0A 00 19 22 77 81 : CF
8148 C9 2A 77 81 11 F6 FF 18 : 09
8150 F3 00 00 00 00 00 06 00 : F9
8158 00 00 00 7F 02 C7 00 0A : 52

```

```

8160 00 01 02 03 04 05 06 07 : 1C
8168 07 02 02 03 07 02 01 09 : 27
8170 07 02 00 03 0F 0B 00 00 : 2C
8178 00 0B 01 00 00 0B 02 64 : 7D

```

SUM: 1C 9F 4E 0C 18 10 D9 7D 3CD2

```

8180 00 0B 03 00 00 0B 04 00 : 1D
8188 00 0B 05 00 00 0B 06 00 : 21
8190 00 0B 07 00 00 0B 08 00 : 25
8198 00 0C 05 1E 00 1E 00 E2 : 2F
81A0 FF E2 FF 1E 00 E2 FF E2 : C1
81A8 FF 1E 00 1E 00 1E 00 1E : 77
81B0 00 1E 00 00 00 E2 FF 00 : FF
81B8 00 08 00 01 01 02 02 03 : 11
81C0 03 00 00 04 01 04 02 04 : 12
81C8 03 04 0D 0E 0F 07 00 00 : 38
81D0 0E 07 02 00 0F 00 00 00 : 26
81D8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
81E0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
81E8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
81F0 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
81F8 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00

```

SUM: 12 5E 22 6D 20 2E 14 E9 2D4E

リスト4 MZ-80B版MAGICソースリスト

```

0000 1: ;*****
0000 2:
0000 3: MAGIC MZ-80B/B2
0000 4:
0000 5: ;*****
0000 6:
0000 7: MGINIT EQU $AF00
0000 8: MAGIC EQU $B000
0000 9: OFFSET $4E00-MGINIT
0000 10:
0000 11: <MAGIC INITIALIZE>
0000 12:
0000 13: ORG MGINIT
0000 14:
0000 15: VRAM20K?
0000 16: IN A, ($E8)
0000 17: OR $80
0000 18: OUT ($E8), A
0000 19: LD A, 6
0000 20: LD (PLANE), A
0000 21: LD A, 7
0000 22: OUT ($F4), A
0000 23: LD HL, $E000

```

```

AF12 46
AF13
AF13 77
AF14 BE
AF15 20 05
AF17 3D
AF18 20 F9
AF1A 70
AF1B 2C
AF1C
AF1C 7D
AF1D 32 8A C2
AF20 3E 06
AF22 D3 F4
AF24 DB E8
AF26 E6 7F
AF28 D3 E8
AF2A C9
AF2B
AF2B
AF2B
B000
B000

```

```

24 LD B, (HL)
25 CHK1
26 LD (HL), A
27 CP (HL)
28 JR NZ, CHK2
29 DEC A
30 JR NZ, CHK1
31 LD (HL), B
32 INC L
33 CHK2
34 LD A, L
35 LD (VRAM2), A
36 LD A, 6
37 OUT ($F4), A
38 IN A, ($E8)
39 AND $7F
40 OUT ($E8), A
41 RET
42
43: <MAGIC MAIN PROGRAM>
44
45 ORG MAGIC
46 BREQ

```

▶ 私たちの町では確実に Oh! MZ が手に入ります。手に入りにくいとお嘆きの方、引っ越ししてきてはどうですか。
徳永 章一 (15) 佐賀県


```

B000 DD 2A 00 C2      47 LD IX, (POINTER)
B004                    48 ENT
B004 18 10             49 JR MAIN
B006                    50 LINE$SIDE
B006 00 01 03 07      51 DB $00:$01:$03:$07
B006 0F 1F 3F 7F      52 DB $0F:$1F:$3F:$7F
B00E                    53 DOT$TABLE
B00E 01 02 04 08      54 DB $01:$02:$04:$08
B012 10 20 40 80      55 DB $10:$20:$40:$80
B016                    56 MAIN
B016 DD 7E 00          57 LD A, (IX)
B019 E0 0F             58 AND $0F
B01B DD 23             59 INC IX
B01D 21 16 B0          60 LD HL, MAIN
B020 E5                61 PUSH HL
B021 87                62 ADD A, A
B022 6F                63 LD L, A
B023 26 00             64 LD H, 0
B025 11 2E B0          65 LD DE, JMPTBL
B028 19                66 ADD HL, DE
B029 7E                67 LD A, (HL)
B02A 23                68 INC HL
B02B 60                69 LD H, (HL)
B02C 8F                70 LD L, A
B02D E9                71 JP (HL)
B02E                    72 JMPTBL
B02E 4E B0             73 DW $LINE
B030 77 B0             74 DW $SPLINE
B032 83 B0             75 DW $BOX
B034 02 B1             76 DW $TRIANGLE
B036 11 B1             77 DW $BOXFULL
B038 1D B1             78 DW $CIRCLE
B03A 0B B1             79 DW $WINDOW
B03C 37 B1             80 DW $MODE
B03E 59 B1             81 DW $POINT
B040 18 B2             82 DW $CLS
B042 8D B2             83 DW $PALETTE
B044 8B B1             84 DW $PALA
B046 A5 B1             85 DW $DATA
B048 E4 B4             86 DW $TRANS
B04A 83 BF             87 DW $DISP
B04C D7 B1             88 DW $DONE
B04E                    89 $LINE
B04E DD 46 00          90 LD B, (IX)
B051 DD 23             91 INC IX
B053 C5                92 PUSH BC
B054 CD D9 B1          93 CALL $BIB7
B057 C1                94 POP BC
B058 05                95 DEC B
B059 CA A2 B8          96 JP Z, PSET
B05C                    97 $B05C
B05C C5                98 PUSH BC
B05D CD D9 B1          99 CALL $BIB7
B05E 2A 26 C2          100 LD HL, (X1)
B053 E5                101 PUSH HL
B054 2A 2A C2          102 LD HL, (Y1)
B057 E5                103 PUSH HL
B058 CD 00 B7          104 CALL CLIPLINE
B05B E1                105 POP HL
B05C 22 2A C2          106 LD (Y1), HL
B05F E1                107 POP HL
B070 22 28 C2          108 LD (X1), HL
B073 C1                109 POP BC
B074 10 E6             110 DJNZ $B05C
B076 C9                111 RET
B077                    112 $SPLINE
B077 CD D9 B1          113 CALL $BIB7
B07A CD D9 B1          114 CALL $BIB7
B07D CD D9 B1          115 CALL $BIB7
B080 C3 D1 BF          116 JP SPLINE
B083                    117 $BOX
B083 DD E5 E1          118 LD HL, IX
B086 11 8C C2          119 LD DE, WORK
B08B ED A0             120 LD1
B08B ED A0             121 LD1
B08D ED A0             122 LD1
B08F ED A0             123 LD1
B091 ED A0             124 LD1
B093 ED A0             125 LD1
B095 ED A0             126 LD1
B097 ED A0             127 LD1
B099 E5                128 PUSH HL
B09A CD 98 C1          129 CALL CNV
B09D CD 9A C1          130 CALL CNV2
B0A0 DD E1             131 POP IX
B0A2 2A 8C C2          132 LD HL, (WORK)
B0A5 22 28 C2          133 LD (X1), HL
B0A8 22 2C C2          134 LD (X2), HL
B0AB 2A 8E C2          135 LD HL, (WORK+2)
B0AE 22 2A C2          136 LD (Y1), HL
B0B1 2A 92 C2          137 LD HL, (WORK+6)
B0B4 22 2E C2          138 LD (Y2), HL
B0B7 CD 00 B7          139 CALL CLIPLINE
B0BA 2A 90 C2          140 LD HL, (WORK+4)
B0BD 22 28 C2          141 LD (X1), HL
B0C0 22 2C C2          142 LD (X2), HL
B0C3 2A 8E C2          143 LD HL, (WORK+2)
B0C6 22 2A C2          144 LD (Y1), HL
B0C9 2A 92 C2          145 LD HL, (WORK+6)
B0CC 22 2E C2          146 LD (Y2), HL
B0CF CD 00 B7          147 CALL CLIPLINE
B0D2 2A 8E C2          148 LD HL, (WORK+2)
B0D5 22 2A C2          149 LD (Y1), HL
B0D8 22 2E C2          150 LD (Y2), HL
B0DB 2A 8C C2          151 LD HL, (WORK)
B0DE 22 28 C2          152 LD (X1), HL
B0E1 2A 90 C2          153 LD HL, (WORK+4)
B0E4 22 2C C2          154 LD (X2), HL
B0E7 CD 00 B7          155 CALL CLIPLINE
B0EA 2A 92 C2          156 LD HL, (WORK+6)
B0ED 22 2A C2          157 LD (Y1), HL
B0F0 22 2E C2          158 LD (Y2), HL
B0F3 2A 8C C2          159 LD HL, (WORK)
B0F6 22 28 C2          160 LD (X1), HL
B0F9 2A 90 C2          161 LD HL, (WORK+4)
B0FC 22 2C C2          162 LD (X2), HL
B0FF C3 00 B7          163 JP CLIPLINE
B102                    164 $TRIANGLE
B102 CD 06 B2          165 CALL $B1E1
B105 CD D9 B1          166 CALL $B1B7
B108 CD D9 B1          167 CALL $B1B7
B10B CD D9 B1          168 CALL $B1B7
B10E C3 5F BC          169 JP $BOXFULL TRIANGLE
B111                    170 $BOXFULL
B111 CD 06 B2          171 CALL $B1E1
B114 CD D9 B1          172 CALL $B1B7
B117 CD D9 B1          173 CALL $B1B7
B11A C3 30 BE          174 JP BOX$FULL
B11D                    175 $CIRCLE
B11D CD 06 B2          176 CALL $B1E1
B120 CD D9 B1          177 CALL $B1B7
B123 DD 6E 00          178 LD L, (IX)

```

```

B126 DD 66 01          179 LD H, (IX+1)
B129 CD 2C             180 SRA H
B12B CB 1D             181 RR L
B12D DD 23             182 INC IX
B12F DD 23             183 INC IX
B131 22 2C C2          184 LD (X2), HL
B134 C3 A7 BE          185 JP CIRCLE$FULL
B137                    186 $MODE
B137 DD 7E 00          187 LD A, (IX)
B13A E6 03             188 AND 3
B13C 32 57 C2          189 LD (XMODE), A
B13F DD 23             190 INC IX
B141 DD 7E 00          191 LD A, (IX)
B144 DD 23             192 INC IX
B146 B7                193 OR A
B147 28 03             194 JR Z, MODE2
B149 3A 8A C2          195 LD A, (VRAM2)
B14C                    196 MODE2
B14C 47                197 LD B, A
B14D 3A 56 C2          198 LD A, (PLANE)
B150 E6 06             199 AND 6
B152 B4                200 OR B
B153 D1 F4             201 OUT ($F4), A
B155 32 56 C2          202 LD (PLANE), A
B158 C3                203 RET
B159                    204 $POINT
B159 CD D9 B1          205 CALL $BIB7
B15C E3 5B 28 C2      206 LD DE, (X1)
B15D ED 4B 2A C2      207 LD BC, (Y1)
B164 C3 F5 BE          208 CALL POINT
B167 32 02 C2          209 LD (PDATA), A
B16A C9                210 RET
B16B                    211 $WINDOW
B16B DD E5 E1          212 LD HL, IX
B16E 11 15 C2          213 LD DE, MINX
B171 ED A0             214 LD1
B173 ED A0             215 LD1
B175 ED A0             216 LD1
B177 ED A0             217 LD1
B179 ED A0             218 LD1
B17B ED A0             219 LD1
B17D ED A0             220 LD1
B17F ED A0             221 LD1
B181 E5                222 PUSH HL
B182 CD 98 C1          223 CALL CNV
B185 CD 9A C1          224 CALL CNV2
B188 DD E1             225 POP IX
B18A C9                226 RET
B18B                    227 $PALA
B18B DD 7E 00          228 LD A, (IX)
B18E E6 0F             229 AND $0F
B190 87                230 AND A, A
B191 6F                231 LD L, A
B192 26 00             232 LD H, 0
B194 11 03 C2          233 LD DE, CX
B197 19                234 ADD HL, DE
B198 EB                235 EX DE, HL
B199 DD E5 E1          236 LD HL, IX
B19C 23                237 INC HL
B19D ED A0             238 LD1
B19F ED A0             239 LD1
B1A1 E5 DD E1          240 LD IX, HL
B1A4 C9                241 RET
B1A5                    242 $DATA
B1A5 DD 7E 00          243 LD A, (IX)
B1A8 DD 23             244 INC IX
B1AA 32 B4 C6          245 LD (PCT), A
B1AD DD E5 E1          246 LD HL, IX
B1B0 11 B6 C6          247 LD DE, OBJ$BUF
B1B3                    248 $B1B8
B1B3 ED A0             249 LD1
B1B5 ED A0             250 LD1
B1B7 ED A0             251 LD1
B1B9 ED A0             252 LD1
B1BB ED A0             253 LD1
B1BD ED A0             254 LD1
B1BF 3D                255 DEC A
B1C0 C2 B3 B1          256 JP NZ, $B1B8
B1C3 7E                257 LD A, (HL)
B1C4 23                258 INC HL
B1C5 32 B5 C6          259 LD (LCT), A
B1C8 11 B6 CC          260 LD DE, LIN$BUF
B1CB                    261 $B1A3
B1CB ED A0             262 LD1
B1CD ED A0             263 LD1
B1CF 3D                264 DEC A
B1D0 C2 CB B1          265 JP NZ, $B1A3
B1D3 E5 DD E1          266 LD IX, HL
B1D6 C9                267 RET
B1D7                    268 $DONE
B1D7 E1                269 POP HL
B1D8 C9                270 RET
B1D9                    271 $B1B7
B1D9 2A 2C C2          272 LD HL, (X2)
B1DC 22 30 C2          273 LD (X3), HL
B1DF 2A 2E C2          274 LD HL, (Y2)
B1E2 22 32 C2          275 LD (Y3), HL
B1E5 2A 28 C2          276 LD HL, (X1)
B1E8 22 2C C2          277 LD (X2), HL
B1EB 2A 2A C2          278 LD HL, (Y1)
B1EE 22 2E C2          279 LD (Y2), HL
B1F1 DD E5 E1          280 LD HL, IX
B1F4 11 28 C2          281 LD DE, X1
B1F7 ED A0             282 LD1
B1F9 ED A0             283 LD1
B1FB ED A0             284 LD1
B1FD ED A0             285 LD1
B1FF E5                286 PUSH HL
B200 CD 98 C1          287 CALL CNV
B203 DD E1             288 POP IX
B205 C9                289 RET
B206                    290 $B1E1
B206 DD E5 E1          291 LD HL, IX
B209 11 5A C2          292 LD DE, MASKS
B20C ED A0             293 LD1
B20E ED A0             294 LD1
B210 ED A0             295 LD1
B212 ED A0             296 LD1
B214 E5 DD E1          297 LD IX, HL
B217 C9                298 RET
B218                    299 $CLS
B218 2A 15 C2          300 LD HL, (MINX)
B21B ED 5B 19 C2      301 LD DE, (MAXX)
B21F 7D                302 LD A, L
B220 E6 F8             303 AND $F8
B222 B4                304 OR H
B223 0F                305 RRCA
B224 0F                306 RRCA
B225 0F                307 RRCA
B226 07                308 LD H, A
B227 7B                309 LD A, E
B228 E6 F8             310 AND $F8

```

♪ どうせシステムを作るなら、私は「LP-PUL」と名付けたい。この「Liberty for Power-Players' UnLimited」はCPUを売りものにするようなシステムにはなりたくないものだ。OSはOS-9だけどユーザーインタフェイス「VS, X」のライセンスかな。ちなみに「PUL III」は前機種と競合しますので……。

遠藤 直紀 (20) 大分県

B22A B2	311	OR D	443	LD E,A
B22B 0F	312	RRCA	444	INC DE
B22C 0F	313	RRCA	445	#B2B9
B22D 0F	314	RRCA	446	LD A,D
B22E 94	315	SUB H	447	CPL
B22F CB 3F	316	SRL A	448	LD B,A
B231 CB 3F	317	SRL A	449	LD A,E
B233 3C	318	INC A	450	CPL
B234 32 53 B2	319	LD (#B22B+1),A	451	LD C,A
B237 5C	320	LD E,H	452	INC BC
B238 2A 17 C2	321	LD HL,(MINY)	453	XOR A
B23B 3A 1B C2	322	LD A,(MAXY)	454	ADD HL,BC
B23E 95	323	SUB L	455	JR C,#B2C6
B23F 57	324	LD D,A	456	ADD HL,DE
B240 14	325	INC D	457	OR A
B241 20 00	326	LD H,0	458	#B2C6
B243 29	327	ADD HL,HL	459	RLA
B244 29	328	ADD HL,HL	460	ADD HL,HL
B245 29	329	ADD HL,HL	461	ADD HL,BC
B246 44 4D	330	LD BC,HL	462	JR C,#B2CD
B248 29	331	ADD HL,HL	463	ADD HL,DE
B249 29	332	ADD HL,HL	464	OR A
B24A 09	333	ADD HL,BC	465	#B2CD
B24B 48	334	LD C,E	466	RLA
B24C 06 E0	335	LD B,\$E0	467	ADD HL,HL
B24E 09	336	ADD HL,BC	468	ADD HL,BC
B24F CD 71 B2	337	CALL VRAM#0N	469	JR C,#B2D4
B252	338 #B22B		470	ADD HL,DE
B252 IE 00	339	LD E,0	471	OR A
B254 AF	340	XOR A	472	#B2D4
B255 44 4D	341	LD BC,HL	473	RLA
B257	342 #B230		474	ADD HL,HL
B257 02	343	LD (BC),A	475	ADD HL,BC
B258 03	344	INC BC	476	JR C,#B2DB
B259 02	345	LD (BC),A	477	ADD HL,DE
B25A 03	346	INC BC	478	OR A
B25B 02	347	LD (BC),A	479	#B2DB
B25C 03	348	INC BC	480	RLA
B25D 02	349	LD (BC),A	481	ADD HL,HL
B25E 03	350	INC BC	482	ADD HL,BC
B25F 1D	351	DEC E	483	JR C,#B2E2
B260 C2 57 B2	352	JP NZ,#B230	484	ADD HL,DE
B263 32 28	353	LD A,40	485	OR A
B265 85	354	LD A,L	486	#B2E2
B266 6F	355	LD L,A	487	RLA
B267 30 01	356	JR NC,#B243	488	ADD HL,HL
B269 24	357	INC H	489	ADD HL,BC
B26A	358 #B243		490	JR C,#B2E9
B26A 15	359	DEC D	491	ADD HL,DE
B26B C2 52 B2	360	JP NZ,#B22B	492	OR A
B26E C3 85 B2	361	JP VRAM#OFF	493	#B2E9
B271	362 VRAM#0N		494	RLA
B271 3A 56 C2	363	LD A,(PLANE)	495	ADD HL,HL
B274 D3 F4	364	OUT (\$F4),A	496	ADD HL,BC
B276	365 VRAM#0N2		497	JR C,#B2F0
B276 E3	366	EX (SP),HL	498	ADD HL,DE
B277 22 83 B2	367	LD (VRAM#OFF-2),HL	499	OR A
B27A E1	368	POP HL	500	#B2F0
B27B F3	369	DI	501	RLA
B27C DB E8	370	IN A,(\$E8)	502	ADD HL,HL
B27E F6 80	371	OR \$80	503	ADD HL,BC
B280 D3 E8	372	OUT (\$E8),A	504	JR C,#B2F7
B282 C3 00 00	373	JP 0	505	ADD HL,DE
B285	374 VRAM#OFF		506	OR A
B285 DB E8	375	IN A,(\$E8)	507	#B2F7
B287 E6 7F	376	AND \$7F	508	RLA
B289 D3 E8	377	OUT (\$E8),A	509	LD H,0
B28B FB	378	EI	510	LD L,A
B28C C9	379	RET	511	EX AF,AF'
B28D	380	0PALETTE	512	ADD A,A
B28D 3A 56 C2	381	LD A,(PLANE)	513	RET NC
B290 E6 01	382	AND 1	514	LD A,H
B292 47	383	LD B,A	515	CPL
B293 AF	384	XOR A	516	LD H,A
B294 DD 36 01	385	OR (1X+1)	517	LD A,L
B297 28 93	386	JR Z,PAL2	518	CPL
B299 CB C8	387	SET 1,B	519	LD L,A
B29B AF	388	XOR A	520	INC HL
B29C	389 PAL2		521	RET
B29C DD 36 02	390	OR (1X+2)	522	LD A,H
B29F 28 02	391	JR Z,PAL3	523	OR L
B2A1 CB D0	392	SET 2,B	524	RET Z
B2A3	393 PAL3		525	LD A,D
B2A3 78	394	LD A,B	526	OR E
B2A4 D3 F4	395	OUT (\$F4),A	527	JR NZ,#B319
B2A6 32 56 C2	396	LD (PLANE),A	528	BIT 7,H
B2A9 01 08 00	397	LD BC,8	529	LD HL,\$7FFF
B2AC DD 09	398	ADD 1X,BC	530	RET Z
B2AE C9	399	RET	531	INC HL
B2AF	400 NEG#HL		532	RET
B2AF 7C	401	LD A,H	533	#B319
B2B0 2F	402	CPL	534	LD A,H
B2B1 67	403	LD H,A	535	XOR D
B2B2 7D	404	LD A,L	536	EX AF,AF'
B2B3 2F	405	CPL	537	BIT 7,H
B2B4 6F	406	LD L,A	538	JR Z,#B327
B2B5 23	407	INC HL	539	LD A,H
B2B6 3E FF	408	LD A,\$FF	540	CPL
B2B8 C9	409	RET	541	LD H,A
B2B9	410 XD1V		542	LD A,L
B2B9 7C	411	LD A,H	543	CPL
B2BA B5	412	OR L	544	LD L,A
B2BB C8	413	RET Z	545	INC HL
B2BC 7A	414	LD A,D	546	#B327
B2BD B3	415	OR E	547	BIT 7,D
B2BE 20 08	416	JR NZ,#B2A0	548	JR Z,#B332
B2C0 CB 7C	417	BIT 7,H	549	LD A,D
B2C2 21 FF 7F	418	LD HL,\$7FFF	550	CPL
B2C5 C8	419	RET Z	551	LD D,A
B2C6 23	420	INC HL	552	LD A,E
B2C7 C9	421	RET	553	CPL
B2C8	422 #B2A0		554	LD E,A
B2C8 7C	423	LD A,H	555	INC DE
B2C9 AA	424	XOR D	556	#B332
B2CA 09	425	EX AF,AF'	557	LD A,D
B2CB CB 7C	426	BIT 7,H	558	CPL
B2CD 28 07	427	JR Z,#B2AE	559	LD B,A
B2CF 7C	428	LD A,H	560	LD A,E
B2D0 2F	429	CPL	561	CPL
B2D1 67	430	LD H,A	562	LD C,A
B2D2 7D	431	LD A,L	563	INC BC
B2D3 2F	432	CPL	564	XOR A
B2D4 6F	433	LD L,A	565	ADD HL,BC
B2D5 23	434	INC HL	566	JR C,#B33F
B2D6	435 #B2AE		567	ADD HL,DE
B2D6 CB 7A	436	BIT 7,D	568	OR A
B2D8 28 07	437	JR Z,#B2B9	569	#B33F
B2DA 7A	438	LD A,D	570	RLA
B2DB 2F	439	CPL	571	ADD HL,HL
B2DC 57	440	LD D,A	572	ADD HL,BC
B2DD 7B	441	LD A,E	573	JR C,#B346
B2DE 2F	442	CPL		
B2DF 5F				
B2E0 13				
B2E1				
B2E1 7A				
B2E2 2F				
B2E3 47				
B2E4 7B				
B2E5 2F				
B2E6 4F				
B2E7 03				
B2E8 AF				
B2E9 09				
B2EA 38 02				
B2EC 19				
B2ED B7				
B2EE				
B2EE 17				
B2EF 29				
B2F0 09				
B2F1 38 02				
B2F3 19				
B2F4 B7				
B2F5				
B2F5 17				
B2F6 29				
B2F7 09				
B2F8 38 02				
B2FA 19				
B2FB B7				
B2FC				
B2FC 17				
B2FD 29				
B2FE 09				
B2FF 38 02				
B301 19				
B302 B7				
B303				
B303 17				
B304 29				
B305 09				
B306 38 02				
B308 19				
B309 B7				
B30A				
B30A 17				
B30B 29				
B30C 09				
B30D 38 02				
B30F 19				
B310 B7				
B311				
B311 17				
B312 29				
B313 09				
B314 38 02				
B316 19				
B317 B7				
B318				
B318 17				
B319 29				
B31A 09				
B31B 38 02				
B31D 19				
B31E B7				
B31F				
B31F 17				
B320 26 00				
B322 6F				
B323 08				
B324 87				
B325 D0				
B326 7C				
B327 2F				
B328 67				
B329 7D				
B32A 2F				
B32B 6F				
B32C 23				
B32D C9				
B32E 7C				
B32F B5				
B330 C8				
B331 7A				
B332 B3				
B333 20 08				
B335 CB 7C				
B337 21 FF 7F				
B33A C8				
B33B 23				
B33C C9				
B33D				
B33D 7C				
B33E AA				
B33F 08				
B340 CB 7C				
B342 28 07				
B344 7C				
B345 2F				
B346 67				
B347 7D				
B348 2F				
B349 6F				
B34A 23				
B34B				
B34B CB 7A				
B34D 28 07				
B34F 7A				
B350 2F				
B351 57				
B352 7B				
B353 2F				
B354 5F				
B355 13				
B356				
B356 7A				
B357 2F				
B358 47				
B359 7B				
B35A 2F				
B35B 4F				
B35C 03				
B35D AF				
B35E 09				
B35F 38 02				
B361 19				
B362 B7				
B363				
B363 17				
B364 29				
B365 09				
B366 38 02				

▶先日、「タッチ」の全巻を一気に読んで気がついたので、4年間の成長、変化の描き方がみごとですね。成長度は縦線、年月が横線のグラフで表すと、南の身体はボリュームのA曲線、情緒はC曲線、達也はどちらもA曲線では？もし作者あだち充氏がこれを意識していたなら彼はB曲線（直線）だと思います。

三好 弘祐 (30) 京都府


```

B368 19      574      ADD HL,DE
B369 B7      575      OR A
B36A      576 #B346
B36A 17      577      RLA
B36B 29      578      ADD HL,HL
B36C 09      579      ADD HL,BC
B36D 38 02   580      JR C,#B34D
B36E 19      581      ADD HL,DE
B370 B7      582      OR A
B371      583 #B34D
B371 17      584      RLA
B372 29      585      ADD HL,HL
B373 09      586      ADD HL,BC
B374 38 02   587      JR C,#B354
B376 19      588      ADD HL,DE
B377 B7      589      OR A
B378      590 #B354
B378 17      591      RLA
B379 29      592      ADD HL,HL
B37A 09      593      ADD HL,BC
B37B 38 02   594      JR C,#B35B
B37D 19      595      ADD HL,DE
B37E B7      596      OR A
B37F      597 #B35B
B37F 17      598      RLA
B380 29      599      ADD HL,HL
B381 09      600      ADD HL,BC
B382 38 02   601      JR C,#B362
B384 19      602      ADD HL,DE
B385 B7      603      OR A
B386      604 #B362
B386 17      605      RLA
B387 29      606      ADD HL,HL
B388 09      607      ADD HL,BC
B389 38 02   608      JR C,#B369
B38B 19      609      ADD HL,DE
B38C B7      610      OR A
B38D      611 #B369
B38D 17      612      RLA
B38E 29      613      ADD HL,HL
B38F F5      614      PUSH AF
B390 09      615      ADD HL,BC
B391 38 02   616      JR C,#B371
B393 19      617      ADD HL,DE
B394 B7      618      OR A
B395      619 #B371
B395 17      620      RLA
B396 29      621      ADD HL,HL
B397 09      622      ADD HL,BC
B398 38 02   623      JR C,#B378
B39A 19      624      ADD HL,DE
B39B B7      625      OR A
B39C      626 #B378
B39C 17      627      RLA
B39D 29      628      ADD HL,HL
B39E 09      629      ADD HL,BC
B39F 38 02   630      JR C,#B37F
B3A1 19      631      ADD HL,DE
B3A2 B7      632      OR A
B3A3      633 #B37F
B3A3 17      634      RLA
B3A4 29      635      ADD HL,HL
B3A5 09      636      ADD HL,BC
B3A6 38 02   637      JR C,#B386
B3A8 19      638      ADD HL,DE
B3A9 B7      639      OR A
B3AA      640 #B386
B3AA 17      641      RLA
B3AB 29      642      ADD HL,HL
B3AC 09      643      ADD HL,BC
B3AD 38 02   644      JR C,#B38D
B3AF 19      645      ADD HL,DE
B3B0 B7      646      OR A
B3B1      647 #B38D
B3B1 17      648      RLA
B3B2 29      649      ADD HL,HL
B3B3 09      650      ADD HL,BC
B3B4 38 02   651      JR C,#B394
B3B6 19      652      ADD HL,DE
B3B7 B7      653      OR A
B3B8      654 #B394
B3B8 17      655      RLA
B3B9 29      656      ADD HL,HL
B3BA 09      657      ADD HL,BC
B3BB 38 02   658      JR C,#B39B
B3BD 19      659      ADD HL,DE
B3BE B7      660      OR A
B3BF      661 #B39B
B3BF 17      662      RLA
B3C0 29      663      ADD HL,HL
B3C1 09      664      ADD HL,BC
B3C2 38 02   665      JR C,#B3A2
B3C4 19      666      ADD HL,DE
B3C5 B7      667      OR A
B3C6      668 #B3A2
B3C6 17      669      RLA
B3C7 E1      670      POP HL
B3C8 6F      671      LD L,A
B3C9 08      672      EX AF,AF'
B3CA 87      673      ADD A,A
B3CB D0      674      RET NC
B3CC 7C      675      LD A,H
B3CD 2F      676      CPL
B3CE 67      677      LD H,A
B3CF 7D      678      LD A,L
B3D0 2F      679      CPL
B3D1 6F      680      LD L,A
B3D2 23      681      INC HL
B3D3 C9      682      RET
B3D4      683 MUL
B3D4 7C      684      LD A,H
B3D5 B5      685      OR L
B3D6 28 04   686      JR Z,#B3B8
B3D8 7A      687      LD A,D
B3D9 B3      688      OR E
B3DA 20 05   689      JR NZ,#B3BD
B3DC      690 #B3B8
B3DC 67      691      LD H,A
B3DD 6F      692      LD L,A
B3DE 57      693      LD D,A
B3DF 5F      694      LD E,A
B3E0 C9      695      RET
B3E1      696 #B3BD
B3E1 7C      697      LD A,H
B3E2 AA      698      XOR D
B3E3 08      699      EX AF,AF'
B3E4 CB 7A   700      BIT 7,D
B3E6 28 07   701      JR Z,#B3CB
B3E8 7A      702      LD A,D
B3E9 2F      703      CPL
B3EA 57      704      LD D,A
B3EB 75      705      LD A,E

```

```

B3EC 2F      706      CPL
B3ED 5F      707      LD E,A
B3EE 13      708      INC DE
B3EF      709 #B3CB
B3EF CB 7C   710      BIT 7,H
B3F1 28 07   711      JR Z,#B3D6
B3F3 7C      712      LD A,H
B3F4 2F      713      CPL
B3F5 67      714      LD H,A
B3F6 7D      715      LD A,L
B3F7 2F      716      CPL
B3F8 6F      717      LD L,A
B3F9 23      718      INC HL
B3FA      719 #B3D6
B3FA 7C      720      LD A,H
B3FB 4D      721      LD C,L
B3FC 21 00 00 722      LD HL,0
B3FF CB 3F   723      SRL A
B401 CB 19   724      RR C
B403 30 02   725      JR NC,#B3E3
B405 62 6B   726      LD HL,DE
B407      727 #B3E3
B407 CB 3C   728      SRL H
B409 CB 1D   729      RR L
B40B 1F      730      RRA
B40C CB 19   731      RR C
B40E 30 01   732      JR NC,#B3ED
B410 19      733      ADD HL,DE
B411      734 #B3ED
B411 CB 3C   735      SRL H
B413 CB 1D   736      RR L
B415 1F      737      RRA
B416 CB 19   738      RR C
B418 30 01   739      JR NC,#B3F7
B41A 19      740      ADD HL,DE
B41B      741 #B3F7
B41B CB 3C   742      SRL H
B41D CB 1D   743      RR L
B41F 1F      744      RRA
B420 CB 19   745      RR C
B422 30 01   746      JR NC,#B401
B424 19      747      ADD HL,DE
B425      748 #B401
B425 CB 3C   749      SRL H
B427 CB 1D   750      RR L
B429 1F      751      RRA
B42A CB 19   752      RR C
B42C 30 01   753      JR NC,#B40B
B42E 19      754      ADD HL,DE
B42F      755 #B40B
B42F CB 3C   756      SRL H
B431 CB 1D   757      RR L
B433 1F      758      RRA
B434 CB 19   759      RR C
B436 30 01   760      JR NC,#B415
B438 19      761      ADD HL,DE
B439      762 #B415
B439 CB 3C   763      SRL H
B43B CB 1D   764      RR L
B43D 1F      765      RRA
B43E CB 19   766      RR C
B440 30 01   767      JR NC,#B41F
B442 19      768      ADD HL,DE
B443      769 #B41F
B443 CB 3C   770      SRL H
B445 CB 1D   771      RR L
B447 1F      772      RRA
B448 CB 19   773      RR C
B44A 30 01   774      JR NC,#B429
B44C 19      775      ADD HL,DE
B44D      776 #B429
B44D CB 3C   777      SRL H
B44F CB 1D   778      RR L
B451 1F      779      RRA
B452 CB 19   780      RR C
B454 30 01   781      JR NC,#B433
B456 19      782      ADD HL,DE
B457      783 #B433
B457 CB 3C   784      SRL H
B459 CB 1D   785      RR L
B45B 1F      786      RRA
B45C CB 19   787      RR C
B45E 30 01   788      JR NC,#B43D
B460 19      789      ADD HL,DE
B461      790 #B43D
B461 CB 3C   791      SRL H
B463 CB 1D   792      RR L
B465 1F      793      RRA
B466 CB 19   794      RR C
B468 30 01   795      JR NC,#B447
B46A 19      796      ADD HL,DE
B46B      797 #B447
B46B CB 3C   798      SRL H
B46D CB 1D   799      RR L
B46F 1F      800      RRA
B470 CB 19   801      RR C
B472 30 01   802      JR NC,#B451
B474 19      803      ADD HL,DE
B475      804 #B451
B475 CB 3C   805      SRL H
B477 CB 1D   806      RR L
B479 1F      807      RRA
B47A CB 19   808      RR C
B47C 30 01   809      JR NC,#B45B
B47E 19      810      ADD HL,DE
B47F      811 #B45B
B47F CB 3C   812      SRL H
B481 CB 1D   813      RR L
B483 1F      814      RRA
B484 CB 19   815      RR C
B486 30 01   816      JR NC,#B465
B488 19      817      ADD HL,DE
B489      818 #B465
B489 CB 3C   819      SRL H
B48B CB 1D   820      RR L
B48D 1F      821      RRA
B48E CB 19   822      RR C
B490 30 01   823      JR NC,#B46F
B492 19      824      ADD HL,DE
B493      825 #B46F
B493 CB 3C   826      LD D,A
B495 08      827      LD E,C
B496 87      828      EX AF,AF'
B497 D8      829      ADD A,A
B498 7C      830      RET NC
B499 2F      831      LD A,H
B49B 2F      832      CPL
B49D 7D      833      LD H,A
B49E 7D      834      LD A,L
B49F 2F      835      CPL
B49D 6F      836      LD L,A
B49E 7A      837      LD A,D

```

```

706      CPL
707      LD E,A
708      INC DE
709 #B3CB
710      BIT 7,H
711      JR Z,#B3D6
712      LD A,H
713      CPL
714      LD H,A
715      LD A,L
716      CPL
717      LD L,A
718      INC HL
719 #B3D6
720      LD A,H
721      LD C,L
722      LD HL,0
723      SRL A
724      RR C
725      JR NC,#B3E3
726      LD HL,DE
727 #B3E3
728      SRL H
729      RR L
730      RRA
731      RR C
732      JR NC,#B3ED
733      ADD HL,DE
734 #B3ED
735      SRL H
736      RR L
737      RRA
738      RR C
739      JR NC,#B3F7
740      ADD HL,DE
741 #B3F7
742      SRL H
743      RR L
744      RRA
745      RR C
746      JR NC,#B401
747      ADD HL,DE
748 #B401
749      SRL H
750      RR L
751      RRA
752      RR C
753      JR NC,#B40B
754      ADD HL,DE
755 #B40B
756      SRL H
757      RR L
758      RRA
759      RR C
760      JR NC,#B415
761      ADD HL,DE
762 #B415
763      SRL H
764      RR L
765      RRA
766      RR C
767      JR NC,#B41F
768      ADD HL,DE
769 #B41F
770      SRL H
771      RR L
772      RRA
773      RR C
774      JR NC,#B429
775      ADD HL,DE
776 #B429
777      SRL H
778      RR L
779      RRA
780      RR C
781      JR NC,#B433
782      ADD HL,DE
783 #B433
784      SRL H
785      RR L
786      RRA
787      RR C
788      JR NC,#B43D
789      ADD HL,DE
790 #B43D
791      SRL H
792      RR L
793      RRA
794      RR C
795      JR NC,#B447
796      ADD HL,DE
797 #B447
798      SRL H
799      RR L
800      RRA
801      RR C
802      JR NC,#B451
803      ADD HL,DE
804 #B451
805      SRL H
806      RR L
807      RRA
808      RR C
809      JR NC,#B45B
810      ADD HL,DE
811 #B45B
812      SRL H
813      RR L
814      RRA
815      RR C
816      JR NC,#B465
817      ADD HL,DE
818 #B465
819      SRL H
820      RR L
821      RRA
822      RR C
823      JR NC,#B46F
824      ADD HL,DE
825 #B46F
826      LD D,A
827      LD E,C
828      EX AF,AF'
829      ADD A,A
830      RET NC
831      LD A,H
832      CPL
833      LD H,A
834      LD A,L
835      CPL
836      LD L,A
837      LD A,D

```

！うちの塾の小学校6年の生徒が、「信長の野望」の必勝法、それも短時間でできるものを
 発見。以来、私はやる気がなくなってしまった。

小山 哲志 (37) 東京都


```

B49F 2F      838    CPL
B4A0 57      839    LD D,A
B4A1 7B      840    LD A,E
B4A2 2F      841    CPL
B4A3 5F      842    LD E,A
B4A4 13      843    INC DE
B4A5 7A      844    LD A,D
B4A6 B3      845    OR E
B4A7 C9      846    RET NZ
B4A8 23      847    INC HL
B4A9 C9      848    RET
B4AA        849    COSHL
B4AA 11 5A 00 850    LD DE,$005A
B4AD 19      851    ADD HL,DE
B4AE        852    SINHL
B4AE 11 68 01 853    LD DE,$0168
B4B1        854    #B48D
B4B1 B7 ED 52 855    SUB HL,DE
B4B4 F2 B1 B4 856    JP P,#B48D
B4B7        857    #B493
B4B7 19      858    ADD HL,DE
B4B8 CB 7C    859    BIT 7,H
B4BA 20 FB    860    JR NZ,#B493
B4BC 0E 00    861    LD C,0
B4BE 11 B4 00 862    LD DE,$00B4
B4C1 B7 ED 52 863    SUB HL,DE
B4C4 F2 C9 B4 864    JP P,#B4A5
B4C7 0C      865    INC C
B4C8 19      866    ADD HL,DE
B4C9        867    #B4A5
B4C9 11 5A 00 868    LD DE,$005A
B4CC B7 ED 52 869    SUB HL,DE
B4CF 19      870    ADD HL,DE
B4D0 FA DA B4 871    JP M,#B4B6
B4D3 EB      872    EX HL,DE
B4D4 21 B4 00 873    LD HL,$00B4
B4D7 B7 ED 52 874    SUB HL,DE
B4DA        875    #B4B6
B4DA 29      876    ADD HL,HL
B4DB 11 BD B9 877    LD DE,SIN#TABLE
B4DE 19      878    ADD HL,DE
B4DF 7E      879    LD A,(HL)
B4E0 23      880    INC HL
B4E1 66      881    LD H,(HL)
B4E2 6F      882    LD L,A
B4E3 0D      883    DEC C
B4E4 C2 AF B2 884    JP NZ,NEG#HL
B4E7 C9      885    RET
B4E8        886    #TRANS
B4E8 3A B4 C6 887    LD A,(PCT)
B4EB B7      888    OR A
B4EC C8      889    RET Z
B4ED 2A 15 C2 890    LD HL,(MINX)
B4F0 ED 5B 19 C2 891    LD DE,(MAXX)
B4F4 19      892    ADD HL,DE
B4F5 22 D9 B6 893    LD (#B6B8+1),HL
B4F8 2A 17 C2 894    LD HL,(MINY)
B4FB 26 00    895    LD H,0
B4FD ED 5B 1B C2 896    LD DE,(MAXY)
B501 54      897    LD D,H
B502 19      898    ADD HL,DE
B503 CB 3C    899    SRL H
B505 CB 1D    900    RR L
B507 22 EA B6 901    LD (#B6C9+1),HL
B50A 2A 0F C2 902    LD HL,(HEAD)
B50D CD AA B4 903    CALL COSHL
B510 22 3A C2 904    LD (COSHL),HL
B513 2A 0F C2 905    LD HL,(HEAD)
B516 CD AE B4 906    CALL SINHL
B519 22 3C C2 907    LD (SINHL),HL
B51C 2A 11 C2 908    LD HL,(PITCH)
B51F CD AA B4 909    CALL COSHL
B522 22 3E C2 910    LD (COSPL),HL
B525 2A 11 C2 911    LD HL,(PITCH)
B528 CD AE B4 912    CALL SINHL
B52B 22 40 C2 913    LD (SINPL),HL
B52E 2A 13 C2 914    LD HL,(BANK)
B531 CD AA B4 915    CALL COSHL
B534 22 42 C2 916    LD (COSBL),HL
B537 2A 13 C2 917    LD HL,(BANK)
B53A CD AE B4 918    CALL SINHL
B53D 22 44 C2 919    LD (SINBL),HL
B540 2A 3A C2 920    LD HL,(COSB)
B543 ED 5B 42 C2 921    LD DE,(COSB)
B547 CD D4 B3 922    CALL MUL
B54A E5      923    PUSH HL
B54B 2A 3C C2 924    LD HL,(SINH)
B54E ED 5B 40 C2 925    LD DE,(SINP)
B552 CD D4 B3 926    CALL MUL
B555 ED 5B 44 C2 927    LD DE,(SINB)
B559 CD D4 B3 928    CALL MUL
B55C D1      929    POP DE
B55D 19      930    ADD HL,DE
B55E 22 53 B6 931    LD (#B632+1),HL
B561 2A 3A C2 932    LD HL,(COSB)
B564 ED 5B 44 C2 933    LD DE,(SINB)
B568 CD D4 B3 934    CALL MUL
B56B E5      935    PUSH HL
B56C 2A 3C C2 936    LD HL,(SINH)
B56F ED 5B 40 C2 937    LD DE,(SINP)
B573 CD D4 B3 938    CALL MUL
B576 ED 5B 42 C2 939    LD DE,(COSB)
B57A CD D4 B3 940    CALL MUL
B57D D1      941    POP DE
B57E B7 ED 52 942    SUB HL,DE
B581 22 7B B6 943    LD (#B65A+1),HL
B584 2A 3C C2 944    LD HL,(SINB)
B587 ED 5B 3E C2 945    LD DE,(COSPL)
B58B CD D4 B3 946    CALL MUL
B58E 22 A3 B6 947    LD (#B682+1),HL
B591 2A 3E C2 948    LD HL,(COSPL)
B594 ED 5B 44 C2 949    LD DE,(SINB)
B598 CD D4 B3 950    CALL MUL
B59B 22 5D B6 951    LD (#B63C+1),HL
B59E 2A 3E C2 952    LD HL,(COSPL)
B5A1 ED 5B 42 C2 953    LD DE,(COSB)
B5A5 CD D4 B3 954    CALL MUL
B5A8 22 85 B6 955    LD (#B664+1),HL
B5AB 2A 40 C2 956    LD HL,(SINP)
B5AE CD AF B2 957    CALL NEGHL
B5B1 22 AD B6 958    LD (#B6AC+1),HL
B5B4 2A 3C C2 959    LD HL,(SINH)
B5B7 ED 5B 42 C2 960    LD DE,(COSB)
B5BB CD D4 B3 961    CALL MUL
B5BE E5      962    PUSH HL
B5BF 2A 3A C2 963    LD HL,(COSB)
B5C2 ED 5B 40 C2 964    LD DE,(SINP)
B5C6 CD D4 B3 965    CALL MUL
B5C9 ED 5B 44 C2 966    LD DE,(SINB)
B5CD CD D4 B3 967    CALL MUL
B5D0 D1      968    POP DE
B5D1 B7 ED 52 969    SUB HL,DE

```

```

B5D4 22 67 B6 970    LD (#B646+1),HL
B5D7 2A 3C C2 971    LD HL,(SINH)
B5DA ED 5B 44 C2 972    LD DE,(SINB)
B5DE CD D4 B3 973    CALL MUL
B5E1 E5      974    PUSH HL
B5E2 2A 3A C2 975    LD HL,(COSB)
B5E5 ED 5B 40 C2 976    LD DE,(SINP)
B5E9 CD D4 B3 977    CALL MUL
B5EC ED 5B 42 C2 978    LD DE,(COSB)
B5F0 CD D4 B3 979    CALL MUL
B5F3 D1      980    POP DE
B5F4 19      981    ADD HL,DE
B5F5 22 8F B6 982    LD (#B66E+1),HL
B5F8 2A 3A C2 983    LD HL,(COSB)
B5FB ED 5B 3E C2 984    LD DE,(COSPL)
B5FF CD D4 B3 985    CALL MUL
B602 22 B7 B6 986    LD (#B696+1),HL
B605 2A 03 C2 987    LD HL,(CX)
B608 22 71 B6 988    LD (#B650+1),HL
B60B 2A 05 C2 989    LD HL,(CY)
B60E 22 99 B6 990    LD (#B678+1),HL
B611 2A 07 C2 991    LD HL,(CZ)
B614 22 C1 B6 992    LD (#B6A0+1),HL
B617 FD 21 B4 C2 993    LD 1Y,D1SP#BUF
B61B 11 B6 C6 994    LD DE,OBJ#BUF
B61E 3A B4 C6 995    LD A,(PCT)
B621        996    #B6B1
B621 32 FA B6 997    LD (#B6D9+1),A
B624 2A 09 C2 998    LD HL,(DX)
B627 1A      999    LD A,DE
B628 13      1000    INC DE
B629 95      1001    SUB L
B62A 6F      1002    LD L,A
B62B 1A      1003    LD A,(DE)
B62C 13      1004    INC DE
B62D 0C      1005    SRC A,H
B62E 67      1006    LD H,A
B62F 22 28 C2 1007    LD (X1),HL
B632 2A 0B C2 1008    LD HL,(DY)
B635 1A      1009    LD A,(DE)
B636 13      1010    INC DE
B637 95      1011    SUB L
B638 6F      1012    LD L,A
B639 1A      1013    LD A,(DE)
B63A 13      1014    INC DE
B63B 9C      1015    SRC A,H
B63C 67      1016    LD H,A
B63D 22 2A C2 1017    LD (Y1),HL
B640 2A 0D C2 1018    LD HL,(Z1)
B643 1A      1019    LD A,(DE)
B644 13      1020    INC DE
B645 95      1021    SUB L
B646 6F      1022    LD L,A
B647 1A      1023    LD A,(DE)
B648 13      1024    INC DE
B649 9C      1025    SRC A,H
B64A 67      1026    LD H,A
B64B 22 34 C2 1027    LD (Z1),HL
B64E D5      1028    PUSH DE
B64F 2A 28 C2 1029    LD HL,(X1)
B652        1030    #B632
B652 11 00 00 1031    LD DE,0
B655 CD D4 B3 1032    CALL MUL
B658 E5      1033    PUSH HL
B659 2A 2A C2 1034    LD HL,(Y1)
B65C        1035    #B63C
B65C 11 00 00 1036    LD DE,0
B65F CD D4 B3 1037    CALL MUL
B662 E5      1038    PUSH HL
B663 2A 34 C2 1039    LD HL,(Z1)
B666        1040    #B646
B666 11 00 00 1041    LD DE,0
B669 CD D4 B3 1042    CALL MUL
B66C D1      1043    POP DE
B66D 19      1044    ADD HL,DE
B66E D1      1045    POP DE
B66F 19      1046    ADD HL,DE
B670        1047    #B650
B670 11 00 00 1048    LD DE,0
B673 19      1049    ADD HL,DE
B674 22 2C C2 1050    LD (X2),HL
B677 2A 28 C2 1051    LD HL,(X1)
B67A        1052    #B65A
B67A 11 00 00 1053    LD DE,0
B67D CD D4 B3 1054    CALL MUL
B680 E5      1055    PUSH HL
B681 2A 2A C2 1056    LD HL,(Y1)
B684        1057    #B664
B684 11 00 00 1058    LD DE,0
B687 CD D4 B3 1059    CALL MUL
B68A E5      1060    PUSH HL
B68B 2A 34 C2 1061    LD HL,(Z1)
B68E        1062    #B66E
B68E 11 00 00 1063    LD DE,0
B691 CD D4 B3 1064    CALL MUL
B694 D1      1065    POP DE
B695 19      1066    ADD HL,DE
B696 D1      1067    POP DE
B697 19      1068    ADD HL,DE
B698        1069    #B678
B698 11 00 00 1070    LD DE,0
B69B 19      1071    ADD HL,DE
B69C 22 2E C2 1072    LD (Y2),HL
B69F 2A 28 C2 1073    LD HL,(X1)
B6A2        1074    #B682
B6A2 11 00 00 1075    LD DE,0
B6A5 CD D4 B3 1076    CALL MUL
B6A8 E5      1077    PUSH HL
B6A9 2A 2A C2 1078    LD HL,(Y1)
B6AC        1079    #B68C
B6AC 11 00 00 1080    LD DE,0
B6AF CD D4 B3 1081    CALL MUL
B6B2 E5      1082    PUSH HL
B6B3 2A 34 C2 1083    LD HL,(Z1)
B6B6        1084    #B696
B6B6 11 00 00 1085    LD DE,0
B6B9 CD D4 B3 1086    CALL MUL
B6BC D1      1087    POP DE
B6BD 19      1088    ADD HL,DE
B6BE D1      1089    POP DE
B6BF 19      1090    ADD HL,DE
B6C0        1091    #B6A0
B6C0 11 00 00 1092    LD DE,0
B6C3 19      1093    ADD HL,DE
B6C4 CB 7C    1094    BIT 7,H
B6C6 28 03    1095    JR Z,#B6AB
B6C8 21 00 00 1096    LD HL,0
B6CB        1097    #B6AB
B6CB 01 32 00 1098    LD BC,$0032
B6CE 09      1099    ADD HL,BC
B6CF E5      1100    PUSH HL
B6D0 EB      1101    EX DE,HL

```

Oh! MZ は読み始めるとやめられなくなるので、そのうち Oh! MZ の使用を制限する
 法律ができるでしょう。

藤原 利治 (20) 大阪府


```

B6D1 2A 2C C2
B6D4 CD B9 B2
B6D7 2D
B6D8
B6D8 11 00 00
B6DB 19
B6DC FD 75 00
B6DF FD 74 01
B6E2 D1
B6E3 2A 2E C2
B6E5 CD B9 B2
B6E9
B6F9 11 00 00
B6EC 19
B6ED FD 75 02
B6F0 FD 74 03
B6F3 11 04 00
B6F5 FD 19
B6F8 D1
B6F9
B6F9 3E 00
B6FB 3D
B6FC C2 21 B6
B6FF C9
B700
B700 2A 28 C2
B703 ED 5B 2C C2
B707 01 00 00
B70A 7B
B70B 95
B70C 7A
B70D 9C
B70E F2 13 B7
B711 EB
B712 04
B713
B713 13
B714 3A 15 C2
B717 93
B718 3A 16 C2
B71B 9A
B71C F0
B71D 1B
B71E 3A 19 C2
B721 95
B722 3A 1A C2
B725 9C
B726 F8
B727 22 28 C2
B72A ED 53 2C C2
B72E 2A 2A C2
B731 ED 5B 2E C2
B735 7B
B736 95
B737 7A
B738 9C
B739 F2 3E B7
B73C EB
B73D 0C
B73E
B73E 13
B73F 3A 17 C2
B742 93
B743 3E 00
B745 9A
B746 F0
B747 1B
B748 3A 1B C2
B74B 95
B74C 3E 00
B74E 9C
B74F F8
B750 78
B751 A9
B752 28 01
B754 EB
B755
B755 22 2A C2
B758 ED 53 2E C2
B75C 2A 28 C2
B75F ED 4B 15 C2
B763 B7 ED 42
B766 F2 74 B7
B769 CD 3B B8
B76C ED 43 28 C2
B770 ED 53 2A C2
B774
B774 2A 2C C2
B777 ED 4B 19 C2
B77B 03
B77C B7 ED 42
B77F FA 8E B7
B782 0B
B783 CD 3B B8
B786 ED 43 2C C2
B78A ED 53 2E C2
B78E
B78E 2A 2A C2
B791 ED 5B 2E C2
B795 7B
B796 95
B797 7A
B798 9C
B799 F2 B8 B7
B79C 22 2E C2
B79F ED 53 2A C2
B7A3 2A 28 C2
B7A6 ED 5B 2C C2
B7AA 22 2C C2
B7AD ED 53 28 C2
B7B1 2A 2A C2
B7B4 ED 5B 2E C2
B7B8
B7B8 ED 4B 1B C2
B7BC 03
B7BD B7 ED 42
B7C0 F0
B7C1 EB
B7C2 ED 4B 17 C2
B7C6 B7 ED 42
B7C9 F8
B7CA 2A 28 C2
B7CD ED 5B 2A C2
B7D1 22 2A C2
B7D4 ED 53 28 C2
B7D8 2A 2C C2
B7DB ED 5B 2E C2
B7DF 22 2E C2
B7E2 ED 53 2C C2
B7E6 2A 28 C2
B7E9 3A 17 C2
B7EC 4F

```

```

1102 LD HL, (X2)
1103 CALL XDIV
1104 ADD HL, HL
1105 #B6B8
1106 LD DE, 0
1107 ADD HL, DE
1108 LD (1Y), L
1109 LD (1Y+1), H
1110 POP DE
1111 LD HL, (Y2)
1112 CALL XDIV
1113 #B6C9
1114 LD DE, 0
1115 ADD HL, DE
1116 LD (1Y+2), L
1117 LD (1Y+3), H
1118 LD DE, 4
1119 ADD 1Y, DE
1120 POP DE
1121 #B6D9
1122 LD A, 0
1123 DEC A
1124 JP NZ, #B6E01
1125 RET
1126 CLIPLINE
1127 LD HL, (X1)
1128 LD DE, (X2)
1129 LD BC, 0
1130 LD A, E
1131 SUB L
1132 LD A, D
1133 SBC A, H
1134 JP P, #B6F3
1135 EX DE, HL
1136 INC B
1137 #B6F3
1138 INC DE
1139 LD A, (MINX)
1140 SUB E
1141 LD A, (MINX+1)
1142 SRC A, D
1143 RET P
1144 DEC DE
1145 LD A, (MAXX)
1146 SUB L
1147 LD A, (MAXX+1)
1148 SBC A, H
1149 RET M
1150 LD (X1), HL
1151 LD (X2), DE
1152 LD HL, (Y1)
1153 LD DE, (Y2)
1154 LD A, E
1155 SUB L
1156 LD A, D
1157 SBC A, H
1158 JP P, #B71E
1159 EX DE, HL
1160 INC C
1161 #B71E
1162 INC DE
1163 LD A, (MINY)
1164 SUB E
1165 LD A, 0
1166 SBC A, D
1167 RET P
1168 DEC DE
1169 LD A, (MAXY)
1170 SUB L
1171 LD A, 0
1172 SBC A, H
1173 RET M
1174 LD A, B
1175 XOR C
1176 JR Z, #B735
1177 EX DE, HL
1178 #B735
1179 LD (Y1), HL
1180 LD (Y2), DE
1181 LD HL, (X1)
1182 LD BC, (MINX)
1183 SUB HL, BC
1184 JP P, #B754
1185 CALL #B81B
1186 LD (X1), BC
1187 LD (Y1), DE
1188 #B754
1189 LD HL, (X2)
1190 LD BC, (MAXX)
1191 INC BC
1192 SUB HL, BC
1193 JP M, #B76E
1194 DEC BC
1195 CALL #B81B
1196 LD (X2), BC
1197 LD (Y2), DE
1198 #B76E
1199 LD HL, (Y1)
1200 LD DE, (Y2)
1201 LD A, E
1202 SUB L
1203 LD A, D
1204 SBC A, H
1205 JP P, #B798
1206 LD (Y2), HL
1207 LD (Y1), HL
1208 LD HL, (X1)
1209 LD DE, (X2)
1210 LD (X2), HL
1211 LD (X1), DE
1212 LD HL, (Y1)
1213 LD DE, (Y2)
1214 #B798
1215 LD BC, (MAXY)
1216 INC BC
1217 SUB HL, BC
1218 RET P
1219 EX DE, HL
1220 LD BC, (MINY)
1221 SUB HL, BC
1222 RET M
1223 LD HL, (X1)
1224 LD DE, (Y1)
1225 LD (Y1), HL
1226 LD (X1), DE
1227 LD HL, (X2)
1228 LD DE, (Y2)
1229 LD (Y2), HL
1230 LD (X2), DE
1231 LD HL, (X1)
1232 LD A, (MINY)
1233 LD C, A

```

```

B7ED 00 00
B7EF B7 ED 42
B7F2 F2 00 B8
B7F5 CD 3B B8
B7F8 ED 43 28 C2
B7FC ED 53 2A C2
B800
B800 2A 2C C2
B803 3A 1B C2
B806 4F
B807 00 00
B809 0C
B80A B7 ED 42
B80D FA 1C B8
B810 4D
B811 CD 3B B8
B814 ED 43 2C C2
B818 ED 53 2E C2
B81C
B81C 2A 28 C2
B81F ED 5B 2A C2
B823 22 2A C2
B826 ED 53 28 C2
B82A 2A 2C C2
B82D ED 5B 2E C2
B831 22 2E C2
B834 ED 53 2C C2
B838 C3 AE B8
B83B
B83B 2A 28 C2
B83E 22 60 C2
B841 2A 2C C2
B844 22 66 C2
B847 2A 2A C2
B84A 22 63 C2
B84D 2A 2E C2
B850 22 69 C2
B853
B853 2A 63 C2
B856 ED 5B 69 C2
B85A 19
B85B CB 2C
B85D CB 1D
B85F E5
B860 2A 60 C2
B863 ED 5B 68 C2
B867 19
B868 CB 2C
B86A CB 1D
B86C D1
B86D E5
B86E B7 ED 42
B871 22 89 B8
B874 E1
B875 F2 81 B8
B878 22 60 C2
B87B ED 53 63 C2
B87F 18 07
B881
B881 22 66 C2
B884 ED 53 69 C2
B888
B888 21 00 00
B88B CB 7C
B88D 28 07
B88F 7C
B890 2F
B891 67
B892 7D
B893 2F
B894 6F
B895 23
B896
B896 24
B897 25
B898 C2 53 B8
B89B 7D
B89C FE 02
B89E D2 53 B8
B8A1 C9
B8A2
B8A2 2A 28 C2
B8A5 22 2C C2
B8A8 2A 2A C2
B8AB 22 2E C2
B8AE
B8AE 3A 57 C2
B8B1 87
B8B2 87
B8B3 87
B8B4 C5 A5
B8B6 32 6A B9
B8B9 32 0B B9
B8BC FE A5
B8BE 01 2F 38
B8C1 28 03
B8C3 01 00 30
B8C6
B8C6 79
B8C7 32 4B B9
B8CA 78
B8CB 32 6E B9
B8CE 32 B4 B9
B8D1 3A 2A C2
B8D4 47
B8D5 3A 2E C2
B8D8 90
B8D9 57
B8DA D2 F8 B8
B8DD ED 44
B8DF 57
B8E0 2A 28 C2
B8E3 E5
B8E4 2A 2C C2
B8E7 22 28 C2
B8EA E1
B8EB 22 2C C2
B8EE 3A 2E C2
B8F1 32 2A C2
B8F4 78
B8F5 32 2E C2
B8F8
B8F8 2A 2C C2
B8FD ED 4B 28 C2
B8FF B7 ED 42
B902 01 05 03
B905 D2 12 B9
B908 7C
B909 2F
B90A 07
B90B 7D
B90C 2F

```

```

1234 LD B, 0
1235 SUB HL, BC
1236 JP P, #B7E0
1237 CALL #B81B
1238 LD (X1), BC
1239 LD (Y1), DE
1240 #B7E0
1241 LD HL, (X2)
1242 LD A, (MAXY)
1243 LD C, A
1244 LD B, 0
1245 INC C
1246 SUB HL, BC
1247 JP M, #B7FC
1248 DEC C
1249 CALL #B81B
1250 LD (X2), BC
1251 LD (Y2), DE
1252 #B7FC
1253 LD HL, (X1)
1254 LD DE, (Y1)
1255 LD (Y1), HL
1256 LD (X1), DE
1257 LD HL, (X2)
1258 LD DE, (Y2)
1259 LD (Y2), HL
1260 LD (X2), DE
1261 JP LINE
1262 #B81B
1263 LD HL, (X1)
1264 LD (XA1), HL
1265 LD HL, (X2)
1266 LD (XA2), HL
1267 LD HL, (Y1)
1268 LD (YA1), HL
1269 LD HL, (Y2)
1270 LD (YA2), HL
1271 #B833
1272 LD HL, (YA1)
1273 LD DE, (YA2)
1274 ADD HL, DE
1275 SRA H
1276 RR L
1277 PUSH HL
1278 LD HL, (XA1)
1279 LD DE, (XA2)
1280 ADD HL, DE
1281 SRA H
1282 RR L
1283 POP DE
1284 PUSH HL
1285 SUB HL, BC
1286 LD (#B868+1), HL
1287 POP HL
1288 JP P, #B861
1289 LD (XA1), HL
1290 LD (YA1), DE
1291 JR #B868
1292 #B861
1293 LD (XA2), HL
1294 LD (YA2), DE
1295 #B868
1296 LD HL, 0
1297 BIT 7, H
1298 JR Z, #B876
1299 LD A, H
1300 CPL
1301 LD H, A
1302 LD A, L
1303 CPL
1304 LD L, A
1305 INC HL
1306 #B876
1307 INC H
1308 DEC H
1309 JP NZ, #B833
1310 LD A, L
1311 CP 2
1312 JP NC, #B833
1313 RET
1314 PSET
1315 LD HL, (X1)
1316 LD (X2), HL
1317 LD HL, (Y1)
1318 LD (Y2), HL
1319 LINE
1320 LD A, (XMODE)
1321 ADD A, A
1322 ADD A, A
1323 ADD A, A
1324 ADD A, A5
1325 LD (#B94D), A
1326 LD (#B97E), A
1327 CP A5
1328 LD BC, $382F
1329 JR Z, #B8A8
1330 LD BC, $3000
1331 #B8A8
1332 LD A, C
1333 LD (#B92E), A
1334 LD A, B
1335 LD (#B951), A
1336 LD (#B997), A
1337 LD A, (Y1)
1338 LD B, A
1339 LD A, (Y2)
1340 SUB B
1341 LD D, A
1342 JP NC, #B8DA
1343 NEG
1344 LD D, A
1345 LD HL, (X1)
1346 PUSH HL
1347 LD HL, (X2)
1348 LD (X1), HL
1349 POP HL
1350 LD (X2), HL
1351 LD A, (Y2)
1352 LD (Y1), A
1353 LD A, B
1354 LD (Y2), A
1355 #B8DA
1356 LD HL, (X2)
1357 LD BC, (X1)
1358 SUB HL, BC
1359 LD BC, $0305
1360 JP NC, #B8F4
1361 LD A, H
1362 CPL
1363 LD H, A
1364 LD A, L
1365 CPL

```


B90D 6F	1366	LD	L,A	B9BD 04 00 1D 01 3B 02 59	1498	DW	\$0000:\$011D:\$023B:\$0359
B90E 23	1367	INC	HL	B9C4 03			
B90F 01 0D 0B	1368	LD	#B8F4	B9C5 76 04 93 05 B0 06 CC	1499	DW	\$0476:\$0593:\$06B0:\$07CC
B912	1369			B9CC 07			
B912 79	1370	LD	A,C	B9CD E8 08 03 8A 1D 0B 36	1500	DW	\$08E8:\$0A03:\$0B1D:\$0C36
B913 32 5D B9	1371	LD	(#B951-1),A	B9D4 0C			
B916 32 B3 B9	1372	LD	(#B997-1),A	B9D5 4E 0D 65 0E 7B 0F 90	1501	DW	\$0D4E:\$0E65:\$0F7B:\$1090
B919 78	1373	LD	A,B	B9DC 10			
B91A 32 70 B9	1374	LD	(#B953),A	B9DD A4 11 B6 12 C6 13 D6	1502	DW	\$11A4:\$12B6:\$13C6:\$14D6
B91D 32 B6 B9	1375	LD	(#B999),A	B9E4 14			
B920 E5	1376	PUSH	HL	B9E5 E3 15 EF 16 F9 17 01	1503	DW	\$15E3:\$16EF:\$17F9:\$1901
B921 3A 2A C2	1377	LD	A,(Y1)	B9EC 19			
B924 6F	1378	LD	L,A	B9ED 07 1A 0C 1B 0E 1C 0E	1504	DW	\$1A07:\$1B0C:\$1C0E:\$1D0E
B925 26 00	1379	LD	H,0	B9F4 1D			
B927 29	1380	ADD	HL,HL	B9F5 0B 1E 07 1F 00 20 F0	1505	DW	\$1E0B:\$1F07:\$2000:\$20F0
B928 29	1381	ADD	HL,HL	B9FC 20			
B929 29	1382	ADD	HL,HL	B9FD EA 21 DB 22 C9 23 B5	1506	DW	\$21EA:\$22DB:\$23C9:\$24B5
B92A 44 4D	1383	LD	BC,HL	BA04 24			
B92C 29	1384	ADD	HL,HL	BA05 9E 25 84 26 66 27 46	1507	DW	\$259E:\$2684:\$2766:\$2846
B92D 29	1385	ADD	HL,HL	BA0C 28			
B92E 09	1386	ADD	HL,BC	BA0D 23 29 FC 29 D3 2A A5	1508	DW	\$2923:\$29FC:\$2AD3:\$2BA5
B92F ED 4B 28 C2	1387	LD	BC,(X1)	BA14 23			
B933 79	1388	LD	A,C	BA15 2C 41 2D 09 2E CE	1509	DW	\$2C75:\$2D41:\$2E09:\$2ECE
B934 E6 F8	1389	AND	#F8	BA1C 2E			
B936 B0	1390	OR	B	BA1D 8F 2F 4D 30 06 31 BC	1510	DW	\$2F8F:\$304D:\$3106:\$31BC
B937 0F	1391	RRCA		BA24 31			
B938 0F	1392	RRCA		BA25 6E 32 1C 33 C6 33 6C	1511	DW	\$326E:\$331C:\$33C6:\$346C
B939 0F	1393	RRCA		BA2C 34			
B93A 85	1394	ADD	A,L	BA2D 0E 35 AC 35 46 36 DB	1512	DW	\$350E:\$35AC:\$3646:\$36DB
B93B 4F	1395	LD	C,A	BA34 36			
B93C 3E E0	1396	LD	A,\$E0	BA35 6C 37 F9 37 82 38 06	1513	DW	\$376C:\$37F9:\$3882:\$3906
B93E 8C	1397	ADC	A,H	BA3C 39			
B93F 47	1398	LD	B,A	BA3D 85 39 00 3A 77 3A E9	1514	DW	\$3985:\$3A00:\$3A77:\$3AE9
B940 3A 28 C2	1399	LD	A,(X1)	BA44 3A			
B943 E6 07	1400	AND	#07	BA45 36 3B BF 3B 23 3C 83	1515	DW	\$3B56:\$3BBF:\$3C23:\$3C83
B945 21 0E B0	1401	LD	HL,DOT#TABLE	BA4C 3C			
B948 85	1402	ADD	A,L	BA4D DE 3C 34 3D 85 3D D1	1516	DW	\$3CDE:\$3D34:\$3D85:\$3DD1
B949 6F	1403	LD	L,A	BA54 3D			
B94A 7E	1404	LD	A,(HL)	BA55 19 3E 5C 3E 99 3E D2	1517	DW	\$3E19:\$3E5C:\$3E99:\$3ED2
B94B	1405	#B92F		BA5C 3E			
B94C 00	1406	NOP		BA5D 07 3F 36 3F 00 3F 85	1518	DW	\$3F07:\$3F36:\$3F60:\$3F85
B94D 6F	1407	LD	L,A	BA64 3F			
B94D 7A	1408	LD	A,D	BA65 A6 3F C1 3F D8 3F E9	1519	DW	\$3FA6:\$3FC1:\$3FD8:\$3FE9
B94E D9	1409	EXX		BA6C 3F			
B94F D1	1410	POP	DE	BA6D F6 3F FD 3F 00 40	1520	DW	\$3FF6:\$3FFD:\$4000
B950 14	1411	INC	D	BA73	1521	EX#RASTER	
B951 15	1412	DEC	D	BA73 7D	1522	LD	A,L
B952 20 04	1413	JP	NZ,#B93B	BA74 93	1523	SUB	E
B954 BB	1414	CF	E	BA75 7C	1524	LD	A,H
B955 D2 8E B9	1415	JP	NC,#B971	BA76 9A	1525	SBC	A,D
B958	1416	#B93B		BA77 FA 7B BA	1526	JP	M,RASTER
B958 4F	1417	LD	C,A	BA7A EB	1527	EX	DE,HL
B959 06 00	1418	LD	B,0	BA7B	1528	RASTER	
B95B 62 6B	1419	LD	HL,DE	BA7B 04	1529	INC	B
B95D CB 3C	1420	SRL	H	BA7C 95	1530	DEC	B
B95F CB 1D	1421	RR	L	BA7D C0	1531	RET	NZ
B961 D5	1422	PUSH	DE	BA7E 3A 1B C2	1532	LD	A,(MAXY)
B962 D9	1423	EXX		BA81 B9	1533	CP	C
B963 D1	1424	POP	DE	BA82 D8	1534	RET	C
B964 14	1425	INC	D	BA83 C0	1535	INC	C
B965 1C	1426	INC	E	BA84 C8	1536	RET	Z
B968 CD 71 B2	1427	CALL	VRAM#ON	BA85 3A 17 C2	1537	LD	A,(MINY)
B969	1428	#B94C		BA88 B9	1538	CP	C
B969 0A	1429	LD	A,(BC)	BA89 D0	1539	RET	NC
B96A	1430	#B94D		BA8A 0D	1540	DEC	C
B96A B5	1431	OR	L	BA8B 79	1541	LD	A,C
B96B 02	1432	LD	(BC),A	BA8C 08	1542	EX	AF,AF
B96C CB 00	1433	RLC	B	BA8D ED 4B 15 C2	1543	LD	BC,(MINX)
B96E	1434	#B951		BA91 0B	1544	DEC	BC
B96F 30 01	1435	JP	NC,#B954	BA92 79	1545	LD	A,C
B970	1436	#B953		BA93 93	1546	SUB	E
B970 03	1437	INC	BC	BA94 78	1547	LD	A,B
B971	1438	#B954		BA95 9A	1548	SBC	A,D
B971 D9	1439	EXX		BA96 F0	1549	RET	F
B972 B7 ED 42	1440	SUB	HL,BC	BA97 83	1550	INC	BC
B975 D9	1441	EXX		BA98 79	1551	LD	A,C
B976 D2 83 B9	1442	JP	NC,#B966	BA99 95	1552	SUB	L
B979 D9	1443	EXX		BA9A 78	1553	LD	A,B
B97A 19	1444	ADD	HL,DE	BA9B 0C	1554	SBC	A,H
B97B D9	1445	EXX		BA9C FA A1 BA	1555	JP	M,#BA84
B97C 3E 28	1446	LD	A,40	BA9F 00 59	1556	LD	HL,BC
B97E 81	1447	ADD	A,C	BAA1	1557	#BA84	
B97F 4F	1448	LD	C,A	BAA1 ED 4B 19 C2	1558	LD	BC,(MAXX)
B980 30 01	1449	JP	NC,#B966	BAA5 79	1559	LD	A,C
B982 04	1450	INC	B	BAAG 95	1560	SUB	L
B983	1451	#B966		BAAG 78	1561	LD	A,B
B983 1D	1452	DEC	E	BAAB 0C	1562	SBC	A,H
B984 C2 69 B9	1453	JP	NZ,#B94C	BAAB F8	1563	RET	M
B987 15	1454	DEC	D	BAAB 79	1564	LD	A,C
B988 C2 69 B9	1455	JP	NZ,#B94C	BAAB 93	1565	SUB	E
B98B C3 85 B2	1456	JP	VRAM#OFF	BAAC 78	1566	LD	A,B
B98E	1457	#B971		BAAD 9A	1567	SBC	A,D
B98E 4F	1458	LD	C,A	BAAE F2 B3 BA	1568	JP	F,#BA96
B98F 47	1459	LD	B,A	BAE1 50 59	1569	LD	DE,BC
B990 CB 3F	1460	SRL	A	BAB3	1570	#BA96	
B992 6F	1461	LD	L,A	BAB3 01 79 08	1571	LD	BC,\$0879
B993 26 00	1462	LD	H,0	BAB6 13	1572	INC	DE
B995 04	1463	INC	B	BAB7 01 07 F8	1573	LD	BC,\$F807
B996 CD 71 B2	1464	CALL	VRAM#ON	BABA 7D	1574	LD	A,L
B999	1465	#B97C		BAB8 A1	1575	AND	C
B999 D9	1466	EXX		BABC 32 FA BA	1576	LD	(#BADD+1),A
B99A 0A	1467	LD	A,(BC)	BABF 7B	1577	LD	A,E
B99B	1468	#B97E		BAC0 A1	1578	AND	C
B99B B5	1469	OR	L	BAC1 32 C5 BB	1579	LD	(#BBA8+1),A
B99C 02	1470	LD	(BC),A	BAC4 7D	1580	LD	A,L
B99D 3E 28	1471	LD	A,40	BAC5 A0	1581	AND	B
B99F 81	1472	ADD	A,C	BAC6 84	1582	OR	H
B9A0 4F	1473	LD	C,A	BAC7 0F	1583	RRCA	
B9A1 30 01	1474	JP	NC,#B987	BAC8 0F	1584	RRCA	
B9A3 04	1475	INC	B	BAC9 0F	1585	RRCA	
B9A4	1476	#B987		BACA 67	1586	LD	H,A
B9A4 D9	1477	EXX		BACB 7B	1587	LD	A,E
B9A5 B7 ED 52	1478	SUB	HL,DE	BACC A0	1588	AND	B
B9A8 D2 B9 B9	1479	JP	NC,#B99B	BACD 82	1589	OR	D
B9AB 79	1480	LD	A,C	BACE 0F	1590	RRCA	
B9AC 85	1481	ADD	A,L	BACF 0F	1591	RRCA	
B9AD 6F	1482	LD	L,A	BAD0 0F	1592	RRCA	
B9AE 30 01	1483	JP	NC,#B994	BAD1 94	1593	SUB	H
B9B0 24	1484	INC	H	BAD2 57	1594	LD	D,A
B9B1	1485	#B994		BAD3 7C	1595	LD	A,H
B9B1 D9	1486	EXX		BAD4 88	1596	EX	AF,AF
B9B2 CB 00	1487	RLC	B	BAD5 5F	1597	LD	E,A
B9B4	1488	#B997		BAD6 6F	1598	LD	L,A
B9B4 30 01	1489	JP	NC,#B99A	BAD7 26 00	1599	LD	H,0
B9B6	1490	#B999		BAD9 29	1600	ADD	HL,HL
B9B6 03	1491	INC	BC	BADA 29	1601	ADD	HL,HL
B9B7	1492	#B99A		BADB 29	1602	ADD	HL,HL
B9B7 D9	1493	EXX		BADC 44 4D	1603	LD	BC,HL
B9B8	1494	#B99B		BAD E 29	1604	ADD	HL,HL
B9B8 10 DF	1495	DJNZ	#B97C	BADF 29	1605	ADD	HL,HL
B9BA C3 85 B2	1496	JP	VRAM#OFF	BAE0 09	1606	ADD	HL,BC
B9BD	1497	SIN#TABLE		BAE1 08	1607	EX	AF,AF

↑3月号のBOND SOFTの広告を見てほしい。君は「タイムシークレット」という文字をいくつ見つけられるだろう。2つ…ちょっと惜しい。3つ、あんたは偉い。そう、あのタイムシークレットIIIが制作中とあるではないか。ゲーム論に沿った「剛」のゲームだと期待する。

後藤 裕治 (20) 大分県


```

BA22 05      1608      ADD  A,L
BA23 4F      1609      LD   C,A
BA24 3E E0   1610      LD   A,#E0
BA26 8C      1611      ADC  A,H
BA27 47      1612      LD   B,A
BA28 21 5A C2 1613      LD   HL,MASKS
BA2E 7B      1614      LD   A,E
BA2F E0 03   1615      AND  S03
BA2E 85      1616      ADD  A,L
BA2F 6F      1617      LD   L,A
BA2F 7E      1618      LD   A,(HL)
BA2F 32 22 BB 1619      LD   (#BB05+1),A
BA2F 14      1620      INC  D
BA2F 15      1621      DEC  D
BA2F CA DR BB 1622      JP   Z,#BBBF
BA2F 9F      1623      #BADD
BA2F 3E 00   1624      LD   A,0
BA2F 21 06 B0 1625      LD   HL,LINE#SIDE
BA2F 85      1626      ADD  A,L
BA2F 6F      1627      LD   L,A
BA2F 7E      1628      LD   A,(HL)
BA2F 8F      1629      LD   L,A
BA2F 2F      1630      CPL
BA2F 67      1631      LD   H,A
BA2F CD 71 B2 1632      CALL VRAM#ON
BA2F 0A      1633      LD   A,(BC)
BA2F A5      1634      AND  L
BA2F 6F      1635      LD   L,A
BA2F 3A 22 BB 1636      LD   A,(#BB05+1)
BA2F 04      1637      AND  H
BA2F B5      1638      OR   L
BA2F 02      1639      LD   (BC),A
BA2F 03      1640      INC  BC
BA2F 15      1641      DEC  D
BA2F CA C4 BB 1642      JP   Z,#BBA8
BA2F 5E 50   1643      LD   A,$50
BA2F 92      1644      SUB  D
BA2F 87      1645      ADD  A,A
BA2F 21 24 BB 1646      LD   HL,#BB08
BA2F 85      1647      ADD  A,L
BA2F 8F      1648      LD   L,A
BA2F 30 01   1649      JR   NC,#BB05
BA2F 24      1650      INC  H
BA2F 21      1651      #BB05
BA2F 3E 00   1652      LD   A,0
BA2F 23 E9   1653      JP   (HL)
BA2F 24      1654      #BB08
BA2F 02      1655      LD   (BC),A
BA2F 03      1656      INC  BC
BA2F 02      1657      LD   (BC),A
BA2F 03      1658      INC  BC
BA2F 02      1659      LD   (BC),A
BA2F 03      1660      INC  BC
BA2F 02      1661      LD   (BC),A
BA2F 03      1662      INC  BC
BA2F 02      1663      LD   (BC),A
BA2F 03      1664      INC  BC
BA2F 02      1665      LD   (BC),A
BA2F 03      1666      INC  BC
BA2F 02      1667      LD   (BC),A
BA2F 03      1668      INC  BC
BA2F 02      1669      LD   (BC),A
BA2F 03      1670      INC  BC
BA2F 02      1671      LD   (BC),A
BA2F 03      1672      INC  BC
BA2F 02      1673      LD   (BC),A
BA2F 03      1674      INC  BC
BA2F 02      1675      LD   (BC),A
BA2F 03      1676      INC  BC
BA2F 02      1677      LD   (BC),A
BA2F 03      1678      INC  BC
BA2F 02      1679      LD   (BC),A
BA2F 03      1680      INC  BC
BA2F 02      1681      LD   (BC),A
BA2F 03      1682      INC  BC
BA2F 02      1683      LD   (BC),A
BA2F 03      1684      INC  BC
BA2F 02      1685      LD   (BC),A
BA2F 03      1686      INC  BC
BA2F 02      1687      LD   (BC),A
BA2F 03      1688      INC  BC
BA2F 02      1689      LD   (BC),A
BA2F 03      1690      INC  BC
BA2F 02      1691      LD   (BC),A
BA2F 03      1692      INC  BC
BA2F 02      1693      LD   (BC),A
BA2F 03      1694      INC  BC
BA2F 02      1695      LD   (BC),A
BA2F 03      1696      INC  BC
BA2F 02      1697      LD   (BC),A
BA2F 03      1698      INC  BC
BA2F 02      1699      LD   (BC),A
BA2F 03      1700      INC  BC
BA2F 02      1701      LD   (BC),A
BA2F 03      1702      INC  BC
BA2F 02      1703      LD   (BC),A
BA2F 03      1704      INC  BC
BA2F 02      1705      LD   (BC),A
BA2F 03      1706      INC  BC
BA2F 02      1707      LD   (BC),A
BA2F 03      1708      INC  BC
BA2F 02      1709      LD   (BC),A
BA2F 03      1710      INC  BC
BA2F 02      1711      LD   (BC),A
BA2F 03      1712      INC  BC
BA2F 02      1713      LD   (BC),A
BA2F 03      1714      INC  BC
BA2F 02      1715      LD   (BC),A
BA2F 03      1716      INC  BC
BA2F 02      1717      LD   (BC),A
BA2F 03      1718      INC  BC
BA2F 02      1719      LD   (BC),A
BA2F 03      1720      INC  BC
BA2F 02      1721      LD   (BC),A
BA2F 03      1722      INC  BC
BA2F 02      1723      LD   (BC),A
BA2F 03      1724      INC  BC
BA2F 02      1725      LD   (BC),A
BA2F 03      1726      INC  BC
BA2F 02      1727      LD   (BC),A
BA2F 03      1728      INC  BC
BA2F 02      1729      LD   (BC),A
BA2F 03      1730      INC  BC
BA2F 02      1731      LD   (BC),A
BA2F 03      1732      INC  BC
BA2F 02      1733      LD   (BC),A
BA2F 03      1734      INC  BC
BA2F 02      1735      LD   (BC),A
BA2F 03      1736      INC  BC
BA2F 02      1737      LD   (BC),A
BA2F 03      1738      INC  BC
BA2F 02      1739      LD   (BC),A

```

```

BB79 03      1740      INC  BC
BB7A 02      1741      LD   (BC),A
BB7B 03      1742      INC  BC
BB7C 02      1743      LD   (BC),A
BB7D 03      1744      INC  BC
BB7E 02      1745      LD   (BC),A
BB7F 03      1746      INC  BC
BB80 02      1747      LD   (BC),A
BB81 03      1748      INC  BC
BB82 02      1749      LD   (BC),A
BB83 03      1750      INC  BC
BB84 02      1751      LD   (BC),A
BB85 03      1752      INC  BC
BB86 02      1753      LD   (BC),A
BB87 03      1754      INC  BC
BB88 02      1755      LD   (BC),A
BB89 03      1756      INC  BC
BB8A 02      1757      LD   (BC),A
BB8B 03      1758      INC  BC
BB8C 02      1759      LD   (BC),A
BB8D 03      1760      INC  BC
BB8E 02      1761      LD   (BC),A
BB8F 03      1762      INC  BC
BB90 02      1763      LD   (BC),A
BB91 03      1764      INC  BC
BB92 02      1765      LD   (BC),A
BB93 03      1766      INC  BC
BB94 02      1767      LD   (BC),A
BB95 03      1768      INC  BC
BB96 02      1769      LD   (BC),A
BB97 03      1770      INC  BC
BB98 02      1771      LD   (BC),A
BB99 03      1772      INC  BC
BB9A 02      1773      LD   (BC),A
BB9B 03      1774      INC  BC
BB9C 02      1775      LD   (BC),A
BB9D 03      1776      INC  BC
BB9E 02      1777      LD   (BC),A
BB9F 03      1778      INC  BC
BBA0 02      1779      LD   (BC),A
BBA1 03      1780      INC  BC
BBA2 02      1781      LD   (BC),A
BBA3 03      1782      INC  BC
BBA4 02      1783      LD   (BC),A
BBA5 03      1784      INC  BC
BBA6 02      1785      LD   (BC),A
BBA7 03      1786      INC  BC
BBA8 02      1787      LD   (BC),A
BBA9 03      1788      INC  BC
BBAA 02      1789      LD   (BC),A
BBAB 03      1790      INC  BC
BBAC 02      1791      LD   (BC),A
BBAD 03      1792      INC  BC
BBAE 02      1793      LD   (BC),A
BBAF 03      1794      INC  BC
BBB0 02      1795      LD   (BC),A
BBB1 03      1796      INC  BC
BBB2 02      1797      LD   (BC),A
BBB3 03      1798      INC  BC
BBB4 02      1799      LD   (BC),A
BBB5 03      1800      INC  BC
BBB6 02      1801      LD   (BC),A
BBB7 03      1802      INC  BC
BBB8 02      1803      LD   (BC),A
BBB9 03      1804      INC  BC
BBBA 02      1805      LD   (BC),A
BBBB 03      1806      INC  BC
BBBC 02      1807      LD   (BC),A
BBBD 03      1808      INC  BC
BBBE 02      1809      LD   (BC),A
BBBF 03      1810      INC  BC
BBC0 02      1811      LD   (BC),A
BBC1 03      1812      INC  BC
BBC2 02      1813      LD   (BC),A
BBC3 03      1814      INC  BC
BBCC 02      1815      #BBA8
BBCC 3E 00   1816      LD   A,0
BBCC 21 06 B0 1817      LD   HL,LINE#SIDE
BBCC 85      1818      ADD  A,L
BBCC 6F      1819      LD   L,A
BBCC 7E      1820      LD   A,(HL)
BBCC 2F      1821      CPL
BBCC 0F      1822      LD   L,A
BBCC 0F      1823      LD   L,A
BBCC 0F      1824      #BBB3
BBCC 0A      1825      LD   A,(BC)
BBCC A5      1826      AND  L
BBCC 0F      1827      LD   L,A
BBCC 3A 22 BB 1828      LD   A,(#BB05+1)
BBCC A4      1829      AND  H
BBCC B5      1830      OR   L
BBCC 02      1831      LD   (BC),A
BBCC C3 85 B2 1832      JP   VRAM#OFF
BBCC 0F      1833      #BBBF
BBCC CD 71 B2 1834      CALL VRAM#ON
BBCC 3A FA BA 1835      LD   A,(#BADD+1)
BBCC 21 06 B0 1836      LD   HL,LINE#SIDE
BBCC 55      1837      LD   D,L
BBCC 85      1838      ADD  A,L
BBCC 6F      1839      LD   L,A
BBCC 3A C5 BB 1840      LD   A,(#BBA8+1)
BBCC 5E      1841      LD   E,(HL)
BBCC 82      1842      ADD  A,D
BBCC 6F      1843      LD   L,A
BBCC 7B      1844      LD   A,E
BBCC 2F      1845      CPL
BBCC A6      1846      AND  (HL)
BBCC 67      1847      LD   H,A
BBCC 2F      1848      CPL
BBCC 6F      1849      LD   L,A
BBCC 18 DA   1850      JR   #BBB3
BBCC 0F      1851      POINT
BBCC 04      1852      INC  B
BBCC 05      1853      DEC  B
BBCC 20 63   1854      JR   NZ,#BC41
BBCC 3E C7   1855      LD   A,$C7
BBCC B0      1856      CP   C
BBCC 3E 5E   1857      JR   C,#BC41
BBCC 3E 7F   1858      LD   A,$7F
BBCC 93      1859      SUB  E
BBCC 3E 02   1860      LD   A,2
BBCC 9A      1861      SBC  A,D
BBCC 3E 56   1862      JR   C,#BC41
BBCC C5      1863      PUSH BC
BBCC 05      1864      PUSH DE
BBCC E5      1865      PUSH HL
BBCC 69      1866      LD   L,C
BBCC A6 26 00 1867      LD   H,0
BBCC C2 29   1868      ADD  HL,HL
BBCC D0 29   1869      ADD  HL,HL
BBCC E2 29   1870      ADD  HL,HL
BBCC 44 4D   1871      LD   BC,HL

```

〉僕の数学の先生が、「必修クラブで校長室のマシンを使わせてもらえるから希望者はゲームプログラムを用意してください」そしてあとで職員室に立ち寄った僕をつかまえ、「プログラムはまだかい?」「家にあります」「早く持ってきてくれ。前もって打ちこんで、クラブでは遊ぶのに集中したいから」だって。

小井田 伸雄 (14) 岩手県


```

BC11 29
BC12 29
BC13 99
BC14 78
BC15 E6 F8
BC17 B2
BC18 0F
BC19 0F
BC1A 0F
BC1B 85
BC1C 4F
BC1D 3E F0
BC1F 8C
BC20 47
BC21 7B
BC22 E6 07
BC24 21 0E B0
BC27 85
BC28 6F
BC29 7E
BC2A 6F
BC2B 16 00
BC2D CD 76 B2
BC30 3A 56 C2
BC33 E6 FE
BC35 D3 F4
BC37 0A
BC38 A5
BC39 28 01
BC3B 14
BC3C
BC3C 3A 8A C2
BC3F E6 01
BC41 28 0D
BC43 3A 56 C2
BC46 F6 01
BC48 D3 F4
BC4A 0A
BC4B A5
BC4C 28 02
BC4E CB CA
BC50
BC50 DB E8
BC52 E6 7F
BC54 D3 E8
BC56 FB
BC57 7A
BC58 E1
BC59 D1
BC5A C1
BC5B C9
BC5C
BC5C 3E FF
BC5E C9
BC5F
BC5F 3A 29 C2
BC62 47
BC63 3A 2D C2
BC68 4F
BC67 3A 31 C2
BC6A A0
BC6B A1
BC6C E6 FC
BC6E C0
BC6F 3A 28 C2
BC72 2A 32 C2
BC75 A4
BC76 ED 5B 2E C2
BC7A A2
BC7B 87
BC7C D8
BC7D ED 52
BC7F F2 8A BC
BC82 2A 32 C2
BC85 ED 53 32 C2
BC89 22 2E C2
BC8C 2A 2C C2
BC8F ED 5B 30 C2
BC93 ED 53 2C C2
BC97 22 30 C2
BC9A
BC9A 2A 32 C2
BC9D ED 5B 2A C2
BCA1 B7 ED 52
BCA4 F2 CF BC
BCA7 2A 2E C2
BCAA ED 4B 32 C2
BCAE ED 53 32 C2
BCB2 22 2A C2
BCB5 ED 43 2E C2
BCB9 2A 28 C2
BCBC ED 5B 2C C2
BCC0 ED 4B 30 C2
BCC4 22 30 C2
BCC7 ED 53 28 C2
BCCB ED 43 2C C2
BCCF
BCCF 2A 2E C2
BCD2 ED 5B 2A C2
BCD6 B7 ED 52
BCD9 F2 F4 BC
BCDC 2A 2E C2
BCDF ED 53 2E C2
BCE3 22 2A C2
BCE6 2A 28 C2
BCE9 ED 5B 2C C2
BCED ED 53 28 C2
BCF1 22 2C C2
BCF4
BCF4 2A 28 C2
BCF7 ED 5B 2C C2
BCFB 22 48 C2
BCFE 22 4A C2
BD01 EB
BD02 3E 03
BD04 B7 ED 52
BD07 28 0D
BD09 F2 17 BD
BD0C 7C
BD0D 2F
BD0E 67
BD0F 7D
BD10 2F
BD11 6F
BD12 23
BD13 3E 0B
BD15 FE AF
BD17
BD17 32 FD BD
BD1A 22 ED BD
BD1D 2A 30 C2
BD20 3E 03

```

```

1872 ADD HL,HL
1873 ADD HL,HL
1874 ADD HL,BC
1875 LD A,E
1876 AND SF8
1877 OR D
1878 RRCA
1879 RRCA
1880 RRCA
1881 ADD A,L
1882 LD C,A
1883 LD A,$E0
1884 ADC A,H
1885 LD B,A
1886 LD A,E
1887 AND $07
1888 LD HL,DOT#TABLE
1889 LD A,L
1890 LD L,A
1891 LD A,(HL)
1892 LD L,A
1893 LD D,0
1894 CALL VRAM#0N2
1895 LD A,(PLANE)
1896 AND $FEH
1897 OUT ($F4),A
1898 LD A,(BC)
1899 AND L
1900 JR Z,$BC1F
1901 INC D
1902 #BC1F
1903 LD A,(VRAM2)
1904 AND I
1905 JR Z,$BC33
1906 LD A,(PLANE)
1907 OR I
1908 OUT ($F4),A
1909 LD A,(BC)
1910 AND L
1911 JR Z,$BC33
1912 SET I,D
1913 #BC33
1914 IN A,($E8)
1915 AND $FF
1916 OUT ($E8),A
1917 EI
1918 LD A,D
1919 POP HL
1920 POP DE
1921 POP BC
1922 RET
1923 #BC41
1924 LD A,$FF
1925 RET
1926 TRIANGLE
1927 LD A,(X1+1)
1928 LD B,A
1929 LD A,(X2+1)
1930 LD C,A
1931 LD A,(X3+1)
1932 AND B
1933 AND C
1934 AND $FF
1935 RET NZ
1936 LD A,(Y1+1)
1937 LD HL,(Y3)
1938 AND H
1939 LD DE,(Y2)
1940 AND D
1941 ADD A,D
1942 RET C
1943 SBC HL,DE
1944 JP P,$BC7F
1945 LD HL,(Y3)
1946 LD (Y3),DE
1947 LD (Y2),HL
1948 LD HL,(X2)
1949 LD DE,(X3)
1950 LD (X2),DE
1951 LD (X3),HL
1952 #BC7F
1953 LD HL,(Y3)
1954 LD DE,(Y1)
1955 SUB HL,DE
1956 JP P,$BCB4
1957 LD HL,(Y2)
1958 LD BC,(Y3)
1959 LD (Y3),DE
1960 LD (Y1),HL
1961 LD (Y2),BC
1962 LD HL,(X1)
1963 LD DE,(X2)
1964 LD BC,(X3)
1965 LD (X3),HL
1966 LD (X1),DE
1967 LD (X2),BC
1968 #BCB4
1969 LD HL,(Y2)
1970 LD DE,(Y1)
1971 SUB HL,DE
1972 JP P,$BCD9
1973 LD HL,(Y2)
1974 LD (Y2),DE
1975 LD (Y1),HL
1976 LD HL,(X1)
1977 LD DE,(X2)
1978 LD (X1),DE
1979 LD (X2),HL
1980 #BCD9
1981 LD HL,(X1)
1982 LD DE,(X2)
1983 LD (X1),HL
1984 LD (X2),HL
1985 EX DE,HL
1986 LD A,3
1987 SUB HL,DE
1988 JR Z,$BCFC-1
1989 JP P,$BCFC
1990 LD A,H
1991 CPL
1992 LD H,A
1993 LD A,L
1994 CPL
1995 LD L,A
1996 INC HL
1997 LD A,$0B
1998 CP $AF
1999 #BCFC
2000 LD ($BDE2),A
2001 LD ($BDD1+1),HL
2002 LD HL,(X3)
2003 LD A,3

```

```

BD22 B7 ED 52
BD25 28 0D
BD27 F2 35 BD
BD2A 7A E
BD2B 2F
BD2C 67
BD2D 7D
BD2E 2F
BD2F 6F
BD30 23
BD31 3E 0B
BD33 FE AF
BD35
BD35 32 1C BE
BD38 22 0C BE
BD3B 2A 2A C2
BD3E 22 84 C2
BD41 EB
BD42 2A 32 C2
BD45 B7 ED 52
BD48 22 15 BE
BD4B 2A 32 C2
BD4E ED 5B 2E C2
BD50 B7 ED 52
BD55 7C
BD56 B5
BD57 E5
BD58 2A 2A C2
BD5B EB
BD5C ED 52
BD5E E5
BD5F D9
BD60 D1
BD61 E1
BD62 D9
BD63 22 F6 BD
BD66 28 25
BD68 2A 2C C2
BD6B 22 48 C2
BD6E B7
BD6F 20 35
BD71 2A 28 C2
BD74 ED 5B 2C C2
BD78 ED 4B 2A C2
BD7C CD 73 BA
BD7F 2A 2C C2
BD82 ED 5B 30 C2
BD86 ED 4B 2A C2
BD8A C3 73 BA
BD8D
BD8D CB 2C
BD8F CB 1D
BD91 22 86 C2
BD94 2A 15 BE
BD97 CB 2C
BD99 CB 1D
BD9B 22 88 C2
BD9E CD D6 BD
BDA1 D9
BDA2 7C
BDA3 B5
BDA4 D9
BDA5 C8
BDA6
BDA6 D9
BDA7 22 F6 BD
BDA8 54 5D
BDAE CB 2C
BDAF CB 1D
BD90 22 86 C2
BDB3 D9
BDB4 2A 30 C2
BDB7 ED 5B 2C C2
BDBB 3E 03
BDBD B7 ED 52
BDE0 28 0D
BDE2 F2 D0 BD
BDC5 7C
BDC6 2F
BDC7 67
BDC8 7D
BDC9 2F
BDCA 6F
BDCB 23
BDCC 3E 0B
BDCE FE AF
BDD0
BDD0 32 FD BD
BDD2 22 ED BD
BDD6
BDD6 2A 84 C2
BDD9 44 4D
BDDB 23
BDDC 22 84 C2
BDDF 2A 48 C2
BDE2 ED 5B 4A C2
BDE6 CD 73 BA
BDE9 2A 86 C2
BDEC
BDEC 11 00 00
BDEF B7 ED 52
BDF2 F2 05 BE
BDF5
BDF5 11 00 00
BDF8 ED 4B 48 C2
BDFC
BDFC 19
BDFD
BDFD 00
BDFE D2 FC BD
BE01 ED 43 48 C2
BE05
BE05 22 86 C2
BE08 2A 88 C2
BE0B
BE0B 11 00 00
BE0E B7 ED 52
BE11 F2 24 BE
BE14
BE14 11 00 00
BE17 ED 4B 4A C2
BE1B
BE1B 19
BE1C
BE1C 00
BE1D D2 1B BE
BE20 ED 43 4A C2
BE24
BE24 22 88 C2
BE27 D9
BE28 1B
BE29 7A

```

```

2004 SUB HL,DE
2005 JR Z,$BD1A-1
2006 JP P,$BD1A
2007 LD A,H
2008 CPL
2009 LD H,A
2010 LD A,L
2011 CPL
2012 LD L,A
2013 INC HL
2014 LD A,$0B
2015 CP $AF
2016 #BD1A
2017 LD ($BE01),A
2018 LD ($BDF0+1),HL
2019 LD HL,(Y1)
2020 LD (FY),HL
2021 EX DE,HL
2022 LD HL,(Y3)
2023 SUB HL,DE
2024 LD ($BDF9+1),HL
2025 LD HL,(Y3)
2026 LD DE,(Y2)
2027 SUB HL,DE
2028 LD A,H
2029 OR L
2030 PUSH HL
2031 LD HL,(Y1)
2032 EX DE,HL
2033 SBC HL,DE
2034 PUSH HL
2035 EXX
2036 POP DE
2037 POP HL
2038 EXX
2039 LD ($BDDA+1),HL
2040 JR NZ,$BD72
2041 LD HL,(X2)
2042 LD (SX),HL
2043 OR A
2044 JR NZ,$BD8B
2045 LD HL,(X1)
2046 LD DE,(X2)
2047 BC,(Y1)
2048 CALL EX#RASTER
2049 LD HL,(X2)
2050 LD DE,(X3)
2051 LD BC,(Y1)
2052 JP EX#RASTER
2053 #BD72
2054 SRA H
2055 RR L
2056 LD (R1),HL
2057 LD HL,($BDF9+1)
2058 SRA H
2059 RR L
2060 LD (R2),HL
2061 CALL #EDBB
2062 EXX
2063 LD A,H
2064 OR L
2065 EXX
2066 RET Z
2067 #BD8B
2068 EXX
2069 LD ($BDDA+1),HL
2070 LD DE,HL
2071 SRA H
2072 RR L
2073 LD (R1),HL
2074 EXX
2075 LD HL,(X3)
2076 LD DE,(X2)
2077 LD A,3
2078 SUB HL,DE
2079 JR Z,$BDB5-1
2080 JP P,$BDB5
2081 LD A,H
2082 CPL
2083 LD H,A
2084 LD A,L
2085 CPL
2086 LD L,A
2087 INC HL
2088 LD A,$0B
2089 CP $AF
2090 #BDB5
2091 LD ($BDE2),A
2092 LD ($BDD1+1),HL
2093 #BDB5
2094 LD HL,(FY)
2095 LD BC,HL
2096 INC HL
2097 LD (FY),HL
2098 LD HL,(SX)
2099 LD DE,(RX)
2100 CALL EX#RASTER
2101 LD HL,(R1)
2102 #BDD1
2103 LD DE,0
2104 SUR HL,DE
2105 JP P,$BDEA
2106 #BDDA
2107 LD DE,0
2108 LD BC,(SX)
2109 #BDE1
2110 ADD HL,DE
2111 #BDE2
2112 NOP
2113 JP NC,$BDE1
2114 LD (SX),BC
2115 #BDEA
2116 LD (R1),HL
2117 LD HL,(R2)
2118 #BDF0
2119 LD DE,0
2120 SUB HL,DE
2121 JP P,$BE09
2122 #BDF9
2123 LD DE,0
2124 LD BC,(EX)
2125 #BE00
2126 ADD HL,DE
2127 #BE01
2128 NOP
2129 JP NC,$BE00
2130 LD (EX),BC
2131 #BE09
2132 LD (R2),HL
2133 EXX
2134 DEC DE
2135 LD A,D

```

続X68000に移植されつつあるゲーム。Double Dribble, WEC, LeMans 24. ROLLING THUNDER, TOYPOP, BATTLE BIRD, Athena, INDIANA JONES, DUNK SHOT。まだまだ続くことを期待して。

河野 崇 (18) 鹿児島県


```

BE2A B3      2136  OP      E
BE2B D9      2137  EXX
BE2C C2 D6 BD 2138  JP      NZ,#BDBB
BE2F C9      2139  RET
BE30         2140  BOX#FULL
BE30 2A 28 C2 2141  LD      HL,(X1)
BE33 ED 5B 2C C2 2142  LD      DE,(X2)
BE37 E5      2143  PUSH   HL
BE38 B7 ED 52 2144  SUB     HL,DE
BE3B E1      2145  POP     HL
BE3C FA 40 BE 2146  JP      M,#BE25
BE3F EB      2147  EX      DE,HL
BE40         2148  #BE25
BE40 CB 7A    2149  BIT     7,D
BE42 C0       2150  RET     NZ
BE43 CB 7C    2151  BIT     7,H
BE45 28 03    2152  JR      Z,#BE2F
BE47 21 00 00 2153  LD      HL,0
BE4A         2154  #BE2F
BE4A 3E 7F    2155  LD      A,$7F
BE4C 95       2156  SUB     L
BE4D 3E 02    2157  LD      A,2
BE4F 9C       2158  SBC     H
BE50 D8       2159  RET     C
BE51 3E 7F    2160  LD      A,$7F
BE53 93       2161  SUB     E
BE54 3E 02    2162  LD      A,2
BE56 9A       2163  SBC     A,D
BE57 30 03    2164  JR      NC,#BE41
BE59 11 7F 02 2165  LD      DE,$027F
BE5C         2166  #BE41
BE5C 22 9A BE 2167  LD      (#BE7E+1),HL
BE5F ED 53 9D BE 2168  LD      (#BE7E+4),DE
BE63 2A 2C C2 2169  LD      HL,(Y2)
BE66 ED 5B 2A C2 2170  LD      DE,(Y1)
BE6A 7C       2171  LD      A,H
BE6B CB 7C    2172  BIT     7,H
BE6D 28 03    2173  JR      Z,#BE57
BE6F 21 00 00 2174  LD      HL,0
BE72         2175  #BE57
BE72 A2       2176  AND     D
BE72 B8 7A    2177  BIT     7,D
BE75 28 03    2178  JR      Z,#BE5F
BE77 11 00 00 2179  LD      DE,0
BE7A         2180  #BE5F
BE7A 07       2181  RLCA
BE7B D8       2182  RET     C
BE7C B7 ED 52 2183  SUB     HL,DE
BE7F 30 05    2184  JR      NC,#BE6B
BE81 19       2185  ADD     HL,DE
BE82 EB       2186  EX      DE,HL
BE83 B7 ED 52 2187  SUB     HL,DE
BE86         2188  #BE6B
BE86 3E C7    2189  LD      A,$C7
BE88 93       2190  SUB     E
BE89 08       2191  RET     C
BE8A 24       2192  INC     H
BE8B 25       2193  DEC     H
BE8C 20 03    2194  JR      NZ,#BE76
BE8E BD       2195  CP      L
BE8F 30 01    2196  JR      NC,#BE77
BE91         2197  #BE76
BE91 6F       2198  LD      L,A
BE92         2199  #BE77
BE92 45       2200  LD      B,L
BE93 04       2201  INC     B
BE94         2202  #BE79
BE94 7B       2203  LD      A,E
BE95 D9       2204  EXX
BE96 4F       2205  LD      C,A
BE97 06 00    2206  LD      B,0
BE99         2207  #BE7E
BE99 21 00 00 2208  LD      HL,0
BE9C 11 00 00 2209  LD      DE,0
BE9F CD 7B BA 2210  CALL   RASTER
BEA2 D9       2211  EXX
BEA3 1C       2212  INC     E
BEA4 10 EE    2213  DJNZ   #BE79
BEA6 C9       2214  RET
BEA7         2215  CIRCLE#FULL
BEA7 AF       2216  XOR     A
BEA8 D9       2217  EXX
BEA9 5F       2218  LD      E,A
BEAA 57       2219  LD      D,A
BEAB 32 58 C2 2220  LD      (FLG),A
BEAE 2A 2C C2 2221  LD      HL,(X2)
BEB1 22 46 C2 2222  LD      (R),HL
BEBA 44 4D    2223  LD      BC,HL
BEBC 78       2224  LD      A,B
BEBC B1       2225  OR      C
BEBC D9       2226  EXX
BEBC CA 75 BF 2227  JP      Z,DOT
BEBC         2228  #BEA1
BEBC D9       2229  EXX
BEBC 62 6B    2230  LD      HL,DE
BEBC 2B       2231  DEC     HL
BEBC B7 ED 42 2232  SUB     HL,BC
BEBC D9       2233  EXX
BECC F0       2234  RET     P
BECC 28 25    2235  JR      Z,#BED1
BECC CD 4E BF 2236  CALL   #BF33
BECA 3A 58 C2 2237  LD      A,(FLG)
BECD B7       2238  OR      A
BECE 20 1C    2239  JR      NZ,#BED1
BED0 2A 48 C2 2240  LD      HL,(SX)
BED3 ED 5B 4A C2 2241  LD      DE,(EX)
BED7 ED 4B 75 C2 2242  LD      BC,(YA)
BEDB CD 7B BA 2243  CALL   RASTER
BEDD 2A 48 C2 2244  LD      HL,(SX)
BEE1 ED 5B 4A C2 2245  LD      DE,(EX)
BEE5 ED 4B 7B C2 2246  LD      BC,(YB)
BEE9 CD 7B BA 2247  CALL   RASTER
BEEC         2248  #BED1
BEEC CD 4E BF 2249  CALL   #BF33
BEEF D9       2250  EXX
BEF0 62 6B    2251  LD      HL,DE
BEF2 2B       2252  DEC     HL
BEF3 B7 ED 42 2253  SUB     HL,BC
BEF6 D9       2254  EXX
BEF7 28 26    2255  JR      Z,#BF04
BEF9 2A 48 C2 2256  LD      HL,(SX)
BEFC ED 5B 4A C2 2257  LD      DE,(EX)
BF00 ED 4B 75 C2 2258  LD      BC,(YA)
BF04 CD 7B BA 2259  CALL   RASTER
BF07 2A 75 C2 2260  LD      HL,(YA)
BF0A ED 5B 7B C2 2261  LD      DE,(YB)
BF0E B7 ED 52 2262  SUB     HL,DE
BF11 28 0C    2263  JR      Z,#BF04
BF13 42 4B    2264  LD      BC,DE
BF15 2A 48 C2 2265  LD      HL,(SX)
BF18 ED 5B 4A C2 2266  LD      DE,(EX)
BF1C CD 7B BA 2267  CALL   RASTER

```

```

BF1F         2268  #BF04
BF1F 3E 01    2269  LD      A,1
BF21 32 58 C2 2270  LD      (FLG),A
BF24 D9       2271  EXX
BF25 13       2272  INC     DE
BF26 D5       2273  PUSH   DE
BF27 D9       2274  EXX
BF28 E1       2275  POP     HL
BF29 29       2276  ADD     HL,HL
BF2A 28       2277  DEC     HL
BF2B 44 4D    2278  LD      BC,HL
BF2D 2A 46 C2 2279  LD      HL,(R)
BF30 B7 ED 42 2280  SUB     HL,BC
BF33 22 46 C2 2281  LD      (R),HL
BF36 D2 BC BE 2282  JP      NC,#BEA1
BF39 AF       2283  XOR     A
BF3A 32 58 C2 2284  LD      (FLG),A
BF3D D9       2285  EXX
BF3E 0B       2286  DEC     BC
BF3F C5       2287  PUSH   BC
BF40 D9       2288  EXX
BF41 E1       2289  POP     HL
BF42 25       2290  LD      HL,HL
BF43 ED 4B 46 C2 2291  LD      BC,(R)
BF47 05       2292  ADD     HL,BC
BF48 22 46 C2 2293  LD      (R),HL
BF4B C3 BC BE 2294  JP      #BEA1
BF4E         2295  #BF33
BF4E D9       2296  EXX
BF4F 2A 28 C2 2297  LD      HL,(X1)
BF52 B7 ED 52 2298  SUB     HL,DE
BF55 22 48 C2 2299  LD      (SX),HL
BF58 2A 28 C2 2300  LD      HL,(X1)
BF5B 19       2301  ADD     HL,DE
BF5C 22 4A C2 2302  LD      (X),HL
BF5F B7       2303  PUSH   BC
BF60 2A 2A C2 2304  LD      HL,(Y1)
BF63 B7 ED 42 2305  SUB     HL,BC
BF66 22 75 C2 2306  LD      (YA),HL
BF69 2A 2A C2 2307  LD      HL,(Y1)
BF6C 09       2308  ADD     HL,BC
BF6D 22 7B C2 2309  LD      (YB),HL
BF70 42 4B    2310  LD      BC,DE
BF72 D1       2311  POP     DE
BF73 D9       2312  EXX
BF74 C9       2313  RET
BF75         2314  DOT
BF75 2A 28 C2 2315  LD      HL,(X1)
BF78 ED 5B 28 C2 2316  LD      DE,(X1)
BF7C ED 4B 2A C2 2317  LD      BC,(Y1)
BF80 C3 7B BA 2318  JP      RASTER
BF83         2319  #DISP
BF83 3A B4 C6 2320  LD      A,(PCT)
BF86 B7       2321  OR      A
BF87 C8       2322  RET     Z
BF88 3A B5 C6 2323  LD      A,(LCT)
BF8B B7       2324  OR      A
BF8C C8       2325  RET     Z
BF8D 21 B6 CC 2326  LD      HL,LIN#BUF
BF90         2327  #BF79
BF90 32 CB BF 2328  LD      (#BFAD+1),A
BF93 4E       2329  LD      C,(HL)
BF94 23       2330  INC     HL
BF95 7E       2331  LD      A,(HL)
BF96 23       2332  INC     HL
BF97 E5       2333  PUSH   HL
BF98 69       2334  LD      L,C
BF99 26 00    2335  LD      H,0
BF9B 29       2336  ADD     HL,HL
BF9D 29       2337  ADD     HL,HL
BF9D 11 B4 C2 2338  LD      DE,DISP#BUF
BFA0 19       2339  ADD     HL,DE
BFA1 11 28 C2 2340  LD      DE,X1
BFA4 ED A0    2341  LD      LDI
BFA5 ED A0    2342  LD      LDI
BFA6 ED A0    2343  LD      LDI
BFA7 ED A0    2344  LD      LDI
BFAC 6F       2345  LD      L,A
BFAD 26 00    2346  LD      H,0
BFAD 29       2347  ADD     HL,HL
BFAD 29       2348  ADD     HL,HL
BFB1 11 B4 C2 2349  LD      DE,DISP#BUF
BFB4 19       2350  ADD     HL,DE
BFB5 11 2C C2 2351  LD      DE,X2
BFB8 ED A0    2352  LD      LDI
BFB8 ED A0    2353  LD      LDI
BFB8 ED A0    2354  LD      LDI
BFB8 ED A0    2355  LD      LDI
BFB8 CD 9A C1 2356  CALL   CNV
BFB8 CD 9A C1 2357  CALL   CNV2
BFB8 CD 00 B7 2358  CALL   CLPLINE
BFB9 E1       2359  POP     HL
BFCA         2360  #BFAD
BFCA 3E 00    2361  LD      A,0
BFCC 3D       2362  DEC     A
BFCD CD 90 BF 2363  JP      NZ,#BF79
BFDD C9       2364  RET
BFDD         2365  SPLINE
BFDD 2A 28 C2 2366  LD      HL,(X1)
BFDD ED 5B 30 C2 2367  LD      DE,(X3)
BFDD 19       2368  ADD     HL,DE
BFD9 CB 2C    2369  SRA     H
BFD9 CB 1D    2370  RR      L
BFD9 CB 1D    2371  EX      DE,HL
BFD9 2A 2C C2 2372  LD      HL,(X2)
BFE1 29       2373  ADD     HL,HL
BFE2 B7 ED 52 2374  SUB     HL,DE
BFES 22 2C C2 2375  LD      (X2),HL
BFEE 2A 2A C2 2376  LD      HL,(Y1)
BFEE ED 5B 32 C2 2377  LD      DE,(Y3)
BFEE 19       2378  ADD     HL,DE
BFF0 CB 2C    2379  SRA     H
BFF2 CB 1D    2380  RR      L
BFF4 EB       2381  EX      DE,HL
BFF4 2A 2E C2 2382  LD      HL,(Y2)
BFF6 29       2383  ADD     HL,HL
BFF9 B7 ED 52 2384  SUB     HL,DE
BFFC 22 2E C2 2385  LD      (Y2),HL
BFFF AF       2386  XOR     A
C000 2A 28 C2 2387  LD      HL,(X1)
C000 22 61 C2 2388  LD      (XA1+1),HL
C000 32 60 C2 2389  LD      (XA1),A
C000 2A 2A C2 2390  LD      HL,(Y1)
C00C 22 64 C2 2391  LD      (YA1+1),HL
C00F 32 63 C2 2392  LD      (YA1),A
C012 2A 2C C2 2393  LD      HL,(X2)
C012 ED 5B 28 C2 2394  LD      DE,(X1)
C019 AF       2395  XOR     A
C01A ED 52    2396  SBC     HL,DE
C01C CB 2C    2397  SRA     H
C01E CB 1D    2398  RR      L
C020 1F       2399  RRA

```

「それ行け! X1」に載ってた「Xファミリーシンボルマークコンテスト」のマーク、どれも最低だと思いませんか。まともなデザイナーを使ったのか、と聞きたくなる。私としてはX1のロゴがいちばん安定感もあり愛着もあっていいと思う。といいつつX68000がほしいのでしっかり応募するのであった。
 中内 崇夫 (18) 神奈川県


```

C021 CB 2C      2400  SRA H
C023 CB 1D      2401  RR L
C025 1F         2402  RRA
C026 CB 2C      2403  SRA H
C028 CB 1D      2404  RR L
C02A 1F         2405  RRA
C02B 32 72 C2   2406  LD (XA),A
C02E 22 73 C2   2407  LD (XA+1),HL
C031 2A 2E C2   2408  LD HL,(Y2)
C034 ED 5B 2A C2 2409  LD DE,(Y1)
C038 AF         2410  XOR A
C039 ED 52       2411  SBC HL,DE
C03B CB 2C       2412  SRA H
C03D CB 1D       2413  RR L
C03F 1F         2414  RRA
C040 CB 2C       2415  SRA H
C042 CB 1D       2416  RR L
C044 1F         2417  RRA
C045 CB 2C       2418  SRA H
C047 CB 1D       2419  RR L
C049 1F         2420  RRA
C04A 32 75 C2   2421  LD (YA),A
C04D 22 76 C2   2422  LD (YA+1),HL
C050 2A 2C C2   2423  LD HL,(X2)
C053 29         2424  ADD HL,HL
C054 EB         2425  EX DE,HL
C055 2A 28 C2   2426  LD HL,(X1)
C058 B7 ED 52    2427  SUB HL,DE
C05B ED 5B 50 C2 2428  LD DE,(X3)
C05F 19         2429  ADD HL,DE
C060 7C         2430  LD A,H
C061 87         2431  ADD A,A
C062 9F         2432  SBC A,A
C063 32 7A C2   2433  LD (XB+2),A
C066 22 78 C2   2434  LD (XB),HL
C069 29         2435  ADD HL,HL
C06A 8F         2436  ADC A,A
C06B 32 80 C2   2437  LD (XC+2),A
C06E 22 7E C2   2438  LD (XC),HL
C071 2A 2E C2   2439  LD HL,(Y2)
C074 29         2440  ADD HL,HL
C075 EB         2441  EX DE,HL
C076 2A 2A C2   2442  LD HL,(Y1)
C079 B7 ED 52    2443  SUB HL,DE
C07C ED 5B 32 C2 2444  LD DE,(Y3)
C080 19         2445  ADD HL,DE
C081 7C         2446  LD A,H
C082 87         2447  ADD A,A
C083 9F         2448  SBC A,A
C084 32 7D C2   2449  LD (YB+2),A
C087 22 7B C2   2450  LD (YB),HL
C08A 29         2451  ADD HL,HL
C08B 8F         2452  ADC A,A
C08C 32 83 C2   2453  LD (YC+2),A
C08F 22 81 C2   2454  LD (YC),HL
C092 AF         2455  XOR A
C093 87         2456  LD H,A
C094 8F         2457  LD L,A
C095 22 86 C2   2458  LD (XA2),HL
C098 32 88 C2   2459  LD (XA2+2),A
C09B 22 89 C2   2460  LD (YA2),HL
C09E 32 8B C2   2461  LD (YA2+2),A
C0A1 22 9C C2   2462  LD (XA3),HL
C0A4 32 9E C2   2463  LD (XA3+2),A
C0A7 22 9F C2   2464  LD (YA3),HL
C0AA 32 71 C2   2465  LD (YA3+2),A
C0AD 8E 11       2466  LD C,$11
C0AF FD 21 8C C2 2467  LD 1Y,WORK
C0B3            2468  #C086
C0B3 C5         2469  PUSH BC
C0B4 2A 80 C2   2470  LD HL,(XA1)
C0B7 3A 92 C2   2471  LD A,(XA1+2)
C0BA 47         2472  LD B,A
C0BB ED 5B 86 C2 2473  LD DE,(XA2)
C0BF 3A 88 C2   2474  LD A,(XA2+2)
C0C2 19         2475  ADD HL,DE
C0C3 88         2476  ADC A,B
C0C4 47         2477  LD B,A
C0C5 ED 5B 8C C2 2478  LD DE,(XA3)
C0C9 3A 8E C2   2479  LD A,(XA3+2)
C0CC 19         2480  ADD HL,DE
C0CD 88         2481  ADC A,B
C0CE FD 74 80    2482  LD (1Y),H
C0D1 FD 77 81    2483  LD (1Y+3),A
C0D4 2A 93 C2   2484  LD HL,(YA1)
C0D7 3A 95 C2   2485  LD A,(YA1+2)
C0DA 47         2486  LD B,A
C0DB ED 5B 89 C2 2487  LD DE,(YA2)
C0DF 3A 9B C2   2488  LD A,(YA2+2)
C0E2 19         2489  ADD HL,DE
C0E3 88         2490  ADC A,B
C0E4 47         2491  LD B,A
C0E5 ED 5B 6F C2 2492  LD DE,(YA3)
C0E9 3A 71 C2   2493  LD A,(YA3+2)
C0EC 19         2494  ADD HL,DE
C0ED 88         2495  ADC A,B
C0EE FD 74 82    2496  LD (1Y+2),H
C0F1 FD 77 83    2497  LD (1Y+3),A
C0F4 2A 66 C2   2498  LD HL,(XA2)
C0F7 3A 68 C2   2499  LD A,(XA2+2)
C0FA 47         2500  LD B,A
C0FB ED 5B 72 C2 2501  LD DE,(XA)
C0FF 3A 74 C2   2502  LD A,(XA+2)
C102 19         2503  ADD HL,DE
C103 88         2504  ADC A,B
C104 22 66 C2   2505  LD (XA2),HL
C107 32 68 C2   2506  LD (XA2+2),A
C10A 2A 99 C2   2507  LD HL,(YA2)
C10D 3A 9B C2   2508  LD A,(YA2+2)
C110 47         2509  LD B,A
C111 ED 5B 75 C2 2510  LD DE,(YA)
C115 3A 77 C2   2511  LD A,(YA+2)
C118 19         2512  ADD HL,DE
C119 88         2513  ADC A,B
C11A 22 69 C2   2514  LD (YA2),HL
C11D 32 6B C2   2515  LD (YA2+2),A
C120 2A 6C C2   2516  LD HL,(XA3)
C123 3A 6E C2   2517  LD A,(XA3+2)
C126 47         2518  LD B,A
C127 ED 5B 78 C2 2519  LD DE,(XB)
C12B 3A 7A C2   2520  LD A,(XB+2)
C12E 4F         2521  LD C,A
C12F 1F         2522  ADD HL,DE
C130 88         2523  ADC A,B
C131 22 6C C2   2524  LD (XA3),HL
C134 32 6E C2   2525  LD (XA3+2),A
C137 2A 7E C2   2526  LD HL,(XC)
C13A EB         2527  EX DE,HL
C13B 3A 80 C2   2528  LD A,(XC+2)
C13E 19         2529  ADD HL,DE
C13F 89         2530  ADC A,C
C140 22 78 C2   2531  LD (XB),HL

```

```

C143 32 7A C2   2532  LD (XB+2),A
C146 2A 6F C2   2533  LD HL,(YA3)
C149 3A 71 C2   2534  LD A,(YA3+2)
C14C 47         2535  LD B,A
C14D ED 5B 7B C2 2536  LD DE,(YB)
C151 3A 7D C2   2537  LD A,(YB+2)
C154 4F         2538  LD C,A
C155 19         2539  ADD HL,DE
C156 88         2540  ADC A,B
C157 22 6F C2   2541  LD (YA3),HL
C15A 32 71 C2   2542  LD (YA3+2),A
C15D 2A 81 C2   2543  LD HL,(YC)
C160 EB         2544  EX DE,HL
C161 3A 83 C2   2545  LD A,(YC+2)
C164 19         2546  ADD HL,DE
C165 89         2547  ADC A,C
C166 22 7B C2   2548  LD (YB),HL
C169 32 7D C2   2549  LD (YB+2),A
C16C 01 84 80    2550  LD BC,4
C16F FD 09       2551  ADD 1Y,BC
C171 C1         2552  POP BC
C172 0D         2553  DEC C
C173 C2 B3 C0    2554  JP NZ,#C096
C176 21 8C C2   2555  LD HL,WORK
C179 06 10       2556  LD B,$10
C17B            2557  #C15E
C17B C5         2558  PUSH BC
C17C 11 28 C2   2559  LD DE,X1
C17F ED A0       2560  LD1
C181 ED A0       2561  LD1
C183 ED A0       2562  LD1
C185 ED A0       2563  LD1
C187 E5         2564  PUSH HL
C189 ED A0       2565  LD1
C18A ED A0       2566  LD1
C18C ED A0       2567  LD1
C18E ED A0       2568  LD1
C190 CD 00 B7    2569  CALL CLIPLINE
C193 E1         2570  POP HL
C194 C1         2571  POP BC
C195 10 E4       2572  DJNZ #C15E
C197 C9         2573  RET
C198            2574  ;
C198            2575  CNV
C198 62 6B       2576  LD HL,DE
C19A            2577  CNV2
C19A 2B         2578  DEC HL
C19B 2B         2579  DEC HL
C19C 2B         2580  DEC HL
C19D CB 2E       2581  SRA (HL)
C19F 2B         2582  DEC HL
C1A0 CB 1E       2583  RR (HL)
C1A2 C9         2584  RET
C1A3            2585
C1A3            2586
C200            2587  ORG $C200
C200            2588
C200 00 00       2589  POINTER DW 0
C202 00         2590  PDATA DB 0
C203 00 00       2591  CX DW 0
C205 00 00       2592  CY DW 0
C207 00 00       2593  CZ DW 0
C209 00 00       2594  DX DW 0
C20B 00 00       2595  DY DW 0
C20D 00 00       2596  DZ DW 0
C20F 00 00       2597  HEAD DW 0
C211 00 00       2598  PITCH DW 0
C213 00 00       2599  BANK DW 0
C215 00 00       2600  MINX DW 0
C217 00 00       2601  MINY DW 0
C219 00 00       2602  MAXX DW 0
C21B 00 00       2603  MAXY DW 0
C21D 00 00       2604  COL DB 0
C21E 00 00 00 00 00 00 00 00 2605  PALET DS 8
C225 00         2606  PICS DW 0
C226 00 00       2607  X1 DW 0
C228 00 00       2608  Y1 DW 0
C22A 00 00       2609  X2 DW 0
C22C 00 00       2610  Y2 DW 0
C22E 00 00       2611  X3 DW 0
C230 00 00       2612  Y3 DW 0
C232 00 00       2613  Z1 DW 0
C234 00 00       2614  Z2 DW 0
C236 00 00       2615  Z3 DW 0
C238 00 00       2616  COSH DW 0
C23A 00 00       2617  SINH DW 0
C23C 00 00       2618  COSP DW 0
C23E 00 00       2619  SINP DW 0
C240 00 00       2620  COSB DW 0
C242 00 00       2621  SINB DW 0
C244 00 00       2622  R DW 0
C246 00 00       2623  SX DW 0
C248 00 00       2624  RX DW 0
C24A 00 00       2625  EY DW 0
C24C 00 00       2626  WK1 DW 0
C24E 00 00       2627  WK2 DW 0
C250 00 00       2628  WK3 DW 0
C252 00 00       2629  WK4 DW 0
C254 00 00       2630  PLANE DB 0
C256 00         2631  XMODE DB 0
C257 00         2632  FLG DB 0
C258 00         2633  MASK DB 0
C259 00         2634  MASKS DS 4
C25A 00 00 00 00 2635  py DW 0
C25B 00 00 00 00 2636  XA1 DS 3
C25C 00 00 00 00 2637  YA1 DS 3
C25D 00 00 00 00 2638  XA2 DS 3
C25E 00 00 00 00 2639  YA2 DS 3
C25F 00 00 00 00 2640  XA3 DS 3
C260 00 00 00 00 2641  YA3 DS 3
C261 00 00 00 00 2642  XA DS 3
C262 00 00 00 00 2643  YA DS 3
C263 00 00 00 00 2644  XB DS 3
C264 00 00 00 00 2645  YB DS 3
C265 00 00 00 00 2646  XC DS 3
C266 00 00 00 00 2647  YC DS 3
C267 00 00 00 00 2648  PY DW 0
C268 00 00 00 00 2649  R1 DW 0
C269 00 00 00 00 2650  R2 DW 0
C26A 00 00 00 00 2651  VRAM2 DW 0
C26B 00 00 00 00 2652  WORK
C26C            2653  DISP#BUF EQU $C2B4
C26C            2654  PCT EQU $C6B4
C26C            2655  LCT EQU $C8B5
C26C            2656  OBJ#BUF EQU $C6B6
C26C            2657  LIN#BUF EQU $C6B6
C26C            2658

```

▶僕はここ3カ月はど18日が悪い。X68000の画面写真がOh!MZに載ってるからだ。左上のSPSの文字が消えたグラデュウスはゲーセンと同じだあ！関係ないけど百式の金色ボディのX1が出ればいいと思ってるのは僕だけでしょうか？ 富井 大勝 (15) 石川県

話題のソフトウェア

先月の特集で、清水和人・祝一平両氏がゲーマーの立場からいい放題しゃべっていた「いちばん新しいGAME論」をお読みになった、皆さんの感想をぜひ聞かせていただきたいものです。

というわけで、1986年度の“GAME OF THE YEAR”なんかも発表されたわけだから、今年これからゲームを発表しようとしているソフトハウスの皆さんには大いに参考にしていただいて、面白いものをガンガン出していただければ、来年のいまごろの“GAME OF THE YEAR”は大繁盛……、なんてことになりませんか。

ところで、今年前半に登場しそうなゲーム、または近々登場するゲームの傾向については、もうすでにいろいろと情報が流れているのでご存じかもしれませんが、ここで簡単に入学シーズンでもあることだし（関係ないか、あんまりこれは）、名前だけの自己紹介ということで、まずはビデオゲームの移植版から。これは最近のグラディウスに始まって、X1版のドラゴンバスターと1942、戦場の狼。これらのゲームについてはいわずと知れたことでしょうから置いてと、次はやっぱりRPGでしょうね。

なんだかずいぶん待たされちゃった感じのログ、キングスナイト・スペシャル、コスミックソルジャー2・サイキックウォー、そ

れと九玉伝、扉を開けて、冒険浪漫。ファンタジーⅡはもうすぐなのかな。AVGではリバイヴァー、ガルフオーズ・創世の序曲、殺人倶楽部2・マンハッタンレクイエム、カサブランカに愛をといたところ。アクションゲームではエイリアン2、獣神ローガス、コムサイト、女神転生。それと再び登場の1942と戦場の狼になるのかなあ。これだけではちょっと寂しいような気がするんですけど、ほかのものについてはまた次の機会にでもということ。

シミュレーションゲームの分野では、比較的SFしてるのがヴィーナスファイアーとか地球防衛軍、オーガ、古典路線がエルスリッド、現実路線がホテルウォーズといったところかな。最近、このシミュレーションではディーヴァのようにシミュレーションとリアルタイムアクションゲームが合体したものが主流となりそうなので期待できそうです。ついでに昔のRPGがおまけで付いていた軽井沢誘拐案内のように、AVGにリアルタイムアクションシーンが登場するようのが出てくればもっと楽しめるような気がしますけど、いかがなものでしょうかね。

ここまで並べてみたゲームの数々を見てみると、なぜかX1のものばかり。MZ-2500については、シミュレーションでいまのところA列車で行こうが今秋発売予定といったところまでしかわかっていないので、今度ももう少し情報を集めておきますからちょっと待ってね。

ところで、シミュレーションといえば大戦



略X1の人氣がずいぶん高いようですが、今度は98版でもうすでに大戦略Ⅱが発売される予定とか。なんともX1版の登場が待ちどおしい話ですけど、ここらでちょっと、この大戦略関係のゲームブックの話をしておきましょう。

現在、(株)ビー・エヌ・エヌ (☎03-238-1321) から『大戦略ハンドブック』(1,500円)なるものが発行されていて、そのなかにはイラスト付きの兵器カタログや戦略・戦術のポイント、マップ別攻略法などが詳しく紹介されているんです。この本なんかを読めると、いままで「どうも戦略シミュレーションなんかはとっつきにくくて……」なんて悩まざぎらいのタイプの人なんかは、そのゲームの内容を知ることでもできるし、遊び方(大戦略の)や楽しみ方なんかも感じ取ることができるんじゃないかな。ゲームをまったく知らなくても、読んでいだけでも楽しめるので、一度手に取ってみるのもいいかも。次回は『ローク・ハンドブック』の紹介もできるようにしたいので、もうちょっと早くするようにアスキーさんにガンバってほしいなあ。ではここでいつものように新作紹介をどうぞ。

読者が推薦するゲームソフト

今月の“1986 GAME OF THE YEAR”の発表はいかがだったでしょうか。皆さんが一生懸命にはがきを送ってくれたおかげで、なんとか今年も無事に成功させることができました。

ところで、先月からスタートしたこのコーナーは来年度のGAME OF THE YEARに向けて毎月愛読者カードに書かれている「推薦するパッケージソフト」の集計をとって、その月ごとの人気ソフトを皆さんにお知らせしようというものです。今回の集計に使ったのは、2月号のはがき1000枚の結果で、順位を見ると先月トップだった「ザナドゥ シナリオⅡ」と3位の「三国志」が入れ替わり、「信

今月のベスト10

長の野望 全・国・版」が6位から2位に上昇、また「殺人倶楽部」や「大戦略X1」が顔を出してきたのが注目できそうです。果たして今後の動きはいかに。

- 1 三国志
- 2 信長の野望 全・国・版
- 3 ザナドゥ シナリオⅡ
- 4 レイドック
- 5 ウィザードリィ
- 6 ロマンシア
- 7 グラディウス
- 8 ザナドゥ
- 9 殺人倶楽部
- 10 大戦略X1

新作ソフトウェア情報

☆……3月5日現在発売中 ★……3月発売予定
☆ドラゴンバスター

ビデオゲームやファミコンでもうすでにお馴染みの、あの「ドラゴンバスター」のX1版がついに登場する。ゲームはドラゴンに連れ去られた16歳のセリア姫を救出し、王国の危機を救うためクロービスがひとりでドラゴンを倒すべく旅立つところから始まるが、ファンタジーっぽくてロマンチックなストーリーやキャラクター設定もビデオゲーム版をそのまま再現しているために、十分ゲーマーを引き付ける要素を持っているといえよう。なお、この「ドラゴンバスター」が現在X68000に移植中という情報もあり、これから大いに期待したい。

X1/X1 turbo用

価格未定

電波新聞社

☎03(445)6111

★デーモンクリスタル

ドラゴンバスターに引き続き、またまたお馴染みの「デーモンクリスタル」が今度はFM音源対応のMZ-2500版での登場だ。ゲームはAVGというかRPGと呼ぶのか、はたまたパズルゲームともいえるいつものお城のなかの迷路をさまようアレなのだが、誰でも簡単に遊べるあの雰囲気はいつまでも人気を呼ぶに違いない。

MZ-2500用

3.5D版 6,800円

電波新聞社

☎03(445)6111

★森田和郎の将棋8ビット版

今回発売のこのゲームは、これまで将棋ゲームではできなかった対局した棋譜をセーブすることができ、後日、その対局の様子を再現できるほか、新聞、雑誌などに掲載されている詰め将棋を解いてくれるなど、これまでの将棋ソフトとはひと味違った仕上がりになっている。またRS-232Cを用いた通信機能により、パソコン通信での対局ができるのも魅力だ。

X1/X1 turbo用

5D版 7,800円

エニックス

☎03(366)4345

☆獣神ローガス

連合軍に対して抵抗を続ける反乱軍は、獣神ローガスの封印を解いたことにより勢力を盛り返してきた。そこで連合軍は最新型モビルスーツ“ザガード”を投入し、ローガスを倒すための決死の作戦行動に出た。そこで繰り広げられる壮絶な戦闘シーンが見ものの、リアルタイムアクションRPGだ。

X1/X1 turbo用

5D版2枚組 7,800円

ランダムハウス

☎03(483)8666

☆エルスリード

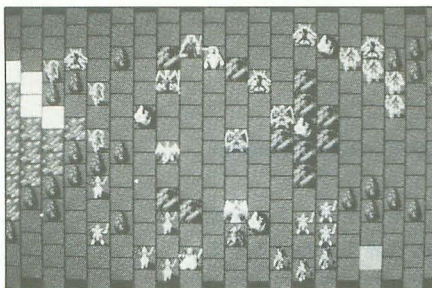
闇の魔導師ボーセルが遺跡に封印されていた闇の魔力を手に入れ、突如、近隣諸国を制圧し始めた。それを聞いた光の魔導師ジークハルトは、兵力を集結し果敢に闘いを挑んでいった。この「エルスリード」は、ファンタジーの世界に繰り広げられるFM音源対応のシミュレーションウォーゲームだ。

X1/X1 turbo用

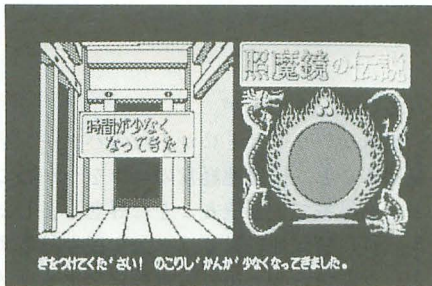
5D版2枚組 7,200円

日本コンピュータシステム

☎03(486)6311



エルスリード



照魔鏡の伝説

☆脱獄

アメリカ西部を舞台にしたAVGだが、なぜか凶悪な殺人犯が留置場に護送されるまでのタイムリミットのなかで、その殺人犯を脱獄させなければならないという、理解に苦しむようなストーリー設定のなかでゲームは展開される。

X1/X1 turbo用

5D版 5,800円

T版 4,000円

バスカルII

☎0534(47)3113

☆ファンタジーII

前作“ジェルノアの章”に引き続き、またもやRPGファンを目いっぱい楽しませてくれそうなのが、このファンタジーII“フェロンラの章”。物語は前回の舞台であったジェルノア島の南にあるフェロンラ島が、突如として厚い雲に覆われてしまい、その謎を解くために再び冒険者たちが溶岩地形の島へ旅立つというもの。前作の興奮がまだ醒めやらぬうちに、続編が登場してくるこのタイミングには拍手を送りたい。

X1 turbo用

5D版3枚組 9,800円

スタークラフト

☎03(988)2988

★アマゾネス

伝説の美女集団“アマゾネス”の女王を求めてアマゾン奥地を探検するRPG。ジャングルでは猛獣やアマゾネスたちが行く手を阻み、戦闘モードに入るとウィンドウが開き、リアルな戦闘シーンを楽しむことができる。

X1/X1 turbo用

5D版2枚組 7,800円

スタークラフト

☎03(988)2988

★マスカレード

古いホテルに響きわたった銃声を発端にし、事件の解決に臨むアメリカからの移植版AVGだ。ストーリーのなかに折り込まれたナンセンスギャグが、謎解きをよりいっそう楽しいものにしてくれる。

X1/X1 turbo用

5D版2枚組 7,800円

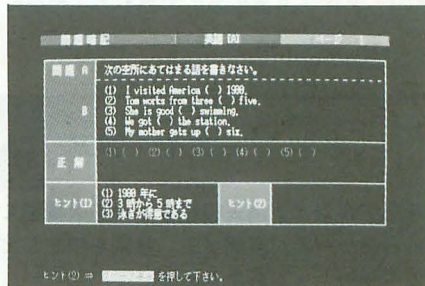
スタークラフト

☎03(988)2988



みなたちは哀れいけ(LEGE)の上にいる。

トランシルバニアII



暗記名人

★照魔鏡の伝説

このゲームはAVGとしては珍しく、14世紀前半の室町時代を舞台に繰り広げられる。羽州・百合郷では魔法の鏡“照魔鏡”によって守られて人々は平和な生活を送っていた。しかしその鏡が羽州征服を企む源慶に奪われたことから事態は一変した。そこで悪政に喘ぐ民衆のために、ひとりの若者が照魔鏡を取り返すべく、慶の屋敷に忍び込むのだが……。

X1/X1 turbo用

5D版3枚組 7,800円

スタークラフト

☎03(988)2988

★トランシルバニアII

エリック王子とサブリナ姫は、再び蘇った吸血鬼から真紅の王冠“クリムゾン・クラウン”を取り戻し、ワラキアの地に平和をもたらすために勇者とともに旅立つAVGゲームだ。

X1/X1 turbo用

5D版2枚組 6,800円

スタークラフト

☎03(988)2988

★トワイライトゾーン

女の子に夕食に誘われたのまでは覚えているけど、気が付いてみると見知らぬ屋敷の寝室のなか。そこから抜け出すために女の子と××しなければならぬというアダルトゲームなのだが、その屋敷に住んでいるおじいちゃん、おばあちゃんに会うとゲームオーバーになってしまうというのが笑われる。

X1/X1 turbo用

5D版 6,800円

MZ-2500用

3.5D版 6,800円

グレイ

☎06(561)2211

★暗記名人

先月のこのコーナーでご紹介した学習用問題作成ソフト「暗記名人」のX1 turbo用が発売された。このソフトは問題作成だけでなく、暗記、練習、テストなどの自主学習にも活用できるので受験生にはお勧めかも。

X1 turbo用

5D版2枚組 6,800円

東ヶ丘学習教室

☎0724(43)5247

いつまで続くか、ROGUEの日

ある日、お隣の編集室がROGUEでいっぱいになっていた。FM-11/16β、新顔のFM Rまで侵略されていた。次の日、編集室にある98がしっかり染まってしまった。

MZの編集室のなかからはMS-DOSマシンを見つけてなんでもROGUEマシンにしよう、"ROGUEの宣教師"と呼ばれる人物まで登場する始末。みんなが寄ってたかって楽しんでいる背景には、どうやら語るよりはやってみるがやすい

のゲーム本来の姿が展開されているかららしい。

もともとこれがUNIXのオマケに付いているというの考えると、これがもっと楽しくなる。X1版が5月に発売されると、どうなっちゃうんだろうね、いまの生活。アッ、なんだこりゃ！

MZ-6500の電源入れたら、いきなりROGUEが立ち上っちゃったよう。それにここのランキンングに名前残ってるのってFMの連中ばっかじゃないか。エエイ、こうなりゃ全部蹴落としてやる。(スペース、スペース……………)

評価グループ

有田隆也 浅野恵造 祝一平 金子俊一 工藤誠 挙市哲司 こうもとやすひこ 古村聡 小森隆 近藤弘幸 斎藤晋 斎藤亮 佐藤友彦 佐藤学 清水和人 白河哲 武沢英明 立花かおる 中川智哉 中野修一 堀内保秀 若原秀幸 山本信 吉田幸一

トランシルバニアⅡ

いままたワラキアの国に脅威が迫る。復活した吸血鬼を倒し、真紅の王冠クリムゾン・クラウンを取り戻すのだ。

▼このゲームは昔からある「動詞+名詞」入力タイプのアドベンチャーゲームである。旅の行程で仲間が2人いて、いろいろアドバースしたりわがままいたりするというアイデアは「買い」だが、このタイプのゲームの運命なのか、どうしてもアタッチしてしまうのである。特に英語入力時の判定は改善の余地がある。ストーリー自体が少々弱く、また内容がわりとひねってあるので、立ち止まること多いゲームになっているが、これをどうとるかは好みの問題だろう(私は一本道のアドベンチャーはど

うも好きになれない)。操作性は悪くはないし、グラフィックも速いので、そういった点でイライラすることは少ないだろう。ただ、常識が通用しないところがいくつかあるので、そこでは作者のインナーワールドとの戦いになるであろう。ストーリー性にこだわる私としては、及第点をあげるまではいかないゲームだった。

熱中度▶▶▶▶▶▶▶▶

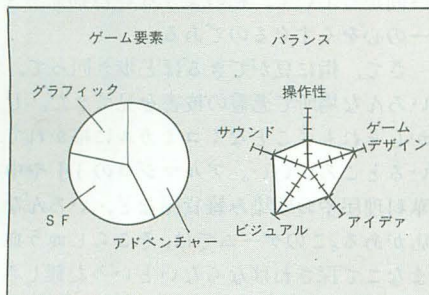
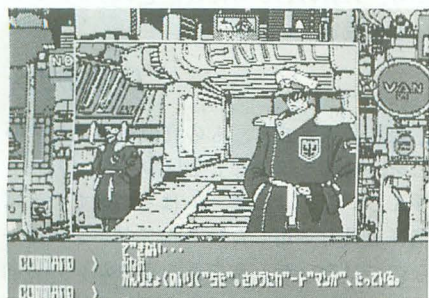
Min

▼いいな、こういう雰囲気のもの。画面見ただけで外国してるものね。それにただなにかを探し出すだけのアドベンチャーじゃなくて、エリック王子とサブリーナ姫との3人での対話形式だし、これはいけるかなと思ってスタートしたわけだけど、いかんせんゲームが外国しちゃうわけだから、正しい単語を見つけ出さなければ会話がなりたない。間違っている会話をふっかけたりすると実にそっけない返事しか返ってこなかったりする。それはそれで先に進んでいくと、今度は納得しがたいトリックに直面したりする。こんなのこれまでに経験したギャグが乱れ飛ぶようなやつだったら平気なんだけど、せっかいい意味でのドヨーンとした雰囲気を持ったこのゲームなんだから、そのムードを生かした設定で向かってきてほしかったんだよね、こっちとしては。おかげで、いま一步のずれをどこかに感じてしまいました。

T.S.

熱中度▶▶▶▶▶▶▶▶

X1/X1turbo用 5D版 2枚組 7,800円
スタークラフト ☎03(988)2988

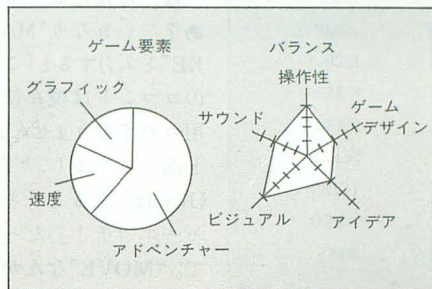


難点だが、そういう人は白黒モードにすればよい。ゲームを進めるにあたってはセオリードおりに、見れるものは見て、聞けることは聞いて、拾えるものは拾う必要がある。行き詰まったらバイエルン管理局長に話を聞くと糸口がつかめるかもしれない。少々盛り上がり欠けるが、手堅くまとまった正統派のアドベンチャーゲームといえるだろう。

熱中度▶▶▶▶▶▶▶▶

M.Y.

X1/X1turbo用 5D版 2枚組 7,800円
データウェスト ☎06(968)1236



やったね、AVGの冒険者たち

Shimizu Kazuto
清水 和人

このコーナー屈指のゲーマーである清水氏が、「アドベンチャーゲーム大好き人間が作ってる」と、ニヤリと笑いながらなぜかのめり込んでしまったらしいこのゲーム。小さなギャグの積み重ねを、さて諸君はどう判断するだろうか。

このアドベンチャーゲームの作者は、なんて変な奴なんだ。ストーリーからジョークまで、まったくとんでもないことを考えたもんだ。落語家でいえば大ネタで唸らせる円楽というより、くすぐりで笑わす円蔵のような奴だ。時代考証を無視した状況設定でお送りする変な変なアドベンチャーゲーム。しかし妙に引かれるのは、作者の異常なセンスのせいだろうか。それともやってる私が異常なせいだろうか。うーむ。

遊んでるっ

さて私は、コーラとポテトチップスというとんでもない夜食を用意してパソコンの前に座った。うーむ今日買ったこの「賢者の遺言」というソフト、マニュアルを読んでもとかなり正当派のアドベンチャーゲームらしい。フロッピーを入れて電源をON! するとわが愛しのFM音源ボードが鳴り響いた。うむ、FM音源対応、まずはひと安心。そしてそこに現れたわかりやすいオープニングストーリーを見て、へーえ、これは意外と重厚そうな展開だなと思いつつ、ポテトチップスを2~3枚バリバリ。

変なコマンド一覧表

CRY
DANCE
HUG
JUMP
KICK
KISS
MAKE
SLEEP
TOUCH
VIDEO
WAKE

最初は慣れないファンクションキーでの入力だが、とりあえず全部押してみるか。

な、なんだこりやあ? いきなり“MAKE”と入力すると「このコマンドは現在使用されておられません」と返ってくるし、“TOUCH”すると「キヤーエッチ!」だって。“MOVE”なんか「カスカニウゴキマ

シタ、なーんちゃって」だって。もう完全にこれまでのアドベンチャーゲームをおちよくってます。いやきつとそういう古きよきアドベンチャーファンの人が作ったに違いない。しかしここまでいろんなジョークを交ぜるとは(しかも低いレベルの)なかなかできません。こいつは楽しい旅になりそうです。

さらに、最初いきなり北へ進むと、ゲームオーバー。ガイ骨になった球少年の絵が……。この絵にはこの先何度もお世話になります。うーん、こういうのって好きよ。しかしリセットを押さずに「もう一度やる」にYESで答えると、作者が「その意気で頑張ってる」だって。うーん遊んでるなあ。いいなあ。

さて、気をとり直して南へ、門のところまで屋根をLOOKしたときの「やーねー」なんてダジャレは気にせず、ぐっと砂漠へと切れ込んで、そこらじゅう掘り返したわけだ。そうするとゲームに関係のない作者の趣味が出るわ出るわ。謎解きよりこっちのが面白い。また、ふつうなら重大なヒントになりそうなものが、ときどきまったく関係なく入ってるからまいっちゃう。この作者はいわゆる「アドベンチャーずれ」した奴なのだ。しかしこちらも多少その気のあるゲーマーだから「うーん、ひと味違う」なんて妙にうなずいちゃったりして前へと進む。

最初のうちは、宇宙船を見つけて丸薬を見つたり(色と数を覚えておくヒントになるよ。紙切れに使い方が書いてあるけどまだ読めない)、3冊しか本のない図書館で司書さんに怒られたり(HUGしてごらん)。しかしながら、意外と早く目的の王様に会えちゃう。そして金色の鍵を渡して、さあ、帰りましょう。と、こうなってしまうともう迷路にはまったも同然。そう安易な道を



とっちゃいけませんや、お客さん。

まあセーブ機能が充実しているの、余裕を持っていろんなことをやってみるのが通ってもんだ。そして桃太郎の犬や猿ではないけれど、子分一号は「人民一号」という箱メカロボットなのだ。彼ははっきりいって、地味な働きはするが大仕事をするタイプではないという、課長止まりのロボットである。なんてったって作家だというんだから、わけのわからん設定というか、いかにも設定というか……。

いろいろだっ

芸人の世界では、もの真似や手品などの芸を、純粋な落語などと区別している物と呼んでいた。このゲームはその道でいえば、飛び道具を多用したる物アドベンチャーなのではないか。もちろんそれがいい方向へ向かっていて、私のようなる物ゲーマーの心をくすぐるのである。

さて、指に豆ができるほど歩き回って、いろんな場所で悪霊の被害を見てきた。しかしそれらもどことなくコミカルに描かれているところがいい。アルマジロのDJや中華料理屋やお馴染み雑貨屋など、いろんな店がある。このゲームでは、そこらじゅう血まなこで探さねばならないといった難しさはあまりない。むしろ軽口のジョークを聞かされながら、気楽にストーリー展開を楽



向こうからブツチャー(?)がのぞいてる

しむといった風情である。アイテムもいろいろ拾えるが、そのうち本当に必要なのはごくわずかなのだ。試しに砂をTakeしてみると取ることができ、持ち物にも加わるのだが使い道はない。

ストーリー展開も、どちらかといえば「なに？ こいつ」といったアブナサがある。それはこの作者の「ゲーマー」としてのいたずらなのか、それとももともと“やや飛んでる”人なのか、よくわからないや。

まとまりのない登場人物

ストーリーが奇妙なうえに、登場人物もそれぞれかけ離れていてまとまりがないよ。ぼおんとに変なのばっか出てくる。

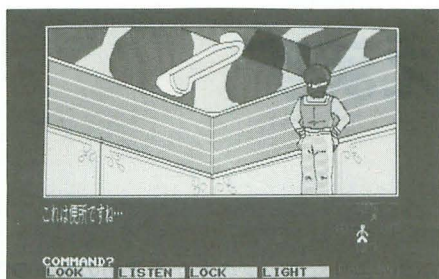
主人公の球少年はまあいいや。なまけものってとこが妙に人間ばいけど、このストーリーではそんなこと関係ない。王様がブルドッグになってたつていうのも、まあいいよ。ほかにもみんな動物に変えられちゃったんだから、話は一貫してる。

そのなかでも、まずわからないのがパンダの番人だ。初対面で竹やり持って怖い顔してるんだけど、普通のアドベンチャーならどう見ても武器で攻撃、エサで手なずけ、または逃げるってえ感じのくせに、なんにもしてこないし、簡単に通れちゃうんだ。パンダと竹という細かいチェックはいいけど、「なあんだ」っていうパターンだ。

次に変なのが、お供になる2人、いや2匹、ほんととは1匹と1メカである。さっき出た人民一号は、球少年が出した本に気をよくした作家でえ設定。もう1匹のドラゴンは、ひょんなことから卵からかえったとき、ちょうどそばにいた球少年を母親だと思いこむ（インプリントされる）って設定。どちらも奇異な奴らで、ときどき画面のなかに登場して、なんか小うるさい感じなのである。人民一号はしゃべることができる相手でまだよいが、ドラゴンはなんともはや……。しかし終盤で重要になるので、しようがないから連れて歩く。

もうひとつアブナイのが少女盗賊団。これはいかつい男の盗賊が姿を変えられてしまったのだが、そう思うと気持ち悪い。まあしかしこいつはムフフのフで、少しは楽しめる。まったく球少年のスケベさにはまいったまいった（本当は自分がスケベ!?!）。

そして、登場人物のまとまりをもっともくずしているのが大男。こいつはかわいいブッチャーといった顔立ちだけ大バカ。



お食事中すいません、悪魔のしわざです



愛のムチを持ったパンダの登場



いわゆるひとつのクライマックス

男女の区別もつかないというか、だまされやすいというか。こいつの前を通るときは、どうも気抜けしてしまった。

ほかにもいろいろいるが、本当にどいつもこいつも、なんの脈絡もなく嬉しそうに出てきやがって。

奇妙な感じでストーリーは進むっ

こんなキャラクターが出るぐらいだから、ストーリーはさらに混迷の一途をたどる。

城のあたりをひとまず見てまわったら、人民飯店にでも行くがいい。ここはホテルで、中のいろいろな場所に行けるが、人民一号がその間じゅうびびっているのがおかしい。でも、ここはムフフの場所なんだよ。セーブして遊んでいこうっと。

おっとその前に、黒く冷たい上海バスの場所にも行ったほうがよい。普通のアドベンチャーなら罠やアイテムがいっぱいありそうだが、ここではひとつしかない。もちろんそれを使うにはあれがいる。

さてこの次は、×××××所に行くんだけど、この辺の設定がどうも歯が浮くんだよね。そして中にいるのは～博士で、×××××ストをくれるんだ。これでいままで×××××なかつたのが全部×××ちゃうので、持ち物をもう一度チェックしてみよう。

その次が「んー、わからん」てとこだけど、本を読むためにあることをするのだ。かわい（強い）司書さんのことを思い出して頑張ろう。そしていよいよ本を読むことができた。うーんその内容もずいぶんクサイようで、笑っちゃう。

笑えるということではこの次のほうが凄（怖い）。なんと×の難関を通るために△△を使うのだ。△△なんて言葉はアドベンチャーでは普通出てこないよ。巨人の星かと思っただけ（△△は根性ではない）。

次の大男の場面はダメすだけ。宇宙語がわかれば大丈夫。その次の対×××××タ

のところは変なコマンドでパスできる。まあファンクションキーを押していけばよい。あとはもう簡単だけど、これだけでもヘンな展開だとおわかりいただけたであろう。

この作者って奴は

このように、作者の性格が表に出てるアドベンチャーは昔からよしとされている。この作品はたぶん「いろんなアドベンチャーで遊んできた」ゲーマーが、ひとつパロってやろうと思ってできたはずである。だから登場人物がバラエティにとんでいて、ストーリーが継ぎはぎだらけなのだ。それを楽しめる奴はやはり「アドベンチャーの猛者」に違いない。

そういえば、ある場所で壁にカーソルが出てくるところがあった。この設定は有名なアドベンチャーの真似であり、パロってるとこが明らかにわかるメッセージが出る。こんな場面がたくさんある一方で、逆にアドベンチャーをやった人は必ずこう思うだろうといった場合なんかでは、簡単に裏切ったりするようにできている。これが楽しめるのは「アドベンチャーの達人」である。

しかしエンディングはあまりハッピーエンドでなく少々やしいが、この作者らしいといえげらしい。それにFM音源（もちろん「愛しの」が付く）の奏でる音楽によって、あたかも映画の回想シーンのように終わるなんてどこまで本気がよくわかんないおちゃめさんだ。いいなあこういうの。

だから僕はアドベンチャーが好きなんだ。

妖精の探し方教えます

Nakamori Akira

中森 彰

FM音源 8 重和音のBGMを聴きながら、おとぎの国のようなマップのなかを太めのキャラクターといっしょに冒険してみると、時間と季節の移り変わりまで楽しめて、なんだかおもしろい深みにはまってしまいそうなアクション・アドベンチャーゲームなのです。

僕は「うっでい・ぼこ」。おじいさんの作った木の人形だったんだ。妖精さんのおかげでせつかく人間になれたと思ったのに、またまた木の体になっちゃった。どうしてなの妖精さん、理由を教えてよ。こうして、僕の妖精さんを探す旅が始まったんだ。これから僕の不思議な旅についてお話ししましょう。

おおかみなんて怖くない (春)

木の人形だったぼこは勇気ある行動が妖精に認められ人間の体にもしてもらいました。ところが、ある日突然また元に戻ってしまいました。ぼこは妖精を訪ねて旅に出ました。

旅に出て、すぐ目の前に現れるのがおおかみさん。ちょこまかちょこまかに行く手を邪魔してくれる。こらこら、あんまりしつこいと「うっでい・ぼこ」でやっつけちゃうぞ。おおかみなんて怖くないもんね。おおかみさんをよけながら、ずうーっと歩いていくと、お家が2軒並んでた。ひとつめの家に入ると、そこにはいかにもオタクな男の子。「僕は男の子は嫌いだっ」ってさ。感じ悪いヤツ。

隣の家には女の子(わーい)。さっき拾った宝石箱をあげたら、いいことを教えてくれたよ。「少し太めのピン」で女の子になれるんだって。ふーん。そして、また歩いていくと……。わーい、お店があったよ。おじいさんにもらったお金が1000ゴールドあるから、いろいろ買っちゃおう。えーと、パンでしょ、靴でしょ、お酒でしょ、おっと、靴も買っておかなきゃね。あつ、これがあの太めのピンというやつかな。おじいさん、これもくださいな。

それでは、ビンに入った薬を飲みます。あら、本当、女の子になっちゃったわ。「ねえ、わたし、き・れ・い?」

またまた歩いていくと、今度は湖。えーい、このまま渡っちゃえ。ブクブクブク……。そして無謀なぼこは溺れて死んでしまいましたとさ。めでたし、めでたし。なんてことにならないように、ちゃんと「ゴム長」をはいてから湖を渡しましょうね。でも、その前に。湖の手前を歩いていると穴があったでしょう。そこを通っていった出口のお家にいるおばあさんの話を聞いておこう。このおばあさん、とっても大事なことを教えてくれるんだから。でもねおばあさん、右はお箸を持つほう、左はお茶碗を持つほうだよ。しっかりしてね。



X1/X1turbo用
5D版 2枚組 6,800円
デービーソフト ☎011(251)7462

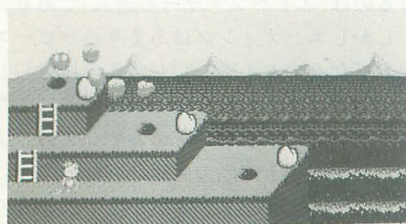
湖を抜け、「帰ってきたウルトラマン」に出てきたツインテールのような姿をした“てーる”さんの攻撃をかわすと森に出たんだ。そこで襲ってきたのが、森の巨人“ろどりげず”。いよいよクライマックスというわけ。こいつは「うっでい・ぼこ」でやっつけられるんだけど、たいしたもの(命の薬A)は手に入らないから、向こうが攻撃してくる一瞬のスキをついて通り過ぎるのもいいと思うよ。その先の太陽の木は、あのおばあさんが教えてくれた「時間の実」で楽勝さ。これにて春ステージはおしまい。やっと妖精さんに会えるよ。

触らぬモアイにたたりなし (夏)

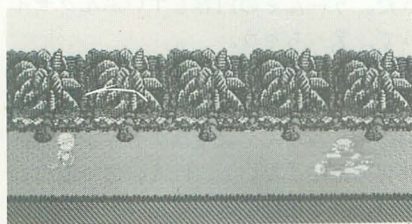
森を抜けて妖精が住む家に来ましたが、そこには妖精はいませんでした。ぼおっとしていると、どこからともなくこおろぎが現れていました。「鏡の国の大王が前から妖精をねらってたよ」

夏はいいなあ。太陽はサンサンとふりそそぎ、心がうきうきしてくるよ。さて、夏といえば南の島、南の島といえば南野陽子じゃなくなってモアイさん。このステージではモアイさんがたくさんいるよ。このモアイさんってとっても強いんだ。でも大丈夫、こっちが手を出さなきゃ襲ってきたりしないから。ほら、昔からよくいうでしょ。「モアイに先手なし」って(冗談ですよ)。

でも、モアイさんが邪魔してるもんだから橋を渡ることができない。どうしよう、どうしようってうろろうろしていたら、またまた地面に穴が。「らっきーっ」とばかりに飛び込んだのはいいけど、これは大変。上



春の陽ざしをうけてゴキゲン



夏の海辺で海賊さんにバツアリ

からツララが降ってくる。えーっ、ツララをよけながら進まなきゃならないのお。ぜいぜい。やっと、出口にたどりついたと思ったら、「かちわりボンズ」さんの岩石攻撃だ。一難去ってまた一難とはまさにこれのこと。なんとか危機を切り抜けてあたりを見ると……、おーっ、ここは島ではないか。ちょっと探検していこうかな。

島を歩いていると、出ました来ました、5つの顔の「どらごん」さん。このうってい・ぼこさまが退治してくれるわっ。僕の武器は愛と勇気と清酒「すすきの」。どらごんさんはお酒に弱かったのだ。春ステージのお店で買ったお酒だけど、飲んでしまわなくてよかったなあ。「えっ、お酒を買わなかったって？」しょうがないね、もう一度やり直してね。どらごんさんをやっつけると「ばらっぱ」というラッパが手に入ったよ。このラッパは強力な武器みたい。あのかちわりボンズなんてへっちゃらさ。

さて、島のお店では珍しいものを売っている。特に「あんぜんだいいちへるめっと」、これさえあれば地下のツララも怖くない。でもね、お金がないの、ぐっすん、また、あの地下を命からがら通るのかと思うと涙が出ちゃう(でも男の子だから泣かないの)。いや、待てよ。この島にはカジノ(?)があったっけ。このカジノ、なぜか手ぶらで入らないとスロットマシンが壊れていて使えない。最初、このことがわからずにとまどってしまったけど、お金はいっぱい儲かった。これで「へるめっと」も買えたし、「塩袋」も買えたし、「剣ちゃん」も買えた。よかったね。島の冒険はこれでおしまい。

島で手にいれた「ばらっぱ」を吹きながら、僕はモアイさんを蹴散らし、どんどんどんどん進んでいったんだ。すると今度は海賊さんの登場だ。えーい、またまたお酒で攻撃だ。へっへっへ、海賊を倒すと鍵が手に入ったよ。なんでも、この鍵、「らっきー」っていうんだって。なにかいいことでも起こるのかな。

ところで、またまた行き止まり。例によって秘密の穴を探さなきゃ。やっぱり、あったよ。モアイさんが立っていた丘の上に穴があったんだ。その穴から出ると、「おお

っわし」さんが僕を目がけて降りてきた。やられると思ったけれど、僕を別の場所まで運んでくれたんだ。きつと、さっき小鳥さんを助けてあげたお礼をしてくれたんだね。いいことはしておくもんだ。情けは人のためならずってことだね(おっ、思わず教養が)。えっ、小鳥さんを殺してしまったの。ひどい人。でも心配なく。別のところで見つかる穴を通していけば同じ場所に行けるんだ。でも門があって、「らっきー」を使わないと先に進めないけど。いずれにしても、夏ステージはこれでおしまい。

モグラたたきじゃありません(秋)

鏡の国の大王が住む城はまだ遠くに離れています。妖精の住んでいたところとは違い、このあたりの草や木はすっかり枯れ果てて街にはほとんど人の気配がなく変な生き物がうごめいていました。

うわあ、このあたりは穴ぼこだらけだ。ここから入るとあっちに出て、あっちに入るとこっちに出る。まるでモグラたたきのモグラさんになった気分。なんてゆーちやうなことって暇はない。恐竜に似た「きつね」さん、「なめくじ」さんがうろろしているんだから、穴のつながり方をよく覚えてなきゃ、穴から出たときにはいおしまい、なんてことになっちゃう。でも待てよ、どうしてこんなに逃げまわらなきゃならないんだ。そうだ、やっつけてしまえばいい。やつらの弱点はお見通しさ。きつねさんには「剣ちゃん」で、なめくじさんにはもちろん「塩袋」だね。

ところで、このステージはいきなり行き

止まり。で、ここでも秘密の穴を探さわけ。でもここまで来たみんななら、どこに穴が隠れているかわかるよね。ずうーっとなら右に歩いていくと氷の湖があったよ。ここではツルツルと足がすべって、「赤いブーツ」をはいていないととともに歩けない。えっ、はいてないほうがスケートやってみないで、おもしろいって。まあ、そうかもね。

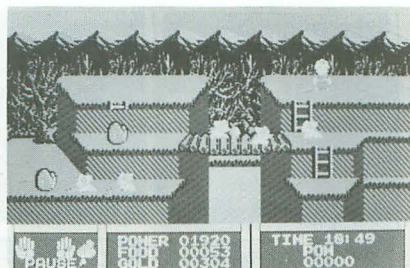
氷の湖で出会う巨人さん。この人はただつつ立ってるだけ。な一んにも攻撃してこない。でも「さよならー」って通りすぎたあなは損をしているよ。だって、氷の巨人をやっつけると、しばらくの間無敵になれる「三角バック」が手に入るんだもの。

このステージ最後の難関はカメレオさん。しっぽをぶらぶらさせながら眠っているんだけど、このしっぽに触れると危険があげない。うまくタイミングをとって、その先にある門までつつ走ろう。ここを抜ければこの秋ステージもおしまいさ。えっ、鍵をさっきのステージで使ってしまったって。でも、ご心配なく。ずうーっとなら左に戻ってみよう。来たときとは景色が変わっていて、そこで鍵を拾うことができるんだ。あの、スロットマシンもあるよ。

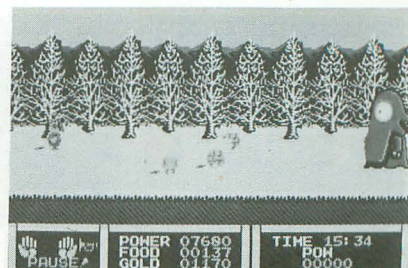
出てこい地下迷路(冬)

魔王の住む城が少し見え始め、吹きつける風は冷たく地面はすっかり凍りついてしまいました。昔は緑で一杯だったこのあたりも今では魔法ですっかり凍らされていたのです。

とうとう寒い冬がやってきた。あたり一面雪景色でロマンチックだなあ。敵は夏ステージでおなじみのかちわりボンズさん。



紅葉シーズンはあたりが真っ白



雪上の決闘……でもなんか笑っちゃうね

「ばらっぱ」でやつつけながら歩いて行くと、またまた行き止まり。向こう岸が見えているから、ここでも穴を探せばいいんだ。らくちんらくちん。と思ったけれど、どこにも穴はなかったんだ。お疲れさま。残念でした。

実はね、穴は雪だるまのそばにあったんだ。でも、この地下道はとても入り組んでいて、ちょっとやさっとでは抜けられないんだ。順調にここまでやって来たのに、ついに行き詰まっちゃったよ。近くに住んでいる女の子は「水晶」が欲しいとねだる(このステージのどこにも水晶はないそう)なだけだし、男嫌いの男の子はなんにも教えてくれないし、おじいさんはいつでもダジャレばかり。しかたないので春ステージからやり直して、「女の子になる薬」を持ってきた。これであの男の子もなにか教えてくれるだろう。

案の定、男の子は大事なことを教えてくれた。つまり、「地下はおじいさんでなければ抜けられない」ということと、「金塊をよく見ると道がわかる」ということさ。そういえば、おじいさんがいていた意味不明の言葉で「ごみによい」ってのがあったわけ。地下の金塊の置き方は矢印の形をしていたぞ。なーんだ。右から始めて「ご・み・に・よ・い」、これでよかったのか。というわけで、無事地下を抜けた僕が見たものは……。熱い吐息を吹きつけて行く手をはばむ「せんぼーウナージ」さんだった。なんというおぞましい攻撃。鳥肌が立っちゃうよお。「ガスマスク」を付け、がんばって通り抜けようね。そうすれば、ほら、このステージもおしまいだよ。

さあ、いよいよぼこの冒険も佳境に入ったみたい。

魔王じるびの像を見た (遊園地)

城へ向かっていたぼこの前に現れたのは、中で遊んでいると「ろば」にされてしまう恐ろしい遊園地でした。ぼこは「ろば」にされないように遊園地の外を歩きました。

遊園地はたいしたことないよ。名物の「うばるばつ」を見たら、穴を見つけて地下にもぐっちゃおう。穴はどこかって？ ほら、遊園地に魔王の像があるでしょ。あのそばに……。

地下で出会うのが金色玉男(まっ、お下劣な名前)。金色をしたボールのばけものさ。あんまり怖くないけど、やつつけずに通りすぎると大変なの。だって、大事な鍵が手に入るんですもの。

危険なお部屋がいっぱい (お城)

遊園地の中は魔王が作った秘密の工場でした。魔王の城は秘密工場と地下でつながっていたのです。ぼこはやっと魔王の住む城に来ることができたのです。

お城のなかには部屋がいっぱい。遊園地のお店で買った鍵を使って部屋から部屋を探しまわったよ。妖精さーん、どこの。いろいろと邪魔をするたこさんやナイトさんをおかしな部屋に僕は上へ上へと登って行った。このとき、「水晶」を身に付けておくととっても便利だよ。お城の2階には気球があった。でも、ひとりで逃げようなんて思ったらだめ。このゲームの目的は何だった

か思い出してね。

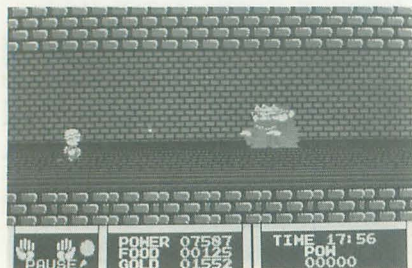
さーて、3階には待ちに待った魔王の部屋がある。でも、ここは普通の鍵で開けることはできないよ。ほら、さっき手に入れたあの鍵を使うのさ。さあ、これが最後の戦いなんだ。ぼくは「うってい・ぽこ」を握りしめた。がんばってくださいネ。そうしてくれる人はいないけど、がんばらなくっちゃ。もうあとには引けないのだ。

魔王を倒すと、また別の鍵が手に入ったよ。この鍵こそ、妖精さんが閉じ込められている部屋の鍵に違いない。僕はわくわくしながら4階へと上がったんだ。途中、変な顔の形をした置き物が光線(?)を出してとおせんぼしていたけど、「ばらっぱ」があるからへっちゃらだったよ。

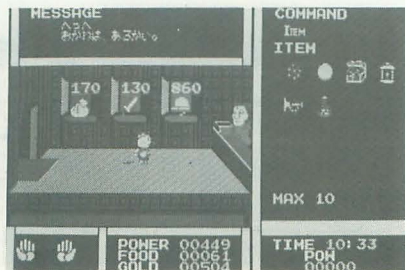
そして、いま僕の目の前にドアがある。この部屋の向こうには、きっと妖精さんがいるはずさ。ながーい旅もやっと終わりを迎えようとしている。

ついに迎えたエンディング

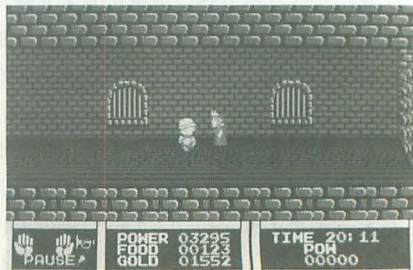
というわけで長かった「うってい・ぽこ」の旅は終わります。それとともに、僕の夜ふかし続きの生活も終わりです。睡眠時間を削ってまでやり続けた、このうってい・ぽこ。初めて見たとき、ゲーム中の朝、昼、晩、夜の時間の表現、春夏秋冬の季節感の表現がすごいと思った。また、ノリのいいBGMを聞いてさすがと思った(FM音源で聞けば大感激)。思えば、そのときから僕はこのゲームのとりこになってしまっていたのです。そしていま、このゲームを解き終えた僕にあるのはなんともいえない充実感です。ああ、きっと今夜はいい夢を見ることができるでしょう。それでは、皆さんのぽこが無事妖精に会えることを祈って。



お城のなかにはいるんだ必ずこういうやつが



さあて、なにをかうかな



ワイ、会いたかったよ妖精さん

将軍の前にまず侍だ

Sato Manabu
佐藤 学

X1/X1turbo用ワープロソフト「即戦力」がさらに強力な「Shogun (将軍)」にパワーアップしようとしているいま、先月、廉価版の「SamuRai (侍)」が発売されたので、従来の即戦力の機能紹介をかねて、もう一度今回ご紹介することにしよう。

X1シリーズ用のワープロソフトとして広く利用されている「即戦力」が、今回X1turbo専用の「Shogun」へのバージョンアップを控えて、従来の製品の廉価版である「SamuRai」(19,800円)がリリースされたのでレポートしてみたいと思います。2月に新製品としてこの「SamuRai」は発売されたわけですが、機能的にはまったく従来のものと同じになっていますが、元祖「即戦力」のレポートもすでに一年以上前になってしまったことですので、元祖と交えながら簡単に紹介してみることにしましょう。

文例集がなくなった

さて、この即戦力「SamuRai」。名前が示すとおりに、初めて使った人でもすぐに戦力として使いこなすことを目的に開発されているワープロソフトです。

パッケージを開けるとシステムディスク2枚(予備ディスク1枚含む)、辞書ディスク、文書ディスクの計4枚が入っています。そして、マニュアルとして15ページの「15分間マニュアル」、130ページの「取り扱い説明書」が入っています。

マニュアルの冒頭に、「初めてご自身で使われるとき、社員やパートの方に文章作成を依頼される時、15分間時間をください。別冊『15分間マニュアル』をお読みいただければ、ワープロに初めて触るという方でも平均15分で実用的に使えるようになります」と書かれているとおり、基本的なことは『15分間マニュアル』を読めばわかるようになっていて、実際に初めての人でも15分とはいかないまでも、30分から1時間あれば通常の操作はなんとかわかるようになっています。

ただこうして改めて使ってみると、前回の即戦力に比べて、ひとつだけ不満が出てきました。それは元祖「即戦力」に付いていた50種の文例集が付いていないのです。

「即戦力」がその名のとおり即戦力であった理由のひとつは、この文例集にあったといっても過言ではなかったと思います。やはりカットせずに、必ず付属しておいてほしかったものではないかと思われます。

広告に載っていないスペック表

ここで、ざっとカタログスペックを挙げてお

きましょう。広告なんかを見ていると本命の「Shogun」がメインになっちゃって、こっちのほうはすみっこに名前だけといった感じがすからね。

入力方式はかな、ローマ字、JISコードのどれでもOK! 文字の大きさは全角、倍角(全部の文字)、半角(英数字、カタカナ)、1/4角(英数字)が使用できます。1文書の最大文字数16000文字、1ディスクの最大文字数15万字、1ディスク(2D)の最大文書数60文書となっています。辞書はというと、登録済み4万語+ユーザー辞書8000語。短文は120文字までのものが16個登録できるようになっています。

変換はひらがな→漢字、ひらがな→カタカナ、そして再変換もできるし、重変換もできます。重変換というのは複合語変換の際に使うもので、たとえば「東京工業大学」を変換する際に変換、重変換(turboでは[SHIFT]+[XFER], X1では[SHIFT]+[SPACE])、重変換とキーを押すことによって「東京」、「工業」、「大学」と決定していくわけです。

罫線も引けるし(ただし罫線保護はしない)、当然禁則もできます。網掛けやセンタリング、左右に寄せることも可能です。

印刷はというと、横にも縦にも印字できるし、用紙サイズ(A4、B5、B4縦、B4横、15×11インチ、8×10インチ)と1ページあたりの行数、1行あたりの文字数(最大82文字)、文字間隔、袋とじなども設定することができます。

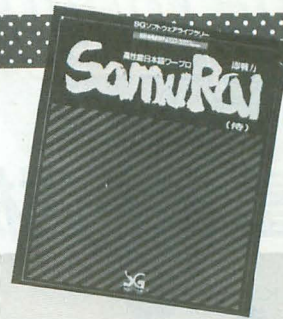
また、タックシール印刷などに便利な宛名書きや、同じ内容の文書をたくさんの人に出すための差し込み印刷ができます。

即戦力でお馴染みのメニュー選択画面

【第1】あなたの仕事を…1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

1. 新しい文書を作成する
2. 文書を修正する
3. 他の文書をベースに新しい文書を作成する
4. 文書を印刷する
5. 文書の書式を決める
6. ユーザーリッチ
7. 忙しなくなったので終わりたい

(数字キーで選んでリターンキー)
ここで文書ディスクの交換が可能です



X1/X1turbo用
5D版3枚組 19,800円
サムシンググッド ☎03(232)0801

対応プリンタは、シャープ系を中心に31種類をサポートしています。漢字プリンタでなくても大丈夫です。ここで少し気になるのですが、元祖「即戦力」のときよりシャープ系のプリンタのサポートは増えているのに、他社製のプリンタ(NEC, EPSON)の対応が増えておらず、スター社のものに至ってはまったくサポートされていないのは、欲張りなユーザーとしては不満の残るところです。

使い慣れた道具はやはりいい!

さて、実際に使用してみたの感触ですが実用的にはそれほど不満を覚えません。基本的な熟語変換機能のみで、いま流行の自動変換のような目新しさはありませんが、そんなものはなければいけないで扱っている人間のほうがうまく吸収してしまうのです。逆に自動変換の起こすいらないストレスが生じない分だけいいのかもしれない。

この「SamuRai」は、もちろんX1でもX1turboでも使えます。X1が200ラインで若干スピードが遅くなり、キーの使い方が多少異なる以外に違いはありませんので、X1ユーザーの皆さんも安心して使ってください。

このように原稿など書く場合においても、特に格別の機能というのはそれほど必要としないものなのです(原稿というのは左右の幅さえ決められれば、倍角などはあまり必要ないのです)。ここで必要となるのは、本当に使いやすいと感じられる操作性だけで、ただ単に新しい機能がたくさんあればいいというものではないのです。

この「SamuRai」を、まったくの新製品のワープロソフトとして全体的に眺めてみると、非常にコストパフォーマンスのよかったソフトと確実にいえるはずですが、いまワープロを必要としている方にとって、X1とこのソフトの機能さえ手に入れば、巷の値崩れしたハンディワープロの購入を考えることより、ずっと経済的で、しかも賢い消費者になれるのではないのでしょうか。

来月は、X1turboユーザーの皆さんのために、「Shogun」のレポートを行いたいと思います。

「即戦力」よりさらにパワーアップするといわれる「Shogun」がどんな高機能を見せてくれるか、ぜひお楽しみに。

豊富な通信機能がさらに強化

Yoshida Kohichi
吉田 幸一

グラフィックエディタや通信機能の付いた多機能ワープロソフト「スーパー春望Ⅱ」が、X1 turboシリーズ、MZ-2500シリーズ用として同時発売されたので、その基本仕様と実際に使ってみての試用レポートをお届けする。

さて、8ビットパソコン界の4大ワープロといえば「即戦力」、「JET」、「ユーカラK2」、そして「SUPER春望」である。そのなかでいまいちばん売れているらしいのが後発のSUPER春望。これはPC-88ユーザーにうけているせいらしいが、8ビット用ワープロ初の自動変換、通信機能、グラフィックエディタ、カード型データベースなどカタログスペックがいいせいなのかもしれない。今回は「SUPER春望Ⅱ」のX1、MZ-2500版が新発売されたのを機に、そのあたりをⅡになってバージョンアップした点とともに追求してみたい（うわっ、どうしよう。どこぞの真面目なパソコン誌みたいな固い文章になってしまった）。

初代SUPER春望については、1986年10月号に立花かおる氏がレビューしているので、そちらと重なる部分については触れないので前もってご了承を。

例によって「SUPER春望Ⅱ」にも「プライマリーⅡ」とか「ネットワークⅡ」とか用途別にパッケージが5種類ほど用意されている。X1 turbo用は5つともあるが、2500には「ビジネスⅡ」と「クリエイティブⅡ」の2つだけである。最上位バージョンはX modemプロトコルをサポートし、クローズドユーザーズ通信が可能な「ネットワークⅡ」だが、一般ユーザーにとっては「クリエイティブⅡ」で十分だと思う。今回使用したのもそのMZ-2500版である。

クリエイティブⅡはワープロのほかに、グラフィックエディタ、ターミナル、カード型データベースなどが付いていてなんとディスク2枚組（X1 turbo用2D版は3枚組）の34,800円である。2枚組とはいっても、1枚はサンプルの詰まった文書ディスクであることを考えると、いくら2DDでも恐ろしいことである。

まずはワープロ

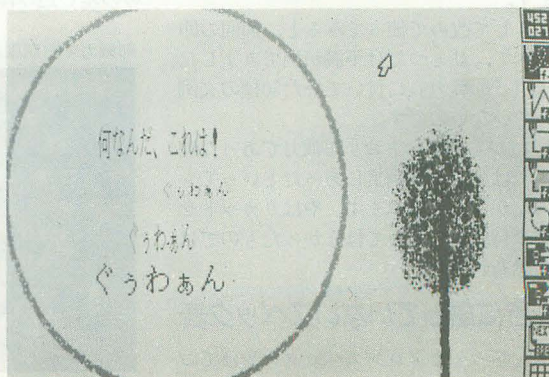
このSUPER春望Ⅱは統合化ソフトのようでも実際はワープロであるから、立ち上

げるといきなり編集画面となる。スクリーン最下段のファンクション表示は5つとなっている。MZ-2500の場合は10個のファンクションキー（シフトキーとの併用で20個）を持っていたのに。F6からF10はどうしたかというところ、F9とF10のロールアップ/ダウンキー以外は宝の持ち腐れである。

豊富な機能は5つのファンクションモードで使い分けるのだが、F5は常に「次項」なのだから、必要なファンクションキーは4×5の20個だ。これはちょうどMZ-2500のファンクションキーの数と同じではないか。だったら、わざわざファンクションモードを5つも設けなくても済むのである。ロールアップ/ダウンはシフト+カーソルにでも割り当てればいいのか。一応、アルゴキーや変換、無変換キーも使えるが、リターンキー主体の変換操作のために使わなかったからといって操作に支障はない。はつきりいって不満である。

また、機能がたくさんありすぎてどこになにがあるのかも捜しにくい。1行挿入や削除、挿入モードへの切り換えなど、コントロールキーを使わないと働かないものもある。嬉しいのはCOPYキーで複写ができることくらい。表計算まで用意してあるほどの機能の異常な複雑さも慣れれば気にならない。かえって、辞書や特殊機能を含めてどうしてディスク1枚で済むのかが謎である。

グラフィックエディタを使えばこのようなこともできるが、いまひとつ操作性が……



X1/X1turbo用
MZ-2500用
デービーソフト ☎011(251)7462

問題の辞書であるが、多少改善されたようだ。とはいえまだまだ不満は残る。ただ、文字入力時にかのままで残した文字の再変換はカーソルで上をなぞるだけで未確定文字になるという簡単さなので、まずひらがなでダダダーと打ってから必要なものだけ漢字に直すという方法がとれるのはありがたい。

ところで、1文書（1ページ）の最大4800文字というのは、Oh! MZの場合だと図の入っていない2ページ分である。ちょっと長い原稿だと足りない。しかし、何ページにも分けられなくてもOKである。欠点はページ間の編集が面倒なこと。1つひとつのページが別ファイルとして扱われるからだ。

とはいえ、社内文書などの簡単な文書作成には適しているといえよう。

不満の残るグラフィック

ファンクションモード4で特殊機能を選ぶと、そのなかに作画機能があり、それがグラフィックエディタである。歯に衣を着せずにいわせていただければ、ほめ言葉が見つからない。速度は仕方ないにしても、マウスの操作性の悪さはなんとかしてほしかった。MZ-2500用はX1 turbo用と違いカラーイメージボードのような外部入力機器がないのだから、マウスが使いにくければどうしようもない。しかも、グラフィックデ

ータをセーブするときには当然ファイル名が必要なのだが、キーボードからは直接打てず、なんとカーソルを動かして表から必要な字を選んで付けるのだ。漢字にいたってはJISコードで入力しなければならない。簡単なファイル名を付けておいて、ワープロモードの文書名変更で付け換えるしか手はないのである。こんな対症療法は言語道断頭蓋骨切断である。

カーソルのデザインもダサいし、ペイントもしづらい。かえって、マウスなど使わずにテンキーのほうがイライラせずにすむ。統合化ソフトとしての面目躍如は文書ファイルをグラフィック画面に読み込めることだけである。200ラインなので縦長の文字になるが、一応あとからその部分だけ縦半分に縮小することもできる。

傑作なのがエディタ終了時である。呼び出したメニューに戻るかと思いきや、IPLが起動したのである。あきれて笑う気にもなれない。しかも、システムはプロテクトがかかっているからコピーできないのだが、辞書バックアップという名目で、起動後に必要な部分だけコピーが取れるようになってから通常ドライブ1にはコピーが入っている。そのために当然、エディタからワープロに戻るにはディスクを入れ換えねばならない。

結局このグラフィックエディタは、年賀状などに使うしかなさそうである。そう考えると、モノクロモードオンリーにして操作性とスピードアップを図ったほうがよかったのではないかという気すらしてくる。単独のグラフィックエディタとして見ると少々情けない。もともとワープロソフトのおまけにグラフィックエディタが付いてくるのだと思えば諦めもつくのだが。

必殺、スーパーターミナル

SUPER春望IIの売りもののひとつが、パワーアップした通信機能スーパーターミナルである。オートログインファイルの機能がかなり豊富になったのだ。

たとえば、明け方のすいている時間に勝手にログインしてメールをチェックしてダウンロードしてくれたり、話し中だとながらまでリダイヤルしたりという技が使えるので、込んでいるBBSによくアクセスする人にとっては強い味方となるに違いない。

しかし、ファイル作成が少々面倒なことで、うまく作動するプログラムができるまで編集画面と通信機能をファイルのセーブ、ロードを繰り返しながらいったりきたりしなければならないのが欠点である。

図1 TeleStar用オートログインファイル

```
LOGIN
P:N81XNCC
K:SHIFTJIS
S:CD03-320-4271
S:CE
R: ID CODE ->
S:TS31XX
R: PASSWORD ->
S:XXXXXXXX
R:### Disconnected.
LOGOUT
```

また、ログインファイルを作らずに通信をするのはいちいちプロトコルの設定をしなければならないのでうとうしい。いくつものネットワークに入っている人はその数だけファイルを作るか(特にオートダイヤルのモデムを使っている人)、プロトコルだけ設定したファイルを作っておいて自分の手でダイヤルするかしなければならない。

試しにモデムホンMZ-1X19を使ってテレスターにアクセスし、ログアウトしたら電話を切るファイルを作ってみた(図1)。

このファイルを作るために4回もアクセスしてしまっただが、IDやパスワードを打ち込む手間もかからないのは便利である。

使えるコマンドは、指定した時間まで待つものやIF文など21個。当然、文書ファイルのアップロードやダウンロードファイルの編集などもできるので、ネットワーク者にとっては嬉しい機能だろう。ただし、致命的な欠点もある。文書ファイルからBASIC(またはCP/M)ファイルへのコンバート機能が無いのだ。PDSを活用する人にとっては大問題である。

また、ログインファイルを使わずにアクセスするときに気になったのだが、プロトコルの設定はいちいちファンクションキーを何度も押さなければならない。このソフト全般にいえることだが、いささかファンクションキーに頼りすぎているところがあるのではないかと。ついつい感覚的にリターンキーを押したあとで、F5キーの設定を押さなければ次に進まないことを知るという場面が多々あった。

ユーザーカードという名の簡易DB

カード型データベースも付いている。項目数20まで扱うことができ、検索機能やカードのソート機能も当然付いてくる。

検索条件には写真のような書籍管理の場合、ハヤカワ文庫でなおかつ価格が500円以下のものといった複合条件検索も可能である。

しかし、なんといっても文書領域に必要なカードの特定の項目だけ呼び出したり、指定したフォーマットで検索条件にあった



複合条件検索も可能な簡易DB

データだけを印刷できる(差し込み印刷)ことが最大の魅力ではなかろうか。個人で使う分にはあまり利用価値がなくても、ビジネスなどでは同じ内容で部分的に違う(たとえば相手先の名前)ものをたくさん印字したかったり、封書を大量に出すときのタックシール印刷など用途に事欠かない。

データベース単独で見るといまひとつだが、ワープロとの共存を考えればまあまあということにしよう。

結論として

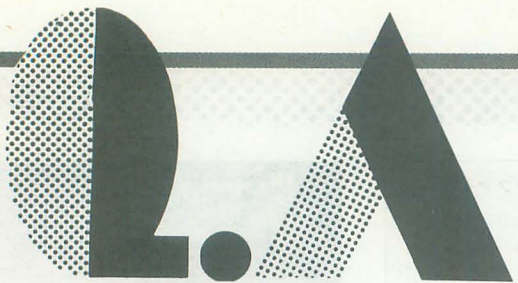
X1 turbo, MZ-2500ユーザーにとっては、いまのところ唯一の統合化ワープロ(X1 turboにはデータベースと表計算の付いたShogunが発売予定ではあるが)なので、ひとつひとつの機能には欠点があっても、トータルで見るとかなり魅力的である。なんにでも手を出したがって、多機能好きな日本人向けのソフトといえそう。これだけの機能をたった2枚のディスクに(MZ-2500用)収めたことは評価に値するが、多少ディスクの入れ換えを必要としても、各機能を充実してほしかったと思わざるを得ない。特にMZ-2500は、RAMもVRAMも大きいので、その気になればかなりのものができたはずである。X1 turboだって640×400のフルグラフィックマシンなのだから、もう少しましなグラフィック機能が可能はずだ。

細かいところで気になったのは、複雑で豊富な機能(特に変換関係だが)に、対症療法的なものが多かったこと。使いにくさは原因療法でしか治らない。もっとシンプルな操作を実現してほしかった。

これだけの機能があるからには、売れるのもわからないではないが、終始使いやすさ優先の雰囲気を感じられなかったことが哀しい。

スーパー春望IIシリーズ価格表

	X1turbo(2D/2HD)	MZ-2500(2DD)
プライマリーII	17,800円	—
ビジネスII	27,800円	27,800円
クリエイティブII	34,800円	34,800円
ネットワークII	44,800円	—
ネットワークJr.II	19,800円	—



Oh!MZ 質問箱

Q

BASICで家計簿プログラムを組んでおります。ディスクから入出力を行い、ランダムファイルで処理したいと思います。項目数が多いので30個ほどのフィールドに区切って処理することになりそうです。ところがこうするとFIELD文の長さが1行の制限である255文字を越えてしまうのです。こんなときにはどうすればいいのでしょうか。

熊本県 石部 みき代

A

ランダムファイルを扱うときにはまずレコードと呼ばれる領域を用意し、さらにこのレコードの中をいくつかに分割して変数に割り当てて使うことになります。このレコードの中を分割して変数に割り当てるのがFIELD文の役割です。

リスト1は簡単な家計簿プログラムです。サンプル程度に作ったものですからランダムファイルへの入出力ができていませんが、これから家計簿を作ろうとしている方には参考になるでしょう。

170, 360行が問題のFIELD文です。このようにASの左に割り当てるフィールドの大きさ、右にそのフィールドにつける名前というぐあいに宣言します。この場合5つのフィールドを宣言しているだけで、すでに2行にまたがってしまっています。30ものフィールドを宣言しようとした場合255文字以内におさえられないというのがよくわかります。

リスト2はこのFIELD文を2行に分けて記述する方法です。FIELD文はフィールドに名前をつけるだけで、実際にデータをセットするのはLSET, RSETで行います。つまり宣言するぶんにはいくら宣言してもかまわないのです。

この性質を利用しFIELD文をうまくだ

ましてやります。ミソはリスト2の175行です。170行では「食費」に7バイト、「光熱費」に6バイト、「被服費」に7バイトを割り当てていますね。そこで175行の最初に注目してください。7+6+7で合計20バイトの大きさのフィールドをダミーとしてあらためて宣言しています。これで1~20バイトには170行で付けた名前に加えて、DUMMY\$という名前が付いたことになります。それに続けて残る「電話代」と「備考」を割り付けると「電話代」は21バイト目から、

「備考」は27バイト目から割り付けられますね。つまりリスト1の170行で宣言したときと同じ位置に「電話代」と「備考」が割り付けられたわけです。

この手法を用いて、それまでにFIELD文で宣言したバイト数の合計をDUMMY\$で宣言してやれば、FIELD文を数行に分けて書くことができるようになります。たとえば「備考」のあとに「赤字」というフィールドを付けたいければ、「176 FIELD #1, 56 AS DUMMY\$, 1 AS AKAJI\$」と

リスト2 FIELD文の分割法

```
170 FIELD #1,7 AS SHOKUHI$,6 AS KONETSUHI$,7 AS HIFUKUHI$
175 FIELD #1,20 AS DUMMY$,6 AS TELDAI$,30 AS BIKO$
360 FIELD #1,7 AS SHOKUHI$,6 AS KONETSUHI$,7 AS HIFUKUHI$
365 FIELD #1,20 AS DUMMY$,6 AS TELDAI$,30 AS BIKO$
```

リスト1 家計簿

```
100 PRINT:PRINT "1) データ ニュウリョク 2) データ エツラン 3) END : ";
110 SEL$=INPUT$(1)
120 IF SEL$="2" THEN 350
130 IF SEL$="3" THEN END
140 IF SEL$<>"1" THEN 110
150 '-----< ニュウリョク
160 OPEN "R",#1,"S62-03"
170 FIELD #1,7 AS SHOKUHI$,6 AS KONETSUHI$,7 AS HIFUKUHI$,6 AS
TELDAI$,30 AS BIKO$
180 PRINT
190 INPUT "キョウノ ヒツケ ハ : ",DY
200 INPUT "シヨク ヒ : ",S$
210 INPUT "コウネツ ヒ : ",K$
220 INPUT "ヒツク ヒ : ",H$
230 INPUT "デンワタ イ : ",D$
240 INPUT "ヒコウ : ",B$
250 LSET SHOKUHI$=S$:LSET KONETSUHI$=K$:LSET HIFUKUHI$=H$
260 LSET TELDAI$=D$:LSET BIKO$=B$
270 PUT #1,DY
280 PRINT "シュウリョウ シマスカ (Y or N) : ";
290 ANS$=INPUT$(1)
300 IF ANS$="N" THEN 180
310 IF ANS$<>"Y" THEN 290
320 CLOSE:PRINT
330 GOTO 100
340 '-----< シュウ リョク
350 OPEN "R",#1,"S62-03"
360 FIELD #1,7 AS SHOKUHI$,6 AS KONETSUHI$,7 AS HIFUKUHI$,6 AS
TELDAI$,30 AS BIKO$
370 PRINT
380 INPUT "ナンニチノ データ ラ ミマスカ : ",DY
390 GET #1,DY
400 PRINT "シヨク ヒ : ";SHOKUHI$
410 PRINT "コウネツ ヒ : ";KONETSUHI$
420 PRINT "ヒツク ヒ : ";HIFUKUHI$
430 PRINT "デンワタ イ : ";TELDAI$
440 PRINT "ヒコウ : ";BIKO$
450 PRINT "シュウリョウ シマスカ (Y or N) : ";
460 ANS$=INPUT$(1)
470 IF ANS$="N" THEN 370
480 IF ANS$<>"Y" THEN 460
490 CLOSE:PRINT
500 GOTO 100
```


でもしてやればいわけです。

当然のことですが、DUMMY\$にLSET, RSETを行うとデータを壊してしまいます。注意してください。

Q CZ-800C を使ってレイトレーシングをやっているのですが、G-RAMのカセットテープへのセーブ、ロードの具体的プログラムを教えてください。BASIC でやってあまりにも遅かったの、できればマシン語がいいのですが。 静岡県 溝田 史朗

A BASIC でどのようなプログラムをお作りになったのかはわかりませんが、もし PEEK @ 命令を使ってG-RAMを読み出しそれをシーケンシャルファイルとしてテープに記録なさったのなら、きっと10分以上かかったことでしょう。

もう少し賢い方法が1986年9月号の Oh! MZ 質問箱に載っています。もう一度ここで解説すると、「OPTION SCREEN 2」を実行し、G-RAMをMEM:とします。そしてDEVIS\$とMEM\$で1プレーンごとにメモリへ転送し、それをマシン語ファイルとしてセーブしてやるのです。

ただしG-RAM3プレーンで48K/バイトあります。これはHuBASICより大きいわけですから、上のプログラムをマシン語で組みさらに3プレーンを一括してセーブするように改良を加えたところで30秒以上の高速化は無理でしょう。現にIPLはマシン語ですが、BASIC を読み込むのに2分以上かかります。つまりBASICではなくテープというメディアがそれだけ遅いということなのです。

Q Oh! MZ2月号で「X68000のファイルフォーマットはMS-DOS(2HD)とコンパチである」とあったのですが、それならばX68000のOS上で作ったPASCAL, FORTRANのプログラムはMS-DOS上で動くのでしょうか。またその逆はできるのでしょうか。

神奈川県 黒崎 茂成

A PASCALやFORTRANのプログラムという言葉をどのような意味で使うのかにもよるので

すが、ソースファイルという意味なら、もちろんMS-DOSとの間で自由に交換して使うことができます。また、ワープロの文書やカルクなどで作成したデータも交換して使うことができます。

一方、プログラムというのがコンパイラが出力したオブジェクトファイル、もしくはリロケータブルオブジェクトのライブラリなどの意味でしたら交換は不可能です。

MS-DOSはインテル社の8086というCPUのために作られたDOSです。このためMS-DOS上のコンパイラは8086のマシン語を出力するようにできています。当然X68000のマシン語とはなんの互換性もありませんので実行させることは不可能なのです。

ソースファイルでも、画面制御のエスケープシーケンスなどは機種によって違うことがありますので手直しなしにコンパイルして動かすことができない場合もあります。

Q MZ-2500のBASIC-M25について質問があります。PLAY命令なのですが、1/パート255文字のデータを6/パートで使おうとするとstring length errorが起きてしまいます。どうやら全/パートあわせて255文字にしなければならないようなのです。なにかよい手はないでしょうか(ただしデータを分割するのはだめです)。 新潟県 相田 寛

A 調べてみたところ「PLAY A\$, B\$, C\$」のような表現をしていてもだめなようです。これはMZ-2500のPLAY 命令の性質によるものでしょう。

MZ-2500はPLAY 命令を実行すると、演奏が終わるのを待たずにすぐさま次の命令の実行に移ることができます。つまりボールを動かしながら演奏させるということが簡単にできるのです。こういうことができるのは渡された演奏データをどこかに蓄えていて、それを参照しながら演奏を続けるからです。演奏データを蓄える領域が何文字取ってあるかが、一度に渡せるデータの制限を生むのです。

「データを分割するのはだめです」と書いてあるのは、ゲームのBGMとして使いたいからでしょう。しかしこのままでは演奏

リスト3 割り込みを利用した音楽演奏

```
100 ON PLAY GOSUB 210
110 C=1:CLS:PLAY INIT
120 PLAY "@21132","@21132",
    @21132"
130 PLAY ON
140 FOR I=0 TO 77
150   LOCATE I,12
160   PRINT "=>"
170 NEXT
180 LOCATE 78,12
190 PRINT " "
200 GOTO 120
210 ON C RESTORE 250,260,270,280
220 READ A$,B$,C$
230 PLAY A$,B$,C$
240 C=C+1+(C=4)*4:RETURN
250 DATA c,d,e
260 DATA d,e,f
270 DATA e,f,g
280 DATA f,g,a
```

できないことがわかっているのですからうまく分割して演奏させる手だてを考えるよりありません。

MZ-2500のBASICマニュアルに「ON PLAY GOSUB」と「PLAY ON」というおもしろな命令が載っています。これは「演奏が終わったら××行を実行しなさい」という命令です。これを使い、演奏が終わったら次の演奏データを送ってやります。

BASICマニュアルにはこういう使い方のサンプルはないようですから、リスト3に簡単なものを用意しておきました。Cという変数で次に何行目のデータを演奏すればいいのかを記憶しておき、演奏が終わるたびに新しいデータを渡しています。参考にしてください。(泉 大介)

質問にお答えします

日ごろ疑問に思っていること、どんなことでも結構です。どんどんお便りください。難問、奇問、編集室が総力をあげてお答えいたします。ただし、お寄せいただいているものの中には、マニュアルを読めばすぐに回答が得られるようなものも多々あります。最低限、マニュアルは熟読しておきましょう。質問はなるべく具体的に機種名、システム構成、必要なら図も入れてこと細かに書いてください。また、返信用切手同封の質問をよく受けませんが、原則として、質問には本誌上でお答えすることになっていますのでご了承ください。なお、質問の内容について、直接問い合わせることもありますので、電話番号も明記してくださいね。宛先:〒102 東京都千代田区

九段南2-3-26井関ビル
(株)日本ソフトバンク出版部
「Oh! MZ質問箱」係

愛読者プレゼント

●プレゼントの応募方法

とじ込みのアンケートはがきの該当項目をすべてご記入のうえ、希望のプレゼント番号をはがき右上のスペースにひとつ記入してお申し込みください。締め切りは1987年4月15日の到着分までとします。当選者の発表は1987年6月号で行います。

1

データウエスト ☎06(968)1236

イミテーションシティ

X1/X1turbo用 5D版 7,800円

3名



人類が開発に成功したアンドロイドDOLL。人間の道具として使われる彼らだったが、あるときその一部が反乱を起こした。DOLL管理局員である主人公は、彼ら処理せよとの命令を受けて重い腰を上げる。ハードボイルドアドベンチャーゲーム、きみもいかが？

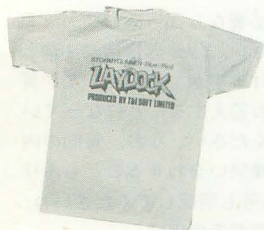
2

ティーアンドイーソフト ☎052(773)7770

レイドック

MZ-2500用 3.5D版 6,800円

1名



Tシャツ

フリーサイズ 10名

鮮やかなグラフィック画面を背景に繰り広げられる高速スクロールシューティングゲーム。アクションはこうでなくっちゃのレイドックを1名に、またティーアンドイーソフト特製のレイドックTシャツを10名に。

3

デービーソフト ☎011(251)7462

うっでいぼこBGMカセットテープ

10名



おなじみのアドベンチャーゲームうっでいぼこのBGMカセットテープを10名の読者に。8重和音の大迫力だ。

4

パーソナルメディア ☎03(495)6241

オデッセイファイル

アーサー・C・クラーク、
ピーター・ハイアムズ共著
A5判 1,400円

5名



映画「2010年」を制作したとき、原作者クラークと監督のハイアムズは互いに地球の裏側にいた。2人は、どうやって共同作業を進めたのか？ 答えはパソコン通信である。コンピュータを通した2人の創造過程を描く本書を5名にプレゼント。

2月号プレゼント当選者

- ①ロボレス2001 a.(新潟県)石川伸司(石川県)佐原俊文 a.(静岡県)小野学(東京都)鹿浜孝宏 ②殺人倶楽部 a.(神奈川県)山崎一彦(香川県)宮武隆 b.(兵庫県)樋口直人(京都府)沢野基志 ③メイドムム (静岡県)浅野雅宏(熊本県)岩橋洋輔(群馬県)成川浩一 ④卓上カレンダー (北海道)荒井慎(奈良県)有永誠一(広島県)桑田善文(沖縄県)前田恒治(神奈川県)富士学(奈良県)野口保一(秋田県)高野真樹(長野県)吉村善行(埼玉県)藤森正成(富山県)広瀬大蔵ほか10名 ⑤ソフトウェアワールドvol.10 (熊本県)野村英生(宮城県)村上輝光(福岡県)井上盛親(岐阜県)安藤碩康(兵庫県)茶本成昭(滋賀県)斎藤法男(香川県)横山裕史(千葉県)竹村健志(愛知県)板倉靖(和歌山県)笠原秀了ほか10名(以上敬称略)

PENGUIN ペンギン情報コーナー

●NEW PRODUCT

ミニ書院シリーズの新製品

WD-631

シャープ

デスクトップパーソナルワープロ「ミニ書院」シリーズの最新作WD-631(285,000円)が2月にシャープより発売された。3.5インチFDD 2基搭載、9インチCRT、32×32ドット熱転写プリンタ内蔵のオールインワンタイプ。

WD-631が採用した新JIS配列準拠のキーボードは、かな文字がわずかに32のキーに収められており、シフトキーはプレフィックス型で、シフト入力が容易になるよう配慮されている。また、この新JIS配列のタイピング練習ができる「独習ソフトウェア(WD-63 TV, 4,800円)」もオプションで用意されている。

主な機能としては、四則演算・縦横計算、指定した項目の抽出・分類、使用頻度の高い操作手順を記憶し呼び出して使える手続き機能などが挙げられる。さらに、オプションの「書院カルク」(60,000円)を使えば作表や集計が、「図形グラフソフト」(20,000円)では図形・グラフ作成が容易になる。この2つのオプションには追加メモリWD-63M(50,000円)が必要。

印字は、鮮明で美しい32×32ドットの明朝体、オプションでゴシック体(ゴシック体印字用ファイルWD-60CG 1, 35,000円)や教科書体(教科書体印字用ファイル

WD-60CG 2, 30,000円)の印字もできる。そのほか、4種類の飾り文字印字、上つき/下つき文字、フリーピッチ機能、外字作成機能なども可能。JIS 第2水準装備、辞書は地名・人名含め約10万語。また通信機器・ソフトを用意すれば上位機種種のWD-5000/5800シリーズと、およびWD-630/635/631同士でデータ通信も行える。

なお、文書フロピーの互換性がある書院シリーズは次のとおり。

WD-250F/255F, 300/305(要FDD), 300F/305F, 530/535, 590/595, 600/605, 610/615, 630/635, 5000シリーズ, 5800シリーズ。

<問い合わせ先>

シャープ(株) ☎06(621)1221, 03(260)1161

ワードバンクシリーズ新製品

エプソンワードバンク-G/LX

セイコーエプソン

セイコーエプソンは2月、ワードバンクシリーズの2つの新機種を発売開始した。

まず、パーソナルワープロとしては初めて、16ビットCPU 68000を搭載した9インチCRT採用のエプソンワードバンク-G(198,000円)。このハードウェアのパフォーマンスに重点を置いた仕様により、今後追加されるであろう機能に対してソフトウェアの供給のみで対応していくことも計画中だ。

主な特徴としては、毛筆書体も簡単に作れる画像処理機能、文章・画像・表などの作成や文書中への割り付け編集機能の強化、より高効率になった変換や文字修飾機能などがあげられる。

また、オプションのエプソンイメージリーダー2(36,800円)でハーフトーンの画像を読み込んだり、ラクラクボード(29,800円)で手書きの文字を漢字に変換・入力できるほか、画像や図形の手描き入力ができるグラフィックタブレット(19,800円)、マウス(15,000円)、プリンタインタフェイス(5,800

エプソンワードバンク-G



円)なども揃っている。

24×24ドットで38文字印字/秒の高速熱転写・感熱プリンタ、3.5インチFDD 1基(増設ドライブ付き)などを標準装備し、JIS 第2水準、地名・人名を含めた辞書13万語を備えている。

もうひとつの新機種エプソンワードバンク-LX(128,000円)では、縦横計算が簡単にできる表計算機能と、入力データを自動的にグラフ(棒・円・折れ線)化するグラフ作成機能を装備。

またオプションのラクラクボードやエプソンイメージリーダー2で、手書き文字の漢字変換入力やハーフトーン画像の入力などもでき、キーボードになじみのない人でも操作が容易だ。

40字×10行(ガイドンスライン別)のSTN液晶ディスプレイを持ち、3.5インチFDD 1基、24×24ドット熱転写・感熱プリンタを標準装備、JIS 第2水準と地名・人名を含めた辞書12万語を備える。

<問い合わせ先>

セイコーエプソン(株) ☎0266(52)3131

デスクトップ型電卓2機種

CS-1130/CS-2130

シャープ

シャープは2月末、デスクトップ型電卓2機種CS-1130(10,800円)とCS-2130(12,800円)を発売した。2機種とも20ルクス太陽電池を採用し、低照度でも使用できる高感度設計。



ミニ書院WD-631

計算機能には、パーセント計算、定数乗除算、べき乗計算、逆数計算などのほか、業務の即戦力ともなる割増・割引計算、売価計算、原価計算なども含まれている。

また、これらの業務計算に便利なマークアップ機能、置数訂正に便利な右シフト機能、累計を計算できるΣモード機能、2つの数式の結果を並行して出したいときに使える2メモリ機能も備え、さらに2つのキーをほとんど同時に押しても両方のキーが入力される2キーロールオーバー機能があるので、押したキーを離してからでないと次の入力ができない他の方式に比べてより速い入力が可能だ。

表示部は液晶、文字の天地は13mmという大型、3桁ずつの区切り点もついている。表示桁数はCS-1130が数字10桁、記号1桁、

CS-2130がそれぞれ12桁、1桁。使用頻度の高い $\boxed{+/-}$ キー、 $\boxed{=}$ キーはテンキーより約2倍の幅になっている。本体底部にはスタンドがついているので、見やすい角度に変えることもできる。

サイズは幅185×奥行175×厚さ18mm、重量410g。

〈問い合わせ先〉

シャープ(株) ☎06(621)1221, 03(260)1161

PC-1600K用イラスト作成ツール

DESIGNBOX

シャープ

ポータブルコンピュータPC-1600Kを使ってイラストや飾り文字が描けるイラスト作成ソフトDESIGNBOX(45,000円)がシャープより発売中。

5枚のイラストデータディスクにはイラスト342種類、2枚のフォントデータディスクには文字フォント4種類が収録されており、これら呼び出して大きさ、色、位置などを設定し、ユーザーディスクに登録

したりプリントアウトしたりする。

また、収録イラストを修正・合成したり、オリジナルイラストを作ったりすることもできる。

なお、DESIGNBOXをPC-1600Kで使用するには、4色カラープリンタCE-1600P(69,800円)、ポケットディスクドライブCE-1600F(39,800円)が必要。

〈問い合わせ先〉

シャープ(株) ☎06(621)1221, 03(260)1161

ポータブル電子辞書

電字林

三洋電機

ビジネスマンにも受験生にも強力な味方となるポータブル英和電子辞書「電字林(PD-1, 34,800円)」が三洋電機から発売中。

電字林には、見出し語35,000語が収録され、英単語を入力してキーを押せば、対訳の日本語が表示される。熟語にも対応。

また四則演算機能も備え、オプションで和英辞書ICカード(7,000円)も用意されている。さらに、漢和、仏和、独和辞書なども準備中。サイズは幅209×奥行130×高さ30mm、重量520g。

〈問い合わせ先〉

三洋電機(株) ☎03(836)3871

1987-04

OS戦争の
背景を見る

UNIX or DOS

米マイクロソフト社はUNIXのライセンス元である米AT&T社と業務提携した。

i80386用のOSとしてUNIXシステムVを移植開発し、AT&Tと共同で販売していくという。開発終了は来年初めが目標だ。

この件は2月中旬に米国でマイクロソフトとAT&Tが共同記者会見をして発表した。すでにCP/MシリーズやOS-9などのMS-DOSライバル商品はもはや敵ではなくなり、いまやi80286以上のCPU用OSの覇権はMS-DOSが勝つかUNIXが勝つか、という一騎打ちの様相を呈してきている。そんな折りの両OS開発元のジョイントだけに、ある意味でショッキングなニュースである。

ここでバックグラウンドを概観してみよう。まず、勢力争いだが、これはIBM vs. AT&Tという対局構造になっている。次に

マイクロソフトの立場に注目すると、IBM、アップルと密着しそうでいながら他と組むという姿勢を続けている。

いわば中立だ。最後にAT&Tの戦略商品についてだがUNIXだけでなく、傘下にMC6800、68000を生産するモトローラ社を擁している。

さて、問題はIBM PCのi80386版がいつ発売され、OSはなにかという点だが、これはPC-DOS5.0を秋ごろ発売するとみてまず間違いない、という。さらにIBMはマイクロソフトにDOS6.0の開発を委託したところだともいわれている。つまり、ここ数年はマイクロソフトがIBMから離れることはないと考えていだろう。

注) DOS5.0はシングルユーザーマルチタスク、6.0はマルチユーザーマルチタスクだといわれている。

ではなぜマイクロソフトがAT&Tと組ん

でUNIXの共同戦線を張るのだろうか。とくにマイクロソフトはi80286用にUNIXライクOSとして「286XENIX」を開発販売しているが、AT&Tとの提携はこれを打ち切ることも意味する。

おそらくUNIXは一種の保険であると考えていだろう。とりあえずすべての分野に手を出すのが基本ポリシーのビル・ゲーツ会長のやりそうな手段ではある。あるいは将来、両OSを統合するための布石かもしれない。同社の狙いが見えてくるのはいずれにしてもDOS5.0が商品化されたあと、来年に入ってからだ。IBMの動向とあわせて注目される。

IBM—松下事件

米IBMは松下電器産業が米国市場で販売していた輸出専用のIBM PCコンパチブルパソコン「FX-800」のBIOS(基本I/Oシステム)が自社の著作権を侵害していると

立体映像システム発売開始

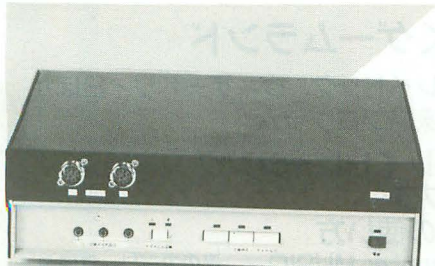
音研

市販のVTRと接続して手軽に立体映像の再生を楽しめるシステムが、2月に音研から発売になった。

これは、VTRソフト(5,000~10,000円)、立体アダプタ(20,000円)、立体メガネ(13,000円)で、3月下旬からは立体映像撮影/再生用アダプタも発売開始する予定。また、このシステムはシャープのX1/X1turboシリーズと立体映像セットとを併用できるので幅広い応用が可能だ。ひとつためしてみたいかがだろうか。

〈問い合わせ先〉

㈱音研 ☎03(980)5631



音研の立体映像撮影・再生用アダプタ

AVシステム用マルチプログラムリモコン

RC-1000M

オンキヨー

AVシステムのリモコン機能をひとつに集約する新しいタイプのリモートコントローラRC-1000M(12,000円)がオンキヨーより3月中旬から発売されている。AVファンには注目の新製品。

このRC-1000Mは、AV機器の機種ごとに異なるリモコン信号をプログラムして記憶し、同じコントロール機能を身に付けることができる。

AUDIO ポジション35、VIDEO ポジション、AUX ポジションにそれぞれ34、合計103のキーに、他のリモコンの操作信号をプログラムでき、ビデオやオーディオプレーヤーなど1台あたり10ずつの信号をキーに記憶させた場合、数台の機種をRC-1000Mひとつでコントロール可能になる。

現在普及している赤外線式ワイヤレスリモコンのほとんどに対応しプログラム操作はそれらのリモコンとRC-1000Mの発



マルチプログラムリモコン RC-1000M

信部を向かい合わせにして対応するキーを押す、という極めて簡単なもの。

サイズは幅74×奥行180×厚さ31mm、重量230g。単4乾電池4本使用。

〈問い合わせ先〉

オンキヨー㈱ ☎0720(33)5631

●INFORMATION

’87コンピュータ図書フェア

書泉グランデ

東京・神田の書泉グランデでは、この3月14日から5月14日まで、「’87コンピュータ図書フェア——雑誌バックナンバーからビジネスソフトまで——」を開催し、コンピュータ関連の書籍、ソフトウェアなどを一堂に集めて展示・即売する。

提供される書籍やソフトは、やM S-DOS、C言語、パソコン通信、人工知能、情報処理技術など幅広い分野をカバーする。協力は、アスキー、共立出版、技術評論社、工学社、コンピュータエージ社、電波新聞社、日刊工業新聞社、日本ソフトバンク、マクロウヒルブック、ブロードバンドジャパン、ライフポートなど47社。

〈問い合わせ先〉

書泉グランデ ☎03(295)0011

松下に抗議。松下はこれを認め、販売済み2千台を回収するとともに、IBMに賠償金3億円(推定)を支払った。

日立、富士通に続いて今度は松下が思わぬ形でIBM社の“日本企業いじめ”にひっかかった、として、この事件が明るみに出た2月下旬はまたマスコミが騒然となった。

報道によると、松下のFX-800のBIOSコードのうち約32%が、IBMがユーザーやソフトハウス向けに公開しているIBM PCの内部コード情報の複製であるとして、IBMが賠償を請求した。

だが、今回は日立、富士通の場合と違って釈然としない点が多いので、ここで考えてみよう。

まず、なぜ台湾や香港メーカーでなく、松下だったのか? IBM PC互換機の生産量は現在、台湾と香港の中小メーカーが最も多く、次いで日本勢、米国勢の順になっている。現実には香港や台湾メーカーの製品は、今回IBMが松下に適用したような審査基準

に照らしあわせると、かなりの製品が著作権侵害に該当するらしい。ではなぜ適用されないのだろうか。それは、現実に適用されたにせよ極秘裏に処理されているケースが多く、表ざたになる場合が少ないせいもある。しかしそれよりも問題なのは、香港、台湾勢の製品は大部分がノーブランド商品やOEM製品であり、製造元を探し出して賠償を求めようとしても、そのときには相手不在の状態になっていることが多いという現実だ。

したがってIBMはどこか世界的な一流企業が検査基準にひっかかるのを待っており、それがたまたま松下だったのではないかと私は推測する。もちろん、検査にひっかからない企業がほとんどである状況で松下が該当したことは、松下側の用意不十分である、といえよう。

ところで賠償金3億円は高額だろうか? 新聞は法外な高額をふっかけられた、という論調だった。しかし、ここで計算してみ

ると、3億円を2千台で割って、1台あたり15万円という数字が出る。これはDOS販売価格の約十倍で、開発費用を考えても必ずしも高額だとはいいい切れない。

そういえば、富士通と日立のIBMに対するOS無断使用料金の支払い方法にしても、富士通の20年間に對して日立は8年間。月額と同じとすれば富士通は日立の2.5倍だ。しかし、よく考えてみると、富士通は日立の2倍以上の出荷台数を最近マークしている。つまり、「ある基準」に沿って使用料金が設定されていることが想像できる。

確かにIBMが日本企業を狙いうちしていることは事実といえるのだが、落ちついて考えてみると、たまたま現在のIBMにとってライバルの大半が日本勢であり、しかもIBMが抗議せざるを得ないようなコンパチブルビジネスという方法をわざわざ選択して業容を拡大していることも事実なのだ。

「米国の脅威」論を原点に戻って考えてみる必要があるのではないかと。(K.T.)

株式会社日本ソフトバンク 発行の

Oh! シリーズ

月刊

Oh! PC

4月号
500円

好評発売中!



特集 ようこそ、PROLOGワールド

第1部 総論 PROLOG その誕生から応用まで

第2部 パソコン上のPROLOG

インタプリタ、コンパイラ総合テストラン

第3部 MS-DOS上のオリジナルインタプリタ

日本語対応Ai-PROLOG

▶新連載 Soft WATCHING

▶新連載 知っているようで知らないネットワーク メディアスコープ

▶Play the C (最終回)

▶テストランレポート PC-8801VAを試用する。

月刊

Oh! FM

4月号
480円

好評発売中!



特集 わくわくゲームランド

▶ゲーム攻略法——レイドック、ウィザードリィ2ほか

▶秘孔 ゲーム画面凍結プログラム

■26万色表示対応レイトレーシング

■68000逆アセンブラ

■AV40 DMAの使い方

■Let's PLAY Computer MUSIC——渚のアテリーヌほか

■OS-9DBS作成——データ入力画面の定義

季刊

Oh! HIT BIT

第12号
480円

好評発売中!



特集: ますます広がるMSXワールド

新製品 HB-F1, HB-F900, HBI-F900

●決定版! ひょうきんの大逆襲

日本一の無責任プログラム2/スーパーショートプログラム

パズルランド/パーティーゲーム「Y-TRAP」

●HITBIT雑学ゼミナール

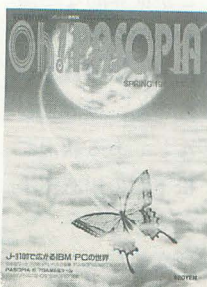
●OSプログラミング入門(実践編)

季刊

Oh! PASOPIA

第11号
480円

好評発売中!



特集 J-3100で広がるIBM PCの世界

IBM PCマシンの成功/J-3100ソフトウェア

●日本語ワードプロセッサレベル3搭載

PASOPIA1600TS100E/300E

●マシン語サブルーチンライブラリ

●PASOPIA/5/7GAME&ツール

倉庫番/アニメーションツールほか

●PASOPIAにS-OS "SWORD" 搭載

コンパクトボディに 1台4役の機能を秘めた イメージ情報ステーションMZ-1V01

桑野雅彦

また不思議な名前を付けたものです。RAMディスクとかサンプリング音源といったものならば、名前だけでもだいたいどんなものであるかは想像できますが、「イメージ情報ステーション」とはいったいどんなものなのでしょう。

いくら考えていても仕方がない。とにかく実物を見せてもらいに行こうと、いそいそと日もとつぷりと暮れたある夜、編集室にのぞきに行ったのです。

そしたら、目の前にあるものはまるで最近流行の家庭用乾式複写機。これを前にしてニコリ笑えば、きっと私も荻野目洋子(あー気持ち悪い)。「これコピー機じゃないの」といいかけて上面のスイッチパネルを見てまたびっくり。えっ、ファクシミリなんて書いてあるよこれ。そうだったの、悪い冗談だなあ。でもなんかへんだな。見慣れたカタカナがあったような気がしたんだけど。あれあれ、やっぱりコンピュータなんて書いてあるよ。あら、これ本当にイメージ情報ステーションだったんだ。

と、まあ、私が最初にこの商品を見てから認識するまでにこれだけ時間がかかったのです。きっと、店先に置いてあってもなんの予備知識もなしに見つけたら、単なるOA機器としか感じないでしょう。

不思議な不思議なキカイ

なんとも不思議な、およそコンピュータとは縁のなさそうなその姿の中身はというと、

- 1) 複写機
- 2) プリンタ
- 3) イメージスキャナ
- 4) ファクシミリ

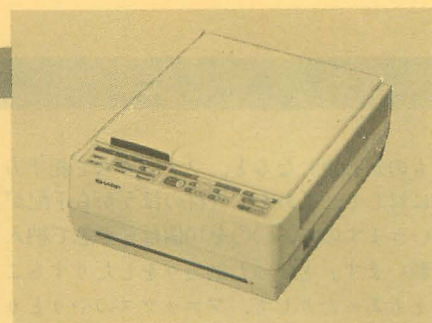
の4つが複合したものであるということになっています。要はファックスとコピーの複合商品にパソコン入出力を付けたということのようですが、これだけではちょっとイメージ情報ステーションとしての立場が理解しにくいので、図1にまとめてみました。図中の矢印が、イメージデータの流れを示しています。それぞれの流れに①から⑦の番号をふっておきました。⑦の矢印が点線なのは、図中では一応、原稿と複写

を区別しているのですが、複写したものが原稿となりうる、平たくいえば、コピーのコピーというものがあろうためです。

こうしてみると、「ステーション」としての存在がはっきりしてきます。①から④は先に挙げたものと一致しています。⑤はパソコンのイメージデータの直接伝送、⑥はファックスの受信(④は送信)を示します。この矢印をたどっていくと、イメージデータをどのように流していけるのかわかるでしょう。

この図では原本をそのまま複写していくルートしか書いてありませんが、実際には⑦のプロセスとパソコンにイメージデータが入力されたあとは加工、編集ができますから、イメージデータが変化しながら矢印をたどり、あちらこちらに飛びまわることがができます。これはイメージ情報ステーションの醍醐味といったところでしょう。

特にこのプロセスのなかでパソコンが入ってきたことは大きいものがあります。一度メモリに入ってしまうと、加工などはお手のもの。いくら複製を作っても切り張りをしてもまったく画質が落ちないという、⑦のプロセスでは考えられないこと

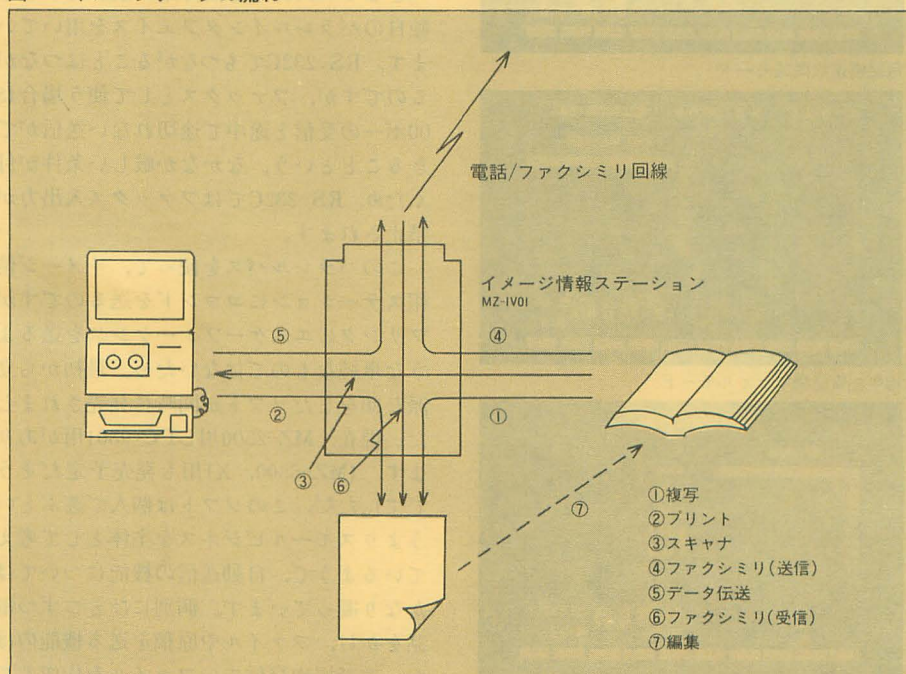


がごく当然のことになってしまいました。この特徴を生かし、いろいろなデータの分割、合成をいくらかでも気のすむまで行うことができるのです。しかも、入力されたイメージデータもCPUにとっては単なるデータ列にほかなりません。基本的には2値信号ですから制約はありますが、簡単な画像処理までこなせる可能性があるわけです。

そして、このデータの流れが部屋の中で閉じることなく、ファックスという形で公衆電話回線と接続されてしまうというあたりがまたおいしいところです。ファックスは「文書」が形として残るうえ、30分もかからずに相手に届くため、少し離れた会社同士の連絡になくはならないものになっています。特に、最近のファックスは画質も向上し、多少ややこしい図面でもまず問題なく送れる(ときどき、ややこしくすぎて相手から「読めないよ〜」というファックスが届いたりしていたのが、最近はずっとないのはこのためかなあ)ため、仕事などで急ぎのものはすべてファックスで送るようなことになっています。

その結果かどうか知りませんが、緊急に

図1 イメージデータの流れ



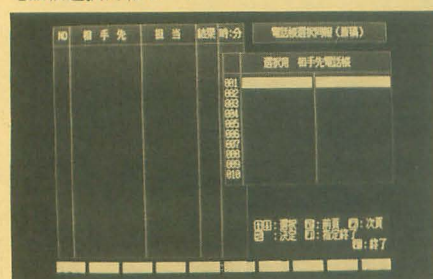
ものが必要になると、ファックスで相手方に対して、「あとで資料のほうから手配がいきますので、〇〇を10個ほど至急で納入願います」といった綱渡りをしたりすることもありまして、ファックスのやりとりをのぞいてみるというのも、なかなか面白いものです。しかし、イメージ情報ステーションのファックスの機能はこんなことよりよほど面白く使えそうです。なんとといってもデータの加工が主体なのですから。

従来のファックスの使われ方というのは、先ほどのようないわゆる連絡用であったために紙に文字や絵を書いて、それをファックスの口にツイツイと押し込んでやるとそれをくわえて、ズズズ……と電送（懐かしい言葉！ ワープロにもこんな熟語があったんですね）してくれる。と、基本的にはこれだけの機能しかなかったわけです。ところが、イメージ情報ステーションでは、パソコンがいたのです。図の⑤があることがミソです。つまり、図版原稿を用いることなく、パソコン上のイメージデータを直接伝送できるのです（直接受信ができない

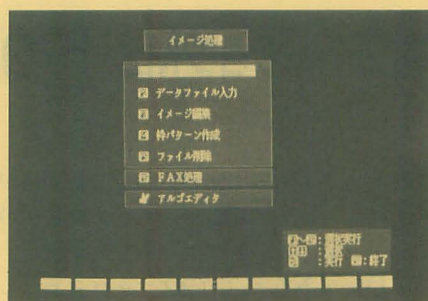
ファックス処理メニュー画面



電話帳選択同報モード



相手先電話帳ファイルモード



イメージ処理メニュー画面

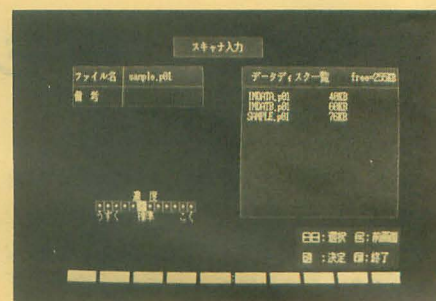
いのがちよっと寂しい)。

さらにパソコンとドッキングしたことで、自動送信(自動ダイヤルを含む)、自動着信などのモデムっぽいこともできるようになり、これはもうグラフィック用のモデムではないかといったところ。グラフィック画面なんか送ったら電話代がいくらかかるかわからないよ〜という人もご安心を。パソコンで主流の 300~1200 ボーに比べて圧倒的に速い、4800ボーですし、ファックスでは画像データを圧縮して送信しますから、黒い部分が少なかったり、ごくやさしいパターンですと極端に送るデータが少なくなります。

では実際に試食ということで…

ここまで簡単に概念的なことを述べてきましたが、ここで実物に触れてみることにしましょう。イメージ情報ステーションとMZ-2500を接続するために、セントロニクスを2つ(入力用と出力用)設けたような独自のパラレルインタフェースを用いています。RS-232Cでもつながることはつながるのですが、ファックスとして使う場合4800ボーの受信と途中で途切れない送信ができることという、なかなか厳しい条件が付くため、RS-232Cではファックス入出力が禁止されます。

このパラレルバスを使って、イメージ情報ステーションにコマンドを送るのですが、プリンタにエスケープシーケンスを送るような単純なものではないため、最初から立派な顔をしたソフトが同時に発売されました。現在、MZ-2500用とPC-9801用があります(MZ-6500, X1用も発売予定だそうです)。ただ、このソフトは個人で遊ぶというよりスモールビジネスを主体として考えているようで、自動送信の機能についてはかなり凝っています。個別にひとつずつ電話をかけ、ファイルや原稿を送る機能のほか、電話帳や発信先のファイルを作成して



スキャナ入力モード

おけば、全部に勝手にファックスを送ってくれる機能など、なかなか便利です。ところが、私たちにとって最も興味深い画像取り込み、加工といったことについてはごく単純な機能しかありません。

このソフトウェアでは、イメージ情報ステーションの基本機能、つまりイメージスキャナとしての画像取り込み、グラフィックプリンタとしての印刷、内蔵のファックス用モデム制御などを複雑なコマンドを使うことなしに扱えるようになっていきます。

このソフトを使用すると、イメージ情報ステーションは完全にパソコン側からリモートコントロールされますから、操作(物理的な)も簡単です。画像取り込みにしても、コピー機と同じようにガラスの台の上に原稿を乗せるだけでOK。あとは画面の指示に従って進めればよいとなるわけです。マニュアル操作、つまりパソコンを使わずイメージ情報ステーション単体で使う場合もごく簡単で、一般のコピー機とほぼ同じ感覚で扱えます。プリントアウトは感熱記録式で、しかも発想がファックスですから、コピー機とちよっと違って原稿がドットに分解されているのがよく見るとわかりますが、逆に、ベタの部分は見事としかいいようのない美しいベタになっています。

ただ、イメージ情報ステーションの有効な使い方については、この手の製品の歴史が浅いというより、ほとんどないということから、現在模索中というところが本音のようです。そのためか、ソフトウェア自体も、これといったコンセプトのようなものは持っておらず、「とりあえず作ってみた」だけということのようです。このとりあえずではイメージデータの入出力、伝送、編集とひと通りのことはこなせますが、どうもサンプルの域を脱け出していないのが実感です。入出力は部分的に行うことはできず(ディスク入出力では可能)、常に全画面で行うしかないので。

それよりも痛いのは、編集機能の弱さです。矩形領域のファイル入出力とクリア（白黒どちらでも可）、任意キャラクタパターンでのワク付けといった程度のごく基礎的な機能しかありません。

矩形領域の切り出しができるなら、反転や回転、移動などお手のもの、ついでに拡大/縮小自由自在というのが自然だと思っていれば、実際はそうではないようです。しかし、回転や拡大/縮小をするのに、いちいち印字（印画？）して行かねばならないというのでは、なんのためにメモリに取り込んだのか、またなんのためにCPUがいるのかわからなくなってしまいます。どうも、編集機能は文書原稿に絵や写真を入れることくらいしか考えられていないようです。業務用文書に用途を限るといえば、確かにそうかもしれません。しかし、これをパーソナルコンピュータの、外部イメージ情報とのインタフェイスと考え直してみれば、応用は限りなくあるはずだ。そういった目でこのソフトを見てみると、いまにもハードウェアが泣きだしそうな気さえてきます。640KバイトものRAMディスクと決して安くはないパラレルインタフェイス

を装備し、拡張スロットをつぶしてしまうわりには、あまりにも寂しい感じです。

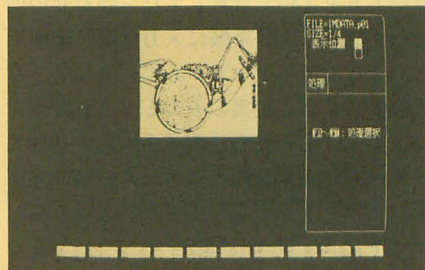
先ほど述べたように、イメージ情報ステーションを位置づけるなら、ベースにはやはりグラフィックエディタを持ってきて、そこにイメージ情報ステーションのドライバを組み込むというのがよりよい道なのではないかとボヤキつつ、MZ-2500の電源を切ってしまった私なのでした（16ビット版にはもう少し期待してもいいのかな）。ところで、BASICで「gsave」を使って落としたイメージデータをこのソフトで吸い上げることができます。いっそ、イメージ情報ステーションとの丸ごとのやりとりだけをこのソフトにやってもらって、取り込んだデータの加工はすべて別のソフトにやらせるようにしてしまおうかな。

ソフトが負けてるね

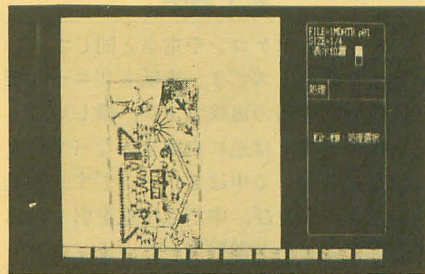
以上いろいろ注文ばかりつけてしまいました。最初、カタログを見て、それから実際に触れてみたイメージ情報ステーションについて、自分なりに製品イメージをあくまで“パーソナル”の立場で持ってしまったために、開発者側の考えとのギャップが

大きくなったのかもしれませんが、いまのままだではハードウェアのポテンシャルが死んでしまっていると考えるのは私だけではないはずです。

ハード的には、もうこれで十分すぎるくらいのもです。あとは、ソフトの改良を。それだけを願って、今後の動向に期待したいと思います。



スキャナ入力サンプル①



サンプル①と合わせてサンプルを作成する

図2 スキャナ入力し、編集、出力した例（縮小55%）

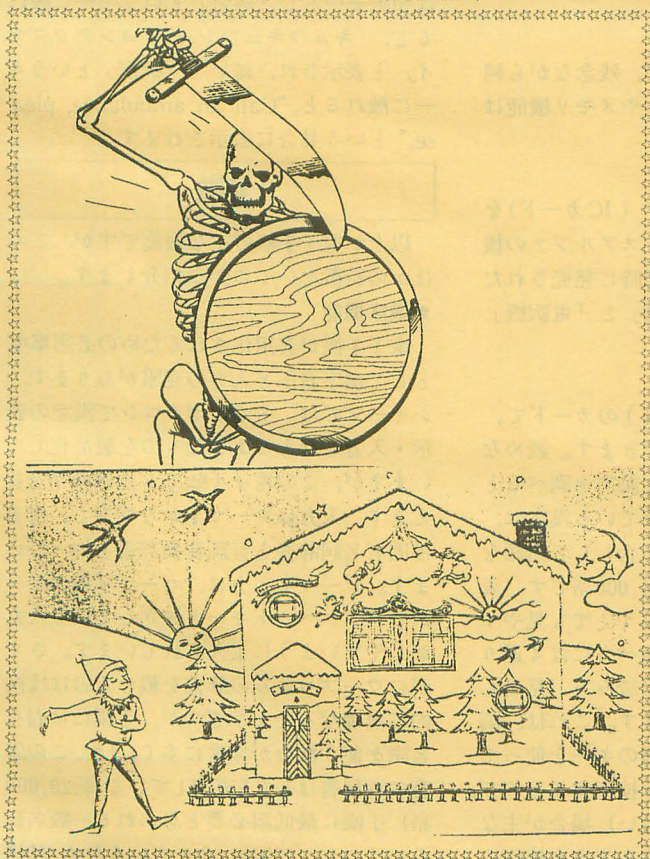


表1 MZ-1V01仕様表

走査方式	イメージセンサーによる平面走査方式（原稿固定型）
走査線密度	主……8本/mm 副……3.85本/mm（標準）、7.7本/mm（ファイン）
原稿	シート物、ブック物 最大原稿サイズ：216mm（横）×299mm（縦）以下 （通常の用紙ではA4サイズ以下） 最大原稿重量：3kg
読み取り速度	A4サイズ 2枚/分
読み取りコントラスト	濃度調整ツマミにて調整
記録方式	感熱記録方式
記録紙サイズ	216mm（A4）幅/30m巻 ロール紙
記録有効幅	最大208mm
記録速度	A4サイズ 2枚/分
N C U	AA型（自動発信はコンピュータと接続時に可能）
モ デ ム	4800bps 半2重（V.27ter準拠）
使用回線	一般電話回線、ファクシミリ通信網
コヒー倍率	1:2, 1:1, 1:0.86, 1:0.70より選択 （コンピュータによりコントロールする場合は0.125~1.000の範囲内で0.001倍ごとの任意倍率、およひ2倍）
インタフェイス	双方向パラレルインタフェイス RS-232Cインタフェイス
電源	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	30W（待機時）/150W（動作時最大）
使用温度	10℃~35℃
使用湿度	30%~85%（ただし結露しないこと）
外形寸法	335mm（幅）×405mm（奥行）×160mm（高さ）
重量	約11kg
価格	本体 MZ-1Vo1 278,000円 パラレルI/F MZ-IE32(MZ-2500用) 34,800円 MZ-IE33(MZ-6500用) 34,800円 ソフトウェア IP-1243(MZ-2500用) 30,000円 IP-1245(MZ-6500用) 4月発売 MZ-2500用RAMディスク MZ-IR37 3月発売 ボード（640Kバイト）RM-25E（テレシステムズ）42,800円 PIO-3234（IOデータ機器）39,800円

キータッチひとつで電子手帳PA-7000

浅野恵造

おもむろに胸ポケットから手帳を取り出しキーにタッチしてスケジュールを確認、見積もりを手帳で計算して打ち合わせの内容をキータッチで手帳に入力する。まるでドラえもののポケットから出てきたような手帳がいよいよ現実のものとなる日が来そうです。その名も「電子手帳PA-7000」。シャープから新発売となったこの製品を実際に使用してみましたので感想とともにレポートをまとめました。

基本構成

一見するとポケコンや電卓と同じで、いわゆる手帳サイズです。表紙もビニール製と、まさに手帳の風貌ですが、惜しいことに一般の手帳とは逆に右開きとなっています。表紙を除いて中は2ページです。表見返しはキーが並び、中でも注意を引くのは上部にあるモード選択キーで、カレンダーやスケジュールなどの機能を選ぶキーがパソコンでいうアイコン表示になっています。1ページ目は96×32ドットの液晶ディスプレイと別売りのカード(漢字辞書、電訳機)用の透明タッチキーがあり、2ページ目にはリセットスイッチのほか製造番号・年月などが印刷されています。裏見返しにはカードサイズのポケットが2つと、やや大きなポケットがひとつという構成です。

機能紹介

この手帳の機能を簡単に紹介しましょう。

●カレンダー

1901年～2099年までのカレンダーがひと月単位で表示されます。キーによりひと月単位で前後させられるほか直接年月を指定して表示することも可能です。スケジュールの入っている日にはマークがついてひと目でわかり、カレンダー上でカーソルを移動させて、指定した日のスケジュールを確認することができます。閏年はサポートされていますが、祝祭日については表示されません。

●スケジュール

カレンダーと同様1901年～2099年の間の任意の日の予定を年月日、時間、予定内容の各項目について記憶します。時間の指定

は省略できます。また、スケジュールの入力においては、同じ内容で日時だけ違う場合が比較的多いので、同一内容の複写入力機能もつくなど入力法にも工夫がなされています。

●電話帳

アドレス帳の機能です。登録できるのは、氏名、番号、住所、読み(検索時のキーで2文字)の4項目です。住所は登録しなくても構いませんし、備考に代用することもできます。

●メモ

いわゆる一般のメモに利用しますが、2行表示(漢字使用時)と4行表示(英数字、カナ)の2通りのモードがあります。4行モードのほうが漢字が使用できない分ひとつのメモに登録できる語数が多く、2行モードの倍の160文字となっています。時刻表や価格表などの数値の多い内容をメモしておくときにはこちらのモードのほうを利用すると便利です。

●電卓

普通の電卓と同じですが、残念ながら純粋な四則演算のみ(ルートやメモリ機能はない)となっています。

●カード

これは、別売りのカード(ICカード)を装着することで手帳にプラスアルファの機能を持たせるものです。同時に発売されたカードは、「電子漢字辞書」と「電訳機」の2種です。

電子漢字辞書

4Mビット(512Kバイト)のカードで、漢字や熟語を引くことができます。読めない漢字や、書き方を忘れた漢字を調べるときに重宝します。登録されている漢字は、3,389字(JIS第2水準424字含む)で熟語などを含めた収録語数は約34,000語です。表示も24×24ドットのフォントでとても見やすくなっています。漢字の調べ方には4通りあります。まず、登録語の読み方(見出し語)で調べる方法があります。これは、調べたい漢字の読み方を手帳のキーを使って入力し、その読みの漢字を検索するもので、漢字がわからない(書けない)場合が主な用途でしょう。残りは漢字1文字を検索す



電子手帳PA-7000

る方法で、音訓引、総画引、部首引の3つです。漢字1文字を検索した場合に得られる情報には、読み方、JIS16進/区点コード、その漢字を使用した主な熟語などがあります。

電訳機

2Mビット(256Kバイト)のカードで、英和・和英の両方の翻訳ができます。約12,000語の英単語・熟語と約15,800語の日本語を収録しているほか、約300種の代表的な英会話文を収録しています。英和の機能としては、日本語の意味のほか形容詞・動詞の変化、代表的熟語なども同時に見ることができます。また、英会話集の参照法は、空港、電話、あいさつなど14種類のTPOに分かれたタッチキー(これもアイコン表示)に触れることでそれぞれの場合の英会話例が見られるというものです。これも英訳・和訳両方向から見ることができて、たとえば和英モードで「病氣」というキーに触れると、「キユウキユウシャチ ヨンデクダサイ」と表示され、続いて「翻訳」というキーに触れると、「Call an ambulance, please」という具合に表示されます。

特徴

以上が電子手帳の主な機能ですが、このほかの特徴をいくつかご紹介します。

●漢字機能

電子手帳が実用化されるための必須事項として漢字表示と入力の克服があります。シャープでは、すでにポケコンで漢字の表示・入力が行えるようなものを製品化していますが、この電子手帳でも当然漢字を扱えます。入力はローマ字かな変換で、辞書は固有名詞辞書と音訓変換辞書を持っています。ローマ字入力は、ローマ字用のキーがアルファベットキーと独立していて入力しやすいように工夫されています。さすがにワープロ並みの辞書を載せるのは技術的に無理だったようですが、手帳には固有名詞を使う機会が非常に多く、また、この固有名詞辞書はとても充実していて(約20,000語)手帳に最低限必要と思われる一般名詞もいくつか(220語)含んでいるため、結構

使いやすいものになります。ほかに10語だけでなく登録語も記憶できます。

●検索機能

手帳を電子化した場合のひとつのメリットとして瞬時の検索ということが期待されます。しかし、現在は表示能力が低い(漢字で6桁×2行)ことにより通常の手帳に比べると一覧性・視認性が極端に劣るため、記憶してある事項の検索機能は逆に最低限必要なものといえるでしょう。そういった観点でこの手帳の検索を評価してみます。検索が必要となるのは、スケジュール、電話帳、メモの各機能についてですが、この手帳の検索はなかなか健闘しているといえます。まず、順次参照することはもちろんできます。この場合、スケジュールでは日付順に、電話帳では読みの五十音順に、メモは登録順に見ることができ、それぞれ逆順にも見られます。またスケジュールでは、カレンダーの説明で触れたようにカレンダーを表示させておいてそこから該当の日付を選んでの呼び出しができるほか年月日を直接指定する方法もあります。

さて、もっと検索と呼ぶにふさわしい内容としては、特定の文字などが記憶してある事柄(文章)の最初にあるかどうか(頭文字サーチ)、また、途中に含まれるかどうか(キーワードサーチ)という検索をすることができます。たとえば、メモに「電子手帳¥19,800」という内容を登録した場合に、このメモを検索する方法として「電子」という頭文字で探すこともできますし、「手帳」というようなキーワードで探すことも可能です。こうした検索は、スケジュールであれば予定内容について、電話帳であれば氏名・番号・住所について、メモであればその内容について行えます。ですから、電話帳で特定の市外局番の人だけを捜すといったことも可能です。

●シークレット機能

これは、スケジュール、電話帳、メモの特定の情報にパスワードを設定して他人に見られたり、内容を変えられたりしないようにできる機能です。別にどうということもないような機能ですが、実はこれまでの手帳では考えられなかった使い方でしょう。たとえば、キャッシュカードの暗証番号や仕事上機密にしておきたい電話番号など、忘れても困る人が人に知られても困るといった内容の情報は結構あるものです。こうしたことをこれまでの手帳に記録しておいた

場合は、どこかへ忘れてたり、紛失・盗難などに遭うと非常に困ることになります。そういった心配が電子手帳では解消されることになります。また、蛇足として、この電子手帳を持ち歩けば物珍しがって触らせてほしいという人も出てくるでしょうが、シークレット機能があれば安心して触らせてあげられます。

●透明タッチキー

これは、別売りのカードを使用するときを使うキーですが、透明なため装着したカードの表面に印刷されてある機能が透けて見え、それぞれの位置に触れるとその機能が選択できるようになっています。カードに依じて必要なキーの種類や数が違ってもカード表面にそれぞれに必要な機能キーを印刷することができ、使いやすさの点で非常に貢献していると思います。

周辺機器

このように豊富な機能を持った電子手帳ですが、さらに用途を拡大するためにいくつかの周辺機器が用意されています。さきほど紹介した2つのカードのほかに通信ケーブル(CE-200L)、プリンタ(CE-50P)、カセットテープレコーダ(CE-152)があります。通信ケーブルは、2台の電子手帳を接続してデータの送受信を行うもので、プリンタは登録してあるデータやカレンダーの印刷、カセットテープレコーダはデータの記録・再生を行います。

賢い使い方

電子手帳の概略はおわかりいただけたでしょうか。そこで、この電子手帳をどう使うかを考えてみます。解答のひとつは簡単に見つかります。各機能や名称を見ればすぐにわかるように、これまで自分で手帳を持っていたかどうか、そして、どう使っていたかを考えてみればいいのです。電子手帳の名に恥じず、これまでの手帳にとって代わろうという工夫が随所に見られます。記憶容量の関係で1年間を通して手帳の代わりを務めるのは難しいようです。個人差もあるでしょうが、ビジネスマンがフルにすべての機能を使った場合には2、3カ月でメモリが一杯になってしまうかもしれません。学生の方でしたら、よほど忙しい方か、メモに詩集でも書きためようなどと考えている方以外、半年はどうかかなるでしょう。私の考えとしては、アドレス帳の代

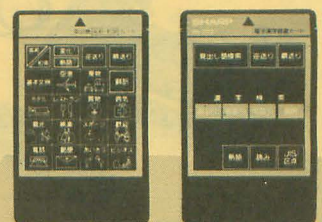
わりにはいいのではないかと思います。電話帳単独であれば約330人分(氏名漢字4文字、番号12桁の場合)は記憶できます。スケジュールはパスデー・メモとし、メモは時刻表と各種重要番号控えなどとして使うことにすれば、結構便利だと思います。こうしたデータはスケジュールに比べるとデータの追加がそれほど多いわけではありませんが、シークレット機能で秘密も守れます。メモは検索が強力ですから、重要事項の暗記カード(単語帳)代わりにも使えます。これに、漢字辞書カードと電訳機カードを揃えれば完璧です(カードは1枚を本体に装着し、もう1枚は電子手帳のポケットに入れる)。

この電子手帳の特徴としてはやはりこのカードの存在が大きいでしょう。電訳機の方はややパワー不足という気もしますが、漢字辞書は十分役立ちそうです(JIS16進/区点コードは、ワープロの語登録のときに便利ですが、考えてみると妙な話です)。24ドットの漢字表示が書き方のわからない漢字を引くときに威力を発揮します。

今後の課題と可能性

実際にこの電子手帳を使ってみるといくつか不満点が出てきます。ディスプレイの解像度やメモリサイズの問題は、いずれ技術的に解決されるでしょうから、それ以外の点について挙げてみます。

まず最初に感じたことは、時計機能がほしいということです。さきほどスケジュール管理はメモリがやや不足気味であるというようなことを書きましたが、それとともに、時計機能がないために管理機能が十分に発揮できないということもあります。スケジュール管理にはやはり時計が必要です。この電子手帳のスケジュールでは、スイッチを入れたときに優先的に見ることができる日を指定できるのですが、時計機能があればいつでもその日のスケジュールを最初に表示するようにできるはずです。また、設定した時刻にアラームを鳴らすこともで

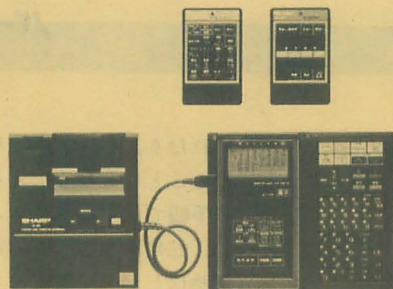


電訳機カードと漢字辞書カード

きます。

次にパソコンとの通信機能もぜひほしいと思いました。これは、時計の追加よりも容易でしょうからインタフェイスを周辺機器として発売してもらいたいです。せっかく電子手帳としながら、予定や住所録をほかから転記(入力)したり、メモの内容をパソコンに再入力したりするのではその魅力が半減してしまいます。パソコンでもデータの互換性が重視されてきていますが、データを閉鎖的にしてしまうという発想はこれからの高度情報化社会とは相容れないものでしょう。

このほか、操作上の問題として、カードによって操作法に微妙な違いがあり多少戸惑いがありました。基本的に電訳機のほうが優れていると思いますが、たとえば言葉を検索して該当候補が見つからないときの処理についてです。電訳機であれば“personal”を調べるのに“personall”のように打ち間違えてしまっても“parsonally”を表示してくれますので、「順送り」や「逆送り」で目的の語を捜したりできますが、漢字辞書のほうは、「見つかりません」という



プリンタCE-50Pに接続したところ

つれないメッセージだけで、せっかく入力した読み方まで消えてしまいます。また、英単語に対して変化形や熟語が登録されている場合に「変化」や「熟語」というキーを押すとそれが見られます。そしてその後でも「順送り」、「逆送り」で辞書の中の前後の登録語を参照できるのですが、漢字に対して「読み」、「熟語」、「JIS/区点」という機能を選択した場合にはもう「順送り」や「逆送り」が使えなくなってしまいます。これらは、ソフトの問題ですのでユーザーインタフェイスについてもうひと工夫してほしいと思いました。より優れた方法を採用することと同時に、操作法を統一してほしいということです(この場合はもちろん電訳機の側に)。

もうひとつ、慣れの問題かもしれませんが、ローマ字入力キーのことです。これらを独立させたのは非常によかったのですが、キーの表示がアルファベットであるため、英字を入力するときにどうしてもこのローマ字キーにつられて間違いやすいのです。これは、キーの表示をカナにすればよかったのではないのでしょうか。たとえば「カ行」を示すキーには「K」ではなく「カ」という表示にすることです。

さて、この製品自体には以上のような問題点もありますが、私は「電子手帳」のような製品は今後非常に期待できるということを感じました。いずれ今の手帳にとって代わるでしょうし、私自身も、もし前述した点が改善されてメモリが10倍くらいになったら迷わず電子手帳を使おうと思っています。それから、この電子手帳に触れてICカードの可能性も改めて認識しました。これからは記憶容量の増加とともにコストも下がるでしょうから、いろいろなデータの供給源としてたいへん有望だと思います。現在、手帳などにはさまざまなデータ(単位換算表、各種料金表など)が付録として

ほしい情報を
なぞるだけ

ハンディコピー-Z-HC1

携帯用コピーマシンがほしいけれど従来品はいまひとつ、という向きにシャープのハンディコピー-Z-HC1はいかがだろうか。愛称コピーメイトというこの新製品は、スキャナ部がペン型になり本体と分離した点が特徴となっている。見たい映画の情報がほんの数行はいいとき、また目的地への地図などを写したいとき、その上をスキャナでなぞれば、あっという間にコピーができあがる。

Z-HC1のコピー機能にはワードモードとグラフィックモードの2種類があり、ワードモード時の読み取り幅は8mm、連続読み取り長は120mm。読み取りは、読み取りボタンを押したままコピーしたい文字の上にスキャナを走らせるだけでOKだ。プリンタ部は感熱式で、読み取りボタンを離すか、あるいはスキャナが120mm以上に

及ぶと印字が行われる。ただし、プリンタ部の印字幅は64mmなので、それを越えて読み取られた文字は自動的に改行される。

この自動改行機能では、印字範囲の縁に文字がかかっていると、そこから左15mmまでのあいだにスペースがあるかどうかを判定し、あればそこから改行する。つまり欧文だったらワードラップしてくれるわけだ。スペースがない場合は縁にかかった文字以降が次の行に送られる。だから、せっかく読んだ文字が半分切れて改行されるなどということにはならずすむ。ので読みにくくなる心配はない。

また、エッジカット機能により、読み取り幅の上下にかかった半端な文字は自動的にカットして印字される。ただし、読み取りが斜めに行われるとエッジカット機能が動かないことがある。また、コピーしたい部分が1カ所にまとまっていない場合でも、読み取りボタンを押したまま読み取れば、続けて印字できる。

ワードモードでは、さらに2倍拡大機能とレイアウト機能とがある。2倍拡大機能では、天地4mmまでの文字を縦横2倍に拡大でき、脚注のような小さな文字を拾うとき便利だ。

レイアウト機能では、奇数回目に読み取った文字は左詰めに、偶数回目に文字は右詰めに印字される。インデックスをつけたり氏名・住所・電話番号をコピーするときなどに使えるが、右

詰め行の印字幅が48mmになるため改行が頻繁になったり、右詰めを続けようとしても偶数回目の読み取りのみという制限があるためうまくいかなかったりなど、慣れないと使いにくい場合もある。

さて、コピーしたいものは新聞記事ばかりとは限らない。幅が8mmを越える文字や図形などをコピーするときは、グラフィックモードが活躍する。添付のグラフィックプレートでスキャナ部をガイドし、図形上を移動させれば、表やグラフ、イラストや写真などもきれいにコピーできる。書き込みがたくさん入ったスケジュール帳でも必要な日付の部分をまるごと写し取れるし、数学の教科書から重要な図を取って試験直前にちらっと確認、なんてことも可能だ。

ただし、グラフィックモードでの読み取り幅は64mmなので、図形などの1辺はこの長さ収まるものでないと難しい。プレートが原稿の上をすべったりしないようしっかり固定させることも必要だ。印字は、濃淡のはっきりしたものなら新聞写真でも比較的原型に近くコピーできる。

なお、本体には直前にコピーした内容が記憶されており、リピートボタンで繰り返し印字ができる。ただし電源を切った場合は無効。コピー濃度はスイッチ切り換えて2種類選択できる。

充電式電池使用で縦115×横178×厚さ27mm、重量は480g。手帳型ファイルが付属になっている。コピーしたものをスクラップしておける。

(A.I.)



ハンディコピー-Z-HC1

ハンディコピー Z-HC1

29,800円

っていますが、こうしたものもICカードなら簡単にしかも大量に提供できます。国鉄(〇〇旅客鉄道株式会社)の時刻表も載ってしまうのではないのでしょうか。また、この電子手帳の漢字辞書カードは4Mビット(512Kバイト)ですが、これだけあれば、文庫本の1冊は楽に入ってしまう。通勤電車の中で、電子手帳を広げてカーソルキーでページをめくりながら読書をするというのも時間の問題でしょう。

電子手帳は機能としてはポケコンをより

特殊化したものとも考えられます。しかし、こうした製品のほうが一般にわかりやすく、しかも、この製品を見る限りポケコンより、使えそうな気がします。今後、RAMカードやパソコンとのインタフェイスを取り入れれば非常に楽しみな製品でしょう。

電子手帳	PA-7000	19,800円
電訳機カード	PA-7C1	7,000円
漢字辞書カード	PA-7C2	10,000円
通信ケーブル	CE-200L	2,500円
プリンタ	CE-50P	19,800円
カセットセーブレコーダ	CE-152	19,800円

DAT3月2日より ぞくぞく市場へシャープRX-X100/X5

佐藤友彦

オーディオファン待望のDAT(デジタル・オーディオ・テープレコーダ)が、今月2日にシャープ、アイワ、松下の3社より発売が開始された。

このDATは、もうすでに知られているとおり、音をデジタル化し再生することによって限りなく再生音を原音に近づけたのが最大の特徴で、さらに200倍速の高速サーチや番地コード選曲などもできるほか、CDと比較しても録音が可能で、小型・軽量化が今後望めるためにその活用範囲に対する期待は大きい。

シャープから発売されたDAT商品は、組み合わせるシステムを考慮したフルサイズのRX-X100(199,000円、幅430×高さ95×奥行300mm)とミニコンサイズのRX-X5(195,000円、幅330×高さ79×奥行300mm)の2タイプで、基本仕様は同じになっている。

RX-X100/X5ともにモーター部はアルミダイキャストシャーシとDDモーターで構成され、リールモーター2、ドラムモーター、キャブスタンモーター各1の4DDモーターを採用した高機能設計で、サンプリング周波数を4倍のオーバーサンプリングするデジタルフィルターの採用によりノイズを効果的に除去し高域での位相特性、歪特性に優れている。

また、左右独立タイプA/D、D/Aコンバータやデジタル信号LSI、サーボLSIなどのデジタル回路部は、ひとつのマスタクロックで行っているために、2系統以上のクロック干渉によるビートの発生を防ぐ工夫がされているほか、広帯域光ファイバーによるオプティカル伝送は、信号経路が電氣的に完全分離でき、干渉のない高音質を実現している。

操作上の機能特性としては、再生時に好みの曲順で演奏できる30曲ランダムプログラム選曲機能や200倍速高速選曲機能、聴きながら曲を捜せるモニターサーチ機能、全曲あるいはプログラム選曲した曲の繰り返し演奏機能などDAT商品ならではの操作性を備えている。このほか細かい機能特性については表1の仕様表にまとめておくので参考にしたい。

この3月2日には、シャープのRXシリーズ

ズ2タイプのほかに、アイワから据置型のXD-001(188,000円)、松下からはSV-D100(198,000円)が同時発売され、さらにこれを追従するかたちで3月23日にソニーのCTC-1000ES(200,000円)と日立のDAT-9000(189,000円)が、そして4月1日に東芝からXC-1000DT(198,000円)も登場する。これらハードメーカーの製品発売に伴い、DAT対応テープ「Dカセット」もアイワ、ソニー、TDK、富士フイルムなどから発売が開始されている。

ここで気になるのがDカセットの価格構成だが、いまのところ46分用1,200円から120分用2,000円といったところが標準小売価格となっている。しかし、今後の生産ラインの拡充により、価格の低下と品揃えの充実は望めそうだ。

ただし、今回のこれらDAT商品の発売は、コピーソフトをめぐる欧米の反対によって国内限定されたものであり、またCDプレーヤーからの直接録音ができないなど、一定レベル枠のなかでの見切り発車の色合いは強いが、今後これらアナログからデジタルへと音だけにこだわらず、このあとにも登場してくるであろうニューメディア商品には注目しておきたい。

表1 RX-X100/X5仕様表

形 式	回転ヘッド式デジタルオーディオテープレコーダ
カセットテープ	DAT 懸設会標準仕様テープ
	寸法: 75×54×10.5mm
チャンネル数	2チャンネル
サンプリング周波数	48kHz(録音・再生), 44.1kHz(再生)
量子化	16ビット直線
テープスピード	8.15mm/s
記録スピード	3.133m/s
記録方式	ヘリカル2ヘッドアジマス方式
ドラム径	30φ
ドラム回転数	2000rpm
記録時間	120分
ヘッド	録音/再生ヘッド × 2
モーター	リールモーター × 1
	ドラムモーター × 1
	キャブスタンモーター × 1
	ローディングモーター × 2
カセットローディング	フロントローディング方式
入力端子	アナログ入力(LINE IN) × 2, 300mV 50KΩ
	デジタル入力(光入力端子) × 1
出力端子	アナログ出力(LINE OUT)
	固定出力 × 2, 2V 50KΩ
	可変出力 × 2, 0~2V 50KΩ
	デジタル出力(光出力端子) × 1
	ヘッドホン × 1, 8Ω
録再周波数特性	5~22,000Hz(±0.5dB), fs=48kHz
再生周波数特性	5~20,000Hz(±0.5dB), fs=44.1kHz
録歪率	0.005%
録再S/N	92dB
録再セパレーション	90dB
早送り時間	60秒以内
巻戻し時間	60秒以内
電源	100V, 50/60Hz
消費電力	27W
寸法	430(幅)×95(高さ)×300(奥行): RX-X100
	330(幅)×79(高さ)×300(奥行): RX-X5



シャープRX-X100

◆Between The Lines No6「ニーモニックの"進化"を考える」を読んで、なるほどと思いました。たしかにアセンブリ言語とオブジェクトが1対1で対応しているほうがアセンブラにとっては簡単ですね。昔のインテルの技術者にも、それなりの事情があったわけです。今日のユーザーにとってはザイログのほうが断然覚えやすいですけど。それにしても、高価なメモリの節約のためにニーモニックとマシン語が1対1に対応するアセンブラを作るなんて、涙ぐましい努力をしてくれたんですねあ……。頭が下がりますよ。

宮下 建 (17) 神奈川県

現在と比べてはるかに限定された枠の中で、当時の技術者たちはがんばってたんですね。

◆某ラジオ局でやっているパソコンアタッククラブの司会者は、シャープのライバル会社のまわし者みたいなとんでもない野郎で、X 68000が某98よりボロいようなことをいってシャープユーザーの激増を阻止しようとしています。Oh! MZ編集室の誰かを刺客として送ってください、お願い!

峰田 達也 (18) 静岡県

なんの、そのくらいでX 68000に託された夢が阻害されるはずはありません、ご安心を。

◆なにを隠そう私はシャープの株主なのです。だから毎年2回、配当金なるものをもらっているのですが、浪人の身ゆえ貧乏なのでもっとたくさんほしい。そこで、Oh! MZでシャープを盛り上げて売り上げを伸ばしてあげましょう。X 68000がシェアのトップに立てれば売り上げ倍増まちがいなし! すると配当も増えるという寸法で……。

大川 純央 (19) 熊本県

金利最低で株式ブームとは聞いてますが、受験生が実践してるとは知らなかったな。

◆世の中には全自動カメラなるものがあり、シャ

ッターを押すだけであとは全部自動的に操作されます。便利なのですが、裏を返せば人間はシャッターを押すことしかできないのであります。ほかの制御を自分でやりたいと思ってやらせてもらえないわけです。これは人間疎外ではないでしょうか? 機械文明の本性のようでもありますね。だから僕は全自動カメラは嫌いです。

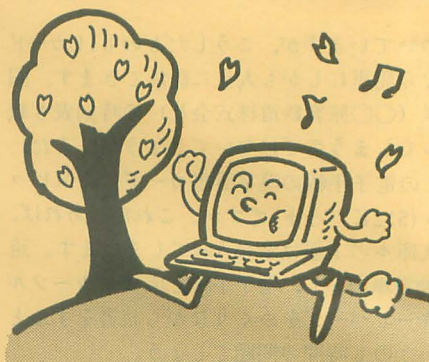
野網 国昭 (19) 石川県

機械化による疎外は古くて新しい問題ですね。

この世で最も優れたメカニズムのひとつである頭脳を、私たちはもっと誇っていいと思う。

◆新しいアルファベット。AEHIJLMNPQRVWXCSDFGTURBO II III Z。Yはありません、あしからず。

伊藤 嘉信 (16) 愛知県



FROM READERS TO THE EDITOR

寒さもかなり緩んできました。年度の変わり目はいつもあわただしいですね。最近の話題は過激な事件が不景気な話と相

場が決まっているようだし。だから今月もOh! MZでいい気分になりましょう。今回のテーマはYear of Games。

ABCの歌も新しく作らなくっちゃ。

◆シャープに要望がある。MZ-2500のIOCS, X1 turboのBIOS, X 68000のROMなどはとてもよい概念だと思う。ここでもう少しこれを進めて、辞書(英和・国語・漢和)や地図(世界・日本)などの共通化をしてほしい。プログラムを作っているときに辞書や地図がデータ化してあったらずいぶん便利だろうと思いませんか?

佐藤 啓之 (18) 宮城県

表記のしかたがくい違ってしまいうこともなくなるし。便利でしょうね。

◆2月号P.137の勘山君! エルガイムは総集編としてバンダイのエモーションから発売中だよーん。それから、ハヤカワ文庫SFの『宇宙の戦士』も面白い。世の中、面白いものでいっぱいだ。

桜井 和樹 (17) 東京都

STUDIO MZ情報コーナーでした。

◆Oh! MZを知って8カ月。他の雑誌と貴誌とを比べて感じたことは、Oh! MZは読む側の人間の感性を刺激するという事です。今後も他誌には見られないような記事を頼みます。

加藤 大志朗 (22) 愛知県

任せてください。感性への扉——Oh! MZ, なんちゃって。

◆ついに買ったX1 turboZ。まだ届いてないけど。思えば苦節10年、というのはいちとオーバーかもしれないけど、X1を買って喜んでたのも束の間、CだDだEだFだGだturboだturbo IIだturbo IIIだと、どんどん追い越されていったのです。しかしこれでブッチギリたぜ。フハハハハと笑いがこみ上げてくる。フハハハハ。

松井 宏之 (30) 東京都

えっ、X1 Eってありましたっけ?

◆去る1月7日にX1 turbo model 10を買いました。なにをいまさら10なんてとおっしゃるでしょうが、「金」がないんですからしかたないでしょう。あーた。ディスプレイ? とんでもない! 家庭用テレビですよ。RFコンバータを秋葉原じゅう探しまわりました……いま、めくらプログラミングしています。

野沢 耕嗣 (16) 千葉県

いずれすごいプログラムになって実が結ぶことを期待しています。

◆(N)さんへ。ネスルも同じようなことをやりました。乳製品の「ニド」が「ブライト」と同じ植物性の「ニド」に、なんの断りもなく変更されたのです。それ以来、私のコーヒーにはクリームが入りません。宮城 照彦 (39) 千葉県

消費者も(N)氏も敵にまわすと怖いんです。

◆僕の学校では毎年11月に31kmの耐久マラソンが行われますが、ことごとくテスト前に発行されるOh! MZのほうがよくばど忍耐力をつけるのに役立ちます。斎藤 国博 (16) 茨城県

プログラミングに汗水を流すと体力も向上する、という噂もあります。

◆仏教学部出身の私としては、うちのマシンに曼陀羅を表現させることが夢なのである。そのためには、まず自分の精神を鍛えなければと思い、朝5時に起きて座禅を組むはずであったが、3日坊主ならぬ1日坊主で終わってしまった。うーむ、悟りへの道はまだまだ遠い。

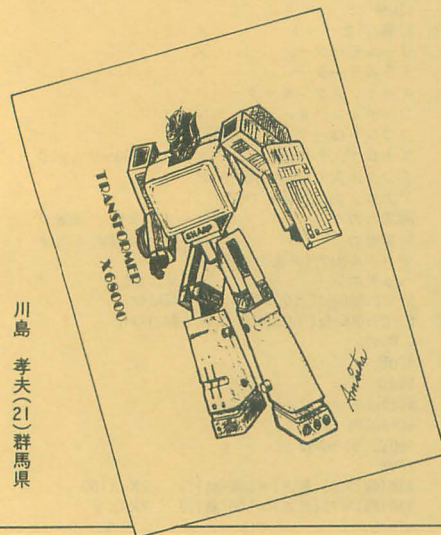
榊原 達也 (24) 東京都

Oh! MZで精神が鍛えられるという読者もいるようですよ。

◆MZ-2520はなぜデータレコーダを取ったのか。やはりMZ-2500シリーズは3.5インチディスクとデータレコーダがなければ、と思うのは私だけでしょか。ところで話は変わりますが、Fuzzy BASICにTIME機能を付けました。ストップウォッチと時間表示ですが、MZ-2500上でしか動きません。昌子 智由 (21) 秋田県

コストダウンして機能も大幅ダウン、なんて正統派からはずれますよね。あなたのSuper MZは活躍するようになにより。

◆僕は、高校受験の願書を出しに行った帰りにゲームセンターに寄り、OUTRUNをしてJ&Pに足を運び、X 68000をためして帰った強者である。それにしても、どうしてシャープとOh! MZはこんな時期に、僕たち受験生に試練を与えるのですか。X1 turboとX 68000がほしい。誰か買ってちょうだい。高木 智之 (15) 神奈川県



川島 孝夫 (21) 群馬県

強者といえどスーパーニューマシンの魅力には抵抗できません。

◆ほんとうの意味でコンピュータが面白くなってくるのは、どうやらマシン語を習得したときからのようです。MZ-2000 のときは途中でやめてしまったけど、S-OSのおかげで助かりました。そろそろ私も10代卒業が近くなってきたので、なにに成果を上げたいと思います。ですから今後も一層Oh! MZは必需品になるでしょう。いつか恩返しをしなければなりませんね。

猪口 正樹 (18) 佐賀県

そうやってS-OSなどを盛り上げてくれればとても嬉しいです。

◆現在の最高値は0.475秒/回。X1 turboになると0.13秒/回。これは僕の作ったタテスクロールのスピードです。turboで2画面つなげると、400ライン2ドットスクロールで0.2725秒/回。これは7~7ドット間隔でスクロールします。もっと速くできるなら教えてください。

鈴木 規之 (20) 和歌山県

たぶんほとんど最高速だろうとのこと。

◆PC-1246にACアダプタを取り付けました。だってあまりにも電池の寿命が短い。え、取り換えるたびに千円もかかるんです。だから意地で作りました。途中、何度か配線をまちがえてショートさせ、火花を見物できましたが、ポケコンはまだ生きています。アダプタ800円+コネクタ130円で計930円。ポケコンが壊れてもいい人はやってみてください。楽しめますよ。

岩谷 沢男 (18) 長野県

うーん、火花を散らせるのも面白そうだけどポケコンが壊れるのは避けたいし……。

◆僕は大学の数学嫌いです。コンピュータも、1つひとつの命令の積み重ねによって大きな仕事をする、という論理的なところが数学と共通しておりやはり苦手。しかし決して嫌いではない。早く上手に使いこなせるようになりたい。

野口 泰英 (16) 東京都

1つひとつ経験を積んでいけばきっと使いこなせるようになります。

◆世界中でシャープにしか作れないもの。ポケコンテレビ。今年こそ見たいものです。スーパーインボーズ機能のあるポケコンは、他のメーカーにはできません。ついでに裏ぶたを開けるとヘッドホンステレオになってたら嬉しいと思う。

土居 秀二 (23) 京都府

ここまでくればパーフェクト、なんてね。

◆有田氏の「お茶目な計算機たち」を毎月楽しく読んでいます。今後も一層の充実を。

栗山 敬 (31) 茨城県

約束します。応援ありがとうございます。

◆初めまして。学校でFORTRANをやるのでパソコンを買おうかと思っていたら、友人の強引なすすめがあって、X1 turbo IIIを買ってしまいました。しかし、いまではこれを買ってよかったと思っています。なにせOSが安い。9,800円でCP/Mが買えるハードがほかにあるだろうか。勉強するならX1、と僕は主張したい。

川又 隆司 (16) 大阪府

ハイコストパフォーマンスはX1 turbo IIIのうたい文句ですからね。

◆人間の欲望というのは恐ろしいものです。僕は

いちばん最初にMZ-700を買いました。しばらく使ってグラフィックができないと知りMZ-1500がほしくなりました。ここまではまだよかったのです。しかしまもなくMZ-1500にも不満を持ちはじめ、とうとうX1がほしくなり、現在X1 Fを使っています。で、こんどはX1 turboがほしくなっちゃって……なんという贅沢者でしょう。きりがありません。こんなまねはするべきではありません。自分のマシンはやはり大切にすべきだと思います。

佐藤 哲栄 (18) 新潟県

贅沢かどうかは、それぞれのマシンをどれくらい使いこなしたかによるとと思います。

◆順調に制作されつつあるという噂のS-OS ノンフィクションテキストアドベンチャー。その筋からの情報によると、タイトルは「X 68000 伝説——消えた128 KROM」だそうです。

西井 貴 (22) 三重県

果たして真相はいかに？

◆昔、松本零士はなんでも飛ばせばいいと思っていた。いま、小松左京はなんでも消せばいいと思っているらしい。

町田 智朗 (18) 東京都

私はそれを見て楽しんでいればいいと思ってるんですが……。

◆私はこの4年間、マイコンというものを独学してきました。中学1年の冬にMSXを買い、BASICでキャラクタエディタなるものを作って楽しみ、昨年にはX1 turbo IIを買いました。そしてOh! MZとの出会い。いま、とっても充実しています。

増田 泰之 (16) 兵庫県

自信を持ってそういえるのは素晴らしいことですね。

◆僕はMZ-2000を持つ清く正しい浪人生です。僕のコンピュータ人生はMZに始まりMZに終わります。X 68000がなんだったというんだ。われわれMZ党はMZ-80000の登場を待ちましょう。もちろんこのマシンもマイナー機種になります。だからMZなんです。こんな性格だからMZ党には浪人生が多いのかな？

高橋 勉 (18) 福岡県

そういう性格だからMZ党は強いんですね。

◆たとえ受験生でもOh! MZだけは買ってしまう。あーあ、また、3時間はつぶれそうです。

井上 寧 (18) 東京都

つぶしただけの成果はあったでしょ？

◆目次の右上にMC 68000がいつ載るのかと毎月待っています。世の中にはこんなにも多種類のCPUがあるんだなとつくづく思います。

宮崎 剛 (15) 神奈川県

数あるプロセッシングユニットの中でも68000は一段と輝いて……。今月号の目次を見てね。

◆うちの犬の名前が「ホンニャア」になってしまいました。いまでは鳴き声も猫のようにニャアニャアしています。おかげで近所の猫たちからかわれてかわいそうです。どうかうちの「ホンニャア」をなくさず育ててください。

佐々木 知美 (14) 青森県

「ホンニャア」君、犬としての誇りを忘れずに生きるんだよ。

◆今回はがっかりです。なにがって、Oh! MZを開くと出る音のこと。内容のことじゃありませんよ。僕は今まで、本を開くときの「パリパリ」という音が好きで好きでたまりませんでした。それが2月号になったらしい。僕の本だけでしょ



山崎 潤 (17) 福島県

か。できればこの音を続けてください。……あってもだんだん音がしてきたみたい。

八木 治徳 (14) 千葉県

製本に関するご要望にも極力お応えするつもりですが、「パリパリ」ですか、うーん、薄焼きせんべいでもとじ込みにしようかなあ。

◆友人に、「X1 turboZを買うつもりなら、いまのうちからOh! MZを買っておくべきだ。将来、必ず役に立つぞ」といわれ、今年の1月号から買い始めた。しかし記事の多くが理解不能である。うーん、勉強しなくてはいけないな。

小竹 卓政 (18) 岐阜県

がんばれば理解できるようになりますよ。

◆進化電卓PA-150を見て私はあせった。1986年10月号の「電卓プログラムである」みたいな仕様の製品が発売されるのも近いかもしれない。やはりOh! MZはメーカーの製品開発にも影響力を持つんですね。さすがだなと思います。

酒井 勝 (17) 群馬県

Oh! MZを通して読者の皆さんが示す要望も力をふるいますよ。

◆読者の皆さんの中にはX 68000 IIだのX 68030だのをほしがる方もいらっしゃるが、金のない人は別にして、資金のある人はX 68000を買うべきである。バージョンアップの心配だったら大丈夫、これ以上のおまけはカラーイメージユニットだけ。X1 turboのデジタルテロップのようになくても困らない。だからの安くなるのを待ってたりしないで、皆さんX 68000を買きましょう。そうじゃないとシェアで勝てないよ。

山崎 一茂 (17) 北海道

大丈夫、X 68000のすごさを知ってじっとしている人なんかいないでしょう。

◆X 68000がほしいよー、あの斬新なスタイル、見ているだけで泣けてくる。ほしいよー。

中川 比呂志 (15) 東京都

という読者の切実な声がたくさん寄せられました。

◆2月号のX 68000特別レポート、20回読み返してもまだ飽きません。まったくすごい。

天野 哲生 (27) 千葉県

これからもどんどんレポートしますのでお楽しみに。

◆1月24日にハドソン主催のX 68000発表展示会なるものを見ました。いまでは数カ月にわた

◆今年については。お年玉宝くじでビデオが当たった。けど入試を控えていてあまり遊べない。試験が全部終わったら、いままでやりたかったゲームを一気に消化しようと思う。

岩本 敬 (15) 滋賀県

◆たしかにX1のFM音源のシンセドラムははずい。それから「影の伝説」のシンセドラムもよくない。僕は思わずコケた。だけど「夢幻戦士ヴァリス」はいい！ステレオだし、88版には勝ってる。10面クリアもできたし。「OGRE BATTEL」と「SMILE FOR MISS BLUE」が好き。ウィザードリィIIのKOD'S GUNTLETはすごい。使ったらTILT WAITだもん。使ったことないけど。なにはともあれ、ゲームだけはやめられない。

中馬 高嶺 (16) 兵庫県

◆2人目の子供が生まれました。名前は鉄兵です。奥さんが実家に戻っているで、現在花の独身生活。修理に出していたモニタもやっと戻ってきて、早速いこに借りた「夢幻の心臓II」をやっています。でもザナドゥに比べると、やはりところどころに不満がありますね。特に、キャラクターのステータスなどはもっと簡単に見たいです。

桜田 雅徳 (29) 北海道

◆卒業試験が近いのに、ウィバーンと殺人倶楽部を買ってしまった。どうしよう。

河合 逸人 (22) 愛知県

◆僕はパソコンが好きだ。→プログラマになりたい。→プログラミングを勉強せねば。→めんどうくさい、この次にしよう。→ゲームを取り出してくる。→面白い。→しかしむなしい。

米山 公一郎 (14) 東京都

◆X68000でなぜスペースハリアーがまだ出ないのかわかったぞ。もうそろそろどこかのソフトハウスが「移植開始」と宣言してもいいころだと思うのに（われながらずいぶん勝手なことっているなあ）、しかしその気配もないのは、おそらくX68000の数ある端子の中でもX端子といわれている（えっ、誰もいってない？）立体視端子を使って

「3Dスペースハリアー」にしたいからだろう。僕はディスク2枚でもメモリが足りるかどうが怪しいと思う。しかし、もし完成したら……うわあ、スケイラにキスされたあ、わーっアイダに頭突きされる。わああああ……。

有村 克彦 (18) 埼玉県

◆ウィザードリィでLOSTしたキャラクターは、KILLしたファイルのように強引に復活させられないでしょうか？EXPが3,500,000のG-LOR、G-SAM、G-NIN、G-BISなど手塩にかけたキャラクターがとても惜しいのですが……。

村田 肇 (19) 新潟県

◆フッフッフ、私はゲームをやっている成績が下がるという親の考えを砕いてやった。というのは、テストで1学年600人中100番以内に入っていたら猫を飼ってもよいという約束をとリつけ、みごと62番をとったことだ。テストの3日くらい前からザナドゥIIに燃えていたのだが、結果はごらんのとおりの好成绩。バンザイ。猫は飼えるし小遣いはアップするし、やってやれないことはないとわかったハッピーなできごとでした。

野沢 敏宏 (13) 富山県

◆唐突だが、ウィザードリィシナリオIIは簡単すぎる。私は9時間30分くらいで終わってしまった。あれでどうして前作より難しいといえるのであろうか。夢幻戦士ヴァリスもだ。広いだけで隠れ面など探せやしないし、まともに進めばすぐに終わってしまう。私の所要時間は8時間ほどだった。しかしロマンシアは難しい。なにしろゲーム中にヒントがない。あれでは自分が次になにをすればいいのかわからない。なにが弟をもとに戻してほしいだ。たったそれだけであとはノーヒントじゃわけわからんだろう！腹たつなあ、誰かヒントおくれ。話は変わるが「大戦略X1」はなかなかよい。しかしマップが小さい気がする。せめて98と同じくらい大きければなあ。それに敵の数もひとりじゃつまらない。今回は98並みに4人くらいにしてほしい。

後藤 秀俊 (16) 福岡県

◆三国志を6年で全国制覇した私にとって、ウィザードリィIIは敵ではなかった。Level 32〜50のパーティーには敵などない。ところで、ザナドゥシナリオIIが終わらないきみ、Elixerを山のよう買いなさい。場所は、ほらジャンプすればわかるよ。これで針山が楽しくなるはずだ。

華表 芳暁 (20) 福岡県

◆なんと！ナムコの「リブル・ラブル」は68000を使っているのだ。でも僕は、タイトーの「バブル・ポブル」のほうがやってみたいと思うのであった。ポポポポ……ドリューン！

山本 伸明 (15) 北海道

◆ダンジョン&ドラゴンズとウィザードリィを足して2で割ったようなRPGをSWORD上で制作中です。ただ勉強のほうも忙しくて。

奥田 健児 (17) 神奈川県

◆ただいま、「Zガンダム」というシミュレーションゲームを作っています。半分くらいできんですが、BASICなのでPCGとグラフィックの合わせ方がうまくいかず、あまりスピードが出ません。どなたかよい方法ご存じないですか。

広瀬 清治 (16) 岡山県

◆X68000で終天然色・立体視のAVG(アダルトビデオゲーム)が出るかしら？音声はADPCMで。あぶなあい……。これがスプライトで動いたらどうしようかなあ……。うん、買おっと。

湯澤 聡 (24) 埼玉県

◆僕の新作SPACE BLUSTER FZはいかがだろうか。どうもMZ-700らしくないきれいな画面のゲームになってしまって、MZ-700の伝説を壊しているみたいだ。真のMZ-700の時代はこれからだと思う。まだまだ底知れぬ力を秘めているのだ。tiny XEVIOUSやSPACE BLUSTER FZは、それを証明する先陣を切ったかもしれないが、しかし一部にすぎない。大事なのはグラフィックやサウンドではない。マシンを最大限に活用できるかどうかは、やはりユーザーの心次第という気がする。みんなでがんばりましょう。古旗 一浩 (17) 長野県

ってOh!MZで紹介されてきた機能を、あらためて自分の目で見てきました。電源スイッチを切ると画面がだんだん暗くなって、やがてぶつんと切れるのには大感動。グラフィクスもすこかったです。

渡部 校 (17) 北海道

実物を目のあたりにしてそのすごさが直に伝わったことでしょね。

◆私は、大学の授業で週に1度実験をやっているんですが、その題目に68000を用いた計算機の実験があります。これにより、3週間（つまり3日）で68000の基本的なオペレーションから割り込みを用いるプログラムまでを学習することになるわけ。そこにX68000登場！もう68000のアセンブラにも慣れましたから、いつまでもOKです。

加藤 健 (21) 神奈川県

タイムリーな登場だったわけですね。

◆友人の話によると、BASICで書いたプログラムをそのままマシン語に変えてくれるようなものがあるそうですが、それはどのようなものなのでしょうか。ぜひ教えてください。

昼間 敦史 (14) 埼玉県

BASICコンパイラは、BASICで書かれたプ

ログラム全体をマシン語に直して実行します。そのことではないですか？

◆「うる星やつら」が終わってしまった。ふり返れば「うる星」には思い出がたくさんある。隠れファンのつもりだったのに、ひょんなことから学校のクラブのメンバーがほとんど全員ファンだったことがわかって大笑いしたこともあったっけ。あれがいちばん傑作な思い出かなあ。

金子 明人 (15) 長野県

1週間の楽しみがひとつ減ってしまった……。

◆俺の青春とはなんだ？ラムさんではないかな、なぜなんだ！どうして「うる星やつら」の連載が終わらなければならなかったのか？昭和53年、少年サンデー39号に載った第1回から62年8号の最終回まで、その間約9年。僕は、生まれてから今日に至る人生の半分以上を「うる星やつら」と共に生きてきた。それなのに！TVアニメの終了はしかたないにしても、雑誌連載まで終わってしまうとは……。祭りの終わったあとのような、いいようのない寂しさが残る。

田中 正志 (18) 千葉県

ラムちゃんも9年の間に一段とチャージング

になったというのに。ほんとに残念。

◆なぜこうもSuperMZシリーズはソフトが少ないんでしょう。ハードは完璧だと思わすけどねえ……。なんか難点でもあるのでしょうか？これでは宝の持ちぐされではなく、宝が砂の中に沈んでいくのを指をくわえて見ていなくちゃならない気分で、なんともくやしい、ああ……。

飯田 武志 (18) 大阪府

世の中には少数精鋭という言葉もあるけど、ソフトはぜひ多数精鋭を願いたいですね。

◆ソフトメーカーさんに紙面を借りてひとこと。MZ-2500のソフトをもっと出してほしい。移植版なら「画面もスムーズスクロール」とか、「もちろん256色対応」なんてしてくれないの。キーの反応が良くて、画面がブレなくて、ディスクアクセスが速ければ、一応「うん！」とうなずける。それでたまに、ドローンとやたら凝ったものを作れば、さすがはSuperMZとなるわけだ。頼りにしてますよ、ソフトメーカー諸氏！

福地 敏男 (19) 北海道

ほんとに、声を大にして頼みたいですね。

◆満里奈のイベントの申し込みハガキをOh!MZ

編集室の名前で出しておきました。@さん、もし当たったらプレゼントください。

熊岡 忍 (18) 北海道

当たってました。けど申し込んだ人がわからず、結局その席は当日空席だったようです。

◆2月号P.182の池澄さんのいいことは、スペースがひとつあいてリターンはしない、ということですか？もしそうなら、これはBASICではなくハードの問題ですよ。キーの[1]と[2]、それからリターンとスペースはキーマトリクス上並列の位置にあります。だから他の[A]、[B]や[F2]、[F3]でも同じことが起こるはずですよ。

出羽 克康 (16) 宮城県

たしかにハードの構造上見られることでした。報告ありがとうございます。

◆大学入試直前という時期でも、Oh!MZは容赦なく発売されるんですね。2月号を買ったときは、1日中まったく勉強が手につかない日を送ってしまいました。このふんどし、1年後も同じことを繰り返してしまうかも……。

堀口 隆士 (18) 埼玉県

ぜひ、春にはにこやかにOh!MZが読めることをお祈りします。

◆不覚! X 68000のOSがあんなに素晴らしい性能を持っているとは知らなかった。うーむ、このまゝいって大学に受からなかったらどうしよう。困ったなあ。 愛沢 太郎 (18) 東京都

受験生たちの嬉しい(?)悲鳴がたくさん寄せられました。X 68000でこんなところで罪つくりしてなんですね。

◆X 68000はホビーマシンだ! どこぞの雑誌でグラフィックもサウンドも必要だろうかなどといったが、16ビット=ビジネスという考え方はやめろ! うーん、スッキリした。

大平 康夫 (18) 岐阜県

目的を選ぶのはマシンとユーザー。高機能=個人ユースをX 68000はよくわかっています。

◆X 68000に関することなら決死の覚悟で読みますから、どんどん詳しい情報を載せてくださいな。

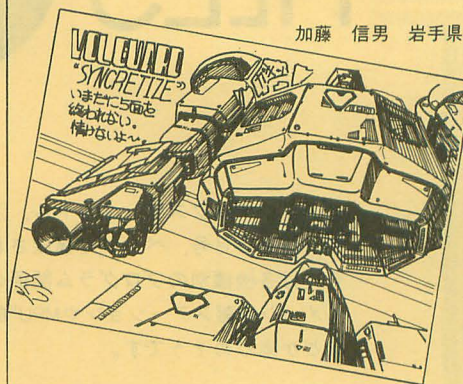
藤本 修一 (28) 大阪府

スタッフも眉毛一直線になって情報を届けますのでよろしく。

◆うちの奥さんはたいへん理解のあるいい奥さんです。わが家にはX1turbo、PC-8801mkII、MSX、ビデオ2台、レーザーディスク、サラウンドTV、ミニコンボがあります。私などは恵まれているほうでしょう。奥さんに感謝しています。ところで本音をいわせてもらえば、これだけ揃えるのにどれだけ努力したと思います? 一生懸命小遣いをためて資金をつくったんですよ。でもまあ、これだけおだてておけば次はX 68000かな。

祐成 好規 (26) 東京都

いいですね。X 68000買ってもひとり占めし



加藤 信男 岩手県

ちゃいけませんよ。

◆近頃のパソコンはAVなどと騒いでいるが、それはまちがいだと思う。たかがビデオ出力端子ひとつでいっぱい、サウンド出力端子でオーディオ気取りだったり。オーディオビジュアルと銘打つなら、せめてアンプ機能やADPCMくらい付けてほしい。寄せ集めの高機能で8ビットの最強マシンを名乗るのもおかしいと思う。業界で唯一とつQD搭載機であるMZ-1500のように、個性的にはなれないものだろうか。

上野 壮也 (15) 大阪府

そんなマシンの個性を伸ばすのもユーザー次第だと思います。

ぼくらの掲示板

- 掲載ご希望の方は、官製ハガキに項目(売る・買う・氏名・年齢・連絡方法……)を明記してお申し込みください。
- ソフトの売買、交換については、いっさい掲載できません。
- 取り引きについては当編集室では責任を負いかねます。
- 応募者多数の場合、掲載できない場合もあります。

仲間

★X1をお持ちで福岡県南部に住んでる方、皆さん集まってクラブでも作りましょう! 連絡を待っています。☎839-02 福岡県山門郡大和町谷垣 高口長三 (28)

★MZ-700/1500ユーザーの皆さん、一緒にMZ-700 GAME クラブを作りませんか。ゲームの好きな人、手紙ください。みんなでMZのゲームを盛り上げましょう。☎328 栃木県栃木市倭町7-23 木村直也 (14)

★「くらぶX1」では、現在X1/X1turbo ユーザーの会員を募集中。毎月の会報発行を中心に、AV・ビデオゲームなども含めた情報交換、ソフト共同開発など広範囲にわたる多彩な活動を予定しています。詳しくは60円切手、あるいは会報がほしい場合は150円分の切手を同封して連絡を。☎679-41 兵庫県竜野市揖西町中垣内51-4 島津俊吾 (18)

★「S.P.C」ではX1、MZ、PC、FMユーザーを対象に現在会員を募集中。おもにS-OS、C-GRACEをやり、2カ月に1回会報を発行します。資料ご希望の方は60円切手同封のうえご連絡ください。女性の方大歓迎。☎036 青森県弘前市東城北1-6-3 菊地 淳 (16)

★「くらぶP・M・X」ではMZ-2500、PC-8801シリーズ、MSXのユーザーを募集中。活動はおもにプログラム講座や情報交換ですが、要望があればどんどん採り入れる予定。現在はコンピュー

タミュージックにも凝っています。入ってもいいと思う人は、60円切手同封のうえ連絡ください。☎015-04 秋田県田代郡仁賀保町平沢清水50-8 佐々木和徳 (17)

売ります

★プリンタCZ-8PN1を6万円で。マニュアル、箱、リボン2本、ケーブル付き。連絡は往復ハガキで。☎319-01 茨城県東茨城郡美野里町羽鳥2735 酒井良史 (16)

★プリンタVP-130Kをケーブル、X1用カセット、マニュアル、箱付きで5万円前後にて。また、X1turbo用データレコーダCZ-8RL1を1万円で。付属品一式付き。往復ハガキで連絡ください。☎520 滋賀県大津市石山寺2-6-9 那須大城 (17)

★RS-232C/FMZ-8B103を2万5千円、RS-232CケーブルMZ-8BC03を5千円、カプラMB27702を3万円、ジョイスティックMZ-1X03を1,500円で。すべて美品です。連絡は往復ハガキで。☎097 北海道稚内市緑4-10-40 浅利 純 (16)

★プリンタCZ-81PRを送料共4千円で。新品同様。往復ハガキで連絡を。☎771-02 徳島県板野郡松茂町広島宇宮ノ後九 岩浅哲也 (18)

★CZ-502F+インタフェイスを送料込5万2千円で。また漢字ROMCZ-8BK2、X1用I/Oポートをそれぞれ送料込7千円で。すべて完動品、目立つキズありません。連絡はハガキで願

います。☎798-41 愛媛県南宇和郡御荘町平城幸崎達哉 (16)

買います

★X1用EMMボードのBM-1000(デジック)を4万5千円で。またCZ-8BE2を1万2千円で。完動品に限りますが、マニュアル、箱の有無は問いません。往復ハガキで連絡ください。☎363 埼玉県桶川市上日出谷1322-19 秋山達雄 (18)

★MZ-80Bに関連するハード、書籍など譲ってくださる方はハガキに希望価格を記して連絡ください。送料はこちらで負担。☎196 東京都昭島市玉川町4-6-2 第2レポーズ202号 本多英昭 (28)

★X1/X1turbo用のマウスを8千円くらいで譲ってください。往復ハガキで連絡願います。☎791-31 愛媛県伊予郡松前町上高柳228-3 藤田真也 (18)

★MZ-1500用データレコーダを送料込5千円で。ハガキにて連絡を。☎822-01 福岡県鞍手郡宮田町飯之倉105 入江崇博 (16)

バックナンバー

★1985年6月~12月号を送料込各1,500円で。ハガキにて連絡を。☎173 東京都板橋区中板橋橋26-6 榊 利夫 (30)

★1985年6月~11月号を送料込各千円で。ハガキにて至急連絡を。☎562 大阪府箕面市箕面4-5-13 長屋和也 (17)

FILES Oh! MZ

このインデックスは、タイトル、注記——筆者名、誌名、月号、ページで構成されています。今月は各機種別のプログラム関係の記事よりも、イメージ情報ステーションやMPU“68000”の記事などが楽しめそうです。

参考書籍

I/O 工学社

ASCII アスキー

The BASIC 技術評論社

テクノポリス 徳間書店

Beep 日本ソフトバンク

POPCOM 小学館

マイコン 電波新聞社

マイコン BASIC Magazine 電波新聞社

LOGIN アスキー



今月紹介するのはちょっと変わった往復書簡集です。どう変わっているかというと、紙に書かれた手紙ではなく、パソコン通信によって交わされた電子メールの記録だからなのです。手紙をやりとりしたのは、著名なSF作家のアーサー・C・クラークと、映画監督で脚本家でもあるピーター・ハイアムズです。

ことの起りは、ハイアムズがクラークの「2010年宇宙の旅」の映画化を引き受けたことに始まります。映画の制作は主に米国ロサンゼルスで行われたのですが、それに対してクラークは当時（現在も）スリランカに在住しており、両者はほとんど地球の反対側に位置していることになったのです。そこで時差のわずらわしさから逃れ、なおかつ迅速に連絡を取り合うためにパソコン通信が使われることになったのです。通信内容は撮影セットに関する質問やアドバイス、配役の報告、そして映画と直接関係のない世間話などとなっています。この本はパソコン通信の可能性を知らせてくれるとともに、映画制作の内側と、それにかかわる人々の情熱も伝わってきます。SF（と映画の）ファンにお勧めです。（T）

オデッセイ・ファイル

アーサー・C・クラーク/ピーター・ハイアムズ著

パーソナルメディア株式会社刊

A 5判 168ページ 1,400円 03(495)6241

一般

▶らんだむふあいる MZ情報 MZ-I V01

シャープはファクシミリ、コピー、スキャナ、プリンタの1台4役の機能を備え、パソコンと接続して使用できるMZ-I V01を発売した。——編集部, POPCOM, 3月号, 135 p.

▶New Products イメージ情報ステーション MZ-I V01

ファクシミリ、コピー、スキャナ、プリンタの1台4役の機能を備えたMZ-I V01が発売された。——編集部, I/O, 3月号, 238 p.

▶最新情報ネットワーク MZ-I V01

多様化されてきた情報をパソコンと接続することで、自由に入・出力することができる情報ステーションMZ-I V01が発売された。——編集部, マイコン, 3月号, 178-179 pp.

▶68000ってなんだ? 68000はスーパー・マイクロプロセッサだ!

話題のMPU“68000”について、誕生から現在までの歴史、機能の概略、今後の発展性などを研究する。——編集部, POPCOM, 3月号, 142-143 pp.

▶68000ってなんだ? 個性豊かな米国の68000マシン

新御三家といわれるMacPlus, ATARI ST, AMIGAについて、その魅力を探る。——編集部, POPCOM, 3月号, 150-153 pp.

▶68000ってなんだ? これが68000の情報源だ

68000とはいったいなものであるのかを詳細に論じた書籍を詳解する。——編集部, POPCOM, 3月号, 154-155 pp.

▶最新マイコン用語活用マニュアル

マイコン用語のランダムアクセスファイルです。——編集部, マイコン, 3月号, 別冊付録3-36 pp.

▶パソコン入門 ディスプレイの基礎知識

パソコン用ディスプレイ入門基礎知識ともいうべき点を取り上げる。——新井博, マイコン, 3月号, 380-384 pp.

▶マシン語入門教室

交換命令, PUSH・POP命令について。——編集部, テクノポリス, 3月号, 123-128 pp.

MZ-80K/C/1200/700/1500

MZ-80 K/C/1200/700/1500

▶Mad Robot

ビームをロボットに当てて、外周へ追い出せ。——渡辺高嗣, マイコンBASIC Magazine, 3月号, 110 p.

MZ-700/1500

▶ブレイクアウト

ブロックの下でジャンプして敵をやっつけろ。——中森洋輔, マイコンBASIC Magazine, 3月号, 113 p.

▶カラータイル

タイルをすべて同一色に塗り換えるパズルゲームです。——久村賢幸, マイコンBASIC Magazine, 3月号, 111-112 p.

MZ-1500

▶第3回パソコンサンデー大賞入賞作から ソルバス

ムタムタを倒し、王女を救うのだ! ——丸山武志, LOGIN, 3月号, 262-263・355-371 pp.

▶オービトン

一定の軌道で回っている鉱物資源を取れ。——神前幸造, マイコンBASIC Magazine, 3月号, 114-115 pp.

MZ-80B/2000/2200/2500/V2

MZ-2000/2200/2500

▶移植版ウルトラマン2000

追いかけてくるデットンをスペシウム光線でやっつけろ! ——細野のぶく, マイコンBASIC Magazine, 3月号, 118-119 pp.

▶タココアガレ・ゲーム

嵐を上げながら障害物を避けろ! ——井上智紀, マイコンBASIC Magazine, 3月号, 116-117 pp.

MZ-2500 シリーズ

▶Print Kit Ver 2.1

8色カラープリンタで256色のカラーコピーを行う。——木戸仁之, I/O, 3月号, 222-223 pp.

▶abcプロトコルのABC

Super MZ用abcターミナル「SPT」のリストと使い方を発表する。——Wizard of Yoz, I/O, 3月号, 249-261 pp.

- ▶パソコンサンデー活用研究 X1シリーズ→MZ-2500 カセットファイルコンバータ
X1/X1 turboシリーズのプログラムやデータを、MZ-2500 でロードやセーブを行
うプログラムです。——高橋雄一、マイコン、3月号、244-245 pp.
- ▶なんでも Q&A シャープ MZ シリーズ編
BBS ホストシステム「TOWN BBS」について。——シャープ、マイコン、3月号、
194 p.
- ▶なんでも Q&A シャープ MZ シリーズ編
Super MZ 付属のボイスレコーダでプログラムを LOAD、SAVE する。——シャープ、
マイコン、3月号、192 p.
- ▶オムニーズ・ストーリー
各部屋にばらまかれているコインを集めるのだ。——西村英樹、マイコン BASIC
Magazine、3月号、120-122 pp.
- ▶DESTROY
全 11 面の本格派シューティングゲームだ。——ORESAMA、POPCOM、3月号、243-
248 pp.
- MZ-2520
▶らんだむふあいる MZ 情報 MZ-2520
シャープは、Super MZ シリーズの持つ特徴を受け継ぎ、通信ソフトを標準装備した
MZ-2520 を発売した。——編集部、POPCOM、3月号、135p.
- ▶NEW PRODUCTS ボイスレコーダは付いてないけど価格がうれしい MZ-2520
高度な日本語処理機能や画面処理機能はそのまの普及タイプの登場だ。——編集
部、LOGIN、3月号、293 p.
- ▶New Products パーソナルコンピュータ MZ-2520
通信機能、高性能日本語処理などを備えた MZ-2520 が発表された。——編集部、I/
O、3月号、329 p.
- MZ-2520/2531
▶各社ニューマシンを分析する 2
MZ-2520/2531 のソフトウェア、ハードウェアについて簡単に解説する。——編集
部、I/O、3月号、269-270 pp.
- MZ-2500 V2
▶なんでも Q&A シャープ MZ シリーズ編
スーパーインボーズの活用法について。——シャープ、マイコン、3月号、192-193
pp.

X1/C/D/F/G/turbo/II/III/Z

X1シリーズ

- ▶クリスタル
しましまボールでクリスタルをくっつけよう。——宮本朋弘、テクノポリス、3月
号、139-140 pp.
- ▶必勝法クラブ X1 版ヴァリス面クリア
次の面へ行けるのだ。——松村幸雄くん、テクノポリス、3月号、87 p.
- ▶FDC アナライザの製作
FDC のコマンド、ステータスをすべてチェックする。——猪狩康司、I/O、3月号、
225-231 pp.
- ▶ファミコンのコントローラを X1 で
ファミコンのコントローラを X1 で使えるようにします。——近内健護、I/O、3
月号、221 p.
- ▶本格派野球シミュレーションゲーム TEAM
1 シーズン制の野球ゲームです。6 球団のなかで優勝するチームは？——寿夢慶、
I/O、3月号、207-211 pp.
- ▶マジック・ケンケンストーリー
ケンケンを動かし、秘宝をすべて取ってください。——はりくんTM、マイコンBA
SIC Magazine、3月号、161-163 pp.
- ▶奇跡の品物 ミラクル・アイテム
神経衰弱のように？の中身を揃えてください。——小川真太郎、マイコン BASIC
Magazine、3月号、158-160 pp.
- ▶チュララン・ボール
思いつきりかわゆいパズルゲームです。——黒木和彦、POPCOM、3月号、249-252
pp.
- ▶POPCOM テクノダム Hyper Music for X1/turbo
MSX などの他機種で PSG 用 MML プログラムを X1/X1 turbo で走らせる！——浅田
尊士、POPCOM、3月号、210-211 pp.
- ▶わくわくサウンド倶楽部
「悲しい夜を止めて」 河合そ子の子のミュージックプログラムです。——片桐信彦、
POPCOM、3月号、178-180 pp.
- ▶グラフィック画面圧縮ロード・セーブプログラム
X1 の BASIC のすべてのグラフィックモード・ページに対応したプログラムです。
——藤村信之、The BASIC、3月号、96-97 pp.
- ▶カラーイメージボード II

- X1/X1 turboシリーズ用のカラーイメージボード II をレポートする。——岡本一郎、
マイコン、3月号、372-374 pp.
- ▶ソフトウェアコンテスト 知らない町
宝を見つけ出す 3 D 迷路型 RPG だ。——森田貴之、LOGIN、3月号、306-309・374-
377 pp.
- ▶CRTC・DMAC 活用研究
CRTC および DMAC を操作するプログラムを発表する。——U・KUOTA、I/O、3月号、
232-235 pp.
- X1 turbo シリーズ
▶君のカンと頭脳はどこまで鋭いか！ MASTERMIND
2 人で行う思考型ゲームです。——西堀富士夫、マイコン、3月号、246-252 pp.
- ▶なんでも Q&A シャープ X1/turbo/II シリーズ編
システム辞書で半角文字入力について。——シャープ、マイコン、3月号、190 p.
- ▶なんでも Q&A シャープ X1/turbo/II シリーズ編
NEW BASIC のユーティリティで、X1 turbo に漢字出力する。——シャープ、マイコ
ン、3月号、190 p.
- ▶らんだむふあいる X1 情報 turbo グラフィックライブラリ
X1 turbo 用に発売されている C、G ツールのすべてで共通に使えるグラフィックデー
タ集、turbo グラフィックライブラリが発売された。——編集部、POPCOM、3月号、
135 p.
- X1 turbo Z
▶なんでも Q&A シャープ X1/turbo/II シリーズ編
X1 turbo Z 内蔵のカラーイメージボードの画像取り込みを BASIC でするには。
——シャープ、マイコン、3月号、190-191 pp.
- ▶各社ニューマシンを分析する 成熟期に入った X1 turbo Z
X1 turbo Z の機能を解説する。——編集部、I/O、3月号、271 p.

X68000

- ▶夢の超パソコン第 1 号 SHARP X68000
夢の超パソコン第 1 号の誕生と、概要について語る。——編集部、LOGIN、3月号、
218-227 pp.
- ▶TEST ROOM X68000 における開発環境
X68000 の提供する開発環境に注目し、アプリケーション開発のサービス、開発のた
めのツール、実際の開発についてレポートする。——編集部、ASCII、3月号、150-152
pp.
- ▶68000 ってなんだ？ X68000 追跡レポート
X68000 のハードとソフトを完全レポートする。——編集部、POPCOM、3月号、144
-149 pp.
- ▶X68000 OS 徹底解剖
X68000 のベールに包まれていた OS を徹底解剖する。今月は DOS 中心に解説する。
——高橋雄一、マイコン、3月号、195-202 pp.
- ▶まだまだ広がるコナミの世界
X68000 用グラフィックスを紹介する。——編集室、Beep、3月号、p.33

ポケコン

PC-1245 /1350/1360/1400 シリーズ

- ▶ポケコンで太郎の文章を入力する。
インタフェイス・ボード PKI-98 で、ポケコンとパソコンのデータ、プログラムの相互
通信をする。——富田義夫、I/O、3月号、173-175 pp.
- PC-1245
▶移植版 JET SKI
流木をよけて右の段差まで行くゲームです。——田中栄造、マイコンBASIC Ma
gazine、3月号、166 p.
- PC-1350
▶電卓コーナー クレイジーファイター
ポケコンで 3 D のシューティングゲームを楽しむ。——山田勝己、I/O、3月号、
308-311 pp.
- ▶PC-1350 で ERASE を
宣言した配列変数を削除するプログラムです。——漢字で蟻怨、I/O、3月号、221p.
- PC-1500/1501
▶MINI JAN
ワンチャンスの 8 枚マージャンです。——すっさん、マイコンBASIC Magazine、
3月号、167 p.
- PC-1600 K
▶効果的学習に役立つ「英単語練習プログラム」
いつでもどこでも学習できる PC-1600 K「英単語練習プログラム」を紹介する。——
塚田洋一、マイコン、3月号、327-330 pp

編集室から

DRIVE ON

このコーナーでは本誌年間モニタの方々のご意見を紹介しています。今回は1987年2月号の記事に関するレポートです。

●いままでは気にもとめなかったことが、「Between The Lines」で取り上げられているのを毎月読み、たいへんためになっています。ニーマニックとコードが1対1だなんて覚えにくいだけだと思っていたのに、裏にはそんな

ごめんなさいのコーナー

2月号 データの互換性を探る

先月公開したバグ以外に誤りが発見されました。次のように修正してください。

リスト2

```
11350行 DATA I1, .....
      → DATA I2, .....
```

リスト11

```
1130行 flase=NOT true
      → false=NOT true
```

3月号 魔法使いはアニメが大好き

P.71 リスト2 “走る”ピクチャーデータのセーブアドレスが一部誤っていました。

```
3A29H ~ 3ACBH → 3A29H ~ 3AF1H
3ACC ~ 3BBEH → 3AE2H ~ 3BBEH
```

のように変更してください。

3月号 S-OS“SWORD”再掲載/MAGIC標準化

MZ-80K/C/700/1500用リストに一部掲載もれがありました。リスト1を追加し下記の修正をしてください。

```
1315H 8FH 16H → 78H 1CH
1AFAH C3H → CDH
```

またMGINIT-2500で画面表示に異常があります。B284Hの00Hは入力しないでください。

3月号 X1版北斗の男

ゲーム中、敵キャラクター「ダイヤ」の動作などにおかしな点がありました。以下の部分を修正してください。

リスト1

```
6980行 R0=0 → R0=0
```

リスト2

```
2460行 JU=1 → JU=2
```

事実があったのですね。いろいろな面白いことに気づかせてくれる記事です。

門脇 隆成 (19) XIC, SuperMZ 鳥取県

●また対応機種の増えたMAGICですが、全機種共通ワープロの画面設計に使うというのはどうですか。ゲームだけではもったいないですよ。それから画像入力ツールをサポートしてくれたら楽しいでしょうね。けれどなにしろ忙しくて、「マシン語体操1・2・3」もとてもよい記事だと思うのに打ちこんでいない状態です。泉さん、ごめんなさい。

村田 利裕 (29) MZ-2500 京都府

●MS-DOS下ではデータの互換性がありますが、ワープロやBASICでの互換性はまだまだです。それぞれファイルコンバータを作ったりして行っているのが現状でしょう。そんな中で、2月号の特別企画「データの互換性を探る」は、まさにOh!MZらしいものといえるでしょう。機種間・ソフト間の互換性がろくに考えられていないから、マシンやソフトを買うとき悩むのです。この問題さえ解決できれば、家庭にももっとコンピュータが普及すると思うのですが。それに、Between The Linesを読んだときもCPUによってニーマニックが

かなり違うことをつくづくと考えさせられ、早くひとつのスタンダードができればいいのになあと思いました。

遠藤 三郎 (39) Xitruco 北海道

●「猫とコンピュータ」はOh!MZのなかで唯一、気を抜いて読める記事です。いつもトオル君たちみんなの生き生きとした姿が目につきます。私のように、パソコンの世界にどっぷりとつかってしまった人間にとっては、高沢さんの書くものがとても新鮮に思えるのです。これからもこの調子でがんばってください。

末吉 克行 (18) MZ-731, FM-7, PC-6001,

PC-1246, Lk116 兵庫県

●BASICの場合に限ったことではないが、言語の文法そのものについては理解しても、プログラムを組むとなるとまどろっこしい人が圧倒的に多いと思う。それを解決するには、自分で何本もプログラムを作ってみるのが最善の方法だろう。そこで、そういう人たちのためにプログラムの添削をやってみてはどうでしょうか。毎回読者の自作プログラムを鍛え直せば、きっと勉強になると思いますよ。

佐藤 嘉則 (18) X1D 秋田県

```
2490行 LOCATE X+2, 14
      → LOCATE T+2, 14
2510行 INT(G×RND(1))
      → INT(6×RND(1))
```

3月号 カードゲームUNO

入力方法の記述に誤りがありました。ダンプリストはリスト3, 4を入力してください。その際のセーブ方法は以下のとおりです。

リスト1

```
1B80 2B 14 C3 D4 13 21 03 00 : 0D
1B88 22 30 11 21 A3 11 22 32 : 8C
1B90 11 21 40 00 22 34 11 CD : A6
1B98 0D E8 D8 21 A4 11 11 F1 : A5
1BA0 10 06 10 1A BE 20 F0 FE : 0C
1BA8 0D C8 13 23 10 F5 C9 3A : 13
1BB0 5D 1F FE 54 20 02 3E 00 : 2E
1BB8 FE 53 20 02 3E 01 FE 51 : 01
1BC0 20 02 3E 03 C9 03 C0 3E : 2D
1BC8 0B E1 37 C9 D3 E4 C3 00 : 66
1BD0 00 CD C5 13 38 13 21 F0 : 01
1BD8 10 7E FE EE 20 02 3E 04 : DE
1BE0 77 CD 12 29 CD 47 12 18 : BD
1BE8 E8 47 3A 5D 1F FE 05 28 : 5C
1BF0 02 B7 C9 78 FE 08 C8 B7 : 7F
1BF8 C8 37 C9 00 00 00 00 00 : C8
```

SUM: 47 BD 43 74 86 D8 49 A2 AFEF

BSAVE "uno obj", &HD000, &H200

BSAVE "uno data", &HD5E0, &H2A00

またリスト中のコントロールコードが印字されていませんでした。リスト2の修正を行ってください。なおProfileの個所で山口君がSPOCの会長とありましたが、山口君は会誌COPSの編集長の誤りでした。謹んでお詫言いたします。

```
1C00 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
1C08 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
1C10 C5 D5 47 11 00 08 19 7E : 91
1C18 CB 7F F5 78 CD CE 0B FE : 5B
1C20 20 30 02 3E 20 CD 8F 16 : 22
1C28 47 F1 78 28 02 F6 20 B7 : A7
1C30 D1 C1 E1 C9 00 00 00 00 : 3C
1C38 00 00 00 00 00 00 00 00 : 00
1C40 FE C0 38 04 FE CE 38 11 : 0F
1C48 CD CE 0B E5 21 9D 11 CB : 25
1C50 7E 28 02 C6 20 CB BE E1 : F8
1C58 C9 E5 21 68 1C D6 C0 85 : 6E
1C60 6F 30 01 24 7E E1 C9 00 : EC
1C68 00 11 12 13 14 15 16 00 : 75
1C70 00 00 00 00 1B 00 0D 00 : 28
1C78 CD 4B 1C C3 8F 16 00 00 : 9C
```

SUM: 16 5D 2C E4 6B BE 79 8B 47B5

リスト2-1 メインプログラム

```
6140 if instr("46",hexchr$("1D1C"),1$) then RULE=1-RULE:goto 6120
```

リスト2-2 サブプログラム

```
17070 if 1$=chr$(30) or 1$="-8" then IRO=(IRO+3) mod 4:goto 17050
17080 if 1$=chr$(31) or 1$="-2" then IRO=(IRO+1) mod 4:goto 17050
21150 if 1$=chr$(29) or 1$="-4" then CAL=1:goto 21130 else if 1$=chr$(28) or 1$="-6" then CAL=0:goto 21130
22045 CS$=hexchr$("1D1D1F")
22050 repeat on ,3:key 0,"":console 0,25:locate 78,20:print "1":CS$:;"枚":CS$:;"取":CS$:;"":console 0,24:TORU=0:locate 9,18:print [5] strings$(20,""):
22080 if 1$=chr$(28) or 1$="-6" then KIN=(KIN+2) mod 80:goto 22060
22090 if 1$=chr$(29) or 1$="-4" then KIN=(KIN+78) mod 80:goto 22060
22170 repeat on ,2:console 0,25:locate 78,20:print " ":CS$:;" ":CS$:;" ":CS$:;" locate KIN,19:print " ":console 0,24
22240 if 1$=chr$(29) or 1$="-4" then TORU=0:goto 22210 else if 1$=chr$(28) or 1$="-6" then TORU=1:goto 22210 else 22220
```

バグに関するお問い合わせは
☎03(263)2230(直通)
月～金曜日16:00～18:00

お問い合わせは原則として、本誌のバグ情報のみに限らせていただきます。入力法、操作法などはマニュアルをよくお読みください。また、よくアドベンチャーゲームの解答を求めるお電話をいただきますが、本誌ではいっさいお答えできません。ご了承ください。

今年もゲームを 楽しもう 編集室からお知らせ

▶ついにOh!MZの読者の皆さんに選んでいた「1986 GAME OF THE YEAR」が発表になりました。この結果をご覧になって、人それぞれに「あつ、やっぱりな」なんてうなずいていたり、「これはぜったいおかしーよ」なんてブツブツひとりてつぶやいてたりしていることでしょうね。でも各賞の上位にランクされたゲームを眺めてみると、総合的な質の高さを維持しているものが必ず選ばれているはず。そしてここにOh!MZ編集室のスタッフたちが選んだ結果を発表したとしても、きっと同じようなものになっていたことでしょう。

パソコンのゲームの世界では、プレイヤーに常に夢を与えてくれないければなりません。そしてその夢を追うパソコンユーザーたちの目は、年を追うごとにシビアなものになってきています。私たちはすべての遊びの大前提である「面白ければ楽しめる」という言葉の意味を、この世界のなかで最も深く追求して

いこうとしているのです。ブームや流行にとられず、いま本当に“面白い”とはいったいなんなのかを、真剣に考えなければいけない時期はもうすでにやってきているはずなのです。

今年人気を集めるゲームにはいったいどのようなものが登場するのでしょうか。来年のこの時期に、あまりに数が多すぎて読者の皆さんと一緒にのおもしろい悩めるような、そんな面白い1年であってほしいものです。

▶今月は「ペンギン情報コーナー」のほかに、「パーソナルツール最前線」と題してイメージ情報ステーションMZ-1V01や電子手帳PA-7000、そして最近話題のDATなどの最新情報もご用意しました。このなかで皆さんが最も興味を持ったのはどの製品だったのでしょうか。これからのこのような身近ですぐ活用できそうな製品が登場すれば、「ペンギン情報コーナー」とは少し違ったかたちでいつでもお届けしたいと思っています。

▶ここでOh!MZ編集室からのお知らせです。来月5月号より編集長がこれまでの安田千尋から前田徹に代わります。新体制のOh!MZをこれまで同様によりよくお願いいたします。
(編集室)

投稿応募要領

- 原稿には、住所・氏名・年齢・職業・連絡先電話番号・機種・使用言語・必要な周辺機器・マイコン歴を明記してください。
- プログラムを投稿される方は、詳しい内容の説明、利用法、できればフローチャート、変数表、メモリマップ(マシン語の場合)に、参考文献を明記し、プログラムをセーブしたテープ(ディスケット)を添えてお送りください。また、プログラムは最低2回はセーブしてください。
- ハードの製作などを投稿される方は、詳しい内容の説明のほかに回路図、部品表、できれば実体配線図も添えてください。編集室で検討の上、製作したハードが必要な場合はご連絡いたします。
- 投稿者のモラルとして、他誌との二重投稿、他機種用プログラムを単に移植したものは固くお断りいたします。

あて先

〒102 東京都千代田区九段南2-3-26井関ビル
日本ソフトバンク出版部
Oh!MZ「テニマ」係

SHIFT BREAK

▶悪いけど湿っぽい話になる。2匹のシマリスを飼っていた。過去形であることから理解されるように片方が死んでしまったのである。残った1匹も寂しそうにしていた。と書きたいところだが、それは結局人間の発想であってリスにそんな感情があるわけでもない。実際には何もなかったかのように元気に走り回っているのである。悲しいね。(T.T.)

▶去年までいた寮に久しぶりに遊びに行くところ、なぜかすごいパソコンブームになっていた。MSX2を買った翌日にX1を買ったやつとか、turboを買ってほとんど世捨て人と化している元700ユーザーなんかごろごろいるのだ。面白いことにほとんどがX1シリーズで、それがパソコンを買った理由を如実に物語っている。やれやれ。(Min)

▶原稿が仕上がって暇になったので、九段下から神保町の古書店街へと足を伸ばした。どうも僕が好んで読む本はすぐに廃刊されるらしく、古本屋にでも行かないと入手できないことが多い。古本屋を何軒まわっても目的の本がないときはぐったりである。誰かディーノ・ブッツァーティの「七人の使者」がどこに埋もれているか知りませんか?(K.Y.)

▶久しぶりに朝日を見た。こういう生活をしていると、起きるのはたいてい陽が高く昇ってからになるので、こういう風景にはめったに出会うことができない。ひんやりとした澄んだ空気。小鳥のさえずり。登校する子供の笑い声。なんだかなつかしくて、「ああ、朝っていいもんだなあ」としみじみ感動して徹

夜明けの重い頭を枕にうずめ夢の中へと入っていった私でした。(IMT)

▶X1のイメージボード、TVアンテナを同軸で10mも引いてるのになかなかの画質で使っている。と思ったらイメージボードIIだって? き、汚ねえよ。同じ値段だっというじゃねえか。そうか、型番のCZ-8BV1ってのがミソだったんだ。V1はバージョン1ってことだから、バージョンが上がるってわけだ。いいよ、X68000を買うぞこのやろう。(K.S.)

▶1度目は実写の映画だった。そして、後悔という言葉の意味を知った。2度目はアドベンチャーゲーム。これは徒労という言葉の意味を知ることになりそう。しかし、五代くんと響子さんの仲が行きつくところまで行ってしまったいまとなっては、それもうどうでもいいことだ。月日は人を変える。マンガの主人公たちも自分自身も。(KO)

▶米国「BYTE」誌3月号の広告より抜粋。2IMBハードディスクカード≒\$430、30MBハードディスクキット≒\$410、IBM用ドライブ:TEAC・FD-55B V(2D)≒\$89、FD-55GFV(2DD、2HD)≒\$155などなど。1ドル=160円とすると目安になるでしょう。ところでTEACって日本企業だよな。(M)

▶明日は楽しい“ひな祭り”です。私の部屋のチョコレート・ペコちゃんおひなさま、のんきに机の上に座ってテレビなんか見てられるのも今日までです。もうすでに食べられてしまった、お友だちのひなあらさんのあとを追ってふたり仲よく“独身おばさんのひな祭りパーティ”で白酒のつまみとなってしまうのです。(Mya)

▶アマエビを食べたらアレルギーを起こし、身体中がかゆくなった、という友人が、「よかった、少なくともエイズにはかかってないんだ」だって。安心

するのとはち早い。発病してないだけかもしれないじゃないか。さては身に覚えがあるんだ、白状しろ、白状。といじめたら泣いていた。ああ面白い。ええ、どうせあたし根性悪ですよ。(よ)

▶お隣のOh!FM編集室がネットワークを開設し、たまたま開局の瞬間に立ち合うことができた。開局寸前までデバッグ、調整が続き、初期トラブルもあったもののみに動き始めたようだ。ちなみにホストはFM-11+OS-9 68000。運転しなからのデバッグなど、マルチタスクの威力を痛感してしまった。(U)

▶THE SOFT TOUCHにも出てくるように、いまROGUEがマシン室を侵略しようとしている。そのおかげでMZ-6500も復活してきた。よく考えてみるとこのマシン、しばらくの間、私専用ワープロマシンだったことがある。きっかけはなんにしろ最近急に人気が集まっているMZ-6500を横目で眺めながら、へんに嫉妬している今日このごろなんです。(N)

▶X68000の日本語フロントプロセッサと日本語ワープロプロセッサのほぼ完成バージョンが届いた。まだまだ辞書は未完成のようで、すっこんきょうな変換も多い。今ごろ(といってもこの編集後記を書いている“今”である)シャープでは一生懸命新聞を入力して辞書を整備しているんだろなあ。といった「天声人語」を打ち込む私であった。(@)

▶1年ぶりに代官山へ行った私は電車からホームに降りた瞬間、自分がどこにいたのかわからなくなってしまった。オヤ〜? なんと代官山駅は500メートルも離れた場所に仮設駅として移動していたのである。すでに周囲には真新しいマンションにブティック、喫茶店が並んで……。うーむ、こんなところでもA列車の方法は生きているのだなあ。(T)

microOdyssey

今朝もくしゃみで始まった。春の訪れとともに、巷には似たようなスギ花粉症の犠牲者が大勢あふれているらしい。薬局へいくと花粉症用の防塵マスクが売られているが、あんなものつけたらまるで素人の銀行強盗だ。いくら私がオシャレでも、ちょっと手を出す気にはなれない。だが、刺激に敏感になった鼻孔は、ほこりや白墨の粉、冷氣、へたをすると暖かい空気にまで忠実に反応する。うっとうしいことこのうえない。しかめ面で吸い込んだ空気に、沈丁花のいい香りがするなと思ったとたん、また小さくくしゃみが出た。

虫歯と肥満と近視は3大文明病だと昔からいわれるが、ストレスや不摂生が続くとかかる人間が多いというアレルギーも、そのリストに加えられるだろう。

「食べ物が悪いんだよ」

風邪をひいたのかとの問いに、いやただのアレルギーだと答えると、即座にこう決めつけられた。我々が日常生活で摂取している食べ物には、どれもこれも不健康なものが多らしい。いろいろ聞いていると、病気になるまいほうが不思議なように思える。だから、合成添加物に反対するほかに、正しい食生活についてはうさいくら云々されている。

たとえば、生まれた場所から半径50キロ以内で採れるものだけを食べていれば、たいいての人間は100歳くらい長生きできる、という。食物の与え得るストレスがいかに大きい、か、といいたいのだろう。また、時期はずれのものを摂取することもそのストレスを増大してしまうらしい。夏には夏のものを、冬には冬のものを食べないと身体に悪影響があるのだそうだ。

これらのことを念頭におき、バランスのよい食生活をこころがける。それが、「あなたにもできる健康と長寿の秘訣」だ。

しかし私は1世紀も生きるより、機会があったら地球の反対側へでかけて珍しいものを食べたり、真冬にイチゴのケーキを買ってきたりできるほうがいい。添加物だらけの中華料理だって結構食べられる。人間なんて、劣悪な環境には、かなり耐えられるようにできているのだ。

エラリー・クイーンの『Xの悲劇』で最初に殺された被害者はヘビースモーカーだった。そのため、犯人の仕掛けたニコチンの猛毒にやられたとき、普通の人間の場合に考えられるより2、3分間長く生きのびる。ニコチンに対して耐性があったからだ。極端な例を挙げてしまったが、中世の特権階級には、毒殺を防ぐために子供の頃から少しずつ毒を摂取し、身体をならしていた人々もいたらしい。では、毎日添加物だらけのものを食べ、ストレスの原因もたくさん抱えこんでいる我々も、さぞや優れた耐性を身につけているにちがいない。ストレスがたまったら花粉アレルギーを起こして調整したりするのだからたいしたものだ。

一方、良質なものをだけを摂取している人間が、もし不摂生が原則みたいな生活を強いられたいとも簡単に脱落してしまうことだろう。

我々は有害といわれる物質にかこまれているが、それでも元気に生きている。花粉アレルギーだっていざれおさまる。だから、今日も無事に出社できたことを天にいる誰かさんに感謝しつつ、週末に観る映画でも物色しよう。(よ)

1987年5月号 4月18日(土)発売

特集 共通メディアとしての通信

第2回 言わせてくれなくちゃだワ

新企画 BASIC入門リレー連載

バックナンバー常備店

東京	神保町	三省堂神田本店5F 03(233)3312 書泉ブックマートB1 03(294)0011 書泉グランデ5F 03(295)0011
	//	八重洲 03(281)1811
	新宿	紀伊国屋書店本店 03(354)0131
	渋谷	東急ハンズ寿楽洞7F 03(464)4604
	池袋	西武ブックセンター11F 03(981)0111
	町田	東急ハンズ寿楽洞 0427(28)2782
神奈川	横浜	有隣堂ルミネ店 045(453)0811 横浜書店 045(241)5445
	//	

神奈川	藤沢	有隣堂藤沢店 0466(26)1411
	厚木	有隣堂厚木店 0462(23)4111
	平塚	文教堂四の宮店 0463(54)2880
千葉	柏	新星堂カルチェ5 0471(64)8551
	船橋	西武ブックセンター10F 0474(25)0111
大阪	都島区	駱々堂京橋店 06(353)2413
	北区	旭屋書店本店4F 06(313)1191
埼玉	川越	黒田書店 0492(25)3138
	川口	岩淵書店 0482(52)2190
茨城	水戸	川又書店駅前店 0292(31)0102
京都	中京区	オム社書店 075(221)0280
長野	飯田	平安堂飯田店 0265(24)4545
北海道	室蘭市	室蘭工業大学生協 0143(44)6060

定期購読のお知らせ

定期購読の申し込みをお受けしています。本誌が手に入りにくい地区にお住まいの方、毎月購読していただいている方、入手確実な定期購読への加入をお勧めします。詳しくは、本誌とじ込みの振替用紙をご覧ください。バックナンバー在庫状況
1986年4,5,6,8,9,10,11,12,1987年1,2,3以上の在庫がございます。

バックナンバーのご注文はお近くの書店からできますが、どうしても入手しにくい場合、

直接弊社へ現金書留にてご注文ください。なお、郵送料は冊数によって異なりますので、前もってご連絡ください。お問い合わせは、出版営業 ☎03-261-4095宛をお願いします。

海外送付ご希望の方へ

本誌の海外発送代理店、日本IPS(株)にお申し込みください。なお、購読料金は郵送方法、地域によって異なりますので、下記宛必ずお問い合わせください。

日本IPS株式会社
〒101 東京都千代田区神田小川町3-5
☎03(291)2632

Oh!MZ

4月号

- 1987年4月1日発行 定価480円 ■発行人 孫正義 ■編集人 笹口幸男
- 発売元 (株)日本ソフトバンク
- 出版事業部 〒102 東京都千代田区九段南2-3-26 ☎03(261)4095 FAX 03(262)8397
井関ビル 編集室 ☎03(239)4156
出版営業 ☎03(261)4095
広告営業 ☎03(255)9677
- 本社 〒102 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル ☎03(263)3690(代)
TELEX 東京 232-4614JSBTYJ FAX 03(263)3660
- 西日本営業部 〒541 大阪府大阪市東区南本町2-6 明治生命堺筋本町ビル10F
☎06(264)1471(代) FAX 06(264)1481
- 印刷 凸版印刷株式会社

©1987 SOFTBANK CORP. 雑誌 02179-4 本誌からの無断転載を禁じます。

ROUND SYSTEM LABORATORY INC.



mz-2500

『スーパー財務/テレビ元帳』¥128,000

今8ビット機で、16ビット機に遜色なくビジネスに使えるのは、MZ-2500だけです。(V2対応)

いま、「スーパー財務/テレビ元帳」は面白い!

「全国のシャープOAショールームでご覧になれます。」サンプルソフトあります。¥5,000(切手可)

このソフトは、日本会計研究学会々長、早稲田大学教授
商学博士 染谷恭次郎先生のご推薦を頂いております。

- ① 1枚のディスクに1年分の仕訳が入ります。(但し、年間6,000件以上は2枚)
 - ② 仕訳データは日付順に入力する必要はありません。(1年分を順不同で入力も出来ます)
 - ③ 入力直後に、どの月の試算表でも全く待たずにすぐ出ます。(20~30分も待たされるソフトもあります)
 - ④ 仕訳日記帳も、1ヶ月分でも1年分でもソートなしで直ちに日付順で出ます。(途中でプリンターが止ったりしません。)
 - ⑤ 科目コードは覚える必要はありません。すぐに分る新方式です。(独特のパラパラ方式です。)
 - ⑥ カナのキー配列を50音(アイウエオ)にすることも出来ます。(どうしてもJIS配列になじめない方の為に。)
 - ⑦ パスワードは198個設定出来ます。番号を忘れても、すぐ出せます。(パスワード+パスワードも出来ます。)
 - ⑧ 摘要は辞書ROMで、人名、地名、文節変換でワープロ並で入れられます。(シャープしか出来ません。)
- 今、オフコン、パソコン用の会計ソフトで、この機能に優るモノはありません。最近事実反する誇大広告が多いので、信用されない方は試して頂く方法もあります。(簿記に自信のない方に「虎の巻」進呈)

適合業種	あらゆる業種、法人、個人、特殊法人、組合、団体	画面出力	テレビ元帳、テレビ試算表、テレビB/S、P/L、 テレビ仕訳日記、テレビ予算実績対比、 テレビ資金繰実績、当月、通期利益表
勘定科目	全部自由設定、簡易科目名漢字入力、カナ漢字変換	印刷出力	総勘定元帳、補助簿、試算表、貸借対照表、 損益計算書、仕訳日記帳、資金繰実績表、 予算実績対比表、月次損益計算書、その他
補助科目	任意の科目に任意の数の補助科目設定可	オプションソフト	特殊法人決算書、部門別利益計算書、工事台帳、 手形管理、固定資産台帳(予定)
勘定科目数	補助科目を含めて600個まで	機器構成	MZ-2500 FD×2, 256KB増設RAM MZ-1D22(CRT)又は同等品、辞書ROM MZ-1P18(漢字プリンター)又は1P10A, 1P11A, (NEC) (EPSON) PR101, 201, NM9300, 9400, 9900, VP80K, 130K
仕訳件数	1枚のディスクに6,000件、最大12ヶ月分に自動配分	提供メディア	3.5インチ2DDフロッピーディスク×2
金額	1件、合計共99億円まで。(オプション999億円)	附属品	サンプルデータ、予備ソフト、ガイドブック
摘要	漢字12字、カナ20字、パスワードプラス機能 <small>パスワード198個</small>		
マスターファイル	自動月次残高算出機能付ランダムファイル		
データファイル	超高速日付順検索付ランダムファイル		
使用言語	SUPER BASIC+機械語		
演算速度	毎秒25万回検索		
プリンタースピード	プリンターの限界速度で連続ノンストップ		
プリンター用紙	全部普通のストックフォーム、元帳は専用用紙もあり		

スーパーシリーズビジネスソフトは、「スーパー給与」「スーパー販売/テレビ台帳」「スーパー仕入/テレビ台帳」等続々発表の予定です。また熱心な自作派ビジネスマンのためにノウハウ公開の新Qシリーズはオールランダムファイルで発表の予定です。またMZ-80B, MZ-2000, 2200用の「スーパー財務/テレビ元帳」(カナ)や「スーパー在庫管理」(カナ)やQシリーズ、テープソフトなど引続きサポート中です。詳しくは「SHARP MZ APPLICATION LIBRARY」をごらん下さい。弊社はMZ-80K, 80B, 2000, 2200のビジネスソフトを未だにサポートしている唯一の会社です。MZのことは何でもお問い合わせ下さい。MZ-2000用ソフトの3.5インチ版もあります。(MZ-2500用)

資料のご請求は、ソフトの種類を具体的に指定の上、なるべく切手200円同封して下さい。

MZ-2500 ハード一式 特価提供 システム販売もあります。(インストラクター派遣も出来ます。: 有料)

★「スーパー財務/部門別損益計算書」完成しました。¥30,000です。(但し、これ単独では使えません。)

Qシリーズ「スーパー財務/テレビ元帳」¥68,000新発売(商店、小規模企業用、青色申告可、直販のみ)

総合カタログMZ版(No.3) ¥200同封

★ユーザー直接のご注文を歓迎します(即納します)

Dシリーズソフトのユーザーはスーパーシリーズは特別価格

★業者の方はSBCソフトウエア(株)へお問合せ下さい。

〈ご注意〉当社ソフトのレンタル、コピー販売、用紙の複製、商標の無断使用はバチが当たります。

※ご注意: テレビ元帳は当社の創作語で商標登録申請済です。(勝手に使う人の知的水準を疑います。)



〒560 大阪府豊中市上野西3-2-25 TEL06(849)6982 FAX06(849)6744

株式会社 ラウンドシステム研究所

郵便振替口座/銀行口座 三和銀行豊中支店 (普) 313000
大阪5-95182 三菱銀行豊中支店 (普) 4323108

テープゲームがディスクで動く??



新発売

EXTRA HYPER for MZ 5 $\frac{1}{4}$ "・3.5" FD 各10,000円

EXTRA HYPER+ α for MZ 5 $\frac{1}{4}$ "・3.5" FD 各14,000円

MZ-2000(要G-RAM)/2200/2500(2000モード)

お待ちかねX1では、もうお馴染みのテープ版のIPLゲームを簡単にDISK版に変えてしまうEXTRA・HYPERが、MZ用に移植されました。

このプログラムは、今まで扱えなかった32Kbyte以上の複数分割のIPLロードのテープ版ゲームソフトが、たった一度の操作で簡単に専用DATA・DISKに入ってしまう、数分間もかかっていたIPLからのロードが、スイッチONから数秒でスタートさせる事も可能になります。

専用DATA・DISK1枚付きのレギュラー・タイプと、IPLロードのテープ版ソフトを数多くお持ちの方には、経済的に市販の生ディスクから、何枚でもDATA・DISKが作れる、DATA・DISK・GENERATOR付きの“+ α ”も同時発売されました。もちろんディスクの容量が倍の2DDにも対応しています。

レギュラータイプの付属以外の専用DATA・DISKは別売り(1枚2,000円)です。

EXTRA HYPER for X1 5 $\frac{1}{4}$ "・3" FD 各10,000円

新発売

EXTRA HYPER+ α for X1 5 $\frac{1}{4}$ "・3" FD 各14,000円

ΔV (要G-RAM)/ ΔV turboシリーズ

このプログラムは、今まで扱えなかった64Kbyteを超える複数分割のIPLロードのテープ版ゲームソフトでも、たった一度の操作で簡単に専用DATA・DISKに入ってしまう、スイッチONから数秒でスタートさせる事も可能になります。

専用DATA・DISK1枚付きのレギュラー・タイプに加えて、市販の生ディスクから、何枚でもDATA・DISKが作れる、DATA・DISK・GENERATOR付きの“+ α ”が、新発売されました。

SUPER DEVICE MONITOR for MZ2500 “スーパー修理屋さん”

MZ2500シリーズ 3.5" FD 12,000円

ほとんどプロ感覚!! ΔV ・MZ-2000で大好評の総てのデバイスにアクセス出来る“修理屋さん”を、全面的にグレード・アップしました。

他のDISK・EDITORではまねの出来ない、操作性と機能性には、あなたも目を見張るでしょう。

随所に機械語のサブ・プログラムを取り入れて、尚一層のスピード・アップと、256byte未満の連続したDATAを各デバイスから検索したり、DELキーなどを使用してはみ出したDATAを専用バッファに溜めて、それを検索や転送等、マルチフルに活用するなどの高機能性、高操作性を迫及して設計しました。

新発売

SUPER DEVICE MONITOR “T” for MZ2500

MZ2500シリーズ 3.5" FD 13,000円

今評判の“スーパー修理屋さん”に、大流行の通信機能が付いた上位バージョン

他のコンピュータとモデムホンや、RS-232Cなどで結ぶと、セクター単位に相互通信が出来、更に便利に、更に高性能になりました、例えば近日発売予定の ΔV 用“スーパー修理屋さん”と結んで、 ΔV やturboの各種デバイスや、ハードディスクなどとMZ-2500の各種デバイスとの相互変換等に使用ば、色々面白い事が出来ます。

お求めは有名マイコンショップで、通信販売をご希望の方は商品名、機種名、メディア名、電話番号、を明記の上現金書留又は郵便為替で当社までお申し込み下さい。(全商品送料サービス)

BLUE SKY Co.

株式会社 BLUE SKY

本社 〒411 静岡県三島市加茂16-4 ☎ 0559-72-6710

最新マシン"X1 turbo Z"対応



X1-turboシリーズテクニカルノウハウ

-Techknow

近日発売

[エックスワン・テクノウ] B5判/ 予価3,900円

BNN第二企画部編

大好評のTechknowシリーズ第3弾は、ホームパソコンとして発売以来絶大な人気を誇るX1シリーズ。以来ターボシリーズへと続く一連のラインナップは、数多くのX1ソフト資産を継承しつつ、様々なユーザーを魅了してきました。本書はX1の持つポテンシャルを最大限に活用し、プログラム作りの楽しさを肌で感じるためのテクニカルノウハウ書です。

アーキテクチャから周辺デバイス、ディスク制御、画面制御、RS-232Cを始めとする各種インターフェースの活用法など豊富な図表とサンプルプログラムと共に詳しく解説します。

予定目次

第I部 ● テクニカルデータ

概要
メモリ構成
画面制御
ディスク制御
各種インターフェース
X1 turbo Zの特徴 etc.....

第II部 ● ユーティリティ & ランダムテクニック

Hu BASIC 活用
通信
音源
ビデオ処理 etc...

付録 BIOSルーチン一覧 etc.....



商品の詳しい内容をお知りになりたい方は、資料請求券を添付し書名明記の上、下記の宛先まで葉書でお申込み下さい。折り返し資料をお送り致します。
〒102 東京都千代田区麹町4-5 紀尾井町レジデンス5F 株式会社ビー・エヌ・エヌ お問い合わせはTEL 03 (238) 1321 営業部まで。

BNN
Bug News Network

資料請求券
Oh! MZ
87.4

特別企画 全国縦断計測制御入門講習会開催日決定!!

3月29日(日) 北関東地区シャープ宇都宮支店
4月26日(日) 東北地区シャープ仙台支店
5月31日(日) 中部地区シャープ名古屋支店
6月28日(日) 関西地区シャープ大阪本社

当社KGBシリーズを教材にした計測制御の基礎及び実験
(リレーの駆動・温度の測定・その他)
費用 ¥5,000 (ハードウェアは別料金)

お問い合わせはシャープ各地支店あるいは(株)計測技研まで

BASIC HOUSEオリジナル

PC-9801シリーズ **新発売**
超低価格計測制御ボード
汎用アナログデジタル入出力ボード
KGB-98S ¥19,800
アナログ 8チャンネル(0-5V) 送料¥500
デジタル 32ビット(TTL) オプション(D/A付)

X1シリーズ **新発売**
アナログデジタル入出力ボード
KGB-X1 ¥19,800
アナログ8チャンネル(0-5V) 送料¥500
デジタル 24ビット(TTL)

MZ-2500シリーズ **限定大特価**
128KB増設メモリ(KGB-128KMZ)
(MZ-1R26 定価¥35,000のものと同バッチ)
限定150本 **¥9,800送料¥500**

パソコン専用 **新発売**
高性能無停電電源装置
OFFICE POWER-200
型式 UPB-200A
定価 **¥69,800 送料¥500**

PC-8801シリーズ **限定大特価**
カラーイメージボード変換アダプター
KGB-88CIX
テレビ・ビデオ・カメラの映像をパソコンに取込むツール
組合せ特価
KGB-88CIX ¥16,800
CZ-8BV1 ¥39,800
合計 **¥56,600**
特価¥39,500 送料¥500

ウワサの商品 **限定大特価**
ファミコンクリエイター
(ファミコンソフトの解析ツール)
X1シリーズ・88シリーズ・MZ-2500
メモリアトリッチ
インターフェースカード
クリエイターソフト
セット価格 **¥29,500**
限定価特 ¥25,000

X1-X1turbo用
68000ユニット
JAZZ turbo
MPU-68000
RAM-512KB
X1インターフェース付
CP/M68Kは別売です。
¥128,000
CP/M68Kはデジタルリサーチの商標です。



X1-Turboシリーズ **発売中**
BASICファイルコンバータ(B6-3301)
N88BASIC(PC98・PC88シリーズ)とX1
シリーズのファイル相互コンバータ
¥4,800
5インチ(2D、2DD、2HD) 送料¥200

PC-9801シリーズ 通信ソフト **新発売**
BBS(電子掲示板システム)へ
アクセスするための通信ソフト
ハッカー君(B9-9901) ¥6,800
(C言語ソースリスト付) 送料¥200

計測制御ボード
超低価格でホビーから本格応用まで可能!!
MZ-2500 OK
PC88SR、FR、MR OK
大巾値下げ!!
貴社の考えているシステムが何らかの形で無料でコンサルティングします。
PC-8001 型番 KGB-PC1
PC-8001mkII 定価 ¥15,500
PC-8801 送料 ¥ 500
PC-8801mkII
各パソコンの
スロットへ
専用のI/O BOX
が必要です
MZ-700 型番 KGB-MZ1
MZ-1500 定価 ¥15,500
MZ-808 送料 ¥ 500
MZ-2000
MZ-2200

AV turboシリーズ各種インターフェースボード
■ハードディスクインターフェースボード(X1ターボ用)
X1ターボで10MBのハードディスクを使用するインターフェースボード
NEC、アイテム、ロジックその他PC98用10MHD
型番: KGB-HDIF 定価¥16,000 ケーブル 定価¥8,000 送料¥500
■絶対型パラレル入出力ボード(X1、X1ターボ)
入力数: 8入力ポート 出力数: 8出力ポート 入出力: フォトアイソレーション 入力電圧: 5V 18V 出力: オープンコレクター
型番: KGB-PIO(X1) 定価¥42,000 送料¥500
■アナログ・デジタル変換ボード(X1、X1ターボ)
16ch12bit分解能 入力インピーダンス2MΩ サンプリングレート付 変換速度25μs 入力電圧4種類
型番: KGB-AD12(X1) 定価¥118,000 送料¥500
■デジタル・アナログ変換ボード(X1、X1ターボ)
4ch12bit分解能 電圧出力: 10V(標準) ランチ回路付
型番: KGB-DA4(X1) 定価¥98,000 送料¥500

全国通信販売大特価コーナー

NEC 限定大特価(数に限りあります)
PC-8001mkII (CPU本体).....¥123,000→¥19,800
PC-PR405(熱転写漢字プリンタ).....¥69,800→¥19,800
SHARP MZシリーズ(数に限りあります)
MZ-2521・MZ1D22(2500セット価格).....¥307,800→¥148,000
MZ-1P17B(熱転写漢字プリンタ).....¥79,800→¥45,000
MZ-1R29(1P17第2水準ROM).....¥32,000→¥12,800
MZ-1E26(2500音声ボード).....¥24,800→¥14,800
MZ-1R28(2500辞書ROM).....¥22,000→¥12,800
MZ-1P14(1500用プリンタ).....¥54,800→¥29,800
MZ-1R23(1500用漢字ROM).....¥19,800→¥4,000
MZ-1R24(1500用辞書ROM).....¥22,000→¥4,000
MZ-1F09(5500用増設ドライブ).....¥70,000→¥19,800
MZ-1U08(1500用I/Oユニット).....¥25,000→¥8,000

SHARP CZシリーズ(数に限りあります)
CZ-822CE・CZ-8200E(X1Gセット価格).....¥197,800→¥138,000
CZ-870CB・CZ-870DB(X1turboIIセット).....¥277,800→¥198,000
CZ-856C・CZ-855D(X1turboIIセット).....¥277,800→¥150,000
CZ-811C(X1Fモデル10).....¥89,800→¥24,800
CZ-850C(X1turboモデル10).....¥168,000→¥29,800
CZ-856C(X1turboII本体).....¥178,000→¥89,800
CZ-300F(X1 3インチドライブユニット).....¥79,800→¥13,000
CZ-8BK4(第2水準ROM).....¥6,800→¥5,500
CZ-8BK3(第2水準ROM).....¥13,800→¥10,800
CZ-8BV1(カラーイメージボード).....¥39,800→¥22,800
CZ-8BS1(FM音源ボード).....¥23,800→¥16,800
CU-14A4(4050アナログRGB CRT).....¥89,800→¥59,800
CZ-870C(X1turboIII).....¥168,000→¥128,000
CZ-880C(X1turboZ).....¥218,000→¥169,800

くその他MZ・CZ・PC・FM・アップルの超特価放出品大量にありますので電話でお申し込み下さい
(全商品送料全国均一¥1,000・¥25,000以上お買い上げの方にはBASIC HOUSEオリジナルテレホンカードプレゼント!)

SHARP X68000いよいよ出荷開始(全国から予約パニック2月25日現在28台)

X68000はBASIC HOUSEから買うのがファッションです
(オリジナルマウスパットプレゼント)

株式会社計測技研

マイコンショップ **BASIC HOUSE**

本社営業部
マイコンショップ
通販部
お申し込みお問い合わせは

宇都宮市桜3丁目2-17 TEL.0286-33-1994 FAX.33-1870
宇都宮市竹林町503-1 TEL.0286-22-9811 FAX.25-3970

0286-22-9811(代)

●シャープ20M-202C (14インチ)(RGB2000文字) 定価 ¥175,000→ 特価 ¥48,000	●シャープCZ-811D (14インチ)(2000) カラーTV付 定価 ¥89,800 特価 ¥45,000	●シャープMZ-1D22 2500用モニター (14インチ)(4050) 定価 ¥108,000 特価 ¥49,800	●シャープCZ870D-TV付 (14インチ)2000/4000自動切換 定価 ¥109,800→ 特価 ¥85,000	●シャープCZ-855DTV付 定価 ¥119,800→ 特価 ¥69,800	●シャープCU-14D1 (14インチ)2000/4000自動切換 定価 ¥108,000→ 特価 ¥69,800	●シャープCU-14A1 (14インチ) (0.31ドットピッチ) (アナログ4096色)(デジタル8色) 定価 ¥128,000→ 特価 ¥79,800
●NEC PC-KD854 (14インチ) 定価 ¥89,800→ 特価 ¥68,000	●NEC PC-60M43 (14インチ) 定価 ¥65,800→ 特価 ¥39,800	●シャープグリーンモニター MD-12P1(4050)(14インチ) 定価 ¥39,800→ 特価 ¥28,000	●シャープMZ-1D04 (12インチグリーン)(2000) 定価 ¥39,800→ 特価 ¥39,800	●東芝ディスプレイTV14V20F (14インチ) (RGBビデオ端子付)2000文字 定価 ¥99,800→ 特価 ¥49,800	●サンヨー146L (14インチ) 4050文字デジタルアナログ 定価 ¥49,800→ 特価 ¥49,800	●NEC PC-8052 (14インチ) 2000文字デジタル 定価 ¥28,000→ 特価 ¥28,000
●NEC PC-TV352 (15インチ) マルチシンク (8P・15P・21P) 定価 ¥115,000→ 特価 ¥79,800 チルトスタンド別売 ¥5,000	●シャープCU14A4 (14インチ)(カラー4050/ アナログデジタルRGB) 定価 ¥89,800→ 特価 ¥53,000	●富士通FM-AV2用 シャープCU-14FA (14インチ) カラー2000文字 アナログRGB 定価 ¥49,800→ 特価 ¥29,800	●ゼネラルDM-405 (MSX対応) (最大4096色対応)(14インチ)2000文字 (アナログ21P,MSX使用可8P/RGB両用) 定価 ¥67,800→ 特価 ¥38,500	●シャープCZ-600D ¥129,800 新発売		

超特価製品多数入荷!お電話でお申し込み下さい。

新製品他、旧タイプ製品(限定数)を見切り価格で奉仕中!全国どこからでも通信販売でお申し込み下さい。

本誌発売時には、下記価格表より、さらにお求めやすい価格に変更されている場合があります。

本体

- シャープCZ-803C..... ¥119,800→¥29,800
- シャープCZ-804C..... ¥139,800→¥38,500
- シャープCZ-811C..... ¥89,800→¥34,800
- シャープCZ-822C..... ¥118,000→¥83,000
- シャープCZ-850C..... ¥168,000→¥33,000
- シャープCZ-856C..... ¥178,000→¥89,800
- シャープCZ-870C..... ¥168,000→¥134,000
- シャープCZ-880C..... ¥218,000→¥174,000
- シャープCZX1 68000..... ¥396,000→大特価
- シャープMZ-1500..... ¥39,800
- シャープMZ-2200..... ¥128,000→¥29,800
- シャープMZ-2520..... ¥159,800→大特価
- シャープMZ2521(ソフト付き)..... ¥198,000→¥99,000
- シャープMZ-2531..... ¥199,800→大特価
- シャープMZ-5521..... ¥388,000→¥85,000
- シャープMZ-5511..... ¥288,000→¥55,000
- NEC PC-8801FH(30)..... ¥168,000→¥134,000
- NEC PC8801mkIISR..... ¥108,000→¥29,800
- NEC 9801E..... ¥148,000
- NEC PC98XA..... ¥695,000→¥335,000
- NEC PC-9801VM21..... ¥390,000→¥310,000
- NEC PC-98LTモデルI..... ¥238,000→¥190,000
- NEC PC-9801VX2..... ¥433,000→¥346,000
- 富士通FM77-AV2..... ¥158,000→¥89,800

拡張機器他

- シャープCZ-8EB-3(X1拡張I/Oボックス)
- シャープCZ8EP(X1拡張ポート)..... ¥11,800→¥10,000
- シャープMZ-1U01(2000用拡張)..... ¥37,000→¥27,000
- シャープMZ-1U02(3500用拡張)..... ¥20,000→¥7,000
- シャープMZ-1U03(700用拡張)..... ¥35,000→¥16,800
- シャープMZ-1U05(5500用拡張)..... ¥12,000→¥8,500
- シャープMZ-1U08(1500用拡張)..... ¥25,000→¥15,000
- シャープMZ-1U09(2500用拡張)..... ¥9,000→¥7,200
- シャープMZ-2200用キーボード..... ¥10,000
- シャープMZ-8BK(80Bの拡張)..... ¥19,800→¥12,000
- シャープMZ-8BG..... ¥39,000→¥19,800
- シャープMZ-8BGK..... ¥39,000→¥22,000
- シャープMZ-1R13(漢字ROM)..... ¥41,800→¥35,500
- シャープMZ-1R02X2G-RAM..... ¥16,000→¥11,200
- シャープMZ-1R01+1R02X2..... ¥55,000→¥18,000

- シャープMZ-1E24 232Cカード..... ¥19,800→¥16,800
- シャープCZ8BR1(立体映像セット)..... ¥29,800→¥25,300
- シャープCZ-8BK3(第2水準漢字ROM)..... ¥13,800→¥11,800
- シャープCZ-8BK4(第2水準漢字ROM)..... ¥6,800→¥5,700
- シャープMZ-1T03データレコーダー..... ¥12,000→¥8,500
- シャープCZ-8BGR2(X1ターボ用)..... ¥14,800→¥4,000
- CZ-8BS1(ステレオFM音源ボード)..... ¥19,800
- NEC PC9808数値プロセッサ..... ¥82,000→¥30,000
- NEC PC9801増設RAM257KB..... ¥13,500
- NEC PC9801増設RAM512KB..... ¥17,600
- NEC PC9801増設RAM 1M..... ¥22,700

プリンター

- シャープMZ-1P17(カラー漢字プリン)..... ¥79,800→¥39,800
- シャープMZ-1R28(MZ-2500辞書ROM)..... ¥22,000→¥13,000
- シャープMZ-1R29(IP17第2水準ROM)..... ¥32,000→¥15,000
- シャープCZ-81P(5×7用カラー)..... ¥34,800→¥8,000
- シャープMZ-1P09(MZ-1500用ケーブル付)..... ¥47,600→¥15,000
- シャープCZ-8PP2(X1・MZ)..... ¥54,800→¥9,800
- シャープMZ-1P07(インターフェース)..... ¥95,000→¥75,000
- シャープMZ-1P14(MZ-1500用ドットプリンター)..... ¥54,800→¥39,800
- シャープMZ-80P4B(136桁)..... 大特価 ¥79,500
- シャープCZ-8PK3..... ¥189,000→¥158,000
- CZ-8PC1(熱転写カラープリンター)..... 大特価!
- CZ-8PD3(ドットプリンター)..... ¥50,800

- NEC PC-PR405(24ドット漢字)..... ¥69,800→¥19,800
- NEC PC-PR405-01(2水準漢字)..... ¥23,800→¥11,500

- 日立MP-1041ドットプリンター..... ¥169,800→¥85,000
- 日立MP-53(漢字プリンター)..... ¥315,000→¥158,000
- NEC NM9400S(漢字136桁24ドット)..... ¥310,000→¥139,000

フロッピーディスク

- シャープCZ-503F(5"2D×1)(インターフェース)..... ¥42,000
- シャープCZ-300F(3"×1)..... ¥79,800→¥13,000
- X1・MZ・各シリーズ使用可。(3"×1用ソフト枚で¥3,000)
- シャープCZ-500H(10M)..... ¥348,000→¥285,000
- シャープCZ-502F(5"2D×2)(インターフェース)..... ¥75,500
- シャープMZ-1F07..... ¥158,000→¥95,000
- シャープCZ-52F(X1増設)..... ¥33,400→¥22,000
- シャープCZ-51F(X1ターボ増設)..... ¥39,800→(在庫切れ)

- NEC PC-6601FD1(増設用)..... ¥39,800→¥25,000
- NEC PC-80S31..... ¥168,000→¥89,000
- NEC PC-9631MW..... ¥180,000→¥138,000
- ラウンドシステムLDS-SUV(UV2ディスク)..... ¥78,000→¥65,000
- 日立MP-3560インターフェースカード(MP-1802A付)..... ¥148,000→¥79,800

ソフト

- シャープMZ-2Z013(5500MSDOS)..... ¥25,000→¥21,000
- シャープMZ-2Z017(5500BASIC3)..... ¥20,000→¥17,000
- シャープMZ-2Z025(5500ワープロ)..... ¥49,800→¥20,000
- 東海クワイエ・ユーカラ(5500ワープロ)..... ¥28,000→¥8,500
- シャープMZ-2Z014(5500TODAY)..... ¥68,000→¥20,000
- シャープMZ-8BD02(80B, DOS)..... ¥50,000→¥15,000
- シャープMZ-2000 CP/Mデジタルリサーチ..... ¥35,000
- シャープMZ-80B CP/Mデジタルリサーチ..... ¥35,000
- シャープMZ-2000/80B HuBASICテープ版..... ¥9,000

16ビットボードキット

- MZ-1M01+漢字ROM..... ¥18,000
- ※80B/2000/2200/5500関係のソフト・ハード在庫資料さしあげます。

全国 北海道から沖縄まで

信用をモットーによりよい品をより安く、迅速にお届けします。

★送料はご注文の際にお問い合わせ下さい。

★掲載の商品は、すべて新品、保証書付きです。

★掲載の商品は充分用意しておりますが、ご注文の際は、在庫の確認の上、現金書留または、銀行振込でお申し込み下さい。全商品クレジットでも扱っております。

★お申し込みの際は必ず電話番号を明記して下さい。

★商品、品切れの際はご容赦下さい。

アイビット電子株

営業所: 〒192東京都八王子市北野町560-5

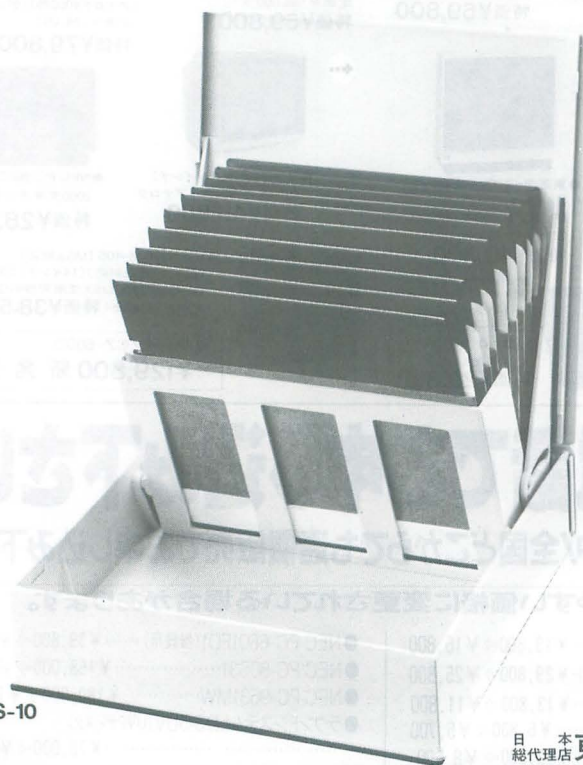
☎0426-45-3001~3

☎03-545-0022 FAX.0426-44-6002

- 営業時間: 10:00~19:00
- 電話受付: 20:00迄可
- 定休日: 日曜日(祭日営業)

快適で使いやすいデータ保存を… ALLSOP

＜アメリカ＞



S-10

ディスク ファイル オルソップ **DISK FILE**

コンピュータ・アクセサリ

＜5 1/4インチフロッピーケース＞

- S-10 10枚収納……………¥1,800
- S-10-3 10枚収納 3個セット……………¥4,200
- S-5 5枚収納……………¥800
- S-60 60枚収納……………¥6,000
- S-60-XL 60枚収納 ロック付き……………¥6,400

＜3 1/2インチフロッピーケース＞

- S-10M 10枚収納……………¥1,800
- S-5M 5枚収納……………¥950
- S-5M-2 5枚収納 2個セット……………¥1,800
- S-30M 30枚収納……………¥5,000
- S-30M-XL 30枚収納 ロック付き……………¥5,400

＜プリンタスタンド＞

- PS-1 スタンド2個(1対)……………¥7,000



お手入れに必要なクリーナーをすべて揃えた…
エイ・エム パソコンクリーナー

＜デンマーク＞

ディスクドライブクリーナー、キーボードクリーナー、
画面クリーナーのセット

PCC-5 (5FDD用) ¥4,700

PCC-3 (3.5FDD用) ¥5,000

※各クリーナー単独でも発売されています。



日本 東志株式会社
総代理店

●資料請求、お問合わせは〒150東京都渋谷区渋谷3-26-17東志M2係宛
☎03(407)5411代●お近くに取扱店のない場合は、通信販売いたします。

販売特約店
募集中

パソコンユーザへの福音！

MZ-2500 プログラムヒント集 (B5判)

MZビギナー編

1,700円 (送料300円)

プログラムのヒントや解決策を87項目の事例で詳細に分かりやすく解説。

MZベテラン編

1,800円 (送料300円)

より高度なプログラミング技術をテーマ別 (59項目) に分類編集。

MZサブルーチン編

2,000円 (送料300円)

実用的なプログラムを作成するのにしばしば必要になる処理をサブルーチン形式で編集。

電子開発学園は北海道から鹿児島まで全国9校で伝統と実績ある情報処理教育を実践しております。(入学希望の方は下記までお申し込み下さい。)

- 北海道電子計算機専門学校 ☎(011)831-5511代
- 新潟電子計算機専門学校 ☎(025)241-1181代
- 名古屋電子計算機専門学校 ☎(052)681-9500代
- 名古屋情報経理専門学校 ☎(052)263-9500代

- 大阪電子計算機専門学校 ☎(06)974-4611代
- 九州電子計算機専門学校
- 福岡校 ☎(092)711-0401代 大分校 ☎(0975)37-3911代
- 小倉校 ☎(043)531-9131代 鹿児島校 ☎(0992)58-0121代



電子開発学園

出版局

発売元

株式会社 **イーディシー**

〒164 東京都中野区中野5-62-1 (EDCビル) TEL. (03) 319-7101

出版目録送呈：資料請求券をハガキに貼り、(株)イーディシー 出版局までお申し込み下さい。

OMZ④
資料請求券

パソコン人間の目を守る。

SEELEX COMPUTER GLASS

技術の東レが開発したコンピュータ専用
ハイコントラストレンズ使用

- コントラストの向上によって明るさを60%にセーブした見やすく、疲れない画面が得られます。
- 文字の揺れ(フリッカー)現象がなくなります。
- 家庭用テレビにも大いに効果があります。

視力障害解消!

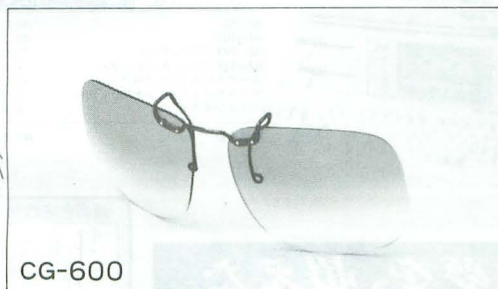
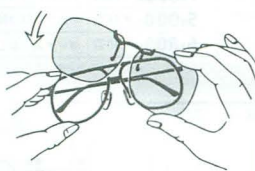
オフィスコンピュータやパソコンの急速な普及にともない、それらのディスプレイ装置(VDT=ビジュアル・ディスプレイ・ターミナル)の操作による目の疲れや肩こり、また精神障害まで、新しい職業病として注目を集め、新聞・テレビなどでもとりあげられて社会問題となっています。

シーレックスでは、東レ・レンズ開発研究所との共同開発による「ハイコントラストレンズ」を完成。快適なコンピュータ・ディスプレイ操作を、可能にしたのが「シーレックス・コンピュータグラス」です。その優れた特徴は、レンズ基材内部とレンズ表面に特殊加工を施し、ディスプレイから発散される目に有害な光線を、完全に吸収カットします。文字のちらつき(フリッカー)をなくし、カラー画像の色相をそこねないレンズ色です。また、装着感のよいフレームで、メガネをかけられない人にも安心。眼精疲労を防ぐ、画期的なメガネです。

度付きメガネにクリップレンズ

- 取り付け取り外しがワンタッチ

新発売



CG-600

(どんな形の眼鏡にも装着できるフリーサイズです。)
CG-600 ¥6,000を特別価格 ¥4,800 布製ケース付(送料込)

軽る〜いカーボン新登場!

カーボンファイバー(炭素繊維)は、宇宙工學材料として開発された素材で、軽さと強さ、しなやかさが特性です。いまやロケットをはじめ、さまざまなスポーツ用品にも活用されています。まさに、コンピュータグラスフレームにもぴったりの特性です。



CG-1000

(小学生までのお子様及び中学生・女性の方でも顔の小さい方は、Sサイズとご指定下さい。)
CG-1000 ¥13,000を特別価格 ¥9,800 ハードケース付(送料込)

コンピュータグラスのベストセラー



CG-400

(男性・女性・大人・子供の区別なくご使用出来るフリーサイズです。)
CG-400 ¥6,000を特別価格 ¥4,800 ハードケース付(送料込)

- 郵便番号
- 住所
- 氏名・捺印
- 年齢
- TEL

CG-400, CG-1000 或いはCG-600 購入と明記の上お送り下さい

〒910
福井市二の宮
5丁目14-3
株式会社
シーレックス
サンクス
CG事業部
mz係

通信販売をご利用下さい!!

お申し込みは左記要領でハガキでどうぞ。
商品到着後、郵便振替で1週間以内にお支払い下さい。

seelex
株式会社
シーレックスサンクス

本社/〒910 福井市二の宮5丁目14-3 ☎(0776)25-2111代
営業所/東京・大阪・名古屋・九州・福井・東北・新潟・北海道



SHARP フェア 3月20・21・22日

ツクモ 春のパソコンカーニバル!

●特価品いっぱい。このチャンスにシステムUP!

パーソナル ワークステーション

△68000

CZ-600CE 本体 ￥369,000
CZ-600DE ディスプレイ ￥129,800
CZ-6ST1E テルトスタンド ￥5,800
CZ-6VT1 カラーイメージユニット ￥69,800



〈△68000体験フェア実施〉

ひと目でX68000ゾーンがわかる! 気がねなく触れられる! 黄金のグラフィックスが、感動のサウンドが、強力日本語処理機能が……その世界をあますことなく語りかける! そんな“体験フェア”……毎週土・日曜日に体験できます。

ご購入と同時にX68000系宇宙の市民権獲得。パソコンクラブ“X68000EXEクラブ”へ自動入会。当店とシャープで「X68000系宇宙の旅」へのサポートを真心でお約束します。
お求めはツクモ全店の店頭にてお尋ね下さい。只今「X68000発売記念デビューセール」を実施中!!

△turbo スペシャル

■CZ-850CR ￥168,000
JOYメカ2型(ジョイスティック)付
限定ツクモ特価 ￥33,000

■CZ-850DR ￥129,800
限定ツクモ特価 ￥59,800



△V/G セット

- CZ-822C …… ￥118,000
- CZ-802DR …… ￥128,000
- JOYメカ2型 …… ￥4,800
- オリジナルゲームパック…サービス

合計定価 ￥250,800

ツクモ特価
¥129,800

△turbo II セット

- CZ-856C …… 定価 ￥178,000
- CZ-850DR …… 定価 ￥128,000

合計定価 ￥306,000

ツクモ大特価 ￥158,000



特価品は数に限りがあります。
売り切れの際はご容赦下さい。

パソコン通信はじめてみませんか?

TSUKUMO NETWORK
03(253)2464

お問い合わせは03(253)4199

●ツクモ推奨モデム●

ツクモ TS-VM1200 定価 ￥59,800
オリジナル 全二重300/1200ボー、16KBメモリー付

特価 ￥19,800 ケーブル別売

シャープ VM-12 新製品定価 ￥39,800
300/1200ボー対応・CCITT V.25bisによる自動ダイヤル可・特殊着信モードでは発信源が電話かモデムかを自動判別し、電話の時は音成合成により応答します。

ツクモ特価 ￥36,800
(ケーブル付)

ツクモオリジナル拡張用ドライブ

TS-FDMK-II



- 1ドライブ
定価 ￥44,800
特価 ￥36,800
- 2ドライブ
定価 ￥66,800
特価 ￥54,800

- MZ-2500用として
ケーブル(TS-MXCA)でMZ-2000の5インチソフトやX1のランゲージシリーズが使えます。
- X1シリーズ用として
ケーブル(TS-MXCA)とI/F (SHARP製定価 ￥14,800)でディスクシステムがあなたのもの。X1DにはケーブルだけでOK!

△Vシリーズ周辺機器 送料別途

型番	品名	定価	特価
CZ-503F	シングルフロッピーディスク(1/2ケーブル用)	¥49,800	¥42,000
CZ-52F	5インチ増設ドライブ	¥34,800	¥22,800
CZ-80T	デジタルテロップ	¥89,800	¥19,800
CZ-8TM2	モデム(300/1200ボー対応)	¥49,800	¥42,000
CZ-8BGR2	グラフィックRAMボード(CZ-850用)	¥14,800	¥4,800
CZ-8PP2	カラープロッタプリンター	¥54,800	¥9,800
CZ-8IP	プロッタプリンター(CZ-80IC専用)	¥34,800	¥9,800
CZ-8PC1	カラー熱転写漢字プリンター	¥69,800	¥53,800
MZ-1P17	カラー熱転写漢字プリンター(ケーブル付)	¥79,800	¥49,800
CZ-8BV2	カラーイメージボード	¥39,800	¥33,800
CZ-8BS1	FMM音源ボード	¥23,800	¥20,000
CZ-8RL1	データレコーダ	¥24,800	¥21,100
CZ-8BE2	320KB外部メモリ	¥29,800	¥25,300
CZ-8BK2	漢字ROM	¥19,800	¥16,800
CZ-8BK3	第2水準漢字ROM & ソフト	¥13,800	¥11,700
CZ-8BK4	第2水準漢字ROM (X1turboII用)	¥6,800	¥5,800
CZ-8EB3	拡張I/Oボックス	¥33,800	¥28,700
CZ-8BR1	立体映像セット	¥29,800	¥25,400
CZ-8NM1	マウス	¥13,800	¥11,800
CZ-31FR	3インチ増設用DISK	¥34,800	¥6,800
TS-M25	MZ-2500用増設RAM	—	¥8,200
TS-V25	MZ-2500用増設V RAM	—	¥9,000
TS-VM25	MZ-2500用増設RAM & VRAM	—	¥16,800
MZ-6Z010	MZ-2500V2 BASIC & テレホンソフト	¥10,000	¥9,000

ツクモニューセンター店

春の下取り大作戦!

CZ-822C (¥118,000) TV付4050文字カラーCRT
にするなら にするなら

下取機種	下取り差額	下取機種	下取り差額
CZ-811C	¥81,800	4050文字カラーCRT	¥35,000
CZ-803C	¥82,800	2000文字カラーCRT(TV付)	¥45,000
CZ-800C(G-RAM付)	¥82,800	2000文字カラーCRT	¥50,000
FM-New7	¥82,800	2000文字グリーンCRT	¥57,000

下取りご希望の方は各店頭へお持ち込み下さい。チェック後差額をご連絡致します。入金確認後、ご購入機種をお送りします(送料別途)。追加差額は一例ですので変動する場合があります。中古品をご希望の方はツクモニューセンター店へお問合せ下さい。地方の方は下記へ下取り品をお送り下さい。

〒101 東京都千代田区外神田1-16-10

九十九電機 ニューセンター店下取り係 TEL.03-251-0987

秋葉原マイコン取扱店



●営業時間 AM10:00~PM7:00(平日)
AM9:30~PM6:30(日・祭日)
●定休日 毎週水曜日・第3水曜日

ニューセンター店
秋葉原5号店
秋葉原7号店

☎03-251-0987
☎03-251-0531
☎03-253-4199

マイコン・ワープロの専門店



九十九電機

〒101-91 東京都千代田区神田郵便局私書箱135号

安心のカタチ ツクモシステム

- ◆FAXでもご注文できます。
FAX.03-255-4199
- ◆全商品メーカー保証付
万一の事故にも万全のフォロー
- ◆クレジットOK!
夏のボーナス一括払いOK
- ◆高額下取り!
各店にお問い合わせ下さい。

話題の新製品が全国どこでも電話で買える!! (COM(コン) 1-2001-)



J-V-M-A 安心と信頼のシステムで新時代を切り開く

"ついにベールが剥された!"

68000CPU搭載。
ひとつひとつの
スペックに新鮮な
驚きがある。未体験の機能
美が創造力を刺激する。

68000



機能美あふれるハイコンパクト設計。32ビットへの移行がスムーズに行える将来性を見越した68000CPUを採用。メインメモリは、大容量1Mバイトを標準装備し(最大12Mバイト)、クロックも10MHzとハイスピードです。又アート心を躍らせるグラフィックスは、65,536色を最大512×512ドットモードで同時発色の上、新開発スプライトIC採用で緻密でスムーズな動きの本格C.G.が楽しめます。ステレオタイプの8オクターブ8重和音FM音源を採用し、L・R2チャンネルのオーディオ出力を使えば、ダイナミックなシンセサイザーサウンドの世界が広がります。もちろんJIS第1・第2水準漢字は標準実装。日本語処理機能も強力です。

☆ご注文NO. A-87

"未来派16ビット機X68000フィーバーがやって来る!"

SHARP CZ-600C(マウス・トラックボール付) ¥369,000
SHARP CZ-600D ¥129,800
合計標準価格 ¥498,800

当社は、X68000の販売認定店です。

X68000ディスプレイセットをご購入の場合	
下取機種	下取価格
X-1turbo model 30.....	¥384,000
FM77D2.....	¥389,000
PC-8801MKⅡ model 30.....	¥374,000
PC-9801F2.....	¥319,000

turbo III



第2水準漢字
ROMと
1Mバイト
フロッピー
搭載!

☆ご注文NO. A-81

"ターボのハイパフォーマンスをうけつたX-1ターボⅢ"

25%OFF ¥75,800引き

SHARP CZ-870C ¥168,000
SHARP CZ-870D ¥109,800
dB-SOFT SUPER春望(ワープロソフト) ¥29,800
合計標準価格 ¥307,600
現金特別価格 ¥231,800

① ¥5,000×36回(ボーナス) ¥17,000×6回
② ¥8,000×24回(ボーナス) ¥19,000×4回
③ ¥11,200×24回(ボーナス) 無し

☆ご注文NO. A-82

"X-1ターボⅢワープロ特別セット"

30%OFF ¥120,000引き

SHARP CZ-870C ¥168,000
SHARP CZ-870D ¥109,800
SHARP 24ドット熱転写カラー漢字プリンタ+ケーブル ¥86,600
dB-SOFT SUPER春望(ワープロソフト) ¥29,800
合計標準価格 ¥394,200
現金特別価格 ¥274,600

① ¥6,000×36回(ボーナス) ¥20,000×6回
② ¥9,000×24回(ボーナス) ¥25,000×4回
③ ¥9,300×36回(ボーナス) 無し

SHARP

MZ-1P17



☆ご注文NO. B-62

"24ドット熱転写カラー漢字プリンタ"

50%OFF ¥43,800引き

SHARP MZ-1P17+ケーブル ¥86,600
現金特別価格 ¥42,800

① ¥3,900×12回 ② ¥7,600×6回

turbo Z

"アートスタジオ・Turbo Z"

☆ご注文NO. A-83

"使いこなすほど威力を発揮するX-1turbo Z"

SHARP CZ-880C ¥218,000
SHARP CZ-600D ¥129,800
合計標準価格 ¥347,800

大特価にて提供中

① ¥5,000×48回(ボーナス) ¥15,000×8回
② ¥7,000×36回(ボーナス) ¥45,000×6回
③ ¥9,500×36回(ボーナス) 無し

☆ご注文NO. A-84

"X-1turbo Zワープロ特別セット"

25%OFF ¥119,400引き

SHARP CZ-880C ¥218,000
SHARP CZ-600D ¥129,800
SHARP 24ドット熱転写カラー漢字プリンタ+ケーブル ¥86,600
サムシングクワッド Shogun(ワープロソフト) ¥34,800
合計標準価格 ¥469,200
現金特別価格 ¥349,800

① ¥6,000×48回(ボーナス) ¥21,000×8回
② ¥9,000×36回(ボーナス) ¥18,000×6回
③ ¥11,900×36回(ボーナス) 無し

コンピュータ画面をビデオ録画できる
初のマルチビジュアル端子搭載!!

パソコンテレビ

X1G



☆ご注文NO. A-63

"X-1の高性能が身近になった。X-1G model 30セット"

SHARP CZ-822CE ¥118,000
SHARP 14インチ2000字カラーディスプレイ ¥49,800
合計標準価格 ¥167,800
現金特別価格 ¥104,800

① ¥3,000×24回(ボーナス) ¥13,000×4回
② ¥6,000×12回(ボーナス) ¥22,000×2回
③ ¥5,100×24回(ボーナス) 無し

どこよりもお得な

高額下取りセール実施中!

X1ターボZセットをご購入の場合

下取機種 下取差額
X-1,グラフィック付 ¥270,000
FM NEW7 ¥266,000
PC-8801MKⅡ ¥254,000
PC-8801MKⅡ model 30 ¥228,000

X1ターボⅢセットをご購入の場合

下取機種 下取差額
X-1,グラフィック付 ¥223,800
FM NEW7 ¥219,800
PC-8801MKⅡ ¥221,800
PC-8801MKⅡ model 30 ¥181,800

X1Gモデル30セットをご購入の場合

下取機種 下取差額
X-1,グラフィック付 ¥105,600
FM NEW7 ¥101,600
PC-8801MKⅡ ¥103,600
PC-8801MKⅡ model 30 ¥63,600

※その他の商品も取り扱っておりますのでお気軽にお電話下さい。



C.B.クラブ制度

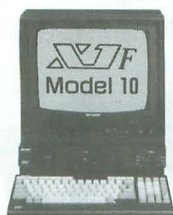
当社で商品をお買い上げの方全員に、C.B.クラブカードを無料でお送り致します。このカードをお持ちの方なら次の買い換え時や、周辺機器の購入時に金貨特別価格でご購入になれます。会員専用ホットライン ☎03(797)1444



ショールーム OPEN!!

○中古パソコン展示即売中/
○レンタル・リース用PC-9801展示中/
○ビジネスソフトのデモ実施中!

新品限定品特価コーナー



CZ-811C (X-1Fモデル10)
¥89,800⇒**¥28,000** [新品]
CZ-811D (14インチ, 2000字RGBTV)
¥89,800⇒**¥39,800** [新品]
X-1Fモデル10セット
(本体+CZ-811D+TVディスプレイ)
¥179,600⇒**¥67,800**



CZ-850CR 新品
(X-1ターボモデル10)
¥168,000⇒**¥29,800**
CZ-811DR 新品
(14インチ, 2000字RGBTV)
¥89,800⇒**¥39,800**
X-1ターボモデル10セット
(本体+CZ-811DR+TVディスプレイセット)
¥297,800⇒**¥69,600**



MZ-1P17 [新品]
(80桁カラー漢字
サーマルプリンタ+X1用ケーブル)
¥86,600⇒**¥42,800**



CZ-8DT [新品]
(デジタルテロップ)
¥89,800⇒**¥17,000**



CZ-822CE (X-1Gモデル30)
¥118,000⇒**¥76,800** [新品同様]
CU-14GE
(14インチ2000字デジタルカラー)
¥49,800⇒**¥28,800** [新品同様]
X-1Gモデル30セット
(本体+CU-14GE, 2000字カラーディスプレイ)
¥167,800⇒**¥104,800**



CZ-870C (X-1ターボIII) 特上品
¥168,000⇒**¥120,000**
CZ-870D 特上品
(15インチ, 4050字RGBTV)
¥108,000⇒**¥78,000**
X-1ターボIIIセット
(本体+CZ-870D, セット)
¥276,000⇒**¥198,000**



CU-14G
(14インチ, 2000字デジタルカラー)
¥49,800⇒**¥28,800** [新品同様]



CU-14A4
(14インチ, アナログデジタルカラー)
¥89,800⇒**¥59,800** [新品同様]

SHARP
本体

MZ721 (データレコーダ内蔵) ¥ 89,800⇒**¥ 15,000**
MZ731 (データレコーダ+カラープロッタ内蔵) ¥ 128,000⇒**¥ 22,000**
MZ-1500 (高速クイックディスク内蔵, RF出力付き) ¥ 89,800⇒**¥ 25,000**
MZ-2000 (GRAM, 1, 2, 3ページ内蔵) ¥ 265,000⇒**¥ 33,000**
MZ-2200+MZ1T02 (本体+専用データレコーダ付き) ¥ 147,800⇒**¥ 24,500**
MZ-5521 (16ビット, 5インチFD×2) [新品同様] ¥ 388,000⇒**¥ 68,000**

MZ-5521 (本体) ¥388,000
MZ-1P06 (10インチ16ドット漢字プリンタ) ¥234,000 } セット価格
MZ-1D10 (12インチモノクロディスプレイ) ¥ 41,800 }⇒**¥108,000**

プリンタ

CZ-81P (80桁カラープロッタプリンタ) ¥ 34,800⇒**¥ 14,000**
CZ-8PP2 (カラープロッタプリンタ) ¥ 54,800⇒**¥ 12,000**
MZ-1P01 (MZ-1500用カラープロッタ, アダプター付き) ¥ 39,800⇒**¥ 16,800**

* X1シリーズ特選極上品コーナー *

X-1Fモデル10 (高速電磁カセットレコーダ内蔵) [新品同様] ¥ 89,800⇒**¥ 28,000**
X-1F/10 RFコンバータセット (本体+X-1F/10 (アナログ) + AN-58C (RFコンバータ)) [新品同様] ¥ 182,580⇒**¥ 43,800**

X-1F/10ディスプレイセット (本体+CZ-811D) [新品同様] ¥ 179,600⇒**¥ 67,800**
X-1Gモデル30 (CZ-822CE 5インチFD×2) [新品同様] ¥ 118,000⇒**¥ 76,800**
X-1ターボモデル10セット (本体+CZ-811DR, TVディスプレイセット) [新品同様] ¥ 297,800⇒**¥ 89,600**
X-1ターボ3 (CZ-870C, 5インチFD×2) [特上品] ¥ 168,000⇒**¥120,000**
X-1ターボ3ディスプレイセット (本体+CZ-870D) [特上品] ¥ 276,000⇒**¥198,000**

* ディスプレイ特選極上品コーナー *

MD-12P1 (12インチ4050字グリーン) [新品同様] ¥ 39,800⇒**¥ 29,800**
CU-14G (14インチ2000字デジタルカラー) [新品同様] ¥ 49,800⇒**¥ 28,800**
CU-14A4 (14インチ4050字アナログデジタルカラー) [新品同様] ¥ 89,800⇒**¥ 59,800**
CZ-811D (14インチ2000字RGBTV) [新品同様] ¥ 89,800⇒**¥ 39,800**

* その他特選極上品コーナー *

CD-8DT (デジタルテロップ) [新品] ¥ 89,800⇒**¥ 17,000**
CZ8PP2(S) (カラープロッタプリンタ) [新品同様] ¥ 54,800⇒**¥ 15,000**
MZ-1P09 (MZ1500用カラープロッタプリンタ) [新品同様] ¥ 47,600⇒**¥ 25,000**
MZ-1P17 (80桁カラー漢字サーマルプリンタ+ケーブル) ¥ 86,600⇒**¥ 42,800**



C.B.サポートホットライン
☎03(797)1234

当社でコンピュータをお買い上げいただいたお客様に万一、トラブルが発生した場合、このホットラインで親切に対応いたします。



C.B.レスキューシステム

お客様のお手元でトラブルが発生した場合、当社より引取りにお伺い致します。万一、お買いになった機械が故障しても安心です。

◎掲載の商品はいずれも限定品ですので今すぐお電話下さい。

★電話1本で高額買取、即現金お支払い!★

- コンピュータバンクではあなたの不要になったパソコンを電話1本で査定し買取ります。
- どんな問い合わせにも親切に対応いたします。
- ▼本社注文デスク

☎03(797)1221

コンピュータバンク

株式会社バシフィックコンピュータバンク

〒150 東京都渋谷区渋谷1-6-8 井上ビル
営業時間/AM9:30~PM10:00 年中無休

全商品保証付 6ヶ月の保証期間だから安心です。

全国無料配送 全国どこでも配達料はいただきません。

高額下取り 少ない予算で買い替えラクラク。

代金引換えシステム 商品到着時の代金支払いでOK。

クレジットでOK カレッククレジットも取扱います。

日曜配達可 留守の多い方でも安心です。

高額買取 電話1本で即、現金お支払い。

ボーナス一括払い 商品は即お手元へ、お支払いはボーナス時に。



全国どこでも
無料配達



送料無料 全国どこでも送料無料ですぐにお届けいたします。

J&P メールシヨツ

■MZシリーズ用 帝王の涙 (ABYSS II)



¥6,800 (3.5"DD)

注文 No M4-1
適応機種 MZ-2500
ソフトハウス M・A・C

遂に完成！ MZ-2500ユーザーのみなさん、お待ちしました。ABYSS II 2500用の仕上りは上々、君もぜひトライして下さい。

ムーンチャイルド

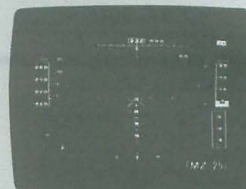


¥7,800 (3.5DD)

注文 No M4-2
適応機種 MZ-2500
ソフトハウス HOT-B

アクションR・P・Gストーリー、グラフィック共にみごとな仕上りの新作ソフトです。

ザ・コックピット



¥6,800 (3.5"DD)

注文 No M4-3
適応機種 MZ-2500
ソフトハウス コムバック

夜間3Dフライトシュミレーター。君の操縦テクニックですばらしい夜間飛行をためして下さい。

タイトル	ロボレス2001	ウィバーン	プロフェッショナル麻雀	レリクス	リバース	ロードランナー	ペンギン君WARS	テグザー
適応機種	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500
ソフトハウス	マイクロネット	アルシスソフト	シャノール	ボーステック	S・P・S	ソフトプロ	アスキー	ゲームアーツ
注文No 価格	M4-4 ¥6,800(3.5"DD)	M4-5 ¥6,800(3.5"DD)	M4-6 ¥6,800(3.5"DD)	M4-7 ¥7,200(3.5"DD)	M4-8 ¥7,800(3.5"DD)	M4-9 ¥6,800(3.5"DD)	M4-10 ¥6,800(3.5"DD)	M4-11 ¥6,800(3.5"DD)
タイトル	蒼き狼と白き牝鹿	ウィザードリリー	メルヘンパール	殺人クラブ	道化師殺人事件	リザード	トリトーン	ブラックオニキス
適応機種	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500
ソフトハウス	光栄	SIR-TECH	システムサコム	リバーヒル	シンキングラビット	クリスタルソフト	サインソフト	B・P・S
注文No 価格	M4-12 ¥6,800(3.5"DD)	M4-13 ¥9,800(3.5"DD)	M4-14 ¥7,900(3.5"DD)	M4-15 ¥7,800(3.5"DD)	M4-16 ¥8,800(3.5"DD)	M4-17 ¥6,800(3.5")	M4-18 ¥6,800(3.5"DD)	M4-19 ¥7,800(3.5"DD)
タイトル	アリオン	アーコン	リグラス	バクトウザフューチャー	信長の野望	チャンピオンプロレス	ハイドライドII	レ・イ・ド・ツ・ク
適応機種	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500	MZ-2500/2200	MZ-2500	MZ-2500
ソフトハウス	アスキー	BPS	ランダムハウス	ボニー	光栄	マイクロネット	T&Eソフト	T&Eソフト
注文No 価格	M4-20 ¥7,800(3.5"DD)	M4-21 ¥7,800(3.5"DD)	M4-22 ¥6,800(3.5"DD)	M4-23 ¥6,800(3.5"DD)	M4-24 ¥7,800(3.5"DD)	M4-25 ¥4,800(テープ)	M4-26 ¥6,800(3.5"DD)	M4-27 ¥6,800(3.5"DD)
タイトル	F2グランプリ	大脱走	チャンピオンプロレス	ハイドライドII	迷宮への扉	雀狂	ばってんタヌキの大冒険	野球狂
適応機種	MZ-2200	MZ-2200	MZ-2200	MZ-2000/2200	MZ-1500	MZ-1500	MZ-1500	MZ-1500
ソフトハウス	キャリーラボ	キャリーラボ	マイクロネット	T&Eソフト	テンバ	ハドソン	テクノソフト	ハドソン
注文No 価格	M4-28 ¥3,800(テープ)	M4-29 ¥4,200(テープ)	M4-30 ¥4,800(テープ)	M4-31 ¥6,800(5"DD)	M4-32 ¥4,800(QD)	M4-33 ¥4,800(QD)	M4-34 ¥4,800(QD)	M4-35 ¥5,800(QD)
タイトル	ナイザー	対局将棋 将棋名人	エキサイト四人麻雀	ロードランナー	ドルアーガの塔	バトルシティー	デゼニランド	任天堂のテニス
適応機種	MZ-1500	MZ-1500	MZ-1500	MZ-1500	MZ-1500	MZ-1500	MZ-1500	MZ-1500
ソフトハウス	ナコム	ソフトプロ	テクノソフト	ユニバース	ナコム	ナコム	ハドソン	ハドソン
注文No 価格	M4-36 ¥4,800(QD)	M4-37 ¥4,800(QD)	M4-38 ¥4,800(QD)	M4-39 ¥5,200(QD)	M4-40 ¥4,800(QD)	M4-41 ¥4,500(QD)	M4-42 ¥5,000(QD)	M4-43 ¥5,800(QD)

■X-1シリーズテープ版 北斗の拳

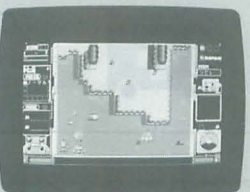


¥4,800

注文 No M4-44
適応機種 X-1/F/T
ソフトハウス エニックス

パイオレンス劇画アドベンチャー。少年ジャンプで人気の劇画が君のパソコンでプレイできるぞ！アニメーション、グラフィック、ストーリー、効果音等がすばらしい。

トッブル・ジップ

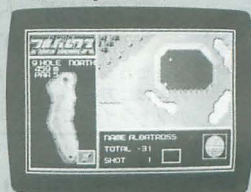


¥4,800

注文 No M4-45
適応機種 X-1/F/T
ソフトハウス ボーステック

スタートボタンを押したら、あまりの楽しさにやめられなくなってしまう。キミもトラップレースのおもしろさをたっぷり味わって下さい。

アルバトロス



¥5,800

注文 No M4-46
適応機種 X-1/F/T
ソフトハウス 日本テレネット

あたかもTVカメラがとらえたように、打球を追って画面が高速スクロール。おにあなたではねかえるのなかなかリアル。

タイトル	サナドウ	チャンピオンプロレススペシャル	ハイドライドII	プロフェッショナル麻雀	ポップレモン	棋太平	フリッキー	リグラス
適応機種	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/T
ソフトハウス	日本ファルコム	マイクロネット	T&Eソフト	シャノール	チャンピオンソフト	SPS	マイクロネット	ランダムハウス
注文No 価格	M4-47 ¥6,800	M4-48 ¥4,800	M4-49 ¥4,800	M4-50 ¥4,800	M4-51 ¥4,500	M4-52 ¥4,500	M4-53 ¥4,800	M4-54 ¥4,800
タイトル	マクロスカウントダウン	アメリカントラック	キャッスルエクセレント	TOKYOナパ/ストリート	ウィングマン	スーパーマリオブラザーズ	トリトーン	スーパーランボー
適応機種	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T
ソフトハウス	ボーステック	日本テレネット	アスキー	エニックス	エニックス	ハドソン	サインソフト	日本エー・ピー・シー
注文No 価格	M4-55 ¥4,500	M4-56 ¥4,500	M4-57 ¥4,800	M4-58 ¥4,800	M4-59 ¥4,800	M4-60 ¥4,000	M4-61 ¥4,800	M4-62 ¥5,800
タイトル	アスピック	ロボレス2001	テグザー	スパイVSスパイ	ペンギン君WARS	ドルアーガの塔	スカーレット7	ワールドゴルフ
適応機種	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T
ソフトハウス	クリスタルソフト	マイクロネット	スクウェア	HOT-B	アスキー	マイコンソフト	ソフトプロ	エニックス
注文No 価格	M4-63 ¥5,800	M4-64 ¥4,800	M4-65 ¥5,800	M4-66 ¥4,800	M4-67 ¥4,800	M4-68 ¥3,800	M4-69 ¥3,800	M4-70 ¥4,800(テープ)

ピンク

■X-1シリーズ5インチディスク版 ザナドウ・シナリオII



注文 No M4-71
適応機種 X-1/F/T
ソフトハウス 日本ファルコム

期待に答えて今、ベールを脱ぐ「シナリオII」/ モンスター、デカキャラが変更され数も追加され、魔法・アイテムのバリエーションも豊富。(注)前作ザナドウが必要です。

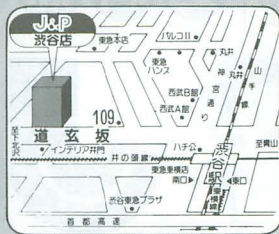
¥5,800



メールショッピングのお申し込みは **J&P 渋谷店** で承ります。

フロアーごあんない

4	パソコン教室
3	OA機器
2	ビジネスパソコン
1	ホビーパソコン



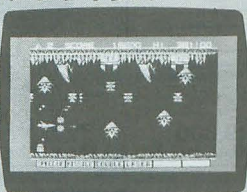
Personal Computer Store

J&P

渋谷店

東京都渋谷区道玄坂2丁目28番4号(〒150)
☎(03)496-4141

グラディウス



注文 No M4-72
適応機種 X-1/F/T
ソフトハウス コナミ

ファミコン、MSXでなじみの「グラディウス」がグラフィックを強化してX-1ユーザーの君に贈るスーパーゲーム。

¥6,800(5*2D)

太陽の神殿



注文 No M4-73
適応機種 X-1/T
ソフトハウス 日本ファルコム

RPGファンもアドベンチャー嫌いも、思う存分楽しめる。新しいタイプRPG風味本格的AVG/神殿にかくされた秘密とは。

¥7,800

タイトル	スーパーランボー	棋太平(対局将棋)	グーニーズ	殺人倶楽部	ウイングマンII	は〜りいふあ〜くす(雪の魔王)	ザナドウ	レリクス
適応機種	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T
ソフトハウス	日本エー・ピー・シー	S・P・S	コナミ	リバーヒルソフト	エニックス	マイクロキャビン	日本ファルコム	ボーステック
注文No 価格	M4-74 ¥6,800	M4-75 ¥6,500	M4-76 ¥6,800	M4-77 ¥7,800	M4-78 ¥6,800	M4-79 ¥7,800	M4-80 ¥7,800	M4-81 ¥7,200
タイトル	プロフェッショナル麻雀	世界をほど SO MUCH	アルパトロス	ファイナルゾーン	スーパーマリオブラザーズSP	ディーヴァ	夢幻戦士ヴァリス	大戦略X1
適応機種	X-1/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T
ソフトハウス	シャノール	N・C・S	日本テレネット	日本テレネット	ハドソン	T&E	日本テレネット	システムソフト
注文No 価格	M4-82 ¥6,800	M4-83 ¥6,200	M4-84 ¥8,800	M4-85 ¥6,800(5*2D)	M4-86 ¥6,800	M4-87 ¥7,800	M4-88 ¥7,800	M4-89 ¥6,800
タイトル	蒼き狼と白き牝鹿	メルヘンパール	ハイドライドII	ロマンシア	覇邪の封印	トッブル・ジップ	リグラス	スパイ VS スパイ
適応機種	X-1/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T
ソフトハウス	光栄	システムサム	T&Eソフト	日本ファルコム	アスキー	ボーステック	ランダムハウス	HOT-B
注文No 価格	M4-90 ¥7,800	M4-91 ¥9,800	M4-92 ¥6,800	M4-93 ¥6,800	M4-94 ¥8,800	M4-95 ¥6,800	M4-96 ¥6,800	M4-97 ¥6,800
タイトル	ウィバーン	ウィザードリィ2	賢者の遺言	リバーズ	信長の野望(全国版)	うっていいほこ	三国志	未来
適応機種	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F/T	X-1/F	X-1/F/T
ソフトハウス	アルシスソフト	アスキー	アスキー	S・P・S	光栄	d Bソフト	光栄	ザインソフト
注文No 価格	M4-98 ¥6,800	M4-99 ¥9,800	M4-100 ¥7,800	M4-101 ¥7,800	M4-102 ¥9,800	M4-103 ¥6,800	M4-104 ¥14,800	M4-105 ¥7,800

お奨めソフト

ご定評をいただいている(即戦力)が高度な機能・操作性にさらに磨きをかけ、お求めやすい価格で新登場です。



M4-117 高性能日本語ワープロ
即戦力Samurai(待)
X1/X1 turbo用5*2D
¥19,800(サムシンググッド)

注文No	適応機種	タイトル	ソフトハウス	メディア	価格	内 容
M4-106	MZ-2500	ユーカラK2	東海クリエイト	3.5"DD	¥28,000	一括入力、逐次文変換方式の日本語ワープロ、文節学習機能も装備。ブロック入力をはじめとした強力な編集機能も付随。
M4-107	X-1ターボ	ビジネス漢字版	OAテック	5*2D	¥48,000	カンタン操作で自由な表づくり。項目別検索。セル間演算。集計。自動プログラムと機能も充実。
M4-108	X-1ターボ	日本語ワープロ即戦力	サムシンググッド	5*2D	¥39,800	99%の変換達成率を可能にした使いやすさ。16ビットに迫る機能を実現!
M4-109	X-1ターボ	Multiplan	シャープ	5*2D	¥49,800	16ビット機でしかなかったあのマルチプランがX-1ターボで新発売。ビジネスにはぜひ活用したいソフトです。
M4-110	X-1ターボ	ユーカラPOP	東海クリエイト	5*2D	¥28,000	ワープロと通信ソフトがドッキング、各種日・B・S局への通信やデータベースへの伝送に使用できます。
M4-111	X-1ターボ	日本製My CARD	アパロン	5*2D	¥58,000	マイコン表示による使い易さと独自のOSによる超高速処理のカード型データベース。
M4-112	X-1ターボ	Z'S STAFF	シャープ	5*2D	¥19,800	X1ターボシリーズの優れたグラフィック機能を存分に発揮させる待望の本格グラフィックツールです。
M4-113	MZ-2500	TURBO PASCAL (Ver.3.0)	MSK	3.5"2DD	¥29,000	最強・低価格のPascalコンパイラがMZ-2500でもご利用いただけます。
M4-114	X-1ターボ	Inkpot(マウス付)	アスキー	5*2D	¥38,000	エディタを含む14種類のペン先と37種類のタイトル/パターンを用意しました。マウスを使って多彩な編集機能で映像をコントロール。
M4-115	X-1ターボ	印刷工房	モーリン	5*2D	¥14,000	24ドットプリンタ以外でも24ドット印刷を可能にします。1/4角、網かけ、斜体、強調印字でもきき表現も豊かにします。(ユーカラが必要)
M4-116	MZ-2500	カラー印刷キットはれつと	ダイナウェア	3.5"2DD	¥18,000	「はれつと」は絵や文字を組み合わせた表現豊かなカラーグラフィックを手軽に描いて印刷できるソフトです。(マウス別売)

お申し込み方法

右の注文書にご希望商品の注文Noおよび必要事項ご記入の上、現金書留にて **J&P 渋谷店** までお申し込みください。現金受領後、発送いたします。
なお、現金書留以外で申し込まれた場合は責任を負いかねます。

●記載以外のソフトのご注文も承りますので、詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。 ☎(03)496-4141

キリトリ線

現金書留申込み用紙	おとこ 〇〇〇〇	注文No(アイヌ)	数量	金額
	TEL () おなまえ	M4- ()	本	円
		M4- ()	本	円
		M4- ()	本	円
		合 計	本	円
様	お手持の機種名 ()			

お申込み先: 東京都渋谷区道玄坂2丁目28番4号(〒150) **J&P 渋谷店** メールショッピング係



全国どこでも
無料配達

J&P
日本通信販売協会
正会員店

送料 無料

全国どこでも送料無料ですぐにお届けいたします。

J&Pメールショッ

■シンプルで使いやすいパソコンラック・デスク・チェアー

M4-300
パソコンラック&チェアーセット
ラック寸法
幅600×高さ855~1185×奥行655mm
※ボードの高さを変えることにより、
ディスプレイ台と
プリンタ台とに使い分けられます。
メーカー標準価格合計34,000円
セット特価 **20,000円**
●シートカラー ①青色 ②茶色

M4-301
スライド式キーボード台付
パソコンビデオラック
シンコー商事PVR-54
¥13,800

M4-302
パソコンシステムデスク
エレコムER-1200
¥29,800
幅1200×高さ650~1180 奥行750mm

M4-303
パソコンチェア
コロンビアL-395
キャスター付
¥7,000
①青色 ②茶色

■原稿台

M4-304
ハンディワープロを
お使いの方に
おススメします。
OA原稿台
コクヨETG-10
¥6,800

M4-305
シグマPA-300
いろいろな角度、
向きに変えられます。
¥9,800

■パソコングッズ

M4-306
OA電源タップ
ナショナルWCH 4511
ノイズフィルター ¥6,980
集中スイッチ付

M4-307
TVフィルター(14インチ用)
東レEフィルターNEW14
¥9,600

M4-308
電磁波防止
エプロン
サンワ ¥7,800

M4-309
キーボードのすき間の小さな
ゴミまで吹き取ります。
奥様にもよろこばれます。
パソコンクリーナー
シャープEC-H41F
¥10,000

M4-310
5インチ
ディスクケース
¥3,000
YA-50L 50枚収納

■ツインファミコン

M4-311
カセットもディスクも
使えるスゴイヤツ!
任天堂のファミコン
ソフトがそのまま使えます。●黒 ②赤

M4-312
テレビアダプター
AN-58C
¥2,980
ツインファミコン
をテレビのアンテナ
端子につなぐ場合に
必要です。

■各種切替器

1台のプリンタと
2台のパソコンを
切替えます。

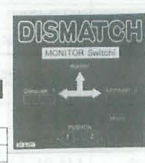
パソコン切替器
¥9,800

パソコン1コープリンタ
パソコン2コープリンタ
KSW C



M4-313

ディスプレイ切替器
パソコン1コー カラー
パソコン2コー グリーン
KSW D
8ピンRGB、グリーン端子付
¥9,800



M4-314



M4-315

1台のパソコンで
2台のRS-232C
機器が使えます。
モデム、
RS232C切替器
モテム1
パソコンモテム2
KSW M
¥12,800



M4-316

X-1プリンタ切替器
X-1プリンタ1
X-1プリンタ2
KSW-X1 ¥12,800
X-1で2台のプリンタを
切替えて使えます。

■データレコーダ



X-1専用
データレコーダ
CZ-8RL1
¥24,800

■フロッピー



シャープCZ-503F
320KB×1基、
インターフェイス同梱
X-1用外付タイプ
¥49,800

■プリンタ



X-1用漢字プリンタ、
ケーブル付。
スターTR-24X
¥29,800



シャープCZ-8PC1
¥69,800
X-1シリーズ用熱転写
カラープリンタケーブル付

■パーソナルコピー

M4-317
シャープZ-HC1
サーッとなぞれば
メモになる /
欲しい情報だけをコピー。
メーカー標準価格 31,000円
J&P特価 **28,000円**
色①ブラック②ホワイト

M4-318
シャープZ-40
名刺・ハガキからA4サイズまで複写OK /
現像カートリッジ(黒色)と
感光体カートリッジ各1本付。
メーカー標準価格 99,000円
J&P特価 **94,800円**
色①ブラック②ホワイト

■パソコン通信機器

モデムホン
M4-323
シャープ
MZ-1×19
¥69,800

M4-324
300(全二重)
1200(半二重)
切替可
MZ-2500と組み
合わせると自動
発着信も可
FS-232C
ケーブル別売

M4-325
アイワ
PV-A1200
J&P特価 **36,800円**
300(全二重)・1200(全二重)
自動発着信機能・RS-232Cケーブル付

M4-326
RS-232C
ケーブル
アイワ
CPW-2
¥3,500

M4-327
シャープCZ-8TLM2
¥49,800
300(全二重)・1200(全二重)モデム
RS-232Cケーブル付
X-1/X-1ターボ用通信ソフト付
自動発着信可

M4-328
X-1ターボ(II)
用モデムボード。スロット
に差し込み、
電話線を接続
します。
RS-232C・
モジュラーケ
ーブル・通信
ソフト付

M4-329
シャープ
CZ-131SF
X-1ターボ(II)用
通信ソフト
¥8,800

M4-330
ターボ
ターミナル
コスモステーション
シャープCZ-136SF
¥9,800
X-1でパソコン通信の
ホスト局を開けます。

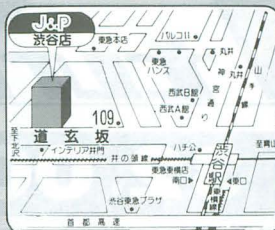
ピンク

メールショッピングのお申し込みは **J&P 渋谷店** で承ります。



フロアごあんない

4F	パソコン教室
3F	ビジネスパソコン
2F	ホビーのパソコン
1F	ホビーのパソコン



Personal Computer Store

J&P 渋谷店

東京都渋谷区道玄坂2丁目28番4号(〒150)
☎(03)496-4141

■ディスク価格表 (いずれも10枚単位になっております)

	5"2D	5"2DD	5"2HD	3.5"1DD	3.5"2D	3.5"2DD	3.5"2HD
マクセル	¥2,800	¥3,800	¥5,000	¥6,300	¥6,300	¥7,800	¥13,500
スリーM	¥2,800	¥3,800	¥5,000	¥6,300	¥6,300	¥7,800	¥13,000
メモレックス	¥2,800	¥3,800	¥5,000	¥6,300	¥6,300	¥7,600	¥13,100
データライフ	¥2,800	¥3,200	¥4,900	¥5,500	¥5,500	¥6,100	¥12,200
フジ	¥3,200	¥4,600	¥6,300	¥6,700	¥6,700	¥8,400	¥14,500
ソニー	¥3,200	¥4,600	¥6,000	¥7,100	¥7,100	¥8,900	¥14,600
TDK	¥2,600	¥3,600	¥4,700	¥6,100	¥6,100	¥7,500	¥12,500

MD-2HD
J&Pオリジナル
ディスク
MD-2HD 10枚
¥3,800
① クイックディスク
シャープMZ-6F03
¥4,500

■〈MZ-2500オプション〉



MZ-1E26
¥24,800
ボイスコミュニケーション
インターフェイス



MZ-1M10
¥14,500
カラーパレット
ボード



¥10,000
MZ-1M08
MZ-2500/1500用
ボイスボード



MZ-6Z01
¥16,800
パーソナルOP/M



MZ-1R28
¥22,000
MZ2500用、辞書ROM



RM-25A-1
¥13,100
MZ-2500用
増設ビデオ
RAMカード

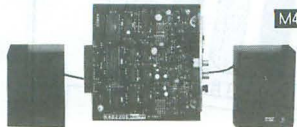


RM-25A-2
¥12,100
MZ-2500用
増設RAMカード



RM-25E(640KB)
¥42,800

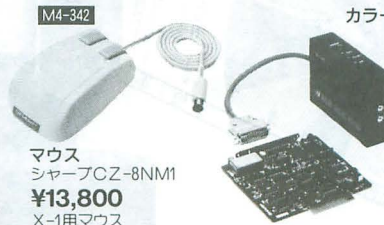
■〈X-1/ターボオプション〉



FM音源ボード
シャープCZ-8BS1 ¥23,800
X-1用8重和音200音色、ステレオサウンドのFM音源



立体映像セット
シャープCZ-8BR1
¥29,800
X-1/X-1ターボシリーズにて
立体映像が楽しめます。
立体作画ソフト・立体スコープ付



マウス
シャープCZ-8NM1
¥13,800
X-1用マウス

カラーイメージボード

シャープCZ-8BV1
¥39,800
画像を自在に修正・
加工できます
画像処理ツール・
グラフィックソフト
同梱

■プリンタオプション

- ① MZ-1C48 X-1用プリンターケーブル ¥6,800
- ② MZ-1C35 MZ-2500/2200/2000用ケーブル ¥6,800
- ③ MZ-1R29 MZ-1P17(B)用第2水準ROM ¥14,800
- ④ CZ-8PC1-3 CZ-8PC1用第2水準ROM ¥9,800

■ポケコンアクセサリ



- ① CE-124 ¥4,000
PC-1245~1360用
カセット
インターフェイス
- ② CE-202M ¥16,000
PC-1350・1360・1450・7500用
16KBメモリ
- ③ CE-2H32M ¥28,000
PC-1360・1360K・1460用
32KBメモリ
- ④ CE-2H16M ¥14,000
PC-1360・1360K・1460用
16KBメモリ

■X-1/X-1ターボシステムソフト

商品名	機種名	価格
ランゲージマスター(CP/M用)	① CZ-128SF(2D・5"FD版)	9,800円
turbo CP/M(漢字版)	② CZ-130SF(2D・5"FD版)	14,800円
ミュートピア	③ CZ-139SF(2D・5"FD版)	12,800円
FORTRAN	④ CZ-115LF(2D・5"FD版)	13,800円
C	⑤ CZ-116LF(2D・5"FD版)	13,800円
turbo LOGO(漢字版)	⑥ CZ-117SF(2D・5"FD版)	18,800円
COBOL	⑦ CZ-118LF(2D・5"FD版)	13,800円
PROLOG	⑧ CZ-119LF(2D・5"FD版)	13,800円
LISP	⑨ CZ-120LF(2D・5"FD版)	13,800円
APL	⑩ CZ-126LF	13,800円

■X-1をパワーアップさせるNEW BASIC (Ver.2.0)

対応機種	NEW BASIC	価格
CZ-800C	① カセット版 CZ-112SF	¥7,800
CZ-801C	② 3"FD版 CZ-113SF	¥8,800
CZ-802C	③ 5"FD版 CZ-124SF	¥8,800
CZ-803C		
CZ-804C		

■各種漢字ROM

- ① CZ-8BK2 X-1F第1水準ROM ¥19,800
- ② CZ-8BK3 X-1ターボ第2水準ROM ¥13,800
- ③ CZ-8BK4 X-1ターボ第2水準ROM ¥6,800

お申し込み方法

右の注文書にご希望商品の注文No
および必要事項ご記入の上、現金
書留にて **J&P 渋谷店** までお申し
込みください。現金受領後、発送
いたします。
なお、現金書留以外で申し込ま
れた場合は責任を負いかねます。

●記載以外のご注文も承りますので、詳
しくはお電話にてお問い合わせ下さい。

☎(03)496-4141

現金書留申込み用紙

おとところ ☐☐☐☐☐

TEL ()
おなまえ

キリトリ線

注文No	数量	金額
M4-	()	円
M4-	()	円
合 計		円
お手持ちのパソコン		
様		

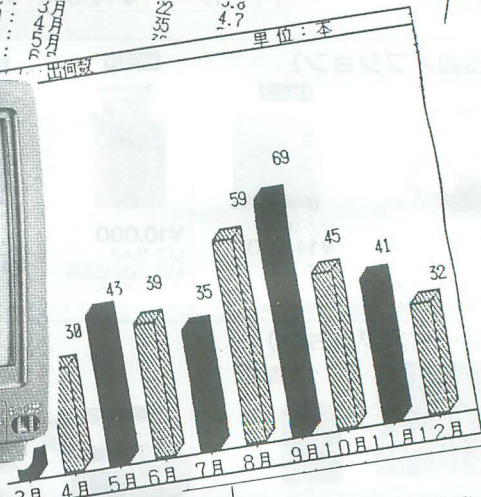
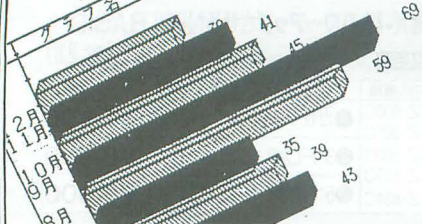
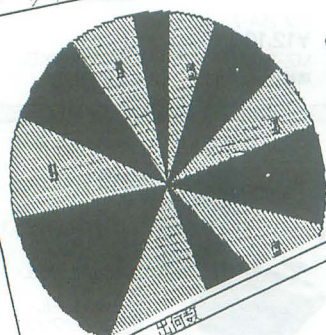
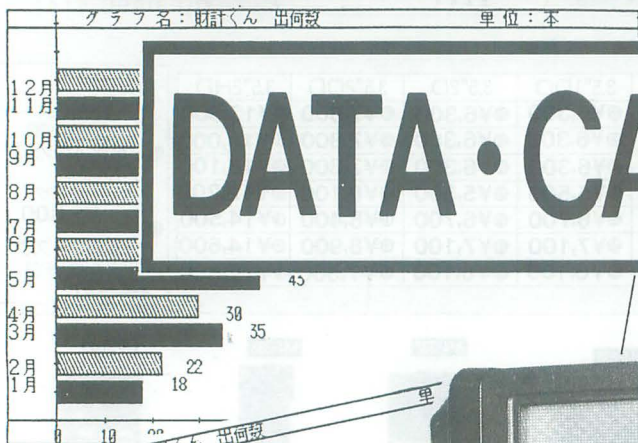
お申込み先：東京都渋谷区道玄坂2丁目28番4号(〒150) **J&P 渋谷店** メールショッピング係

専用 turbo OK-システム 漢字

定価 32,000円

1	氏名	都島安田中蔵	7
2	郵便番号	612/29	8
3	住所	612/29	9
4	電話番号	62/1/10	10
5	生年月日	62/1/10	11
6	登録年月日	398004 62/1/10	12

DATA・CARD 1200



1. カード型データ・ベースとして

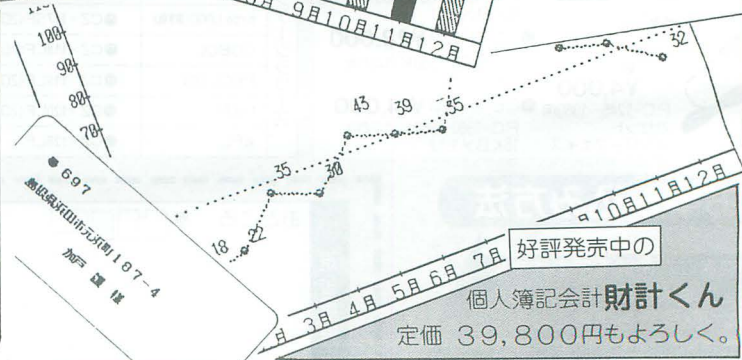
検索: 1124枚のデータ・ディスク内から3重条件を処理します。
データ入力: 自由設定項目12個をフルに活用、各データは漢字(全角文字)で最長20字まで使用可能です。勿論、追加・変更・削除もOKです。当然、データディスクの作製は思いのままです。

表示&印刷: 検索は当然、その上カード・ソーティング機能との連係での、DMシール、葉書宛名、カードNoによるデータの抜粋、ステップ印刷が可能です。

2. グラフ・カードを活用した、グラフ・データ・ファイルとして

表示&印刷: 7種類・22タイプのグラフを作成します。12項目12データを1単位として1枚のグラフデータ・ディスクに76個を格納し、処理します。

縦棒グラフ・横棒グラフ・帯グラフ・円グラフ・折線グラフ、各種グラフは3D仕様可能



- ◆関東受注センター TEL. 03(226) 7234
 - ◆関西受注センター TEL. 06(375) 3197
 - ◆開発センター TEL. 0986(25) 0303
- 〒885 宮崎県都城市都島町430-2

※各受注センターは24時間受付。開発センターは日曜の業務は、お休みします。

資料のご請求は 200円分の切手を同封して左記へ
お申し込み下さい。
デモサンプルは実費2,400円を申し受けます。

振込口座 鹿児島銀行都城支店 普 396174 大木芳幸

OKハウス

好評発売中の

個人簿記会計 財計くん

定価 39,800円もよろしく。

いま、日本列島は、 キーボードにおさまった!

J&P HOT LINE 4月1日本格稼動。

J&P HOT LINE サービス内容

BBS(電子掲示板)/BBSとは、いわばパソコン内の電子掲示板。自由にメッセージを書きこんだり、テーマに沿って読み取ったりできる機能です。

メニュー ●HOME ●アミューズメント ●スポーツ ●旅行 ●ビジネス ●エデュケーション ●アート ●BOOK ●コンピュータ ●地域別 ●サークル ●草の根BBS ●フリーマーケット ●J&P Q&A

電子メール/パブリックなBBSに対し、電子メールは個人の信書。いわば電子の手紙です。文面は当人どうしにしか、わかりませんが、同じ内容の手紙を何人かに出したり、相手を読んだかどうかを確認することは可能。ファックスより経済的で、電話より確かなメディアです。

SIG・CUG/SIGもCUGも、いわばネットワーク内のネットワーク。特定の分野に対する関心の深い方どうしで主催していただけます。SIGは興味のある方全員が、SUGは特定会員のみのご利用となります。

データベース/J&P HOT LINEのもうひとつの魅力、それがデータベースです。オンラインで届けられる数々の新情報。有力企業の情報提供で内容もますます充実しています。

日本列島まるごと
J&P HOT LINE

おもしろいから、役に立つから、必要だから
さあ始めよう、パソコン通信。

アクセスポイント全国11ヵ所 お気軽にアクセスしていただけます。

札幌・仙台・千葉・東京・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡

1. XMODEMによるPDSサービス
2. 希望メニューへのジャンプ機能
3. アップロード時のプロンプト表示
4. 期日指定配信機能
5. 同報配信オプション
6. 送信済メールの閲覧・取消し
7. メール送信先の端末モードの表示
8. プロフィール検索
9. メッセージ読み出し方向の設定
10. 追記メッセージの記入
11. 新しいメッセージからの読み出し
12. 夜間のラッシュ時におけるレスポンスの改善

●大型コンピュータへの移行に伴ない皆様のご要望にお応えした新機能を順次リリースいたします。

更に、今後の計画として従来からのサービスに加え、電子会議室、CHAT機能、グラフィック表示など、サービス内容の充実を行っていく予定でございますので、ご期待ください。

ご入会ご希望の方は、「スタータ・キット」をお買い求めください。

スタータ・キットは、お買い上げいただいたその日からアクセスできるJ&P HOT LINE 入会セット。(ID番号・パスワード・マニュアル等のセット) 入会金はスタータ・キット代金で充当されます。お近くのJ&Pまたは現金書留でお申し込みください。



お 申 込 先

〒556 大阪市浪速区日本橋5-6-7
上新電機株式会社
J&P HOT LINE 事務局宛
TEL (06) 632-2521
入会金/3,000円
(スタータ・キット購入の代金で充当されます)
接続料/3分ごとに20円
(アクセスポイントまでの電話代は含みません)

●パソコン通信ネットワークサービス

J&P HOT LINE

渋谷店 東京都渋谷区道玄坂2丁目23番4号 ☎(03) 496-4141
町田店 東京都町田市森野1丁目39-16 ☎(0427)23-1313
八王子店 東京都八王子市旭町1番1号八王子そごう2F ☎(0426)26-4141
テクノランド 大阪市浪速区日本橋5丁目6番7号 ☎(06) 634-1211
メディアランド 大阪市浪速区日本橋5丁目8番26号 ☎(06) 634-1511
ワーブラント 大阪市浪速区日本橋4丁目9番15号 ☎(06) 634-1411

ビジネスランド 大阪市北区梅田1-1-3大阪駅前第3ビルB2 ☎(06) 348-1881
阪急三番街店 大阪市北区芝田1-1-3 阪急三番街B1 ☎(06) 374-3311
高槻店 高槻市高槻町11-16 ☎(0726)85-1212
くずは店 枚方市楠葉花園町15-2 ☎(0720)56-8181
千里中央店 豊中市新千里東町1-3-204千里サンプラザ3F ☎(06) 834-4141
京都寺町店 京都市下区寺町通仏光寺下ル唐美須之町549 ☎(075)341-3571

姫路店 姫路市東延木1丁目1番住友生命姫路南ビル1F ☎(0792)22-1221
和歌山店 和歌山市元寺町4-8-1 ☎(0734)28-1441
四日市店 四日市市鶴の森2-1-19 ☎(0593)54-3366
津店 津市丸之内31-20 ☎(0592)26-0111

リアルなく映像>と音>が創造力を刺激する。
多様なクリエイティブパワーを標準装備して
"アートスタジオ・TurboZ"登場。



新発売

X1 turbo Z パソコンテレビ

パーソナルコンピュータ+キーボード CZ-880C(B)ブラック(E)オフィススクリーン標準価格218,000円
15型カラーディスプレイテレビ CZ-600D(B)ブラック(E)オフィススクリーン標準価格129,800円

●チャルトスタンド CZ-6ST1 標準価格 5,800円は別売です。

■ アナログカラーイメージボード内蔵

ビデオやテレビなどの映像を最大4,096色のリアルさで瞬時に取り込み表示。モザイク処理や反転、階調を変える量子化処理など多彩な取り込み機能をサポートしたグラフィックツールも同梱、アイコン表示とマウス入力ですぐに画像処理やC.G.作成が楽しめます。表示能力も200ライン4,096色同時表示、400ライン4,096色中8色表示とパワーアップされています。

■ 4,096色対応ニューテロツパ機能

4,096色のコンピュータ画像はもちろん、テレビやビデオ映像などと重ね合わせたスーパーインポーズ画像もビデオに録画でき、オリジナルビデオづくりが楽しめます。

■ 8重和音ステレオFM音源搭載

L・R2チャンネルのオーディオ出力によりダイナミックなステレオシンセサイザーサウンドの世界が広がります。200音色を標準で装備したミュージックツールも同梱。

■ マウス標準装備

クリエイティブワークがフレンドリーに、複雑な作画入力も簡単操作で楽しめます。

■ JIS第1/第2水準漢字ROM実装

難しい人名や地名もスピーデに表示、住所録や名簿も美しく仕上がります。

■ システム・ユーザー辞書装備

音調・部首索引で検索できる第2水準漢字をサポート。専用辞書としても使えます。

■ 1Mバイト5インチフロッピー2基搭載

大容量ファイルとしてはもちろん、従来の豊富なソフトも活かせる設計です。

■ X1ターボが誇るパフォーマンスを継承

高度な能力で定評の漢字BASIC/多彩な通信ツールのサポートで手軽なパソコン通信。

シャープ株式会社 ●お問い合わせは…シャープ株式会社電子機器事業本部システム機器営業部 〒545 大阪市阿倍野区長池町22番22号 ☎(06)621-1221(大代表)

電子機器事業本部テレビ事業部第4商品企画部 〒162 東京都新宿区市谷八幡町8番地 ☎(03)260-1161(大代表) またはシャープエンジニアリング㈱ 〒545 大阪市阿倍野区長池町22番22号 ☎(06)621-1221(大代表)へ。

資料請求券
X1 Turbo Z
0511M2
416